

講義内容2009

文学部

講 義 内 容

『講 義 内 容 の 見 方』(2)

参 考(4)

目次案内

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目(11)

2. 教 養 教 育 科 目(12)

(1) 人 文 分 野(12)

(2) 社 会 分 野(15)

(3) 自 然 分 野(16)

(4) 総 合 分 野(18)

3. 外 国 語 科 目(19)

4. 保 健 体 育 科 目(29)

II 専 門 教 育 科 目

1. 国 文 学 科(33)

2. 英 米 文 学 科(35)

3. 地 理 学 科(38)

4. 歴 史 学 科(41)

5. 社会学科(社会学専攻)(46)

6. 社会学科(社会福祉学専攻)(48)

7. 心 理 学 科(51)

III 他 学 部 履 修 科 目(53)

IV 「日本語」・「日本事情」科目(56)

V 随 意 科 目(57)

全 学 共 通 科 目	宗教教育
	人文分野
	社会分野
	自然分野
専 門 教 育 科 目	総合分野
	外国語
	保健体育
	国文英米文地
履 修 科 目	理 史
	社 史
	(社会学)
	社 会
	社 会
	福 祉
	学 会
心 理	
他 学 部	
履 修 科 目	
「日本語」	
「日本事情」	
随 意 科 目	

『講義内容』の見方

- 1、『講義内容』は、『履修要項』（別冊）、『授業時間表』（別冊）と合わせて利用してください。
- 2、『講義内容』は、文学部で開講されている全ての科目が掲載されています。その中で、履修できる科目は、所属する学科で開講されている科目のみです。
(この冊子に掲載されている科目全てが履修できる科目ではありませんので、注意してください。)
- 3、履修できる科目は、所属学科の『授業時間表』（別冊）に掲載されている科目です。
『授業時間表』で履修コード（※）を確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 4、外国語科目の再履修クラスを履修する場合は、教務部①番窓口で『外国語再履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 5、他学部履修科目を履修する場合は、教務部①番窓口で『他学部履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 6、教職課程・資格講座に登録している場合は、教務部で『講義内容（教職課程・資格講座）』と『課程各講座授業時間表』を受け取ってください。

※ 履修コードとは

履修コードとは、各授業に割り振られている6桁の番号です。4月の履修科目登録時にも使用します。同名科目・同担当者の科目が2つ以上ある場合、履修コードで判別することになります。履修コードの見間違いがないよう、十分注意してください。

～『講義内容』の利用手順～

①『履修要項』（別冊）を参照し、「授業科目の区分」や「履修できる科目」を調べる。

②『授業時間表』（別冊）を参照し、履修したい科目の履修コードを確認する。

（『授業時間表』の記載例）

曜日時限	科目名	担当者名	コード	備考	区分	教場名
月 1	仏教と人間	駒澤 太郎	111111	国1必		玉-111

↑
※履修コード

③『講義内容』の目次ページから、同じ履修コードを探し、ページを開く。

（『講義内容』目次ページの記載例）

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	駒澤 太郎	111111	1

↑
※

④目次ページの履修コードと科目枠の履修コードが同じであることを確認した上で、授業内容を閲覧する。

（『講義内容』科目枠の記載例）

履修コード	111111 ←※
科目名	仏教と人間
担当者名	<small>こまさわ たろう</small> 駒澤 太郎

参 考

外 国 語 科 目

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL® のスコアー500点以上、TOEIC® のスコアー900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L I

〈英語LLⅠの授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L II

〈英語LLⅡの授業内容と履修上の留意点〉

中級：LLⅠ程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L III

〈英語LLⅢの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LLⅡを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が開き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL® のスコアー500点以上、TOEIC® のスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、授業内試験・期末試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の文章を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既習の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのももちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』(1998年 小学館) 3,500円／『コンパクト版』(2004年) 2,600円
また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の3点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容を具えた優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』(2002年 白水社) 7,800円

松岡榮志他『超級クラウン中日辞典』(2008年 三省堂) 6,000円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』(1987年 大修館書店) 8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』(2002年 小学館) 7,000円

相原茂『講談社日中辞典』(2006年 講談社) 7,000円

ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているため、これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

ⅠA・ⅠB：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

ⅡA・ⅡB：一年のⅠA・ⅠBのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

ロシア語学習上役に立つサイトを次に紹介します。

まず、学習の成果を確認するには検定試験をうけることをおすすめ。

東京ロシア語学院のサイトwww.tokyorus.ac.jpをクリックすると、応募のしかた、場所がわかります。また、同じサイトでロシア語のOSの基本的使い方、ウインドウズ日本語版でロシア語のうち方などの情報を得ることができます。ロシア語のキーボードが打てるようになったら、知りたい情報をロシア語で次のアドレスに打てば、様々な情報を詳しく得ることができます。www.gogo.ru

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1時限 (歴史・心理)		2時限 (国文・社会)		3時限 (英米文・地理)	
月 曜 日	※鈴木	室内球技	※下谷内	卓球	※光永	トレーニング
	高橋	空手道	竹田	体操・トランポリン	高橋	空手道
	舘岡	ゴルフ	光永	トレーニング	舘岡	ゴルフ
	光永	トレーニング	内山	ソフトボール	佐藤	ジョギング
	竹田	体操・トランポリン	舘岡	ゴルフ	岩本	ソフトボール
	佐藤	卓球	鈴木	室内球技	江口	テニス
	内山	ジョギング	高橋	空手道	鈴木	室内球技
	岩本	ソフトボール	江口	テニス	下谷内	卓球
	末次	ダブルダッチ	末次	簡化太極拳	末次	キックボクササイズ

※は、科目の主担当者

「健康・スポーツ実習(集中授業)」開講科目一覧

集中開講科目は、前期・後期の両方を受講する必要があります。

また、前期と後期で受講する科目が変わります。科目の選択を第1回目の授業で行いますので、必ず参加してください。

《日程》前期：7月18日(土)～22日(水) 後期：1月4日(月)～8日(金)

《時間》10:00～12:00・13:00～15:30

(於：玉川校舎)

前期		後期	
※山口	室内球技	鈴木	卓球
末次	ダブルダッチ	高橋	ソフトボール
大石	太極拳	岩本	屋外球技
牧野	バドミントン	村松	室内球技

※は、科目の主担当者

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日		
1時限							
2時限	渡	大石	下谷内	村松	前期・基礎	牧野	前期・応用
					室内球技		卓球
	後期・基礎				後期・応用		
	室内球技				卓球		
3時限	渡	大石	下谷内	末次	前期・基礎	牧野	前期・基礎
					室内球技		ダブルダッチ
	後期・応用				後期・基礎		
	室内球技				ダブルダッチ		
4時限	渡			末次	前期・応用		
		室内球技			室内球技		
		後期・応用			後期・応用		
		室内球技			室内球技		

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	小川 順敬	202701	5
仏教と人間	池上 良正	202801	5
仏教と人間	矢野 秀武	202901	5
仏教と人間	粟谷 良道	203001	6
仏教と人間	竹内 弘道	203101	6
仏教と人間	佐藤 憲昭	203201	7
仏教と人間	須藤 寛人	203301	7
仏教と人間〔再クラス〕	吉津 宣英	205701	8
仏教と人間〔再クラス〕	角田 泰隆	205801	8
仏教と人間〔再クラス〕	大谷 哲夫	205901	8
仏教と人間〔再クラス〕	晴山 俊英	206001	9
自然と宗教	小川 順敬	206101	9
社会と宗教	矢野 秀武	206201	10
文化と宗教	長谷部 八朗	206301	10
坐禅	佐藤 秀孝 ・池上 光洋	206401	10
坐禅	佐藤 秀孝 ・池上 光洋	206501	10

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
文学〔日本文学「日本のことば」〕	相澤 貴之	206701	13
文学〔日本文学「古典」〕	塩崎 真理子	206601	13
文学〔日本文学「古典」〕	坂口 博規	206901	14
文学〔日本文学「近代」〕	石割 透	207001	14
文学〔日本のことば〕	萩原 義雄	207201	15
文学〔外国文学「アメリカ文学」〕	田中 保	207301	16
文学〔外国文学「ロシア文学」〕	杉山 秀子	207401	16
歴史学〔日本中世史〕	今野 慶信	207801	16
歴史学〔東アジア考古学〕	千葉 基次	207901	17
歴史学〔古代オリエント史〕	大城 道則	208001	17
歴史学〔西洋近代史〕	土方 史織	208101	18
歴史学〔日本近代史〕	出口 宏幸	208201	18
歴史学〔日本近代史〕	立川 章次	208301	18
芸術学〔日本美術〕	北野 良枝	208401	19
芸術学〔西洋美術〕	矢野 陽子	208501	19
芸術学〔音楽〕	浦本 裕子	208601	20
哲学〔西洋思想の源流〕	滝口 清栄	208701	20
哲学〔西洋思想の源流〕	佐藤 暁	208801	21
哲学〔西洋思想の源流〕	佐藤 暁	208901	21
哲学〔近代の人間観と世界観〕	古田 知章	209001	21
哲学〔近代の人間観と世界観〕	佐藤 暁	209101	22
哲学〔近代の人間観と世界観〕	小島 優子	209201	22
哲学〔現代文明と人間〕	黒崎 剛	209301	23
哲学〔現代文明と人間〕	滝沢 正之	209401	23
哲学〔現代文明と人間〕	麻生 享志	209501	24
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	209601	24
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	209801	24
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	210101	24
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	山口 祐弘	209701	25
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	滝口 清栄	209901	25
論理学〔知の技法〕	伊古田 理	210001	26
論理学〔知の技法〕	小島 優子	210201	26
科学史〔科学と技術〕	高橋 秀裕	210401	27
科学史〔近代科学の成立と展開〕	高橋 秀裕	210501	27
倫理学〔人間観〕	古田 知章	210601	28
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	210701	28
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	211111	28
倫理学〔応用倫理学〕	滝沢 正之	210901	29
倫理学〔価値観〕	久保 陽一	210801	29
倫理学〔制度とモラル〕	滝口 清栄	211001	30
倫理学〔東洋倫理〕	末木 恭彦	211101	30
宗教学〔比較宗教文化〕	池上 良正	211201	31
宗教学〔聖と俗〕	田中 かの子	211301	31
宗教学〔世界観と儀礼〕	小川 順敬	211401	32
宗教学〔日本人の宗教〕	矢野 秀武	211501	32

科目名	担当者名	履修コード	ページ
宗教学〔生活と宗教〕	菅原 壽清	211511	33
宗教学〔民俗宗教の諸相〕	星野 靖二	211521	33
人文地理学〔風土と文化〕	山口 太郎	211601	34
人文地理学〔風土と文化〕	櫻井 明久	211701	34
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 慎悟	211801	35
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 修一	211901	35
フレッシュマンセミナー	湯浅 陽子	357001	36
フレッシュマンセミナー	湯浅 陽子	357811	36
フレッシュマンセミナー	萩原 義雄	357101	37
フレッシュマンセミナー	佐原 作美	357201	38
フレッシュマンセミナー	鈴木 裕子	357301	38
フレッシュマンセミナー	坂口 博規	357401	38
フレッシュマンセミナー	藺部 幹生	357501	39
フレッシュマンセミナー	石割 透	357601	39
フレッシュマンセミナー	小林 治	357701	40
フレッシュマンセミナー	松田 直行	357801	40
日本文化基礎	佐原 作美	357901	41
日本文化基礎	鈴木 裕子	358001	41
日本文化基礎	湯浅 陽子	358101	42
日本文化基礎	藺部 幹生	358201	42
日本文化基礎	石割 透	358301	43
日本文化基礎	小林 治	358401	43
日本文化基礎	松田 直行	358501	44
日本言語文化基礎	萩原 義雄	358901	45
日本言語文化基礎	湯浅 陽子	358911	46
日本文化研究IA	坂口 博規	171101	47
日本文化研究IA	鈴木 裕子	171201	47
日本文化研究IA	藺部 幹生	172001	47
日本文化研究IA	佐原 作美	169701	48
日本文化研究IB	石割 透	170201	48
日本文化研究IB	小林 治	175501	49
日本文化研究IB	松田 直行	215711	49
日本文化研究IIA	佐原 作美	359001	50
日本文化研究IIA	鈴木 裕子	359101	50
日本文化研究IIA	坂口 博規	359201	50
日本文化研究IIA	藺部 幹生	359301	51
日本文化研究IIB	石割 透	359701	51
日本文化研究IIB	小林 治	359801	52
日本文化研究IIB	松田 直行	359901	52
日本言語文化研究I	萩原 義雄	170901	53
日本言語文化研究I	湯浅 陽子	215721	54
日本言語文化研究II	萩原 義雄	360601	55
日本言語文化研究II	湯浅 陽子	360701	56
実務表現	萩原 義雄	360901	57
実務表現	湯浅 陽子	361001	58
日本文化テーマ研究A	佐原 作美	168901	58
日本文化テーマ研究A	佐原 作美	168911	59
日本文化テーマ研究B	佐原 作美	169001	59
日本文化テーマ研究B	鈴木 裕子	169011	59
日本文化テーマ研究C	坂口 博規	169101	60

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本文化テーマ研究C	菌部 幹生	169111	60
日本文化テーマ研究D	坂口 博規	169201	60
日本文化テーマ研究D	菌部 幹生	169211	61
日本文化テーマ研究E	石割 透	169301	61
日本文化テーマ研究E	小林 治	169311	62
日本文化テーマ研究F	石割 透	169401	62
日本文化テーマ研究F	小林 治	169411	63
日本文化テーマ研究G (夏季集中)	松田 直行	169501	63
日本文化テーマ研究H	松田 直行	169601	64

(2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	南後 由和	215801	65
社会学〔現代社会を考える〕	呉 炳三	215901	65
社会学〔現代文化を考える〕	呉 炳三	216001	66
社会学〔現代文化を考える〕	牛島 千尋	216101	67
社会学〔社会生活を考える〕	小畑 和	216201	68
社会学〔社会生活を考える〕	呉 炳三	216301	68
統計学〔社会現象の統計的分析〕	田中 正光	216401	69
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	216501	69
文化人類学〔文化と人間〕	森 雅文	216701	70
文化人類学〔文化と人間〕	加藤 之晴	216801	70
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	216901	71
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	森 雅文	217001	72
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	鈴木 一馨	217101	72
文化人類学〔社会変化と価値観〕	小川 順敬	217201	73
文化人類学〔社会変化と価値観〕	内山 明子	217301	73
文化人類学〔社会変化と価値観〕	内山 明子	217401	73
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	217501	73
法学・憲法〔法と社会生活〕	和知 恵一	217601	74
法学・憲法〔法と社会生活〕	沼田 雅之	217701	75
法学・憲法〔法と社会生活〕	鷄徳 啓登	217801	76
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218101	76
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218201	76
法学・憲法〔法と国家〕	織田 晃子	218401	77
法学・憲法〔法と権利〕	沼田 雅之	217901	77
法学・憲法〔法と権利〕	茂野 隆晴	218501	78
法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)	池田 実	218601	78
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	白鳥 浩	218701	79
政治学〔政治システムと政治参加〕	富崎 隆	218801	79
政治学〔国際社会と日本〕	山崎 望	218901	80
経済学〔現代社会と市場経済〕	畠中 貴	219001	80
経済学〔現代経済と人間〕	森田 成也	219101	81
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	松前 龍直	219201	81
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	矢野 浩一	219301	82
社会科学論〔社会認識の思想〕	大石 雄爾	219401	82
教育学〔デス・エデュケーション〕	柳堀 素雅子	219501	83
教育心理〔大学生の心理〕	石橋 達也	219601	83

(3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	220201	84
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	220301	84
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	220401	84
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	220501	85
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	山縣 毅	220601	85
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	山縣 毅	220801	85
地球科学〔地球システムと人間圏〕	澤口 隆	220701	86
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	市川 清士	220901	86
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	市川 清士	221001	86
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	221101	87
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	221201	87
自然環境論〔生命と環境〕	持丸 真里	221301	87
自然環境論〔生命と環境〕	持丸 真里	221401	87
自然環境論〔生命と環境〕	持丸 真里	221601	87
自然環境論〔生命と環境〕	中村 敏枝	221701	88
自然環境論〔地球・太陽系環境〕	坂野井 和代	221501	88
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	221801	89
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	221901	89
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	222001	89
自然誌〔現代の自然像〕	清水 善和 ・篠原 正雄 ・持丸 真里 ・山縣 毅	222201	89
自然誌〔現代の自然像〕	清水 善和 ・篠原 正雄 ・持丸 真里 ・山縣 毅	222301	89
数学〔微積分学入門〕	古宇田 悠哉	222401	90
数学〔線型代数学入門〕	古宇田 悠哉	222501	90
数学〔現代数学入門〕	福田 賢一	222601	91
情報数学〔情報と論理〕	坂野井 和代	222701	91
物理学〔光と物質〕	篠原 正雄	222801	92
物理学〔光と物質〕	篠原 正雄	222901	92
化学〔衣食住の化学〕	持丸 真里	223001	92
化学〔衣食住の化学〕	持丸 真里	223101	92
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223201	92
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223301	92
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	谷本 玲大	223401	93
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	谷本 玲大	223701	93
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	谷本 玲大	223901	93
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	谷本 玲大	224201	93
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	223501	94
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小川 健次郎	223601	95
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小川 健次郎	224101	95
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	澤口 隆	223801	95
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	澤口 隆	224301	95
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	224001	96
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	古宇田 悠哉	224401	97

科目名	担当者名	履修コード	ページ
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	山本 博信	224601	97
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	長坂 浩史	224701	98
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224801	98
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224901	98
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	谷本 玲大	225001	99
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	谷本 玲大	225201	100
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	坂野井 和代	225601	101
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	坂野井 和代	225701	101
コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕	坂野井 和代	225801	101
コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕	坂野井 和代	225901	101
人類学〔人類の進化〕	馬場 悠男	226001	102
人類学〔人類の進化〕	馬場 悠男	226101	102
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	高橋 良博	226201	102
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	本間 美智子	226301	102
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	加藤 博己	226401	103
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	杉山 雅美	226501	103
心理学〔人間関係を考える〕	高橋 良博	226601	104
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	226701	105
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	226901	105
心理学〔人間関係を考える〕	加藤 博己	226801	106
心理学〔心を科学する〕	高橋 良博	227001	106
心理学〔心を科学する〕	堀内 正彦	227101	107
心理学〔心を科学する〕	中丸 茂	227201	108
心理学〔心を科学する〕(夏季集中)	深堀 友覚	227301	109

(4) 総合分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
総合I〔仏教と社会〕	熊本 英人	228201	110
総合I〔仏教と芸術〕	村松 哲文	228301	110
総合II〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	清水 善和 ・漆原 和子 ・坂野井 和代 ・篠原 正雄 ・須山 聡 ・出口 宏幸 ・持丸 真里 ・柳澤 紀夫 ・山縣 毅	228501	111
総合III〔TOEFL(R)の問題で学ぶ知的教養〕	白鳥 義博	228801	111
総合III〔小説と映画で読み解く現代中国〕	塩旗 伸一郎	228901	112
総合IV〔現代アメリカ事情〕	林 明人	229001	112
総合IV〔新市民社会論〕	西村 祐子	229101	113
総合IV〔ポスト・モダンの世界〕	丸小 哲雄	229201	114
総合V〔イギリスの歴史と文化〕	石原 孝鼓	229301	114
総合VI〔民族とは何か〕	大野 祐二	229601	115
総合VI〔イスラム〕	吉田 京子	229701	115
総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕	早川 紀代	229801	116
総合VII〔トラブルと法的解決〕	中濱 義章 ・井上 健一 ・北野 かほる ・佐藤 多美夫 ・中田 英幸 ・向田 正巳	229901	117
総合VII〔都市論〕	早川 純貴 ・饗庭 伸 ・浦田 早苗 ・堀内 康史 ・村上 暁信	230001	118
総合VIII	休講	—	

3. 外国語科目

《必修科目・選択必修科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA	植村 恵子	234101	121
英語IA	植村 恵子	235001	121
英語IA	風間 則比古	234201	121
英語IA	風間 則比古	235201	121
英語IA	池上 賀英子	234301	122
英語IA	池上 賀英子	234901	122
英語IA	清水 雅夫	234401	122
英語IA	太田 雅子	234501	122
英語IA	太田 雅子	236201	122
英語IA	市川 仁	234601	122
英語IA	井出 功一	234701	123
英語IA	吉川 直澄	234801	123
英語IA	吉川 直澄	235701	123
英語IA	尾形 重政	235101	123
英語IA	岩屋 玉江	235301	123
英語IA	熊沢 和明	235401	124
英語IA	相馬 美明	235501	124
英語IA	真砂 久晃	235601	124
英語IA	朝川 真紀	235611	125
英語IA	水崎 野里子	235621	125
英語IA	高見 陽子	235801	125
英語IA	塚本 利男	235901	126
英語IA	永野 光一	236001	126
英語IA	落合 真裕	236101	126
英語IA	渡部 孝治	236301	127
英語IA	甲斐 捷子	236401	127
英語IA〔基礎英語特別クラス〕	岸本 茂和	240221	127
英語IA〔基礎英語特別クラス〕	岡本 誠	240231	128
英語IB	勅使河原 三保子	240801	128
英語IB	勅使河原 三保子	241601	128
英語IB	国見 晃子	240901	129
英語IB	国見 晃子	241801	129
英語IB	国見 晃子	242301	129
英語IB	高橋 明子	241001	129
英語IB	高橋 明子	241401	129
英語IB	樋渡 俊光	241101	129
英語IB	丸小 哲雄	241201	130
英語IB	尾形 重政	241301	130
英語IB	尾形 重政	241701	130
英語IB	増田 恵子	241501	130
英語IB	高橋 明子	241901	131
英語IB	丸小 哲雄	242001	131

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IB	尾形 重政	242101	131
英語IB	樋渡 俊光	242201	132
英語IB	高橋 佳江	242311	132
英語IB	高橋 佳江	242501	132
英語IB	本間 章郎	242321	132
英語IB	本間 章郎	242601	132
英語IB	本間 章郎	242901	132
英語IB	依田 里花	242401	133
英語IB	依田 里花	242801	133
英語IB	依田 里花	243101	133
英語IB	増田 恵子	242701	133
英語IB	増田 恵子	243001	133
英語IB〔基礎英語特別クラス〕	勅使河原 三保子	246911	133
英語IIA	佐々木 隆	248701	134
英語IIA	加藤 佐和子	248801	134
英語IIA	高見 陽子	248901	134
英語IIA	古富 猛	248911	134
英語IIA	古富 猛	249001	135
英語IIA	大淵 利春	249101	135
英語IIA	狩野 晃一	249201	135
英語IIA	狩野 晃一	250101	135
英語IIA	近藤 真彰	249301	135
英語IIA	行廣 泰三	249401	136
英語IIA	松堂 啓子	249501	137
英語IIA	大淵 利春	249601	137
英語IIA	佐藤 江里子	249701	138
英語IIA	田中 靖子	249901	138
英語IIA	西村 祐子	250001	139
英語IIA	三芳 康義	250121	139
英語IIA	梅原 敏弘	250201	140
英語IIA	狩野 晃一	250301	140
英語IIA	尾上 典子	250401	140
英語IIA	古富 猛	250501	140
英語IIA	堀 千和子	250601	141
英語IIB	安齋 薫	255201	141
英語IIB	伊藤 美代子	255301	142
英語IIB	岩井 洋美	255401	142
英語IIB	江田 幸子	255411	142
英語IIB	太田 美智子	255501	143
英語IIB	落合 和昭	255601	144
英語IIB	小布施 圭佐三	255701	145
英語IIB	甲斐 捷子	255801	145
英語IIB	松堂 啓子	255901	146
英語IIB	勅使河原 三保子	256001	146
英語IIB	高野 秀夫 (後期) ・川崎 笑佳 (前期)	256101	147
英語IIB	大庭 直樹	256121	147

科目名	担当者名	履修コード	ページ
ドイツ語IA	松岡 晋	266201	148
ドイツ語IA	武田 利勝	266301	148
ドイツ語IA	杉本 正俊	266401	148
ドイツ語IA	杉本 正俊	266601	148
ドイツ語IA	野島 利彰	266701	149
ドイツ語IA	松岡 晋	266711	149
ドイツ語IB	南 はるつ	267101	149
ドイツ語IB	武田 利勝	267201	150
ドイツ語IB	岡本 時子	267301	150
ドイツ語IB	岡本 時子	267611	150
ドイツ語IB	藪下 紘一	267501	150
ドイツ語IB	武田 利勝	267601	151
ドイツ語IIA	松岡 晋	268101	151
ドイツ語IIA	松岡 晋	268311	151
ドイツ語IIA	飯塚 公夫	268111	151
ドイツ語IIA	武田 利勝	268301	152
ドイツ語IIB	藪下 紘一	268501	152
ドイツ語IIB	森 公成	268511	152
フランス語IA	佐藤 久美子	269101	152
フランス語IA	佐藤 久美子	269501	152
フランス語IA	東 辰之介	269201	153
フランス語IA	遠山 博雄	269301	153
フランス語IA	今関 アン	269601	153
フランス語IB	桑田 禮彰	270101	154
フランス語IB	桑田 禮彰	270501	154
フランス語IB	浜崎 設夫	270201	154
フランス語IB	谷川 かおる	270301	154
フランス語IB	長谷川 光明	270601	155
フランス語IIA	東 辰之介	271201	155
フランス語IIA	遠山 博雄	271211	155
フランス語IIA	遠山 博雄	271301	155
フランス語IIA	今関 アン	271401	155
フランス語IIB	畑中 千晶	271601	156
フランス語IIB	遠山 博雄	271611	156
中国語IA	根岸 政子	272201	156
中国語IB	下出 宣子	274601	156
中国語IA	小栗山 恵	272301	156
中国語IB	徳間 佳信	274701	156
中国語IA	橋本 幸枝	272401	157
中国語IB	張 渭涛	274801	157
中国語IA	本間 由香利	272501	157
中国語IB	曹 泰和	274901	157
中国語IA	吉田 建一郎	272601	157
中国語IB	布施 直子	275001	157
中国語IA	小川 隆	272701	157
中国語IB	小川 隆	275101	157
中国語IA	根岸 政子	272901	158
中国語IB	下出 宣子	275301	158
中国語IA	本間 由香利	273001	158
中国語IB	曹 泰和	275401	158
中国語IA	橋本 幸枝	273101	158

科目名	担当者名	履修コード	ページ
中国語IB	張 渭涛	275501	158
中国語IA	小栗山 恵	273201	158
中国語IB	徳間 佳信	275601	158
中国語IA	塩旗 伸一郎	273301	159
中国語IB	塩旗 伸一郎	275701	159
中国語IIA	吉田 建一郎	277201	159
中国語IIA	梅田 雅子	277301	159
中国語IIA	児島 弘一郎	277401	160
中国語IIA	弘兼 加奈子	277501	160
中国語IIA	秋元 翼	277601	160
中国語IIA	岩崎 皇	277701	160
中国語IIA	李 雲	277801	161
中国語IIA	児島 弘一郎	277811	161
中国語IB	児島 弘一郎	278301	161
中国語IB	秋元 翼	278401	161
中国語IB	李 雲	278501	162
中国語IB	本間 由香利	278511	162
スペイン語IA	佐藤 佐知	279401	162
スペイン語IA	佐藤 佐知	279801	162
スペイン語IA	ルイズティノコ、 C.	279501	162
スペイン語IA	ルイズティノコ、 C.	279901	162
スペイン語IA	中島 聡子	279601	163
スペイン語IA	上野 勝広	279611	163
スペイン語IB	佐藤 麻里乃	280701	163
スペイン語IB	米田 博美	280801	164
スペイン語IB	米田 博美	281101	164
スペイン語IB	栗林 ゆき絵	280901	164
スペイン語IB	荻野 恵	280911	165
スペイン語IB	佐藤 麻里乃	281201	165
スペイン語IIA	真下 祐一	282101	165
スペイン語IIA	石井 登	282111	166
スペイン語IIA	大岩 功	282121	166
スペイン語IIA	大岩 功	282301	166
スペイン語IIA	上野 勝広	282401	167
スペイン語IB	大岩 功	282601	167
スペイン語IB	上野 勝広	282611	167
スペイン語IB	齊藤 明美	282621	168
ロシア語IA	杉山 秀子	283301	168
ロシア語IA	佐野 朝子	283401	169
ロシア語IB	廣田 英靖	283701	169
ロシア語IB	廣田 英靖	283801	170
ロシア語IIA	木村 英明	284201	170
ロシア語IIA	杉山 秀子	284301	170
ロシア語IB	佐野 朝子	284501	171

《再履修クラス》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA〔再クラス〕	大淵 利春	291501	172
英語IA〔再クラス〕	山口 晃	291601	172
英語IA〔再クラス〕	伊藤 美代子	291701	172
英語IA〔再クラス〕	岩井 洋美	291801	172
英語IA〔再クラス〕	飯沼 好永	291901	173
英語IA〔再クラス〕	町田 成男	292001	173
英語IA〔再クラス〕	外池 一子	292301	173
英語IA〔再クラス〕	太田 由紀子	292601	174
英語IA〔再クラス〕	手島 敬子	292701	174
英語IB〔再クラス〕	三芳 康義	293201	174
英語IB〔再クラス〕	安齋 薫	293401	175
英語IB〔再クラス〕	濱口 真木	293601	175
英語IB〔再クラス〕	白鳥 義博	293901	175
英語IB〔再クラス〕	川崎 笑佳	294001	175
英語IB〔再クラス〕	岩原 康夫	294101	176
英語IB〔再クラス〕	近藤 真彫	294201	176
英語IB〔再クラス〕	江田 幸子	294211	176
英語IIA〔再クラス〕	太田 美智子	294601	177
英語IIA〔再クラス〕	塙 美智子	295001	177
英語IIA〔再クラス〕	小泉 和弘	295101	177
英語IIA〔再クラス〕	川崎 浩太郎	295301	177
英語IIA〔再クラス〕	佐藤 江里子	295401	178
英語IIA〔再クラス〕	梅原 敏弘	295501	178
英語IIA〔再クラス〕	笹倉 貞夫	295601	178
英語IIB〔再クラス〕	濱口 真木	295801	178
英語IIB〔再クラス〕	行廣 泰三	295901	179
英語IIB〔再クラス〕	高野 秀夫 (後期) ・ 甲斐 捷子 (前期)	296201	179
英語IIB〔再クラス〕	佐藤 江里子	296301	180
英語IIB〔再クラス〕	丸小 哲雄	296501	180
英語IIB〔再クラス〕	本間 俊一	296901	181
ドイツ語IA〔再クラス〕	本橋 右京	297101	181
ドイツ語IA〔再クラス〕	志真 斗美恵	297201	181
ドイツ語IA〔再クラス〕	武田 利勝	297401	182
ドイツ語IA〔再クラス〕	野島 利彰	297411	182
ドイツ語IB〔再クラス〕	飯塚 公夫	297501	182
ドイツ語IB〔再クラス〕	杉本 正俊	297601	182
ドイツ語IB〔再クラス〕	藪下 紘一	297801	183
ドイツ語IB〔再クラス〕	南 はるつ	297901	183
ドイツ語IIA〔再クラス〕	森 公成	298001	183
ドイツ語IIB〔再クラス〕	森 公成	298002	183
ドイツ語IIA〔再クラス〕	本橋 右京	298101	183
ドイツ語IIB〔再クラス〕	本橋 右京	298102	183
ドイツ語IIA〔再クラス〕	藪下 紘一	298201	184
ドイツ語IIB〔再クラス〕	藪下 紘一	298202	184
フランス語IA〔再クラス〕	芦原 脊	298801	184

科目名	担当者名	履修コード	ページ
フランス語IA〔再クラス〕	大野 英士	298901	184
フランス語IA〔再クラス〕	菅原 猛	299001	184
フランス語IA〔再クラス〕	谷川 かおる	299011	185
フランス語IB〔再クラス〕	菅谷 暁	299101	185
フランス語IB〔再クラス〕	今関 アン	299201	185
フランス語IB〔再クラス〕	伊藤 なお	299301	185
フランス語IB〔再クラス〕	谷川 かおる	299501	186
フランス語IIA〔再クラス〕	畑中 千晶	299601	186
フランス語IIB〔再クラス〕	畑中 千晶	299602	186
フランス語IIA〔再クラス〕	今関 アン	299701	186
フランス語IIA〔再クラス〕	今関 アン	299702	186
フランス語IIA〔再クラス〕	桑田 禮彰	299801	186
フランス語IIB〔再クラス〕	桑田 禮彰	299802	186
中国語IA〔再クラス〕	秋元 翼	300601	187
中国語IB〔再クラス〕	秋元 翼	300602	187
中国語IA〔再クラス〕	天野 節	301201	187
中国語IB〔再クラス〕	天野 節	301202	187
中国語IA〔再クラス〕	小川 隆	301301	187
中国語IB〔再クラス〕	小川 隆	301302	187
中国語IA〔再クラス〕	布施 直子	301401	187
中国語IB〔再クラス〕	布施 直子	301402	187
中国語IA〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301501	187
中国語IB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301502	187
中国語IA〔再クラス〕	曹 泰和	301511	188
中国語IB〔再クラス〕	曹 泰和	301512	188
中国語IIA〔再クラス〕	本間 由香利	301801	188
中国語IIB〔再クラス〕	本間 由香利	301802	188
中国語IIA〔再クラス〕	大久保 明男	301901	188
中国語IIB〔再クラス〕	大久保 明男	301902	188
中国語IIA〔再クラス〕	李 雲	302001	188
中国語IIB〔再クラス〕	李 雲	302002	188
スペイン語IA〔再クラス〕	大岩 功	302601	189
スペイン語IB〔再クラス〕	大岩 功	302602	189
スペイン語IA〔再クラス〕	齊藤 明美	302701	189
スペイン語IB〔再クラス〕	齊藤 明美	302702	189
スペイン語IA〔再クラス〕	石井 登	302801	189
スペイン語IB〔再クラス〕	石井 登	302802	189
スペイン語IA〔再クラス〕	荻野 恵	303001	190
スペイン語IB〔再クラス〕	荻野 恵	303002	190
スペイン語IA〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303011	190
スペイン語IB〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303012	190
スペイン語IIA〔再クラス〕	齊藤 明美	303101	190
スペイン語IIB〔再クラス〕	齊藤 明美	303102	190
スペイン語IIA〔再クラス〕	大岩 功	303201	191
スペイン語IIB〔再クラス〕	大岩 功	303202	191
スペイン語IIA〔再クラス〕	石井 登	303301	191
スペイン語IIB〔再クラス〕	石井 登	303302	191
ロシア語IA〔再クラス〕	廣田 英靖	303501	191
ロシア語IB〔再クラス〕	廣田 英靖	303502	191
ロシア語IA〔再クラス〕	佐野 朝子	303601	192
ロシア語IB〔再クラス〕	佐野 朝子	303602	192

科目名	担当者名	履修コード	ページ
ロシア語IA〔再クラス〕	木村 英明	303701	192
ロシア語IB〔再クラス〕	木村 英明	303702	192
ロシア語IA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303801	192
ロシア語IB〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303802	192
ロシア語IIA〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	303901	193
ロシア語IIB〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	303902	193
ロシア語IIA〔再クラス〕	大須賀 史和	304001	193
ロシア語IIB〔再クラス〕	大須賀 史和	304002	193
ロシア語IIA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	304101	193
ロシア語IIB〔再クラス〕	安徳 ニーナ	304102	193

《選 択 科 目》

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英文講読	林 明人	284901	194
英文講読	矢島 直子	285001	194
英文講読	前田 脩	285101	194
時事英語研究	岡本 誠	285701	195
時事英語研究	梅原 敏弘	285801	195
時事英語研究	白鳥 義博	285811	195
時事英語研究	落合 和昭	285901	196
時事英語研究	矢島 直子	285911	197
マルチ・メディア	落合 和昭	286501	198
マルチ・メディア	大庭 直樹	286601	199
マルチ・メディア	梅原 敏弘	286701	199
マルチ・メディア	大庭 直樹	286801	200
英会話I	セイジ、K	264201	200
英会話I	セイジ、K	264301	200
英会話I	セイジ、K	264601	200
英会話I	ウェルズ、J. K.	264401	201
英会話I	ウェルズ、J. K.	264501	201
英会話I	ウェルズ、J. K.	264801	201
英会話I	ウェルズ、J. K.	265321	201
英会話I	ミックエリゴッ ト、J. P.	264701	202
英会話I	ミックエリゴッ ト、J. P.	265001	202
英会話I	ミックエリゴッ ト、J. P.	265311	202
英会話I	レーン、C. M.	264901	202
英会話I	ロンゴ、T.	265101	203
英会話I	ロンゴ、T.	265301	203
英会話I	レイン、R. V.	265201	204
英会話II	セイジ、K	287401	204
英会話II	ロンゴ、T.	287501	205
英会話II	レイン、R. V.	287601	206
英会話III	ウェルズ、J. K.	287701	207
英会話III	レーン、C. M.	287801	208
英語LLI	西村 祐子	265401	209
英語LLI	岸本 茂和	265501	209
英語LLI	井伊 順彦	265601	210
英語LLI	川崎 浩太郎	265701	210
英語LLI	外池 一子	265801	210
英語LLI	外池 一子	265901	210
英語LLI	甲斐 捷子	266001	211
英語LLI	久保 ひさ子	266101	211

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語LLII	セイジ、 K	288501	211
英語LLII	高橋 明子	288601	212
英語LLII	加藤 佐和子	288701	212
英語LLIII	勅使河原 三保子	289301	212
英語LLIII	西村 祐子	289401	213
英語LLIII	久保 ひさ子	289501	213
名文で味わうドイツ語	松岡 晋	285201	214
現代を読むドイツ語	野島 利彰	286001	214
ドイツ語スキルアップ	堀内 美江	286901	214
ドイツ語コミュニケーションI	小林 ゲアリンデ	288001	215
ドイツ語コミュニケーションII	小林 ゲアリンデ	288801	215
ドイツ語IA (選)	武田 利勝	289601	215
ドイツ語IB (選)	井村 行子	290201	215
ドイツ語II (選)	井村 行子	290801	216
名文で味わうフランス語	東 辰之介	285301	216
現代を読むフランス語	桑田 禮彰	286101	216
フランス語スキルアップ	遠山 博雄	287001	216
フランス語コミュニケーションI	ラリア・三倉、M.	288101	217
フランス語コミュニケーションII	ラリア・三倉、M.	288901	217
フランス語IA (選)	東 辰之介	289701	217
フランス語IA (選)	出口 雅敏	289711	217
フランス語IB (選)	菅原 猛	290301	218
フランス語II (選)	桑田 禮彰	290901	218
名文で味わう中国語	塩旗 伸一郎	285401	218
現代を読む中国語	岩崎 皇	286201	218
中国語スキルアップ	児島 弘一郎	287101	219
中国語コミュニケーションI	陳 洲拳	288201	219
中国語コミュニケーションII	小川 隆	289001	219
中国語IA (選)	吉田 建一郎	289801	219
中国語IA (選)	岩崎 皇	289811	220
中国語IB (選)	大久保 明男	290401	220
中国語II (選)	三田村 圭子	291001	220
名文で味わうスペイン語	齊藤 明美	285501	221
現代を読むスペイン語	齊藤 明美	286301	221
スペイン語スキルアップ	上野 勝広	287201	221
スペイン語コミュニケーションI	モラーレス、ムニョス、S.	288301	222
スペイン語コミュニケーションII	モラーレス、ムニョス、S.	289101	222
スペイン語IA (選)	中島 聡子	289901	222
スペイン語IB (選)	齊藤 明美	290501	223
スペイン語II (選)	佐藤 麻里乃	291101	223
名文で味わうロシア語	廣田 英靖	285601	224
現代を読むロシア語	木村 英明	286401	224
ロシア語スキルアップ	クロチコフ、Y.	287301	224
ロシア語コミュニケーションI	安徳 ニーナ	288401	225

科目名	担当者名	履修コード	ページ
ロシア語コミュニケーションII	安徳 ニーナ	289201	225
ロシア語IA (選)	クロチコフ、Y.	290001	225
ロシア語IB (選)	木村 英明	290601	226
ロシア語II (選)	クロチコフ、Y.	291201	226
朝鮮語IA (選)	宋 美玲	290101	226
朝鮮語IB (選)	宋 美玲	290701	227
朝鮮語II (選)	宋 美玲	291211	227

4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習（室内球技）	鈴木 淳平	194501	231
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	岩本 哲也	194501	231
健康・スポーツ実習（ジョギング）	内山 雅博	194501	232
健康・スポーツ実習（卓球）	佐藤 政之	194501	232
健康・スポーツ実習（空手道）	高橋 俊介	194501	233
健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	竹田 幸夫	194501	233
健康・スポーツ実習（ゴルフ）	舘岡 儀秋	194501	234
健康・スポーツ実習（トレーニング）	光永 吉輝	194501	235
健康・スポーツ実習（ダブルダッチ）	末次 美樹	194501	236
健康・スポーツ実習（卓球）	下谷内 勝利	194601	236
健康・スポーツ実習（簡化太極拳）	末次 美樹	194601	237
健康・スポーツ実習（トレーニング）	光永 吉輝	194601	238
健康・スポーツ実習（ゴルフ）	舘岡 儀秋	194601	239
健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	竹田 幸夫	194601	240
健康・スポーツ実習（空手道）	高橋 俊介	194601	240
健康・スポーツ実習（室内球技）	鈴木 淳平	194601	241
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	194601	241
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	内山 雅博	194601	242
健康・スポーツ実習（トレーニング）	光永 吉輝	194701	243
健康・スポーツ実習（卓球）	下谷内 勝利	194701	244
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	岩本 哲也	194701	244
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	194701	245
健康・スポーツ実習（室内球技）	鈴木 淳平	194701	245
健康・スポーツ実習（空手道）	高橋 俊介	194701	246
健康・スポーツ実習（ジョギング）	佐藤 政之	194701	246
健康・スポーツ実習（ゴルフ）	舘岡 儀秋	194701	247
健康・スポーツ実習（キックボクササイズ）	末次 美樹	194701	247
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	195901	248
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196001	248
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196101	248
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196201	248
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196301	248
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	山口 良博 （前期）	196401	248
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ダブルダッチ）	末次 美樹 （前期）	196401	249
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳）	大石 武士 （前期）	196401	250
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン）	牧野 茂（前期）	196401	251
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）	鈴木 淳平 （後期）	196401	252
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール）	高橋 俊介 （後期）	196401	253
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（屋外球技）	岩本 哲也 （後期）	196401	254
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	村松 誠（後期）	196401	255

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196501	255
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196502	255
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196503	255
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196504	255
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196601	256
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196602	256
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196603	256
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (室内球技)	渡辺 一郎	196604	256
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196701	256
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196702	256
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196703	256
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196704	256
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196801	257
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196802	257
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196803	257
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196804	257
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196901	257
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196902	257
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196903	257
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	196904	257
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	197001	258
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	197002	258
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	197003	258
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (室内球技)	渡辺 一郎	197004	258
生涯スポーツ実習I (前期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197101	258
生涯スポーツ実習II (前期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197102	258
生涯スポーツ実習III (前期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197103	258
生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197104	258
生涯スポーツ実習I (後期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197201	259
生涯スポーツ実習II (後期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197202	259
生涯スポーツ実習III (後期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197203	259
生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (ミニサッカー)	大石 武士	197204	259
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197301	259
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197302	259
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197303	259
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197304	259
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197401	260
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197402	260
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197403	260
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (簡化太極拳)	大石 武士	197404	260
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (室内球技)	下谷内 勝利	197501	260
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (室内球技)	下谷内 勝利	197502	260
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (室内球技)	下谷内 勝利	197503	260
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (室内球技)	下谷内 勝利	197504	260
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (室内球技)	下谷内 勝利	197601	261
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (室内球技)	下谷内 勝利	197602	261
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (室内球技)	下谷内 勝利	197603	261
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (室内球技)	下谷内 勝利	197604	261
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (室内球技)	下谷内 勝利	197701	262
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (室内球技)	下谷内 勝利	197702	262
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (室内球技)	下谷内 勝利	197703	262

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197704	262
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197801	263
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197802	263
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197803	263
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197804	263
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（卓球）	村松 誠	197901	263
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（卓球）	村松 誠	197902	263
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（卓球）	村松 誠	197903	263
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（卓球）	村松 誠	197904	263
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（卓球）	村松 誠	198001	264
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（卓球）	村松 誠	198002	264
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（卓球）	村松 誠	198003	264
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（卓球）	村松 誠	198004	264
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198101	264
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198102	264
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198103	264
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198104	264
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198201	265
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198202	265
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198203	265
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198204	265
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198301	265
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198302	265
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198303	265
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198304	265
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198401	266
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198402	266
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198403	266
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198404	266
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198701	266
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198702	266
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198703	266
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198704	266
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198801	267
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198802	267
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198803	267
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198804	267
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（バスケットボール）	牧野 茂	198901	267
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（バスケットボール）	牧野 茂	198902	267
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（バスケットボール）	牧野 茂	198903	267
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（バスケットボール）	牧野 茂	198904	267
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（バスケットボール）	牧野 茂	199001	268
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（バスケットボール）	牧野 茂	199002	268
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（バスケットボール）	牧野 茂	199003	268
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（バスケットボール）	牧野 茂	199004	268

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生涯スポーツ演習I (シーズン基礎) (ゴルフ)	三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝	199301	269
生涯スポーツ演習I (シーズン応用) (ゴルフ)	三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝	199302	269
生涯スポーツ演習II (シーズン基礎) (スキー・スノーボード)	鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博	199401	270
生涯スポーツ演習II (シーズン応用) (スキー・スノーボード)	鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博	199402	270
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎) (テニス)	江口 淳一	199501	271
生涯スポーツ実習 (集中前期・応用) (テニス)	江口 淳一	199502	271
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎) (ゴルフ)	三幣 晴三	199701	272
生涯スポーツ実習 (集中後期・応用) (ゴルフ)	三幣 晴三	199702	272
健康・スポーツ論 1	下谷内 勝利	199901	272
健康・スポーツ論 1	江口 淳一	200101	273
健康・スポーツ論 1	佐藤 政之	201111	274
健康・スポーツ論 2	大石 武士	201201	274
健康・スポーツ論 2	下谷内 勝利	201401	275
健康・スポーツ論 2	村松 誠	201601	275
健康・スポーツ論 2	牧野 茂	201801	276

Ⅱ 専門教育科目

1. 国文学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本語文法入門	奈部 淑子	021061	279
日本語文法入門	土井 光祐	021051	279
国語学概論	土井 光祐	021052	279
国文学概論	近衛 典子	013201	280
基礎国語学	高田 智和	012101	280
基礎国語学	奈部 淑子	012201	280
基礎国文学I	田中 徳定	012301	280
基礎国文学I	湯浅 幸代	012401	281
基礎国文学I	近衛 典子	012501	281
基礎国文学II	出口 智之	012601	281
基礎国文学II	高田 知波	012701	282
基礎国文学II	勝原 晴希	012801	282
漢文学	和田 和子	012901	282
漢文学	和田 和子	013001	283
国文学史I(古典)	鈴木 裕子	013301	283
国文学史I(古典)	蘭部 幹生	013401	283
国文学史II(近現代)	小林 治	013501	284
国文学史II(近現代)	松田 直行	013601	285
国語史	山本 真吾	013701	285
国語学史	木村 一	013801	286
国語学研究I	木村 一	013901	286
国語学研究II	休講	014001	
上代文学研究I	中嶋 真也	014101	287
上代文学研究II	休講	014201	
中古文学研究I	松井 健児	014301	287
中古文学研究II	休講	014401	
中世文学研究I	櫻井 陽子	014501	288
中世文学研究II	休講	014601	
近世文学研究I	川元 ひとみ	014701	288
近世文学研究II	休講	014801	
近代文学研究I	榎本 正樹	014901	289
近代文学研究II	高田 知波	015001	289
国語学特講I	山本 真吾	015101	289
国語学特講II	高田 智和	015201	290
国文学特講I	吉田 幹生	015301	290
国文学特講II	渡部 泰明	015401	290
国文学特講III	渡部 泰明	015501	291
国文学特講IV	岩崎 雅彦	015601	291
国文学特講V	佐藤 武光	015701	291
国文学特講VI	津島 知明	015801	292
国文学特講VII	関根 賢司	015901	292
国文学特講VIII	池山 晃	016001	292
国文学特講IX	神田 由美子	016101	293
国文学特講X	国松 俊英	016201	293

科目名	担当者名	履修コード	ページ
国文学特講XI	榎本 正樹	016301	294
国語国文学演習I	土井 光祐	018001	294
国語国文学演習I	中嶋 真也	018101	295
国語国文学演習I	松井 健児	018301	295
国語国文学演習I	湯浅 幸代	018401	295
国語国文学演習I	櫻井 陽子	018501	296
国語国文学演習I	田中 徳定	018601	296
国語国文学演習I	林 達也	018801	297
国語国文学演習I	出口 智之	018901	297
国語国文学演習I	高田 知波	019001	297
国語国文学演習I	勝原 晴希	019101	298
国語国文学演習II	土井 光祐	019301	298
国語国文学演習II	中嶋 真也	019401	299
国語国文学演習II	湯浅 幸代	019501	299
国語国文学演習II	松井 健児	019601	300
国語国文学演習II	櫻井 陽子	019801	300
国語国文学演習II	田中 徳定	019901	301
国語国文学演習II	林 達也	020101	301
国語国文学演習II	榎本 正樹	020201	302
国語国文学演習II	高田 知波	020301	302
国語国文学演習II	勝原 晴希	020401	302
国語国文学演習III	土井 光祐	020601	303
国語国文学演習III	中嶋 真也	020701	303
国語国文学演習III	湯浅 幸代	020801	303
国語国文学演習III	松井 健児	020901	304
国語国文学演習III	櫻井 陽子	021001	304
国語国文学演習III	田中 徳定	021101	304
国語国文学演習III	川元 ひとみ	021201	304
国語国文学演習III	林 達也	021301	305
国語国文学演習III	小林 治	021401	305
国語国文学演習III	高田 知波	021501	305
国語国文学演習III	勝原 晴希	021601	305
中国文学	田熊 信之	016401	306
比較文学	内藤 まりこ	017001	306
児童文学	国松 俊英	016901	306
有職故実	近藤 好和	016501	307
日本民俗学	谷口 貢	017101	307
民間信仰論	谷口 貢	017901	307
日本史概説	松本 信道	043711	308
日本文化史	廣瀬 良弘	047111	308
東洋思想史	末木 恭彦	016801	309
西洋思想史	滝沢 正之	016701	309
美術史概説	北野 良枝	017801	309
演劇概論	森井 直子	016601	310
書道概論	金子 大蔵	017401	310
書道史	那須 隆吉	017301	311
書道実習I	金子 大蔵	017501	311
書道実習II	那須 隆吉	017601	312
書道実習III	那須 隆吉	017701	312
編集実務	長谷川 孝	017201	313

2. 英米文学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語演習	唐澤 一友	023101	317
作品講読I	唐澤 一友	023102	317
英語演習	逢見 明久	023201	317
作品講読I	逢見 明久	023202	317
英語演習	佐藤 真二	023301	317
作品講読I	佐藤 真二	023302	317
英語演習	川崎 明子	023401	318
作品講読I	川崎 明子	023402	318
スピーチ・アンド・コミュニケーションI	モート、セーラ	023501	318
スピーチ・アンド・コミュニケーションI	レイン、R. V.	023601	318
スピーチ・アンド・コミュニケーションI	マーティン、S. F.	023701	319
スピーチ・アンド・コミュニケーションI	マーティン、S. F.	023801	319
作品講読	加藤 光也	023901	319
作品講読II	加藤 光也	023902	319
作品講読	川崎 明子	024001	320
作品講読II	川崎 明子	024002	320
作品講読	高野 正夫	024101	320
作品講読II	高野 正夫	024102	320
作品講読	東 雄一郎	024201	321
作品講読II	東 雄一郎	024202	321
スピーチ・アンド・コミュニケーションII	ブランケン、D. L.	024301	322
スピーチ・アンド・コミュニケーションII	ブランケン、D. L.	024401	322
スピーチ・アンド・コミュニケーションII	モート、セーラ	024501	322
スピーチ・アンド・コミュニケーションII	ハバード、W. D.	024601	323
英語学概論	佐藤 真二	024701	323
英語表現法	高野 正夫	024801	323
英語表現法	河崎 征俊	024901	324
英語表現法	佐藤 千春	025001	324
英語表現法	逢見 明久	025101	324
英語史	唐澤 一友	025501	325
3年次ゼミ	唐澤 一友	030181	325
3年次ゼミ	逢見 明久	030191	326
3年次ゼミ	河崎 征俊	030201	326
3年次ゼミ	高野 正夫	030401	327
3年次ゼミ	モート、セーラ	030601	327
3年次ゼミ	東 雄一郎	030801	328
3年次ゼミ	佐藤 千春	030901	328
3年次ゼミ	佐藤 真二	031101	329
3年次ゼミ	川崎 明子	031191	329
3年次ゼミ	加藤 光也	031201	330
アメリカ文学史	佐藤 千春	025201	330
イギリス文学史I	河崎 征俊	025301	331
イギリス文学史II	加藤 光也	025401	331

科目名	担当者名	履修コード	ページ
イギリス文学特講I	石原 孝哉	025601	331
イギリス文学特講II	高野 正夫	025701	332
イギリス文学特講III	濱口 真木	025801	332
イギリス文学特講IV	川崎 明子	025901	333
イギリス文学特講V	モート、セーラ	026001	334
イギリス文学特講VI	丸小 哲雄	026101	334
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	落合 和昭	026201	335
演劇演習 (イギリス・アメリカ)	逢見 明久	026301	336
アメリカ文学特講I	東 雄一郎	026401	336
アメリカ文学特講II	馬場 聡	026501	337
アメリカ文学特講IV	逢見 明久	026701	337
アメリカ文学特講V	西原 克政	026801	337
イギリス文学演習I	河崎 征俊	026901	338
イギリス文学演習II	川崎 明子	027001	338
イギリス文学演習III	高野 正夫	027101	339
イギリス文学演習V	大淵 利春	027301	339
アメリカ文学演習I	東 雄一郎	027401	340
アメリカ文学演習II	馬場 聡	027501	340
アメリカ文学演習III	松本 昇	027601	341
アメリカ文学演習IV	古富 猛	027701	341
アメリカ文学演習V	佐藤 千春	027801	341
時事英語	唐澤 一友	027901	341
商業英語	秋葉 滋	028001	342
ラテン語	上野 勝広	028101	342
ギリシャ語	長谷川 岳男	028201	343
英米文化	広川 治	028301	343
外国文学	真下 祐一	028401	343
英米思想史	麻生 享志	028501	344
現代美術	矢野 陽子	028601	344
日本文化史	廣瀬 良弘	047111	345
翻訳演習	加藤 光也	026611	345
英作文演習	東 雄一郎	028801	346
英作文演習	川崎 明子	028901	346
英語学演習I	菅原 勉	029001	347
英語学演習I	菅原 勉	029101	348
英語学演習II	唐澤 一友	029201	348
英語学演習III	町田 尚子	029301	349
英語学演習IV	狩野 晃一	029401	349
TOEIC (R)・TOEFL (R) 講座	ブランケン、D. L.	029511	350
TOEIC (R)・TOEFL (R) 講座	レイン、R. V.	029521	350
オーラル・イングリッシュ	マーティン、S. F.	029601	351
オーラル・イングリッシュ	ハバード、W. D.	029701	351
オーラル・イングリッシュ	レイン、R. V.	029801	352
オーラル・イングリッシュ	ハバード、W. D.	029901	352
オーラル・イングリッシュ	ナトウシュ、B. A.	030001	352

科目名	担当者名	履修コード	ページ
オーラル・イングリッシュ	ナトウシュ、B. A.	030101	352
4年次ゼミ	河崎 征俊	031211	353
4年次ゼミ	高野 正夫	031231	353
4年次ゼミ	モート、セーラ	031241	353
4年次ゼミ	東 雄一郎	031251	354
4年次ゼミ	佐藤 千春	031261	354
4年次ゼミ	佐藤 真二	031271	354
4年次ゼミ	加藤 光也	031281	355
4年次ゼミ	唐澤 一友	031291	355
4年次ゼミ	逢見 明久	031321	355
4年次ゼミ	川崎 明子	031331	355

3. 地理学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
自然地理学入門	江口 卓 ・高木 正博 ・田中 靖 ・長沼 信夫 ・早船 元峰 ・平井 幸弘	038201	359
地域環境研究概説	江口 卓 ・高木 正博 ・田中 靖 ・長沼 信夫 ・早船 元峰 ・平井 幸弘	038202	359
自然地理学概論	早船 元峰	043102	359
自然地理学概論	高木 正博	043202	360
人文地理学入門	櫻井 明久 ・小田 匡保 ・佐藤 哲夫 ・須山 聡 ・高橋 健太郎 ・土谷 敏治 ・橋詰 直道	032501	361
地域文化研究概説	櫻井 明久 ・小田 匡保 ・佐藤 哲夫 ・須山 聡 ・高橋 健太郎 ・土谷 敏治 ・橋詰 直道	032502	361
人文地理学概論	中村 剛	036903	362
人文地理学概論	中村 剛	037003	362
自然地理学実習（地図学実習含む）	江口 卓	031701	362
自然地理学実習（地図学実習含む）	長沼 信夫	031801	362
自然地理学実習（地図学実習含む）	早船 元峰	031901	363
自然地理学実習（地図学実習含む）	平井 幸弘	037601	363
自然地理学実習（地図学実習含む）	江口 卓	037701	363
自然地理学実習（地図学実習含む）	長沼 信夫	037801	363
人文地理学実習（地図学実習含む）	橋詰 直道	032101	364
人文地理学実習（地図学実習含む）	須山 聡	032201	364
人文地理学実習（地図学実習含む）	小田 匡保	032301	365
人文地理学実習（地図学実習含む）	高橋 健太郎	037901	365
人文地理学実習（地図学実習含む）	佐藤 哲夫	038001	365
人文地理学実習（地図学実習含む）	土谷 敏治	038101	366
地域概論	櫻井 明久	033301	366
地図学	野々村 邦夫	038901	367
村落地理学	高橋 健太郎	032701	367
都市地理学	橋詰 直道	032801	368

科目名	担当者名	履修コード	ページ
交通地理学	土谷 敏治	032901	368
文化地理学	小田 匡保	033101	369
文化生態学	中俣 均	032601	369
歴史地理学	小田 匡保	033001	370
地域研究論	佐藤 哲夫	033351	370
リモートセンシング	田中 靖	038801	371
環境地理学	早船 元峰	038301	371
計量地理学	土谷 敏治	038601	372
応用地理学	高木 正博	038501	372
地域計画論	原 昭夫	038701	373
地理情報論	王尾 和寿	038401	373
地域文化調査法（現地調査含む）A	休講	033401	
地域文化調査法（現地調査含む）B	休講	033501	
地域文化調査法（現地調査含む）C	小田 匡保	033601	374
地域文化調査法（現地調査含む）D	櫻井 明久	033701	374
地域文化調査法（現地調査含む）E	須山 聡	033801	374
地域文化調査法（現地調査含む）F	土谷 敏治	033901	375
地域環境調査法（現地調査含む）A	平井 史生	039001	375
地域環境調査法（現地調査含む）B	休講	039101	
地域環境調査法（現地調査含む）C	高木 正博	039201	376
地域環境調査法（現地調査含む）D	休講	039301	
地域環境調査法（現地調査含む）E	長沼 信夫	039401	376
地域環境調査法（現地調査含む）F	休講	039501	
地域文化演習A	休講	035601	
地域文化演習B	休講	035701	
地域文化演習C	佐藤 哲夫	035801	377
地域文化演習D	高橋 健太郎	035901	377
地域文化演習E	橋詰 直道	036001	378
地域文化演習F	休講	036101	
地域環境演習A	休講	041401	
地域環境演習B	休講	041501	
地域環境演習C	田中 靖	041601	378
地域環境演習D	早船 元峰	041701	378
地域環境演習E	休講	041801	
地域環境演習F	休講	041901	
地域調査入門A	休講	034011	
地域調査入門B	高橋 健太郎	034021	379
地域調査入門C	佐藤 哲夫	034031	379
地域調査入門D	休講	039611	
地域調査入門E	江口 卓	039621	379
地域調査入門F	休講	039631	
地理学演習	佐藤 哲夫	036201	380
地理学演習	須山 聡	036301	380
地理学演習	小田 匡保	036401	381
地理学演習	高橋 健太郎	036501	381
地理学演習	橋詰 直道	036601	381
地理学演習	櫻井 明久	036701	382
地理学演習	土谷 敏治	036801	382
地理学演習	長沼 信夫	042001	382
地理学演習	早船 元峰	042101	383
地理学演習	高木 正博	042201	383

科目名	担当者名	履修コード	ページ
地理学演習	江口 卓	042301	383
地理学演習	平井 幸弘	042401	383
地理学演習	田中 靖	042501	384
図学実習	清水 長正	039801	384
日本地誌	橋詰 直道	034201	384
外国地誌特講	湯田 ミノリ	034301	385
アジア地誌	高橋 健太郎 ・江口 卓	034401	385
アメリカ地誌	二村 太郎	034501	386
ヨーロッパ地誌	岩間 信之	034601	386
経済地理学	矢延 洋泰	034701	387
産業地域論	須山 聡	034801	387
地形学	平井 幸弘	039901	388
地形学実習	清水 長正	040001	388
社会地理学	伊藤 修一	034901	389
外書講読	佐藤 哲夫	035001	389
気候学	江口 卓	040101	390
気候学実習	江口 卓	040201	390
水文学	長沼 信夫	040301	390
水文学実習	高木 正博	040401	391
人口地理学	平井 誠	035101	391
歴史地理学実習	小田 匡保	035201	392
地球物理学	柳田 誠	040501	392
景観地理学	須山 聡	041311	392
土壌地理学	漆原 和子	040601	393
生物地理学	酒井 暁子	040701	393
計量地理学実習	土谷 敏治	040801	394
測量学	田中 靖	040901	394
第四紀学	鈴木 毅彦	041101	395
現代地理学特論	平井 幸弘	041001	395
地理学特講I	橋詰 直道	041201	396
地理学特講II	長沼 信夫	035301	396
地理学特講III	澤渡 貞男	035401	397
地理学特講IV	山縣 毅	035501	397
地理学特講V	平井 史生	041301	398
GIS実習	田中 靖	039551	398

4. 歴史学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本史学基礎演習	熊本 史雄	043311	401
基礎歴史学	熊本 史雄	043312	401
日本史学基礎演習	小泉 雅弘	043411	401
基礎歴史学	小泉 雅弘	043412	401
日本史学基礎演習	中野 達哉	043541	401
基礎歴史学	中野 達哉	043542	401
東洋史学基礎演習	中村 淳	043511	402
基礎歴史学	中村 淳	043512	402
東洋史学基礎演習	杉山 清彦	043521	402
基礎歴史学	杉山 清彦	043522	402
西洋史学基礎演習	大城 道則	055621	402
基礎歴史学	大城 道則	055622	402
西洋史学基礎演習	佐々木 真	055631	403
基礎歴史学	佐々木 真	055632	403
考古学基礎演習	設楽 博己	043531	403
基礎歴史学	設楽 博己	043532	403
日本史概説I	松本 信道	043712	403
日本史概説	松本 信道	043711	403
日本史概説II	野尻 かおる	056303	404
日本史概説	野尻 かおる	056301	404
日本史概説II	小泉 雅弘	056403	404
日本史概説	小泉 雅弘	056401	404
東洋史概説I	石井 仁	043912	405
東洋史概説	石井 仁	043911	405
東洋史概説II	小林 惣八	056503	405
世界史概説	小林 惣八	056501	405
西洋史概説I	佐々木 真	044112	405
西洋史概説	佐々木 真	044111	405
西洋史概説II	井村 行子	044203	406
世界史概説	井村 行子	044201	406
考古学概説I	酒井 清治	044303	406
日本考古学概説	酒井 清治	044301	406
考古学概説II	三宅 俊彦	044403	407
外国考古学概説	三宅 俊彦	044401	407
史学概論	伏島 正義	043601	407
日本史学史	湯浅 隆	045301	408
考古学史	小柳 美樹	045601	408
日本史学演習I	瀧音 能之	053601	409
演習I	瀧音 能之	053602	409
日本史学演習I	松本 信道	054701	409
演習I	松本 信道	054702	409
日本史学演習I	廣瀬 良弘	053501	409
演習I	廣瀬 良弘	053502	409
日本史学演習I	久保田 昌希	054001	410
演習I	久保田 昌希	054002	410
日本史学演習I	中野 達哉	053401	410
演習I	中野 達哉	053402	410
日本史学演習I	湯浅 隆	053801	410

科目名	担当者名	履修コード	ページ
演習I	湯浅 隆	053802	410
日本史学演習I	小泉 雅弘	053701	411
演習I	小泉 雅弘	053702	411
日本史学演習I	熊本 史雄	053901	411
演習I	熊本 史雄	053902	411
東洋史学演習I	中村 淳	054101	411
演習I	中村 淳	054102	411
東洋史学演習I	杉山 清彦	054201	412
演習I	杉山 清彦	054202	412
東洋史学演習I	石井 仁	054211	412
演習I	石井 仁	054212	412
西洋史学演習I	佐々木 真	054301	412
演習I	佐々木 真	054302	412
西洋史学演習I	伏島 正義	054401	413
演習I	伏島 正義	054402	413
西洋史学演習I	大城 道則	054711	413
演習I	大城 道則	054712	413
考古学演習I	酒井 清治	054501	413
演習I	酒井 清治	054502	413
考古学演習I	小柳 美樹	054601	414
演習I	小柳 美樹	054602	414
考古学演習I	設楽 博己	054611	414
演習I	設楽 博己	054612	414
日本史学演習II	瀧音 能之	055001	415
演習II	瀧音 能之	055002	415
日本史学演習II	松本 信道	056201	415
演習II	松本 信道	056202	415
日本史学演習II	廣瀬 良弘	054901	415
演習II	廣瀬 良弘	054902	415
日本史学演習II	久保田 昌希	055401	416
演習II	久保田 昌希	055402	416
日本史学演習II	中野 達哉	054801	416
演習II	中野 達哉	054802	416
日本史学演習II	湯浅 隆	055201	416
演習II	湯浅 隆	055202	416
日本史学演習II	小泉 雅弘	055101	417
演習II	小泉 雅弘	055102	417
日本史学演習II	熊本 史雄	055301	417
演習II	熊本 史雄	055302	417
東洋史学演習II	中村 淳	055501	417
演習II	中村 淳	055502	417
東洋史学演習II	杉山 清彦	055601	417
演習II	杉山 清彦	055602	417
東洋史学演習II	石井 仁	055611	418
演習II	石井 仁	055612	418
西洋史学演習II	佐々木 真	055701	418
演習II	佐々木 真	055702	418
西洋史学演習II	伏島 正義	055801	418
演習II	伏島 正義	055802	418
西洋史学演習II	大城 道則	056211	419

科目名	担当者名	履修コード	ページ
演習II	大城 道則	056212	419
考古学演習II	酒井 清治	055901	419
演習II	酒井 清治	055902	419
考古学演習II	三宅 俊彦	056001	419
演習II	三宅 俊彦	056002	419
考古学演習II	設楽 博己	056101	420
演習II	設楽 博己	056102	420
考古発掘実習	酒井 清治 ・設楽 博己	046201	420
日本史史料講読I	瀧音 能之	044501	420
日本史史料講読II	久保田 昌希	044601	421
日本史史料講読III	中野 達哉	044701	421
日本史史料講読IV	小泉 雅弘	044801	421
古文書研究I	吉田 政博	046401	422
古文書講読I	吉田 政博	046402	422
古文書研究II	湯淺 隆	046501	422
古文書講読II	湯淺 隆	046502	422
記録史料学I	松本 信道 ・久保田 昌希 ・中野 達哉	046301	423
古文書学	松本 信道 ・久保田 昌希 ・中野 達哉	046302	423
記録史料学II	熊本 史雄 ・小泉 雅弘	044811	424
東洋史文献史料講読I	石井 仁	044901	425
東洋史史料講読I	石井 仁	044902	425
東洋史文献史料講読II	休講	045001	
東洋史史料講読I	休講	045002	
東洋史文献史料講読III	中村 淳	045011	425
東洋史史料講読I	中村 淳	045012	425
東洋史文献史料講読IV	休講	045021	
東洋史史料講読I	休講	045022	
東洋史文献史料講読V	杉山 清彦	045031	426
東洋史史料講読I	杉山 清彦	045032	426
東洋史文献史料講読VI	休講	045041	
東洋史史料講読I	休講	045042	
東洋史文献史料講読VII	津田 資久	045051	427
東洋史史料講読II	津田 資久	045052	427
東洋史文献史料講読VIII	休講	045061	
東洋史史料講読II	休講	045062	
東洋史文献史料講読IX	石川 重雄	045071	428
東洋史史料講読II	石川 重雄	045072	428
東洋史文献史料講読X	休講	045081	
東洋史史料講読II	休講	045082	
東洋史文献史料講読XI	上田 裕之	045091	428
東洋史史料講読II	上田 裕之	045092	428
東洋史文献史料講読XII	休講	045111	
東洋史史料講読II	休講	045112	
西洋史文献史料講読I	伏島 正義	045101	429

科目名	担当者名	履修コード	ページ
西洋史史料講読I	伏島 正義	045102	429
西洋史文献史料講読II	休講	045201	/
西洋史史料講読I	休講	045202	/
西洋史文献史料講読III	佐々木 真	045211	429
西洋史史料講読I	佐々木 真	045212	429
西洋史文献史料講読IV	休講	045221	/
西洋史史料講読I	休講	045222	/
西洋史文献史料講読V	大城 道則	045231	429
西洋史史料講読I	大城 道則	045232	429
西洋史文献史料講読VI	休講	045241	/
西洋史史料講読I	休講	045242	/
西洋史文献史料講読VII	井上 文則	045251	430
西洋史史料講読II	井上 文則	045252	430
西洋史文献史料講読VIII	休講	045261	/
西洋史史料講読II	休講	045262	/
西洋史文献史料講読IX	菊池 紘一	045271	430
西洋史史料講読II	菊池 紘一	045272	430
西洋史文献史料講読X	休講	045281	/
西洋史史料講読II	休講	045282	/
西洋史文献史料講読XI	土方 史織	045291	430
西洋史史料講読II	土方 史織	045292	430
西洋史文献史料講読XII	休講	045311	/
西洋史史料講読II	休講	045312	/
考古学実習(写真)	塚原 明生	045701	431
考古学実習(測量)	古庄 浩明	045801	431
考古学実習(実測)	杉山 浩平	045911	431
考古学実習(情報)	小柳 美樹	046101	432
日本古代史	瀧音 能之	047311	432
日本中世史	久保田 昌希	047411	433
日本近世史	中野 達哉	047511	433
日本近代史	熊本 史雄	047611	434
日本史特講II〔古代〕	八馬 朱代	047801	435
日本史特講III〔中世〕	小松 寿治	047901	435
日本史特講IV〔中世〕	浅倉 直美	048101	435
日本史特講V〔近世〕	小高 昭一	048201	436
日本史特講VI〔近世〕	桜井 昭夫	048301	436
日本史特講VII〔近代〕	熊本 史雄	048401	437
日本史特講VIII〔近代〕	勝田 政治	048411	438
東洋史各説I〔古代史〕	休講	048511	/
東洋史各説II〔古代史〕	山口 洋	048611	438
東洋史各説III〔中世史〕	石田 肇	048711	438
東洋史各説IV〔近世史〕	宮寄 洋一	048811	439
東洋史各説V〔近・現代史〕	趙 軍	048911	439
東洋史各説VI〔アジア諸民族史〕	奈良 修一	049011	440
東洋史学史	奈良 修一	049012	440
東洋史特講I〔古代史〕	石井 仁	049511	440
東洋史特講II〔中世史〕	中村 淳	049611	441
東洋史特講III〔近世史〕	杉山 清彦	049711	441
東洋史特講IV〔近・現代史〕	藤谷 浩悦	049811	442
東洋史特講V〔アジア諸民族史〕	小沼 孝博	049911	442

科目名	担当者名	履修コード	ページ
東洋史特講VI〔アジア諸民族史〕	四日市 康博	050011	443
西洋史各説I	庄司 啓一	051001	443
西洋史各説II	休講	051101	
西洋史各説III	長谷川 岳男	051201	444
西洋史各説IV	佐々木 真	051301	444
西洋史学史	佐々木 真	051302	444
西洋史特講I	休講	051401	
西洋史特講II	伏島 正義	051501	445
西洋史特講III	休講	051601	
西洋史特講IV	白川 耕一	051701	445
西洋史特講V	休講	051801	
西洋史特講VI	大城 道則	051811	446
西洋史特講VII	休講	051821	
西洋史特講VIII	河野 淳	051831	446
考古学各説I	休講	052311	
考古学各説II	近藤 英夫	052411	447
考古学各説III	休講	052511	
考古学各説IV	三宅 俊彦	052611	447
考古学特講I	休講	052711	
考古学特講II	酒井 清治	052811	447
考古学特講III	休講	052911	
考古学特講IV	設楽 博己	052921	448
考古学特講V	休講	053011	
考古学特講VI	杉山 浩平	053021	448
考古学特講VII	休講	053031	
考古学特講VIII	矢野 和之	053041	448
日本仏教史	松本 信道	046601	449
日本文化史	廣瀬 良弘	047111	449
西洋文化史	西浦 麻美子	046911	449
有職故実	近藤 好和	016501	450
日本民俗学	谷口 貢	017101	450
歴史地理学	小田 匡保	033001	450
人文地理学概説	中村 剛	036902	451
人文地理学概説	中村 剛	037002	451
地誌学	川元 豊和	037102	451
地誌学	湯田 ミノリ	037202	452
地誌学	山口 太郎	037302	452
哲学史	山口 祐弘	053201	453
中国歴史文学	田熊 信之	016402	453
仏教美術	村松 哲文	006201	454
西域美術史	松平 美和子	053101	454
美術史概説	北野 良枝	017801	454
ラテン語	上野 勝広	028101	455
ギリシャ語	長谷川 岳男	028201	455

5. 社会学科 (社会学専攻)

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学概論	坪井 健	057501	459
社会調査	牛島 千尋	057601	460
社会学基礎研究	山田 信行 ・牛島 千尋 ・片岡 栄美 ・坪井 健 ・松信 ひろみ	057701	460
情報処理実習	軽部 幸浩	057801	461
情報処理実習	軽部 幸浩	057901	461
情報処理実習	軽部 幸浩	058001	461
調査統計基礎演習	上野 淳子	058101	462
調査統計基礎演習	片岡 栄美	058201	463
調査統計基礎演習	池田 心豪	058301	464
社会学史	出口 剛司	058401	465
社会学古典研究	山田 信行	058221	465
質的調査法演習	田中 研之輔	058241	466
外書講読演習	山田 信行	058281	466
市民社会論	休講	058311	
社会心理学A	坪井 健	058331	467
都市社会学A	牛島 千尋	058351	467
産業と変動の社会学	山田 信行	058371	468
雇用と労働の社会学	山田 信行	058381	468
マス・コミュニケーション論A	川本 勝	058411	469
マス・コミュニケーション論B	川本 勝	058421	469
文化社会学A	片岡 栄美	058431	470
文化社会学B	片岡 栄美	058441	470
家族とジェンダーの社会学A	松信 ひろみ	058451	471
家族とジェンダーの社会学B	松信 ひろみ	058461	471
社会統計学演習	片岡 栄美	060201	472
社会調査実習	松信 ひろみ	060301	473
社会調査実習	神長 唯	060311	474
社会調査実習	上野 淳子	060321	475
社会学演習I	休講	060801	
社会学演習I	山田 信行	060901	475
社会学演習I	川本 勝	061101	475
社会学演習I	坪井 健	061301	476
社会学演習I	休講	061401	
社会学演習I	牛島 千尋	061501	476
社会学演習I	松信 ひろみ	061511	476
社会学演習II	休講	061601	
社会学演習II	川本 勝	061801	477
社会学演習II	坪井 健	062001	477
社会学演習II	休講	062101	
社会学演習II	山田 信行	062201	477
社会学演習II	片岡 栄美	062301	478
社会学演習II	松信 ひろみ	062311	479
行政法	鶏徳 啓登	058501	479
民法	大宮 隆	058551	479

科目名	担当者名	履修コード	ページ
政治社会論	岩瀬 庸理	058611	480
宗教文化論A	芳賀 学	058641	480
宗教文化論B	芳賀 学	058651	481
国際社会論	山田 信行	058671	481
異文化コミュニケーション論	坪井 健	058681	482
犯罪と逸脱の社会学A	岡邊 健	058711	482
犯罪と逸脱の社会学B	岡邊 健	058721	483
災害社会学	小嶋 直子	058741	483
環境社会学	神長 唯	058751	483
社会学特殊講義A	片岡 栄美	058821	484
社会学特殊講義B	休講	058831	
社会学特殊講義C	牛島 千尋	058851	484
社会学特殊講義D	休講	058861	
現代社会学理論研究	岩瀬 庸理	058881	485
社会学原論	橋爪 敏	060001	485
社会保障論	長尾 譲治	065001	486
老人福祉論	東條 光雅	065521	487
児童福祉論	村田 一昭	065621	488
地域福祉論	川上 富雄	065901	489
環境心理学	西出 和彦	073401	489
児童心理学	澤田 匡人	073501	490
産業心理学	申 紅仙	073601	490
老年心理学	植田 恵	073701	491
宗教人類学	佐藤 憲昭	075001	491
教育社会学	伊藤 茂樹	085702	492
社会政策	光岡 博美	091001	492
労働法	藤本 茂	098801	493
経済原論	村松 幹二	117501	494

6. 社会学科 (社会福祉学専攻)

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会福祉原論	伊藤 秀一	062801	497
情報処理論	軽部 幸浩	063001	498
情報処理論	軽部 幸浩	063101	498
情報処理論	軽部 幸浩	063201	498
社会福祉援助技術総論	荒井 浩道	063301	499
法学(福祉)	鶏徳 啓登	062901	499
社会福祉基礎演習	小畑 和	068801	500
社会福祉基礎演習	東條 光雅	068901	500
社会福祉基礎演習	伊藤 秀一	069001	500
社会福祉基礎演習	桐原 宏行	069101	501
社会福祉専門演習I	伊藤 秀一	069501	501
社会福祉専門演習I	東條 光雅	069601	501
社会福祉専門演習I	佐藤 光正	069701	502
社会福祉専門演習I	桐原 宏行	069801	502
社会福祉専門演習I	長尾 譲治	069901	503
社会福祉専門演習I	川上 富雄	070001	503
社会福祉専門演習I	荒井 浩道	070011	503
社会福祉専門演習II	荒井 浩道	061911	504
社会福祉専門演習II	東條 光雅	070101	504
社会福祉専門演習II	小畑 和	070201	504
社会福祉専門演習II	佐藤 光正	070301	505
社会福祉専門演習II	伊藤 秀一	070401	505
社会福祉専門演習II	長尾 譲治	070501	505
社会福祉専門演習II	桐原 宏行	070601	506
行政法	鶏徳 啓登	058501	506
民法	大宮 隆	058551	506
社会福祉援助技術各論IA	荒井 浩道	063401	507
権利擁護と成年後見制度	千木良 正	063421	507
司法福祉論	千木良 正	063441	508
社会調査の基礎	東條 光雅	063461	508
社会福祉援助技術各論IB	荒井 浩道	063501	509
社会福祉援助技術各論IIA	川上 富雄	063601	509
社会福祉援助技術各論IIB	川上 富雄	063701	509
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063901	510
国際社会福祉論	休講	064001	
社会福祉学特講I〔児童〕	山本 哲也	064101	510
社会福祉学特講II〔老人〕	橋内 真里子	064201	511
社会福祉学特講III〔障害児・者〕	向後 礼子	064301	511
社会福祉学特講IV〔相談・援護〕	青山 宗雄	064401	512
社会福祉学特講V〔福祉事務所〕	船水 浩行	064501	512
社会福祉学特講VI〔家族〕	小畑 和	064601	513
家族療法	治田 哲之	064701	513
福祉行財政と福祉計画	亀田 都	064821	514
福祉サービスの組織と経営	亀田 都	064841	514
リハビリテーション論	向後 礼子	064901	514
社会保障論	長尾 譲治	065001	515
家庭福祉論	武山 梅乗	065101	515
保健福祉論	山本 哲也	065201	516

科目名	担当者名	履修コード	ページ
公的扶助論	伊藤 秀一	065321	516
障害者福祉論	桐原 宏行	065421	517
就労支援サービス	桐原 宏行	065441	518
老人福祉論	東條 光雅	065521	519
児童福祉論	村田 一昭	065621	520
女性福祉論	堀 千鶴子	065701	520
医療福祉論	宮本 博司	065821	521
地域福祉論	川上 富雄	065901	522
外書講読	東條 光雅	066001	522
社会学(福祉)	武山 梅乗	066151	523
医学一般	小林 臻	066221	523
介護概論	金 美辰	066301	524
介護概論	金 美辰	066311	524
介護技術	金 美辰	066401	524
介護技術	金 美辰	066411	524
心理学(福祉)	高橋 良博	066521	525
心理検査法	稲富 正治	066601	525
精神保健学	坂村 雄	066701	526
精神保健福祉論I	佐藤 光正	066801	526
精神保健福祉論II	佐藤 光正	066901	527
精神保健福祉援助技術各論	上野 容子	067001	527
環境心理学	西出 和彦	073401	528
精神医学(夏季集中)	山口 一	074101	528
社会政策	光岡 博美	091001	529
労働法	藤本 茂	098801	530
経済原論	村松 幹二	117501	531
ソーシャルワーク演習	川上 富雄	067121	531
社会福祉援助技術現場実習I	川上 富雄	067141	532
家族とジェンダーの社会学A	松信 ひろみ	058451	532
家族とジェンダーの社会学B	松信 ひろみ	058461	533
犯罪と逸脱の社会学A	岡邊 健	058711	533
犯罪と逸脱の社会学B	岡邊 健	058721	534
社会福祉援助技術現場実習II	荒井 浩道	067241	534
社会福祉援助技術現場実習II	伊藤 秀一	067251	534
社会福祉援助技術現場実習II	桐原 宏行	067261	534
社会福祉援助技術現場実習II	東條 光雅	067271	534
社会福祉援助技術現場実習II	長尾 讓治	067281	534
社会福祉援助技術現場実習III	長尾 讓治 ・荒井 浩道 ・伊藤 秀一 ・川上 富雄 ・桐原 宏行 ・東條 光雅	067621	535
社会福祉援助技術演習I	荒井 浩道	067641	535
社会福祉援助技術演習I	長尾 讓治	067651	535
社会福祉援助技術演習I	村田 一昭	067661	535
社会福祉援助技術演習I	讃岐 真佐子	067671	535
社会福祉援助技術演習I	川上 富雄	067681	535
社会福祉援助技術演習II	荒井 浩道	068041	536
社会福祉援助技術演習II	長尾 讓治	068051	536

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会福祉援助技術演習II	村田 一昭	068061	536
社会福祉援助技術演習II	讃岐 真佐子	068071	536
社会福祉援助技術演習II	川上 富雄	068081	536
精神科リハビリテーション学	城田 晴夫	068501	536
精神保健福祉援助演習	佐藤 光正	068601	537
精神保健福祉援助実習	佐藤 光正	068701	537

7. 心理学科

科目名	担当者名	履修コード	ページ
心理学概論	間島 英俊	070901	541
心理統計学	宇佐美 慧	071001	541
コンピュータ実習	大塚 秀治	071101	542
コンピュータ実習	軽部 幸浩	071201	543
コンピュータ実習	軽部 幸浩	071301	544
人格心理学	鈴木 常元	071901	545
学習心理学	小野 浩一	072001	546
社会心理学	有光 興記	072101	547
臨床心理学	八巻 秀	072201	547
生理心理学	谷口 泰富	072301	547
認知心理学	永田 陽子	072401	548
発達心理学	間島 英俊	072501	548
心理学基礎実験	佐藤 理晴 ・加藤 博己 ・中村 道子 ・堀内 正彦	071401	549
心理学基礎実験	佐藤 理晴 ・加藤 博己 ・中村 道子 ・堀内 正彦	071501	549
心理学基礎実験	佐藤 理晴 ・加藤 博己 ・中村 道子 ・堀内 正彦	071601	549
心理学研究法	小野 浩一	071701	550
禅心理学	茅原 正	071801	551
心理学実験演習I	休講	072601	
心理学実験演習II	深堀 友覚	072701	551
心理学実験演習III	中澤 世都子 ・小室 央允	072801	552
心理学実験演習IV	佐藤 理晴	072901	552
心理学実験演習V	桑原 正修	073001	552
心理学実験演習VI	軽部 幸浩	073101	553
心理学実験演習VII	間島 英俊	073201	553
心理学実験演習VIII	休講	073301	
心理学実験演習IX	休講	073311	
演習	茨木 博子	075901	554
演習	茅原 正	076001	554
演習	永田 陽子	076201	554
演習	小野 浩一	076301	555
演習	谷口 泰富	076401	555
演習	間島 英俊	076501	555
演習	八巻 秀	076601	556
演習	有光 興記	076611	556
演習	鈴木 常元	076621	556
環境心理学	西出 和彦	073401	557
児童心理学	澤田 匡人	073501	557

科目名	担当者名	履修コード	ページ
産業心理学	申 紅仙	073601	557
老年心理学	植田 恵	073701	558
宗教心理学	葛西 賢太	073801	558
健康心理学	稲松 信雄	073901	559
比較行動学	松林 尚志 ・森阪 匡通	074001	559
精神医学(夏季集中)	山口 一	074101	560
心理学特講I	澤田 匡人	074201	561
心理学特講II(夏季集中)	西田 順造 ・栃倉 稔 ・矢代 龍雄	074301	561
心理学特講III	萩原 滋	074401	561
心理検査法I	西脇 淳 ・佐藤 尚代	074501	562
心理検査法II	稲富 正治 ・中澤 世都子	074601	562
カウンセリング	茨木 博子	074701	563
情報処理I	中丸 茂	074801	563
情報処理II	軽部 幸浩	074901	564
宗教人類学	佐藤 憲昭	075001	565
心理学特殊演習	茨木 博子	075101	565
心理学特殊演習	茅原 正	075201	566
心理学特殊演習	永田 陽子	075401	566
心理学特殊演習	小野 浩一	075501	566
心理学特殊演習	谷口 泰富	075601	567
心理学特殊演習	間島 英俊	075701	567
心理学特殊演習	有光 興記	075811	567
心理学特殊演習	鈴木 常元	075821	568
心理学特殊演習	八巻 秀	075831	568
マス・コミュニケーション論A	川本 勝	058411	569
マス・コミュニケーション論B	川本 勝	058421	569
家族とジェンダーの社会学A	松信 ひろみ	058451	570
家族とジェンダーの社会学B	松信 ひろみ	058461	570
雇用と労働の社会学	山田 信行	058381	571
産業と変動の社会学	山田 信行	058371	571
宗教文化論A	芳賀 学	058641	572
宗教文化論B	芳賀 学	058651	572
犯罪と逸脱の社会学A	岡邊 健	058711	573
犯罪と逸脱の社会学B	岡邊 健	058721	573
行政法	鷄徳 啓登	058501	573
障害者福祉論	桐原 宏行	065421	574
老人福祉論	東條 光雅	065521	575
児童福祉論	村田 一昭	065621	576
労働法	藤本 茂	098801	577
民法	大宮 隆	058551	577
経済原論	村松 幹二	117501	578

Ⅲ 他学部履修科目

〔フレックスA時間帯（月～金の1～5時限、土の1～4時限）に開講される他学部履修科目〕

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
インド仏教文化史	金沢 篤	003801	581
中国仏教文化史	永井 政之	003901	581
日本仏教文化史	袴谷 憲昭	004001	582
外国語禅書講読	石井 清純	004101	582
インド哲学史	金沢 篤	004401	582
原始仏教	片山 一良	005301	583
外国語仏書講読	木村 誠司	007001	583
中国哲学史	前川 亨	007401	583
日本哲学史	久保 陽一	007411	584
仏教文献学	野沢 佳美	008901	584
上代文学研究I	中嶋 真也	014101	585
中古文学研究I	松井 健児	014301	585
中世文学研究I	櫻井 陽子	014501	586
近世文学研究I	川元 ひとみ	014701	586
近代文学研究I	榎本 正樹	014901	587
演劇概論	森井 直子	016601	587
西洋思想史	滝沢 正之	016701	587
比較文学	内藤 まりこ	017001	588
日本民俗学	谷口 貢	017101	588
イギリス文学特講I	石原 孝哉	025601	588
イギリス文学特講III	濱口 真木	025801	588
イギリス文学特講IV	川崎 明子	025901	589
イギリス文学特講V	モート、セーラ	026001	590
イギリス文学特講VI	丸小 哲雄	026101	590
演劇特講（イギリス・アメリカ）	落合 和昭	026201	591
アメリカ文学特講I	東 雄一郎	026401	592
時事英語	唐澤 一友	027901	592
文化地理学	小田 匡保	033101	593
人口地理学	平井 誠	035101	593
現代地理学特論	平井 幸弘	041001	594
日本仏教史	松本 信道	046601	594
西洋文化史	西浦 麻美子	046911	594
日本史特講VII〔近代〕	熊本 史雄	048401	595
東洋史特講III〔近世史〕	杉山 清彦	049711	596
考古学特講III	休講	052911	／
哲学史	山口 祐弘	053201	596
社会心理学A	坪井 健	058331	597
社会心理学B	休講	058341	／
産業と変動の社会学	山田 信行	058371	597
雇用と労働の社会学	山田 信行	058381	598
マス・コミュニケーション論A	川本 勝	058411	598
マス・コミュニケーション論B	川本 勝	058421	599
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063901	599
日本経済論	沼田 郷	091101	600
財務会計論	寺坪 修	092401	600
日本経済史	渡邊 恵一	093301	601

科目名	担当者名	履修コード	ページ
農業政策	溝手 芳計	093501	601
中国経済論	小杉 修二	094701	602
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	094801	603
EU統合論	藤田 憲	095001	604
現代西欧経済論	工藤 芽衣	095101	604
ロシア・東欧経済論	山縣 弘志	095201	605
会計監査論	森田 佳宏	097001	606
管理会計論 a	石川 祐二	097111	606
管理会計論 b	石川 祐二	097121	606
貿易論	古沢 紘造	097601	607
経済法	若林 亜理砂	119701	607
国際政治学	小堀 訓男	126601	608
ヨーロッパ政治史	浦田 早苗	126701	608
地方自治法	富井 幸雄	127501	609
比較政治学	三竹 直哉	128201	610
現代国家論	大塚 桂	133801	611
経営学史	中川 淳平	139501	611
経営史	前田 和利	139601	612
経営労務論	休講	140001	
アメリカ経営学	宮城 徹	141201	613
経営分析論	片桐 伸夫	141301	614
国際経済論	永田 智則	141701	614
税務会計論	高木 克己	141901	615
リスクマネジメント論	石名坂 邦昭	142351	615
消費者行動論	菅野 佐織	143231	616
マーケティング・コミュニケーション論	中野 香織	143241	616
マーケティング・チャネル論	青木 茂樹	143251	617
医療宗教学	吉津 宜英	164601	618
医療経済学	松元 和敏	164701	618
メディア・コミュニケーション概論	西岡 洋子	427501	619
情報メディア産業論I	福家 秀紀	432001	619
ネットワークコミュニケーション論	菅谷 実	432201	620
比較メディア制度論	西岡 洋子	432401	621
グローバルアート政策論	川崎 賢一	432601	621
グローバル創造都市論	川崎 賢一	432701	622
情報保護と社会	苗村 憲司	434301	623
映像コンテンツ論	テヅカ ヨシハル	435001	623
メディアと知識論	齋藤 信男	437101	624

〔フレックスB時間帯（月～金の6・7時限、土の3～7時限）に開講される他学部履修科目〕

科目名	担当者名	履修コード	ページ
商学総論	大吹 勝男	307501	625
国際経済論	徳永 俊明	308901	626
商業政策	休講	309301	
アジア経済論	休講	310001	
マーケティング	曾我 信孝	311101	627
中小企業論	吉田 敬一	311311	627
中小企業政策論	吉田 敬一	311401	628
人口論	森岡 仁	311701	628
社会政策	光岡 博美	311801	629
人的資源管理論 a	堀 龍二	312211	629

科目名	担当者名	履修コード	ページ
人的資源管理論 b	堀 龍二	312221	630
社会思想史 a	阿部 弘	312611	630
社会思想史 b	阿部 弘	312621	631
日本法制史	休講	324001	
西洋法制史	北野 かほる	324101	632
法思想史	高橋 洋城	324201	633
経済法	荒井 登志夫	325201	634
国際関係論	三船 恵美	325401	634
地方自治法	富井 幸雄	326001	636
倒産処理法	鈴木 貴博	326801	636
経営管理論 a	岩波 文孝	330111	637
経営管理論 b	岩波 文孝	330121	637
会計監査論	休講	331801	
日本経済論	羽鳥 茂	332901	638
国際会計論	休講	334001	

IV 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・帰国生)

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
日本語入門I a	鈴木 美希	230511	641
日本語入門I b	鈴木 美希	230521	641
日本語入門II a	鈴木 美希	230531	641
日本語入門II b	鈴木 美希	230541	642
日本語I a	佐野 典子	230611	642
日本語I b	佐野 典子	230621	642
日本語I a	多田羅 哲子	230631	642
日本語I b	多田羅 哲子	230641	643
日本語II a	佐野 典子	230711	643
日本語II a	多田羅 哲子	230721	643
日本語II b	佐野 典子	230811	643
日本語II b	多田羅 哲子	230821	643
日本語III a	多田羅 哲子	230911	644
日本語III a	湯村 礼子	230921	644
日本語III b	多田羅 哲子	231011	644
日本語III b	湯村 礼子	231021	644
日本語IV a	鈴木 美希	231111	645
日本語IV a	湯村 礼子	231121	645
日本語IV b	鈴木 美希	231211	645
日本語IV b	湯村 礼子	231221	646
日本語V a	石川 守	231311	646
日本語V a	多田羅 哲子	231321	646
日本語V b	石川 守	231411	646
日本語V b	多田羅 哲子	231421	647
日本語VI a	石川 守	231511	647
日本語VI a	多田羅 哲子	231521	647
日本語VI b	石川 守	231611	647
日本語VI b	多田羅 哲子	231621	648
日本事情I〔地理〕	高橋 健太郎	231701	648
日本事情II〔自然〕	清水 善和	231801	648
日本事情III〔歴史〕	井上 桂子	231901	649
日本事情IV〔思想〕	佐藤 美奈子	232001	649
日本事情V〔社会〕	坪井 健	232101	650
日本事情VI〔政治・法律〕	三竹 直哉	232201	650
日本事情VII〔文学〕	坂口 博規	232301	651
日本事情VIII〔文化・芸術〕	佐藤 美奈子	232401	651
日本事情IX〔経済〕	福原 好喜	232501	652
日本事情X〔経営〕	中野 香織	232601	652

V 随 意 科 目

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英語（海外演習）	—	—	655
フランス語（海外演習）	—	—	655
中国語（海外演習）	—	—	655
東洋思想史	末木 恭彦	016802	655
日本民俗学	谷口 貢	017102	656
美術史概説	北野 良枝	017802	656
民間信仰論	谷口 貢	017902	656
日本仏教史	松本 信道	046602	657
宗教人類学	佐藤 憲昭	075002	657
日本宗教文化史	小川 順敬	232701	658
民衆宗教成立史	鈴木 一馨	232801	658
宗教学概説	池上 良正	232901	659
宗教学概説	矢野 秀武	233001	659
宗教学概説	川上 新二	233101	659
哲学概説	末木 恭彦	233201	660
哲学概説	久保 陽一	233301	660
倫理学概説	小島 優子	233401	661
歴史哲学	久保 陽一	233551	662

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

履修コード	202701
科目名	仏教と人間
担当者名	小川 <small>おがわ</small> 順敬 <small>としゆき</small>

講義のねらい

日本人は仏教や寺院と深い関わりをもって生活しています。お彼岸やお盆といった年中行事、葬儀や年忌などの人生儀礼、また時には寺院で「祈願」を行なうなど、仏教は生活の中の宗教として定着してきたといっても良いでしょう。しかし、そこで行なわれている法要や行事の意味について私たちは十分に理解しているでしょうか。多くの場合、これらの法要や行事は仏教本来の教えとは異なっています。教義で説く仏教と、私たちが普通に考えている仏教には大きな違いがあるのです。すなわち日本仏教は本来の仏教から大きく変容していると考えられているのです。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法

この講義では、私たちがとりまく仏教の現状から初めて、その変容の意味を考えたいと思います。しかし変容を考えるためには、本来の仏教の教えについて学ばなくてはなりません。仏教がどの様にして生まれ、発展してきたのか、この点について理解を深めたいと思います。

前期は日本の仏教の現状と、仏教と民俗慣行との関わりについて、歴史をふまえながら紹介していきます。後期は仏教思想について紹介していきたいと考えています。

評価は原則として、年数回の「小試験」(出席点として処理します)および夏期レポート(前期試験に相当します)、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書
参考書等

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院) 2,100円
講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	202801
科目名	仏教と人間
担当者名	池上 <small>いけがみ</small> 良正 <small>よしまさ</small>

講義のねらい

「仏教」には高度な思想から、生活に根づいた習俗まで多様な幅があるが、本講義では、現実の社会の中に生きる仏教の実態に関する基礎的知識の解説に主眼をおいて、学生諸君が興味をもってそうなトピックを中心に講義を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、「世界宗教」の発生・展開という人類史の大きな流れのなかで、仏教の成立過程とその意義を考察する。後期は、「仏教の土着化」というテーマで、仏教はどのようにして東アジアの民衆層に定着したのかという問題を、西欧文化との比較なども視野に入れながら考える。(1～5) 世界宗教としての仏教の誕生。(6～10) 部派仏教と大乘仏教。(11～15) 仏教の知恵。(16～23) 中国・日本における仏教の民衆化。(24～30) 仏教文化と一神教文化。

成績評価の方法
教科書
参考書等

前期末と学年末に筆記試験を行なう。
特に指定しない。
授業のなかで適宜紹介する。

履修コード	202901
科目名	仏教と人間
担当者名	矢野 <small>やの</small> 秀武 <small>ひでたけ</small>

講義のねらい

本講義では、日本だけではなく東アジア・東南アジア・南アジアなどにおける仏教の様々な姿を、その地域の政治・社会・文化との関わりの中で紹介する。世界における仏教についての基礎知識を学ぶだけでなく、仏教と社会との関わり方には多様な姿があること、および諸外国の仏教を通して現代日本の仏教の特色を理解してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、東南アジア・南アジア社会と仏教の関係を紹介し、仏教の基本思想(1～5)、仏教と政治・経済との関係(6～10)、仏教と社会変動(11～15)とのつながりをとりあげる。仏教が生活の多様な側面と結びついていることを学んでもらいたい。後期では日本仏教を中心に、葬祭重視の仏教が生まれる背景、病や死などの問題に対する仏教の取り組みなどを紹介し、仏教と他の宗教や信仰との関係(16～20)、仏教と靈魂観(20～25)、仏教と死・病(25～30)といったテーマをとりあげる。

履修上の留意点

レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。

成績評価の方法

前期レポート(夏休み前に課題を提示・後期初回に提出)と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。

教科書
参考書等

なし
水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院) その他については、授業時に随時紹介する。

履修コード	203001
科目名	仏教と人間
担当者名	あわび りょうどう 粟谷 良道

講義のねらい	<p>日本に伝承された仏教は、日本の文化と深く関わりながら、先祖供養や祈願祈祷などを行うことによって受け継がれてきました。お盆やお彼岸の先祖供養、お正月のご祈祷など、日本の仏教は人々の暮らしの中に定着している宗教と言えます。そのような日本の仏教を理解するには、日本の固有文化である習俗や慣習などの民俗を学ぶと同時に、インドから伝わる仏教の理念としての教義を学ぶ必要があります。</p> <p>この授業では、まず、日本の仏教を理解するために、その基層となっている宗教について概説し、そして、日本の文化と交流しながら発展してきた日本の仏教について学びます。さらに、より深く仏教を理解するために、仏教の理念として伝承されてきた仏教の教義についても学びます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期は、宗教、民俗宗教、祖霊信仰、仏教と民俗の関わり、などについて学びます。後期は、仏教の開祖である釈尊の生涯と教え、釈尊滅後の仏教の流れ、日本の仏教、道元禅師の生涯と教え、などについて学びます。</p>
履修上の留意点 成績評価の方法	<p>授業で配布するプリントの中から学年末の試験問題を出す予定です。 レポートと学年末の筆記試験で評価します。レポートの課題は夏休み前に出し、提出は夏休み明けの予定です。詳しくは授業の中で説明します。</p>
教科書 参考書等	<p>その都度、プリントを配布します。 授業の中で適宜紹介します。</p>

履修コード	203101
科目名	仏教と人間
担当者名	たけうち こうどう 竹内 弘道

講義のねらい	<p>世界のさまざまな問題に関心を寄せ、現代社会が抱える先端的なテーマに対しても自分なりの考えを持てるようになることが学生としてのあるべき姿であると考えます。しかし、いざ自分の考えを表明しようにも、判断の指標となる自己の依って立つ「思想」がなければ、何の見解も導き出すことができない。しかも、現代に固有の問題は、背景に深く自らの宗教観が問われる場合が多く、自己の宗教的視点が確立していないと、問題の本質も見えず、意見を述べることもむずかしくなる。宗教を病的なまでに排除した戦後の教育によって形成された私たちの知性にとって、大きく欠けている部分は宗教に関する諸知識と宗教観である。授業では、仏教と禅に関する基本的知識を学ぶなかで、現代社会のさまざまな問題についても考えていきたいと思う。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>(1～4) 釈尊の生涯と仏教の基本理念、(5～10) 大乘仏教の思想や展開、(11～15) 仏教の伝来と展開、(16～20) 禅の起源と菩薩達磨、(21～25) 六祖慧能と中国禅の展開、(26～28) 道元禅師の思想、(29～30) 仏教と現代</p>
成績評価の方法	<p>試験は、講義内容から指定したテーマについて、レポートを提出させ理解度を評価する。</p>
教科書	<p>板書・プリント配布</p>
参考書等	<p>参考書はその都度授業で紹介する。</p>

履修コード	203201
科目名	仏教と人間
担当者名	佐藤 憲昭

講義のねらい 仏教は、人間・社会にとってどのような意味と役割をもっているか、他の諸宗教との関連のもとに考察する。日本人の多くは、宗教を信じていないとみずから認識している人たちが、その一方で、お盆や春秋のお彼岸にはお墓参りに行き、あるいは仏僧に読経を依頼するなど、仏教徒としての行動をとっていることが少なくない。こうした生活の中で展開している仏教は「民俗仏教」と呼ばれるが、これは「教義仏教」で説く仏教とは大きく異なっている。この講座では、仏教徒には、教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあることを学習した後に、教義仏教の思想と行動を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 次のテーマのもとに具体的に考察する。
 1. 宗教学の視点と方法(1～3)、2. 人類と文化(4～6)、3. 風土と宗教(7～9)、4. 民俗宗教の特質(10～12)、5. 教義仏教と民俗仏教(13～15)、6. 原始仏教(16～19)、7. 上座仏教と大乗仏教(20～22)、8. 禅仏教の特質(23～25)、9. 曹洞宗の特質(26～29)、10. 総括(30)。

履修上の留意点 ときどき出席をとるので、欠席をする場合(または出席をした場合)には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法 学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う。なお、追試験は実施する。

教科書参考書等 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)
 授業中に適宜紹介する。

履修コード	203301
科目名	仏教と人間
担当者名	須藤 寛人

講義のねらい 本講義では、仏教をひとびととの関わりの中かでとらえます。つまりこの講義での仏教とは、ひとびとが実際に生きた仏教、ひとびとの暮らしの中での仏教です。そこで、インド亜大陸で生まれた仏教がどのように大きくなり、私たちの住む日本に伝えられてきたのかをこの講義では学んでいただきたいと思います。ひとびとがなにを仏教に求め、また仏教はひとびとに何を与えてきたのでしょうか。それは時代と場所によっては、生きる力であったり、こころの安らかさであったり、時には生活を規制するものであったかもしれません。仏教の全体的な歴史を学びながら現在の私たちの暮らしを見直していくといった姿勢が、本講義を通して養われることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール (1) 授業の評価と概要、(2) 仏教以前のインド、(3) 仏教誕生、(4) 仏弟子と仏教の広がり、(5, 6) 中国の宗教と仏教、(7) 日本：仏教公傳とテラの発生、(8, 9) 聖武天皇と神仏習合(10, 11)、密教の成立と御霊信仰、(12) 末世と浄土・地獄、(13) 鎌倉以降、(14) 江戸時代の仏教と檀家制度、(15) 明治時代の仏教：開国と神仏分離、(16) 日本人は宗教的か？仏教的か？、(18, 19, 20) 葬儀とその問題点、(21) 日本文化における供養、(22) 日本人と先祖崇拝、(23, 24, 25) 宗教的職能者と仏教、(26, 27) 仏教と現世利益、(28～) まとめ。

履修上の留意点 予習はとくに必要ありませんが、この科目専用のノートを用意し、講義を筆記することを望みます。またレポートの提出をお願いしますが、ネット上の内容のコピーなどにならないように、自分自身で考えたレポートを作成してください。

成績評価の方法 毎回出席を取ります。レポートの提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書参考書その他 プリントを配布します。
 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)
 私語は厳禁です。試験は自筆ノートのみ持ち込み可です。欠席した分については自己責任で対処するように。

履修コード	205701
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	吉津 宜英

講義のねらい まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましょう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましょう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めたのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新霊性運動（new spirituality movement）という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点 この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法 毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書 特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します

参考書等 講義の中で随時参考図書を紹介します。

その他 私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

履修コード	205801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	角田 泰隆

講義のねらい 宗教とは何か、そして仏教とは何かについて、その基本的事柄について、できるだけわかりやすく講義したい。特に、葬式仏教と批判され誤解されている仏教を、正しく認識してもらいたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、まず宗教とは何か(1～3)について概説し、その後、仏教の歴史(4～5)及びその基本思想(6～15)について解説する。後期は、仏教と人間(16～18)・社会(19～20)・生活(21～22)・環境(23～24)・人権(25～26)・教育等(27～30)さまざまな問題を取り上げて講義する。

履修上の留意点 教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい。(定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する)

成績評価の方法 定期試験の成績によって評価する。

教科書 なし

参考書等 授業において紹介する。

履修コード	205901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	大谷 哲夫

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯とその教え。インド・中国・日本における仏教とくに禅仏教の流れ。特に本学の建学の理念の母胎を形作った禅の考え方を曹洞禅を中心にして講義を進める。

履修上の留意点 日本文化の基礎の一面を担った仏教を理解し、現代における日本人としての自分自身の存在を常に意識してもらいたい。

成績評価の方法 出席状況とレポートを加味して評価する。

教科書 特になし。必要な資料は随時配布する。

参考書等 必要に応じて適宜指示する。

履修コード	206001
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>はらやま しゆんえい</small> 晴山 俊英

講義のねらい 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 ー四諦八正道から六波羅蜜までー
- 第7回～第12回：アビダルマ仏教 ー五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観ー
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 ー大乘仏教の特質と思想、大乘經典ー
- 第17回～第24回：中国仏教 ー伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立ー
- 第25回～最終回：日本仏教 ー伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代ー

履修上の留意点 上記、回数はいくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法 期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。
教科書 特になし。板書が中心となる。
参考書等 授業において必要があれば適宜指示する。
その他 試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

履修コード	206101
科目名	自然と宗教
担当者名	<small>おがわ としゆき</small> 小川 順敬

講義のねらい 人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法 評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書 原則として教科書は用いません。
参考書等 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	206201
科目名	社会と宗教
担当者名	矢野 秀武 <small>やの ひでたけ</small>

- 講義のねらい** 宗教の信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域、あるいは性差による違いなど、社会的・文化的な影響を帯びているものでもある。さらに、宗教は社会一般の制度と関わる公的側面を持っており、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は、宗教集団の形成や変容など宗教社会学と宗教人類学に関わる基礎知識（1～5）、カルト問題（6～10）、観光・メディア・企業など経済面と宗教の関係（11～15）を取り上げる。後期は、宗教と政治運動（16～20）、日本や欧米を事例に、宗教と政治や法律との関係（20～25）、宗教と教育や福祉との関係（26～30）などをとりあげる。
- 履修上の留意点** レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。
- 成績評価の方法** 前期レポート（夏休み前に課題を提示・後期初回に提出）と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。
- 教科書** なし
- 参考書等** 授業時に随時紹介する。

履修コード	206301
科目名	文化と宗教
担当者名	長谷部 八朗 <small>はせべ へいろう</small>

- 講義のねらい** 文化と宗教の関連をどのように理解したらよいかを検討し、それを踏まえて、我が国の近代以降、宗教が社会といかにかかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を与えてきたかを、仏教とキリスト教を中心に学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** おおむね下記のテーマに沿って進める予定である。「文化」概念の捉え方、文化としての宗教、文化史研究における宗教の扱い、日本の近代化と仏教、日本の近代化とキリスト教、文化接触としてみた仏教とキリスト教の交渉。
- 成績評価の方法** 出席状況、授業時に書いてもらう数回の小論文、学年末の試験を総合して評価する。
- 教科書** 使用しない。
- 参考書等** 授業の中で適宜紹介する。

履修コード	206401・206501
科目名	坐禅
担当者名	佐藤 秀孝 <small>さとう しゅうこう</small> ・池上 光洋 <small>いけがみ こうよう</small>

- 講義のねらい** 駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思ひ、この授業を進めるものです。
- 今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。
- 坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。
- この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 半期単位です。全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。
- 1～3 「坐禅の作法指導」（坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得）
- 4～13 「坐禅実習」（1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です）
- （道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵－坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます）
- 履修上の留意点** 実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。抽選登録ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。
- 成績評価の方法** 出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。
- 教科書** 適宜、プリントにて配布します。
- 参考書等** 『坐禅－講本一』（更生社）2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

履修コード	206701
科目名	文学〔日本文学「日本のことば」〕
担当者名	相澤 貴之 <small>あいざわ たかゆき</small>

講義のねらい	本講義は、日本のことばについて、ときに深く、ときに広く、考え、学ぶものである。講義は現代語の国語辞典をテーマとして進めていく。国語辞典に関する基本事項の確認から始め、それをふまえて、国語辞典を起点として社会や文化の諸相を捉えることで、現代日本語に対する感覚、及び日本文化に対する感覚を磨く。
講義の内容・授業スケジュール	現代語の国語辞典の基本的な使い方の確認、辞典の比較研究などを通して現代の日本語を考える。更には、現代日本語文法、方言、外国語などとの関連事項を盛り込み、講義を進めていく。講義の流れは次の通りである。 前期1～5) 辞典の基本、6～10) 辞典の比較、11～15) 現代日本語文法との関わり、後期1～5) 外国語との関連、6～10) 方言との関連、11～15) 辞典の研究
履修上の留意点	講義の中では、紙媒体の辞典を中心にさまざまな国語辞典を利用していき、新たに辞典を購入する必要はない。各自既に持っている辞典を利用すれば良い。電子辞書も可。ただし、常に辞典を引くという習慣を持って講義に臨むことを強く求める。
成績評価の方法	成績は、①前期3回、後期3回(通年で合計6回)課すレポート、②出席状況、③授業態度、の3項目により総合的に評価する。
教科書 参考書等	授業時にプリントを配布する。 授業中に指示する。

履修コード	206601
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	塩崎 真理子 <small>しおざき まりこ</small>

講義のねらい	『大和物語』を周辺文学と比較しながら読む。『大和物語』は和歌説話集の性質をもつため、話型が散見する。話型をテーマとして『伊勢物語』や『今昔物語集』、『源氏物語』や他の文学作品と比較しながら講義を進めていく。また、本作品で見られた話型が現代の様々な作品にどのように影響を与えているかも、あわせて考えてもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	1) ガイダンス 2) 『大和物語』とは 3) 生田川伝説 4) 蘆刈伝説 5) 采女入水譚 6) 籠田山伝説 7) 安積山伝説 8) 嫉捨山説話 9) 三輪山伝説 10) 二人妻説話・二人夫説話 11) 『大和物語』と『源氏物語』
履修上の留意点	古典文学の知識は必要ないが、各話型が現代の様々な作品にどのように影響しているのか問題意識をもって授業にのぞんでほしい。
成績評価の方法	出席状況と授業時の小レポート、課題レポートによって評価する。
教科書 参考書等	授業時に、プリントを配布する。 適宜、教場で指示する。

履修コード	206901
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	^{さかくち ひろき} 坂口 博規

講義のねらい	日本文学（古典文学）に見る「旅・旅人」の文学を取り上げる。特に「漂泊・漂泊者」の文学性を考察する。「旅」を通して、そこに現れる当時の人々の意識の深層を考察してほしい。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに「旅・漂泊」の内実を歴史的に概説し（1・2）、漂泊者としてのヤマトタケル像（3～6）、ついで在原業平の東下り（7・8）、貴種流離譚としての光源氏の須磨退去（9・10）、西行の旅（11～15）、源義経の平泉逃亡（16・17）、阿仏尼の鎌倉下向（18・19）、後深草院二条の旅（20～23）、芭蕉の旅（24～）等々を考察してもらおう。
履修上の留意点	授業は適宜配布するプリント教材によって講義形式で行う。プリントはレポート作成の資料となるものであるから、出席に努めてほしい。
成績評価の方法	授業の最終日にレポートを提出してもらい、その成績に出席状況や授業への取り組み（授業内の小レポート提出等）への評価を含めて評価する。
教科書 参考書等	授業時に配布するプリントを教材とする。 授業時に適宜紹介する。

履修コード	207001
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	^{いしわり とおろ} 石割 透

講義のねらい	日本近代文学史のうえで、重要な位置を占め、多くの読者に愛され続けている夏目漱石「坊ちゃん」、島崎藤村「家」、そして芥川龍之介の作品を中心にその内容を細かく検討する。特に、作品の表現について触れ、他の芸術表現ジャンルに対しての文学テキストの特色、テキストにうかがえる文化的諸相を明らかにし、そこに潜む課題について考えていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	1、夏目漱石「坊ちゃん」(6) 2、島崎藤村「家」(8) 3、芥川龍之介「鼻」(3)、4 芥川龍之介「地獄変」(3) 5 芥川龍之介「奉教人の死」(3) 6、芥川龍之介「舞踏会」(3) など。
履修上の留意点	前もって、その授業で扱う作品をできるだけ読んで授業にのぞむこと。図書館などに積極的に足を運ぶように。特に夏目漱石、島崎藤村や田山花袋、芥川龍之介や菊池寛などの作品をできるだけ多く読んで授業に臨むこと。
成績評価の方法	年2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。
教科書	特に指示しないが、授業で扱う作品は、文庫本で読める。「夏目漱石 坊ちゃん」「島崎藤村 家」(以上「新潮文庫」など)、「芥川龍之介全集1～6」(ちくま文庫)など。
参考書等 その他の	授業時に指示する。 講義形式で進める。プリントなどは必要な際に、その都度準備する。

履修コード	207201
科目名	文学〔日本のことば〕
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい 広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に授業を進めていく。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
国語・国文学作品に於ける研究とその展開
 - 02の講義内容 和語と漢語
 - 03の講義内容 漢字教育にみる日本語(「常用漢字表」の行方)
 - 04の講義内容 国語辞書(近代国語辞書、大槻文彦編『大言海』)
 - 05の講義内容 漢和辞書(近代漢和辞書、諸橋轍次編『大漢和辞典』)
 - 07の講義内容 地名辞書(近代地名辞書、吉田東吾編『大日本地名辞書』)
 - 08の講義内容 植物辞書(近代植物辞書、牧野富太郎編『日本植物大辞典』)
 - 09の講義内容 和英辞書(近代英和辞書、ヘボン『和英語林集成』)
 - 10の講義内容 明治近代語の研究、雑誌『太陽』を読む
 - 11の講義内容 大正近代語の研究、芥川龍之介著作集を読む
 - 12の講義内容 昭和現代語の研究、井上靖著作集を読む
 - 13の講義内容 平成現代語の研究、村上春樹著作集を読む
 - 14の講義内容 「パロディ」化の作品とは
 - 15の講義内容 絵本と言語
 - 16の講義内容 漫画・アニメにみることばの言語表現
 - 17の講義内容 書道と言語(唐顔真卿と明朝体文字)
 - 18の講義内容 文字遊び(回文・逆さことば・しりとり等)
 - 19の講義内容 文字の不思議さ(漢字=正字・通俗字、増画と省画、欠字=『干祿字書』、かな(誕生と広がり)、ローマ字)
 - 20の講義内容 豊富な語彙を学ぼう(『分類語彙表』)
 - 21の講義内容 文法はグラグラと揺れている
 - 22の講義内容 文章体の特徴を知ろう
 - 23の講義内容 音韻の響きと弾み
 - 24の講義内容 共通語と方言語はどう変容していくのか
 - 25の講義内容 日本語の系統
 - 26の講義内容 言語生活からみた新聞記事・雑誌
 - 27の講義内容 愈々、独り立ち

履修上の留意点 ※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。
※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法 成績評価方法
月毎に上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し内容を発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書参考書その他 URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。
『紀田順一郎著作集』第6巻一知の職人たち／生涯を賭けた一冊一〔三一書房1997刊〕
情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。
情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	207301
科目名	文学〔外国文学「アメリカ文学」〕
担当者名	田中 保

講義のねらい アメリカ文学の主流を辿りながら、主要な作家の代表作品を取り上げて、それらの作品を通して、アメリカの文化・歴史・社会を多角的に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール [1]アメリカ文学の主流(1~15)
[2]主要な作家の作品研究(1~15)

履修上の留意点 前期は講義形式で、足早にアメリカ文学を概観します。後期は主な作家の作品一覧表から興味ある作品を数編選び、グループ編成による発表を行なう。

成績評価の方法 レポート提出、発表、出席状況等で総合的に評価する。

教科書 特に教科書は使用しません。必要に応じてプリントを使用します。

参考書 参考書は授業の際に、適宜紹介します。

履修コード	207401
科目名	文学〔外国文学「ロシア文学」〕
担当者名	杉山 秀子

講義のねらい ロシア文学は長い伝統をもつ傑出した文学として日本ではよく知られているが、その詳細について知る人は少ない。日本とは全く異なる土壌でつくられた文学を学ぶことはその国のものの考え方、行動様式を理解するうえできわめて重要であり、意義深いことである。

講義の内容・授業スケジュール (1)ロシアとはどういう国なのか。その風土、国民的気質、宗教、歴史、政治体制、経済についてのあらまし(2-3)ロシア人は自国の言葉をどのように守ってきたか、ロシア語の特性と文学(4-6)女帝の支配するロシア、古典主義文学の隆盛、フォンヴィーゲン、カラムジンの輩出、ロモノソフの文字改革。(7-9)18世紀から19世紀にかけて活躍する文豪達。プーキン、ゴロリ、ツルゲーネフ、レーンモントフ、チェルヌイシェフスキイ、ゲルツェンの輩出(10-12)20世紀初頭のチェホフの文学 1917年革命後に活躍したゴロキイを中心とするズナーニェ派の作家。これに対抗したのは、ペールイ、ギッピウス、ソロヴィヨフ、ソログープ、ブリューソフ、プロークラの象徴派の詩人。リアリズム派と、モダニズム派との熾烈な文学闘争。(13-14)スターリンの台頭による文学のしめつけ。スターリン死後、作家同盟を中心とする雪どけ。エレンブルグらが活躍、ソルジェニツインの国外退去。(15)1991年のソヴェート政権崩壊後の文学。

履修上の留意点 特にないが、自分の意見を書いてもらうことがある。その場合インターネット、ウィキペディアの丸写しは評価しない。

成績評価の方法 文章表現力をつけるため、数回授業中に文章を書いてもらい提出してもらう。授業内試験と提出物を基本に評価する。出席状況も考慮。

教科書 特になし。

参考書等 授業内で指示する。

履修コード	207801
科目名	歴史学〔日本中世史〕
担当者名	今野 慶信

講義のねらい 歴史学は「史料」に基づいた科学である。なかでも日本中世史は、明治時代、日本と西欧封建制との比較研究から生まれてきた学問分野であり、日本中世封建制度の研究は長く学界を規定してきた。しかし今日、その発展形である唯物史観に基づいた「戦後歴史学」の見直しが叫ばれ、一方では網野善彦氏の研究などに代表される社会史が学界に旋風を巻き起こしてきた。近年の日本中世史研究は、こうした流れを受け、さまざまな資料、例えば系図や絵画などを駆使して、豊かな中世史像を生み出すことに成功している。本講義では、そうした日本中世史の最新の研究動向を紹介しつつ、受講生には歴史・文化や地域に知的好奇心を持ち、過去へのまなざしと現代社会への視点を養ってもらいたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール 講義で扱う時代範囲は、平安時代末期から江戸時代初期までであるが、時代の流れを追いつつも、各回毎にテーマを設定しつつ、今ホットなトピックも努めて紹介していくことにしたい。とりわけ、近年活況を呈している地域史研究の分野において、現在我々が暮らしている関東・東京地域史研究の成果を随時紹介していくことにしたい。

履修上の留意点 授業で配布する資料を貼り込むなど、ノート作りには工夫してもらいたい。

成績評価の方法 定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書 なし。随時コピーを配布する。

参考書等 随時紹介する。

履修コード	207901
科目名	歴史学〔東アジア考古学〕
担当者名	千葉 基次

講義のねらい 長城地帯から極東アジア地域で民族・特定文物・組織その他から、一つのキーワードを選び出し、授業の主題とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業題目の研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。

履修上の留意点 板書事項もあり、薄くて充分なので専用のノートを用意することが望ましい。

成績評価の方法 毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては出欠状況を見て決める。

参考書等 授業の中で紹介する。

履修コード	208001
科目名	歴史学〔古代オリエント史〕
担当者名	大城 道則

講義のねらい 古代オリエント世界と古代地中海世界との交流関係について具体例を挙げつつ紹介し、当時の歴史背景や研究上の問題点などを解説・指摘する。

講義の内容・授業スケジュール ヨーロッパ世界の起源である古代地中海世界は、様々な文明と多様な文化が接触・交錯し、相互に影響を与え合い、共存する場であった。我々は、ヨーロッパ世界を理解するために、その根源である古代地中海世界について考える必要がある。そのため本講義では、古代エジプト文明の成立から、古代ギリシアを通して、古代ローマ帝国の地方都市である埋没都市ポンペイや隊商都市パルミラの歴史までを取り扱う。

前期

- (1) 地中海世界の中のエジプト
- (2) 古代エジプト形成期（統一王朝の出現）
- (3) 古王国時代のエジプト（ピラミッドの発展過程）
- (4) 古王国時代のエジプト
- (5) 新王国時代のエジプト
- (6) メソポタミアの古代都市
- (7) 鉄の王国ヒッタイト

後期

- (8) 古代エーゲ文明の成立
- (9) 東方化の時代と大植民時代
- (10) エトルリア文明
- (11) 古代ローマ皇帝伝
- (12) 火山で埋もれた都市ポンペイ
- (13) 古代ローマ人の食生活
- (14) 砂漠の隊商都市パルミラの歴史

履修上の留意点 お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻・退室は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法 学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書 講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

参考書等 大城道則『ピラミッド以前の古代エジプト文明』（創元社）

その他 画像を多用するためパワーポイントを使用する。

履修コード	208101
科目名	歴史学〔西洋近代史〕
担当者名	<small>ひしかた しおり</small> 土方 史織

講義のねらい 西洋近代史の概観をつかみ、現代社会の「かたち」を形成した「近代」という時代がどのようなものであったのか理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 以下の内容を講義形式で進めます。
 前期：18世紀～19世紀 国民国家建設(フランス革命～アメリカ独立～産業革命)
 後期：19世紀～20世紀 帝国主義形成(植民地主義～第一次大戦)
 適宜プリントを配布し、プロジェクトなども使用して理解が深められるようにします。

履修上の留意点 予備知識としてルネサンス期以降のヨーロッパ史を理解しておく必要があります。地図帳や資料集などが手許にあると理解の助けになります。なお遅刻、私語は厳禁。守れない人は履修しないで下さい。

成績評価の方法 期末試験と夏期課題、時々とる出席で総合的に判断します。

参考書等 大下尚一他編『西洋の歴史[近現代編]増補版』ミネルヴァ書房1998年。
 近藤和彦編『西洋世界の歴史』山川出版社1999年。
 井野瀬久美著『大英帝国という経験』(興亡の世界史 第16巻)講談社2007年。
 『ヨーロッパ史入門』(全10冊) 岩波書店

その他 授業初回に詳細なガイダンスをおこなうので履修予定者は必ず出席して下さい。

履修コード	208201
科目名	歴史学〔日本近世史〕
担当者名	<small>とくち ひろゆき</small> 出口 宏幸

講義のねらい 戦国の世が閉じられ、近世社会へ移行することで、どのような社会的変化がおこったのか。都市と村落という視点を基本に話を進めます。受講生にとって、この授業が、歴史と向き合う貴重な「時間」になることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール (講義の内容)
 全国的に成立した都市は、領主支配の拠点、また商業活動の舞台であり、村は生産の場でした。両空間の成立がもたらした、あらたな展開(身分・家格、社会的分業、文書社会化など)を通して、近代の直前に位置した近世社会について考えます。
 (授業スケジュール)
 (1～4) 戦国から近世へ、近世社会の概要〔幕府改革〕・〔流通網の形成〕・〔都市文化の隆盛〕
 (5～9) 領主支配〔検地、年貢・諸役、五人組〕、〔檀家制度、村請制度〕、都市、村落〔村役人〕、家格(10～14)山村と漁村、商人の台頭、奉公人組織、商品生産の展開、貨幣制度(15～17)村を支えた集団、村方騒動と一揆、村の荒廃、(18)近世の終焉

成績評価の方法 試験80%、平常点20%

教科書 各回にプリント(資料含む)を配布します。

履修コード	208301
科目名	歴史学〔日本近代史〕
担当者名	<small>たちかわ しょうじ</small> 立川 章次

講義のねらい 日本史の流れを概観し、幕末から維新期にかけての過程を考察する。
 幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。このことに留意して新しく維新史を学びたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期 維新変革の機運・尊攘運動の展開・王政復古・明治新政・新国家の統一といった幕末から維新期にかけての過程を考察する。
 後期は外交の転機となった幕府最初の遣米使節の人々や、咸臨丸の勝海舟、福澤諭吉、中浜万次郎といった人々の啓蒙思想の原点を考察する。

成績評価の方法 定期試験と出席日数により総合的に評価する。

教科書 尾佐竹 猛『幕末遣外使節物語』(講談社学術文庫)960円

履修コード	208401
科目名	芸術学〔日本美術〕
担当者名	北野 ^{きたの} 良枝 ^{よしえ}

講義のねらい 室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容・授業スケジュール
 前期 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ～ (7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派
 (11) ～ (12) 狩野正信・元信 (13) ～ (15) 狩野永徳と桃山画壇
 後期 江戸時代の絵画
 (16) 江戸時代の狩野派 (17) ～ (20) 琳派
 (21) ～ (22) 浮世絵 (23) 南蘋派
 (24) 文人画 (25) ～ (26) 秋田蘭画と司馬江漢
 (27) 円山四条派 (28) 伊藤若冲と曾我蕭白
 (29) ～ (30) 江戸から明治へ

履修上の留意点 授業中の私語は厳禁。
成績評価の方法 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	208501
科目名	芸術学〔西洋美術〕
担当者名	矢野 ^{やの} 陽子 ^{ようこ}

講義のねらい ひどつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール
 (1) ガイダンス (2～4) 16世紀の美術 (5) 17世紀初頭の美術 (6～7) 写実的傾向の画家たち
 (8～11) アカデミーと古典主義の美術 (12) 静物画 (13～16) ヴェルサイユの美術 (17～18) 18世紀初頭のフランス美術 (19～22) ロココ美術 (23～25) 肖像画、風俗画、風景画 (26～30) 新古典主義美術

履修上の留意点 作品の画像をスクリーンに映してそれを見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法 夏休み後に提出するレポートと学年末の筆記試験に出席状況を加えて評価します。レポートの課題や試験の形式などは授業中に説明します。

参考書等 高階秀爾『フランス絵画史』講談社学術文庫
 大野芳材『フランス近世の美術』財務省印刷局

その他 その他、授業中に適宜紹介します。
 授業内容と関連するものに限らず、開催される様々な美術展覧会を随時紹介する予定ですので、積極的に見に行ってください。

履修コード	208601
科目名	芸術学〔音楽〕
担当者名	浦本 裕子

講義のねらい 音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカの要素も多く入り込んでいる。そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール 前期：諸民族の音楽・1-3概論 4-7ヨーロッパ 8-15アジア
後期：西洋音楽史・1-2楽器 3-4中世・ルネサンス 5-7バロック 8-10古典派 11-13ロマン派 14-15近世

履修上の留意点 ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法 前期：試験またはレポート
後期：試験

教科書参考書等 柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）
藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）
久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）
岡田暁生 『西洋音楽史』

履修コード	208701
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	滝口 清栄

講義のねらい 西洋思想は古代ギリシアで哲学的思索が始まってからすでに二千数百年の歴史をもっている。とかく現代では、目新しさを求める風潮が強くなる。そしてさまざまな流行が私たちを囲んでおり、思想の世界もこの風潮を免れていない。しかし、この二千数百年の歴史は、けっして遺物の山なのではない。そうではなく、この歴史のなかでさまざまなテーマが多く思想家たちによって提出されて、さまざまな応答がなされてきた。それらは、今日のさまざまな思想的論点の底流を形作っているとと言っても、言い過ぎではないだろう。

講義の内容・授業スケジュール 西洋思想の源流として、古代ギリシア・ローマの諸思想、そして中世の思想を取り上げる。講義にあたっては、それぞれの思想の検討だけでなく、その思想の背景にある歴史的な事情や当時の文化のあり方にも目配りをおこなう。講義スケジュールは次のようにする。

前期 ① 万物のはじめをもとめて（ソクラテス以前の哲学者たちの思索を検討する）、② ポリスの思想家たち（ソクラテス、プラトン、アリストテレスなど）
後期 ① ヘレニズム時代のコスモポリートたち（エピクロス、初期ストア派の思想家たち）、② 中世の思想（アウグスチヌス、トマス・アクイナスなど）、③ 近代の幕開け

履修上の留意点 講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法 中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。

教科書 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』、公論社、3200円

履修コード	208801・208901
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	佐藤 暁

講義のねらい

哲学という営みが世界史上初めて行われた古代ギリシャ及びその強い影響下にあった中世ヨーロッパで活躍した哲学者たちの議論に、なるべく具体的かつ多く触れることによって、哲学的な問題とはどのようなものであり、哲学的に何かを論じるとは一般にどのようなことであるか、の理解を得ることを目的とします。また、一見現代の我々のものと異なって見えることもあるそれらの問題設定を知ることによって、我々が何かを考える際に自明と見なしている枠組みの相対性と普遍性を、結果的に吟味することにもなります。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 概論：哲学とはどのような学問か (2～4) ソクラテス以前の哲学 (5)～(10) ソクラテス・プラトン (11)～(17) アリストテレス (18)～(20) ヘレニズム期の哲学 (21) (22) 教父思想とアラビア哲学 (23) (24) カロリング・ルネサンスと前期スコラ学 (25)～(27) 盛期スコラ学 (28)～(30) 後期スコラ学

成績評価の方法
教科書

学期末にレポートを提出してもらいます。
久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	209001
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	古田 知章

講義のねらい

現代において我々は、様々な場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうちに西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。この我々の日常にも深く係わる西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと多岐にわたる曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。
〔前期〕 近代の人間観・世界観の源流
(1) ガイダンス
(2～4) 哲学における基礎的な問題の整理 人間と世界について問うこと
(5～7) 古代ギリシアの思想 (1) ー哲学的探求の始まりー
(8～10) 古代ギリシアの思想 (2) ー哲学の基盤の成立ー
(11～13) キリスト教思想と中世の哲学 ー思索の新たな展開ー
(14～15) 中世から近世への連続と変動 ー様々なルネサンスについてー
〔後期〕 近世・近代の人間観・世界観
(1) 前期のまとめ
(2～4) ルネサンスから近世の思想 ー人間観・世界観の変革ー
(5～7) 科学の発展と世界観の変化との関係 ー法則的世界と人間ー
(8～11) 『コギト』としての人間存在 ー思考の働きの能動性ー
(12～15) 現代の存在論 ー見えるものを支える見えない枠組みー
二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。
『原典による哲学の歴史』(公論社)
講義の際にその都度紹介する。

成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	209101
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	佐藤 暁 <small>さとう あきら</small>

講義のねらい 科学が世界の基礎的な真相を記述している、という現代においても支配的な信念が初めて一般に共有されるようになった近代という時代の哲学は、それゆえ、現代の我々が普段何をしていることになるのか、あるいはどのような世界に住んでいるのか、といった哲学的な問いを考えるうえで必要となる道具立てのうち、最も基本的なものを作り上げた哲学と言えます。この授業では、近代の哲学者たちの議論に具体的に触れることによって、我々自身が哲学的に考えるうえで必要な思考方法にどのようなものがあるかを実際に知り、できればそれらある程度使いこなせるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 以下の哲学者を中心に、各項目ごとの解説を行います。(1)概論：人間と人間観、世界と世界観(2)～(13)イギリス経験論(ロック・パークリ・ヒューム)(14)～(22)大陸合理論(デカルト、スピノザ、ライプニッツ)(23)～(30)カントとドイツ観念論(カント・ヘーゲル)

成績評価の方法 学期末にレポートを提出してもらいます。
教科書 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社 3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	209201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	小島 優子 <small>こじま ゆうこ</small>

講義のねらい 近代における「人間中心主義」をテーマとする。現代における環境問題を考えるとき、われわれはすぐに人間中心主義の思想のもとに自然破壊が行われてきたことに思い至る。近代における科学技術の発展はわれわれの生活をたいへん便利なものとしてきた。しかし、人間中心主義がわれわれにもたらしたものはいったい何であろうか。このことを考察するために、まず自然と人間との関係は古代ギリシア以来、どのように考えられてきたか、そして近代人の特色とは何であるについて押さえる。

近代において人間中心主義が標榜されるようになったのは、中世のように神が人々にとって中心的な問題ではなくなったことに由来する。そもそもなぜ古来人間は神を信じてきたのか、さらに近代人にとって神とはどのような存在であるのかについて考えたい。近代においてはむしろ人間とは何であるかということが、歴史的状況、社会的状況のなかで問われるようになった。そして人間はいかに生きるべきか、人間とは何かということが問題とされる。講義を通して、人間とは何か、また人間が生きていることの意味について学生諸君に考えてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 哲学とは何か
- 2 近代以前の哲学
 - ① 古代ギリシア哲学の世界観－人間と自然・人間と国家との関係－
 - ② 中世哲学とキリスト教神学
- 3 近代哲学の特徴
 - ① キリスト教神学からの解放－近代人にとって神とは何か－
 - ② 自然科学の哲学への影響
 - ③ 人間中心主義の世界観

成績評価の方法 1回の定期試験(中間試験)と、1回の学期末試験と平常点(出席状況)で評価する。定期試験と学期末試験、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。

教科書 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社
参考書等 小島優子著『最新哲学がよ～くわかる本』秀和システム

履修コード	209301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	黒崎 剛

講義のねらい	近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。
講義の内容・授業スケジュール	以下のテーマを取り上げる予定 1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか 2. 「知識」は何のためにあるのか 3. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか 4. 近代的自由の類型：自己決定と自律 5. 人間と自然：人はなぜ自然に生きることができないのか 6. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか 7. 歴史哲学
履修上の留意点	近代哲学の主要テーマ別にかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。
成績評価の方法 教科書	学年末試験を中心とし、受講態度および出席を加えて総合評価する。 教科書の代わりにプリントを配布。参考書は教場で紹介する。

履修コード	209401
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	滝沢 正之

講義のねらい	現代哲学における重要な哲学者たちのうちから何人かをとりあげ、本人が書いたテキストの一部を（翻訳ではあるが）実際に読みつつ、その思想を紹介していく。
講義の内容・授業スケジュール	我々が生きている現代がさまざまな問題を抱えていることは誰でも知っている。哲学者たちの思考をたどることで、それらの問題を根本にまで立ち戻って考え直すことを試みたい。 下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典引用部分を丁寧に読み、解説していく。現代哲学の流れを紹介した後にアンケートを採り、受講者の問題関心に応じて扱う哲学者を選択する。とくに要望がない場合は、こちらで重要と思われる哲学者をピックアップする。適宜プリントで内容の補足を行う。 ちなみに昨年度は、現代思想の概観を確認したのち、フランクフルト学派、ショーペンハウアーを前期に、ニーチェ、キルケゴール、サルトルを後期に扱った。
履修上の留意点	教科書を必ず入手しておくこと。
成績評価の方法	中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
教科書	久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。また、授業中に適宜プリントを配布する予定。
参考書等	講義中に適宜指示する。

履修コード	209501
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	麻生 享志

講義のねらい	人間の生き方と密着する、また、学問としての「本当の哲学、本物の哲学」に近づくための案内をする。
講義の内容・授業スケジュール	自己の人生の問題を考えるきっかけを得る。そして、その追い求め方のヒントもさがす。 哲学や、人生を考える上で有益な書物を読む、読み方を説明する、など。 (1)哲学とは何か(2-6)古代ギリシャ・20分で分かる哲学全歴史・ゼノンのパラドックス・時間論とタイムマシン・原子論(7-12)論理的説得とは・初心者の犯す四誤謬・実験と科学・帰納的推論・山のパラドックス考・自然法則の意味(13-20)経験論の教えるもの・美と感覚・主客二元論・真理論としての対応説・色は実在せず・第一性質と第二性質・プラグマティズムの真理観・哲学史再考(21-30)論理学開始のアポリア・ニーチェ道徳理論の借用・1命題1真偽値説の功罪・可能性を数えつくすこと・カラスのパラドックスやグルー問題その他・「囚人のジレンマ」と哲学・保守思想と19世紀英国の思想家達・建築の哲学・神の存在論的証明の現代的意義・教育哲学における10原理
履修上の留意点	最低限の常識的なルールを守ってもらい、あとは、興味に応じて講義を聞く事を“楽しんで”もりたいと思っています。
成績評価の方法	成績は、出席等による平常点(約3分の1)、前・後期試験および夏休み明け提出のレポート(約3分の2)によって評価します。特に、2度の試験とレポート提出の3条件を満たさない場合、単位は出ません。
教科書 参考書等	久保・河谷編、麻生ほか著『原典による哲学の歴史』(公論社刊)3200円 麻生著『ジョン・デューイにおけるプラグマティズムの真理観の研究』(コンテンツ・ワークス社「ブック・パーク」によるインターネットのオン・デマンド出版)は、講義の内容に直接に関係するものとしてご紹介します。その他講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。他に読むべきものは、講義中において詳細に紹介するので、自己の興味に合わせて読み進められたい、と思いません。(下欄「その他」の説明も参照)
その他	大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。 初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。(その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

履修コード	209601・209801・210101
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	鈴木 聡

講義のねらい	論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。論理学とは、妥当な論証と非妥当な論証との差異についての研究である。妥当な論証とは、前提から結論が帰結する論証である。前提から結論が帰結することを意味論的ならびに統語論的に表現することが論理学の主要課題である。妥当な論証を行う能力を身につけることは、いかなる分野を専攻する学生にとっても重要なことである。
講義の内容・授業スケジュール	(1)プロローグ・(2)文論理における文の記号化・(3)文論理の言語・(4~7)文論理の意味論・(8~14)文論理の統語論・(15)中間試験・(16・17)第一階量化論理の基本概念・(18・19)第一階量化論理の言語など・(20・21)多重量化・(22・23)第一階量化論理の意味論・(24)第一階量化論理のメタ論理・(25~29)第一階量化論理の統語論・(30)期末試験
履修上の留意点	講義を理解するためには、「数学」のセンスが必須である。 欠席・遅刻は一切認めない。
成績評価の方法	成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。
教科書 参考書等	配布プリント 本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→・・・という形式で行う。

履修コード	209701
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	<small>やまぐち まさひろ</small> 山口 祐弘

講義のねらい 論理学の基本思想を学ぶことによって、正しく思考し語る態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期
- ①論理学の課題と目標
 - ②思考の基本原則、同一律・矛盾律・排中律・理由律
 - ③伝統的論理学と弁証法
 - ④論理的思考の要素、概念・判断・推理
 - ⑤推理の方法、直接推理
 - ⑥推理の方法、間接推理
 - ⑦蓋然的推理、帰納と類推
 - ⑧誤謬論
 - ⑨パラドックス
 - ⑩論理と科学
- 後期
- ①記号論理学の起源
 - ②命題論理学
 - ③命題関数と真理表
 - ④標準形
 - ⑤命題論理の公理体系
 - ⑥体系の無矛盾性と完全性
 - ⑦命題の内部構造
 - ⑧述語論理学の基本概念
 - ⑨定理の演繹
 - ⑩伝統的論理学の記号化

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

日常の思考と言語表現における論理性に注意をむけること。
中間および期末試験による。
山下太郎「新しい認識への論理」(公論社)

履修コード	209901
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	<small>たきぐち きよあき</small> 滝口 清栄

講義のねらい

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によって行なわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。この渦の中で私たちは納得したり、あるいは納得しなかったりする。こう見るならば、私たちは言葉と思考のあり方に敏感になるのではなからうか。ひとたびこの点に注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が大切なものと思えるであろう。本講義では、思考の基礎をしっかりとしたものとし、思考の諸法則が身につくよう心がける。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書はおもにそれぞれのテーマの理解を得るために使い、練習問題をそのつど配布する。形式論理学に重点をおいて授業を進めていく。

前期では、実際に文章を論理的に解説する練習をおこない、そのあと、論理的虚偽について、概念、定義と分類、命題、演繹推理(定言三段論法、仮言三段論法など)、帰納推理、記号論理初歩を扱う。

履修上の留意点

理解を深めるために練習問題をできるだけ多く解いて、論理的な思考回路が身につくように工夫する。出席を重視する。

成績評価の方法
教科書

年間5回の小テストをおこなって、成績を出す。したがって、追試験はおこなわない。
山下太郎他著『新しい認識の論理』(公論社)3,200円

履修コード	210001
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	伊古田 理

講義のねらい	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1)(2)「論理的」とはどういうことか (3)主張文の基本構成 (4)～(6)問題設定のしかた (7)～(9)根拠づけの考えかた (10)～(13)結論のつけかた (14)～(16)論証の基本原則 (17)(18)文献を使って文章を書く(1)－その意義 (19)～(22)文献を使って文章を書く(2)－文献を読む (23)～(28)文献を使って文章を書く(3)－文章を書く (29)(30)文章作成の倫理
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート試験(1月定期試験時提出)によって判定。このほか、随時課する小レポート(内容要約、など:期日厳守)をプラス材料として考慮する。定期試験はいっさい実施しない。
教科書	本年度は、テーマとして「道徳の理由(なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか)」をとりあげる。 教科書:大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版) 副読本:野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書)
参考書等 その他の	そのつど指示する。 上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

履修コード	210201
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	小島 優子

講義のねらい	論理力は、自分の考えていることを他人に納得のゆくように筋道立てて説明するさいに、必要となる。そして論理的に文章を書くためには、論理学の構造を学ぶだけではなく、論理学の問題練習を行うことが必要である。そのために講義では毎回、問題演習を行う。いわゆる悪文と良文とはどこが異なるのか。わかりやすい文章、論理的につじつまの合う文章を書くために必要な事柄は何であるのか。講義では毎回、参考となる文章を取り上げて、論理的な文章を書き、論理的な構造を把握し身につけるためのトレーニングを行う。最終的には、論理的な力を身につけ、レポートや論文を書くための力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス 論理学とは何か 2 さまざまな接続関係 3 接続の構造 4 議論の組み立て 5 論証の構造と評価 6 演繹と推測 7 価値評価 8 否定 9 条件構造 10 推論の技術 11 批判への視点 12 論文を書く
履修上の留意点	論理力を身につけるためには、論理力トレーニングが必要となるので、講義に出席することが大事である。このために出席を重視する。
成績評価の方法	一回の定期試験(中間試験)と、一回の学期末試験、および平常点(授業時に適宜与える課題)で評価する。定期試験と学期末試験、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。
教科書 参考書等	野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書) そのつど指示する。

履修コード	210401
科目名	科学史〔科学と技術〕
担当者名	高橋 秀裕 <small>たかはし しゅうゆう</small>

講義のねらい 今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけでなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察することから出発し、近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探ることを通して、近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。後期は、科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのか、そして高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。

履修上の留意点 いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法 出席・随時レポートによる平常点（40％）および定期試験（60％）の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書 特に指定しない。
参考書等 講義の際に適宜紹介する。
その他 講義形式、随時プリント配布。

履修コード	210501
科目名	科学史〔近代科学の成立と展開〕
担当者名	高橋 秀裕 <small>たかはし しゅうゆう</small>

講義のねらい 17世紀科学革命における経験主義の起源の一つとして、魔術的伝統が挙げられる。しかし魔術のような非合理的な伝統が合理主義の追求である近代科学に影響を及ぼしたとは考えられないと言った科学史家もいる。果たしてそう言えるのだろうか？この授業では、ルネサンス期において興隆をみた魔術的伝統とはどのようなものであったか、それが多様かつ複雑なものであったことを理解し、その中で、脱神祕化していく魔術と理論化される技術に焦点をあて、とくに「遠隔力」概念の形成において、科学が魔術と占星術から大いなる刺激を受けた、その事情を探る。

講義の内容・授業スケジュール 磁力の発見をめぐる話題から出発し、魔術と科学のはざまに焦点を当てながら、近代科学の形成過程に「魔術」が果たした役割を探る。とくに磁力と重力の発見過程を歴史的に追跡し、17世紀機械論哲学と力概念の発展について講義する。

履修上の留意点 いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法 出席・随時レポートによる平常点（40％）および定期試験（60％）の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書 特に指定しない。
参考書等 講義の際に適宜紹介する。
その他 講義形式、随時プリント配布

履修コード	210601
科目名	倫理学〔人間観〕
担当者名	古田 知章

講義のねらい われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答、そして、われわれ自身の生きる目標としての人間観が提示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。

〔前期〕 人間観の形成の歴史とその伝統

- (1) ガイダンス
- (2~4) 人間と倫理 一人間であるために一
- (5~8) 古代ギリシア思想における人間観の諸相
- (9~11) 中世キリスト教思想における人間観
- (12~15) 人間観の転換 ールネサンス・宗教改革一

〔後期〕 新しい時代の人間観

- (1) 前期のまとめ
- (2~5) 出発点としてのデカルト《思惟する私》とパスカル「考える葦」
- (6~9) 自己の内面性と他者の問題
- (10~12) 人格 ーロックを手がかりに一
- (13~15) 人間存在と自由

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。
『原典による哲学の歴史』（公論社）
講義の際にその都度紹介する。

履修コード	210701・211111
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	黒崎 剛

講義のねらい 「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」一「価値」や「義務」、「習慣」といった一の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理――講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」――人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

**成績評価の方法
教科書**

レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えを総合評価。
教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

履修コード	210901
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>

講義のねらい	倫理学の一部門、応用倫理学について、その基本構成、重要な成果、さらには限界を探っていく。我々の人間的な生にとって、なにが善いことでなにが悪いことなのか、といった道徳的な価値判断は本質的な契機をなしている。しかし、社会が複雑化し科学技術が極度に発展した現代においては、そのような価値判断のよりどころが判明でないような場面が多々出現するようになっている。物事の根本に立ち戻って哲学的に思考することによって、そのような場面に一定の見通しを与えることを試みる。
講義の内容・授業スケジュール	[1回～5回] 倫理学とはなにか（倫理学の基本概念を紹介する。） [6回～10回] 応用倫理学とはなにか（応用倫理学の哲学的的位置づけなど。） [11回～15回] 生命倫理学の諸問題（中絶の問題、安楽死の問題、臓器移植の問題など。） [16回～20回] 環境倫理学の諸問題（地球温暖化の問題、希少動物保護の問題など。） [21回～25回] その他の諸問題（技術と倫理との関係など。） （*残りは予備日。また、あくまで目安である。）
履修上の留意点	講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。
成績評価の方法	学年末試験を行う。その他に、講義中に提出してもらった課題を評価の対象とする。具体的には中間レポート等を考えている。出席については受講者数をみてとるかどうかが決める。
教科書 参考書等	講義中に適宜指定する。 久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。その他のものについては講義中に適宜指定する。

履修コード	210801
科目名	倫理学〔価値観〕
担当者名	久保 陽一 <small>くほ よういち</small>

講義のねらい	何が善で何が正しいか、何に「価値」があるかという問題は、近代以前においては、何が真理であり、何が存在するかという世界観や認識の問題と切り離すことはできなかったが、近代以後峻別されるようになった。だが、現代では再びその点に対する反省が出てきて、世界認識と価値判断の関連が問われている。そこで本講義ではまず近代以前の東西の倫理思想における価値観をとりあげ、次に近代の価値判断をめぐる思想を取り上げ、そして現代における人間の生き方を問うことにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 仏教、儒教、老荘思想、古代ギリシア哲学、キリスト教における世界観と価値判断 2 近代倫理学（カント、経験論・功利主義、ヘーゲルなど）における価値をめぐる思想 3 現代における価値の問題
履修上の留意点	私語をつつしみ、よくノートを取る。途中退席は厳禁。講義内容の疑問点は率直に問うこと（随時、質問表を配る）。
成績評価の方法	中間と期末の試験、出席の割合など
教科書 参考書等	久保・河谷編「原典による哲学の歴史」（公論社） 授業中に紹介する。

履修コード	211001
科目名	倫理学〔制度とモラル〕
担当者名	<small>なきぐち きよえい</small> 滝口 清栄

講義のねらい	人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返る。それは、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。 こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、おおまかに、前期には、古代ギリシア、中世、近代初頭までの諸思想を、後期には、近世、近代のイギリス、フランス、ドイツの諸思想を検討する。
履修上の留意点	講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。
成績評価の方法 教科書	中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

履修コード	211101
科目名	倫理学〔東洋倫理〕
担当者名	<small>すえき やすひこ</small> 末木 恭彦

講義のねらい	倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。主として西洋の哲学の一部門として発達した。それに相当する思索は東洋の伝統的思想の中に生まれていた。近代に至って、西洋の学問の影響下、東洋の伝統を生かそうとする試みが行れた。そのような東西のはざままで苦心して考えられた、東洋の倫理思想を紹介し、我々自身の倫理思想を獲得する一助としたい。
講義の内容・授業スケジュール	今年、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎の倫理学を紹介する。和辻倫理学の中でも『人間の学としての倫理学』を取り挙げて、一年かけてじっくりと読みたい。 (1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答 ノートをしっかり取る。
履修上の留意点	各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。
成績評価の方法 教科書 参考書等	和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）（岩波全書版でも可） 和辻哲郎『倫理学』（一）～（四）（岩波文庫） 湯浅泰雄『和辻哲郎――近代日本哲学の運命』（ちくま学芸文庫） 坂部恵『和辻哲郎――異文化共生の形』（岩波現代文庫） 苅部直『光の領国 和辻哲郎』（創文社）

履修コード	211201
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	池上 良正 <small>いけがみ よしまさ</small>

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。(1～5) 近代における「宗教」の発見。(6～10) 聖なる時間と空間。神話の力。(11～15) グローバル化のなかの「宗教」。(16～20) 一神教の誕生。ユダヤ教。(21～25) キリスト教。(26～30) イスラーム。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

積極的に「学ぶ」意欲をもって授業に臨むこと。

年度末に筆記試験を行なう。

特に指定しない。

『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）。『エリアーデ著作集』（せりか書房）。脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）。市川裕他『ユダヤ人と国民国家』（岩波書店）。板垣雄三『イスラーム誤認』（岩波書店）。

履修コード	211301
科目名	宗教学〔聖と俗〕
担当者名	田中 かの子 <small>たなか かのこ</small>

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながらか、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期（1～15）は、ほかならぬ自らの「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期（16～30）は、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」について、教科書を縦横に駆使しながら探究する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポートと学年末試験（追試なし）。

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2008年、改版（第4刷発行）

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

履修コード	211401
科目名	宗教学〔世界観と儀礼〕
担当者名	小川 ^{おがわ} 順敬 ^{としのき}

- 講義のねらい** 人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。
- この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思えます。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。
- 講義の内容・授業スケジュール** まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。
- 成績評価の方法** 評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
- 教科書** 原則として教科書は用いません。
- 参考書等** 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	211501
科目名	宗教学〔日本人の宗教〕
担当者名	矢野 ^{やの} 秀武 ^{ひでたけ}

- 講義のねらい** 宗教というもの語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前半はおもに、宗教学の基礎（1～5）、神道と仏教（6～10）、民俗宗教（11～15）など日本の諸宗教の歴史を中心に概説する。後期では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。具体的には、日本のキリスト教や新宗教などの概説（16～20）とともに、近代日本の宗教者の思想（21～25）を紹介する。その他日本の宗教建築や現代日本人の信仰心の特質（26～30）などもとりあげる。
- 履修上の留意点** レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。
- 成績評価の方法** 前期レポート（夏休み前に課題を提示・後期初回に提出）と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。
- 教科書** なし
- 参考書等** 授業時に随時紹介する。

履修コード	211511
科目名	宗教学〔生活と宗教〕
担当者名	菅原 壽清

講義のねらい	人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。
履修上の留意点	1. 宗教学・宗教人類学とは 2. 日本とアジア、その多様な姿 3. アジアの人々の生活と宗教 4. 日本の人々の生活と宗教 (隔年で、後期の授業内容を変えています。昨年度は、農耕儀礼と人生儀礼から、私たちに身近な生活と宗教を見てきました。今年度は、呪術と宗教、シャーマニズム、妖術などから、私たちの身近にある暮らしの中の宗教を捉えてみたいと思っています。勿論、宗教学の理論も押さえながら。)
成績評価の方法	講義では、調査で写した写真をプロジェクターなどを用いて映します。また、関連の写真をホームページでも公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。さらに、DVDを用いて、授業に関連した映像も写します。広く、アジアの人々の暮らしに関心のある方は是非どうぞ。
教科書参考書等	試験 + α + β (詳細は、講義の時説明) α = 座席点 (ABCで、積極的な授業参加を評価します) β = レポート点 (課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します) 特には、指定しません。 『宗教学ハンドブック』(世界書院) 講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。
その他の	講義ノートをプリントして配布します。また、学内LANでも公開の予定です。 授業の方法—講義、ビデオ・DVD、プロジェクターによるスライドの映写など、ビジュアルな授業を展開したいと思っています。調査 Field Work に関心のある方 (社会・文化人類学、宗教人類学) 是非どうぞ。

履修コード	211521
科目名	宗教学〔民俗宗教の諸相〕
担当者名	星野 靖二

講義のねらい	本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。それは現代に生きている私たちの生活にどのような形で「宗教」が関わっているのかということについて自分の問題として考えることでもあり、またそれを可能にする方法と材料を提供していきたいと思っています。
講義の内容・授業スケジュール	[01] はじめに。[02~03] 現代社会における宗教：導入として、現代社会においてどのような形で宗教が問題になっているのかについて概観します。[04~07] 宗教学について：宗教学の基本的な考え方について概説します。[08~11] 宗教の世界地図：世界の様々な宗教とその実践についての基本的な知識を確認します。[12~16] 近代日本の宗教：近代以降の日本の宗教とその実践についての歴史を概観します。[17~24] 生活と宗教：生活と宗教の関わりについて、毎回一つのトピックを取り上げて考察します。[25~29] 現代日本と宗教：現代日本における宗教のあり方について考察を加えます。[30] おわりに。
履修上の留意点	講義内容についてのコメントカードを適宜提出してもらいます。
成績評価の方法	夏期休暇中に小レポート (30点)、学期末に期末レポート (50点) を課します。これにコメントカード・平常点 (20点) を合わせ、総合的に評価します。
教科書参考書等	特に使用しません。 棚次正和・山中弘編『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005 関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂、2004 島園進・福嶋信吉・葛西賢太・藤原聖子編『宗教学キーワード』有斐閣、2006 末木文美士『日本宗教史』岩波書店、2006
その他の	詳細については、初回講義時に説明します。

履修コード	211601
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	山口 太郎 <small>やまぐち たろう</small>

講義のねらい	本講義では、都市、とりわけ東京を通じて地理的理想力を磨くこと、そして都市を批判的にみつめる力を養うことを目的とする。教室で学習した知識と、地理的理想力や批判精神といった感覚を、日常生活の場(所)や空間で活かすことができれば理想的である。
講義の内容・授業スケジュール	次の項目を予定している。(1)イントロダクション、(2)東京に関する近年の人文地理学における研究成果概観、(3)～(5)東京の自然史、(6)～(9)東京の歴史地理、(10)～(13)都市の観察法、(14)(15)都市計画、(16)～(19)東京の文化地理(渋谷、秋葉原、代官山、下北沢、大久保、新宿など)、(20)～(22)東京郊外の文化・社会地理(世田谷区内各所、田園調布、「多摩田園都市」、多摩ニュータウン、港北ニュータウンなど)、(23)～(26)都市の社会地理(都市空間と権力、時間地理学、都市空間とジェンダー、都市空間と故郷)
履修上の留意点	出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課すことがある。また、高校などで利用した地図帳があると便利である。
成績評価の方法	夏休み明けに提出していただくまち歩きレポートと、後期末に行なう試験を基本とし、授業内に行なう小レポートを若干加味する。なお、期限内に夏休みのレポートが提出されないと単位の認定はできない。
教科書	特に定めない。プリントを配布する。
参考書等	授業の中で紹介していく。
その他	講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。また、町をぶらぶらしたり、いろいろな場所へ出かけたりすることを積極的に行なってほしい。

履修コード	211701
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	櫻井 明久 <small>さくらい あきひさ</small>

講義のねらい	この授業では、主に作業を通じて人文地理学の考え方と方法を紹介したい。取り扱う作業・方法は、地形図読図、地図帳の利活用、テレビなどのルポルタージュ番組の視聴活用などであり、日本の農村地域やヨーロッパを対象として、風土と文化に関する人文地理学の見方や考え方を考える。取り扱う地域については、伊豆の沿岸集落、ドイツ農村、パリ大都市圏など櫻井が経験・調査した地域の事例を丁寧に検討したい。
講義の内容・授業スケジュール	櫻井は今年度初めてこの授業を担当する。そのため、詳細な計画は示しにくいですが、まず前期には、個人と地域との関係を考えながら、日常生活スケールの人文地理学をまず考えたい(1、2、3)。ついで、町探検プラン作成や2.5万分の1地形図や5万分の1地形図の利用について作業をしながら学び、日常生活スケールにおける地域を考えたい(4～12)。夏休みには、前期で学んだ方法を活用してレポートを作成してもらおう。後期は、より大きなスケールで、国、超国家スケールでの人文地理学を考えることにする。すなわち、まず、地図帳を使ってヨーロッパ旅行計画を考えたりしながら、地図帳の利用方法について学び、それらを使って世界各地を説明する試みを行う。(13～15)。ついで、地図帳を使いながら、ヨーロッパの概略を知るとともに、ヨーロッパの「食」と「農業」を通じて、ヨーロッパの生活文化、風土と環境について考えたい(16～23)。また、後期の後半には、夏休みのレポートを簡単にしてもらおう予定である。
履修上の留意点	毎授業、その授業時間内で作成した略地図、着色作業などの成果、ミニレポートを提出してもらい、次時にはその成果やミニレポートを反省して、学生の皆さんの疑問や質問を取り上げ、活かしていきたい。こうした作業活動型の授業を行うつもりであるので、出席が不可欠であり、積極的に参加するよう望みたい。なお、教科書は使用しないが、高校時代に利用した地図帳やそれに相当するような地図帳を利用するので指示する時間には持参すること。また着色作業のために、6色程度の色鉛筆を使うことがあるので指示する時間には持参すること。こうした準備がないと授業に参加できないので注意すること。
成績評価の方法	毎時のミニレポートないしは作品提出・出席：50点、夏休みレポート：30点、試験：20点といったバランスで評価したい。
教科書	なし。
参考書等	適宜紹介する。

履修コード	211801
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 慎悟

講義のねらい	本講義は、身近な社会問題を取りあげ、地域的な差異の存在と、その要因について議論し、人文地理学の基礎的知識および社会問題への関心を深めることを目的とする。今年度は、分布図や地理学に関する統計資料の分析、考察を行う。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、まず地理学の研究目的、意義について概説する。つぎに、文化や習慣、産業に関する地域的な差異について取り上げる予定である。 後期は、都市問題や人口問題に関する資料の分析を行い、地域差の発生要因について説明を加える。
履修上の留意点	地理学の専門知識は必ずしも必要としないが、昨今の社会問題については普段から情報収集しておくことが望ましい。板書形式の授業なので、ノートを必ず持参すること。
成績評価の方法	前後期の試験(追試あり)と、ほぼ毎回出される課題の提出状況によって評価する。
教科書 参考書等	とくに使用しない。高校などで使用した地図帳があると便利である。 とくになし。

履修コード	211901
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 修一

講義のねらい	我々は日常生活の中の多くの場面で、環境に影響を受けつつ、個々の意思の基に行動する。ところが、その行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下のI～VIIIである。詳しくは第1回の講義の際に述べる。 I地図(2～4)、II都市の分布と立地(5～8)、III都市や地域の結びつき(9～12)、IV都市の内部構造(13～16)、V人口変動と分布・人口移動(17～19)、VI都市の居住構造の形成過程とその変化(20～24)、VII都市と余暇活動(25～27)、VIII都市空間における知覚と認知(28～30)
履修上の留意点	講義では簡単な数式を用いることがある。一次方程式や対数といった数学の基礎知識に不安がないことが望ましい。
成績評価の方法	原則として学年末の試験結果から評価する。なお、追試験は実施しない。
教科書 参考書等	高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。 北川建次編、『現代都市地理学』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-3044-0 富田和暁・藤井 正編、『図説 大都市圏』、古今書院、2,730円、ISBN 4-7722-4027-6 ノックス、P. ・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳、『新版 都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0
その他	講義ではプリントを随時配布する。

履修コード	357001・357811
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	湯浅 ^{ゆあさ} 陽子 ^{ようこ}

講義のねらい 大学で「学ぶ」ためには、聴く・読む・書く・調べる・整理する・まとめる・表現する・伝える・考える、という9つの力が必要です。これらの力を半期で段階的に身につけ、ワープロソフトで作成したレポートが提出できるようになることを、この授業のゴールとします。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回オリエンテーション
- 第2回「生徒」から「学生」へ・「何をどう学ぶのか」
- 第3回ノート・テイキング
- 第4回リーディングの基本スキル
- 第5回より深いリーディングのために
- 第6回大学図書館における情報収集
- 第7回インターネットによる情報収集
- 第8回情報の整理
- 第9回アカデミック・ライティングの基本スキル
- 第10回効果的なアカデミック・ライティングのために
- 第11回パソコンによるライティング・スキル
- 第12回プレゼンテーションの基本スキル
- 第13回わかりやすいプレゼンテーションのために
- 第14回プレゼンテーションの実際
- 第15回プレゼンテーションの実際

履修上の留意点

第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

なお、履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲ります。

(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

また、湯浅のフレッシュマン・セミナーは2つありますので、一方で選に漏れた場合は、もう一方のフレッシュマン・セミナーにチャレンジするか、他の担当者のものを受講してください。

成績評価の方法 成績評価は出席点 (30%)、合計5回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点 (30%)、および提出された課題点 (40%) により行います。

教科書参考書等

『繰り返して慣れる! ◆スピードマスター◆ Office 2007 & 情報モラル』 noa 出版 ¥1,030
 学習技術研究会編 『知へのステップ (改訂版)』 くろしお出版 ¥1,890
 ISBN:978-4-87424-355-8 C1081

その他 パソコンで文字入力に困らぬよう、タッチタイピング (手元を見ないで入力する方法) をマスターするための自助努力を課します。総合情報センター自習室のPCには優れたタイピング練習ソフト (Type Quick) が入っています。第1回目の授業時にこのソフトの使い方を説明しますが、タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さが評価に直結しますので、時間を見つけて練習に励んでください。

なお、希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト (Type Quick) USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	357101
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそう。日本人である私にとってこのカタカナ文字は刺りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどういふものか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語辞書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことば）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

レポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書等
参考書
その他

随時、講義の前後に報知します。

随時、講義の前後に報知します。

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	357201
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	佐原 作美

講義のねらい	広く文章を読んで理解し、感性と思考力を養い、それを自分の言葉で適格に表現できる力を高めることは若者のみならず大切なことである。そこで、それを目的としテーマとして進めていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、初めに日本の文字の成り立ちや慣用表現（2～3回）とそれにまつわる事柄（1～2回）を学ぶ。次に文章として『古事記』の中から「国生み神話」などよく知られた神話伝説（3～4回）、『万葉集』からは挽歌や生活苦を詠んだもの（3～4回）や『風土記』（1回）、あるいは幼児期からなじみの深い『竹取物語』（1～2回）等々、情感に訴えるものを選んで読みその目的のための一助としたい。
履修上の留意点	よく読み、よく考え、よく書くことに心掛けてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本とし、出席状況を考慮して評価する。
教科書	プリントの配布をもって行う。
参考書等	必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	357301
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	鈴木 裕子

講義のねらい	一自己表現のためのレッスン 自分の考えをわかりやすく発言する力が不足している人、言葉で表現する力を磨いて今の自分を少しでも変えたいと思っている人、そういう人たちのための講座。大学での学びに必要な文章力、表現力を養う手助けをする。
講義の内容・授業スケジュール	いろいろな種類の文章を読み、理解する力、自分の意見を筋道立てて説明する力、限られた時間にまとまりある文章を書く力を、実際の作業を通して養う。教材は、新聞記事、評論、手紙、歌詞、特に、今日的な問題を提起しているものを用意するが、受講生のニーズに柔軟に応じたい。 プログラム：（1）ガイダンス、（2～3）アイス・ブレイク、プレゼンテーションその1、（4～6）身近な材料を読む・要約する・書く、（7～8）ディスカッションの方法と実践、（9～11）調べて書く、プレゼンテーションその2、（12～14）実用的な文章を書く、（15）総括。
履修上の留意点	受講生は、文章を次々と読み、課題を書き、報告することを要求されるので、履修の際にその点を留意すること。また、この授業の性格上少人数が望ましいので、人数制限をする場合もある。第1回目の授業時に履修許可証を渡すので、受講希望者は必ず最初から出席すること。なお、履修許可をもらわなかった場合は、WEB登録をしても、授業を受けられないので注意すること。
成績評価の方法	毎回書いてもらう短いコメント、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）、課題で60%、最後に提出してもらうレポートで40%。三分の一以上の欠席は不可。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書	プリント教材。
参考書等	参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	357401
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	坂口 博規

講義のねらい	殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的・能動的に過ごしてほしいと考えています。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるころ大です。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるように、言葉の伝達（日本語表現）の大切さを自覚してほしいものです。
講義の内容・授業スケジュール	上記の目的に立って、テーマを設定して講義し、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます（1～3）。特にコミュニケーション論の一端として、言語断絶の疎外状況を物語る「変身譚」について、自己表現の大切さを学んでほしい（4～10）。また日本語表現の特質なども考えてみたい（11～15）。
履修上の留意点	「日本語表現」の知的理解をしてほしい。また言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしい。
成績評価の方法	授業の最終日に提出のレポートの成績評価。また授業の折々に課題を出して小レポートも提出してもらいます。出席状況も参考にして、評価します。
教科書	授業の折々にプリントを配布します。
参考書等	授業において紹介します。

履修コード	357501
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>そのべ みきお</small> 蘭部 幹生

講義のねらい 大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために、また、将来社会に巣立って行くために、心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス。2～4 大学と大学生活。5～8 キャリアデザインとライフスタイル。9～13 表現法とレポートの書き方。14 レポート提出。15 まとめ。

ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。

履修上の留意点 受講希望者が100名を超えた場合は抽選によって履修制限をするので、必ず初回の授業で担当教員の履修許可を受けること。履修許可を受けずに web 登録しても単位を修得することはできないので注意すること。

なお、本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。また、毎時限新聞記事のコピーをとってくださることを求めるので、そのことを承知のうえで履修すること。

成績評価の方法 出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追・再試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

参考書等 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	357601
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>いしわり とおる</small> 石割 透

講義のねらい 日本でのジャズ受容、I（戦前篇）アメリカで誕生したジャズが日本に上陸するのは、ダンスホールが開設された大正後期。以後、演奏では楽器の使用、シンコペーションの多用、強烈なリズム、ハーモニーなどに多くの影響を与え、昭和に入れば、ジャズのスタンダードナンバーの歌が日本語で歌われ、独特の和製ジャズソングを生み出し、戦争に向かう時局を諷刺する歌まで登場するが、やがて1943年にジャズの演奏、レコード販売は中止されるに至る。この時間では、異文化に対する受容の形態を探る一つの試みとして、ジャズの移入が与えた影響を考えようとするものです。

講義の内容・授業スケジュール 1 アメリカにおけるジャズ誕生の歴史・発展の簡単な説明（2）、2 大正10年に始まる「ダンスホール」の開設（1）、3 「私の青空」を中心とするジャズのヒット曲の誕生（2）、4 和製ジャズソングの誕生と日本の文学テキストに現れるジャズ（2）、5 「マダムと女房」などトーキー映画の誕生とジャズ（2）、6 日系二世の女性の歌うジャズソング、和製ボーカルグループの誕生など（1）、7 服部良一のブルース（1）、8 日本の歌唱曲のジャズ化、ハワイアン音楽、南洋音楽などの導入（2）、9 和製ジャズに見られる諷刺、ユーモアの精神、10 和製ミュージカルのスタイルなど（2）

履修上の留意点 ジャズの20世紀における展開は、目くるめくほどに急激に変貌し、それはジャズを誕生させたアメリカにおけるアフリカ系アメリカ人のアメリカでの地位とも連動します。そして現在では、ジャズはあらゆる現代音楽に影響を与え、いろいろな音楽に流れ込み、ジャズというジャンルも消滅しつつあります。この時間では、所謂1930年代のスイングジャズ誕生、流行まで、それらが日本では如何に受け止められたかを検討します。それには、アメリカのジャズの展開を予め簡単に学習し、明治大正期の日本の歌謡の展開の歴史についての基本的な知識が必要とされます。授業の中でも説明しますが、それらについてできるだけ深い関心を持って授業に臨んでください。

成績評価の方法 出席状態を加味し、ジャズ受容や歌詞、映画の感想などについての、レポートを提出、それによって評価する。

教科書 授業時に指示する。

参考書等 授業時に指示する。

その他 講義形式で授業を進め、CD、レコードを聴くことを多用し、幾つかの映画も見て、必要に応じてプリントなどを準備する。

履修コード	357701
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>こばやし おさむ</small> 小林 治

講義のねらい	山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』、『故郷』、『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真った中であって、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廃墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	上記の映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに追ってみたい。 (1~2) 山田洋次にまで連なるところの時代と人間を凝視する松竹出身映画監督の系譜 (3~5) 戦後高度経済成長の概要・その光と影 (6~7) 家族』の分析 (8~9) 『故郷』の分析 (10~11) 『同胞』の分析 (12~13) 『幸福の黄色いハンカチ』の分析 (14~15) 『遙かなる山の呼び声』の分析
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書	適宜プリントを配布する。
参考書等	授業時に指示する。

履修コード	357801
科目名	フレッシュマンセミナー
担当者名	<small>まつだ なおゆき</small> 松田 直行

講義のねらい	大学の授業から最大限のものを得たいと真剣に考えている新入生を対象に、大学での学びの基本を身につけていただくことを目標とする。レポートの書き方など実務的な事項を確認しながら、<読む／書く>、<話す／聞く>の日本語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。また数名ずつのグループを編成して作業を行い、「共に学ぶ」ためのコミュニケーション（ワークショップ）を体験する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 変わる大学 (2) 教養とは何か (3) 論理的な思考と表現 (4) コミュニケーションとは何か (5) 図書館とパソコンの活用法 (6) レポートの書き方 (7) ワークショップで共に学ぶ
履修上の留意点	大学生活を始めるにあたって、授業にしっかり出席する習慣を身につけていただくためにも、毎回休まずに出席することを当然の前提とする。また理由の如何を問わず、遅刻は認めない（途中入室を許可しない）。
成績評価の方法	前期定期試験期間中に論述式の筆記試験を行う。その点数が6割、出席状況と授業中の提出物等による平常点が4割として評価する。出席が2/3に満たない場合は単位を取得できない。
教科書	指定しない。
その他の	初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。この授業は抽選科目ではないが、少人数制の指導を基本としているので、受講希望者が多い場合は初回の授業で「受講許可証」を発行して履修人数の制限を行う。この「受講許可証」を所持していない場合は、履修登録をしても単位を取得することはできない。 なお、同じ時間帯の後期科目「日本文化基礎（松田）」はこの授業とは別の科目であり、両方を履修する必要はない（してもよい）。

履修コード	357901
科目名	日本文化基礎
担当者名	佐原 作美

講義のねらい	奈良平安朝の文学をもとに、古代日本人の思想や精神生活のありようを探ることをテーマとした。
講義の内容・授業スケジュール	授業ではその方法として、『古事記』や『万葉集』や『風土記』さらに『竹取物語』や説話集などを対象に、前半は「物」に対する考え方（5～6回）を見る。また、後半では「言葉」（5～6回）の問題を考えていく。つまり、前者を「呪物（的）信仰」、後者を「言霊信仰」としてとらえ、その視点から見ていきたい。
履修上の留意点	古代文学や古代人の心性に迫るにはまず先入観を捨て、単純素朴な気持ちをもって接するよう心掛けてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本とし、出席状況を考慮して評価する。
教科書	プリントの配布をもって行う。
参考書等	必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	358001
科目名	日本文化基礎
担当者名	鈴木 裕子

講義のねらい	テーマ：古典文学に見る〈家族〉 古代の文学作品を中心に取り上げ、それらに描かれた古代の人々の生活を見ていきたい。例えば、良妻／悪妻とはどのような妻か、あるいは悪母／慈母とは何か、男女の関係や親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど、実際に古典作品の一節を読みながら考える（現代語訳を用意する）。
講義の内容・授業スケジュール	説話や日記文学、物語などに描かれている家族像を読みながら現代につながる人間の問題を探る。あわせて古典文学のおもしろさが味わえるとよい。 プログラム：（1）ガイダンス、（2～4）古代前期の家族・『古事記』、『万葉集』を中心に、（5～7）平安時代の貴族の家族・『落窪物語』、『蜻蛉日記』を中心に、（8～11）説話の世界に見る家族像の変遷・『日本霊異記』、『沙石集』を中心に、（12～14）家族の問題を考える・『源氏物語』から現代文学へ、（15）総括。
履修上の留意点	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。
成績評価の方法	期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書	プリント教材。
参考書等	服藤早苗『平安朝の母と子 貴族と庶民の家族生活史』中公新書、その他、参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	358101
科目名	日本文化基礎
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい どんな人でも文化でも、自己を知ることとは他者を知ることよりずっと困難です。私たちは日頃日本人であることを意識することはありませんが、海外へ行ったときとか、あるいは日本国内で非日本人と接触したときに、初めて自分が日本人であることを意識させられます。そのようなとき、改めて自己の文化について何事かを語ろうとして、自分がいかに無知であるかを思い知らされるのです。

一体日本とは何なのか？日本文化とは何なのか？…これは、「自分とは何か」と自分に問うのに似て、日本人にとって永遠に問い続けなければならない種類の疑問であり、それゆえ答えは一定ではありません。

この授業が、これから始まる、永遠に問い続ける問いの、最初の答えのきっかけとなれば幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

第1回 授業の進め方、「トピックス」の提示、KT2000テスト、Power Point の使い方の実習

第2回～第6回 Power Point の使い方の実習、この間にKT2000テスト2回実施

第7回～第11回 「トピックス」で選んだテーマに従い取材し、得た情報を Power Point でスライドにまとめる。この間にKT2000テスト2回実施

第12回～第15回 発表会

履修上の留意点

「日本の文化」に関して、自宅の伝統行事、新聞・雑誌・書籍・インターネット・TV特集番組など、身近にある情報源に常にアンテナを張り巡らし、必要な情報を集めるように心がけましょう。

文字入力に困らぬよう、タッチタイピング（手元を見ないで入力する方法）をマスターするための自助努力を課します。総合情報センター自習室のPCに入っているタイピング練習ソフト（Type Quick）を使って自分でタイピングレベルを上げてください。タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さも評価対象にしますので、努力が報われるはずですよ。

成績評価の方法

出席点（30%）、Power Point 実習課題点（20%）、プレゼンテーションの学生間の相互評価点（30%）およびKT2000テスト最高点（20%）の総合点で評価します。

教科書

適宜指示します。

参考書等

新聞・雑誌・書籍・インターネット・TV特集番組・各家庭の伝統行事など

杉浦洋一、John K. Gillespie（共著）『日本文化を英語で紹介する事典』ナツメ社 ¥1,980 ISBN 4-8163-3735-0 C0582

その他

希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト（Type Quick）USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	358201
科目名	日本文化基礎
担当者名	蘭部 幹生 <small>そのべ みさお</small>

講義のねらい 真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的現象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4～5 自己認識の文化。6～9 衣食住の文化。10～11 宗教文化・スポーツ文化・原宿文化・テレビゲームの可能性と文化的展望。12～13 文化史としての日本文学と伝承文芸。14 教場試験。15 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めするので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、ノート・参考書等の持込可）。また、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

履修コード	358301
科目名	日本文化基礎
担当者名	いしわり とおる 石割 透

講義のねらい	ジャズ音楽の日本での受容について。ジャズは、大正時代にレコードの浸透、カフェ、ダンスホールの流行と共に移入され、特に戦後、猛烈なアメリカ文化の日本への進出と共に、日本で確固たる芸術として、アフリカ系アメリカ人の生んだ文化として、その発生の歴史が認識され、文学者などにも影響を与えてきた。この時間は、そうしたジャズの、敗戦から安保条約、新安保条約下での日本でのジャズ受容の展開を検討し、戦後の文化の一端を考察しようとするものです。
講義の内容・授業スケジュール	1 敗戦と駐留軍クラブにおけるジャズ(1)、2 東京ブギウギの流行など笠置シズ子の活躍を中心に(2) 3 サンフランシスコ講和条約後の、ジャズと呼ばれた日本のポピュラー音楽(2) 4 ジャズショウとミュージカル映画(2)、5 ジャズ喫茶文化について(2)、6 日活アクション映画、「嵐を呼ぶ男」を中心に(2)、7 シネ・ジャズについて(2)、8 大江健三郎「飼育」松本清張「黒地の絵」などをめぐって(2)、9 ビートゼネレーションの文学の移入(2)、10 「真夏の夜のジャズ」など(2)、11 61年正月のアートプレイキーの来日公演(1)、12 朗読詩(1)できれば、以後の倉橋、中上、村上などの文学に与えた影響も考えていきたい。
履修上の留意点	アメリカのジャズの歴史的な展開を大体把握して、授業に臨んでいただきたいと思う。
成績評価の方法	出席を重視する。ジャズの受容についてのレポートを提出。それらを加味して評価する。
教科書	特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。
参考書等	マイク・モラスキ「戦後日本のジャズ文化」(青土社)、倉田善弘「日本レコード文化史」(岩波書店)など。授業時に指示する。
その他	映画などは、ビデオなどで見ることを考えています。

履修コード	358401
科目名	日本文化基礎
担当者名	こばやし おさむ 小林 治

講義のねらい	宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわられてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類なき想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。
講義の内容・授業スケジュール	上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『シグナルとシグナレス』、『氷河鼠の毛皮』およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。 (1~3) 宮澤賢治の軌跡(4~6)『シグナルとシグナレス』の分析と読解(7~9)『氷河鼠の毛皮』の分析と読解(10~12)『どんぐりと山猫』の分析と読解(13~15)『水仙月の四日』の分析と読解
履修上の留意点	開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書	宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』(ちくま文庫)1,000円
参考書等	その他、適宜プリントも配布する。 授業時に指示する。

履修コード	358501
科目名	日本文化基礎
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なるゆき</small>

講義のねらい	講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POPへの道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした日本近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合による近現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。
講義の内容・授業スケジュール	(1)音の科学 (2)基本の楽理 (3)明治における西洋音楽の移入 (4)浅草オペラとモダニズム (5)流行歌の誕生 (6)戦後の歌謡曲 (7)ビートルズとロックの時代 (8)歌謡曲からJ-POPへ
履修上の留意点	前期にフレッシュマンセミナーを受講した新入生が後期にはこの科目を履修することを想定している。各自の興味・関心をもとに真剣に授業に取り組む学習姿勢を身につけること自体も目的としている。そのため基本的に毎回出席する姿勢が求められ、遅刻しての入室は禁じる。2/3以上の出席がなければ単位を取得できない。
成績評価の方法	音楽に関して、中学校の音楽の授業で学ぶ程度の基礎知識と楽譜の理解力を必要とする。定期試験期間中に筆記試験を行う。定期試験の点数を6割、出席状況と授業での提出物による評価を4割として採点する。
教科書 参考書等	指定しない。授業でプリントを配布し、配布したプリントは定期試験に持ち込み可とする。 佐藤良明『J-pop 進化論』平凡社新書、¥725。

履修コード	358901
科目名	日本語文化基礎
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
 02の講義内容 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
 03の講義内容 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際
 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
 その研究領域の一般活用と手続き
 （中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど）
 05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1（中国と日本）
 06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2（朝鮮半島と日本）
 07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3（モンゴルと日本）
 08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4（ベトナムと日本）
 09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5（タイと日本）
 10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6（インドネシアと日本）
 11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化（ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に）
 12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1（ギリシャ&トルコと日本）
 13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2（イタリアと日本）
 14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3（英国・米国・豪国と日本）
 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合は、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

レポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書等その他

随時、講義の前後にて報知します。

随時、講義の前後にて報知します。

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	358911
科目名	日本語文化基礎
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい

現代の情報化社会において、情報を十分に活用する能力（情報利活用力）は、社会人としての必須能力です。本講座では、情報のインプットからアウトプットまでの流れー「情報収集」「情報管理」「情報分析」「情報創造」「情報表現」ーの5つの分野のうち、解決策を効果的に示す「情報表現」における様々な基礎的能力、すなわち、伝えたいことが伝わる国語力・文章力・図解力を身につけ、さらに情報を送受信する際に必要なモラルや知識を身につけることを目指します。

また、課題の入手から提出まで、全てパソコンで処理する中で、自然とPC操作能力が高まることも、ねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 授業の進め方： 「YeStudy」コース登録方法と課題提出の仕方、KT2000、Type Quick について
- 第2回 情報表現力とは 【e-learning】《確認小テスト》
- 第3回 文章表現力1-1（前半）【e-learning】《課題1-1、確認小テスト》
- 第4回 文章表現力1-2（後半）【対面授業】《課題1-2、確認小テスト》 KT2000
- 第5回 Drill-1【e-learning】
- 第6回 文章表現力2【対面授業】《課題2-1&2-2、確認小テスト》 KT2000
- 第7回 文章表現力3【e-learning】《課題3、4-1&4-2、確認小テスト》
- 第8回 ビジネス文書【対面授業】《課題5-1&5-2、確認小テスト》 KT2000
- 第9回 その他の文書【e-learning】《課題5-3&5-4、6、7、確認小テスト》
- 第10回 Drill-2【e-learning】
- 第11回 ビジュアル表現力1【対面授業】《課題8-1&8-2、9-1&9-2、確認小テスト》 KT2000
- 第12回 ビジュアル表現力2【対面授業】《課題10-1&10-2、11、確認小テスト》
- 第13回 Drill-3【e-learning】
- 第14回～15回 まとめ【対面授業】 KT2000

履修上の留意点

後期第1回目の授業で授業の進め方の説明を受け、その後は、常に「YeStudy」に入って指示を見ながら、ある程度自己管理の下に課題をこなして、採点に直結するポイントを貯めていく授業形態です。

成績評価の方法

課題、確認小テスト、Drill の総合得点により評価します。各提出物には、それぞれに締切日時があり、期限を過ぎるとアップロードできなくなります。いかなる理由があろうとも、提出されなかったものは評価対象になりません。提出期限厳守です。

教科書
参考書等

noa 出版 『伝える力がつければ変わる！情報表現力』 株式会社ワークアカデミー ¥1,766
課題を作成するには、パソコンに Word、Excel および PowerPoint が入っていることが必要です。ソフトの使い方が分からない場合は、毎週必要とする人に開講している「対面授業」に出席して質問するか、書店に並んでいる操作説明書を参考にしてください。

その他

この授業は E-education「YeStudy」を使用して行います。後期最初の授業（説明会）に出席しないと受講の仕方が分からず、単位が取れなくなりますのでご注意ください。
スポーツも芸ごとでも「基本が大切」とは、よく言われることですが、PC操作も実はスポーツと似ていて基本が大事です。PC操作の基本とは、手元を見ないで打つ「タッチタイピング」です。文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心で、基本が出来ているか否かで、仕事の処理能力にかなりの差がつくものです。空き時間を利用して、総合情報センター自習室のコンピュータに入っているタッチタイピングソフト「Type Quick」で入力スキルアップを図ってください。
なお、希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト（Type Quick）USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	171101
科目名	日本文化研究IA
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろ規</small>

講義のねらい	平安末期から鎌倉時代にかけて生きた一女性の和歌集をもとに、当時の女性の人生観とされる「契り」という宿世の認識を考察してもらう。平家全盛の時代、平清盛の娘建礼門院徳子に仕えた「右京大夫」と呼ばれた女房の個人歌集を通して、作品中に語られた二人の男性との恋愛交渉を中心に、作品を講読する。作者の人生を考察してほしい。
講義の内容・授業スケジュール	最初に女性の手になる自照文学の流れを概観し、特に日記文学に見る女性の自己観照のあり方を考えてもらい(1~4)、前期は作者の宮廷生活や、特に平資盛との出会いを中心に作品を読み(5~15)、後期は似絵(肖像画)の名手で歌人の藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩する姿を考え(16~18)、やがて資盛との愛が再燃して後、資盛が平家一門と共に都落ちや西海流浪の果て壇の浦で死ぬという悲運に翻弄される姿を、作品を通して考えてもらう(19~)
履修上の留意点	平安時代の一夫多妻の不安定な女性の生き方を通して、「契り(前世からの約束事)」という宿命観を受けとめてほしい。こうした女性の生き方を通して、作者が資盛の菩提を弔う生涯を選択していく姿を考察してもらう。
成績評価の方法 教科書 参考書等	授業の最終日にレポートを提出してもらい、その成績に出席状況等を加味して評価する。 本位田重美編『校注建礼門院右京大夫集』(武蔵野書院)735円 授業時に適宜紹介する。

履修コード	171201
科目名	日本文化研究IA
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>

講義のねらい	テーマ：歌物語を楽しむ 『伊勢物語』を中心に『大和物語』をも取り上げつつ、歌物語の本質について考える。あわせて『伊勢物語絵巻』など視覚的享受についても論じる。原文を読むが、現代語訳も用意する。
講義の内容・授業スケジュール	プログラム：(1) ガイダンス、(2~3) 「一代記」の始まり・伊勢初段、(4~6) 大和161段と伊勢3、76段、(7~11) 伊勢5段、123段と大和157、158段、伊勢23段と大和149段(12~14) 伊勢6・12段と大和155段、(15) 前期総括、(16~19) 伊勢24段と大和148段、伊勢60、62段、(20~21) 伊勢63段と大和156段、(22~24) 伊勢40段と大和64段、(25~27) 伊勢65段、69段と源氏物語、(28~29) 業平の終焉・伊勢124、125段と大和165段、(30) 総括。
履修上の留意点	授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。
成績評価の方法	期末毎に行うレポート試験(日時・論題等は授業時に提示)40%、授業態度(出席状況と毎回のコメントの内容)60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書 参考書等	徳原茂実・青木賜鶴子編『王朝歌物語選』(和泉書院)、その他プリント教材。 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	172001
科目名	日本文化研究IA
担当者名	薮部 幹生 <small>よぐべ みきお</small>

講義のねらい	日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6~12 宇治拾遺物語の特徴と問題。13~23 編者論。24~28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。
履修上の留意点	毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。
成績評価の方法	毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
教科書 参考書等	中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫 『駒澤国文』26号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	169701
科目名	日本文化研究IA
担当者名	佐原 作美

講義のねらい	約4500首もの和歌を収めるわが国最古の歌集である『万葉集』の中から、特に異色の作風で知られる山上憶良の作品を読みながら、その人間像や思想を探究することを目的としたい。一人の人物に焦点を当てながら、同時に柿本人麻呂など他の歌人との比較を試みつつ、憶良という古代の巨人の生きざまを見ていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	憶良を理解するにはその全作品を精読することが第一。それにあわせ、時代や社会などのその背景も視野に入れる必要があろう。授業では、全77首の和歌のほか、漢詩や散文なども含めて、創作年代順に読んでいくと共に、和歌文学史上における憶良の位置なども考えていきたい。
履修上の留意点	古典文学は何度も繰り返し読むことが肝心。味読することに心掛けてほしい。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)を基本に、出席状況を考慮して評価する。
教科書	土橋 寛編「作者別万葉集」(おうふう刊) 価1,800円。
参考書等	必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	170201
科目名	日本文化研究IB
担当者名	石割 透

講義のねらい	1910年から20年代にかけての日本の、主に短篇小说を読む。 主に大正時代の作家——芥川龍之介・志賀直哉・谷崎潤一郎・江戸川乱歩ら——の作品を読み、それぞれの作家の特質、作家の生きた時代の社会的、文化的状況を検討する。
講義の内容・授業スケジュール	1 志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「小僧の神様」(3) 2、芥川龍之介「芋粥」(4) 3、谷崎潤一郎「小さな王国」(3) 4、江戸川乱歩「人間椅子」(4) 5、志賀直哉「焚火」(3)、6、谷崎潤一郎「春琴抄」(4) 7、芥川龍之介「秋」(3) 8、江戸川乱歩「屋根裏の散歩者」「D坂の殺人事件」など(3)
履修上の留意点	授業に際して、各々の作品を前もって十分に読んでおくことが望ましい。各作品に絡めて言及する作品についても、すぐに図書館などで読んでほしい。いずれも短篇小说だから、すぐに読める筈である。
成績評価の方法	年度2、3回のレポート提出。更に出席状況を重視する。
教科書	特に指示しないが、扱う作品は、主要な文庫本などで比較的容易に読むことが可能である。例えば谷崎潤一郎「美食倶楽部」(ちくま文庫)、江戸川乱歩「江戸川乱歩傑作選」(新潮文庫)、芥川龍之介「芥川龍之介全集I~VI」(ちくま文庫)、志賀直哉「小僧の神様」(新潮文庫)など。
参考書等	年表の会編『近代文学年表(双文社出版)、他は授業時に指示する。 講義を中心に進行する。授業に必要なコピーなどをその都度準備、配布する。

履修コード	175501
科目名	日本文化研究IB
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい 現代文学の作家と映画の関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げ、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についても、ネオリアリズム、シュールレアリズムなどの視点から取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール 代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。

(1~3) 安部公房・作家活動の軌跡 (4~6) 安部公房の映画製作について (7~9) ネオリアリズムとの関わり (10~12) シュールレアリズムとの関わり (13~15) 映画『おとし穴』について (16~18) 映画『砂の女』について (19~21) 映画『他人の顔』について (22~24) SF的方法と小説『第四間氷期』について (25~26) SFの歴史 (27~30) SF文学と映画の比較

履修上の留意点 授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と並行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず事前に読んでおくこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。

教科書 安部公房『砂の女』(新潮文庫) 476円

安部公房『他人の顔』(新潮文庫) 476円

その他、適宜プリントを配布する。

参考書等 授業時に指示する。

履修コード	215711
科目名	日本文化研究IB
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義のねらい 始原から現代に至るまでの日本の芸能史を概観し、ジャンルの枠を超えた発想から日本におけるライブ・パフォーマンスの全体像を見つめる。

講義の内容・授業スケジュール (1) 芸能とは何か (2) 大道芸と見世物 (3) 異界との交流 (4) 芸能の始原を考える：相撲の歴史とともに (5) 能と歌舞伎 (6) 浅草オペラと宝塚 (7) 落語と漫才 (8) 現代演劇を見る

履修上の留意点 基本的に毎回きちんと出席することを前提として講義を進める。2/3以上の出席がなければ単位は取得できない。遅刻の場合は出席とみなさないの注意すること。

できる限り視聴覚資料を使って授業を進めるが、それらはあくまで画像・映像に過ぎず、対象とするライブ・パフォーマンスとは本質的に異なる。自ら積極的に芸能の場に足を運んで体験してきてほしい。

成績評価の方法 前期・後期それぞれの定期試験期間中に筆記試験を行う。前期試験の点数が3割、後期試験の点数が4割、出席点(授業での提出物の評価を含む)が3割の配分で評価する。

教科書 指定しない。

その他 この授業で扱う内容の専門性を深め、少人数によるワークショップ形式を取り入れた「日本文化研究IIB(松田)」も開講している。希望者はまずIBを先に履修してから、翌年度以降にさらに興味があればIIBを履修していただきたい。

履修コード	359001
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	佐原 作美

講義のねらい	日本の古典文学を読むとよく「夢」が出て来る。そこでそれぞれの作品の中で、それがどのような役割を担い、どう位置づけられているかを中心に、「夢と古典文学」をテーマに考察していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、前期に『古事記』（3～4回）『日本書紀』（4～5回）『万葉集』（3～4回）『風土記』（2回）など主に古代前期の作品を対象に。後期は、『古今集』などの和歌集や、『今昔物語集』などの説話、さらに平安期の『更級日記』などの女流文学、等々（各3～4回）平安期の諸作品を中心に見ていきたい。
履修上の留意点	素材が夢であるだけにその内容は人により作品により種々様々であると同時に類型的な一面もみられる。それだけに、よく味読することが肝要であり、かつ望まれる。
成績評価の方法	折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況を考慮して評価する。
教科書	プリントの配布をもって行う。
参考書等	必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	359101
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	鈴木 裕子

講義のねらい	テーマ：和歌で読む『源氏物語』 古典の物語では和歌は重要な役割を果たしている。この授業では、『源氏物語』の中から名場面を取り上げて原文を読みながら、特に和歌に着目して鑑賞する（現代語訳を用意する）。物語世界を切り拓いてゆく和歌の重要な機能について理解を深めつつ、古代の物語を読むおもしろさを味わいたい。あわせて、現代の私たちが古典を読み継いでゆくことの意味を確認したい。
講義の内容・授業スケジュール	プログラム：（1）ガイダンス、（2～8）光源氏の青春の物語、（9～14）和歌で読む紫の上の人生史、（15）前期の総括、（16～18）『源氏物語』第二部から第三部の世界へ、（19～22）薫と大君の物語、（23～27）浮舟の歌を読む、（28～29）『源氏物語』の和歌が後世に与えた影響、（30）総括。 ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。
履修上の留意点	授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式が基本となるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。
成績評価の方法	期末毎に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。
教科書	プリント教材。
参考書等	参考書は、俵万智『愛する源氏物語』（文藝春秋社）、鈴木裕子『『源氏物語』を「母と子」から読み解く』（角川叢書・角川書店）、『源氏物語入門』（角川選書・角川書店）その他、授業中に指示する。

履修コード	359201
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	坂口 博規

講義のねらい	古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等の歌謡を考える。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割（＝古代的意義）を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割（＝文学性）を担っているか等を考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	はじめ「ウタ」の発生について考察し（1～3）、次いで古代歌謡の種類（4～6）や形態（7～8）や表現様式・歌体（9～13）などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以って採用されているかを理解してもらうために、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、その違いは『古事記』と『日本書紀』の政治的主張の差などに由来することから、まず『古事記』と『日本書紀』の成立について考察（14～17）、その上でヤマトタケル物語を読み解きたい（18～30）。
履修上の留意点	古代の文学・歴史書たる『古事記』『日本書紀』『風土記』は、その表現や内容上難解な点が多いので、是非注釈書などに目を通してほしい。本文読解を中心に行うことはしないので作品の理解は現代語訳でもよい。
成績評価の方法	定期試験時におけるレポートの評価による。出席状況も参考にする。
教科書	授業時に適宜プリントを配布する。
参考書等	授業時に適宜紹介する。

履修コード	359301
科目名	日本文化研究IIA
担当者名	<small>そのべ みきお</small> 蘭部 幹生

講義のねらい 『宇治拾遺物語』の編者が文章博士・藤原経範であるという前提に立てば、『宇治拾遺物語』をどのように読むことができるか、という点を最大のテーマとする。恣意的な読み方によらずに、どのように読むべきかという作品研究の立場に立った方法を実践したい。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス。2 説話文学の盛衰。3～4 編者論。5～14作中人物論。15～28作品論。29教場試験。30まとめ。

履修上の留意点 日本文化研究IAを履修済みであることが望ましい。できれば同一担当（蘭部幹生）者の日本文化研究IAを単位修得してから履修することが望ましいが、そうでない場合は、必ず最初の授業時にその旨を相談すること。

成績評価の方法 また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書 中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫

参考書等 『駒澤日本文化』2号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

履修コード	359701
科目名	日本文化研究IIB
担当者名	<small>いしわり とおる</small> 石割 透

講義のねらい 日本近代文学とく京都——そうだ、京都。学ぼう。

京都は平安時代から、政治、文化の中心としてあり、近代においても首都東京と対照的な、東京を批評する性格をもつ都市として文学の世界でも表象されてきた。現在でも多くの人たちが訪づれる国際的な都市でもある。日本の文化の本質とも深く関わる、こうしたく京都>という場所は、どのような空間に位置し、いかなる歴史、文化とかがわってきたか。この授業では、京都という都市の性格を概観し、それが特に日本近代文学でいかに表象されてきたかを検討しようとする授業です。

講義の内容・授業スケジュール 1 京都の歴史（2）、2 地理的条件（2）、3 生活習慣、行事、祭礼など（2）、4 京都言葉の特徴（3）、5 家屋構造、路地など（2）、6 近代の京都、疎水工事、市内電車など（1）、7 川端康成「古都」の検討（3）、8 与謝野晶子「みだれ髪」、夏目漱石「虞美人草」（3）、9 東京下町趣味、長崎、祇園、吉井勇、長田幹彦、高浜虚子など（3）、10 近松秋江「黒髪」（3）、11 京都と映画、牧野省三、溝口健二など（1）、12 映画「古都」「祇園囃子」を見る（2）、13 大仏次郎「帰郷」など（1）

履修上の留意点 各授業に先だち、各テキストを読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法 年間に2、3回のレポートの提出。出席を重視して、成績評価に加味する。

教科書 特に指示しない。授業時にコピー、印刷物を配布する。

参考書等 授業時に指示する。京都を表象したテキストに注目しておくように。

その他 講義を中心として進行する。

履修コード	359801
科目名	日本文化研究ⅡB
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい 戦後における文学の第一声ともされる同人誌『近代文学』に依る本多秋五や荒正人の評論から始めて、野間宏、椎名麟三などの第一次戦後派から、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄を経て、小島信夫、庄野潤三などの第三の新人に至るまでの戦後日本文学の軌跡を、それぞれの作家の作品を読むという形で辿ってみたい。そうすることで、敗戦までの日本近代文学の陥穽に対峙することから、その表現の独自性を確立しようとした戦後日本文学の可能性と限界を探りたい。

同時に受講生において、個々に自分にとって文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むという行為がどのような意義を持つのかということをおぼろげにイメージして考える出発点としていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 第二次大戦直後の戦後文学の出発期から昭和十年代に至るまでの戦後派文学の軌跡がいかなるものであったのか、その概論を講義形式でおこなうと同時に、個々の作家の重要な作品については、逐次たちどまって具体的にテキストを用意してじっくりと講読する。なお、今年度は主に同人誌『近代文学』掲載の評論ならびに安部公房と島尾敏雄の短編小説を取り上げる予定。

(1~3) 戦後文学の特色について (4~7) 同人誌『近代文学』の役割 (8~9) 安部公房の軌跡 (10~11) 『飢えた皮膚』の分析と読解 (12~13) 『闖入者』の分析と読解 (14~15) 『R62号の発明』の分析と読解 (16~17) 『死んだ娘が歌った』の分析と読解 (18~19) 『棒』の分析と読解 (20~21) 『鏡と呼子』の分析と読解 (22~23) 島尾敏雄の軌跡 (24~25) 『島の果て』の分析と読解 (26~28) 『出発は遂に訪れず』の分析と読解

履修上の留意点 開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

安部公房『水中都市、デンドロカカリヤ』(新潮文庫) 514円

安部公房『R62号の発明、鉛の卵』(新潮文庫) 552円

島尾敏雄『出発は遂に訪れず』(新潮文庫) 590円

その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

履修コード	359901
科目名	日本文化研究ⅡB
担当者名	松田 直行 <small>まつた なおゆき</small>

講義のねらい 昨年度の「日本文化研究ⅡB (松田)」で概説した演劇・芸能の中から受講者の興味関心に応じたテーマを選び、映像を見ながら参加者全員が同じ立場で意見を出しあう少人数のワークショップ形式で授業を進め、昨年度の講義内容をより深く掘り下げた理解を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 前期は「演劇における真と美の東西比較」をテーマとして、社会の底辺に生きる人々や泥棒を登場人物とした3つの舞台(1)ゴーリキー作「どん底」、(2)歌舞伎「三人吉三」、(3)ミュージカル「ベガーズ・オペラ」を比較検討する。後期はイギリスで上演された鴻上尚史作「天使は瞳を閉じて」を予定しているが、ほかにも受講者の希望があれば、できる限り応じたい。

履修上の留意点 基本的には昨年度の「日本文化研究ⅡB (松田)」の受講者を対象としているので、それを受講していない場合はまずⅡBから履修していただきたい。初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法 授業の中で適宜レポートの提出を求め、筆記試験は行わない。レポートによる評価が5割、出席状況や授業への参加姿勢による評価が5割として判定する。

教科書

指定しない。

履修コード	170901
科目名	日本語文化研究I
担当名	萩原 義雄

講義のねらい 音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する日本語資料の実態についてその保管現況を把握します。この資料をどう時代区分するのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化を研究する際、どのような重要性を有し、どのように研究発展させていくのかを各が認識していきます。

講義の内容・授業スケジュール

01の講義内容 日本文化の未来と古代をつなぐ

02の講義内容 五十音圖のはなしと音訓について
文字資料(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字)から日本語学資料へ

03の講義内容 「いろはうた」と「あめつちのうた」そして「たゐにのうた」

04の講義内容 『伊勢物語』第九段 「東下り」を読む

05の講義内容 『野馬臺詩』をめぐる説話譚 — 『吉備大臣入唐絵巻』 — PDF版

06の講義内容 「落書」PDF版

07の講義内容 「手紙」失われた文字 PDF版

08の講義内容 文字の修得と習学 PDF版 「かな」について 貴族階級とことば教育 佛敎界とことば教育

09の講義内容 文字の運びと流れ PDF版 カタカナ文献資料について — 『古今和歌集』(旧伏見宮家藏)一二〇六年寫 —

10の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その1 PDF版 — 『今昔物語集』(京都大学附属図書館蔵国宝、鈴鹿本) —

11の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その2 PDF版 — 鈴鹿本『今昔物語集』から古辞書利用へ —

12の講義内容 連綿連続にみる日本語の抑揚階調表現 PDF版 — 徳川本・五島本『源氏物語繪巻』のかな書き「ひ」文字 —
夏季課題提出(後期講義に向けてその方向性と準備を説明)

13の講義内容 『作庭記』について PDF版

14の講義内容 梅沢本『古本説話集』にみる畳字踊り字「／＼」 PDF版

15の講義内容 延慶本『平家物語』について PDF版

16の講義内容 鴨長明自筆『方丈記』について PDF版

17の講義内容 細川三斎忠興筆『徒然草』について PDF版

18の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について PDF版

19の講義内容 『太平記』について PDF版

20の講義内容 中世藝術論〔謡曲・能・狂言〕の言語文化についてPDF版

21の講義内容 天草版(キリシタン)資料 PDF版

22の講義内容 往来物『庭訓往来』について PDF版

23の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』PDF版

24の講義内容 『仮名手本忠臣蔵』PDF版

25の講義内容 町人文化とことば…十返舎一九編『東海道中膝栗毛』PDF版

26の講義内容 樋口一葉『たけくらべ』—雑誌「文學界」と「文藝俱樂部」所載直筆原稿—
冬季課題の提出

履修上の留意点 ※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法 前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書 紀田順一郎著『日本の書物』[勉誠出版、3000円(税別)]
インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/hagi/>]

- 参考書等 今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】(空閑書院) 3,800円(税別) ISBN4-305-70307-6
- その他の 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	215721
科目名	日本語文化研究I
担当者名	<small>ゆあさ ほうこ</small> 湯浅 陽子

講義のねらい プレゼンテーションとは、そのための立案・企画を含めた発表・説明行為です。情報を相手に正確に伝え、納得させること、宣伝(PR)活動を意味することもあり、プレゼンという略称もよく耳にするようになります。

本講義では、視覚情報(ビジュアル)プレゼンテーションに的を絞り、効果的な作成技法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1~2) タッチタイピングの重要性、プレゼンテーションの基本
- 3~4) プレゼンテーションの作成
- 5~6) 訴求力のあるスライド作成の基本
- 7~8) 訴求力のあるスライドの作成
- 9~10) 紙面デザインの基本
- 11~12) ポスター・ちらしの作成
- 13~14) カタログ冊子の作成
- 15) 予備日
- 16~17) オートデモの作成
- 18~19) Web ページの作成
- 20~21) フォトアルバムの作成
- 22~23) PDFファイルの作成
- 24~30) 総合問題

履修上の留意点

第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っていても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

なお、履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲ります。

(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

成績評価の方法

出席点(20%)、授業内で何回か計測するキータッチ2000テスト結果の最高点(30%)、および提出された課題点(50%)により行います。

教科書

富士通エフ・オー・エム株式会社 『よくわかる Power Point 2007 ビジネス活用編』 FOM出版 ¥2,415 ISBN978-4-89311-716-8

その他の

タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするため、課題作成に際しては無理なく作業できるよう、自習室のPCにインストールされている入力練習ソフト(Type Quick)でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるUSBメモリ又はCD-ROM版を購入することが可能です。

タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さが評価に直結しますので、時間を見つけて練習に励んでください。

履修コード	360601
科目名	日本語文化研究II
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい

日本語文化研究Iの日本語歴史で取り扱ってきた作品資料には、多くの注釈書類が編纂されてきている。これらの注釈書類に焦点を当ててみることで、作品の有する特徴並びに享受者側の学習教養の度合いを検証していくこととする。例えば、『古今和歌集』には『古今集註』、『伊勢物語』には『和語知頭集』『神風知願正義集』『伊勢物語惟清抄』など、『源氏物語』には『源氏物語抄』『河海抄』など、『枕草子』には『春曙抄』、『徒然草』には『徒然草寿命院抄』といった具合に枚挙なき注釈書が存在している。これらの注釈書類を以て、日本語文化研究における国語資料としての位置づけについて探求することをめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
古典作品に於ける「古注釈」研究の領域とは
- 02の講義内容 『万葉集』の注釈書『万葉集略解』『万葉代匠記』
- 03の講義内容 『古事記』の注釈書『古事記伝』
- 04の講義内容 『日本書紀』の注釈書『日本書紀抄』
- 05の講義内容 文献資料の蒐集方法とその取り扱い
- 07の講義内容 字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその方法
- 08の講義内容 『伊勢物語』の注釈書『和語知頭集』『神風知願正義集』『伊勢物語惟清抄』
- 09の講義内容 『古今和歌集』の注釈書『古今集註』
- 10の講義内容 『枕草子』には『春曙抄』
- 11の講義内容 『源氏物語』の注釈書『源氏物語抄』『河海抄』
- 12の講義内容 文献素材の入手及びデータ入力作業
- 13の講義内容 『和漢朗詠集』の注釈書『和漢朗詠集註』『和漢朗詠集聞書』
- 14の講義内容 『平家物語』の注釈書『平家物語繪抄』
- 15の講義内容 『徒然草』の注釈書『徒然草寿命院抄』
- 16の講義内容 『太平記』の注釈書『太平記賢愚抄』『太平記音義』
- 17の講義内容 『庭訓往来』の注釈書『庭訓往来註』『庭訓往来抄』
- 18の講義内容 難字・異体字の処理及び修飾文字の利用(「今昔文字鏡」等)
- 19の講義内容 図画・図表の処理(データ加工)→機器スキャナーに依る取り込み
- 20の講義内容 注釈書類の引用文献その1 漢詩・漢籍資料
- 21の講義内容 注釈書類の引用文献その2 和歌資料
- 22の講義内容 注釈書類の引用文献その3 和文資料
- 23の講義内容 注釈書類の引用文献その4 記録類資料
- 24の講義内容 注釈書類の引用文献その5 字書・辞書類資料
- 25の講義内容 解読資料の整理記述 (PPTの作成)
- 26の講義内容 資料公開とその注釈語の分析結果報告 (PPTによる発表)

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

成績評価の方法

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

月毎に注釈書収載のことは群から説明語彙を選択し、上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。解答の数を最低20としてこの一問一答ずつの提出物を高く評価していきます。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書その他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。
情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。
情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	360701
科目名	日本語文化研究II
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい 情報検索、情報共有、文書作成、企画提案、プレゼンテーション、数値分析、デザイン、スケジュール管理…等々、実社会では、「情報を活かし、コミュニケーションする能力（ICT能力）=情報活用力」が日々、求められています。パソコンなど情報機器の普及とともに、多くの仕事で情報を取り扱う機会が増え、「情報活用力の優れた人材=仕事のできる人」という図式ができあがりつつあります。

この動きに対応できるよう、情報基礎教育や Office アプリケーション操作をひととおり学習した学生にとっての「実社会で活躍する」スキル涵養のための授業です。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 オリエンテーション、履修登録許可者決定テスト（KT2000）
- 2 「履修登録許可書」発行、ファイル・データ管理
- 3～4 インターネットコミュニケーションI&II（メール・Web ページ）
- 5～6 文書表現、KT2000
- 7 ビジュアル表現
- 8～9 プレゼンテーションI&II（プレゼンの基本と資料作成）
- 10～11 情報検索
- 12 情報運用、KT2000
- 13～15 プレゼンテーションIII（プレゼン実習）
- 16～17 数値分析I-1（データの種類・データの加工・セル参照）、KT2000
- 18～20 数値分析I-2（関数の利用）
- 21～24 数値分析II（データ分析、グラフ化）
- 25～30 データベース、KT2000

履修上の留意点

第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っていても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲ります。

（連絡先：yuasa@komazawa-u.ac.jp）

なお、昨年の「実務表現」を受講し単位を取得した学生は、内容が同じなので、この授業の履修を認めません。他の科目担当者の「日本（言語）文化研究II」を履修してください。

成績評価の方法

出席点（20%）、年間を通して5回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点（30%）、および提出された課題点（50%）により行います。

教科書

本田直也監修 『考える、伝える、分かちあう、情報活用力』 noa 出版（株式会社ワークアカデミー） ￥2,500 ISBN978-4-9902420-4-6

その他

課題作成に際しては無理なく作業できるよう、自習室のPCにインストールされている入力練習ソフト（Type Quick）でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるUSBメモリ又はCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	360901
科目名	実務表現
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい 広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかないでいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に進めていく。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
書く技術 原稿用紙縦書きの意味
 - 02の講義内容 出版社はなぜ400字詰めの原稿用紙を用いないのか？
 - 03の講義内容 800字の文章は、こうして書く。
 - 04の講義内容 原稿用紙7枚半(3000字)の文章の書き方
 - 05の講義内容 漢和辞典を繙く
 - 07の講義内容 国語辞典を繙く
 - 08の講義内容 類語辞典を活用してみよう
 - 09の講義内容 話題のエピソードを導入部で使おう
 - 10の講義内容 人物はどのように描けるか
 - 11の講義内容 自然景物をどう活写するか
 - 12の講義内容 時代小説家は何に留意して作品を構築しているのか
 - 13の講義内容 推理小説は、種明かしの部分をどこにおいているか
 - 14の講義内容 「パロディ」な文章を書いてみよう
 - 15の講義内容 絵本を書いてみよう
 - 16の講義内容 漫画・アニメにみる「ことば表現」を使えるか
 - 17の講義内容 手書き文字はどうすれば巧く書けるようになるのか？そのコツ！
 - 18の講義内容 詩や短歌を用いてことば遊び(回文・逆きことば・しりとり等)を学ぼう
 - 19の講義内容 かな文字だけの文章
 - 20の講義内容 ローマ字だけの文章
 - 21の講義内容 文法は、グラグラだ！どうすりゃいいの？
 - 22の講義内容 文章の修辞法を知ろう
 - 23の講義内容 音の響きと弾みから学ぶ「オノマトペ」の活用法
 - 24の講義内容 生活に根ざした「方言」で書く文章
 - 25の講義内容 「句読点」はどう用いてきたか
 - 26の講義内容 言語生活からみた「新聞論評・コラム」
 - 27の講義内容 愈々、独り立ち！個性ある書き手をめざそう。(PPTの作成)

履修上の留意点 ※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法 週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてもらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めていきます。その仕上がり度合いを許に評価を五段階にして提示します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書その他 URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

情報機器及び文書編集ソフト「一太郎2009」を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

履修コード	361001
科目名	実務表現
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>

講義のねらい プレゼンテーションとは、語源である「贈呈する」の視点から言えば、提示する、つまり「見せる」技術です。話すことにおいても、書くことにおいても、「見せる」という意識がとても大切です。

講義の内容・授業スケジュール 本講義をとおして、話す技術、書く技術を「見せる」プレゼンテーションに高める方策として「パワーマップ」と「アウトライン」を活用しながら、確かな話す技術、骨子が見えるビジネス文書を書く技術を身につけます。

- 1) オリエンテーション、履修登録許可者選抜テスト (KT2000、PPT、Word)
- 2～3) 話す技術、書く技術両方に共通した考え方「パワー・ライティング」
- 4) プレゼンテーションの技法チェック
- 5～6) 話す技術 (抗議)
- 7～8) 話す技術 (反駁)
- 9～10) 話す技術 (交渉)
- 11～12) 話す技術 (企画・提案)
- 13～15) 話す技術 (報告)
- 16～17) KT2000、ビジネス文書作成の基本確認
- 18～19) 書く技術 (抗議状)
- 20～21) 書く技術 (反駁状)
- 22～23) 書く技術 (交渉状)
- 24～25) 書く技術 (企画・提案)
- 26～27) 書く技術 (報告書)
- 28) KT2000
- 29～30) まとめ

履修上の留意点 第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っていても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したものとみなします。(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

成績評価の方法 出席点 (40%)、合計3回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点 (20%)、および「話す」「書く」の提出課題点 (40%) の合計点により評価します。

教科書 適宜指示します。

参考書等 日経BPソフトプレス 『Microsoft Office Word 2007 ビジネス問題集』 日経BPソフトプレス ¥1,050 ISBN978-4-89100-896-3
 入部明子 『サバイバル・プレゼンテーション』 メディア・テック出版 ¥2,604 ISBN4-89627-296-X

その他 課題作成に際しては無理なく作業できるよう、自習室のPCにインストールされている入力練習ソフト (Type Quick) でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるUSBメモリ又はCD-ROM版を購入することが可能です。

履修コード	168901
科目名	日本文化テーマ研究 A
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>

講義のねらい 『古事記』や『日本書紀』などに見られる神話や古伝承などをもとに、古代の日本人の心性や精神生活などのありようをテーマに考察していきたい。あわせ現代人とのつながりについても見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 授業では昔からよく知られた『古事記』(4～5回)の中から「国生み神話」をはじめとする神話伝説。『万葉集』(4～5回)からは行路病死者を詠んだ挽歌や伝承歌。あるいは『竹取物語』などに見られる「羽衣伝承」(3～4回)などを中心に読んでいきたい。

履修上の留意点 各自の感性を大切しながらよく味読することに心掛けてほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)を基本に、出席状況を考慮して評価する。

教科書 プリントの配布をもって行う。

参考書等 必要に応じ授業時に紹介する。

履修コード	168911
科目名	日本文化テーマ研究A
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>

講義のねらい 人間の住む世界に対し、妖怪など異類の住む世界を異界というが、人間とこの異類との交流をモチーフとするものが古典文学の中によく見られる。そこでそれらを対象にそれに見られる意義や背景などを考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、その代表的な『竹取物語』（6～7回）をはじめ、『風土記』（2回）や『万葉集』（1～2回）や『今昔物語集』（2回）などに見られる関連説話（1～2回）を読みながら、その文化史的社会的意味あいを考察していきたい。

履修上の留意点 何度もくり返し読んで味読するよう心掛けてほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や期末試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況を考慮して評価する。

教科書 プリントの配布をもって行う。

参考書等 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	169001
科目名	日本文化テーマ研究B
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>

講義のねらい 奈良平安時代の社会の底辺に生きた一般庶民は、日常の生活の中で何を願い、何を信じ、何を恐れ、何を考えていたか等々、その感情や思想の一端について考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、それらがよく描出されている説話文学、特に『日本霊異記』や『今昔物語集』などをとに見ていく。特に、前半では、観音・地藏・阿弥陀仏など現代人にもなじみの深い諸仏信仰に関するもの（各2～3回）を読む。後半は、芸道や霊鬼や古伝承・笑い話など（各2～3回）巾広く取り上げて見ていきたい。

履修上の留意点 説話は短く内容も単純であるだけに、その発するメッセージを見逃さぬよう注意深く読むことが大切。味読むすることを心掛けたい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や期末試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況を考慮して評価する。

教科書 プリントの配布をもって行う。

参考書等 必要に応じ授業の中で紹介する。

履修コード	169011
科目名	日本文化テーマ研究B
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ゆうこ</small>

講義のねらい テーマ：古典文学で考える〈男〉の生き方・〈女〉の生き方
『堤中納言物語』、『とりかへばや物語』など、『源氏物語』以後に作られた物語を取り上げて、原文の一節を読みながら、古典文学の中に描かれる〈男〉らしさ、〈女〉らしさの表現や、社会と文化によって作られる〈ジェンダー〉、さらに、〈暴力〉などの人間関係の問題について考える。

講義の内容・授業スケジュール プログラム：（1・2）ガイダンス・『源氏物語』と後期物語について、（3～4）『堤中納言物語』『花桜折の中將』を読む、（5～7）『堤中納言物語』『虫めづる姫君』を読む、（8～14）『とりかへばや物語』（抄出）を読む、（15）総括

履修上の留意点 ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。
授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。

成績評価の方法 期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 プリント教材。

参考書等 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

履修コード	169101
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	坂口 博規

講義のねらい 日本文化の一つとして、昔話・民譚と称される伝承がある。本年度はその伝承の中でも「異類怪婚譚」の諸相について考える。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して人間と結婚するという伝承であり、特に異類房譚を考察する。

講義の内容・授業スケジュール 異類女房譚は、その異類の郷土を基礎として大きく三つの系統があり、A「空」を郷土とする羽衣伝説の例、B「海」を郷土とする浦島伝説の例、C「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説の例などである。半期科目なので羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説（1）、次いで日本の古代の伝承から講じてゆく（2～6）。平安時代成立の『竹取物語』も羽衣伝説の系譜に立つ物語であり、また「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の話もA系統に属する伝承であり、これらについても考察する（7～13）。更にB・Cの系統についても言及したい（14・15）。

履修上の留意点 異類怪婚譚は室町時代物語草子（御伽草子）の中に多く登場し、その考察は「日本文化テーマ研究D」で行うので、併せて履修して下さい。なお本時の内容は、平成18年度「日本文化基礎」で行ったものであり、18年度「日本文化基礎」を履修した受講生も「日本文化テーマ研究D」を履修していただくことと幸いである。

成績評価の方法 授業の最終日に提出してもらったレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書 授業において適宜プリント教材を配布する。

参考書等 授業において適宜紹介する。

履修コード	169111
科目名	日本文化テーマ研究C
担当者名	蘭部 幹生

講義のねらい 日本文化における事項のうちから、「失われた文化」をテーマとする。日本文学の中で現存しない作品は多いが、そのうち、説話文学史上に多大の影響を与えた（散佚）『宇治大納言物語』をとりあげる。諸書で紹介される記事や引用されて残る佚文を読み、その実態を探る試みを通して、失われた文化の持っていた意味や役割を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス。2 作品の文学史的意義。3～6 他の文献における記事。7～10 他文献における受容。11～13 実態と散佚に関する推定。14 教場試験。15 まとめ。

履修上の留意点 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めますので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法 出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書 プリントを配布する。

参考書等 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169201
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	坂口 博規

講義のねらい 室町時代物語草子（御伽草子）群には「異類怪婚物語（人間と人間以外の鳥獣・魚虫・植物等の変身した者との不思議な結婚の物語）」が多く存在する。それらの作品を取り上げ考察すると共に、受講生にはそうした作品から希望する作品を各自選んでもらい、研究レポートを作成してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール 室町時代物語草子のうち、江戸時代に23篇の作品が「御伽草子」と題して出版された。その中から異類怪婚物語を取り上げて解説する。まず古典文学における物語史を講じて室町時代物語草子の文学的意義を考察（1・2）、更に23篇の中より異類怪婚物語として『浦島太郎』（3～6）・『本囃狐』（7・8）・『蛤の草子』（9・10）を取り上げて読解する。最後に「御伽草子」23篇以外の『雁の草子』を例に作品研究の実際を学んでもらう（11～15）。

履修上の留意点 「異類怪婚物語」については、「羽衣伝説」を中心に「日本文化テーマ研究C」で講義し、室町時代物語草子の作品例として『鶴の草子』を解説するので、後期開講のこちらも受講して下さいと幸いである。

成績評価の方法 授業の最終日に提出してもらったレポートは原稿用紙10～20枚程度（400字詰）を考えている。その成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書 授業時にプリント教材を配布する。

参考書等 授業時に、レポート作成のための文献等の紹介をする。

履修コード	169211
科目名	日本文化テーマ研究D
担当者名	<small>そのべ みさお</small> 蘭部 幹生

講義のねらい 日本文化における事項のうちから、「歌徳説話」をテーマとする。「徳」は「得」を意味し、「歌徳説話」とは歌を詠むことによって得をした話であるが、そのような話がどのようにして形成されていったのか、精神的背景にどのようなことがあるのかを顕かにしたい。

講義の内容・授業スケジュール 1 歌徳説話の意味。2～5 典型的な歌徳説話について。6～7 歌徳説話の形成。8～9 歌徳説話の精神的背景。10～13 垂流の歌徳説話。14 教場試験。15 まとめ。

履修上の留意点 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法 出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当事・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書 プリントを配布する。

参考書等 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	169301
科目名	日本文化テーマ研究E
担当者名	<small>いしわり とおる</small> 石割 透

講義のねらい 文学と映画（I 明治篇）。文学と映画、それぞれのテキストは、大正時代から、密接な関係を保ちながら展開してきたが、この時間では、明治期から大正期にかけて発表された、文学史に残る重要な文学テキストと、それが映画化され、映画史の上でも記憶されるべき作品として評価されている映画を通して、文学と映画という、それぞれの表現メディアの特色、それぞれが生まれた時代の文化的な本質、などを検討し、日本の近代文化史の一端を検討したい。

講義の内容・授業スケジュール 1、伊藤左千夫「野菊の墓」と木下恵介監督「野菊の如き君なりき（4）2、島崎藤村「破戒」と市川監督「破戒」（5）、3 夏目漱石「それから」と森田芳光監督「それから」など。

履修上の留意点 扱う文学テキストは、何れも文庫本で入手できるテキストばかりであり、映画はその都度、授業中にも見るが、それ以後にも機会があれば、文学テキストと照らし合わせて、幾度も見る機会を持ってほしい。そして文学と映画の相違に留意して考えてほしい。扱う作品以外にも、映画、映画史に言及することも多いので、常に映画を出来るだけ見ておくなど、映画に関心を強く持って受講してほしい。特に、扱う作品の作家、映画の場合は監督の他の作品にも注目してみる機会を持ってほしい。

成績評価の方法 文学と映画を比較検討した課題のレポートを提出すること。出席状況を重視して、成績評価に加味する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 授業時に指示する。

その他の 講義形式で授業を進行させる。映画はビデオなどで授業時に見る予定。

履修コード	169311
科目名	日本文化テーマ研究 E
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい	宮澤賢治の生前未発表童話を読む。賢治が書いた散文作品は、童話としては難解すぎ、またその法華経文学としての宗教性からも、児童文学としては適当ではないのではないかなど様々な議論がこれまでであった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」(『注文の多い料理店』広告文)へ与えられるべき「すぎとほつたほんたうのたべもの」(『注文の多い料理店』序)であることを願って書かれていることに異を唱える者はないだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」(『注文の多い料理店』広告文)「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、そのような物語を求める賢治の精神のありようについて考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	具体的には上記のテーマ等の考察を、『なめとこ山の熊』、『セロ弾きのゴーシュ』などの短編や、『ポラーノの広場』、『風の又三郎』など比較的に長い生前未発表作品の初期形から最終形までの生成の過程の中にみていく予定。
履修上の留意点	(1~3) 宮澤賢治の軌跡 (4~6) 『なめとこ山の熊』の分析と読解 (7~9) 『セロ弾きのゴーシュ』の分析と読解 (10~12) 『ポラーノの広場』の分析と読解 (13~15) 『風の又三郎』の分析と読解 開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。
成績評価の方法 教科書	毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
参考書等	宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』(ちくま文庫) 1,000円 その他、適宜プリントも配布する。

履修コード	169401
科目名	日本文化テーマ研究 F
担当者名	石割 透 <small>いしわり とおる</small>

講義のねらい	文学と映画(大正・昭和篇) 大正期以後に発表された文学史のうえでも重要な文学テキストと、それが映画化された映画を対照比較しながら検討し、文学と映画の表現メディアのそれぞれの特質、それぞれが発表された時代の文化的諸相を検討する。
講義の内容・授業スケジュール	1 森鷗外「山椒大夫」と溝口健二監督「山椒大夫」 2、(4) 芥川龍之介「藪の中」と黒澤明監督「羅生門」(5)、3 豊田正子「綴方教室」と山本嘉次郎監督「綴方教室」(4)、4 宮本輝「泥の川」と小栗康平監督「泥の川」(3) など。
履修上の留意点	受講する前に、主に扱うテキストを十分に読んで授業に臨んでほしい。映画を見終わった後も、できる限り、DVDなどで、その映画を見て、映画と文学の表現の相違を考えてほしい。他の映画作品にもできる限り多く接し、映画独特の表現の特質を検討してほしい。
成績評価の方法 教科書 参考書等 その他	1、文学と映画に関する課題の、7枚程度のレポート提出による。更に出席状況を重視する。 特に定めない。 授業時に指示する。 講義形式で進める。プリントを必要に応じて配布する。また、授業時に扱う映画を何らかの形で見ることを考えている。

履修コード	169411
科目名	日本文化テーマ研究 F
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>

講義のねらい 異貌の作家・深沢七郎の小説を精読する。深沢は、昭和三十一年（1956年）、四十二歳で総合誌「中央公論」に創設されたばかりの「中央公論新人賞」に応募し、第一回の入賞者となって作家デビューを果たしている。それ以前は、戦前からギターのリサイタルを継続的に開いたり、旅まわりのバンドにいたり、日劇ミュージックホールにスカウトされて出演したりなど一風変わった風来坊的な生活を送っていた。このような書齋で思考する知識人作家的なタイプとは無縁の、文学同人やサークルからも孤立したその来歴からもうかがえるように、その作品においては、およそ日本の近代文学の正統からはずれて、ヒューマンイズムの規範による人間中心主義的な価値観を徹底して排除したすこぶる実存的な土着の庶民的世界が展開している。既成の価値観をあざ笑うかの如きその突出したアンチヒューマンイズムぶりをその作品世界において、検証してみたい。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には上記の深沢の作家としての特質を、『楳山節考』、『笛吹川』、『甲州子守歌』等の代表的作品の読解などによって明らかにしていきたい。

履修上の留意点 (1～3) 深沢七郎の軌跡 (4～7) 小説『楳山節考』の分析と読解 (8～11) 『楳山節考』原作と映画(二度の映画化)の比較考察 (12～15) 小説『笛吹川』、『甲州子守歌』の分析と読解

成績評価の方法 開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席すること。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

教科書 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

参考書等 深沢七郎『楳山節考』(新潮文庫)
その他、適宜プリントも配布する。
授業時に指示する。

履修コード	169501
科目名	日本文化テーマ研究 G (夏季集中)
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義のねらい 「演劇ワークショップ」の実技体験を行う夏季集中授業。これは即興演技の訓練法から生まれたもので、コミュニケーションに関する様々な要素(表情と体の動き、話し方、感情表現、グループの人間関係など)を体験的に学ぶとともに、状況に応じて即座に、臨機応変に対処する「インプロ」の技術を身につけることを目的とする。台本を使って演技をする演劇の訓練とは異なり、誰にでも簡単にできる「シアターゲーム」と呼ばれる体を動かさずゲームをグループごとに繰り返しながら、最終的には台本のない即興でストーリーを生み出すことを目指す。コミュニケーション技術を学ぶとともに、本番で実力を発揮できる能力を身につけるものとして、企業の社員研修などでも取り入れられているものである。

講義の内容・授業スケジュール (1) 基本講義：ワークショップとは何か? (2) 講義：心と体はつながっている (3) 実技：シアターゲーム (4) 実技：インプロの練習 (5) 実技：インプロのグループ発表 (6) まとめとレポート試験

履修上の留意点 集中授業なので4日間すべてに出席しなければ単位を取得できない。軽い運動をすることができ服装(靴はスニーカーなど)で出席すること。演劇の実習ではないので、演技の経験はまったく必要としない。むしろ人前で自分を表現することが苦手な方にこそ受講していただきたい。ただしグループでの練習に積極的に参加する協力的な姿勢は必要となる。

成績評価の方法 授業への参加状況による評価が6割、「インプロ」のグループ発表の結果が2割、最終日に教場で書いていただくレポート試験の結果が2割として算出する。

教科書 指定しない。
参考書等 絹川友梨『インプロゲームー身体表現の即興ワークショップ』、晩成書房、3,150円。池上奈生美・秋山桃里『インプロであなたも「本番に強い人」になれる』、フォレスト出版、1,365円。

その他 授業日程：8月3日の3～5限、8月4日～8月6日のそれぞれ2～5限、合計4日間の15時限授業。予備日は8月7日の2～5限。台風による休講等で予備日に発表・レポート試験を行うことになる可能性もあるので注意すること。

履修コード	169601
科目名	日本文化テーマ研究H
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>

講義のねらい	講義タイトルは「映画の近代史」。19世紀末の発明である映画は、20世紀を「映像の世紀」と言われしめるほど近代という時代と深くかかわってきた。映画というメディアが近代において果たした役割を歴史的に振り返り、映画とはどのような表現なのかをあらためて考えながら、同時に映像作品によって語られた近代とはどのような時代なのかを考える。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1) 映画とは何か (2) 映画の技術と歴史 (3) 映画の文法 (4) 映画の記号論 (5) 日本 Moderna ズム映画 (6) シナリオの構造
履修上の留意点	実際に映像作品を授業で見えていただくことになるので、欠席すると内容がわからなくなる。上映予定の作品は、マック・セネットの無声映画、「戦艦ポチョムキン」、「市民ケーン」、「カルメン故郷に帰る」、「東京物語」など。現代のいわゆる娯楽映画作品とは異なるので、その点は承知しておくように。
成績評価の方法	出席状況と授業で適宜提出を求める小レポートによる評価が5割、定期試験期間中に行う筆記試験が5割として算出する。
教科書	ジェイムズ・モナコ『映画の教科書—どのように映画を読むか』、フィルムアート社、3,675円。各自あらかじめ購入して、初回の授業に持ってくること。定期試験は教科書持込可とするので、教科書は必ず必要となる。

履修コード	215801
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	南後 由和 <small>なんご よしかず</small>

講義のねらい	本講義では、普段何気なく目にしている光景や当たり前とされている事柄を批判的に疑い、多角的に検討する姿勢を身につけることを狙いとします。そのことにより、現代社会の背後で起きている事象を広く見通す〈まなざし〉を養い、〈社会学する〉実践感覚をつかむことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	(1) イントロダクション、新しい社会学のために(2~4) 親密性と公共性、相互行為と自己(5~7) 社会秩序と権力、組織とネットワーク(8~11) メディアとコミュニケーション(12~16) 歴史と記憶、空間と場所(17~19) 環境と技術、医療・福祉と自己決定、国家とグローバリゼーション(20~21) 家族とライフコース、ジェンダーとセクシュアリティ(22~23) エスニシティと境界、格差と階層化(24~27) 文化と再生産、社会運動と社会構想(28) 総括 授業の順序および配分は、多少変更の可能性あります。
履修上の留意点	教科書をベースに、具体的なトピックや映像作品を紹介しながら講義を進めます。講義中に举手・発言をするなど、受講者の積極的な〈参加〉を求めます。
成績評価の方法	平常点、授業中の課題、前・後期のレポートにより総合的に評価します。
教科書 参考書等	長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』2007年刊(有斐閣)3,500円 授業中に随時紹介します。

履修コード	215901
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	奥 炳三 <small>おく ひょうさん</small>

講義のねらい	社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	(前期)社会学の基礎概念： (1) はじめに、(2) 社会学とは、行為論として、(3~4) 社会学における行為、(5) 行為者としての個人、(6) 社会化と人間形成、(7) 国民性についてグループ討議、(8) 日本の行為論、集団論として、(9) 集団の概念、(10) 官僚制理論、(11) 小集団論、(12) 集団の類型、(13) 日本の集団論、(14) おわりに、(15) 前期テスト (後期)現代社会の特徴的な諸相： (1) 家族、(2) 家族の機能、(3) 恋愛、(4) 結婚、(5) 自殺についてグループでディベート、(6) 少年犯罪、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン・摂食障害、(9) 若者・IT文化、(10) フリーター、ニート・引きこもり、(11) 格差社会についてグループでディベート、(12) 性同一性障害、(13) 就職・転職・リストラ、(14) ジェンダー、(15) 後期テスト 以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。
履修上の留意点	本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。
成績評価の方法	出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。
教科書 参考書等	開講時に説明する。 講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216001
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	呉 炳三 <small>おびんさん</small>

社会分野

講義のねらい	社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	<p>(前期)社会学の基礎概念：</p> <p>(1)はじめに、(2)社会学とは、行為論として、(3～4)社会学における行為、(5)行為者としての個人、(6)社会化と人間形成、(7)国民性についてグループ討議、(8)日本的行為論、集団論として、(9)集団の概念、(10)官僚制理論、(11)小集団論、(12)集団の類型、(13)日本的集団論、(14)おわりに、(15)前期テスト</p> <p>(後期)現代社会の特徴的な諸相：</p> <p>(1)家族、(2)家族の機能、(3)恋愛、(4)結婚、(5)自殺についてグループでディベート、(6)少年犯罪、(7)少子・高齢、(8)アダルトチルドレン・摂食障害、(9)若者・IT文化、(10)フリーター、ニート・引きこもり、(11)格差社会についてグループでディベート、(12)性同一性障害、(13)就職・転職・リストラ、(14)ジェンダー、(15)後期テスト</p> <p>以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。</p>
履修上の留意点	本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。
成績評価の方法	出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。
教科書 参考書等	開講時に説明する。 講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216101
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	^{うしじま} 牛島 ^{ちひろ} 千尋

講義のねらい 社会は人間、集団、そしてこれらの相互的な関係から成立している。本講義の前期では、まず、社会はどのような仕組みで成立しているのか、社会と個人はどのような関係にあるのかを学んでいく。後期は、前期の内容をもとに、社会階級・階層、ジェンダー、エスニシティ、世代、地域からみた社会・文化に関する諸問題を国内外の事例を通して考察していく。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. オリエンテーション
2. 社会の発見と社会学
3. 社会学の誕生と展開(1)－予見するために観察する
4. 社会学の誕生と展開(2)－社会の発展的類型化
5. 社会学の誕生と展開(3)－集合的表象としての社会
6. 社会学の誕生と展開(4)－社会的連帯と社会類型
7. 社会の変動と動向(1)－近代化・産業化・都市化
8. 社会の変動と動向(2)－産業社会と社会階級
9. 社会の変動と動向(3)－支配の諸類型と近代官僚制
10. 大衆社会と中間集団
11. 大衆社会と社会的性格(1)－伝統指向型・内部指向型・他人指向型
12. 大衆社会と社会的性格(2)－オーガニゼーション・マン
13. 農村と都市－産業社会と都市
14. 都市化と生活様式(1)
15. 都市化と生活様式(1)
16. 社会階層・階級、ジェンダー、エスニシティ
17. 社会階層・階級と文化(1)
18. 社会階層・階級と文化(2)
19. 社会階層・階級と文化(3)
20. エスニックグループとエスニシティ(1)
21. エスニックグループとエスニシティ(2)
22. エスニックグループとエスニシティ(2)
23. ジェンダーと現代社会(1)
24. ジェンダーと現代社会(2)
25. ジェンダーと現代社会(3)
26. 現代社会と文化(1)
27. 現代社会と文化(2)
28. 現代社会と文化(3)
29. まとめ
30. 後期試験

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

特になし。
出席状況、授業中のレポート、試験(持込不可)によって評価します。
内容は多岐にわたるので、特に指定しません。
内容は多岐にわたるので、その都度紹介します。

社会分野

履修コード	216201
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	おぼた かず 小畑 和

講義のねらい 社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切含み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出だし難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的 (Macroscopic) なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

- (1) マクロ的要因 (現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会 (少子社会) を総合的に講義する。)
- (2) 誕生に関する要因 (出生・墮胎・殺児…)
- (3) 幼児・子供の成長に関する要因 (育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)
- (4) 家庭生活に関する要因 (核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)
- (5) 消費生活に関する要因 (広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)
- (6) 会社生活に関する要因 (入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)
- (7) 老後の生活に関する要因 (年金、介護、生きがい、死の問題…) などを講義する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

初回の講義で説明する。
五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。
初回の講義で説明する。
初回の講義で説明する。
上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

履修コード	216301
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	お びと かん 奥 炳三

講義のねらい 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 社会学の基礎概念：
(1) はじめに、(2) 社会学とは、行為論として、(3~4) 社会学における行為、(5) 行為者としての個人、(6) 社会化と人間形成、(7) 国民性についてグループ討議、(8) 日本的行為論、集団論として、(9) 集団の概念、(10) 官僚制理論、(11) 小集団論、(12) 集団の類型、(13) 日本的集団論、(14) おわりに、(15) 前期テスト
(後期) 現代社会の特徴的な諸相：
(1) 家族、(2) 家族の機能、(3) 恋愛、(4) 結婚、(5) 自殺についてグループでディベート、(6) 少年犯罪、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン・摂食障害 (9) 若者・IT文化、(10) フリーター、ニート・引きこもり、(11) 格差社会についてグループでディベート、(12) 性同一性障害、(13) 就職・転職・リストラ、(14) ジェンダー、(15) 後期テスト
以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参すること、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況 (遅刻厳禁) と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書
参考書等

開講時に説明する。
講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216401
科目名	統計学〔社会現象の統計的分析〕
担当者名	<small>ただか まさみつ</small> 田中 正光

講義のねらい 現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々の場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1～4) 総和記号の使い方、代表値の計算 (5～6) データの散布度の計算 (7～9) 度数分布 (10～11) 相関係数 (12～13) 回帰分析 (14～16) 確率 (17) 確率変数 (18～24) 離散型確率分布、連続型確率分布 (25～26) 標本と標本分布 (27～28) 統計的推定 (29～30) 統計的仮説検定

履修上の留意点 通常の講義では電卓(関数電卓が望ましい)を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍増する。また、パソコン操作ではエクセルを使うので同ソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。

成績評価の方法 前期末と後期末に中間試験を行い、この点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。指定なし。

教科書等 稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』(共立出版)2004年
室淳子・石村貞夫『Excel でやさしく学ぶ統計解析』(東京図書)2004年
鳥居泰彦『はじめての統計学』(日本経済新聞社)2003年
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』(東京大学出版会)1997年
岸野洋久『社会現象の統計学』(朝倉書店)1992年
森田優三『統計概論』(日本評論社)1966年

その他 授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を取め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

履修コード	216501
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	<small>しんきょうち こうじ</small> 新行内 康慈

講義のねらい 統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール 前期
1統計学の概要 2-4度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7確率 8演習I
9-10確率変数と確率分布 11平均・分散と期待値 12標準化 13正規分布表 14演習II
15まとめ・補足
後期
16母集団と標本 17統計量と標本分布 18-19点推定と区間推定 20-21仮説検定
22-24その他の推定・検定 25演習III 26散布図と相関係数 27-28回帰分析
29期末試験 30まとめ・補足

履修上の留意点 統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法 以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。

①演習I～III：45% (各15%) + 期末試験55%
②期末試験：100%

教科書等 テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。
石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN4-489-00407-9
前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN4-534-03036-3
永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN4-8171-0266-7
東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN4-13-042065-8

その他 配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。配布資料・説明資料等は YeStudy に公開します。

履修コード	216701
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	もり 森 雅文

講義のねらい 異文化を理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会の比較を通して、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異についての見聞を拡げるのではなく、人々の日常的な実践に顕れる多様な人間性の表現についての妥当な理解を探り、そのまなざしを自己を含めた諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。この講義では、文化の多様性を前提とした他者理解の枠組みについて、代表的なテーマや民族誌的事例とともに解説します。

また、近年では異文化を発見して解釈して記すという営為に批判も向けられています。異文化および他者とは何か、この現在の問題意識も踏まえながら、文化への洞察力、自己や他者に向き合うという実践の基礎力の養成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容は、受講者の関心により変更する場合があります。
 「文化」概念の基礎と歴史（人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座）
 人間の社会化と新旧の理論（家族、婚姻、親族、人の一生と通過儀礼、ジェンダー）
 環境への適応と文化様式（生業と社会、採集狩猟・牧畜・農耕、開発と社会の変貌）
 共同性の構築と構造主義の文化理論（贈与と交換、境界と穢れ）
 観念的世界と現実世界の接合（妖術と邪術、呪術、シャーマニズム、儀礼と神話）
 人間と社会の存在様式（個人と身体、近代国家と民族、エスニシティ）
 文化の現在の理解（土着・混濁・越境、グローバリズム、異文化の理解と翻訳）

**履修上の留意点
成績評価の方法**

初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。
 前期と後期に実施する筆記試験の合計を100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容を平常点として換算し、10%までの加算点とします。

**教科書
参考書等**

特定の教科書は指定しません。
 一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。
 各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介しします。

その他

ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

履修コード	216801
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	かとう 加藤 之晴

講義のねらい 文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そして「フィールドワーク」と呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか？」といった問いを立て、その答えを探し求めていくなかで、人間存在についての理解を深めることを目指す。

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに言語・身体・宗教・病い・食などのキー・ワードを挙げ、文化人類学の世界ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 文化人類学の「文化」とは？
- II. 文化人類学とフィールドワーク
- III. 食と文化
- IV. 人間と境界
- V. 人間と「病い」
- VI. 信仰と世界観

履修上の留意点

授業中・授業後の質問は大歓迎です。積極的な授業態度で臨んでくれると、こちらも張り合いが出ます。

成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験で評価しますが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とするかもしれません。

教科書

特定の教科書は用いません。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布します。これに基づいて授業を進めてゆきます。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介します。

履修コード	216901
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	<small>すぎい じゆんいち</small> 杉井 純一

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み(1)
 - 3. 文化人類学の歩み(2)
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間(1) 狩猟採集民
 - 6. 環境と人間(2) 牧畜民
 - 7. 環境と人間(3) 農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

ビデオを見た感想を問うことがあります。
夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。
特に指定しません。適宜、プリントを配布します。
祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)800円
山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣)1,700円
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社)2,200円
できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

その他

履修コード	217001
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	森 雅文

講義のねらい	異文化を理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会を比較を通じて、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異についての見聞を拡げることではなく、人々の日常的な実践に顕れる多様な人間性の表現についての妥当な理解を探り、そのまなざしを自己を含めた諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。この講義では、観念的世界観と現実世界の接合を果たす文化実践に焦点をあてながら、多様性を前提とした他者理解の枠組みを解説します。
講義の内容・授業スケジュール	また、近年では異文化を発見して解釈して記すという営為に批判も向けられています。異文化および他者とは何か、この現在の問題意識も踏まえながら、文化への洞察力、自己や他者に向き合う実践の基礎力の養成を目指します。 以下の予定は、受講者の関心により内容を変更する場合があります。 「文化」概念の歴史（人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座） 文化と儀礼の基礎理解（人の一生、通過儀礼、境界と穢れ、贈与と交換） 社会の結合とコスモロジー（妖術と邪術、呪術、神話と儀礼、聖地巡礼） 人間の存在様式（シャーマニズム、個人と身体、伝統医療と近代医療） 文化の現在の理解へ（テクノロジーと世界観、エスニシティ、文化の融合と衝突、異文化の理解と翻訳）
履修上の留意点 成績評価の方法	初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。 前期と後期に実施する筆記試験の合計を100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容を平常点として換算し、10%までの加算点とします。
教科書 参考書等	特定の教科書は指定しません。 一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。
その他	各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介しします。 ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

履修コード	217101
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	鈴木 一馨

講義のねらい	文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。 この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性に基づく「民族」、そして「コスモロジー」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として「風水」を探り上げ、関連するさまざまなコスモロジーと、現実空間の認識、また風水が人間社会にとって持つ意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。
講義の内容・授業スケジュール	前期： 第1部. 文化人類学と民族 I. 「文化」と「文化人類学」(1～3)、II. 「民族」とはなにか(4～6) 第2部. 民族とコスモロジー I. 「コスモロジー」とはなにか(7～8)、II. 天とひとつのコスモロジー(9～10)、III. 世界の断絶と連続(11～15) 後期： 第3部. 風水のコスモロジー I. 風水を構成する宇宙論(16～24)、II. 風水による現実空間の意味付け(25～26)、III. 風水と人間社会(27～30)
履修上の留意点	講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないとついていけない。
成績評価の方法	また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。 出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。
教科書 参考書等	プリントを使用する。 祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』(中公新書560、1990年)840円、ISBN:4121905601 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』(人文書院、1990年)1,995円、ISBN:4409410482 鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界一』(講談社選書メチエ244、2002年)1,575円、ISBN:4062582449 国立歴史民俗博物館編『異界談義』(光文社知恵の森文庫、2008年)724円、ISBN:9784334785116

履修コード	217201
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	小川 順敬

講義のねらい 文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけでなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思えます。

成績評価の方法

評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

**教科書
参考書等**

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）
講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

履修コード	217301・217401
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	内山 明子

講義のねらい グローバル化により、近年、日本でも様々な文化をもつ人々の日常生活空間の共有化が進展する一方、排他的なナショナリズムの動きも拡大している。このような時代に自分たちと異なる人々とうまく関係を築いていくのかを考え実践していくうえで、文化人類学は一つの指針になりうる。本講義では、これからますます加速化する多文化状況を様々な局面から柔軟に捉えていくための一助として文化人類学の基礎知識を提供していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

（1）文化人類学とは（2～5）異文化理解のむずかしさ：文化相対主義、ろう文化、文化多元主義と多文化主義（6～9）民族と人種：様々な民族概念、原初主義と道具主義、人種と優生学（10～14）文化人類学の基本的枠組み：「未開」と「文明」、主要学説、フィールドワークと民族誌、オリエンタリズム、近代世界システム（15～18）家族と親族：出自理論、縁組理論、民俗生殖理論、生殖医療の発展と親族・家族研究（19～22）交換と経済：クラとポトラッチ、交換論、資本主義との接合（23～26）儀礼と分類：分類と分類からはずれるもの、通過儀礼、コムニタス（27～30）宗教：呪術と宗教、大伝統と小伝統、国家と宗教

成績評価の方法

終講後に行う期末試験（筆記試験）を基本に、夏休みの課題レポートを加味して評価します。出席は取りませんが、授業内に行うビデオ鑑賞の感想文提出などを参考にします。

教科書

指定しません。参考文献は授業内で随時紹介します。

履修コード	217501
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	長谷川 日出世

講義のねらい 日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

①講義に関する全段的説明、②社会秩序と法、③～⑥法概念の本質、⑦～⑩法の成り立ちとその分類、⑪～⑬法の解釈、⑭～⑮日本の裁判制度、⑯憲法とは何か、⑰近代憲法の構成原理、⑱日本の憲法史、⑲～㉑日本国憲法の基本原理、㉒～㉔基本的人権の保障、㉕国会、㉖内閣、㉗司法権、㉘一年間のまとめ

履修上の留意点

日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に、教科書を必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

学期末の試験の成績と講義への出席の度合で評価します。

教科書

長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN 4-7923-0399-0

履修コード	217601
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	和知 恵一

社会分野

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。六法を使いこなせるようになることも目的の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。また毎回理解確認のための小テストを行う。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで、各項目に2～3時間を割り振ることで進めていく。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う。適宜報道などに関連させたい。したがってやらない項目もある。）

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する（全回出席をとります）。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれれば出席扱いとすることがある。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすいようになるべく前から着席すること。万一遅刻したときは、最前列に着席すること。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。理由なく欠席した者は、受験資格を失う。その試験の得点に、小テストなどの平常点を加味して評価する。

教科書

○小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）

○六法（例として、『ポケット六法（平成21年版）』（有斐閣）や『デイリー六法』（三省堂）など）※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

●茂野隆晴編『プライマリー法学～日本法のシステム～』（芦書房）

●久久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）

その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

履修コード	217701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	沼田 ^{ぬまた} 雅之 ^{まさゆき}

講義のねらい

法学は難しいものです。なぜなら、社会の複雑な問題に対して「法」という強制力をもって解決を図ろうとすれば、論理的で慎重な判断が求められるからです。よって、法学を学ぶためには、論理を駆使できるだけの自分自身のブラッシュアップが必要となります。しかし、そのブラッシュアップをはかる過程で、教養を高めることができ、論理的思考力を高めることができます。そして、一定の納得できる結論に達したとき、法学としての学問的快楽があるはずで、少なくとも、私はそう確信しています。ですから、この講義では問題を理解するための知識（教養）、価値判断の方法や限界、そして自分なりに「答え」を出す「面白さ」を味わっていただくことに重点をおきます。

例えば、「民法」という法律の第3条1項に次のような条文があります。

「私権の享有は、出生に始まる。」

この一文は日本語ですから、読むこと自体は可能だと思います。しかし、読みこなすことはできないでしょう。ところが、この短いセンテンスの中には、深遠な世界が広がっています。この一文だけで、人類の歴史から最近話題のクローン技術の問題まで語るができるからです。しかし、みなさんはそれを語るできません。一つ一つのタームを理解することはできても、「法」というものを体系的に理解していないために、その世界を語るができないのです。

この講義は、その法の「体系的理解」の扉を少しだけ開けてみようというのが目的です。

講義の内容・授業スケジュール

法学に関する下記の各テーマに沿って、判例（判決）を中心に講義形式で解説をおこないます。

ガイダンス（1）、法学の基礎（2～3）、三菱樹脂事件（4～5）、日産自動車事件（6）、マクリーン事件（7）、北方ジャーナル事件（8～9）、宇奈月温泉事件（10）、契約の自由と規制（11～12）、駿々堂製パン事件（13）、消費者の保護（14～15）、不法行為（16～17）、会社法を取り巻く問題（18）、朝日訴訟（19～20）、高知放送事件（21）、萬世工業事件（22～23）、電気窃盗事件（24）、徳島県公安条例事件（25）、映画「12人の怒れる男」の上映（26）、東海大学安楽死事件（27）、代理母出産児出生届受理申立事件（28）、予備日（29～30）

履修上の留意点

・スケジュールは執筆時点で上記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

成績評価の方法

・テキスト、成績評価方法を含めて、初回の講義で詳しく説明いたします。

・試験成績（70％）＋平常点（30％）＝100点。

・90点以上・・・S、80点以上・・・A、70点～80点未満・・・B、60点～70点未満・・・C、60点未満・・・D。

・試験成績は、執筆時点で後期試験のみを考えています。

・平常点は、出席点（50％）と課題点（50％）で構成されます。よって、出席をとります（毎回ではありません）。出席をとる際は開始後30分後におこないます。それ以降の出席票の交付はいたしません。交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を持参してください。

教科書

教科書は指定いたしません。担当教員が作成したプリント教材を用います。開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます（データはPDF形式で配布予定です）。

参考書等

詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。

・森泉 章編著『法学（第4版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-18332-5）

・西村健一郎・西井正弘・初宿正典ほか著『判例法学（第4版）』（2005年有斐閣）2,200円（ISBN 4-641-18316-3）

・伊藤眞『法律学への誘い（第2版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-12510-4）

その他

また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に、大学配布のものとは異なるシラバスを配布します（取り上げるテーマなどが、ここで記載されたものと異なる場合があります）。それを熟読の上、履修を決定してください。

履修コード	217801
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	鶏徳 啓登

講義のねらい よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後60年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。
 (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
 (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
 (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。
 (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
 (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
 (6) 各種基本的人権の内容
 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
 (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

出席状況と試験による。
 小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円
 『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

履修コード	218101・218201
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	新田 浩司

講義のねらい 法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、法学及び国家の根本法である憲法について、現実に発生する様々な問題にも言及しながら理解を深め、我々が国民として住民として生活する上で必要な法的思考（リーガル・マインド）を養うことを目的としている。

- | | | | |
|-------|-------------|-------|---------|
| 第1回目 | ガイダンス | 第14回目 | 国家の安全保障 |
| 第2回目 | 法学の基礎知識① | 第15回目 | 精神的自由権① |
| 第3回目 | 法学の基礎知識② | 第16回目 | 精神的自由権② |
| 第4回目 | 法学の基礎知識③ | 第17回目 | 経済的自由権 |
| 第5回目 | 法学の基礎知識④ | 第18回目 | 社会権 |
| 第6回目 | 法学の基礎知識⑤ | 第19回目 | 参政権 |
| 第7回目 | 法学の基礎知識⑥ | 第20回目 | 国務請求権 |
| 第8回目 | 憲法の基礎知識① | 第21回目 | 統治機構① |
| 第9回目 | 憲法の基礎知識② | 第22回目 | 統治機構② |
| 第10回目 | 日本国憲法の制定過程 | 第23回目 | 統治機構③ |
| 第11回目 | 日本国憲法の基本原理① | 第24回目 | 統治機構④ |
| 第12回目 | 日本国憲法の基本原理② | 第25回目 | まとめ |
| 第13回目 | 象徴天皇 | | |

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題も多く、この講義を履修して法的思考を養い、それらの問題を考える知識を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
 なお、適宜、小テスト及び授業の出席確認を予定している。

**教科書
参考書等**

開講時に指示する。
 小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

履修コード	218401
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	織田 晃子

講義のねらい 法とは何かに始まり、日本国憲法と人権について講義する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 法とは何か・法の目的 (2~10) 立法と司法・法の適用と解釈 (11~20) 日本国憲法と人権 (21~30) 法と社会生活・契約と損害賠償、不法行為と損害賠償、安全配慮義務等々

履修上の留意点 六法は必ず持参すること

成績評価の方法 期末試験の成績による

教科書 『判例法学』4版(有斐閣ブックス)、ポケット六法(有斐閣)

その他 プリント配布

履修コード	217901
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	沼田 雅之

講義のねらい 法学は難しいものです。なぜなら、社会の複雑な問題に対して「法」という強制力をもって解決を図ろうとすれば、論理的で慎重な判断が求められるからです。よって、法学を学ぶためには、論理を駆使できるだけの自分自身のブラッシュアップが必要となります。しかし、そのブラッシュアップをはかる過程で、教養を高めることができ、論理的思考力を高めることができます。そして、一定の納得できる結論に達したとき、法学としての学問的快楽があるはずで。少なくとも、私はそう確信しています。ですから、この講義では問題を理解するための知識(教養)、価値判断の方法や限界、そして自分なりに「答え」を出す「面白さ」を味わっていただくことに重点をおきます。

例えば、「民法」という法律の第3条1項に次のような条文があります。

「私権の享有は、出生に始まる。」

この一文は日本語ですから、読むこと自体は可能だと思います。しかし、読みこなすことはできないでしょう。ところが、この短いセンテンスの中には、深遠な世界が広がっています。この一文だけで、人類の歴史から最近話題のクローン技術の問題まで語ることができるからです。しかし、みなさんはそれを語ることはできません。一つ一つのタームを理解することはできても、「法」というものを体系的に理解していかないために、その世界を語ることはできないのです。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、その法の「体系的理解」の扉を少しだけ開けてみようというのが目的です。

基本的な教科書に沿って解説します。また、適宜教科書以外の題材を取り上げます。

ガイダンス (1)、「紛争解決と法」(2~4)、「基本的人権と法」(5~8)、「家族関係と法」(9~11)、「財産関係と法」(12~15)、「労働関係と法」(16~17)、「犯罪と法」(18~22)、「国家と法」(23~24)、「国際関係と法」(25~27)、「現代社会の課題と法」(28~30)

履修上の留意点

・スケジュールは執筆時点で上記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

成績評価の方法

・テキスト、成績評価方法を含めて、初回の講義で詳しく説明いたします。

・試験成績(70%) + 平常点(30%) = 100点。

・90点以上・・・S、80点以上・・・A、70点~80点未満・・・B、60点~70点未満・・・C、60点未満・・・D。

・試験成績は、執筆時点で後期試験のみを考えています。

・平常点は、出席点(50%)と課題点(50%)で構成されます。よって、出席をとります(毎回ではありません)。出席をとる際は開始後30分後におこないます。それ以降の出席票の交付はいたしません。交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を持参してください。

教科書

西村健一郎・西井正弘・初宿正典ほか著『判例法学(第4版)』(2005年有斐閣)2,200円(ISBN 4-641-18316-3)。

その他適宜プリントを配布する場合があります。その場合、開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます(データはPDF形式で配布予定です)。

参考書等

詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。

・森泉 章編著『法学(第4版)』(2006年有斐閣)2,500円(ISBN 4-641-18332-5)

・伊藤眞『法律学への誘い(第2版)』(2006年有斐閣)2,500円(ISBN 4-641-12510-4)

その他

また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に大学配布のものとは異なるシラバスを配布します(取り上げるテーマなどがここで記載されたものと異なる場合があります)。それを熟読の上、履修を決定してください。

履修コード	218501
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	茂野 隆晴

講義のねらい 法を学ぶに当たって、最も肝要なことは、「法」というものがいかなるものであるか、その本質をつかむことにある。

諸君は、いずれ社会の第一線に立って活躍する人達であるから、自分の立場をよく認識して、「在るべき法」の実現のためにも留意し進んでほしい。自己の使命を自覚され、年間の「法学」の内容の理解に取り組んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 法を学ぶに当たって
2. 法と社会生活
3. 法と他の社会規範
4. 法の種類
5. 6. 7. 法の生成I・II・III
8. 法の目的
9. 法の効力
10. 法と裁判
11. 法の解釈
12. 国家
13. 14. 憲法とその原理I・II
15. 16. 17. 基本的人権の保障I・II・III
18. 統治機構I(権力分立制)
19. 20. 21. 統治機構II・III・IV(国会)
22. 23. 統治機構V・VI(内閣)
24. 25. 統治機構VII・VIII(裁判所)
26. 各論I(民法・商法)
27. 各論II(刑法・社会法)
28. 各論III(行政法)
29. まとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

学期末試験に加えて平常点としての出席状況を勘案して総合的に評価します。
茂野隆晴編著『プライマリー法学—日本法のシステム—』2008年刊(芦書房)2300円+税
茂野隆晴・新田浩司・和知恵一ほか代表編集『法学資料集』2008年刊(八千代出版)2000円(予定)

履修コード	218601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)
担当者名	池田 実

講義のねらい 家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついていくかを明らかにします。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2) (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1) (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2) (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1) (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2) (30) 憲法改正

成績評価の方法
教科書

出席状況その他の平常点による評価を行います。
野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法(第2版)』(嵯峨野書院)2,700円+税
ISBN978-4-7823-0424-2

参考書等
その他

*教科書は年度のはじめに必ず入手しておくこと。
授業時に適宜指示します。
授業日程:7月31日(金)・8月3日(月)~8月7日(金)
(土・日曜日除く)の1~5時限。

履修コード	218701
科目名	政治学〔社会生活とデモクラシー〕
担当者名	白鳥 浩 <small>しろとり ひろし</small>

講義のねらい 「政治」とは何でしょうか。この講義においては、「政治」とは、「未来の選択である」とする視座に立ち、政治学の全体像を学んでもらいます。これは、しばしば「可能性のアート」であるといわれるゆえんでもあります。そうした「未来の選択」、「可能性のアート」を扱う学問である「政治学」とは何か、どのように発展してきたのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。
- I、序論 政治学の基礎概念（1～4）
 - II、古代の政治理論（5～8）
 - III、中世の政治理論（9～11）
 - IV、近代政治理論の形成（12～15）
 - V、近代批判の政治理論（16～18）
 - VI、現代の政治理論（19～22）
 - VII、国際政治の理論（23）
 - VIII、現代の政治過程理論（24～26）
 - IX、ワールド・ポリティカル・サイエンスの形成（27）
 - X、現代日本の政治分析（28～30）

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

関心を持って、講義に出席してください。
試験を中心とするが、総合的に判断する。
白鳥『都市対地方の政治学：日本政治の構造変動』（芦書房）2004年
真柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）2004年
藤原『西洋政治理論史』（早瀬田大学出版部）1985年
授業内で適宜、指示します。

履修コード	218801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	富崎 隆 <small>とみさき たかし</small>

講義のねらい 「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがあります。そして、米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったと議論されています。しかし、世界政治の方向性ははっきりとした訳ではありません。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通するようになってきました。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起こる事件の本当の意味は理解できません。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となります。政治学を学ぶ基本的な意義もここにあります。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したいと思います。講義全体としては、現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとします。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化の意味についても検討します。

- （1～2）講義のねらいと政治を学ぶ意義
- （3～15）マクロ政治学—国家と自由民主主義体制の枠組み；政治・権力・国家の意味、望ましい国家のあり方（国家の仕事の範囲・国家の運営方法）、自由民主主義体制の意味、国家の展開・民主化と体制変動、自由民主主義体制の比較枠組み
- （16～24）ミクロ政治学—自由民主主義体制の作動メカニズム；政権形態、政党と政党制、有権者の投票行動と選挙、官僚制と議会、利益集団とマスメディア、日本の民主政治
- （25～30）国際政治学；国際政治の意味、国際政治の主要理論潮流、日本の外交政策、冷戦後の世界政治をみる視点

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

テスト及びレポート・出席など総合的に評価
堀江滋編『政治学・行政学の基礎知識編』一藝社 2625円 ISBN-10：4901253913
講義時、適時指示

履修コード	218901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	山崎 望

講義のねらい 本講義の副題は「国際社会と日本」です。国内政治と国際政治の相違、そしてグローバル化に伴う世界秩序の再編について、基礎的な理論や考えを学ぶことが本講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール 前期は近代の国際政治の仕組みの形成と、国内政治について論じます。具体的には(1・2)近代社会の形成と変容(3・4)政治、権力(5～8)ウェストファリア秩序、世界大戦1・2、植民地主義(9～11)政治体制論、民主主義論、政党論、(12～15)政治と経済、福祉国家論、格差社会論、グローバル経済論、世界金融恐慌について扱います。

後期はグローバル化時代の民族・宗教問題、世界秩序の再編を中心に扱います。具体的には(16～20)フェミニズム、ナショナリズム、移民、多文化主義、ネオ・ナショナリズム(21～24)「9・11」対米同時多発テロ、アメリカの変容、「イスラーム原理主義」、グローバル・テロリズム、(25～30)フェミニズム、市民社会論、新しい民主主義論1～3を扱います。

履修上の留意点 新聞や本を読み、インターネットなどで情報を集め、問題意識をもって出席してください。

成績評価の方法 年度末の試験。

教科書 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦1998『現代政治学』有斐閣アルマ ISBN 4-641-12168

参考書等その他 講義中に適宜指摘します。

講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定です。

講義の後半10分にカードを配るので、質問や感想を書いてください。

翌週の講義の冒頭に簡易な応答を行います。

履修コード	219001
科目名	経済学〔現代社会と市場経済〕
担当者名	畠中 貴

講義のねらい 諸々の経済現象をよりよく理解するための理論(ミクロ経済学・マクロ経済学)について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール 経済は家計、企業、政府の三種類の主体が行っている経済活動によって成り立っている。前期は家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、そして家計と企業が互いに影響を及ぼし合う場である市場について説明する。

後期は市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース(市場の失敗)、政府が行っている経済活動、国内総生産(GDP)、不況と失業、物価の変動、国際貿易について説明する。

履修上の留意点 講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するにはそれなりの労力と時間を必要とする。世界一頭のいい人であっても、テキストを一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。受講者は、テキストを何度も読み返し、自分が理解できているのがどこまでで、理解できていないのがどの部分なのかを確認するという地道な作業を、一年を通じて行わなければならない。分からない部分については分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

成績評価の方法 基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書 伊藤元重『入門経済学第2版』日本評論社、3,000円+税、ISBN4-535-55244-4

履修コード	219101
科目名	経済学〔現代経済と人間〕
担当者名	森田 成也

講義のねらい はじめて経済学を学ぶ人のために、経済学の基礎理論の初歩的知識と、その応用編としての日本経済の歩みについて、わかりやすく解説します。

講義の内容・授業スケジュール 授業の前半は経済学の基礎理論を、最も単純で目の前に存在する普通の商品からはじめて、世界的に資本展開する多国籍企業にいたるまで、わかりやすくかいつまんで説明します。授業の後半は、以上の基礎理論を踏まえての日本経済の独自の歩みについてです。

<前半>

1、経済学とは何か、2、商品とは何か—商品生産社会と価値法則、3、貨幣とは何か、4、利潤の源泉としての剰余価値とその発生メカニズム、5～6、剰余価値生産の3つの形態、7、労賃とは何か、8、資本の蓄積メカニズム、9、利潤と生産価格、10、商業資本、11、利子生み資本と銀行、12、株式会社、13、土地所有と地代、14、競争と独占、15、市民社会と国家、16、外国貿易と多国籍企業と帝国主義

<後半>

17、明治維新から敗戦まで、18、戦後改革と戦後復興、19～20、高度経済成長、21、高度成長の終焉と70年代後半の中成長、22、レーガン革命と80年代前半の日本経済、23、バブル経済とその崩壊、24、平成大不況、25、小泉改革と階層的景気、26、今後の課題と展望

履修上の留意点 板書中心の授業になるので、必ずノートはとってください。出席はとくにとりません。

成績評価の方法 夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください

(1) 夏休みのレポート……夏休みのレポートとして、いくつかの課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。

(2) 学期末試験……1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

教科書 森田成也『資本と剰余価値の理論』2008年刊(作品社)、2300円
参考書等 松石勝彦『新版現代経済学入門』2002年刊(青木書店)、2625円

履修コード	219201
科目名	経済学〔現代経済理解へのガイド〕
担当者名	松前 龍宜

講義のねらい 本講義は、経済学を初めて履修する学生に経済学の基礎を平易に解説するものです。講義では、なるべく数式を使わず、図や具体的な実例を示しながら、直感的に経済学の考え方を理解していただきます。本講義の目的は、学生自らが現実の経済現象を経済学的に解釈する力を身につけていただくことです。

講義の内容・授業スケジュール 経済学は、ミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では、この2つの分野をバランスよく、また現実の経済現象あるいは経済政策と絡めながら講義を進めます。前期はマクロ経済学に関するテーマとして、国民所得決定、有効需要と乗数メカニズム(45度線分析)、貨幣の機能、財政政策・金融政策の役割(IS/LMモデル)、開放経済下のモデル(国際金融、IS/LM/BPモデル)について取り上げます。後期はミクロ経済学に関するテーマとして、需要と供給、需要曲線と消費者行動、費用構造と供給行動、市場取引と資源配分、市場の失敗について講義します。

履修上の留意点 数学の知識は特に必要としません。自分で手を使ってグラフの意味を考えることを厭わないことが条件です。授業中の私語は厳禁です。

成績評価の方法 前期: レポート(レポート課題は前期講義終了時まで指示します)

後期: 筆記テスト

教科書 伊藤元重著『入門 経済学 第2版』(日本評論社)、3000円、ISBN4-535-55244-4
参考書等 適宜指定します。

その他 連絡先 matsumae.t.aa@m.titech.ac.jp

履修コード	219301
科目名	経済学〔現代経済理解へのガイド〕
担当者名	矢野 浩一

講義のねらい 「なぜカップラーメンは値上げしたのか?」「将来、皆さんは年金をもらえるのか?」「バイト代はなぜ安いのか?」「なぜ世界には貧しい国と豊かな国があるのか?」「なぜ食品偽装は相次ぐのか?」本講義の目的は、それらの疑問を需要と供給、インセンティブの原則、情報の非対称性など経済学の原理を用いて解き明かします。本講義終了後には、学生が自分で様々な現象を経済学的に考えることができることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 経済学は、一般的にミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では身近な出来事や経済問題を解説しながら、経済学の原理を勉強します。前期はミクロ経済学に関するテーマ（経済学とは何か、経済学的な考え方、貿易、需要と供給、完全市場と不完全市場、ゲーム理論など）について講義します。後期はマクロ経済学に関するテーマ（GDP統計、完全競争モデル、好況と不況など短期の景気変動、雇用と失業、インフレとデフレ、政府の経済政策、日本の財政赤字問題など）について取り上げます。

履修上の留意点 積極的に講義に参加してください。また私語は厳しく禁じます。
成績評価の方法 前期：レポート（レポート課題は前期講義終了時まで指示します）
 後期：筆記テスト

教科書 講義の中で適宜指定します。
参考書等 講義の中で適宜指定します。
その他 連絡先 koiti.yano@gmail.com

履修コード	219401
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	大石 雄爾

講義のねらい 私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。アメリカに端を発した経済危機のなかで、経済格差と貧困の問題は深刻化しています。世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているとき、他方、中東などの地域では戦闘の火だねが拡大しています。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の発展にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 社会科学を始めるにあたって
 - 2～3 思考する楽しみ
 - 4～5 社会科学とは何か
 - 6～12 社会の歴史的発展と社会思想
 - 13～14 社会科学の生誕：ホッブスとロック
 - 15～17 資本主義経済の把握：スミスとリスト
 - 18～20 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
 - 21～24 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
 - 25 現代社会の思想的諸潮流

履修上の留意点 なお、現代社会の時事的諸問題については、折に触れてとり上げ解説するつもりです。
【履修制限について】 受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。選抜方法については教務部掲示板でお知らせします。1年間講義に出席し理解しようとする努力によって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。

成績評価の方法 授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行われる定期試験で評価します。

教科書 特に指定しない。
参考書等 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

履修コード	219501
科目名	教育学〔デス・エデュケーション〕
担当者名	柳堀 ^{やなぎほり} 素雅子 ^{すがこ}

講義のねらい	バイオエシックスの諸問題を哲学的、心理学的、宗教的視点から分析していく。1960年代にアメリカで始まったバイオエシックスは、「患者の権利」を主張して出発したわけであるが、時を経るにつれてバイオエシックスという学問の全体構造を疑問視する見解も出てきた。それは何が原因なのかを、さまざまな視点から検証していくことが、この講義のねらいである。バイオエシックスは欧米では学問の一分野として認められているが、日本ではその存在すら知られていない場合も多い。単に知識の吸収だけでなく、バイオエシックスの成立の意味を考えながら授業に取り組んでいきたい。
講義の内容・授業スケジュール	1～4回 バイオエシックスの意味とその展開を説明する 5～10回 現代の先端医療の個別的な問題 11～15回 討論 16～17回 バイオエシックスの将来と日本における取り組み 18～21回 討論 22～25回 討論によって浮き彫りになった問題を徹底的に分析していく 26～30回 まとめの結論
履修上の留意点	後半は討論中心の授業になっていくと思うので、自分の見解をまとめて他者に理解してもらえる能力を身につけておくこと。そのために講義の内容をじっくりと理解しておくための準備が必要である。
成績評価の方法	欠席は6回まで認める。それ以上欠席した場合は不可になる。授業中にレポート課題を与えるので、必ず提出すること。提出したレポートの内容には必ず点数をつけるので、合格点に達するように努力すること。
教科書 参考書等	使用しない。 星野一正『医療の倫理』（岩波書店）780円＋税 ISBN4-00-430201-3 木村利人『自分のいのちは自分で決める』（集英社）1500円＋税 ISBN4-08-781195-6

履修コード	219601
科目名	教育心理〔大学生の心理〕
担当者名	石橋 ^{いしはし} 達也 ^{たつや}

講義のねらい	本授業では今日の社会的状況における、大学生を主な対象とした青年期の心の在り方の特徴や問題点および課題について、教育心理学や教育臨床の立場を中心に探っていきます。前期の授業では、主に生涯発達の観点から青年期の位置づけやその発達課題などについて学び、現代社会における青年期の延長やアイデンティティ確立の問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題点について具体的にに取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴および社会的な背景要因などについて検討していきます。
講義の内容・授業スケジュール	主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。 ・生涯発達における青年期とその発達課題 ・アイデンティティの確立、アイデンティティの地位 ・現代社会と青年期の延長 ・青年期の家族や友人関係の問題 ・青年期のジェンダーや恋愛に関わる問題 ・大学生の学業と就職に関わる問題 ・青年期の文化や社会に関わる問題など
履修上の留意点	履修学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。
成績評価の方法	成績の評価は前期末と後期末試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。
教科書 参考書等 その他の	中里至正・松井洋・中村真「自己理解のための青年心理学」（八千代出版）2,100円。 授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。 受講学生には、「学ぶ意欲」をしっかりと持ち積極的に取り組むことを期待します。

履修コード	220201・220301
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	<small>しみず よしかず</small> 清水 善和

講義のねらい	地球上には170万種以上の生物種が存在する（生物多様性）。それらはずべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である（進化）。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される（遺伝子）。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。
講義の内容・授業スケジュール	1章：遺伝子と進化(1-3回)、2章：40億年の生物進化（4-6回）、3章：系統と分類（7,8回）、4章：行動と進化（9,10回）、5章：動物の人口論（11,12回）、6章：共生と競争（13,14回）、7章：人類の進化（15-17回）、8章：進化論（18,19回）、9章：生態系（20,21回）、10章：物質の循環（22-24回）、11章：植生遷移（25,26回）、12章：生物多様性（27,28回）、13章：人為と生物（29,30回）
成績評価の方法	前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。
教科書	講義内容を文章化した「web 版テキスト」（清水執筆）を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。
参考書等その他	上記「web 版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。 講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	220401
科目名	生物学〔生物と環境〕
担当者名	<small>なかむら としあ</small> 中村 敏枝

講義のねらい	地球上の生き物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然のおきてに逆らい、自分の歴史をつくろうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。
講義の内容・授業スケジュール	（前期）生物の生活 (1) 地球の歴史と生命の起源 ・最初の生命・地球の歴史・極限環境生物 (2) 生命誕生 ・いまここにいる奇跡・受精と発生 (3) 生命の維持 ・なぜ食べるか・消化と吸収・排泄物のゆくえ・植物の光合成 (4) 生態系の物質循環とエネルギーの流れ ・陸と海をめぐるいのちの輪 （後期）化学物質の功罪 (1) ゴミ処理とダイオキシン汚染 ・ゴミ焼却とダイオキシン・ゴミの減量 Reduce Reuse Recycle ・ゼロエミッションという考え方 (2) 人工化学物質の功罪 ・内分泌かく乱化学物質 - 環境ホルモン (3) 人工放射性核種 ・原発は温暖化を防ぐ救世主か・JCO 臨界事故 (4) まとめ 自然とともに生きる
履修上の留意点	義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
成績評価の方法	学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
教科書	赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円
参考書等	授業時間内に随時紹介します。
その他	授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	220501
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	かとう きよし 加藤 潔

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、プルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいつつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

教科書
参考書等
その他

特に定めない。適宜プリントを配布。
『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）
プロジェクター、ビデオ等を使用します。

自然分野

履修コード	220601・220801
科目名	地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅

講義のねらい

地球科学は、地球の成り立ちやメカニズム、あるいは環境変遷を、地球自体から様々な方法で読み取ったデータを基に理解しようとする学問分野です。特に近年は、地球温暖化などの地球規模の環境問題の原因を明らかにする上で、過去の地球の環境変化やその要因の理解が重要になってきました。本講義では、地球の歴史を誕生した46億年前から現在まで辿りながら、地球環境を決定してきた要因や、環境変化による生物への影響を考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

〔地球の現在の姿〕

1. 地球の大きさ・形（1、2回）
2. 地球の内部構造とプルームテクトニクス（3～5回）
3. 大陸移動とプレートテクトニクス（6～8回）
4. 火山活動とそのメカニズム（9、10回）
5. 地震とそのメカニズム（11、12回）
6. 気圏・水圏の構造と地球規模の熱循環（13～15回）

〔地球環境の変遷〕

1. 地球環境の変動要因（16、17回）
2. 地球の形成過程（18、19回）
3. 環境変化と生物進化（20～24回）
4. 生物の大量絶滅（25、26回）
5. 人類の誕生と進化（27～29回）

〔未来の地球の姿〕

1. 未来の地球環境の変遷（30回）

履修上の留意点
成績評価の方法

講義は、板書と併せ、OHPやビデオを使って行っていきます。成績は、定期試験とレポートにて評価します。

教科書
参考書等
その他

特になし。
講義中に紹介します。
講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	220701
科目名	地球科学〔地球システムと人間圏〕
担当者名	さわぐち なかし 澤口 隆

講義のねらい 宇宙形成から137億年。地球の誕生から46億年。人類が地球上に生まれてから400万年…地球システムと人間圏の形成。果たして人間圏は地球上にあつて何年存在しうるのであろうか？46億年におよぶ地球システムの分化の歴史を学び、そのサブシステムとしての人間圏が安定に存在し続けるための条件とは何かを考えることが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール まず、地球をシステムとしてとらえるために必要な空間と時間のスケールを学び、それぞれのサブシステム内の諸現象の理解を深めたあと、サブシステム間の物質やエネルギーの交換という観点から、地球温暖化や資源エネルギー問題など、現代人間社会にとっての重要課題について学習する。

1. イントロダクション、2. 空間と時間のスケール、3. NHKスペシャル地球大進化、4. 太陽系形成の標準モデル1、5. 太陽系形成の標準モデル2、6. 火星と地球、7. 宇宙開発の歴史、8. 地球と月の始まり、9. 地球の歴史と全球凍結、10. 地球上の生命の誕生、11. 元素の誕生、12. 地球システム、13. 地球温暖化、14. オゾン層の破壊、15. エルニーニョ、16. 火山、17. 地震、18. 地震予知、19. 南極大陸、20. 地球資源問題と環境破壊、21. 原子力発電、22. 放射性廃棄物の地層処分、23. 地熱発電、24. 複雑系、25. 総まとめ

履修上の留意点 毎回独立したトピックについての講義を行う。
それに関連した内容の課題レポートが半期に3-5回程度課される。

成績評価の方法 提出された課題レポートを評価し、その総合点と出席率で成績評価を行う。(代筆・代返などの不正行為が見つかった場合はその場で不合格とする。)

教科書 使用しない。適宜プリントを配布。
参考書等 『岩波講座・地球惑星科学』(全14巻)
その他 毎回出席を取ります。遅刻・途中退回は認めません。

履修コード	220901・221001
科目名	地球科学〔自然景観の成り立ち〕
担当者名	いちかわ きよし 市川 清士

講義のねらい 地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール (1) 地球科学とはどんな学問か？ (2~5) 地球の成り立ちと構造について (6~10) 大陸の成り立ちや造山運動【プレートテクトニクス】 (11~15) 地震および活断層について (16~19) 氷期と間氷期【気候変動】 (20~24) 地球温暖化と我々の生活 (25~30) 南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについて

履修上の留意点 日頃から新聞・雑誌・TVなどで地球環境について目を光らせていてください。また、高校で使用した地図帳を用意すること(できれば最新のものが望ましい)。

成績評価の方法 授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。
教科書 『地球学入門 一惑星地球と大気・海洋のシステム一』(東海大学出版会) 2,940円
参考書等 参考書はその都度紹介します。
その他 一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオ・DVDによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

履修コード	221101・221201
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〔地球表層の環境〕
1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)
 2. 気候の決定要因 (3~7回)
 3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)
- 〔人間活動による環境変化〕
1. 公害問題の変遷 (9回)
 2. 地球温暖化とその要因 (10~16回)
 3. 大気汚染 (17回)
 4. 酸性雨 (18回)
 5. 光化学スモッグ (19回)
 6. オゾン層の破壊 (20回)
 7. 海洋汚染 (21, 22回)
 8. 廃棄物問題 (23, 24回)
 9. 資源とエネルギー (25~27回)
- 〔自然災害〕
1. 気候変動 (28回)
 2. 地震とその災害 (29回)
 3. 火山とその災害 (30回)

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他の

成績は、定期試験とレポートにて評価します。
特になし。
講義中に紹介します。
講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	221301・221401・221601
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	もちまる まり 持丸 真里

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げていく。また、これらの事例を通して、生態系の保全や持続可能な人間社会のためにどのような姿勢が要求されるかを考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 生化学・生態学の導入 (2~3) 生態系の成り立ち (4) 生物とは何か (5~6) 生物の進化と地球環境 (7~10) 地球温暖化 (11~12) 生態系内の物質循環 (13~14) 生産者の働きと生態系 (15) 中間試験 (16~17) 森林破壊 (18) 生物多様性 (19~20) 生態系の浄化作用 (21~22) 化学物質による生態系汚染 (23~24) ダイオキシン問題 (25~26) 環境ホルモン (27~28) オゾン層破壊 (29~30) 近代農業の問題

履修上の留意点

上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。

成績評価の方法
教科書
参考書等

筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。
なし
講義内で随時紹介する。

履修コード	221701
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	<small>なかむら としえ</small> 中村 敏枝

講義のねらい	私たちは今後ますます環境に配慮した行動をとることを要求されるだろう。そのためには、生態系におけるヒトの位置と、生物としての限界を正しく認識して、生活活動、経済活動、経済利益と効率などを長期的な視野で考えることが肝要である。これを本講義のねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	(前期)自然環境の改変 (1-6) 自然のしくみ (7-12) 自然の改変 (後期)人間の活動と地球環境―食をめぐる問題 (13-18) 農業―有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物 (19-22) 畜産業―肉食とは何か・BSE・クローン動物 (23-25) 漁業―海外依存度・環境ホルモン汚染
履修上の留意点	義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
成績評価の方法	学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
教科書 参考書等	使用しません。 赤堀他著『生物学―地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円 その他については授業時間内に随時紹介します。
その他	授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	221501
科目名	自然環境論〔地球・太陽系環境〕
担当者名	<small>さかのい かずよ</small> 坂野井 和代

講義のねらい	人間が普段活動している地球環境（陸地、大気、海洋）の基礎的な構造やしくみを学ぶと共に、現在話題になっている地球温暖化等の環境問題について知る。また、近年人類が活動するようになった地球近傍の宇宙環境（地球磁気圏、太陽系の惑星など）についても触れ、地球環境システムを総合的に理解する。
講義の内容・授業スケジュール	主に地球温暖化についての諸問題と地球・太陽系環境の基礎について触れる。 1. ガイダンス（1回） 2. 地球温暖化について 基礎編（5回） 3. 地球環境システムの構造と原理（個体地球、大気・海洋、地球磁気圏）（9回） 4. 前期の確認・復習（1回） 5. 地球と太陽系惑星との比較（太陽、太陽系）（4回） 6. 地球大気の観測・オーロラについて（2回） 7. 地球温暖化について 応用編（5回） 8. トピックス（3回）
履修上の留意点	なるべく1つ、1つ説明しますが、中学・高校の基礎的な数学・理科を理解する程度の知識や能力が必要です。講義の進度や話題は、受講人数やその時期の状況に応じて適宜調節します。人数によっては発表形式の講義も検討します。発表形式の場合、詳細は講義で説明します。内容は決して簡単ではありませんので、興味およびやる気のある学生を求めます。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出题するテストまたはレポート（口頭発表の場合も有り）によって行う。
教科書 参考書等	使用しない。適宜資料を配付する。 ・ 赤祖父俊一、「正しく知る地球温暖化―誤った地球温暖化論に惑わされないために」、誠文堂新光社、¥1470、ISBN 978-4416208182 ・ 丸山茂徳、「地球温暖化論に騙されるな!」、講談社、¥1470、ISBN 978-4062147217 ・ 住明正、「さらに進む地球温暖化」、ウェッジ、¥1470、ISBN 978-4863100015 ・ 江守正多、「地球温暖化の予測は正しいか?」、化学同人、¥1700、ISBN 978-4759813203
その他	特に地球温暖化について考える講義をしています。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html

履修コード	221801・221901・222001
科目名	自然環境論〔生物の集団と環境〕
担当者名	坂巻 義章

講義のねらい	地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期 (1) ガイダンス (2) 地球 (3) 気圏と水圏 (4) 環境とは何か (5) 生物とは何か (6) 生物界の構造 (7) 地球生物の歴史と環境① (8) 地球生物の歴史と環境② (9) 地球生物の歴史と環境③ (10) 生物の進化 (11) 進化説 (12) 環境への適応① (13) 環境への適応② (14) 生物の分布 (15) 前期のまとめと試験 後期 (16) 食物連鎖 (17) エネルギー流 (18) 生態ピラミッド (19) 個体群 (20) 出生と死亡 (21) 競争と住み分け (22) 捕食 (23) 共生と寄生 (24) 土壌と分解者 (25) 物質循環 (26) 里山の生態系 (27) 人口問題と環境問題① (28) 環境問題② (29) 環境問題③ (30) まとめと試験
履修上の留意点	スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。
成績評価の方法	出席点と筆記試験(前、後期の最終回を予定)で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれに加える。
教科書 参考書等 その他	指定しない。 指定しない。必要な場合にプリントを配布する。 講義形式の授業とする。

自然分野

履修コード	222201・222301
科目名	自然誌〔現代の自然像〕
担当者名	清水 善和・篠原 正雄・持丸 真里・山縣 毅

講義のねらい	本講義では自然科学部門の4人の教員(天文学、地質学、生物学、化学)がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄って、宇宙の始まりから地球の形成、生命の起源、進化を経て人類の時代に至るまでの自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、現在私たちが直面している地球環境問題等についても紹介する。以上の講義を通じて総合的、統一的、現代的な自然像を養う。
講義の内容・授業スケジュール	オリエンテーション(1回)；第1講 宇宙の進化と地球の起源(篠原正雄)(1)宇宙の構造と起源(2-3回)、(2)宇宙の進化と物質の進化(4-6回)、(3)太陽系の起源と進化(7-8回)；第2講 地球の進化(山縣毅)(1)大陸と海洋の形成(9-10回)、(2)大陸の漂流(11-12回)、(3)変動する地球(13-14回)、(4)地球と生命の共進化(15-16回)；第3講 生命の起源と進化(清水善和)(1)生命の起源(17-18回)、(2)生物の進化と進化論(19-20回)、(3)人類の進化(21-22回)、(4)生物多様性(23回)；第4講 産業の発達と環境の変化(持丸真里)(1)人口増加とエネルギー消費の歴史(24回)、(2)エネルギー消費と「豊かさ」(25回)、(3)化石燃料の化学(26-27回)、(4)大気環境の変化(古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ)(28-29回)、(5)未来のエネルギー(30回)
履修上の留意点	本科目は1年間の講義を通して統一的・総合的な自然像を養うことを目的とするので、毎回の出席が困難な学生は履修を控えてほしい。教員ごとに計4回の評価(テストやレポート等)を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。
成績評価の方法	担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、各教員の指示に従って必ずそのつど評価を受けること。
教科書 参考書等 その他	特になし。必要に応じて各教員がプリント等を配布する。 各教員がそれぞれの講義の中で適宜紹介する。

履修コード	222401
科目名	数学〔微積分学入門〕
担当者名	古宇田 悠哉

講義のねらい	微積分学入門の事項を学びます。授業で紹介する一つ一つの例題を理解し、自分の力で練習問題を解けるようにします。その過程で、この微積分が、世の中に現れるさまざまな現象の変化の仕方をとらえる上で不可欠な学問であることを実感でき、同時に、与えられた情報を論理的に素早く理解する能力、問題を解決するための論理的な思考を身につけることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1～4) 1変数関数、今までに学んだ1変数関数、三角関数、逆三角関数、指数関数、対数関数 (5～9) 微分、微分公式、初等関数の導関数、 n 次導関数 (10～15) 平均値の定理と不定形の極限、マクローリン展開、関数の増減とグラフの凹凸 (16～18) 不定積分、初等関数の不定積分 (19～21) 置換積分 (22～24) 部分積分 (25～27) 有理関数の積分 (28～30) 定積分、面積と回転体の体積
履修上の留意点	毎回授業に出席して下さい。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果を基本に評価します。授業への出席状況も考慮します。
教科書	石村 園子著『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,100円(税込) ISBN4-320-01633-5
参考書等	適宜紹介します。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。

履修コード	222501
科目名	数学〔線形代数学入門〕
担当者名	古宇田 悠哉

講義のねらい	線形代数学入門の事項を学びます。授業で紹介する一つ一つの例題を理解し、自分の力で練習問題を解けるようにします。その過程で、世の中には「線形的な現象」が溢れていることを実感でき、同時に、与えられた情報を論理的に素早く理解する能力、問題を解決するための論理的な思考を身につけることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1～4) 行列の定義、行列の演算、正方行列と逆行列 (5～9) 連立1次方程式、行基本変形、行列の階数、連立1次方程式の解、逆行列の求め方 (10～15) 行列式の定義、行列式の性質、逆行列の存在条件、クラメールの公式 (16～19) 空間ベクトル、ベクトル、内積 (20～25) 線形空間の定義、 n 項列ベクトル空間、線形独立と線形従属、部分空間、基底と次元、線形写像 (26～30) 内積空間、正規直交基底、固有値と固有ベクトル、行列の対角化、2次曲線の標準形
履修上の留意点	毎回授業に出席して下さい。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果を基本に評価します。授業への出席状況も考慮します。
教科書	石村 園子著『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,100円(税込) ISBN4-320-01660-2
参考書等	適宜紹介します。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。

履修コード	222601
科目名	数学〔現代数学入門〕
担当者名	福田 賢一

講義のねらい 現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。

特に、情報環境、情報機器への理解を深めるため、その数理側面を充実させる。時間に余裕があれば、経済・金融等に必要とされる数理的基礎にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：4回 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、
3回 論理設計・論理回路、
2回 情報、通信機器の理解と数理
2回 ベクトル、行列
2回 線型代数とその応用
2回 まとめと演習

後期：3回 線型計画法、
3回 確率現象と社会現象、保険の数理
2回 微積分とその応用、交通・運輸の数理基礎
3回 多変量の処理と応用
2回 社会・経済現象の数理トピックス
2回 問題演習、討論

履修上の留意点 予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。

成績評価の方法 前後期試験結果を80%、レポート・問題演習20%とし、全出席で1.1倍、9割以上出席で1.0倍。8割出席で0.8倍。8割を下回る場合には0.6倍する。出席不足は0倍。

教科書 教科書は使用しない。教材、資料等を数時間に一回の割合で配布する。

参考書等その他 また、内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。

参考文献等は配布する教材、資料等に明示する。

印刷教材、資料等は数時間に一回の割合で配布する。印刷教材は再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

自然分野

履修コード	222701
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい 情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れてもらう講義をめざしている。

1. ガイダンス（1回）
2. 記数法とコンピュータにおける情報の表現（5回）
3. 集合と論理（7回）
4. 順列・組み合わせ（2回）
5. 確率・統計（13回）
6. 数学のトピックス（2回）

履修上の留意点 予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。数学は積み重ねが大切な分野であるので講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解くこと。レポートは講義に出席して、例題や課題を解いていないと解答することは難しい。

成績評価の方法 評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。また、講義時間中の発言も評価に含める。

教科書 使用しない。適宜資料を配付する。

- 参考書等**
- ・ 結城浩、「プログラマの数学」、ソフトバンク、¥2200、ISBN 4-797329734
 - ・ 鑰山 徹、「ソフトウェアのための基礎数学」、工学図書、¥2300、ISBN 4-7692-0430-2
 - ・ 石原光／小堆光喜、「入門 情報処理数学」、実教出版、¥2200、ISBN 4-407-02347-3
 - ・ 小島寛之、「完全独習 統計学入門」、ダイヤモンド社、¥1800、ISBN 4-478-82009-0

その他 コンピュータ応用の講義と連携して受講することをお勧めします。

講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

履修コード	222801・222901
科目名	物理学〔光と物質〕
担当者名	篠原 正雄

講義のねらい 「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の内容・授業スケジュール (1-8)「光は波である 1」(光線 影 鏡 屈折 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色) (9-15)「光は波である 2」(波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色) (16-25)「光は電磁波である」(電気と磁気 電場と磁場 電磁波 さまざまな電磁波) (26-30)「現代物理学と光」(原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波 光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光は宇宙を駆け巡る)

履修上の留意点 十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学・物理の予備知識はいらぬ。

成績評価の方法 期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。期末試験を含む数回のテストの合計で8割、ほぼ毎回の問題による平常点が2割となる基準点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを参考にするので、この点と成績とは一致しない。

教科書 藤城敏幸著『生活の中の物理』(東京教学社) 1,800円+税

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらう。

履修コード	223001・223101
科目名	化学〔衣食住の化学〕
担当者名	持丸 真里

講義のねらい 現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の社会での適用について、正確な知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。前期には、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学・生化学の基礎について説明する。その後、衣食住の化学として、各論の説明を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール (1)有機化学・生化学の導入 (2~4)物質の成り立ち-原子・分子・イオン・化学式・周期表などの解説 (5)水の性質 (6~8)有機化学の基礎 (9~10)繊維 (11)染料 (12~13)洗剤と洗濯のしくみ (14)合成洗剤と水質汚濁 (15)中間試験 (16~17)タンパク質-酵素-免疫を中心に (18~19)遺伝子 (20~21)遺伝子情報の社会への影響 (22)遺伝子組み換え実験とは何か (23~25)遺伝子組み換え食品 (26~27)食品の安全性 (28)化学物質の安全性評価 (29~30)住環境の化学物質汚染

履修上の留意点 「化学」の中には様々な分野があるが、本講義は生化学を中心とする(=生命科学との接点が多い)。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でデューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。講義は、化学の基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意して履修すること。

成績評価の方法 筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。

教科書 なし。

参考書等 講義内で随時紹介する。

履修コード	223201・223301
科目名	宇宙科学〔星と銀河〕
担当者名	篠原 正雄

講義のねらい 現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。宇宙が不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しく進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は恒星を取り上げる。(1)イントロダクション (2~4)観測:望遠鏡 スペクトル (5~7)太陽:構造, エネルギー源 (6~15)恒星:年周視差と距離, 分類, 連星と星の質量, 変光星, 星の進化
後期は銀河をとりあげる。(16~17)銀河系の発見 (18~23)銀河系:星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質 (24~26)銀河: 銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造 (27~30)宇宙:宇宙膨張, 暗黒エネルギー, ビッグ・バン

成績評価の方法 中間試験および学年末に行う筆記試験の平均点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、この平均点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書 岡村定矩他編『人類の住む宇宙(シリーズ現代の天文学第1巻)』(日本評論社) 2,520円

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

履修コード	223401・223701・223901・224201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	^{たにもと} 谷本 ^{さちひろ} 玲大

講義のねらい	課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。 前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPoint にも触れたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス／履修許可／起動～ログオン～終了／画像処理 2 情報倫理概説／検索エンジンとWWW体験 3 電子メールのマナーと実習／添付ファイル 4 パスワードの管理／解凍／ファイルの種類と拡張子／タイピング練習 5～8 Word 9～12 Excel 13～15 予備 ※余裕があれば、PowerPoint にも触れる。
履修上の留意点	※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある（★詳しくは「その他」を参照のこと★）。 初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。 教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。 各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、講義開始一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。
成績評価の方法	初回講義欠席者は単位認定しない。 受講態度や出席状況等の平常点（40％）、課題・レポート（60％）。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。 遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。 パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。 講義中に他学生に迷惑となるような行為があった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。
教科書	他人のパスワードでログオンして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。 小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 （講談社現代新書1603） 2002/04、714円 ISBN：4-061496034
その他	※例年、前期での開講科目は受講生が多いために進度が遅れがちになり、結果として PowerPoint に触れ得ない場合が多い。【PowerPoint の学習を希望する学生】は、★後期に開講する方の科目★で履修申請することを強く勧める。 ※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禅に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと「一つの如く」、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。 ※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。

履修コード	223501
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	やまもと ひろのぶ 山本 博信

講義のねらい

現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル（訓練によって身につけることができる、技術上の能力）やコンセプト（全体を貫く「基本的な概念」のこと）・ケーパビリティ（能力、才能、可能性、将来性）を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Web ページ作成、マナー・倫理・著作権などの基本項目を、習熟度合いに応じて学びます。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・Web ページ作成を実習を通して実施します。

アプリケーションソフトウェア（OFFICE2007）を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。

- 第1回 端末の利用方法と履修登録
- 第2回 ネットワークの歴史と仕組み
- 第3回 ネットワークの利用と電子メール
- 第4回 ネットワーク倫理と著作権
- 第5回 情報検索入門(1) 特許情報の検索
- 第6回 情報検索入門(2) 図書や雑誌の検索
- 第7回 情報検索入門(3) データベースの利用と学術論文の検索
- 第8回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第9回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第10回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第11回 課題2：表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習
- 第12回 課題2：表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習
- 第13回 課題2：DATABASE SOFTWARE(ACCESS2007)を用いた実習
- 第14回 課題2：DATABASE SOFTWARE(ACCESS2007)を用いた実習
- 第15回 講評・授業評価

※なお、実際の授業進行は適宜調整を行う。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法

以下の比率で総合的に評価します。

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験(確認試験として実施) 35%
- ・質問書および出席状況 30%

教科書

授業の中で適宜紹介します。

参考書等

- 『30時間でマスター：ホームページ・ビルダー Ver. 7/8/9』¥800 (ISBN9784407307733)
- 『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣 (実教出版) 151P、¥1890 (ISBN4407301147)
- 『ITリテラシーへの招待』大田幸雄 (パーソナルユーザ利用出版社) 237P、¥1680 (ISBN4894717220)

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつでもやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

履修コード	223601・224101
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	小川 健次郎

講義のねらい インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) ガイダンス、PCの基本操作(4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー(7～15) HTML文書の作成

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法その他 評価は授業時間中に出題する課題によって行う。
実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

自然分野

履修コード	223801・224301
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	澤口 隆

講義のねらい DTP (Desk Top Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス(CG)を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

1.ガイダンス、Adobe Photoshopとは、2.Photoshopの基本操作1、3.Photoshopの基本操作2、4.ブラシツールによる描画、5.塗りつぶしとグラデーション、6.選択ツール、7.クイックマスク、8.画像の補正・修正、9.画像の合成、10.ロゴマーク、11.アニメーション、12.Web ページの作成、13.最終課題製作

履修上の留意点 コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法 授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書等 使用しない。適宜資料を配付する。

その他 同上。
計算機室での実習・講義となるが、コンピュータの数に限りがあるので受講者を制限することもある。

履修コード	224001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	<small>やまもと ひろのぶ</small> 山本 博信

自然分野

講義のねらい	現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル（訓練によって身につけることができる、技術上の能力）やコンセプト（全体を貫く「基本的な概念」のこと）・ケーパビリティ（能力、才能、可能性、将来性）を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Web ページ作成、マナー・倫理・著作権などの基本項目を、習熟度合いに応じて学びます。
講義の内容・授業スケジュール	パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・Web ページ作成を実習を通して行います。 アプリケーションソフトウェア（OFFICE2007）を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。 第1回 端末の利用方法と履修登録 第2回 ネットワークの歴史と仕組み 第3回 ネットワークの利用と電子メール 第4回 ネットワーク倫理と著作権 第5回 情報検索入門(1) 特許情報の検索 第6回 情報検索入門(2) 図書や雑誌の検索 第7回 情報検索入門(3) データベース(Access 2007)の利用と学術論文の検索 第8回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習 第9回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習 第10回 課題1：ワードプロセッサソフトウェアを用いた実習 第11回 課題2：表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習 第12回 課題2：表計算ソフトウェアを用いた実習 第13回 課題2：DATABASE SOFTWARE(Access2007)を用いた実習 第14回 課題2：DATABASE SOFTWARE(Access2007)を用いた実習 第15回 講評・授業評価
履修上の留意点	※なお、実際の授業進行は適宜調整を行う。 本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。
成績評価の方法	以下の比率で総合的に評価します。 ・課題 10% ・授業最終日に実施する確認試験 25% ・定期試験 35% ・質問書および出席状況 30%
教科書	授業の中で適宜紹介します。 『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4 407301147）、『30時間でマスター：ホームページ・ビルダー Ver. 7/8/9』¥800（ISBN9784407307733）
参考書等	『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680（ISBN4894717220）
その他	パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつどうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

履修コード	224401
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	古宇田 悠哉

講義のねらい	授業前半では Web ページを記述するための言語である HTML(Hypertext Markup Language)、文書のレイアウトを定義する規格である CSS(Cascading Style Sheet) の基本事項を学び、ホームページを作成するために最低限必要な知識を身につけます。後半では作成したファイルをネットワークで転送するために使われる FTP(File Transfer Protocol) を利用し、実際に自身のホームページを公開してもらいます。受講することで、コンピュータを自発的に利用する能力が付き、同時にネットワークにおいて決められたテーマを工夫して表現する力を養うことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1～8) HTMLの基礎(テキスト・リスト・テーブル・リンク) (9) 無料ホームページの登録、FTPの使い方 (9～15) CSSの基礎(フォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リスト)
履修上の留意点	毎回授業に出席して下さい。パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。講義の後半には、各自ホームページを作成してもらいますので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。
成績評価の方法	最終的に作成したホームページの評価を基準にします。授業への出席状況も考慮します。
教科書	プリントを配布し、適時紹介します。
参考書	適宜紹介します。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。 授業日程：7月31日(金)・8月3日(月)～6日(木)の4～6時限 予備日：8月7日(金)の4～6時限

履修コード	224601
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	山本 博信

講義のねらい	問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。なお、情報の作成および発信に焦点を合わせて授業を行います。
講義の内容・授業スケジュール	パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集(コーディングについて)・インターネットのしくみ・ホームページビルダーによる Web ページの作成を実習を取り込みながら実施します。 アプリケーションソフトウェア (OFFICE 2007)(photoshop)(Homepage builder Ver1.2.)を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。画像編集のソフトウェアを使う。OFFICE 2007を使う。
履修上の留意点	本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含みます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。質問を歓迎します。質疑応答のためのHPを紹介します。
成績評価の方法	・課題 30% ・授業最終日に実施する確認試験 40% ・出席状況 30%
教科書	授業の中で適宜紹介します。 『XP対応 新基礎コンピュータ演習』、山本誠次郎・井内善臣、実教出版、(151P、¥1890) ISBN4407301147
参考書	『30時間でマスター ホームページ・ビルダー』実教出版(¥800)ISBN978-4-407-30773-3 『ITリテラシーへの招待』、大田幸雄、パーソナルユーザ利用出版社、(237P、¥1680)、ISBN4894717220
その他	パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつどうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。必要に応じてプリントを配布します。 授業日程：7月31日,8月3日～6日 1時限～3時限 予備日：8月7日(金)の1～3時限

履修コード	224701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>ながさか ひろみ</small> 長坂 浩史

講義のねらい	Web ページ作成 (HTML、CSS入門) と、表計算ソフトを用いた基本的な統計処理 (統計量についての入門) の2つを中心に学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ● 最終提出課題 (Web ページ) の説明 … (1) ● Excel の基本操作 … (2、3) ● Excel を用いた簡単な統計処理 (1,2次元データのさまざまな特性値の計算、相関・回帰分析、グラフ作成、曲面片の描画) … (4～6) ● HTML、CSS入門 … (7～9) ● 自由課題 (Web ページ) 作成 … (10～15)
履修上の留意点	初心者を対象にしていますが、Windows の基本操作や、テキストファイルの扱いについては軽く触れる程度です。
成績評価の方法	提出課題 (自由テーマによる Web ページ&指定された様式のファイル) を見て評価します。ただし、欠席が1日でもあると 課題を全部こなすのは困難になると思いますので、特別な事情がない限り5日間の全時限に出席すること。
参考書等その他	簡単な説明ファイルを配布します。 授業日程: 7/31(金)、8/3(月)～8/6(木) の 1～3時限 予備日: 8/7(金) 1～3時限

履修コード	224801
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎

講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	(1～3) ガイダンス、PCの基本操作 (4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー (7～15) HTML文書の作成
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題する課題によって行う。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程: 7/31、8/1、8/4～8/6 1時限～3時限 予備日: 8/7 1時限～3時限

履修コード	224901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎

講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	(1～3) ガイダンス、PCの基本操作 (4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー (7～15) HTML文書の作成
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題する課題によって行う。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程: 7/31、8/1、8/4～8/6 4時限～6時限 予備日: 8/7 4時限～6時限

履修コード	225001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>かにもと さちひろ</small> 谷本 玲大

講義のねらい 課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。

7/31 ガイダンス、起動～終了／情報検索／電子メールとタイピング練習

8/3 日本語入力と Word 演習

8/4 Word 演習・画像処理

8/5～8/6 Excel 演習

8/7 予備日

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある(★詳しくは「その他」を参照のこと★)。

履修上の留意点 初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。

各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法 初回講義欠席者は単位認定しない。

受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。

遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。

パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。

講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。

他人のパスワードでログオンして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。

教科書 小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』

(講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN: 4-061496034

その他の ※集中講義は、進度的に厳しい面があるので、【PowerPoint には触れ得ない】。

授業日程: 7月31日(金)、8月3日(月)～8月6日(木) 1～3時限。

予備日: 8月7日(金)の1～3時限。

※なお、★登録されているクラス以外で受講した場合は欠席扱い★とする。

但し、登録されている以外のクラスで受講することそのものについては、座席数に空きがある限りに於いて、各自の自習の一環として認める。

※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禅に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと「一つの如く」、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。

※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。

履修コード	225201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	谷本 玲大

自然分野

講義のねらい	<p>課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。</p> <p>前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>7/31 ガイダンス、起動～終了／情報検索／電子メールとタイピング練習</p> <p>8/3 日本語入力と Word 演習</p> <p>8/4 Word 演習・画像処理</p> <p>8/5～8/6 Excel 演習</p> <p>8/7 予備日</p>
履修上の留意点	<p>※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある(★詳しくは「その他」を参照のこと★)。</p> <p>初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。</p> <p>教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。</p> <p>各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。</p>
成績評価の方法	<p>初回講義欠席者は単位認定しない。</p> <p>受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。</p> <p>遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。</p> <p>パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。</p> <p>講義中に他学生に迷惑となるような行為があった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。</p> <p>他人のパスワードでログオンして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。</p>
教科書	<p>小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 (講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN: 4-061496034</p>
その他	<p>※集中講義は、進度的に厳しい面があるので、【PowerPointには触れ得ない】。</p> <p>授業日程: 7月31日(金)、8月3日(月)～8月6日(木) 4～6時限。 予備日: 8月7日(金)の4～6時限。</p> <p>※なお、★登録されているクラス以外で受講した場合は欠席扱い★とする。 但し、登録されている以外のクラスで受講することそのものについては、座席数に空きがある限りに於いて、各自の自習の一環として認める。</p> <p>※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禅に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと「一つの如く」、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。 ※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。</p>

履修コード	225601・225701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい	主に実習を通してコンピュータに慣れることを目的とする。具体的には、コンピュータの基礎的な操作方法や用語およびインターネットについて基礎を学ぶ。特に、タイピング、電子メールやウェブといったサービスを実習を通じて身につける。セキュリティやITの法的側面についても学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス (KOMAnet ID、パスワードに関する注意事項) (1回) 2. 総合情報センターの利用方法 (2回) (ホームディレクトリ、パソコン使用上の心得、WindowsPC の基本操作) 3. タイプ練習&日本語入力 (3回) 4. 電子メール (Active ! mail の使い方、公用メールの書き方) (2回) 5. コンピュータ&インターネットの基礎 (1回) 6. WWW ウェブサイト作成 (6回)
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。KOMAnet ID の取得は必須です。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出题する2〜3回程度の課題によって行う。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	参考書は必要に応じて紹介する。
その他	実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html

履修コード	225801・225901
科目名	コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい	主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス (1回) 2. KOMAnet の使い方、タイピングについて (2回) 3. 公用電子メールの書き方 (2回) 4. コンピュータの動作原理とプログラミングについて (3回) 5. Visual Basic によるプログラミング (7回) 6. Excel のマクロについて Visual Basic for Application (2回) 7. Excel VBA の実習 (13回)
履修上の留意点	プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作(ファイル、ウィンドウ操作、電子メール、ウェブの利用など)はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出题する3回程度の課題によって行う。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山本信雄、「Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング」、翔泳社、¥1900、ISBN4-88135-718-2 ・ Michael Halvorson 著・(株)日本ユニテック訳、「VisualBasic.NET 実践講座 Vol.1 基礎編」、日経BPソフトプレス、¥2480、ISBN4-89100-257-3 ・ 立山秀利、「ExcelVBA のプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本」、秀和システム、¥2310、ISBN 978-4798017976
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html

履修コード	226001・226101
科目名	人類学〔人類の進化〕
担当者名	^(たば ひさお) 馬場 悠男

講義のねらい	チンパンジーと似ていたはずのヒトの祖先が、いつ、なぜ、どこで、どのような要因で現在の私たちになったかを知り、人間自身の本性を理解し、人類の将来を考える一助とする。楽しく考え、ためになる授業を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	1-5回：ヒトはどこまで動物か、ヒトはなぜゾウに似ているかなど。6-10回：立ち上がった猿人たち、豊かな森林から厳しい草原へなど。11-15回：道具を作った原人と旧人、フロレス島のホビットなど。16-20回：サピエンスの世界戦略、5万年前の革命はあったかなど。21-25回：日本人はどこから来たか、縄文VS弥生など。26-30回：病いの起源、給食を正課にせよなど。
履修上の留意点	人間や動物の形態・機能・行動・心理を観察し考える習慣を付ける。上野の動物園と国立科学博物館に行こう。
成績評価の方法	学期末の試験とともに授業中の小テストさらに出席点も加味して総合的に判断する。授業中、良い質問をすると、プラスアルファ。
教科書 参考書等	馬場悠男監修『学研まんが ヒトの進化の秘密』学習研究社880円 ISBN978-4-05-202931-8 馬場悠男編著『人間性の進化 700万年の軌跡をたどる』日経サイエンス社1,900円 ISBN4-532-51151-8；馬場悠男解説『ホモ・フロレンシエンシス上下』NHKブックス・日本放送出版協会 上下各970円 ISBN978-4-14-091112-9C1345；馬場悠男・道方しのぶ訳『人類進化大全』悠書館12,000円 ISBN978-4-903487-18-2

履修コード	226201
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	^(たかはし よしひろ) 高橋 良博

講義のねらい	心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。 特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間行動の対人行動やストレス・適応などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。 また、講義の中に、適宜、供货実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義の予定としては、前期では、感覚・知覚・学習などの問題について学び、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の各研究領域に焦点をあててゆく。 各回ごとの講義予定は以下の通りである。
履修上の留意点	1 オリエンテーション（講義のねらい・成績の基準・評価履修上の注意など）、2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち、3 心理学研究法、4 感覚（1）、5 感覚（2）、6 感覚（3）、7 感覚（4）、8 感覚（5）、9 知覚（1）、10 知覚（2）、11 知覚（3）、12 知覚（4）、13 学習（1）、14 学習（2）、15 学習（3）、16 学習（4）、17 記憶（1）、18 記憶（2）、19 記憶（3）、20 動機づけ（1）、21 動機づけ（2）、22 感情と情動（1）、23 感情と情動（2）、24 ストレス・適応（1）、25 ストレス・適応（2）、26 ストレス・適応（3）、27 パーソナリティ（1）、28 パーソナリティ（2）、29 パーソナリティ（3）、30 試験
成績評価の方法	履修者は、講義中は私語をつつしむ静粛に講義を受講すること。 筆記試験の得点、レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを得点化して総合的に評価を行う。
教科書 参考書等	鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別 講義の中で指示する。

履修コード	226301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	^(ほんま みちこ) 本間 美智子

講義のねらい	この授業では、実験心理学・教育心理学・社会心理学・発達心理学・臨床心理学にわたる心理学全般の基礎的知見を概観し、心理学がどのような学問であるかについての理解を深める 心理学の目的と方法、心理学の各分野について概説する
講義の内容・授業スケジュール	通常授業の出席ならびに試験により評価する。
成績評価の方法	プリントを使用
教科書 参考書等	「ヒルガードの心理学」内田一成（監訳）ブレーン出版、2005

履修コード	226401
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	加藤 博己

講義のねらい この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し、130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 前期：オリエンテーション（講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認）
【記憶】 1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由
【感覚・知覚・認知】 1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（心的回転）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）
【学習・思考】 1.レスポナント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習
【動機づけ】 1.動機づけの分類、2.葛藤、3.コンプレックス
【情動】 1.感情の生起、2.感情の測定

後期

【発達】 1.発達段階、2.発達要因（遺伝と環境）、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法
【パーソナリティ】 1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定（信頼性、妥当性、標準化）、3.パーソナリティ検査（質問紙法、投影法、作業検査法）、4.知能
【社会】 1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論
【心理学論】 1.「心理学」の語源、2.定義、3.心理学の基礎分野、4.心理学の研究法、5.心理学の歴史

履修上の留意点 履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法 前期授業の最終日より1回前の授業（7月）に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編) 2008年 『心理学 第3版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-0

参考書等その他 教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。
 主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークを実施し、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

履修コード	226501
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	杉山 雅美

講義のねらい 「心理学」は、その対象が「心」という、人間にとってもっとも身近なものであり、みなさんも日常のヒューマンウォッチングをもとに、各人各様の「心理学」を構築し、応用しているのではないのでしょうか。また、書籍や雑誌、テレビ番組等からの情報を通じて、とりわけ心理テストやカウンセリングなどの側面から、すでに「心理学」に対する何らかのイメージや興味、知識をもっている人も多いことでしょう。

一方、高校までの履修科目には「心理学」がないこともあってか、みなさんのイメージするその内容と、学問としての「心理学」との間には、少なからず違いがあり、それらのなかには科学的裏付けの希薄なものも散見されます。

本講義では、学問としての「心理学」の概論的内容について、身近な具体例を通して紹介していきます。それにより、自分や周囲の他者、ひいては人間の心・行動にまつわる諸現象に対する、科学的視点からの理解を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 年間スケジュールや実際の進捗状況による変更もありますが、概ね以下のように進める予定です。
 (1) ガイダンス・心理学とは何か (1~3回)、(2) 感覚・知覚 (4~6回)、(3) 学習 (7~9回)、(4) 記憶 (10~12回)、(5) 思考・言語 (13~15回)、(6) 情動・動機づけ (16~18回)、(7) パーソナリティ (19~21回)、(8) 発達 (22~24回)、(9) 臨床 (25~27回)、(10) 社会 (28~30回)

履修上の留意点 履修するうえでとくに予習は求めませんが、そのぶん履修者は講義中集中し、私語を慎んで臨むよう心がけて下さい。

成績評価の方法 年度末に行われる筆記試験の成績と出席状況により、総合的に評価します。

教科書 とくに指定しません。適宜プリントを配布します。

参考書等 講義の中で適宜紹介していきます。

履修コード	226601
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	<small>たかはし りしひろ</small> 高橋 良博

自然分野

講義のねらい	<p>心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。</p> <p>特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。</p> <p>また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義スケジュールは以下の通りである。</p> <p>1 講義についてのオリエンテーション 2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち 3 心理学研究法 4 感覚(1) 5 感覚(2) 6 感覚(3) 7 感覚(4) 8 知覚(1) 9 知覚(2) 10 知覚(3) 11 知覚(4) 12 学習(1) 13 学習(2) 14 学習(3) 15 学習(4) 16 記憶(1) 17 記憶(2) 18 記憶(3) 19 動機づけ(1) 20 動機づけ(2) 21 感情と情動(1) 22 感情と情動(2) 23 ストレス・適応(1) 24 ストレス・適応(2) 25 ストレス・適応(3) 26 パーソナリティ(1) 27 パーソナリティ(2) 28 パーソナリティ(3) 29 パーソナリティ(4) 30 試験</p> <p>(上記の講義スケジュールは、履修学生の理解度などを確認しながら、若干の時間調整を行う可能性もある。)</p>
履修上の留意点	<p>履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛を保って受講すること。私語その他の迷惑行為が目立つ場合、教場外への退出をもとめる事もある。</p>
成績評価の方法	<p>筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを得点化して総合的に評価を行う。</p>
教科書 参考書等	<p>鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版)2,000円税別 講義中に指示する。</p>

履修コード	226701・226901
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	鈴木 順一

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは? 授業方針 [2]エンカウンター(出会いと人間関係づくり) [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き(精神分析的人格理論) [9]環境を知る働き(感覚・知覚・認知)

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxationによる心身の健康回復

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等の他

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』(福村出版)
すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

履修コード	226801
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	加藤 博己

講義のねらい この講義では、人間関係に重点を置きつつ、哲学から独立し、130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期：オリエンテーション（講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認）
【記憶】 1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由
【感覚・知覚・認知】 1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（心的回転）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）
【学習・思考】 1.レスポネント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習
【動機づけ】 1.動機づけの分類、2.葛藤、3.コンプレックス
【情動】 1.感情の生起、2.感情の測定

後期
【発達】 1.発達段階、2.発達要因（遺伝と環境）、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法
【パーソナリティ】 1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定（信頼性、妥当性、標準化）、3.パーソナリティ検査（質問紙法、投影法、作業検査法）、4.知能
【社会】 1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論
【心理学論】 1.「心理学」の語源、2.定義、3.心理学の基礎分野、4.心理学の研究法、5.心理学の歴史

履修上の留意点 履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法 前期授業の最終日より1回前の授業（7月）に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編) 2008年『心理学 第3版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-0

参考書等その他 教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。
 主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークを実施し、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

履修コード	227001
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	高橋 良博

講義のねらい 心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概念的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義予定は以下の通りに進めてゆく予定。

1講義についてのオリエンテーション 2心理学の定義・心理学も領域・心理学の成り立ち 3心理学研究法 4感覚(1) 5感覚(2) 6感覚(3) 7感覚(4) 8感覚(5) 9知覚(1) 10知覚(2) 11知覚(3) 12知覚(4) 13学習(1) 14学習(2) 15学習(3) 16学習(4) 17記憶(1) 18記憶(2) 19記憶(3) 20動機づけ(1) 21動機づけ(2) 22感情と情動(1) 23感情と情動(2) 24ストレス・適応(1) 25ストレス・適応(2) 26パーソナリティ(1) 27パーソナリティ(2) 28パーソナリティ(3) 29パーソナリティ(4) 30試験

(上記の予定は、履修学生の理解度などを考慮し、時間配分に若干の修正が加わる場合もある。)

履修上の留意点 履修者は、受講中は私語をつつしむ静粛を保つこと。
成績評価の方法 筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合に得点化して、最終的な評価を行う。

教科書 鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版) 2,000円税別
参考書等 講義中に指示する。

履修コード	227101
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	堀内 正彦

講義のねらい 人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、それ以外にも、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物事の捉え方や判断の仕方など、様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール 心理学の様々な分野を概観できるように、下記の内容、スケジュールで講義を進行する予定である。

第1回	オリエンテーション
第2～3回	心理学の視点
第4～6回	発達 -環境と遺伝-
第7～9回	学習
第10～11回	記憶
第12回	前期末試験
第13～15回	感覚・知覚
第16～18回	思考・言語
第19～21回	動機づけ・情動
第22～24回	個人差
第25～27回	社会行動
第28～30回	行動の基本様式

履修上の留意点 この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。

成績評価の方法 試験の結果(前期の講義内と定期試験の計2回)による。
教科書 鹿取廣人・杉本敏夫(編)『心理学 第2版』(東京大学出版会)
その他 私語については、厳格に対応します。授業の初回に行うオリエンテーションで詳細を説明しますので、必ず出席して下さい。

履修コード	227201
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	なかまる しげる 中丸 茂

講義のねらい 心理学は、人間の心（行動・言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、心の科学、および、心の工学と定義され、心の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。

1. オリエンテーション 心理学って何？
2. 血液型と性格 本当に関係あるの？
3. 科学としての心理学 科学って何？
4. 行動分析学I ラムちゃんの電撃
5. 行動分析学II パナナとリンゴ
6. 行動分析学III 月に向かって吠える
7. 認知心理学I マジカルナンバー
8. 認知心理学II カクテルパーティ
9. 認知心理学III 悩めるオマタかおる
10. 心霊現象の心理学 幽霊は乗り物がお好き？
11. 社会心理学I 他人を好きになる時
12. 社会心理学II 恋、愛、そして、意志決定 その他（リクエスト可）
13. 無意識の心理学 UFOは存在するか？
14. 人格心理学 社交的な人は朝に弱い
15. 占いの心理学 ラッキーカラーは、赤!!
16. 呪いの心理学 呪殺は可能か？
17. 所信の心理学I 知識は人類を駄目にする!!
18. 所信の心理学II マインド・コントロール
19. 宗教の心理学 神社の石段
20. スポーツ心理学 イメージトレーニング
21. プロファイリングモラル・ハラスメント
22. テクノ・コミュニケーション 顔文字は使ったほうがいいか

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというものではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。（教科書理解度UP++）

成績評価の方法

筆記試験の絶対評価として処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書

中丸茂『心理学者のための科学入門』1999年（北大路書房）
中丸茂『トワイライト・サイコロジー』2000年（北大路書房）
講義オリジナル資料 毎回配布（2～3枚）年間 40～50枚
講義用の配布資料で紹介。

参考書等

自然分野

履修コード	227301
科目名	心理学〔心を科学する〕(夏季集中)
担当者名	<small>ふかほり</small> 深堀 <small>ともなり</small> 友覚

講義のねらい

身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的(心理的)な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

講義の内容・
授業スケジュール

パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

履修上の留意点

短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にし
か参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法

講義最終日に行われる筆記試験と、出席率(3分の2以上)による総合評価。

教科書

特に指定しない。授業内にプリントを配布する。

参考書等

重野純『キーワードコレクション 心理学』(新曜社)1994年

中村昭二『心理学概説』(八千代出版)1982年

その他

授業日程: 7月31日・8月3日~7日、1~5時限(土、日は除く)

自然分野

履修コード	228201
科目名	総合I〔仏教と社会〕
担当者名	熊本 英人

講義のねらい	日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。 社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 はじめに 2～5 仏教と戦争 6～13 仏教と差別 14～17 仏教と女性 18～21 仏教と家族 22～29 仏教と生命倫理 30 おわりに
履修上の留意点	出席を重視する。
成績評価の方法	適宜レポートを課す。年度末の筆記試験またはレポートと合わせて評価する。
教科書	適宜プリントで配布する。
参考書等	末木文美士編『現代と仏教』(佼成出版社、2006年)2,625円 その他、講義の中で随時紹介する。

総合分野

履修コード	228301
科目名	総合I〔仏教と芸術〕
担当者名	村松 哲文

講義のねらい	本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	〔前期〕 仏教美術の世界(1～2) インドの仏教美術(3～5) 西域の仏教美術(6～8) 初期の敦煌石窟(9～11) 後期の敦煌石窟(12～15) 〔後期〕 炳靈寺石窟(16～17) 麦積山石窟(18～20) 雲岡石窟(21～23) 龍門石窟(24～27) 朝鮮三国の仏教美術(28～30)
履修上の留意点	以上は予定で、講義の合間に特定の意匠(仏像の胸飾・宝冠・袈裟など)についても考察する。
成績評価の方法	博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。
教科書	出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。
参考書等	プリントを配布する。 講義中に適宜参考書を紹介する。

履修コード	228501
科目名	総合II〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕
担当者名	清水 善和・漆原 和子・坂野井 和代・篠原 正雄・須山 聡・出口 宏幸・持丸 真里・ 柳澤 紀夫・山縣 毅

講義のねらい	自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実験することが重要である。本科目では、まず、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法等を学ぶ。次いで、夏休み（7月下旬）に駒澤大学富浦セミナーハウスにて、4泊5日の泊り込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の人と自然をトータルに理解することを試みる。これらの講義や実習を通して、自然の見方、接し方、自然科学的な考え方の基本を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期（半期）：本校での講義（一部実習を含む） （1）ガイダンス（1回）、（2）自然観察の方法（2回）、（3）植物の観察（3,4回）、（4）パードウォッチング（5,6回）、（5）地球科学的な見方（7-9回）、（6）地球環境の見方（10-12回）、（7）天体観測の方法（13,14回）、（8）富浦実習に向けて（15回） 富浦での講義と実習：7月19日（日）午後—23日（木）午前（4泊5日） 午前の講義、午後の実習（植物、地形・地質、地理・歴史）、夜の天体観測など。
履修上の留意点	前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加できる人のみ履修すること。また、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。 富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費（1泊4000円×4日）は学生の自己負担とする。 実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。
成績評価の方法	各教員が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価点と出席点とを合算して最終的な成績の判定を行う。
教科書 参考書等	特になし。各教員が必要に応じてプリント等を配布する。 各教員が必要に応じて紹介する。

総合分野

履修コード	228801
科目名	総合III〔TOEFL(R)の問題で学ぶ知的教養〕
担当者名	白鳥 義博

講義のねらい	TOEFLは講義や討論などアカデミックな場面での英語運用能力を試すテストであり、出題される英語は、さまざまな学問領域の基礎的な知識を土台としています。この知的で幅広い内容を逆手にとって、学生あるいは社会人として必要な知的教養をTOEFLの問題から学んでみようというのが、本授業のコンセプトです。テキストにはリスニングとリーディングに特化したTOEFL対策用教材を使用します。授業では、知のプラットフォームを固める上で必須なトピックをこの教材からいくつか選び出し、必要に応じてプリントなども使いながら、学習を進めます。（本年度扱う予定のトピックは次のとおり：PTSD（心の傷）、ビジネスの新しい倫理性（sustainability）、動物園と動物の権利の問題、燃料電池とエネルギーの基礎概念、など）
講義の内容・授業スケジュール	前期（1）ガイダンス、（2）～（13）4～5回の授業でひとつのレッスンをカバーして進めてゆく。（14）まとめ（15）期末テスト 後期 前期と同じ
履修上の留意点	語学と教養とキャリア教育をミックスさせた授業であり、知的好奇心の旺盛で意欲的な学生の履修を望みます（発表やレポート、小テストなどを頻繁に課す予定）。TOEFLテストを受けたことのない学生、受験予定のない学生の履修も大歓迎です。逆に、TOEFLの直前対策や解法テクニックの演習を専門的に行う授業ではないので、注意してください。
成績評価の方法	出席、受講態度、課題へのとりくみ、テストの成績などから総合的に評価する。
教科書 参考書等	『戦略的トータル®テスト対策演習』（南雲堂、2008年） 授業中に随時指示する。

履修コード	228901
科目名	総合Ⅲ〔小説と映画で読み解く現代中国〕
担当者名	塩旗 伸一郎

講義のねらい 今日、日本人の生活と生存に欠かせない存在でありながら、理解を超えた縁遠い国でもある中国。そのミステリアスな隣人を理解できる日本人が多くなるのが、結局は日本と世界の平和と繁栄の礎となる。本講で採りあげる短編小説と映画は、必ずしもミステリー作品というわけではなく、中国というミステリーを読み解くための素材である。その意味で本講は文学論、映画論である前に、中国論である。

講義の内容・授業スケジュール 解題(1～2)、「暗香」と韓少功(3～5)、映画(6～8)、「太白山記」と賈平凹(9～11)、映画(12～14)、遲子建「霧の月」(15～16)、映画(17～19)、韓東「部屋と風景」(20～21)、映画(22～24)、魏微「鄭さんの女」(25～26)、映画(27～28)

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書**

映画の表題は、映像を確保できる保証がないため、未定。
中国語学習歴がなくても履修できる。
平常点(作品ごとに感想文を提出、レポートに代える)
釜屋修 監修『同時代の中国文学—ミステリー・イン・チャイナ』(東方書店)1600円+税

履修コード	229001
科目名	総合Ⅳ〔現代アメリカ事情〕
担当者名	林 明人

講義のねらい 現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード(abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等)を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

講義の内容・授業スケジュール

1	世界史の中のアメリカ(1)	16	Brady bill (1)
2	世界史の中のアメリカ(2)	17	Brady bill (2)
3	世界史の中のアメリカ(3)	18	Brady bill (3)
4	世界史の中のアメリカ(4)	19	official English law (1)
5	世界史の中のアメリカ(5)	20	official English law (2)
6	世界史の中のアメリカ(6)	21	official English law (3)
7	世界史の中のアメリカ小テスト	22	euthanasia (1)
8	abortion (1)	23	euthanasia (2)
9	abortion (2)	24	euthanasia (3)
10	abortion (3)	25	hate crime (1)
11	affirmative action (1)	26	hate crime (2)
12	affirmative action (2)	27	hate crime (3)
13	affirmative action (3)	28	multiculturalism (1)
14	political correctness	29	multiculturalism (2)
15	前期試験	30	後期試験

**履修上の留意点
成績評価の方法**

遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めません。
①試験(40%)②レポート(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書

プリントを配布します。

履修コード	229101
科目名	総合IV〔新市民社会論〕
担当者名	西村 祐子

講義のねらい 前期はJICA(国際協力機構)と協力して市民社会と国際協力に関して考える。後期は本学で現在JICA草の根協力プロジェクトとして進行しているバイオトイレプロジェクトを中心に、環境、マイノリティ、被差別問題などを考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：
1. 市民社会とNGO、NPO
 2. グローバル化現象と国際協力
 3. 日本の国際協力と市民社会：JICAスタッフ講義
 4. 国際協力の現状と日本：まとめ（1）
 5. JICAスタッフ講義：海外協力隊の一員として
 6. 草の根協力と開発途上国：まとめ（2）
 7. JICAスタッフ講義：グローバル化と国際協力の実情
 8. 草の根協力と開発途上国：まとめ（3）
 9. 途上国社会と市民セクター：NGOの役割（1）インド
 10. 途上国社会と市民セクター：NGOの役割（2）インド
 11. 途上国社会とマイノリティ（1）インドの場合
 12. 途上国社会とマイノリティ（2）インドの場合
 13. 前期まとめと国際協力とその課題：草の根支援のレベルから

後期：

1. インド社会の基礎知識
2. クラスとカースト：政治と宗教
3. ジェンダー、宗教、マイノリティ集団
4. インドの市民社会とNGO
5. インド地縁組織とコミュニティ開発
6. 被差別カーストとコミュニティ開発
7. 行政とNPO,NGO：公衆衛生の実情
8. 公衆衛生とバイオトイレ：グローバルな環境問題の観点から
9. 公衆衛生と途上国：グローバルな観点から
10. バイオトイレとリーダーシップトレーニングプロジェクト（1）
11. 同上（2）
12. マイノリティ・被差別・コミュニティ開発を考える
13. まとめと課題

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなうので学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

出席（25%）、毎回の小レポート内容（30%）、前期、後期それぞれのレポート（45%）。試験はない。

教科書

教場で指定する。

参考書等

JICAに関しては <http://www.jica.go.jp/>
 南インドにおけるバイオトイレ事業、
 エコサントイレについては以下をみとく。<http://www.b1b2.org/EcoSan/index.htm>,
<http://jp.youtube.com/watch?v=gPummZRR2Cg>、<http://jp.youtube.com/watch?v=6x-PqyF9CVRE>、<http://www.indiawaterportal.org/blog/category/ecosan/>

その他の

希望者は現在南インドで実施中の海外協力プロジェクトにボランティアとして参加できる。（例年2月下旬実施）

履修コード	229201
科目名	総合Ⅳ〔ポスト・モダンの世界〕
担当者名	丸小 哲雄

講義のねらい 急速な科学の発達による携帯電話とインターネットによる個別化への誘導、学問の細分化による「断絶の経験」が起り、現在さまざまに個別化された経験が<つなぎ>の必要とする必然性を見出せるかどうかが問われています。

建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などさまざまな分野が、それぞれが別途に関連なく居座って、個別化され、核化され、特化されて、さまざまな意味を込めて解釈されてきています。核家族、コミュニティからの断絶、オタク族の跋扈、いじめや孤立化の経験、被害者と加害者の両義性、しかも過剰な人権が叫ばれ、現代人は「断絶の経験」の悲劇性を、意識的にしろそうでないにしろ、味わっています。このようなコンテクストで現代のグローバリズムが吹聴されていった経緯があります。

そこで本講義の狙いは、1914年から1995年までの歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化(帝国主義と植民地化に対する批判)し、近代化(モダニゼーション)における合理性に対する啓蒙思想批判と、その近代化批判に対する主体的な批判能力(主体性の確立)を育むことで現代文明の本質を捉え直すことを目指します。

- 1) 総合Ⅳの性格と意義：総合教育と専門との連動性(1～2)
- 2) 現代という時代状況の捉え方(3)
- 3) 「プレモダン」・「モダン」と「ポストモダン」という言葉の定義と時代認識の問題及び言語の恣意性(ソシュールの言語観など)(4～5)
- 4) ルネッサンス以後の人間観・宇宙観・社会観の思想的な変遷(6～9)
- 5) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の変化：建築・映画・広告・世界万博の変遷・エロスの変遷・ファッション・モードなどのジャンルに見られる思想の変遷(10～15)
- 6) 理性批判の整理：思想史の観点(ポストモダン)からモダン批判(後期)
 - ① プレモダン・モダンという近代史(16～18)
 - ② モダン思想的批判の源泉(19～21)
 - ③ 合理性と非合理性理の問題(22～23)
 - ④ 外部の力と内部の力(24～25)
- 7) ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題(26～29)
- 8) レビュー：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判(30)

講義の内容・
授業スケジュール

履修上の留意点
成績評価の方法

授業以外に文庫本・新書版を読み込んでいく読書課題があります。
授業での質疑応答による発表と出席率、前期と後期の読書課題、学年末に提出するターム・ペーパー(レポート課題)

教科書

・プリント使用：読書課題のリスト配布(レポート作成方法・提出日・提出場所も指示)
・多くのプリントを配布しますので、ファイル用具を用意すること

履修コード	229301
科目名	総合Ⅴ〔イギリスの歴史と文化〕
担当者名	石原 孝哉

講義のねらい イギリス史の流れのなかで、イギリス文化がいかに形成されてきたかを考察します。
講義の内容・
授業スケジュール 日本と同じ島国でありながら、イギリスは異民族支配と異文化の同化を繰り返しながら独自の文化を形成してきました。プリント教材を中心に、映像、動画、ホームページなどを利用しながら、独自の文化の源泉をたどります。

履修上の留意点

毎回プリントを配布するので欠席しないように。ホームページなどを参考にすることでコンピューターが使えると便利です。

成績評価の方法

レポート、期末試験により評価します。

履修コード	229601
科目名	総合VI〔民族とは何か〕
担当者名	大野 祐二 <small>おおの ゆうじ</small>

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法
教科書
参考書等

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）

吉野耕著作『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）

李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

総合分野

履修コード	229701
科目名	総合VI〔イスラム〕
担当者名	吉田 京子 <small>よしだ きょうこ</small>

講義のねらい

本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、ユダヤ教、キリスト教との関係性を確認しつつ概論的講義を行い、イスラームの知識を通じセム系一神教の世界観理解を促すことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

①セム系一神教

②預言者ムハンマド

③神のことば

④イスラームの世界観

⑤イスラームの実践

⑥イスラームの分派

⑦イスラーム神秘主義

これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。

履修上の留意点

授業中の疑問点やコメントを毎回提出。

成績評価の方法

毎回提出のコメント用紙を出席確認に使用。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。

履修コード	229801
科目名	総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕
担当者名	早川 ^{はやかわ} 紀代 ^{のりよ}

講義のねらい 男性と女性、あるいは女性と男性との関係は、個人的にも、また社会的にも、この二〇年のあいだに大きく変化してきている。ちょうど学生の皆さんが誕生し、成長してきた時期である。どのように変わり、これからどのように変わっていくのか、また変化しないものはなにかをとりあげて、一人ひとりの人間の在りかたを考える場にする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期 a ジェンダーってなんだ？
私たちが当たり前と思っていること、たとえば女はやさしい、男はたくましいといった考えは本当なのか、どうかということにメスをいれたのが1990年代に日本にはいつてきたジェンダーという見方です。このジェンダーという理論がどのようにして誕生したかをとりあげ、女性学と男性学と人間学の間を関係を考える。

b 労働とジェンダー

男女格差がもっとも明確にあらわれている被雇用者の労働をとりあげる。戦後の労務管理の歴史、経営者の労働政策、女性労働者の運動、雇用機会均等法の変遷、育児・介護休業法などをとりあげ、どのようにしたら誰でも、働きかつ家族生活を楽しむ、人間としてバランスのとれた生活を送ることができるか考える。

後期 c 家族とジェンダー

私たちが無意識にすごしている家族は形も親子や夫婦の人間関係も家族ひとりひとりの生き方も大きく変化している。恋愛時代の男女、結婚後の夫と妻の関係はジェンダーが深く影響している。またいろいろな人間関係でつくられている家族のかたちもあらわれている。現代の日本社会では家族をめぐる現象は暗いことが多い。家族を共同生活ととらえて将来の家族のあり方を模索する。

d セクシュアリティ

この20年間の変化のなかでもっとも深くて大きなものが、人間の性にかんする考え方です。買春、心と身体の性が同じでない人びと、同性愛、レイプ、親しい人びとの間の暴力などをとりあげて、性にかんする固定観念から脱出する道を考える。

履修上の留意点
成績評価の方法

教員と学生、学生間のコミュニケーションを深めたいので、遅刻、お喋り、内職は厳禁
前期試験にかわる夏休みの課題レポート 30%、後期試験 40%、講義内容やビデオ内容に関する意見、感想・出席 30%

教科書

使用しない。参考資料を配布する。

履修コード	229901
科目名	総合VII〔トラブルと法的解決〕
担当者名	中濱 義章・井上 健一・北野 かほる・佐藤 多美夫・中田 英幸・向田 正巳

講義のねらい	日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。 法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。
講義の内容・授業スケジュール	第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。 担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。 中濱 義章 消費生活と法 井上 健一 現代社会と商法 北野 かほる トラブルが法の問題になるとき 佐藤 多美夫 犯罪とは何か 中田 英幸 金融取引と法 向田 正巳 契約と不法行為
履修上の留意点	各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。 私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。
成績評価の方法	各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。 担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。 追試験は、講義の形態上、行わない。
教科書 参考書等	特に指定しない。 各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。 六法は毎回忘れずに、持参すること。

総合分野

履修コード	230001
科目名	総合VII〔都市論〕
担当者名	早川 純貴・饗庭 伸・浦田 早苗・堀内 康史・村上 暁信

講義のねらい 大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学あるいは社会学や都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール 5名の講師により、各々3回又は6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

■早川純貴『都市論』ガイダンス（1回：4月）

■早川純貴「まちづくりと住民参加」（3回：4月・5月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

■浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（3回：5月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

■堀内康史「都市とコミュニティ」（6回：6月・7月）

都市を社会学的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心にみていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。

■村上暁信「都市のランドスケープ」（6回：9月・10月）

都市のランドスケープを読み解く基本的な視座について、概念・歴史・関連する諸制度などの観点から概説する。また、ヒートアイランド現象をはじめとする都市の環境問題解決に向けた都市ランドスケープ保全のあり方について考察する。

■饗庭伸「市街地整備とアーバンデザイン」（6回：11月・12月）

都市のフィジカルな空間を改善するために市街地整備やアーバンデザインが行われる。首都圏を対象に、近年の都市空間の課題を概観したうえで、それぞれの課題に対する取り組み、方法を論じる。

履修上の留意点
成績評価の方法

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを早川が総合して評価する。

3. 外国語科目

履修コード	234101・235001
科目名	英語IA
担当者名	^{うえむら} 植村 ^{けいこ} 恵子

講義のねらい

日本の社会では、実際の生活やビジネスにおいて、言葉としての機能、つまりコミュニケーションの手段として英語を使える人材が、これまで以上に強く求められているように感じます。そのような目標に少しでも近づくために、英語を基礎から総合的に学び直したいと思います。英語の総合的な基礎学力を確実なものにするためにも、この授業では、特に高校までの基本的な文法知識と英文を構成する能力、基本的な語彙力などに重点を置き、復習も行いながら、英文を書いたり、聞き取って話したりする力を伸ばしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

使用する教材の内容に沿って、基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び、英文を書いたりする作業も行います。また、この授業を受講することによってTOEICなどの各種英語資格試験の受験対策としても役立つと思われるので、就職後必要と思われる人は是非チャレンジして下さい。

履修上の留意点

授業には必ず予習をして臨み、辞書(電子辞書可)を持参し、テキストを忘れた場合はコピーを必ず準備しておいて下さい。

成績評価の方法

出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表、発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。

教科書
参考書等

未定
『リーダーズ英和辞典』研究社

履修コード	234201・235201
科目名	英語IA
担当者名	^{かどま} 風間 ^{のりこ} 則比古

講義のねらい

英語の総合的な習得には聞く、話す、読む、書くの4つが必須ですが、ここでの授業は主に文法と英作文を中心に行ないます。

講義の内容・授業スケジュール

第1週：授業の概要説明
第2週～第3週：S+V、S+ be 動詞+C
第4週～第5週：There 構文、S+V+O
第6週～第7週：数量詞、S+V+O
第8週～第9週：命令文、感嘆文
第10週～第11週：冠詞
第12週～第13週：進行形、S+V+O+O
第14週：過去形
第15週：前期試験
第16週～第17週：比較、S+V+C
第18週～第19週：未来形
第20週～第21週：S+V+O+C
第22週～第23週：現在完了
第24週～第25週：助動詞
第26週～第27週：受動態
第28週～第29週：準動詞
第30週：後期試験

履修上の留意点

英文を書くためにはどうしても文法の知識が欠かせません。授業でも文法の説明は行ないませんが、自分でも、もう一度勉強しておいて下さい。

成績評価の方法

成績は前・後期1度ずつの試験の結果と、平常点(出席数や授業態度など)を総合して評価します。

教科書

中山・杉・中島(編)、『Unique English Composition I』(『ユニーク英作文I』)、成美堂

履修コード	234301・234901
科目名	英語IA
担当者名	池上 賀英子

講義のねらい 入学時の英語力を基礎として、英語の総合的能力を養う。リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの訓練にも力点を置き、テープレコーダーやビデオ（VHS、DVD）等を活用する。

講義の内容・授業スケジュール 開講時に指示する。

履修上の留意点 授業には予習を充実させることを求めます。3分の2以上を出席し、発表・課題提出等演習を主軸とする授業に、積極的に参加すること。

成績評価の方法 平常の個人の努力と成長を重視しつつ、前後期の試験の結果を加えて、総合的に評価をする。

教科書 未定。開講時に指示する

履修コード	234401
科目名	英語IA
担当者名	清水 雅夫

講義のねらい 文法、語法の知識の復習、発展。センテンスの英作から短いパラグラフの英作へと進む。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は各課に文法項目の説明がある。文法、語法についてはプリントも使う。練習問題は正誤問題と英作文。全12課（前期6課、後期6課）を全部やる。授業2回で1課進む。

履修上の留意点 予習は単語調べ、練習問題など。各課ごとに短いパラグラフの英作の宿題を出す。

成績評価の方法 試験（授業内、2回）40%、宿題（パラグラフ英作）40%、出席20%、平常点（予習、授業態度など）±20%。

教科書 Improving Your Writing, 『表現力をつける英作文』（南雲堂）1600円+税

履修コード	234501・236201
科目名	英語IA
担当者名	太田 雅子

講義のねらい 多くの英語を聞いて、その中から適切な表現を利用・応用して、英語による自己表現を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール テキスト・テープ・ビデオ等を用いて、目・耳・口を多に使って英語を身につけていく。

履修上の留意点 原則、1回の授業でテキストの1章進む。

成績評価の方法 全授業の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他詳細については、第1回目の授業で説明するので必ず出席のこと。

教科書 毎回の出席点、小テスト。
前・後期各最後に総合テスト。
未定

履修コード	234601
科目名	英語IA
担当者名	市川 仁

講義のねらい 和文英訳の問題を数多くこなすことでさまざまな英語表現を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール 口頭発表と板書をもとに、説明をしながら授業を進めていきます。

履修上の留意点 テキストの各章について基本的にはそれぞれ2回の授業でまとめていきます。

成績評価の方法 予習を前提とします。

教科書 授業中の発表と試験結果を総合して判断します。ただし、原則として授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。
岸野英治『コミュニケーションのための英文法・英作文』（英宝社）1,900円

履修コード	234701
科目名	英語IA
担当者名	井出 功一

講義のねらい 『コミュニケーションのための大学英語入門』というテキストで、「読み、書き、聞く、話す」の四技能のすべてのコミュニケーション能力を高めることを目標として作成されています。

講義の内容・授業スケジュール 自己紹介をしてみよう「2回」、合衆国に残る人種差別「2回」、知らない人と視線を合わせない「2回」、合衆国の歴史を学んでおけば、アメリカ人に感銘を与えるよ「2回」、rice「米」とlice「しらみ」対、鮎(ame)と雨(ame)「2回」、レストランでチップを出さないときはどんな場合「2回」、Kleenex とは、商標から生まれた商品名「2回」、アメリカの学生の服装は? 「2回」、辞書と仲良くすることも、英語上達の近道だ「2回」、食卓にふさわしくない話題とは「2回」、合衆国は広いなあ、いろんな文化圏がある「2回」、セーターをはめるとき、使う表現は「2回」、アメリカ人は時間に几帳面ですか「2回」、合衆国での喫煙、今と昔でどう変わったの? 「2回」、持ちものの自慢は合衆国でも嫌われる「2回」

成績評価の方法 前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価

教科書 Welcome to College English

その他 『コミュニケーションのための大学英語入門』南雲堂
全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。

外国語

履修コード	234801・235701
科目名	英語IA
担当者名	吉川 直澄

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力を向上させる。

講義の内容・授業スケジュール 2本の映画をテキストとプリントを使用して、日常表現を学習する教材にする。前期15回でテキストの7課まで学習し、前期試験を行ない、後期15回で12課(最終章)まで学習し、後期試験を行なう。

履修上の留意点 語学は復習が大事であるので、その事を明記しておく。英語は演習科目に相当する、出席は原則として3分の2以上必要であり、授業内課題を重視する。

成績評価の方法 出席、課題、前期後期試験を総合的に検討して評価する。

教科書 北山長貴、『イン・アメリカ』、英宝社、1,995円、ISBN4-269-44002-3。

参考書等 Elizabeth Bronfen, Home in Hollywood: Film and Culture, Columbia University Press, 2004. (ただし、購入の必要はない。)

履修コード	235101
科目名	英語IA
担当者名	尾形 重政

講義の内容・授業スケジュール 入学時の英語を基にして、英語の運用能力を目指します。まず、基本文型を復習しながら、日常会話表現からダイアログ(多様な会話表現の理解と運用能力)を目指します。

履修上の留意点 予習して授業に臨むこと。英和辞典を持参すること。

成績評価の方法 全授業回数の3分の2以上出席すること。小テストやレポート等課題及び授業への積極的参加を重視します。年2回のテスト。以上を鑑み評価を出します。

教科書 『文型から学ぶ』(朝日出版社)

履修コード	235301
科目名	英語IA
担当者名	岩屋 玉江

講義のねらい 入学時の英語の基礎知識を確認しながら英語の運用能力の向上を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 身近な事柄や社会問題を扱ったテキストを中心に進めていきます。(1)ガイダンス (2~14)主語の選択、名詞、代名詞、動詞など、(16~29)態、不定詞、接続詞、仮定法など、(15と30)前期・後期試験

履修上の留意点 授業は発表形式でおこなうので予習をして臨んで下さい。辞書は毎回持参して下さい。

成績評価の方法 前期・後期試験、小テスト、出席状況(全授業回数の3分の2以上)、授業態度を総合して評価します

教科書 Writing Updates 金星堂 ¥1800. - ISBN78-4-7647-3859-1

履修コード	235401
科目名	英語IA
担当者名	熊沢 和明

講義のねらい 口語英語の基礎的な運用能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 平易な口語英作文の教科書を使い、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワーク、書き取り、聞き取り作業を中心にした実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点 英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。

教科書 『Enjoy Expressing Yourself』(金星堂)

その他 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

履修コード	235501
科目名	英語IA
担当者名	相馬 美明

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策にも対応すべく、TOEFLのリスニング・セクションの問題などにも触れ、聴解力を高めてゆく。

講義の内容・授業スケジュール 前期一・教科書 Lesson1～6
・リスニング Exercise1～11
後期一・教科書 Lesson7～9,13・14
・リスニング Exercise12～20
・プリント文法問題 P.1～8

成績評価の方法 出席については、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う定期試験、および授業で課すレポート、また授業態度などを総合的に評価する。

教科書
・ Hiroko Nishida, William Gudykunst 『American Communication Patterns』金星堂
・ Masahiro Oikawa, Elizabeth Johnson, Peter Gobel 『10-Minute TOEFL Listening Exercises』桐原書店

履修コード	235601
科目名	英語IA
担当者名	真砂 久晃

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1) 初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。(2)～(14) Unit 1 から順番に授業を行う。授業の進捗は限定しない。(15) 前期試験 (16)～(29) 前期に引き続き、授業を行う。(30) 後期試験

履修上の留意点 出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法 成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20～30%) + テスト(70～80%)となる。

教科書 大矢復 『Matrix』金星堂 1,900円(税別) ISBN4-7647-3784-1 C1082

履修コード	235611
科目名	英語IA
担当者名	朝川 真紀

講義のねらい 文法・語法を再確認しながら、様々な種類の文を構築し、発信型のコミュニケーション能力を身につけていきます。

講義の内容・授業スケジュール 練習問題を解きながら基礎的な文法事項を確認し、前期は(1)オリエンテーション(2~14)不定詞・動名詞・分詞・接続詞・時制・態・仮定法・動詞・助動詞(15)前期試験、後期は(16~29)形容詞・副詞・比較・名詞・冠詞・代名詞・関係詞・前置詞に即した英語表現、またTOEIC形式のリスニング練習を行います。(30)後期試験

履修上の留意点 毎回予習をして下さい。辞書を必ず持ってきて下さい。

成績評価の方法 小テスト、平常点、前期後期試験によって総合的に評価します。

教科書 小池直己『TOEIC(R)テスト・サプリメント文法・語法』(南雲堂)700円 ISBN978-4-523-17551-3
塩見佳代子『TOEIC(R)テストリスニングとキャリア体験』(成美堂)900円 ISBN978-4-7919-1086-1

履修コード	235621
科目名	英語IA
担当者名	水崎 野里子

講義のねらい 簡単な文法事項を復習しながら、日常会話に応用できる口語英作文を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 通年授業である。毎回、テキスト一課を建前とする。余裕があれば、応用の自由英会話を課す。

履修上の留意点 授業の出席率に留意して欲しい。また積極的に授業に参加すること。今年度はできるだけ、英語を口で話すことに留意したい。

成績評価の方法 前期後期の二度の試験に平常点を加算する。授業の参加度を加味したい。

教科書 スヌービーと覚える日常表現(朝日出版社)

参考書等 とくになし

その他 質問は授業の終わりに受け付ける。積極的に質問すること。また、授業中に質問してもよい。歓迎する。

履修コード	235801
科目名	英語IA
担当者名	高見 陽子

講義のねらい 文法・構文の基礎を確認しながらライティングの力を伸ばし、それらの知識を英語でのコミュニケーションに活かす力を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 英語表現における考え方や文の構造について、読むこと・書くこと両面から理解を深め、簡単なプレゼンテーションで実践することを課題とします。(1~3)基本表現について(4~9)テキストを用いた練習(10~11)プレゼンテーション(12~15)フィードバックとまとめ

履修上の留意点 毎回、辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法 前・後期末の試験の結果とプレゼンテーションの評価をベースとして、小テストや授業への参加姿勢などの平常点を考慮し、総合的に評価します。全授業回数の3分の2以上の出席を基本要件とします。

教科書 未定

履修コード	235901
科目名	英語IA
担当者名	塚本 利男

講義のねらい 英語の運用能力を身につける。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、身近な事柄、社会問題などについて自分の意見が書けるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール パラグラフを創るのに必要な基本的知識や具体例を学ぶ。書式と句読点(2~3)、1~3章ではパラグラフの構造(4~8)を理解する。4~11章ではさまざまな型のパラグラフ、例えば、時間の順序、過程・手順と指示、因果関係など(9~16)、例示、定義、分類、比較・対照など(17~25)を学ぶ。12章では総合的な復習(26~27)、13章では小論文の作成(28~29)。1回目には授業の説明。15回目には前期試験、30回目には後期試験を実施します。授業の総仕上げとして毎回授業の最後に(約30分)小論文を書き提出してもらいます。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、毎回提出する小論文、前・後期の試験に基づく。

教科書 神保尚武・Kate Elwood・森田彰・渡辺洋一・山田茂他『効果的なパラグラフの書き方』(株)南雲堂
2100円(CD付き)
ISBN978-4-523-17593-3 C0082

履修コード	236001
科目名	英語IA
担当者名	永野 光一

講義のねらい 英語による意志伝達(ライティングとスピーキング)の基礎的な力を養成。

講義の内容・授業スケジュール Q&Aやペア/グループ・ワーク、ロール・プレイなどの聞く・話す活動や、センテンスやパラグラフを書く活動などを行う。(1-3) Welcome to college (4&5) English in elementary schools (5&6) Internet (7&8) Gambling (9&10) Coeducation (11&12) Our environment at risk (13&14) Double-income Households (15&16) Plastic Surgery (17&18) Modern Life vs. the 'Good Old Days' (19&20) Looks vs. Personality (21&22) Declining birthrate (23&24) Japanese seniority system (25&26) 'Graying' of Japan (27&28) Immigrants in Japan (29&30) World of work

履修上の留意点 授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。

成績評価の方法 出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。小テストとライティングや発表などの課題の成績を入れて総合的に評価。

教科書 Kamiya, Masahito & Gould, Timothy (2007), "On Topic: An Integrated Approach to Better Communication," (金星堂) 1950円 ISBN978-4-7647-3832-4 C1082

履修コード	236101
科目名	英語IA
担当者名	落合 真裕

講義のねらい 基本的な会話練習を通して口語表現に慣れ、英語運用能力を高めていくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 日常生活で遭遇する様々な場面におけるダイアログを通して口語的な表現を学び、練習問題でそれらの表現に慣れ、ペア、またはグループでスピーキングの練習もしてもらいます。

(1) オリエンテーション
(2~15) Unit1 : Getting to Know Someone
~ Unit10 : Expressing Opinions
(16~30) Unit 11 : Going Shopping
~ Unit20 : In the News

履修上の留意点 毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)

成績評価の方法 前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況などに基づき総合的に評価します。

教科書 Lively Writing - English Composition Through Dialogue - (南雲堂) 1,800+税 ISBN4-523-17388-5

履修コード	236301
科目名	英語IA
担当者名	渡部 孝治

講義のねらい 英語の基礎力を基にして、英語運用能力の向上を旨とする。
 講義の内容・ リーディングは(直読直解)、リスニングは(速聴速解)、いわゆる同時通訳方式の方法で行なう。
 授業スケジュール 同時に英語表現にも力を入れたい。
 前期(15回程度) 前半(7回)は基礎的な文章表現を利用して行なう。後半は前半を基にして、
 応用表現を学ぶ。
 後期(15回程度) 前半(7回)は、前期の文章表現よりもやや難解な文章を使用して授業を進
 める。後半(7回)は、前半の学習を基にして、応用表現を学ぶ。
 履修上の留意点 授業中でできるだけ多くの人を当てていきます。予習は予じめ全員がやってくること。
 成績評価の方法 3分の2以上の出席と前期・後期の2回のテストの成績、授業の参加度合で成績を評価します。
 教科書 最初の授業時に指示します。
 参考書等 授業時に指示します。

履修コード	236401
科目名	英語IA
担当者名	甲斐 捷子

講義のねらい サンフランシスコを舞台に展開される、Keiko さんの旅と大学生活を通して、臨場感あふれる生き
 た英語を楽しく学びます。様々な職種の人々へのインタビューは圧巻で、英語の使い方だけではなく、
 講義の内容・ 旅行編10課を前期に、留学編10課を後期に学びます。インタビュー部分のスク립トは、ハンドア
 授業スケジュール ウトで配布します。
 履修上の留意点 小テストがありますから、まず、授業を休まないことです。
 成績評価の方法 平常評価としての出席10%、小テスト30%、中間/定期試験各30%を、一応の目安とします。
 教科書 Viva! San Francisco Hiroto Ohyagi/Timothy Kiggel 著 Macmillan Language
 House ¥2,100 ISBN:978-4-89585-275-3
 参考書等 特になし。
 その他 特になし。

履修コード	240221
科目名	英語IA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	岸本 茂和

講義のねらい Back-to-Basics! ―基本に帰ること―をこのクラスの最大の標語としたい。英語学習の Basics で
 ある「5文型」の徹底的理解をめざす。
 講義の内容・ (1)『英語が好きになる英文法』を基本的に1時限1章(全15章)学習することを目標とする。計15
 授業スケジュール 週。(2)《遊び時間》として前期と後期にそれぞれ「英語固有名詞」および「英語慣用句」について
 学習する。2週。プリントを配布。(3)前期・後期試験が各1週で2週。(4) If You Lived 100 Yeras
 Ago. を指示する部分をそのつど読む。10週。合計年間29週。
 履修上の留意点 予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかならず携行の
 こと。電子辞書も可。電子辞書をあらたに購入する用意のある受講生は「英和大辞典」が入っている
 ものをえらぶこと。
 成績評価の方法 前期・後期試験の結果および出席状況等をかながみ評価する。
 教科書 (1)『英語が好きになる英文法』 英宝社 定価 1,000円(本体)
 (2) Ann McGovern.-If You Lived 100 Years Ago. (Scholastic, USA)ISBN:9780590960014
 (pcb) 定価 831円(平成20年12月現在)

履修コード	240231
科目名	英語IA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

Writing and Speaking を主眼とするが、読解力も平行して見直していきたい。
下記に示したテキストを用意すること。テキストは日米両国の懸け橋になった以下のような人物をとりあげている。これらの人物の業績を読み、まず知識を深めてほしい。内容を確認したところで、設問に答えることになる。設問はリスニングの形式もある。また、作文、つまり英語での表現力をも試すようになっている。

1. Douglas MacArthur
2. Edwin O. Reischauer
3. William Smith Clark
4. Matthew Calbraith Perry
5. Elvis Presley
6. Yukichi Fukuzawa
7. Donald Keene
8. Hayao Miyazaki
9. Momofuku Ando
10. Umeko Tsuda
11. Steve Jobs
12. Haruki Murakami
13. Soichiro Honda
14. Clarence Saunders
15. The McDonald Brothers and Ray Kroc
16. Shigeru Yoshida
17. John Manjiro
18. Hideo Nomo
19. Kyu Sakamoto
20. William Adams (Miura Anjin)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

予習してくることは必須。その前提で進める。語学力の養成はこれにつきる。
前期・後期の試験。発表あるいはプレゼンテーションの力。出席・遅刻状況。その他の受講態度。
Across the Pacific Ocean 『日米の懸け橋になった人々』, 成美堂出版

履修コード	240801・241601
科目名	英語IB
担当者名	勅使河原 三保子 <small>てしがわら みほこ</small>

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

英文の段落構造について学び、その知識を生かしていろいろなテーマの読み物を精読します。段落構造に関する知識を持ち、それを応用して効果的に文章が読めるようになることを目指します。
前期：教科書を用いて、段落構造について学び、その知識を応用して、効果的に文章を読む練習をします。後期はリスニングの練習も取り入れます。また、小グループに分かれて前期の精読で扱ったテーマを中心にテーマを決め、そのテーマについて英語でまとめたポスターを作製し、発表してもらいます。

成績評価の方法
教科書

定期試験、ポスター発表、平常点
卯城祐司／中川知佳子／Mari Le Pavoux 著、『Reader's Ark Basic-Setting Out on a Voyage 英語リーディングの冒険：基礎編』（金星堂）1995円、ISBN:978-4-7647-3884-3

履修コード	240901・241801・242301
科目名	英語IB
担当者名	国見 晃子

講義のねらい 洋楽、海外ドラマ、映画、演説などの題材を分析することで、英語の語法や文法などの知識を強化すると同時に、時代背景や歴史を学んでいきます。小テストで、語彙やいまわしの知識を増やしていきます。

講義の内容・授業スケジュール 前半：小テストを毎授業行います。
後半：洋楽、海外ドラマ、映画、演説などから、まずプリントで英語や時代背景を学び、後でDVDやPC上の動画で音声と映像を鑑賞し、知識が身についたかを確認します。

履修上の留意点 小テストと授業参加度が成績評価の主な対象となりますので、授業は休まないようにして下さい。年間授業回数の3分の1（8回）休んだ時点で、評価は不可となります。

成績評価の方法 毎回行う小テストの結果、授業参加度、出席状況により、総合的に評価します。

教科書 ・小テスト用のテキストは、第一回目の授業で皆さんと話し合ってから決めます。
・後半行う題材の英語は、プリントを使用します。

履修コード	241001・241401
科目名	英語IB
担当者名	高橋 明子

講義のねらい イギリスの作家A・A・ミルンによって書かれ、世界中で長く愛読されてきた『クマのプーさん』の原文を読みます。

講義の内容・授業スケジュール テキストの各 Unit を二回の授業を目安にして読み進めます。前期に Unit8 まで、後期に Unit16 までを読み、基本的な文法事項の復習や毎回の授業でリスニングの練習も併せて行ないます。

成績評価の方法 平常点（出席状況や発表など）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書 『Basic English with Winnie-the-Pooh プーさんと学ぶ初級総合英語』（南雲堂フェニックス）1,700円＋税、ISBN4-88896-341-X

履修コード	241101
科目名	英語IB
担当者名	樋渡 俊光

講義のねらい 入学時の英語力を基礎として、より高度な構文の理解と習得をはかり、参考文献として日本文学の翻訳本等にふれ、専門的興味をもたせる。

講義の内容・授業スケジュール 上記目標達成の為、大学生として色々な社会的一般教養を英文を通して学習する為に、興味ある内容とする。
世界の教育（1～6）社会学（7-12）健康・医学・医療（13-18）環境・資源（19-24）
経済（25-30）

履修上の留意点 日頃から世界の情報に注意を払い、教材の予習をはかる。

成績評価の方法 年2回の学期試験、予習の具合、出席状況にて評価します。

教科書 Shawn M. Clankie
VOA Special English
南雲堂 1785円（価格）
ISBN 978-4-523-17617-6 C0082

履修コード	241201
科目名	英語IB
担当者名	丸小 ^{まるこ} 哲雄 ^{てつお}

講義のねらい 題材は文学論に関する内容。文学の基本的要素と用語を習得しながら、速読の要領を捉えるように目指します。

講義の内容・授業スケジュール ウォーミングアップとしてリスニング・タイム（授業の始めに毎回10分間程度）とし、そしてリーディングとして文学論を扱いつつ、語彙を増やしパラグラフの構成の捉え方に留意し、コメントの仕方を養成していきます。

・授業スケジュール

第1回 Introduction
 第2回～第3回 Fiction, Fact, and Truth
 第4回 Fiction : Experience and Analysis
 第5回～第7回 The Spectrum of Fiction
 第8回～第10回 Fictional Modes and Patterns
 第11回～第12回 Plot
 第13回～第14回 Character
 第15回～第16回 Meaning
 第17回～第19回 Point of View : Perspective and Language
 第20回～第22回 Design : Juxtaposition and Repetition in the Structure of Fiction
 第23回～第24回 "Moonlight" by Guy de Maupassant
 第25回～第27回 "Clay" by James Joyce
 第28回～第30回 "Theme of the Traitor and Hero" by J.L.Borges

履修上の留意点 質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。

成績評価の方法 出席率、平常テスト、レポート作成課題（開講時に指示）、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書 ・ Listening Time : Short Listening 成美堂 ISBN4-7919-4507-7
 ・ Reading Time : Elements of Fiction by R.Scholes 英宝社

参考書等 参考資料等を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

外国語

履修コード	241301・241701
科目名	英語IB
担当者名	尾形 ^{おがた} 重政 ^{しげまさ}

講義の内容・授業スケジュール 入学時の英語力を基に、より高度な構文理解を目指します。特に精読では段落・文章全体の把握に努めます。

履修上の留意点 予習して授業に臨むこと。英和辞典を持参すること。

成績評価の方法 全授業回数数の3分の2以上出席すること。小テストやレポート等課題及び授業への積極的参加を重視します。年2回のテスト。以上を鑑み評価を出します。

教科書 『世界事情拝見』（南雲堂）

履修コード	241501
科目名	英語IB
担当者名	増田 ^{ますだ} 恵子 ^{けいこ}

講義のねらい 「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。また英語の基礎も固めていく。

履修上の留意点 （第1回～第15回）文のしくみ（第16回～第30回）構文とその特徴

成績評価の方法 3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。

教科書 出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

熊井信弘他著『Hit Parade Listening-Second Edition』（マクミランランゲージハウス）2,000円 ISBN N978-4-89585-455-9

履修コード	241901
科目名	英語I B
担当者名	高橋 明子

講義のねらい 世界の環境問題に関する英文を読み、ビデオ教材を観ながらリスニングの練習もします。
 講義の内容・ テキストの各 Unit を二回の授業を目安にして進めます。前期に Unit6 まで、後期に Unit12 まで
 授業スケジュール を学びます。毎回の授業でビデオ鑑賞やプリント教材によるリスニング練習を取り入れます。
 成績評価の方法 平常点（出席状況や発表など）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。
 教科書 『Eco Earth and the Environment』（朝日出版社）1,800円＋税
 ISBN978-4-255-15451-0

履修コード	242001
科目名	英語I B
担当者名	丸小 哲雄

講義のねらい 題材は日本文化論。読みと表現の総合英語。言語と社会現象の捉え方とその分析力に力点を置き、
 語彙を増やし、英語のヴァリエーションやパラグラフの捉え方に留意し、速読の要領も捉えるよう
 に目指します。

講義の内容・
 授業スケジュール

ウォーミングアップとしてリスニング・タイム（授業の始めに毎回10分間程度）とし、そしてリー
 ディングとして日本文化論を抜つつ、語彙を増やしパラグラフの構成の捉え方に留意し、コメン
 トの仕方を養成していきます。

・授業スケジュール

- 第1回～第2回 Preface and Assimilation
- 第3回～第4回 The Wonder of Two Cultures
- 第5回～第6回 What is a Japanese
- 第7回～第8回 National Character
- 第9回～第10回 The True Internationalization of Japan
- 第11回～第12回 Japanese "Customs"
- 第13回～第14回 On Trying to become a Japanese
- 第15回～第16回 Conforming to the Japanese Way
- 第17回～第18回 The New Japanese Consciousness
- 第19回～第20回 Japanese Formality
- 第21回～第22回 The Quiet Revolution
- 第23回～第24回 Japan is Changing
- 第25回～第26回 The Ageing Society
- 第27回～第28回 A Japan That Includes Everyone
- 第29回～第30回 Japan as a Multiethnic Nation

履修上の留意点
 成績評価の方法

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。
 出席率、平常テスト、レポート作成課題（開講時に指示）、前期・後期の試験などの総合評価。クラ
 スでの発表者には別途評価します。

教科書

- ・ Listening Time : TOEIC Test Fundamentals 南雲堂 ISBN978-4-523-17533-9
- ・ Reading Time : Delighting in Culture 金星堂 ISBN978-4-7647-3885-0

参考書等

参考資料等を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

履修コード	242101
科目名	英語I B
担当者名	尾形 重政

講義の内容・ 履修上の留意点
 授業スケジュール IBを基礎として、あらたに多くの量を読めるように、大意の把握を心がけ、読む速度を上げていき
 ます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

履修上の留意点
 成績評価の方法

予習して授業に臨むこと。英和辞典を持参すること。
 全授業回数の3分の2以上出席すること。小テストやレポート等課題及び授業への積極的参加を重視
 します。年2回のテスト。以上を鑑み評価を出します。

教科書

『世界事情拝見』（南雲堂）

外国語

履修コード	242201
科目名	英語IB
担当者名	樋渡 俊光

講義のねらい 国際人としての英語力を身につける為に、高度な英語の構文の理解と習得をはかり、参考文献として英文で書かれた日本史にふれて専門的興味をもたせる。

講義の内容・授業スケジュール 色々な社会的分野に関して英文を通して興味ある内容とする。
水の問題・他（1～6）健康問題・他（7-12）学生生活・他（13-18）Levi 物語・他（19-24）女性の社会的地位・他（25-30）
又日本史に関する英文資料の利用

履修上の留意点 日頃から新聞、テレビ等を通して世界の情報に興味をもち、教材の予習をはかる。

成績評価の方法 年2回の学期試験、予習の具合、出席状況にて評価。

教科書 Robert Hickling
Get Reading!
金星堂 1950円
ISBN 978-4-7647-3877-5

外国語

履修コード	242311・242501
科目名	英語IB
担当者名	高橋 佳江

講義のねらい 語彙数を増やして、日常や旅行の際に使える表現を学び、最終的には辞書を余り引かなくても、案内、表示など速やかに読み取れるよう、学習していく。

講義の内容・授業スケジュール 授業：聞き取り、ディクテーション、読解、作文の分野をバランス良く学んでいく。最低限の予習と十分な復習が必要になる。辞書は必携。
授業1回目はガイダンス、2回目以降、1回につき約1課ずつ進んでいく。前期、後期とも、授業最終時に試験を行う。

履修上の留意点 教科書、ノート、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法 試験：授業時試験。1/3以上欠席の場合は受験を認めない。欠席は、前期後期合わせて概ね7回まで。遅刻3回につき欠席1回とする。なお、部活、病欠、忌引、電車等の遅延の場合は届けを出すこと。試験の点数が前期後期の試験の得点の平均が60点以上の者を合格とする。出席点はないが、授業時の発言点を成績に加味する。

教科書 初回授業時に指示

履修コード	242321・242601・242901
科目名	英語IB
担当者名	本間 章郎

講義のねらい 高校までの文法、構文の知識を再確認しながら、語彙を増やし、英語の文章の内容を的確に把握できるようになる力を育成することがこの講義の目標です。ほぼ毎回、小テストをおこないつつながら、リスニングなどの英語の力の向上も目指していきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール ガイダンス（1回目）。基本的にテキストに則って授業を進めていきます。授業の進度は1回、あるいは1.5回で1章を終える予定です（2～14回、15～29回目）。テスト（15回、30回目）。

履修上の留意点 語学の授業ですので、成績評価の対象になるには、最低限の出席回数が必要です。欠席が多いと、成績評価の対象にはならないので注意してください。

成績評価の方法 前期と後期の学期末にテストをおこなう予定です。このテストの成績に小テストの成績評価を加えて、総合的に授業全体の成績を算出します。

教科書 Christofer Bullsmith 他『Eco-Innovation and Prosperity』南雲堂 ISBN 978-4-523-17598-8

履修コード	242401・242801・243101
科目名	英語IB
担当者名	依田 ^{よだ} 里花

講義のねらい	この授業は、リーディングとリスニングの両方の力をつけることが目的です。 リーディングは精読が中心で、構文、文法、表現などに注意を払いながら、じっくりと理解することに時間をかけます。リスニングでは、音から意味がとれるように、また、音が既習の表現とつながるように様々な練習を行っていきます。 毎回、課題があります。しっかり準備をして出席してください。
講義の内容・授業スケジュール	授業の初回に説明します。
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、必ず、英和の辞書を持参すること。(電子辞書可) ・原則として、全授業数の三分の一以上を欠席すると単位は取得できません。 ・遅刻3回で1回の欠席になります。
成績評価の方法	授業内の姿勢を重視し、定期試験、小テスト、課題、授業中の発表等から総合的に評価します。
教科書	『Horrible Histories ENGLAND』(南雲堂) 2100円
参考書等	適宜、授業で紹介いたします。

履修コード	242701
科目名	英語IB
担当者名	増田 ^{ますだ} 恵子

講義のねらい	「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。また英語の基礎も固めていく。 (第1回～第15回) 文のしくみ (第16回～第30回) 構文とその特徴
履修上の留意点	3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。
教科書	大島真他著『Welcome to College English』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17462-8

履修コード	243001
科目名	英語IB
担当者名	増田 ^{ますだ} 恵子

講義のねらい	「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。また英語の基礎も固めていく。 (第1回～第15回) 文のしくみ (第16回～第30回) 構文とその特徴
履修上の留意点	3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。
教科書	宍戸真他著『Reading Expert 1』(成美堂) 1,800円 ISBN978-4-7919-1084-7

履修コード	246911
科目名	英語IB〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	勅使河原 ^{てしがわら} 三保子

講義のねらい	中学英語に立ち返って、英語の基礎固めをします。文法事項を復習しながら、平易な読み物が読め、平易な会話の応答ができる力を養います。
講義の内容・授業スケジュール	1回おきに1課ずつ読み物中心の教科書を進めます。教科書が進まない回は発音、聞き取りの練習を中心に行います。スポーツ関連の語彙や読み物も少し扱います。
履修上の留意点	毎回、前回の内容(文法事項・聞き取り)に関する復習小テストを行います。小テストの点数は成績に反映されるので、毎回授業が終わったら必ず復習するようにしてください。
成績評価の方法	小テスト(40%)、平常点・出席(30%)、前後期最後の授業時間帯に行われる試験(30%)
教科書	英語教育研究会著『トップアスリートと学ぶ基礎英語/English Learning with Athletics』(開文社) 1890円 ISBN978-4-87571-737-9

履修コード	248701
科目名	英語IIA
担当者名	佐々木 隆

講義のねらい 英語IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につけることを到達目標とする。
 講義の内容・授業スケジュール (1)～(30) 英文の速読を中心にした講読および速読。年間3回の大きな試験を実施予定。
 履修上の留意点 辞書は必携。予習は必須。
 成績評価の方法 試験の結果及び日常の活動、出席は重視する。最初の講義時に詳細を告知。
 教科書 プリントを配布する。内容は日本と欧米文化の比較のものと語彙増強問題。

履修コード	248801
科目名	英語IIA
担当者名	加藤 佐和子

講義のねらい 英語IAを基礎として、より高度な英語の運用能力をつける。現代社会が抱えるニュースを読み、同時にそれらの社会問題を議論し、英語の伝達能力をつける。
 講義の内容・授業スケジュール テキストに、アメリカのABC放送のテレビニュース番組から録画、編集した「ABC World News」を使用する。各トピックの内容を把握した後、各自の意見を話す、書くの手段で伝達するスキルを身につける。
 履修上の留意点 必ず予習復習をすること。また、英作文の提出はタイピングしてもらうので、タッチタイピングを身につけておくこと。
 成績評価の方法 授業参加度 50%
 提出物 25%
 学期末テスト25%
 教科書 ABC World News 11 金星堂

履修コード	248901
科目名	英語IIA
担当者名	高見 陽子

講義のねらい 文法・構文に関する知識をひろげながら、それらを英語でのコミュニケーションに活かす能力を伸ばすことを目標とします。
 講義の内容・授業スケジュール 自分の意見を述べ、議論するうえで必要な英語表現や話の展開の仕方などに慣れ、簡単なグループ・ディスカッションやプレゼンテーションを通して実践することを課題とします。(1～3) 基本表現について(4～9) テキストを用いた練習(10～11) プレゼンテーション(12～15) フィードバックとまとめ
 履修上の留意点 毎回、辞書を必ず持参してください。
 成績評価の方法 前・後期末の試験の結果とプレゼンテーションの評価をベースとして、小テストや授業への参加姿勢などの平常点を考慮し、総合的に評価します。全授業回数の3分の2以上の出席を基本要件とします。
 教科書 未定

履修コード	248911
科目名	英語IIA
担当者名	古富 猛

講義のねらい 今まで、学習した力を利用して、さらに、会話への道をめざす。
 講義の内容・授業スケジュール 物語を、読むことにより、文型を暗記して、応用できることを、めざす。
 履修上の留意点 各自、教科書を予習してくること。
 成績評価の方法 前期・後期の試験と平常点で、判断する。
 教科書 未定。

履修コード	249001
科目名	英語IIA
担当者名	古富 猛

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

アメリカ、イギリス、アイルランドの国民性と文化を理解する手がかりをつかむ。
初歩的な段階の知識（文法事項など）に欠けている学生も増えているので、(1)～(4)までは高校の学習事項の復習をする。その後各時間ごとに学生に予習発表をしてもらう。日本人にはストーリー性のあるものを読み、そこから活用できる文章のパターンプラクティスに努めるのが最善の方法だと考えている。そしてさらに語力を深めてもらう点に、重点をおいている。だから(5)～(30)までは1時間に3人程の学生によるトレーニングとなる。

履修上の留意点
成績評価の方法

語学は繰り返しの反復練習なので、日々音楽や映画などでもヒヤリングに努めてもらいたい。
前・後期筆記試験を実施し、予習発表におけるトレーニングの程度によって、平常点をつけます。よってペーパーテストのみが評価の基準ではないので、毎時間質問に答える準備をしておくこと。

教科書

前期はプリント使用。
後期は『アイルランド民話選』松柏社

履修コード	249101
科目名	英語IIA
担当者名	大瀨 利春

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

英語IAの内容を発展させ、さらなる英作文能力の向上を目指す。
具体的には以下のペースでテキストを読み進めていく。Unit1(1～3)、Unit2(4～5)、Unit3(6～7)、Unit4(8～9)、Unit5(10～11)、Unit6(12～13)、Unit7(14～15)、Unit8(16～17)、Unit9(18～19)、Unit10(20～21)、Unit11(22～23)、Unit12(24～25)、Unit13(26～27)、Unit14(28～30)

履修上の留意点
成績評価の方法

予習をしてくること。辞書をもってくること。
前後期試験50%、平常点(出席率、授業参加度等)50%で評価する。

教科書

Haruo Kizuka『Writing English Through Current Topics』金星堂1400円 ISBN4-7647-0548-6

履修コード	249201・250101
科目名	英語IIA
担当者名	狩野 晃一

講義のねらい

イギリスの人気作家 Terry Deary によるイングランド裏面史を通して、口語表現やディクティションのスキルを養う。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はイントロダクションに続き、1課から10課まで、後期は11課から20課まで。

履修上の留意点

辞書を持参すること。電子辞書は可。携帯電話での辞書参照は不可。必ず予習復習のこと。積極的な授業への参加を期待する。

成績評価の方法

3分の2以上の出席が求められる。平常点と各期末に行われる試験で総合的に判断する。

教科書

Horrible Histories: England. 南雲堂

履修コード	249301
科目名	英語IIA
担当者名	近藤 真彰

講義のねらい

英語による意志伝達(speaking/writing)の訓練として、さまざまなテーマについてのディスカッション、また、複数のパラグラフからなるエッセイの作成を行ないます。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】第1週：ガイダンス 第2～13週：教科書にしたがってテーマを設定し、身近な事象について英語で論述できるようにします。第14,15週：復習

履修上の留意点

【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：教科書にしたがってテーマを設定し、それについての自分の意見や分析を英語で論理的に述べる練習を行ないます。第14,15週：復習

成績評価の方法

自分のもつ情報や意見を外に発信するには、的確に伝えるための筋道も大切です。いろんなテーマに興味をもって、積極的に自分の考えを言葉にして組み立ててください。

教科書

前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。

石谷由美子、Emma Andrews『Skills for Better Writing - 構造で書く英文エッセイ 改訂版』(南雲堂、ISBN: 9784523176046) 1995円

履修コード	249401
科目名	英語IIA
担当者名	<small>ゆきひろ たいそう</small> 行廣 泰三

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、基本的な文法を使って、英文を書いたり、話したりする技能習得を目指します。

- 1回目の授業では、フリテスト
 - 2・3回目では、一般動詞を使った表現演習
 - 4・5回目では、be 動詞を使った表現演習
 - 6回目では、小テスト
 - 7・8回目では、前置詞を使った表現演習
 - 9・10回目では、現在・過去進行形を使った表現演習
 - 11回目では、小テスト
 - 12・13回目では、完了型を使った表現演習
 - 14回目では、助動詞（1）を使った表現演習
 - 15回目では、助動詞（2）を使った表現演習と前期のまとめとテスト
 - 16回目では、前期の復習
 - 17・18回目では、句や節を使った表現演習
 - 19・20回目では、接続詞を使った表現演習
 - 21回目では、小テスト
 - 22・23回目では、形容詞と副詞を使った表現演習
 - 24・25回目では、準動詞を使った表現演習
 - 26回目では、小テスト
 - 27・28回目では、受動態を使った表現演習
 - 29回目では、関係代名詞を使った表現演習
 - 30回目では、後期のまとめとテスト
- 復習と予習をしっかりとして下さい。
小テスト55% 期末30% 出席15%
- 森田・北本・高橋 著書『発信型シンプル・イングリッシュ』(株)三修社 ¥1800円+税 ISBN978-4-384-33378-7C1082

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

外国語

履修コード	249501
科目名	英語IIA
担当者名	松堂 啓子

講義のねらい リスニングのエクササイズを通して、語彙、表現力の強化をはかる。要旨を把握するための練習も併せて行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 アメリカでリメイクされた日本映画
- 3 アメリカでリメイクされた日本映画
- 4 海外で翻訳される日本文学
- 5 海外で翻訳される日本文学
- 6 ヴァレンタイン・デー、日本と欧米での違い
- 7 ヴァレンタイン・デー、日本と欧米での違い
- 8 海外でも人気の日本産アニメ
- 9 海外でも人気の日本産アニメ
- 10 イギリスの国民的ヒーローとは？
- 11 イギリスの国民的ヒーローとは？
- 12 ポップス、クラシック、どっちが好き？
- 13 ポップス、クラシック、どっちが好き？
- 14 前期試験
- 15 モネとジャポニズム
- 16 モネとジャポニズム
- 17 アガサ・クリスティー失踪事件の真相
- 18 アガサ・クリスティー失踪事件の真相
- 19 写真撮影時のVサインは誰が始めた？
- 20 写真撮影時のVサインは誰が始めた？
- 21 1964年の英国の米国侵略って？
- 22 1964年の英国の米国侵略って？
- 23 「ロミオをジュリエット」は盗作？
- 24 後期試験

成績評価の方法
教科書

試験結果（8割） 平常点（2割）
Mikako Fujioka/Christopher Belton, Listening Strategies for the TOEIC TEST, センゲージラーニング、¥2100

外国語

履修コード	249601
科目名	英語IIA
担当者名	大淵 利春

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール

英語IAの内容をふまえ、さらなる英作文能力の向上を目指す。
具体的には以下のペースでテキストを読み進めていく。 Unit1 (1~3)、Unit2 (4~5)、Unit3 (6~7)、Unit4 (8~9)、Unit5 (10~11)、Unit6 (12~13)、Unit7 (14~15)、Unit8 (16~17)、Unit9 (18~19)、Unit10 (20~21)、Unit11 (22~23)、Unit12 (24~25)、Unit13 (26~27)、Unit14 (28~30)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

予習をしてくること。辞書をもってくること。
前後期試験50%、平常点（出席率、授業参加度等）50%で評価する。
Haruo Kizuka 『Writing English Through Current Topics』金星堂1400円 ISBN4-7647-0548-6

履修コード	249701
科目名	英語IIA
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい IAを基礎とし、より高度な英語 (Writing/Speaking) の運用能力を身につける。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1)小テスト、(2～6)Unit1-5、(7)確認テスト①、(8～12)Unit6-10、(13)確認テスト②、(14～18)Unit11-15、(19)確認テスト③、(20～24)Unit16-20、(25)確認テスト④、(26～30)文法のまとめと語彙力の強化。

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。
出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。

成績評価の方法 年2回の定期試験 (50%) と小テスト、提出物、発表などの平常点 (50%) から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書 『5分間ライティング』(南雲堂) 700円+税
『5分間TOEICテスト・サプリメント文法・語法』(南雲堂) 700円+税

外国語

履修コード	249901
科目名	英語IIA
担当者名	田中 靖子

講義のねらい 文法的に正しく、読み手に明確に伝わる言い方を選んで英文が書けることをねらいとしていきます。

講義の内容・授業スケジュール 前期 (1～14) 一文を正確にかくための文法事項の理解を確認する。疑問詞、時制、名詞、動名詞、分詞の攻略法 (15) 総括
後期 (1～14) 二つの文を適切に表す方法を学習する。 助動詞、関係詞、名詞節、仮定法の攻略法 (15) 総括

履修上の留意点 本授業は事前に課題を出しそれを基に授業を展開します。

成績評価の方法 前期、後期ともに3分の2以上の出席を必要とします。評価は、前期、後期テスト、課題の評価、授業への参加状況を総合して行います。

教科書 実用英作文の新技法
Power Tools College Writing(マクミラン ランゲージハウス) 1700円

履修コード	250001
科目名	英語IIA
担当者名	西村 祐子

講義のねらい 英語で聞く、読むを中心に訓練し、TOEICスコアでクラス平均が450以上となることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

1、コンピュータソフトの使い方		
Listening, Reading セクション	1	
2 "	2	
3 "	3	
4 "	4	
5 "	5	
6 "	6	
7 "	7	
8 "	8	
9 "	9	
10 "	10	
11 "	11	
12 "	12	
13 "	13	

後期

1、コンピュータソフトの使い方		
Listening, Reading セクション	1	
2 "	2	
3 "	3	
4 "	4	
5 "	5	
6 "	6	
7 "	7	
8 "	8	
9 "	9	
10 "	10	
11 "	11	
12 "	12	
13 "	13	

履修上の留意点
成績評価の方法

全員コンピュータIDを取得しておく。
出席、平常点 30%
小テスト、 30%
TOEIC模擬試験 40 %
定期試験はおこなわない。

教科書
参考書等
その他

教場にあるコンピュータソフト教材を使用。
教場で指示。
USBメモリー、簡易ヘッドセット（マイクつき）をそろえておくとう家庭学習に便利。

外国語

履修コード	250121
科目名	英語IIA
担当者名	三芳 康義

講義のねらい TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基本的な文法・語法の解説をしながら、そこに出てくる文法や語法を確認し、設問を解いてゆく。後期はさらにペースを上げながら、英語の読みも意識しながら、作文の運用能力の向上をはかる

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします

教科書

島本たい子著他、Essential Grammar for the TOEIC Test 1800円 ISBN9784777361632 マクミランランゲージハウス

履修コード	250201
科目名	英語IIA
担当者名	<small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

正確な英語表現力の基礎を身につけることを目標とします。
日本人が犯しやすい英語表現上の誤りを文法的、語彙的観点から分析し、単元毎に整理した教科書を、順を追って勉強します。この教科書は、各々の単元の最初にダイアログがあり、次いで誤りの事例と解説が載っており、その後英作文を含む練習問題がついています。学生諸君は事前に予習をしたダイアログと誤りの事例に関する解説をまず聞いた後、家で犯しやすい誤りに注意しながら練習問題をやり、教室で答え合わせをします。教科書に載っていない事例などもおりにふれて指摘します。前期に1-8課、後期にそれ以降を学習する予定。

履修上の留意点
成績評価の方法

練習問題はアットランダムに当てますので、全員しっかり予習してきてください。
成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。

教科書
参考書等

Haruo Kizuka Common Errors In English Writing マクミラン
学習者用の英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の) を購入し、利用してください。

外国語

履修コード	250301
科目名	英語IIA
担当者名	<small>かのう こういち</small> 狩野 晃一

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

日常生活に起こりがちな間違え易い表現を毎回のテーマに沿って学ぶ。
前期はイントロダクションに続き、Chapter 1 から2、後期は Chapter 3 から4まで進める。

成績評価の方法
教科書

辞書を持参すること。電子辞書は可。携帯電話での辞書参照は不可。必ず予習復習のこと。積極的な授業への参加を期待する。
3分の2以上の出席が求められる。平常点と各期末に行われる試験で総合的に判断する。
More Odds & Ends. 成美堂

履修コード	250401
科目名	英語IIA
担当者名	<small>おのえ のりこ</small> 尾上 典子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカの文化に決定的役割を演じた幾つかのビジネス活動を英語で学ぶ。
教科書・視聴覚教材・プリントを使用。

- 1) Coca-Cola: The Symbol of America 約5回
- 2) Disneyland and other theme parks 約5回
- 3) The Automobile Industry 約5回
- 4) McDonald's Global Strategy 約5回
- 5) Mail-order Shopping 約5回
- 6) ヴィデオ・DVD使用授業 約3回
- 7) テスト 2回

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

予習をしておくこと。授業中は静粛に。
受講態度・2/3以上の出席・テストの成績などにより、総合的に評価を行なう。
廣原真由子・Blake Baxter 共著 Big Business in America (成美堂)

履修コード	250501
科目名	英語IIA
担当者名	<small>こぶた たけし</small> 古富 猛

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

今まで、学習した、文型を使い、会話の力をつけること。
物語を、読むことにより、つかえる文型を、増やしてゆく。
予習をしてくることに、重きをおく。
前期、後期の試験と、予習の成績。
未定。

履修コード	250601
科目名	英語IIA
担当者名	堀 千和子

講義のねらい	自分の意見を英語で的確に書く技術を習得してもらいます。前期では、センテンス・レベルで、自分の伝えたいことを英語で書くことを、また、main idea, topic sentence, controlling idea, supporting sentences によって有機的に構成されるパラグラフを書くことを目標に、英作文の練習をしていきます。
講義の内容・授業スケジュール	後期には、5～6段落からなるエッセイを書くことを目標にして、その技術を学んでいきます。 ・文法事項を復習し、それを応用しながら英作文してもらいます。ライティングだけでなく、一般的な英語の力をつけてもらうために、リーディング、リスニングの練習問題、シャドーイングなども取り入れていく予定です。 ・毎時、授業中に勉強したことの理解度を見るために、簡単な提出物を出してもらいます。(平常点となる) 前期は、いつどのようなことを授業で扱ったかがわかる「出席シート」に記入をし、後期は、エッセイ・ライティングに備えて、文法の正確さを気にせず制限時間内に多くの英語を書くフリー・ライティングしてもらいます。 ・前期—終わりにレポートを提出。有機的に構成されるパラグラフを書くことが課題となる。 ・夏休み—パラグラフ・ライティング(夏休み明けに提出) ・後期—終わりにレポートを提出。有機的に構成され、自分の言いたいことが明確にわかる5～6段落からなるエッセイを書くことが課題となる。 (以上の提出物の題目、形式、提出期限は追って指示する)
履修上の留意点 成績評価の方法	・公的な欠席と認められるのは、忌引き、体育会の試合当日、教育実習などの実習である。 ・前期試験は7月最終の授業時、後期試験は12月最終の授業時に教場にて実施します。試験は、前期、後期と両方受験しなければ単位は取得できない。 ・前期試験(25%)、後期試験(30%)、前期提出物(10%)、夏休みレポート(5%)、後期提出物(20%)、発表や発言などの授業への貢献度、授業へのまじめな取り組み(10%)から総合的に判断します。 ・遅刻は3回で1回の欠席となります(授業開始30分以上たって来た場合は欠席扱いとなる)。 ・欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数(3分の1)以上の欠席で失格とします。欠席を補う提出物はないので、くれぐれも欠席をしないこと。
教科書	未定。追って指示をします。

外国語

履修コード	252201
科目名	英語IIB
担当者名	安齊 薫

講義のねらい	これまでに学んだ基礎を生かしながら、さらに多くの量を読めるようにする。同時に Listening 能力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	第1回 Introduction 2.3 Kabuki 4.5 Hideki Matsui 6.7 The Beauty of Taiwan 8.9 Plant-based Plastics 10.11 Diet and Well-being 12.13 Natto 14.15 Shoyu 16.17 Instant Ramen 18.19 Genetic Engineering 20.21 Carlos Ghosn 22.23 Blue LED 24.25 CSR 26.27 Piracy 28.29.30 Ubiquitous
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書	予習をしてくること。 出席状況(3分の2以上の出席が原則)、前後期試験、レポートで評価する。 『Dynamic Business and the Environment』(南雲堂) ¥1900 ISBN978-4-523-17532-2

履修コード	255301
科目名	英語II B
担当者名	伊藤 美代子

講義のねらい IBを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。また、リーディングだけでなく、スピーキング、リスニング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール 原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点 予習が絶対条件である。半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法 各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。

教科書 1. More News and Views from The Japan Times Weekly by Alan E. Jackson / Hiroko Uchida (マクミランランゲージハウス、¥1,600)
2. 「さらば、ジャパニーズイングリッシュ」伊藤美代子編著(北樹出版、¥1,500)

外国語

履修コード	255401
科目名	英語II B
担当者名	岩井 洋美

講義のねらい 日本語に一語一語訳したり考えながらではなく、できるだけ英語のまま大意を把握し自分の意見を述べるができるようにする。また語彙を増やす。

講義の内容・授業スケジュール 前期：内容予測、メインアイデアの理解、シグナルワードと指示語を理解、後期：パラグラフの構造、視覚情報の読み取り、要約

履修上の留意点 欠席遅刻の多い学生や授業参加を好まない学生は単位を取ることはできません。

成績評価の方法 出席授業態度 前期・後期試験 クラス内課題

教科書 卯城祐司他、Reader's Ark Basic 金星堂 1995円

履修コード	255411
科目名	英語II B
担当者名	江田 幸子

講義のねらい しっかりした文章で書かれた英文を正確に読み、大意や要点を素早く把握できるようになることが目標です。英文のかかれている流れに沿って、左から右に読みながら内容が把握出来るようになるための実力養成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 1. 上記の目標達成のためには、確かな基礎力が欠かせません。話題が多岐に渡り、高度な英文を正確に読めるようになるためには、多少難しい構文もきちんと理解できていなければ、内容の理解もおぼつかなくなります。この授業では、様々な構文を含み高度ではあるが、飽きの来ないように比較的短い英文を多量に読みます。読みこなせないところは、立ち止まり、基礎に立ち帰って見る必要があるでしょう。そのような個所では、解説、説明を加えて理解が行き届くようにします。
2. また、語彙の理解・修得も必要になってきますので、テキスト中の知らない語彙は、口頭で発音=音読して、スペルとともに覚えるようにします。予習の段階で、丁寧に、辞書を引いておくことが大切になります。
3. 仕上げとして、音声(テープ、CD)から、内容を理解出来るようになるための練習、「音読」を行います。スラッシュ・リーディングでシャドウイングをし、その後、natural speed で聞き、内容が理解出来るようにします。この練習は、ニュース等を聞くための基礎練習にもなります。この課題を効率よく達成するためには、英語の発音を無視することは出来ません。授業の開始時に、英語の発音指導をします。特に、日本語にない音で、我々日本人が発音し辛い音を中心にみていきます。
4. 詳細な授業の進め方に関しては、授業開始時に伝えます。

履修上の留意点 予習が必須です。授業が滞らないように、また授業の進行をスムーズにするためにも、予習段階でよく辞書を調べておくようにして下さい。

成績評価の方法 1. 素点評価：前期と後期に定期的に行う筆記試験、及び、クラス内で適宜行う小テスト、レポートなどの素点で、平均点60点以上、が及第点。
2. 平常授業点評価：筆記試験で60点以上が達成出来なくても、出席率優秀であったり、平常授業での評価基準が達成できていれば及第と見なします。平常授業評価基準の詳細に関しては、授業開始後、授業内で説明します。

教科書 テキスト：Let's Read Aloud!
出版社：NAN'UN-DO PHOENIX ¥1900

履修コード	255501
科目名	英語II B
担当者名	太田 <small>おかつ</small> 美智子 <small>みちこ</small>

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点	コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。 映画化された文学作品などの背景を読み解く。さらに、その映画を使い、リスニングもおこなう。 1章につき2回で進めてゆく予定であるが、それには予習が欠かせない。 必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持とう。積極的な授業参加を高く評価する。
成績評価の方法	平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。
教科書	J.E.Dougill・小寺理砂著 British Culture in Popular Movies 英潮社フェニックス 1500円 ISBN4-268-00368-1 C3082

外国語

履修コード	255601
科目名	英語II B
担当者名	落合 和昭 <small>おちあい かずあき</small>

講義のねらい このクラスの目標は現代口語英文を読めるようにすることである。口語英文を速く読めるようになるためには、リスニングの向上が欠かせない。リスニング力が向上するに連れて、口語英文の読むスピードが上がる。そのため、現代口語英文の読解とリスニングは、平行する形で、授業は進めていく。このクラスのレベルは英語の中級（英検二級、準一級）程度とし、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール 講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は慣用表現の英文を読む。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、二人以上の対話形式の場合もある）。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『ネイティブ』UNIT1、『フレッシュマン』第一課
- 第三回 『ネイティブ』UNIT2、『フレッシュマン』第二課
- 第四回 『ネイティブ』UNIT3、『フレッシュマン』第三課
- 第五回 『ネイティブ』UNIT4、『フレッシュマン』第四課
- 第六回 『ネイティブ』UNIT5、『フレッシュマン』第五課
- 第七回 『ネイティブ』UNIT6、『フレッシュマン』第六課
- 第八回 『ネイティブ』UNIT7、『フレッシュマン』第七課
- 第九回 『ネイティブ』UNIT8、『フレッシュマン』第八課
- 第十回 『ネイティブ』UNIT9、『フレッシュマン』第九課
- 第十一回 『ネイティブ』UNIT10、『フレッシュマン』第十課
- 第十二回 『ネイティブ』UNIT11、『フレッシュマン』第十一課
- 第十三回 『ネイティブ』UNIT12、『フレッシュマン』第十二課
- 第十四回 『ネイティブ』UNIT13、『フレッシュマン』第十三課
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『ネイティブ』UNIT14、『フレッシュマン』第十四課
- 第十七回 『ネイティブ』UNIT15、『フレッシュマン』第十五課
- 第十八回 『ネイティブ』UNIT16、『フレッシュマン』第十六課
- 第十九回 『ネイティブ』UNIT17、『フレッシュマン』第十七課
- 第二十回 『ネイティブ』UNIT18、『フレッシュマン』第十八課
- 第二十一回 『ネイティブ』UNIT19、『フレッシュマン』第十九課
- 第二十二回 『ネイティブ』UNIT20、『フレッシュマン』第二十課
- 第二十三回 プリントによる応用問題（1）
- 第二十四回 プリントによる応用問題（2）
- 第二十五回 プリントによる応用問題（3）
- 第二十六回 プリントによる応用問題（4）
- 第二十七回 プリントによる応用問題（5）
- 第二十八回 プリントによる応用問題（6）
- 第二十九回 プリントによる応用問題（7）
- 第三十回 後期試験

※上記の『ネイティブ』は『ネイティブ英語の慣用表現』、『フレッシュマン』は『フレッシュマン英作文』。なお、リスニング及び発音練習は毎回行う。

**履修上の留意点
成績評価の方法**

授業は、学生の予習を前提にして、徹底した演習形式を取ることで、学生の積極的な参加を求める。「前期試験」、20%、「後期試験」、20%、「授業中の評価（課題・授業中の発表・小テスト等を含む）」、60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『ネイティブ英語の慣用表現』 マクミラン 1,900円
ISBN4-89585-197-4 C3082
- 2) 『フレッシュマン英作文』 金星堂 1,288円
- 3) プリント

履修コード	255701
科目名	英語II B
担当者名	小布施 圭三 <small>お布施 けいぞう</small>

講義のねらい	この授業の目的は、英文和訳や訳読ではなく、読むためのスキルとして、語彙力、内容予測力、大意把握などを養うことで、英語による内容理解力を高めることにあります。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (授業を展開する上で) (2～3) Chapter 1.My English, Your English, Our English (4～10) [Style and Fashion]:Chapter 2.A Short History of the Miniskirt ～ Chapter 5.The English Gentleman-Does He Really Exist Anymore? (11) Pretest (12～14) [Making the Modern World]: Chapter 6.Thinking Machines-The Story of the Computer (15) 中間テスト (16～20) Chapter 7.I Get Around-Transport ～ Chapter 10.Titans of the English Language-William Shakespeare and Dr Johnson (21～23) [Food and Drink]:Chapter 11.The British and Their Food-Fish and Chips, Roast Beef and Curry ～ Chapter 13.The British Pub (24) Pretest (25～29) [Sports, Games & Entertainment]Chapter 14.Golf ～ Chapter 20.What English Can Do for You (30) 期末テスト
履修上の留意点	進度は各課90分で消化。授業は演習方式で行います。受け身の授業ではなく、ペア・ワークを多用し、授業の活性化を図ります。音声指導に当たっては、テープレコーダーを使用します。
成績評価の方法	出席 (30点) / レポーター・レポート・授業の貢献度 (20点) / 小テスト・中・期末テスト (50点) などを加味して総合評価します。
教科書	Anthony Sellick/John Barton/ 鳥村法夫: 『イギリスの底力』(Made in Britain) (成美堂) 1,800円 ISBN978-4-7919-1091-5 C1082

外国語

履修コード	255801
科目名	英語II B
担当者名	甲斐 捷子 <small>かい かつこ</small>

講義のねらい	ABC放送のアメリカ国内向けTVニュース番組をビデオで学び、英語の運用能力をさらに高めることがこの授業の目的です。ニュース現場の臨場感を楽しみながら、正確に聞き取り、読み、内容についても話せるように学びます。
講義の内容・授業スケジュール	授業のはじめに、教員がビデオを一時停止させながら、報道内容をそのまま日本語で話します。この段階でニュースの大意を把握し、さらに語句の解説を英語で行いながら内容を読み進み、同時に内容についても話せるように訓練します。テキスト全15課の内、6課を前期に、残り後半を後期に学びます。
履修上の留意点	小テストがありますから、まず、授業を休まないことです。
成績評価の方法	一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%とします。
教科書	ABC World News 11 Shigeru Yamane/Kathleen Yamane 著 金星堂 ¥2,300 ISBN:978-4-7647-3869-0

履修コード	255901
科目名	英語II B
担当者名	松堂 啓子

講義のねらい パラグラフの大意を把握しながら、文章全体の論理的構成を理解する。

- 講義の内容・
授業スケジュール
- 1 ガイダンス
 - 2 Ford Model T
 - 3 Coca-Cola Bottle
 - 4 Juicy Salif Lemon Squeezer
 - 5 Leica Camera
 - 6 Harley-Davidson Motorbike
 - 7 Le Corbusier Chairs
 - 8 Arco Floor Lamp
 - 9 Red/Blue Chair
 - 10 Chrysler Building
 - 11 Bird Kettle
 - 12 Mackintosh Ladderback Chair
 - 13 前期試験
 - 14 試験解説
 - 15 Chanel No.5
 - 16 Swatch Watch
 - 17 Guggenheim Museum Bilbao
 - 18 PH Lamp
 - 19 Casa Batllo
 - 20 Swiss Army Knife
 - 21 La Cornuta Coffee Machine
 - 22 McDonald's Fast Food Pack
 - 23 Apple iMac
 - 24 後期試験

履修上の留意点 単位取得には、三分の二以上の出席が必要である。

成績評価の方法 試験の結果（8割）、課題等（2割）。

教科書 Design Makes the World Go'Round トムソン・コーポレーション 1900円 ISBN978-4-902902-77-8

履修コード	256001
科目名	英語II B
担当者名	勅使河原 三保子

講義のねらい IBを基礎として、英文和訳から脱却し、さらにより効果的に英文が読めるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

前期は段落構造について復習をしながら様々なジャンルの比較的短い読み物を中心に精読を行います。後期は時事問題や日本をテーマにした読み物を中心に、長めの読み物を読み進めます。

定期試験、レポート、小テスト、平常点

卯城祐司／中川知佳子／Mari Le Pavoux著、『Reader's Ark 英語リーディングの冒険』金星堂1995年、ISBN：978-4-7647-3865-2

履修コード	256101
科目名	英語ⅡB
担当者名	高野 秀夫・川崎 笑佳

講義のねらい	一年時の読解能力を基礎として、speed reading の上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にはテキスト中心に行う予定であるが、学生の希望や必要に応じてTOEIC, TOEFLその他の教材を利用する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) プリント使用の授業 (2) Chapter 1 (3) Chapter 2 (4) Chapter 3 (5) Chapter 4 (6) Chapter 5 (7) プリント使用の授業 (8) Chapter 6 (9) Chapter 7 (10) Chapter 8 (11) Chapter 9 (12) Chapter 10 (13) ~ (14) プリント使用の授業 (15) 試験 (16) プリント使用の授業 (17) Chapter 11 (18) Chapter 12 (19) Chapter 13 (20) Chapter 14 (21) Chapter 15 (22) プリント使用の授業 (23) Chapter 16 (24) Chapter 17 (25) Chapter 18 (26) Chapter 19 (27) Chapter 20 (28) ~ (29) プリント使用の授業 (30) 試験
履修上の留意点	学生全員が予習していることを前提として授業を進める。
成績評価の方法	3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、前期、後期末試験の結果をもとに総合的に評価する。
教科書	深山晶子 村尾純子 古賀友也 William Figoni 『Insights 2009 世界を読むメディア英語入門 2009』(金星堂) 1995円

履修コード	256121
科目名	英語ⅡB
担当者名	大庭 直樹

講義のねらい	このクラスは、できるだけ多くの英文を読むことに主眼を置く。パラグラフの内容理解を中心に、大意を把握する練習を行ないます。難解な文を読みこなすための構文・文法に留意した読解練習と、英語特有の表現などについても言及していくつもりである。
講義の内容・授業スケジュール	授業は発表形式で進めていきます。そのため、毎回のクラスでは全員が2, 3回は発表することになる。予め発表者決められているが、受講者全員に内容理解について様々な質問が出されるので、各自が徹底的に調べて授業に出席する必要がある。
履修上の留意点	必ず、予習をしてからクラスに出席すること。各クラスでは、受講生がすでに英文を読んでくることを前提に、内容理解について発表してもらう。また、予習の段階でわからない箇所、曖昧な箇所を授業中に積極的な質問・ディスカッションによって明らかにしていく、という進め方をしていきます。
成績評価の方法	成績については、まず、クラスに出席をすること、3分の2以上の出席が成績評価を受ける前提である。定期試験を前期と後期にそれぞれ一回行なう。定期試験の結果は成績評価の二分の一を占める。授業中の発表、レポートなどを総合的に評価して、残りの二分の一成績評価とする。
教科書	教科書については、クラスの最初に指示をする。このクラスは、ある一定のテーマを決めて、そのテーマについていろいろな角度から多読をしていくというアプローチをとる。テキスト以外にかなりの量の英文をプリントで配布する。したがって、英文を読む力を身につけるという以外、受講者はその分野のテーマについては相当な知識を身につける、ということを目指したい。
参考書等	必ず、辞書を持参すること。英文を読めるようになるためには、語彙力を強化しなければならない。多読をしながら、語彙力を増やす訓練をする。
その他	受講についての心構え(例えば、ノートの作り方、辞書使用方法、予習で調べることなど)、開講時にお話しします。

履修コード	266201
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	まつおか すすむ 松岡 晋

講義のねらい ドイツ語の勉強のスタートとして初級文法を一年間で学ぶことが、この授業の目的です。下記の教科書に従って文字と発音の説明から始め、徐々に積み上げてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール (1~2) 独和辞典の紹介、文字と発音の基礎の説明 (3~4) 第1課[人称代名詞(1)と動詞の現在人称変化] (5~6) 第2課[名詞の性と格変化] (7~8) 第3課[語順] (9~10) 第4課[前置詞の格支配] (11~12) 第5課[名詞の複数形・不規則動詞] (13~14) 第6課[冠詞類の格変化] (15~16) 第8課[人称代名詞(2)・再帰代名詞] (17~18) 第9課[分離動詞・zu不定詞] (19~20) 第10課[語法の助動詞・命令形] (21~24) 第11課[過去形・現在完了形] (25~26) 第12課[受動態] (27~28) 第14課[関係文] (29~30) まとめ

履修上の留意点 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

成績評価の方法 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

教科書 在間進ほか著『明るく楽しくドイツ語を!』、三修社、2,100円、ISBN4-384-11264-5

参考書等 初回の授業で独和辞典をいくつか紹介いたします。

その他 実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

履修コード	266301
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	たけだ としかつ 武田 利勝

講義のねらい 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級~5級程度の力を身に付けてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2~3) 発音の練習 (4~6) 動詞の変化、その1 (7~10) 名詞の格変化のいろいろ (11~15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16~20) 動詞の変化、その2 (20~23) 接続詞、受動文、不定詞など (24~26) 形容詞、序数 (27~28) 関係代名詞と関係文 (29~30) 非現実話法、まとめ

履修上の留意点 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること! とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しあいましょう。

成績評価の方法 各学習事項についての小テスト、また学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。

教科書 未定

履修コード	266401・266601
科目名	ドイツ語ⅠA
担当者名	すぎもと まさとし 杉本 正俊

講義のねらい 初めてドイツ語を学ぶ人々に、ドイツ語の根底に横たわるドイツ文法を初めから丁寧に教える。あわせて、発音、語彙など多くの側面からドイツ語への案内を行う。基礎的な知識をしっかりと身に付けてもらい、ドイツ語を学ぶ土台を築いて頂きたい。

講義の内容・授業スケジュール 所定の教科書に従って一年間授業を進める。授業中には発音を重視し、練習問題は必ず発音してもらい、また添付CDを聴いてネイティブ・スピーカーの発音を確認する。

履修上の留意点 予習は必ずしも必要ではないが、与えられた課題は、しっかりと行う事。授業を有効に活用して実力を付けて頂きたい。

成績評価の方法 きちんと授業に参加しているかどうかを評価します。秋に行う動詞三基本形テストと、年度末試験も評価の基準になる。

教科書 大谷弘道・Ursula Otani 著『新・問いかけるドイツ語』(改訂版) 初級表現練習読本 三修社 ¥2600

履修コード	266701
科目名	ドイツ語IA
担当者名	野島 利彰

講義のねらい ドイツ語は言葉の組み立てがともしっかりした言語です。それを理解するには文法から入るのが近道です。ヨーロッパの言語は親戚同士なので、ドイツ語の文法を知ると同時にヨーロッパの他の言語を理解する上にも役に立ちます。

講義の内容・授業スケジュール 原則として1日1課進みます。授業は練習問題から始め、残った時間で次の課の説明をします。

履修上の留意点 外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

成績評価の方法 出席回数、小テスト、七月と一月の試験の成績、および授業中、練習問題や質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。

教科書 前田・高木著『身につくドイツ文法 Ver.2』、郁文堂、2400円。

参考書等 辞書については教場で説明します。

その他 外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

履修コード	266711
科目名	ドイツ語IA
担当者名	松岡 晋

講義のねらい ドイツ語の勉強のスタートとして初級文法を一年間で学ぶことが、この授業の目的です。下記の教科書に従って文字と発音の説明から始め、徐々に積み上げてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール (1~2) 独和辞典の紹介、文字と発音の基礎の説明 (3~4) 第1課[人称代名詞(1)と動詞の現在人称変化] (5~6) 第2課[名詞の性と格変化] (7~8) 第3課[語順] (9~10) 第4課[前置詞の格支配] (11~12) 第5課[名詞の複数形・不規則動詞] (13~14) 第6課[冠詞類の格変化] (15~16) 第8課[人称代名詞(2)・再帰代名詞] (17~18) 第9課[分離動詞・zu不定詞] (19~20) 第10課[話法の助動詞・命令形] (21~24) 第11課[過去形・現在完了形] (25~26) 第12課[受動態] (27~28) 第14課[関係文] (29~30) まとめ

履修上の留意点 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

成績評価の方法 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

教科書 在間進ほか著『明るく楽しくドイツ語を!』、三修社、2,100円、ISBN4-384-11264-5

参考書等 初回の授業で独和辞典をいくつか紹介いたします。

その他 実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

履修コード	267101
科目名	ドイツ語IB
担当者名	南 はるつ

講義のねらい 比較的容易な問題をたくさん解くことによって初級文法の基礎を身につけます。日常会話に必要な単語も多く学びます。

講義の内容・授業スケジュール 前期: Lektion1~5(発音、動詞の現在人称変化、冠詞類、命令形、前置詞、助動詞)
後期: Lektion6~10(形容詞、命令形、複合動詞、助動詞、過去形、現在完了形、形容詞の比較級、関係代名詞)

履修上の留意点 ドイツ語を習得するためには授業にきちんと出席し、宿題をすることが不可欠です。

成績評価の方法 前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書 小野寿美子・中川明博・西巻文児著『クロイツング』朝日出版社 ¥2500+税 ISBN:978-4-25-25320-6 C1084

参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	267201
科目名	ドイツ語IB
担当者名	武田 利勝

講義のねらい	並行して学習している文法事項を確認しながら、実際にドイツ語で書かれた文章を読み進めます。そうした作業を通じて既習文法事項の理解を深めることを目的とし、前期は特に文法の復習に重点を置きますが、後期は本格的にドイツ語長文読解に取り組んでもらいます。1年間の学習を通じて、初級者向きの文章であれば、辞書を片手に一人で読むことができる、というレベルを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	(1)オリエンテーション (2～3)発音の練習 (4～10)既習文法事項の確認、復習、実践 (11～15)ドイツ語長文の読解作業 (16～30)文法学習の進行状況を考慮しながら、引き続きドイツ語長文を読み進めます。
履修上の留意点	本授業では、教員から一方的に教える形態をとりません。訳読は基本的にグループ作業で進め、指定時間以内に訳文を作る、という形をとります。チームワーク力を磨くよい機会とも思ってください。また、毎回必ず辞書と文法テキスト(初回授業で指定)を持参のこと。
成績評価の方法	各テキスト終了時に提出してもらった訳文、また小テストと学期末テスト、そして出席状況を評価の対象とします。また、グループ作業にどれだけ貢献できたかなど、学期末に自己評価してもらいます。
教科書	プリント配布。

履修コード	267301・267611
科目名	ドイツ語IB
担当者名	岡本 時子

講義のねらい	初めてドイツ語を学ぶ人を対象に、実用的なドイツ語の運用能力を身につけることを目標とするクラスです。ドイツ語そのものに関する知識のみならず、ドイツ語圏の文化や歴史・地理などについても学びながら、言語を理解するとはどんなことなのかをも併せて考えていきます。
講義の内容・授業スケジュール	前期は音声から始め、ドイツ語をきちんと発音・音読できるように練習し、簡単な会話ができるようになります。後期は辞書の使いながら、自分で平易な文を読めるようになることを目標に授業を進めていきます。
履修上の留意点	初修学は、一回ごとに学んだ内容の上に次回の授業を積み重ねていきますので、毎回出席することが肝心です。語学学習には努力も必要ですが、新しいことを学ぶことは楽しいことです。一緒に頑張りましょう!
成績評価の方法	基本的には、前期と後期それぞれ期末試験を行い、その試験の結果と出席で成績は評価しますが、授業に対する意欲や積極性も前向きに考慮します。
教科書	在間進著 話すぞドイツ語!V2新版 朝日出版
参考書等	必要に応じて授業中紹介します。

履修コード	267501
科目名	ドイツ語IB
担当者名	数下 絃一

講義のねらい	やさしいドイツ語文を暗記すること。
講義の内容・授業スケジュール	Dialog 1,2、発音の基礎、ポイントから、12課接続法、Lesetext 4,5 Grammatik に、Übung まで1冊を1年間で覚える
履修上の留意点	出席重視、追試験はしない。
成績評価の方法	評価。前・後期50点満点の試験を各1回実施。出席日数のたりない者は試験を受けさせない。試験では、何をドイツ語で言ったかをドイツ語で書いてもらう。
教科書	三室著『ドイツ語・アトラクティブ』、三修社(2300円+税)
参考書等	CDがついています。家では一生懸命口を動かして下さい。
その他	参考書・辞書については第1講目に指示します。

履修コード	267601
科目名	ドイツ語I B
担当者名	武田 利勝

講義のねらい	並行して学習している文法事項を確認しながら、実際にドイツ語で書かれた文章を読み進めます。そうした作業を通じて既習文法事項の理解を深めることを目的とし、前期は特に文法の復習に重点を置きますが、後期は本格的にドイツ語長文読解に取り組んでもらいます。1年間の学習を通じて、初級者向きの文章であれば、辞書を片手に一人で読むことができる、というレベルを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	(1) オリエンテーション (2~3) 発音の練習 (4~10) 既習文法事項の確認、復習、実践 (11~15) ドイツ語長文の読解作業 (16~30) 文法学習の進行状況を考慮しながら、引き続きドイツ語長文を読み進めます。
履修上の留意点	本授業では、教員から一方的に教える形態をとりません。訳読は基本的にグループ作業で進め、指定時間以内に訳文を作る、という形をとります。チームワーク力を磨くよい機会とも思ってください。また、毎回必ず辞書と文法テキスト(初回授業で指定)を持参のこと。
成績評価の方法	各テキスト終了時に提出してもらった訳文、また小テストと学期末テスト、そして出席状況を評価の対象とします。また、グループ作業にどれだけ貢献できたかなど、学期末に自己評価してもらいます。
教科書	プリント配布。

履修コード	268101・268311
科目名	ドイツ語II A
担当者名	松岡 晋

講義のねらい	一年次に学んだ文法知識を基礎にして、平易なドイツ語の文章を読みます。教科書の各課には文法事項のまとめも記されていますので、文法の復習も行うつもりです。教科書の読章の部分は内容が徐々にレベル・アップしてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	(1)発音の復習、数字の読み方 (2) 第1課 Hier wohne ich (3~4) 第2課 Ein Sonntag im Park (前置詞など) (5~6) 第3課 Hilfst du mir, so helfe ich dir (副文など) (7~8) 第4課 Über den Wolken (形容詞の格変化など) (9~10) 第5課 Ich habe noch so viel vor (再帰動詞と分離動詞) (11~12) 第6課 Eine tolle Überraschung (過去時制、完了時制) (13~14) 第7課 Urlaub (命令形など) (15~16) 第8課 Meine Lieblingscafe(関係代名詞) (17~19) 第9課 Bevölkerungsexplosion (zu 不定詞など) (20~21) 第10課 Was kann ich tun (受動態) (22~23) 第11課 Immer nur Würstchen mit Sauerkraut?(接続法) (24~25) 第12課 Sonderbare Menschen (分詞について) (26~30) 復習とまとめ
履修上の留意点	語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、独和辞典を持参して、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。
成績評価の方法	一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。
教科書	諏訪功ほか著『ドイツ語の探検』、朝日出版社、¥1,900 ISBN4-255-25168-1

履修コード	268111
科目名	ドイツ語II A
担当者名	飯塚 公夫

講義のねらい	ここ1,2年、1年の文法事項がほとんど頭に入っていないように見受けられるので、前期は復習と練習問題をやっていきます。辞書を早く引き、頭をなるべく早く回転させることが目的です。後期は普通のドイツ語の文章を読む予定です。
講義の内容・授業スケジュール	前期：文法の説明を大雑把にやっから、練習問題を順番に当ててやってもらいます。 後期：前期、問題をやりながら、程度を見て考えます。
履修上の留意点	辞書を毎回持ってくること(完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい)。辞書を引く気のない人は出ないでください。
成績評価の方法	前期後期各1回の筆記試験及び平常点(=発表点)。
教科書	前期：松本嘉久著『独検3級・4級受験者のためのチャレンジ・ドイツ語』(同学社)2000円。 後期：未定。
その他	実は、授業で受験勉強みたいなことはやりたくはないのですが、最近、ドイツ語の文章を読んで、内容を把握し、自分の興味を広げていくということが、全くできなくなっているのが、実情です。少なくともこの授業の間は、携帯電話の外の世界で生きてほしいというのが切なる願いです(といっても意味がわからないかもしれませんが)。

履修コード	268301
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	武田 利勝

講義のねらい 前年度に学習した文法の知識を実践的に活用しながら、ドイツ語の長文読解にあたります。さらにテキストの読解を通じて、ドイツのさまざまな文化的背景について、理解を深めます。辞書さえあれば中級程度のテキストを自力で読解できるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1)オリエンテーション、発音の復習 (2～5)初級レベルの長文読解、基本的な文法事項の復習 (6～15)中級程度の長文読解 (16～30)前期に引き続き、中級以上の長文読解。難易度は皆さんの進捗状況に応じて判断します。

履修上の留意点 本授業では、教員から一方的に教える形態をとりません。訳読は基本的にグループ作業で進め、指定時間以内に訳文を作る、という形をとります。チームワーク力を磨くよい機会とも思って下さい。また、毎回必ず辞書と文法テキスト(初回授業で指定)を持参のこと。

成績評価の方法 各テキスト終了時に提出してもらう訳文、また小テストと学期末テスト、そして出席状況を評価の対象とします。また、グループ作業にどれだけ貢献できたかなど、学期末に自己評価してもらいます。

教科書 プリント配布。

外国語

履修コード	268501
科目名	ドイツ語IIB
担当者名	数下 紘一

講義のねらい 中級ドイツ語を辞書を引きながら訳す。

履修上の留意点 毎時間指名して1文ずつ読み、訳してもらいます。毎回試験をしているようなものです。出席重視。1回3ページ

成績評価の方法 前・後期各1回50点満点の試験を実施。

教科書 テキスト、A.Raab,T.石井著、『ドイツ人の一生』、朝日出版(1900円+税)

参考書等 参考書、辞書等については第1講時に話します。

履修コード	268511
科目名	ドイツ語IIB
担当者名	森 公成

講義のねらい ドイツ語IAとIBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。『白雪姫』の初版を、決定版と比べながら読む予定です。ドイツの歌もいくつか紹介します。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点 授業への積極的な参加を希望します。遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます。3分の1以上休んだ場合は原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法 定期試験(年2回)、出席率、夏季休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書 テキスト(プリント)はこちらで用意します。

履修コード	269101・269501
科目名	フランス語IA
担当者名	佐藤 久美子

講義のねらい フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ(アルファベット)から始めて、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 発音練習、文法解説、例文の確認、練習問題をおこなう。時々課題提出も求める。

履修上の留意点 出席を重視する。年間授業回数のおよそ三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのために予習(最低限新しい単語を調べておくこと)が不可欠。

成績評価の方法 授業への参加度を含む平常点40%、前・後期の試験の結果30%、課題の提出状況30%を目安として総合的に判断する。

教科書 佐藤久美子・佐藤領時著『アベセデ フランセ』改訂版(白水社)ISBN978-4-560-06097-1 C388 5,200円+税

参考書等 仏和辞典(初回の授業で紹介)を授業時に必ず持参すること。電子辞書ではなく、極力、紙の辞書を薦める。

その他 教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に大いに活用してほしい。

履修コード	269201
科目名	フランス語IA
担当者名	あづま たつひし 東 辰之介

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

フランス語初級文法の習得を目的とします。
(1) 受講上の諸注意/ Alphabet (2)～(3) 発音の基礎 (4)～(15) 文法の基礎(名詞の性・数/冠詞/主語人称代名詞/動詞の直説法現在/形容詞など) (16)～(29) 文法の発展(縮約/比較/疑問代名詞/補語人称代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し)

履修上の留意点

授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法
教科書
参考書等

学期末試験の結果と平常点によって評価します。
斎藤昌三著『新版 ル・フランセ』(白水社) 1,750円+税 ISBN978-4-560-06052-0
仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	269301
科目名	フランス語IA
担当者名	とみやま ひろお 遠山 博雄

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

文法の初歩と発音の基礎を学ぶこと。
(1～8) 授業方針の説明、音の単位の紹介、文法事項(名詞、冠詞、形容詞、最基本動詞の現在形等)、(9～15) 同(規則動詞・不規則動詞の現在形、命令形、所有形容詞、疑問形容詞等)、(16～25) 同(形容詞の比較級・最上級、目的語、動詞の過去形、関係代名詞等)、(26～30) 同(受動態、動詞の過去形のつづき、未来形等)。はじめに詳しい説明をし、後で練習問題をやります。プリントで補足もあります。

履修上の留意点

必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくること。声を出すこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験をします。

教科書

斎藤昌三、『新版ル・フランセ』、白水社、1750円+税、ISBN:4-560-06052-5C3085

その他

最初の授業で辞書のガイダンスをします。

履修コード	269601
科目名	フランス語IA
担当者名	いまいざき 今関 アン

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

フランス語の初級文法を確実に習得する。
前期:(1)ガイダンス、席決め、アルファベ (2～9) 名詞、冠詞、avoir, être、否定文、形容詞 -er 動詞、疑問文 (10～14) 指示・所有・疑問形容詞、疑問文、aller, venir、近接未来・過去 (15) 定期試験
後期:(1～10) 比較級、命令形、非人称構文、目的の代名詞、複合過去、関係代名詞、代名動詞 (11～14) 単純未来、中性代名詞、半過去、(15) 定期試験

履修上の留意点

小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。

成績評価の方法

小テスト 30%+定期テスト(60%)+夏休み課題10%

教科書

『ル・フランセ・クレール』清岡智比古著、白水社

履修コード	270101・270501
科目名	フランス語IB
担当者名	桑田 禮彰

講義のねらい フランス語の基礎の習得。
 講義の内容・授業スケジュール まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
 (1) 受講上の諸注意 / alphabet (2)～(4) 発音の基本 (5)～(15) 文法の基礎 (名詞の性・数 / 不定冠詞・定冠詞 / 形容詞 / 主語人称代名詞 / 動詞の直説法現在など) (16)～(29) 文法の発展 (部分冠詞 / 縮約 / 補語人称代名詞 / 関係代名詞 / 動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語について (中級への橋渡し)
 * 毎回、発音練習・練習問題を行ないます。
 履修上の留意点 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
 成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
 教科書 林田遼右著『パリ散歩』(朝日出版社) 2,730円 ISBN:4-255-35171-6
 参考書等 そのつど授業で指示します。

外国語

履修コード	270201
科目名	フランス語IB
担当者名	浜崎 設夫

講義のねらい ・ 文法・読本の教科書によって、フランス語の基礎を学ぶ。フランスおよびヨーロッパに対する理解を深めるための説明をする。
 講義の内容・授業スケジュール ・ (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2)～(4) 発音の基礎 (5)～(15) 文法の基礎 (名詞の性・数 / 不定冠詞・定冠詞 / 形容詞 / 主語人称代名詞 / 動詞の直説法現在など) (16)～(29) 文法の発展 (部分冠詞 / 縮約 / 補語人称代名詞 / 関係代名詞 / 動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)
 * 毎回、読み方の練習・練習問題を行なう。
 履修上の留意点 ほば毎回練習問題を宿題として出すので、専用のノートを用意する。毎回辞書を持って来る。
 成績評価の方法 ・ 前・後期の試験と平常点 (出席・宿題) を総合して評価する。
 教科書 藤田裕二他『新・東京一パリ、初飛行』駿河台出版社、2,310円

履修コード	270301
科目名	フランス語IB
担当者名	谷川 かおる

講義のねらい フランス語の音やフランス文化に親しみながら、フランス語の基礎を学ぶ。
 講義の内容・授業スケジュール (1) フランス語の歴史 (2-3) 発音 (4-8) 冠詞・名詞・形容詞・動詞の基礎 (9-15) 疑問文・否定文など (16-20) 疑問代名詞・命令文など (21-26) 補語人称代名詞・比較級など (27-30) 複合過去など。
 履修上の留意点 毎回小テストを行う。辞書は必ず持参すること。
 成績評価の方法 前期・後期試験を基本とし、小テストの点を加算し、60点以上を合格点とする。
 教科書 藤田裕二著『新・彼女は食いしん坊! 1』朝日出版社、2500円
 ISBN978-4-255-35181-0 C1085
 参考書等 授業中に指示する。
 その他 出席重視。

履修コード	270601
科目名	フランス語IB
担当者名	長谷川 光明

講義のねらい ビデオ教材を用いて初級文法を学習しながら、フランス語の表現能力を習得することを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意/フランスについての基礎知識の確認/アルファベ (2) つづり字の読み方 (3-30) 人称代名詞・基本動詞の活用・名詞の性・数詞/冠詞・形容詞/第一群規則動詞の活用・所有形容詞・否定文/指示代名詞/疑問代名詞・中性代名詞/部分冠詞・数量の表現/命令形・非人称構文/比較級/代名動詞/複合過去/未来形

*毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期末と後期末計二回行います。

履修上の留意点 基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法 前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。
教科書 藤田裕二『新・彼女は食いしん坊! 1』(朝日出版社) 2500円
参考書 石野好一『フランス語の入門』(白水社) 2200円

履修コード	271201
科目名	フランス語IIA
担当者名	東 辰之介

講義のねらい 短い対話文や説明的文章の読解等によって、フランス語能力のレベルアップを図ります。発音も重視します。

講義の内容・授業スケジュール (1)～(10) 初級文法の復習と未習事項の説明(複合過去、半過去、単純未来、条件法、接続法など) (11)～(20) 対話文の読解(自己紹介、意見を言う、昨日したことを話す、予定、理由、意見を尋ねるなど) (21)～(30) 説明的文章の読解(パリ、カフェ、学生生活、プロヴァンス、政治など)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。
教科書 澤田直之他著『アミカルマン』(駿河台出版社) 2,500円+税 ISBN978-4-411-01093-3

履修コード	271211・271301
科目名	フランス語IIA
担当者名	遠山 博雄

講義のねらい 1年次の文法事項を復習し、さらに学習を続けながらややまとまった文章やスケッチを読み、発音すること。簡単な会話表現を覚えること。フランスの「今」にふれること。(ビデオ使用)

講義の内容・授業スケジュール (1～5) 1年次の復習、(6～15) 復習から発展へ(動詞の直説法の過去形、未来形、受動態等)、(16～24) 発展学習(動詞の条件法、接続法、現在分詞等)。はじめに文法説明をします。その後各自で取り組むこと。(25～30) 教科書を終了し、プリントで応用読解。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくること。声を出すこと。

成績評価の方法 2回の筆記試験をします。
教科書 中山眞彦・杉山利恵子『改訂版ミニ・ボンジュール・パリ』白水社、1900円+税、ISBN978-4-560-06081-0 C3085

履修コード	271401
科目名	フランス語IIA
担当者名	今関 アン

講義のねらい 1年次に習得したフランス語の理解を確実にし、仏検4級3級に合格する。

講義の内容・授業スケジュール 前期:(1)ガイダンス (2～8) 冠詞、動詞の活用、時制、数字0-60 (9～11) 単語配列(12～14) 前置詞 (15) 定期試験
後期:(1～7) 応用問題、数字60-100 (8～11) 聞き取り、会話文 (12～14) 映画鑑賞(15) 定期試験

履修上の留意点 積極的に参加し、仏検合格を目指すこと。

成績評価の方法 平常点40%+定期テスト(60%)
教科書 『ニヴォー・カトル -教室で学ぶ仏検4級-』駿河台出版社

履修コード	271601
科目名	フランス語II B
担当者名	畑中 千晶

講義のねらい 繰り返しCDを聞くことで、語彙や表現を増やし、聞き取り能力を次第に上げていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス/詩の暗唱 (2)～(8) 1-1～3-2 (9) 復習、ビデオ視聴 (10)～(12) 4-1/4-2 (13) 会話 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出 (17)～(21) 5-1～7-2 (22) 復習 (23)～(27) 8-1～9-2 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験

履修上の留意点 毎回課題を出すので、必ず取り組んでください。課題は提出した分がすべて得点になります(内容を点数化することはしません。参加することに意義がある、というものです)。締切厳守(欠席した場合のみ、次回提出可)。

成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%
教科書 中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』1998年刊(白水社) 1,800円+税

履修コード	271611
科目名	フランス語II B
担当者名	遠山 博雄

講義のねらい 1年次の文法事項を復習しながら学習を継続し、やさしいスケッチや文章を読み、発音すること。簡単な会話表現を覚えること。フランスの「今」にふれること。

講義の内容・授業スケジュール (1～8) 文法事項と応用(目的語、代名動詞、動詞の直説法の未来形、過去形、関係代名詞、現在分詞等)、(9～15) 同(受動態、動詞の条件法等)、(16～22) 同(動詞の接続法、直接・間接話法等)、はじめに文法説明をします。その後各自で取り組むこと。(23～30)教科書を終了し、プリントで応用読解。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくること。声を出すこと。
成績評価の方法 2回の筆記試験を予定しています。人数が少なければ口頭試験もあります。

教科書 中村敦子・加藤行男著『改定版> クリケ!クリケ! 2年目のフランス語』第三書房、2,300円+税、ISBN: 978-4-8086-2065-3

履修コード	272201・274601
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	根岸 政子・下出 宣子

講義のねらい 中国語の発音と基本文法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール 「声調」および「ピンイン」を学んで発音を習得したのち、基本文法を学習しながら、日常会話の表現を身につけていきます。
最初の1ヶ月は発音の習得をめざします。週2回で1課の予定で進み、前期は第7課まで、後期は第8課から最後の第16課まで学習し、基本文法をマスターする予定です。各学期で中間試験・期末試験を行います。

履修上の留意点 同一の教科書を使って、2人の教員が連携して授業を進めます。
発音ができれば中国語がおもしろくなりますから、大きな声で読む習慣をつけましょう。

成績評価の方法 出席状況、小テストや中間・期末試験の成績、授業への積極性を総合して評価します。
教科書 本間史・孟宏学『中国語ポイント55』(白水社) 2,300円+税

履修コード	272301・274701
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	小栗山 恵・徳間 佳信

講義のねらい 発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容・授業スケジュール 内容 IAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IBではその定着のために問題演習を行う。スケジュール 発音(1. 2)、第一課から第八課“是”構文、助動詞(3から12)、第九課から第十八課副詞、存現文(13～)

履修上の留意点 休まず出席し、大きな声で発音して下さい。
成績評価の方法 試験の成績、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等により総合的に評価する。

教科書 余慕 小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

外国語

履修コード	272401・274801
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	橋本 幸枝・張 清涛

講義のねらい まず中国語の発音と発音表記であるピンインをしっかりと学びます。そして教科書に添って基本的な文法を学習してゆき、平易な文章を読んだり日常の簡単な会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 始めの一ヶ月は発音とピンインの学習に重点を置きます。その後、前期は教科書の第1課から第7課まで、後期は第8課から15課までを学ぶ予定です。

履修上の留意点 二人の教師が連携して授業を進めます。わかり易く指導致しますので、休まず出席して、基本をしっかり身につけて下さい。

成績評価の方法 試験の成績、出席状況、授業中の態度等により総合的に評価します。

教科書 趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円+税

履修コード	272501・274901
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	本間 由香利・曹 泰和

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール 単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。

履修上の留意点 練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法 出席を重視し、平常点(授業態度)、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。

教科書等 本間史・孟広学『中国語ポイント55』(白水社) 2,415円
授業の中で紹介する。

履修コード	272601・275001
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	吉田 建一郎・布施 直子

講義のねらい 中国語の基礎力を身につける

講義の内容・授業スケジュール (1～6週) 四声とピンイン (7～14週) 人称代名詞、動詞述語文、指示詞、疑問詞疑問文、「在」と「有」、形容詞述語文、反復疑問文など (15週～) 前置詞、「了」の使い方、経験の表現、比較の表現、助動詞、補語、存現文、兼語文、受身文など

履修上の留意点 欠席せず、大きな声を出して積極的に練習に参加すること。

成績評価の方法 出席状況、小テスト、期末試験の結果をもとに総合的に評価する。

教科書 楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』朝日出版社、2300円(税別)、ISBN4-255-45126-5

履修コード	272701・275101
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	小川 隆

講義の内容・授業スケジュール 火曜と土曜で内容を分けず、1冊の教科書を頭から通して学んでゆく。教科書は発音篇と本文16課。最初の3週を発音にあて、その後、1週2回で平均1課をすすめ、間に適宜、復習と小テストをはさむ。

成績評価の方法 火・土あわせて年間10回の小テスト(2課に1回)、出席点(最低、4分の3以上の出席が必要)、平常点(発音の習熟度、会話の積極度など)を総合して成績評価を行う。授業進行のためのルールとマナーを守れない人、欠席が授業回数の4分の1を超えた人などは、その時点でただちに受講をやめてもらう。

教科書 楊凱栄・張麗群『新・中国語への船出』(朝日出版社) ¥2200+税 ISBN 978-4-255-45155-8

外国語

履修コード	272901・275301
科目名	中国語I 中国語IB
担当者名	根岸 政子・下出 宣子

講義のねらい 中国語の発音と基本文法を学びます。
 講義の内容・授業スケジュール 「声調」および「ピンイン」を学んで発音を習得したのち、基本文法を学習しながら、日常会話の表現を身につけていきます。
 最初の1ヵ月は発音の習得をめざします。週2回で1課の予定で進み、前期は第7課まで、後期は第8課から最後の第16課まで学習し、基本文法をマスターする予定です。各学期で中間・期末試験を行います。

履修上の留意点 同一の教科書を使って、2人の教員が連携して、授業を進めます。
 発音ができれば中国語がおもしろくなりますから、大きな声で読む習慣をつけましょう。

成績評価の方法 出席状況、小テストや中間・期末試験の成績、授業への積極性を総合して、A、Bそれぞれが評価します。

教科書 本間史・孟広学『中国語ポイント55』(白水社) 2300円+税

履修コード	273001・275401
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	本間 由香利・曹 泰和

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
 講義の内容・授業スケジュール 単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。

履修上の留意点 練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法 出席を重視し、平常点(授業態度)、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。

教科書 本間史・孟広学『中国語ポイント55』白水社 2,415円
 参考書等 授業の中で紹介する。

履修コード	273101・275501
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	橋本 幸枝・張 渭涛

講義のねらい まず中国語の発音と発音表記であるピンインをしっかりと学びます。そして教科書に添って基本的な文法を学習してゆき、平易な文章を読んだり日常の簡単な会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 始めの一ヶ月は発音とピンインの学習に重点を置きます。その後前期は教科書の第1課から第7課まで、後期は第8課から第15課までを学ぶ予定です。

履修上の留意点 二人の教師が連携して授業を進めます。わかり易く指導致しますので、休まず出席して、基本をしっかり身につけて下さい。

成績評価の方法 試験の成績、出席状況、授業中の態度等により総合的に評価します。

教科書 趙秀敏・富田昇『中国語初級テキスト 飛天』(白帝社) 2,700円+税

履修コード	273201・275601
科目名	中国語IA 中国語IB
担当者名	小栗山 恵・徳間 佳信

講義のねらい 発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容・授業スケジュール 内容 IAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IBではその定着のために問題演習を行う。スケジュール 発音(1~2)第一課から第八課“是”構文、助動詞(3~13)、第九課から第十八課 副詞“在”、存現文(14~)

履修上の留意点 休まず出席し、大きな声で発音して下さい。

成績評価の方法 試験の成績、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等により総合的に評価する。

教科書 余慕 小栗山恵『中文学習基礎編』南雲堂フェニックス 2500円

履修コード	273301・275701
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	塩旗 伸一郎

講義のねらい 中国語の音声的魅力を体感し、その特徴と背景にある文化、ものの考え方を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会を異なる視点から捉えなおすことにもつながる。

講義の内容・授業スケジュール 発音（1～5）、1課～6課（6～13）、前期末試験（14）、7課～16課（15～28）、後期末試験。原則として3課ごとに聴き取りを含む小テストを行なう。

履修上の留意点 I AとI Bは連動するので、必ずセットで履修すること。
携帯電話・メールは禁止。操作者には退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法 定期試験（50）＋小テスト（30）＋平常点（20）－欠席点。
「平常点」≠「出席点」。坐っているだけで評価されることはない。
前・後期それぞれ、火曜と土曜を合わせた欠席が3回を超えると10点ずつ減点する。
I AとI Bは連続した通年授業だが、前期の成績をI Aに、後期の成績をI Bに反映させる。

教科書 楊凱榮・張麗群 『身につく中国語』（白帝社）2400円＋税

履修コード	277201
科目名	中国語ⅡA
担当者名	吉田 建一郎

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 会話・補充短文・語法・練習問題などから成るテキストを随時指名しながら読み進め、発音矯正、単語・文法・構文の解説、ペアによる対話実践などを行ないます。全16課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円＋税

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	277301
科目名	中国語ⅡA
担当者名	梅田 雅子

講義のねらい ・中国語の漢字を読んで意味がわかるようになる。
・ピンインをきれいに発音できるようになる。
・文法項目を使って、自分でオリジナルの文章を作れるようになる。

講義の内容・授業スケジュール 授業の流れ
1：新出単語小テスト（中国語→日本語、日本語→中国語）
2：文法項目（語法）解説
3：文法項目（語法）例文の確認
4：オリジナル文章発表
5：会話確認（日本語の意味）
6：補充短文、意味確認
7：補充短文、発音
8：補充短文、穴埋め（リスニング）
9：補充短文に関するQ&A問題（未定）
10：教科書練習問題
※情景会話は進度によって決める。

履修上の留意点 間違いやすいピンインに注意！
子音：q、x、c
母音：ian (yan)、si の i など

成績評価の方法 前期・後期末試験70パーセント
平常点（出席、小テスト）30パーセント

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2,000円＋税

参考書等 日中中日辞典（好文出版）2,000円＋税
日本漢字音から引ける機能が付いたものがよい。

その他 授業進度等で質問がある場合は梅田までメールにて連絡すること。
hanyu555@gmail.com

履修コード	277401
科目名	中国語IIA
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 会話・補充短文・語法・練習問題などから成るテキストを随時指名しながら読み進め、発音矯正、単語・文法・構文の解説、ペアによる対話実践などを行いません。全16課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	277501
科目名	中国語IIA
担当者名	弘兼 加奈子

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

履修コード	277601
科目名	中国語IIA
担当者名	秋元 翼

講義のねらい 1年次で行った会話練習を継続しつつ、中国で日常的に触れるアナウンスや説明文など簡単な文章を読む練習を行います。テキストの内容は本学が上海で実施している夏季中国語セミナーの状況とも一致しており、即活用できる表現を学ぶことができます。

講義の内容・授業スケジュール 全16課(日常生活の16場面)から構成されるテキストを各課1回ないし2回の授業で進めていきます。4課ごとに小テストを行い、学習内容を確認していきます。

履修上の留意点 やむをえない場合を除き、全出席が前提です。欠席が7回を超えた場合は成績評価の対象としません。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、年間4回のテストによって評価します。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

履修コード	277701
科目名	中国語IIA
担当者名	岩崎 暁

講義のねらい 一年次の会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習をします。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況と一致しているので、ぜひ実際に中国へ行って、学習したことを使ってもらいたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール 授業はテキストに沿って進めていきますが、全16課を一年間で終わらせることが無理な場合があるかもしれません。その時は課の内容を見て取捨選択します。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。毎回の試験では80%が単語や文の聞き取り(書き取り)になります。

教科書 試験は前期2回、後期2回、授業時間内に行います。石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2,000円+税

外国語

履修コード	277801
科目名	中国語IIA
担当者名	李 雲

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版) 2000円+税

履修コード	277811
科目名	中国語IIA
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 会話・補充短文・語法・練習問題などから成るテキストを随時指名しながら読み進め、発音矯正、単語・文法・構文の解説、ペアによる対話実践などを行ないます。全16課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版) 2000円+税

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	278301
科目名	中国語IIB
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい 1年次に学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、ヒアリング・会話を中心としたコミュニケーション能力の向上を図ります。中国語の音声面に重点を置いた授業です。

講義の内容・授業スケジュール 会話文例・文法ポイント・反復練習・ヒアリングから成るテキストを随時指名して進め、発音の矯正・単語の解説・文法事項の整理・聴き取り・ペアによる対話の実践などを行ないます。全12課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』(白水社、2200円、CD付)。

参考書 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	278401
科目名	中国語IIB
担当者名	秋元 翼

講義の内容・授業スケジュール Iで学んだ内容を復習しながら、実践的に応用ができるよう、ヒアリングと発音を繰り返し練習する。前期は1課から6課まで、後期は7課から12課まで、2回で1課の割合で進む。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を要する。授業中、積極的に声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法 平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書 塚本慶一・劉穎『2年生のコミュニケーション中国語』白水社、2200円+税

履修コード	278501
科目名	中国語ⅡB
担当者名	李 雲

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書 内田慶市等「中国語への道」金星堂2380円

その他の他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

履修コード	278511
科目名	中国語ⅡB
担当者名	本間 由香利

講義のねらい 比較的簡単なテキストを使用します。

朗読目標：単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにすること。

文法目標：必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。

講義の内容・授業スケジュール 先ずは発音訓練と矯正、1年次既習の単語、フレーズの聞き取り練習をします。次に中国語の基本構文の復習と理解を通じて自分で簡単な会話ができるようにします。

履修上の留意点 必ず出席し、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 授業出席を前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。

教科書 『たのしい中国語』首都大学東京 中国文学研究室編 金星堂 ¥2,600

参考書等 授業内で指示する。

外国語

履修コード	279401・279801
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	佐藤 佐知

講義のねらい スペイン語の初級文法を学ぶ。テキストに沿って文法を習得し、口頭練習や作文練習を通してスペイン語の運用能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール (1～2)表記法・発音・アクセント(3～8)SER/ESTAR、一般規則動詞の現在形の活用と用法(4～15)一般不規則動詞の活用と用法、表現練習(16～23)目的格代名詞、比較表現、点過去形の活用と用法(24～30)線過去形の活用と用法、過去時制の使い分け

履修上の留意点 授業中に文意の解釈や作文など作業をするので、必ず辞書を持ってくること(初回の授業で辞書の紹介をします)。語学の習得を目標とするため、授業には積極的に参加すること。

成績評価の方法 期末試験と平常点(出席状況・提出物・小テスト)を総合的に判断して評価する。

教科書 福嶋教隆「動く!スペイン語」(“Español Dinámico”)2008(朝日出版)2600円

履修コード	279501・279901
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	ルイズティノコ、C.

講義のねらい この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の基本的な構造と会話能力を身に付けることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 前期は発音、簡単なあいさつ、規則動詞から不規則動詞まで学ぶ予定である。後期は不規則動詞、間接目的格、直接目的格、再帰動詞、現在完了、点過去、線過去、未来形などを学ぶ予定である。ビデオを見ることもある。

履修上の留意点 毎回の練習は重要なので積極的に参加して下さい。出席を重視する。

成績評価の方法 前期と後期の成績と授業参加の状態で評価する。

教科書 西川喬「やさしくくわしいスペイン語の基礎」第三書房

履修コード	279601
科目名	スペイン語IA
担当者名	中島 聡子

講義のねらい スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。
前期（1）導入、アルファベット（2～5）文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など（6～10）動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など（11～15）疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など
後期（16～20）語根母音も変化する動詞、querer、poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など（21～25）比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など（26～30）100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点 外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。

成績評価の方法 テスト結果（80％）に平常点（20％）を合わせて評価します。

教科書 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円

参考書等 初回の授業で紹介いたします。

外国語

履修コード	279611
科目名	スペイン語IA
担当者名	上野 勝広

講義のねらい スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行います。
前期（1）導入、アルファベット（2～5）文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など（6～10）動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など（11～15）疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など
後期（16～20）語根母音も変化する動詞、querer、poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など（21～25）比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など（26～30）100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点 少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法 年間4回のテスト結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円

参考書等 初回の授業で紹介いたします。

履修コード	280701
科目名	スペイン語IB
担当者名	佐藤 麻里乃

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。

成績評価の方法 主として前期・後期各1回の試験による。

教科書 青砥他『プラサ・マヨールIソフト版』朝日出版社
辞書については初回授業で指示する。

履修コード	280801・281101
科目名	スペイン語IB
担当者名	米田 博美

講義のねらい

移り変わりの激しいグローバル化の中で、我々は不確実性の時代に生きている。その中で、中長期的な視野や展望でものを考えることが必要である。二国間、多国間、地域間の相互依存関係が深まる中、スペイン語の重要性、スペイン語圏世界の重要性は益々高まっている。政治、経済はもとより、地球的規模の環境問題でも、スペイン語圏各国は日米欧、アジア諸国とも深く関わり、天然資源、食糧資源の重要な供給源として、又、自動車、電子・機械製品の生産拠点として大きな役割を果たしている。背後にある文化・芸術遺産、自然遺産は更に興味深いものである。20カ国のスペイン語圏諸国、米国だけでも数千万の人々が話すスペイン語の重要性は明らかである。スペイン語を学び、その背後にある世界を知ることが、各自の専門にも役立ち、ものの見方を広めることが出来ると信じます。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

年間スケジュールとして、下記テキストの1～6課までを前期に、7～10課の範囲を後期に学習します。(必要に応じて、先の課を説明することもあります)

成績評価の方法

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、出席を重視します。

教科書
参考書等

成績は、出席、授業への積極的な参加の態度、小テスト、期末テストなどにより総合的に判断します。

その他

教科書：「英語からスペイン語へ」(細川幸男他著、弘学社)
辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、「現代スペイン語辞典」(白水社)を初めとして、「和西中辞典」(小学館)、「新スペイン語辞典」(研究社)「クラウン西和辞典」などを推薦しておきます。
文法的事項の説明は一方的なものにならないよう、インターアクティブな授業形態をとり、発音も重視します。また、スペイン語圏の文化や歴史、又は音楽に関するCDまたはDVDを鑑賞する機会もつくる予定です。

外国語

履修コード	280901
科目名	スペイン語IB
担当者名	栗林 ゆき絵

講義のねらい

基本的な単語や挨拶のほか、基本的な文法事項を整理してスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期(1-15回)は名詞句と現在形の文法、後期は過去形(1-8回)および再帰動詞(9-15回)の文法を中心に学習する。学期の中間に小テスト(活用・単語・作文)を実施。

履修上の留意点
成績評価の方法

前後期各1回程度中間テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけていってほしい。
中間テスト20%(日程は授業中に指示)、前後期の期末試験80%。半期で5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書
参考書等

プリント教材を配布します。
<辞書>『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)ISBN4-09-515522-1
ポケット版『ポケットプログレッシブ 西和・和西辞典』でも可(小学館 2,800円) ISBN4-09-506131-6

履修コード	280911
科目名	スペイン語I B
担当者名	荻野 恵 <small>おぎの けい</small>

講義のねらい スペイン語の基礎文法、初級講読、リスニングをバランスよく身につけていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期
1 文字と発音
2～4 主語人称代名詞・定冠詞・動詞活用
5～7 不定冠詞・複数形の作り方
8～10 目的格人称代名詞・形容詞
11～13 gustar 型動詞・所有詞
14～15 まとめと試験

後期
1～2 点過去形・過去を表わす副詞
3～4 再帰動詞・時間表現・比較表現
5～6 線過去形・現在完了形
7～8 未来形・現在分詞・天候の表現
9～10 命令形・感嘆文
11～12 命令形・知覚動詞
13～14 接続法現在形・過去未来形
15 試験

履修上の留意点

辞書については授業中に紹介します。辞書と親しみながら予復習を心がけ、積極的な姿勢で授業に臨んでください。

成績評価の方法
教科書

各学期最終授業日に実施する試験と授業中の課題、出席状況を総合して評価します。
小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語—マドリッド編』(朝日出版社)

外国語

履修コード	281201
科目名	スペイン語I B
担当者名	佐藤 麻里乃 <small>さとう まりの</small>

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。

成績評価の方法

主として前期・後期各1回の試験による。

教科書

木村他『聞いて学ぼうスペイン語』第三書房
辞書については初回授業で指示する。

履修コード	282101
科目名	スペイン語II A
担当者名	真下 祐一 <small>ましも ゆういち</small>

講義のねらい

一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・
授業スケジュール

(1～3) 一年次の復習 (4～9) 線過去、点過去 (10～12) 完了形、関係詞 (13・14) 前期の復習 (15) 前期試験 (16～19) 未来形、分詞、比較、再帰動詞 (20～22) 過去未来形 (23・24) 接続法現在 (25・26) 命令 (27～29) 接続法過去 (30) 後期試験

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書

東京大学教養学部スペイン語部『ディメロースペイン語初級一』(朝日出版社)

履修コード	282111
科目名	スペイン語IIA
担当者名	石井 登

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

すでに学んできたスペイン語文法の復習と平易な文章の読解を通じて、スペイン語力を高めます。教科書は全15課からなっており、前期は1～10課、後期は11～15課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション、(2～5)名詞、冠詞、形容詞などといった品詞と、ser, estar, hay の用法、比較級など、(6～10)直説法現在の動詞の規則変化、目的語、gustar 動詞など、(10～15)直説法現在の不規則動詞、再帰動詞、重要な動詞の用法などを学びます。
後期は(16～20)不定詞、過去分詞、現在分詞、点過去の規則変化、点過去の不規則変化など、(21～25)線過去、現在完了、過去完了、未来形、過去未来形、(26～27)接続法現在、名詞節、形容詞節、副詞節、(28～30)命令文、接続法の用法条件文などを学びます。
授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。
二村久則、水戸博之、西村秀人 『エクセレンテ!』 朝日出版社 2300円 978-4-255-55031-2

履修コード	282121
科目名	スペイン語IIA
担当者名	大岩 功

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

スペイン語Iで学習した内容を発展させ、長文読解能力を身に付けながら、スペイン語圏の生活や文化への理解を深めることをねらいとします。
前期15回 1つの長文を2回～3回の授業で読み進めます。スペイン語Iで学習した文法項目の復習が文法学習の中心となります。
後期15回 文章を読み進める速度は徐々に速くなります。文法は点過去時制、線過去時制、未来時制、完了時制などを学習して行きます。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5～6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10% の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社 他に長文読解用のプリント教材を教室で配布します。
推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282301
科目名	スペイン語IIA
担当者名	大岩 功

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。
前期15回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。
後期15回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)
必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5～6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
『やさしいスペイン語文法』大岩功著(三修社) 他に長文読解用のプリント教材を使用します。
推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282401
科目名	スペイン語IIA
担当者名	上野 勝広

講義のねらい	スペイン語Iで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課～7課まで、後期は8課～14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。 またテキスト後半の対話文を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。
履修上の留意点	前期（1）オリエンテーション（2～5）動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など（6～10）重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など（11～15）再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など 後期（16～20）線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など（21～25）接続法の用法、使役および受動構文、など（26～30）直説法未来完了の用法、条件文、など
成績評価の方法	年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。
教科書	西川 喬／Ceferino Puebla『パモス』（同学社） 2,600円

外国語

履修コード	282601
科目名	スペイン語IIB
担当者名	大岩 功

講義のねらい	スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	前期15回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。 後期15回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。 前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。 （上記スケジュールは場合により変動することがある）
履修上の留意点	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験（計2回）の得点＝70、小テスト（5～6回程度）の得点＝20、出席率、授業参加への積極性等の平常点＝10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
教科書	大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
参考書等	長文読解用の教材については、プリントを適宜用意します。 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

履修コード	282611
科目名	スペイン語IIB
担当者名	上野 勝広

講義のねらい	スペイン語Iで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課～7課まで、後期は8課～14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。 またテキスト後半の対話文を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。
履修上の留意点	前期（1）オリエンテーション（2～5）動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など（6～10）重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など（11～15）再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など 後期（16～20）線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など（21～25）接続法の用法、使役および受動構文、など（26～30）直説法未来完了の用法、条件文、など
成績評価の方法	年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。
教科書	西川 喬／Ceferino Puebla『パモス』（同学社） 2,600円

履修コード	282621
科目名	スペイン語ⅡB
担当者名	齊藤 明美

講義のねらい 一年次で学習した直説法現在などの基礎文法や単語を復習しながら、本年度は過去形（点過去・線過去）、現在完了形、再帰動詞などの初級文法や日常よく使われる口語表現などをDVD付きの教材やさまざまなプリントを用いて具体的なシチュエーションを通して学びます。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期が終わるころにはスペイン語圏の友人に自分の思い出話を語ったり、簡単なEメールを書いたりすることができるようになります。後期が終わるころには短期語学留学に無理なく参加できる方がついていることでしょう。

- 前期
 (1)オリエンテーション・自己紹介（一年次の復習）(1)
 (2)第7課、過去のことを語る1（点過去の活用と用法、疑問詞、住まいについて）(2-5)
 (3)第8課、過去のことを語る2・買い物（線過去の活用と用法、haber、文の連結、大きな数字(101〜一億)、美術館）(6-9)
 (4)第9課、電子メールの使い方（現在分詞、hacer、季節、月、曜日、不定語、否定語など、居酒屋とタパス(10-14)
 (5)中間試験(15)
 後期
 (6)第10課 パーティー（過去分詞、受動文、現在完了形、再帰動詞、誕生日と聖人）(16-19)
 (7)第11課 ミニ観光（再帰動詞2、受動文2、命令法、関係詞、不定詞、コウノトリ）(20-23)
 (8)第12課 テスト（接続法現在、命令文、動詞のまとめ、序数詞など、祭りと闘牛）(24-27)
 (9)一年間のまとめ(28、29)
 (10)定期試験(30)

履修上の留意点

スペイン語で初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけるためには毎回の予習・復習が大切です。最初は文法や単語を覚えるのが大変ですが、きっと次第にスペイン語を使うことが楽しくなるでしょう。

**成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

毎回の出席、授業参加（態度、発言等）や各期末の定期試験（年2回）を総合的に評価します。福嶋（ふくしま）『Español Dinámico 動く！スペイン語』朝日出版社、2600円
講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	283301
科目名	ロシア語ⅠA
担当者名	杉山 秀子

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

**講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法**

4、5、6、7月はイントネーションや発音に力点をおき、9、10、11、12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

**教科書
参考書等**

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円
 『露和辞典』

履修コード	283401
科目名	ロシア語IA
担当者名	佐野 ^{さの} 朝子

講義のねらい	<p>1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。</p> <p>2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。</p> <p>3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。</p> <p>4) 基礎的な初等文法を学びます。</p> <p>5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。</p>
講義の内容・授業スケジュール	4、5、6、7月はイントネーションや発音に力点を置き、9、10、11、12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
成績評価の方法	何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
教科書	杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円
参考書等	『露和辞典』

外国語

履修コード	283701
科目名	ロシア語IB
担当者名	廣田 ^{ひろた} 英靖 ^{ひでやす}

講義のねらい	<p>1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。</p> <p>2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。</p> <p>3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。</p> <p>4) 基礎的な初等文法を学びます。</p> <p>5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。</p> <p>はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。</p>
講義の内容・授業スケジュール	4-7月は発音、イントネーションに重点を置き、9-12月はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。
履修上の留意点	PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。
成績評価の方法	何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
教科書	杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円
参考書等	『露和辞典』

履修コード	283801
科目名	ロシア語IB
担当者名	廣田 英靖

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

4-7月は発音、イントネーションに重点をおき、9-12月はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円
 参考書 『露和辞典』

外国語

履修コード	284201
科目名	ロシア語IIA
担当者名	木村 英明

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。

講義の内容・授業スケジュール ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。
 ○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
 ○中等文法のエッセンスを勉強をします。
 ○4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。

成績評価の方法 出席と平常点を重視します。

教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。
 その他 プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284301
科目名	ロシア語IIA
担当者名	杉山 秀子

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール 4月-7月
 ○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
 9月-12月
 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
 ○中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法 出席と平常点を重視します。

教科書 『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次に渡した文法表。
 参考書 露和辞典
 その他 プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284501
科目名	ロシア語II B
担当者名	佐野 ^{その} 朝子 ^{あさこ}

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を正確に把握してもらうようにする。
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、読解力を高める。

成績評価の方法
教科書
その他

平常点で評価する。
『やさしいロシア語読本』(大学書林)を使用します。
プリント配布。

外国語

履修コード	291501
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	大瀨 利春

講義のねらい 英作文能力の向上を目指す。
 講義の内容・授業スケジュール 具体的には、以下のペースでテキストを読み進めていく。Unit1 (1～3)、Unit2 (4～5)、Unit3 (6～7)、Unit4 (8～9)、Unit5 (10～11)、Unit6 (12～13)、Unit7 (14～15)、Unit8 (16～17)、Unit9 (18～19)、Unit10 (20～21)、Unit11 (22～23)、Unit12 (24～25)、Unit13 (26～27)、Unit14 (28～30)
 履修上の留意点 予習をしてくること。辞書をもってくること。
 成績評価の方法 前後期試験50%、日常点(出席率、授業参加度等)50%で評価する。
 教科書 Keiichiro Fukui『基礎からはじめる英作文』成美堂 1900円 ISBN978-4-7919-1087-8

履修コード	291601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	山口 晃

講義のねらい 英語を使って自分の考えを表現するための基本的な練習をめざす。
 講義の内容・授業スケジュール 毎回の授業では、正確な発音と英作文の練習を行なう。毎回十名前後の学生がこの練習を行なう。
 履修上の留意点 辞書は毎回かならず持ってくること。
 遅刻は成績評価に関係してくるので注意すること。
 成績評価の方法 出席、発表、レポートの三つで成績評価を行う。遅刻すると発表の機会が失われるので注意すること。
 教科書 授業中の発表を非常に重視するので、毎回の授業に何よりも集中することが評価につながる。毎回、プリントを配布する。

履修コード	291701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	伊藤 美代子

講義のねらい 文法を中心に、学生の Reading, Writing, Listening, Speaking の四つのスキルを総合的に伸ばすことを目的とする。できるだけすべての学生が毎回英語を口にし、エクササイズに参加するよう留意する。
 講義の内容・授業スケジュール 原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。
 履修上の留意点 予習が絶対条件である。半期に、4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。
 成績評価の方法 各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。
 教科書 「コミュニケーションのためのベーシック・グラマー」山本厚子他(成美堂、¥1,900)

履修コード	291801
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	岩井 洋美

講義のねらい 自分のことや身近なことを話したり書いたりできるようにする。
 講義の内容・授業スケジュール テキストに沿って毎週1課ずつ進めていきます。あいさつから旅行、会社内の会話など日常やビジネスで用いる語句表現を学びながら最低限必要な文法を確認していきます。
 履修上の留意点 欠席遅刻の多い学生や授業参加を好まない学生は単位を得ることができません。就職活動で欠席する学生もその度に必ず連絡のこと。
 成績評価の方法 出席授業態度 前期・後期試験 クラス内小テスト スピーキングテスト
 教科書 津村修志他 GOOD JOB 金星堂 1950円+税

履修コード	291901
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>いらいま よしなが</small> 飯沼 好永

講義のねらい 日本語と英語の文章構造の違いを重視しながら、日常生活の様々な事柄を一つの短文から次第に複数の短文で表現できるようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な英語の文法を踏まえ、日本語と英語の基本的な仕組みの違いを理解しながら、英作文の練習を行っていきます。テキストの各 Unit とプリントを2週単位で進みます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。

成績評価の方法 成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書 登美博之／Gordon Bateson 編著 English Writing Using Everyday Expressions
朝日出版社 1785円 ISBN 978-4-255-15456-5

履修コード	292001
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>まちだ しげお</small> 町田 成男

講義のねらい 英語による意思伝達：入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 1. テキストと英語の話し、2. Lesson1、3. Lesson2、4. Lesson3、5. Lesson4、6. Lesson5、7. Lesson6、8. Lesson7、9. Lesson8、10. Lesson9、11. Lesson10、12. Lesson11、13. Lesson12、14. Lesson13、15. 試験
16. Lesson14、17. Lesson15、18. Lesson16、19. Lesson17、20. Lesson18、21. Lesson19、22. Lesson20、23. Lesson21、24. Lesson22、25. Lesson23、26. Lesson24、27. Lesson25、28. Lesson26、29. Lesson27、30. 試験

履修上の留意点 辞書を持参すること。

成績評価の方法 出席・発表・試験の総合評価

教科書 未定

履修コード	292301
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>とのおいけ かずこ</small> 外池 一子

講義のねらい 高校までに学習した英語の知識を復習しながら、現在の世界が直面する問題などに関する英文をたくさん読み、構文を理解する力や語彙力をつけていきます。
また、ニュースになったり話題になったテーマを取り上げますから、自分の意見を英語で表明できるようになることも目指します。

講義の内容・授業スケジュール テキストに従って、毎週1課を終わるようにします。
また、関連する英字新聞の記事なども、適宜取り上げていきます。

履修上の留意点 必ず予習をして出席すること。予習をしていない場合は出席とは認めません。
CALL教室を使用する場合がありますから、最初の授業でユーザーIDとパスワードをできるようにしておくこと。

成績評価の方法 平常点30%、春・秋学期の期末試験70%。(授業内に小テストを行う場合は、期末試験の成績に加味します。)なお、出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書その他 開講時に指示します。
日頃から新聞を読んだり、ニュースを聞いたりして、日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、考える習慣を身につけて下さい。

履修コード	292601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	太田 由紀子

講義のねらい 語彙や構文に対する理解を深め、自らの英語表現力を高めてゆく。言語を通し、英国から米国へ移民した男の自伝を通し、映画を通して、英語圏の文化に親しんで貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞しつつ、その粗筋や関連する自伝（音声テープ付）の一部を読む。聴く、読むの作業を通して、自らこれを再現する能力を身につけたい。前期は『偽牧師』、『黄金狂時代』など、後期は『独裁者』、『殺人狂時代』、『ライムライト』などを鑑賞する。

履修上の留意点 毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

成績評価の方法 授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

教科書 未定

参考書等 安井稔『英文法総覧』（開拓社）江川泰一郎『英文法解説』（金子書房） Charles Chaplin 著 My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction) チャールズ・チャップリン『チャップリン自伝』中野好夫訳（新潮文庫 上・下巻に分冊。下巻は絶版）

外国語

履修コード	292701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	手島 敬子

講義のねらい 本授業は、正しい英語力を身につける上で不可欠な基本的な英文法の確認を行いながら、実際の生活の中で活用できる自然で正確な「ライティング」力の習得を図ります。

講義の内容・授業スケジュール 前期
第1回 ガイダンス
第2回以降 Unit1～Unit10 まで毎回1課ずつ進めて行く予定です。
前期授業最終日 前期試験
後期
第1回 前期試験答案返却
第2回以降 Unit11～Unit20 まで毎回1課ずつ進めて行く予定です。
後期授業最終日 後期試験

履修上の留意点 原則として2/3以上授業に出席すること。
遅刻しないこと。（原則として30分以上の遅刻は欠席扱い）
課題は必ず期限を守って提出すること。
辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法 前期試験、後期試験、課題、出席状況、授業への参加度等に基づき総合的に評価します。

教科書 村田和代 太谷麻美『基本文法からはじめる発信型英作文 改訂新版』 マクミラン ランゲージハウス ¥1,890

その他 授業、成績等に関する質問、相談は遠慮なく早めに。
まずは授業に出席しましょう！

履修コード	293201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	三芳 康義

講義のねらい TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。

講義の内容・授業スケジュール 前期は基本的な英文をじっくり読みながら、そこに出てくる文法や語法を確認する。後期はさらにペースを上げながら、英語の速読・多読と共に、多種多様な英文の講読に重点を置いて授業を進める。

履修上の留意点 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書は必ず持参のこと。

成績評価の方法 授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書 Mary Lee Wholey著、Eden Brough編著、New Reading Matters 2、出版社センゲージ ラーニング ISBN9784863120488、定価1890円

履修コード	293401
科目名	英語I B〔再クラス〕
担当者名	安齋 薫 <small>あんざい かおる</small>

講義のねらい Reading, Listening 能力向上とともに、バランスよく英語運用能力を習得する。
 講義の内容・授業スケジュール 第1回 Introduction
 その後は2回で1章ずつ進めていく。
 履修上の留意点 予習をしていくこと。
 成績評価の方法 出席状況(2/3以上の出席が原則)前後期試験、レポートで評価
 教科書 English with Hit Songs (成美堂) ¥1700+税 ISBN4-7919-4581-6

履修コード	293601
科目名	英語I B〔再クラス〕
担当者名	濱口 真木 <small>はまぐち まさき</small>

講義のねらい 英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。
 講義の内容・授業スケジュール 文化、社会、政治、経済、教育等の分野のニュースを取り上げてテキストを読みすすめる。Blog-
 ging Granny ~ Cat lovers, Unite! (1~14)、Practice Makes Perfect! ~ Food Mileage (15~30)。
 成績評価の方法 出席や発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価。
 教科書 Insights 2009 (金星堂) 1900円 ISBN978-4-7647-3872-0

履修コード	293901
科目名	英語I B〔再クラス〕
担当者名	白鳥 義博 <small>しらとり よしかず</small>

講義のねらい せっかくの再履修なので、将来なにか実践的に役立つ勉強をして見ませんか?この講座では、TOEICテスト対策用の問題集を使って、高校までに学習した英語力(読解、文法、聴き取り)を高めるさまざまな練習を行います。TOEICは現代社会のさまざまな分野で求められる英語力をテストするハードな試験ですが、明確な目的意識をもち、発想の転換の転換を図れば、決して恐れるには値しません。
 講義の内容・授業スケジュール 前期:(1)ガイダンス(2~14)ひとつのUnitに2・3回かけてテキストを進める(15)前期末試験、後期:(15~28)テキストを進める(29)総復習(30)後期末試験 *その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。
 履修上の留意点 テキストの問題をスピーディーに進めますので、慣れない最初のうちは大変かもしれません。しかし、そこをなんとか乗り越えてほしいです。実質的な授業内容になりますので、やる気のない学生に対しては厳しい態度でのぞみます。ご注意ください。
 成績評価の方法 平常点と出席状況、および授業内の試験の結果などから総合的に評価する。受講態度(課題へのとりくみの熱意)と出席状況を特に重く見るつもり。
 教科書 『ステップ式TOEICテスト総合演習』(南雲堂、2009年) ¥1,900+税

履修コード	294001
科目名	英語I B〔再クラス〕
担当者名	川崎 笑佳 <small>かわさき えみか</small>

講義のねらい 入学時の読解能力を基礎として、listening と speed reading の上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にテキスト中心に行う予定であるが、学生の希望や必要に応じて他の教材を使用することも考慮に入れている。
 講義の内容・授業スケジュール (1)プリント使用の授業(2)~(3) Arts & Amusement (4)~(5) Lunch & parties (6)~(7) Medicine & Health (8)~(9) Traffic & Travel (10)~(11) Ordering & Shipping (12)~(13) Factories & Production (14)プリント使用の授業(15)試験(16)プリント使用の授業(17)~(18) Research & Development (19)~(20) Computers & Technology (21)~(22) Employment & Promotions (23)~(24) Advertisements & Personnel (25)~(26) Telephone & Messages (27)~(28) Banking & Finance (29)プリント使用の授業(30)試験
 履修上の留意点 学生全員が予習していることを前提として授業を進める。
 成績評価の方法 3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、前期、後期末の試験結果をもとに総合的に評価する。
 教科書 大須賀直子 塚野壽一 山本厚子 Robert VanBenthuyzen 『Essential Approach for the TOEIC Test TOEIC テストへのニューアプローチ』(成美堂) 2100円

外国語

履修コード	294101
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	岩原 康夫

講義のねらい 読解を通して英語特有の論理的な思考と表現を学ぶ。
 講義の内容・授業スケジュール パラグラフを構成する論理性や表現を学び、文脈の中での読解力を養う。前期はテキストの1～3章(2～7)と4～7章(8～15)、後期は8～11章(1～9)と12～15章(10～15)の予定で授業を進める。
 履修上の留意点 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。なおこのクラスは再履修であるので、必要な場合には個々の学生に対応した指導を行う。
 成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。
 教科書 Edward Hoffman, Words of Wisdom for a Successful Life (朝日出版) 1700円 ISBN978-4-255-15467-1 C1082

履修コード	294201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	近藤 真彰

講義のねらい 英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。
 講義の内容・授業スケジュール 【前期】第1週：ガイダンス 第2,3週 英文記事の読み方 第4～13週：ジャンル別に記事を読みながら、センテンスで意見を述べる練習を行ないます。第14,15週：復習
 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：その時々話題になっている記事を読み、それについての自分の意見をパラグラフで述べる練習を行ないます。第14,15週：復習
 履修上の留意点 授業には必ず辞書を持参してください。
 成績評価の方法 前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。
 教科書 ハンドアウトを配布します。

履修コード	294211
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	江田 幸子

講義のねらい I (B)の再履修であるこのクラスは、高校終了時までの基礎がしっかりと修得されていないことが考えられます。英文を読解するための基礎を再度確認・学習して、読解の基礎力をつけることがこのクラスの目標です。
 講義の内容・授業スケジュール より高度な英文を読むためには、基礎がしっかりと修得されていることが必須条件です。このクラスでは、まず、平易な名文で書かれた比較的短い英文を、余裕を持って楽しく読み、英語の基礎的な文法や表現方法を再学習します。易な英語で書かれていれば、基礎的な構文も理解・修得し易いはず。易しい英語を繰り返すことで英語表現に馴染むようにします。
 授業の進め方は次のプロセスに従って行います。：(1) 語彙の確認 (2) 読解：音読と内容理解 (3) 必要な文法事項の再学習 (4) 聴解：読解した本文を、音声から理解する。このクラスでは、音読をしっかりと行います。声にだして発音することで、構文の理解がより効率的に促され、言葉も記憶に残りやすくなります。
 履修上の留意点 学習する態勢を整えて(テキストや辞書、ノートなどを持参)授業に臨んで下さい。英語は繰り返し学習することで修得される学科ですので、基礎を固めるためには、休まず授業を受けることが大切です。出席を重要視するクラスになりますが、出席は学習することが前提なので、出席さえすればいい、と言う考えは捨てて下さい。
 成績評価の方法 前期・後期に定期的に行う筆記試験、クラス内で適宜行う小テストなどの素点評価で平均点60点以上が及第点。平常点を筆記試験と同じ比率で評価します。平常点とは、授業中の発表、努力する姿勢、熱心度など。特に、このクラスは出席率を重要視しますが、出席率を点数としては出しません。出席率が学習意欲と結びついている場合のみ、素点評価とは無関係に平常評価の対象になります。
 教科書 未定

履修コード	294601
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	太田 美智子

講義のねらい コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。
1章につき2回で進めてゆく予定であるが、それには予習が欠かせない。

履修上の留意点 必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持とう。積極的な授業参加を高く評価する。欠席は年間授業回数数の3分の1まで。

成績評価の方法 平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書 角山照彦著 Power of Love センゲージラーニング 2100円 ISBN978-4-86312-034-1

履修コード	295001
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	埴 美智子

講義のねらい より高度な英語の運用能力を身につける。自分の考えを表現するために必要な英語力を読みを通して文章表現、会話表現へとステップアップする。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に英語力を高めることを目標に様々な話題や出来事について関心を抱き、それらに対する意見を英語で表現する術を学んでいく。

履修上の留意点 出席は大切なので重視します。日ごろの学習が欠かせないのでホームワークも大切になります。

成績評価の方法 出席重視。レポート提出、小テスト、授業態度、定期試験の総合点で評価します。

教科書 'What Should We Think About?' — Reading & Writing
「表現力を磨くためのリーディング&英作文」

参考書等 その都度、黒板に板書します。

その他 欠席はなるべく避けましょう。

履修コード	295101
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	小泉 和弘

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (2-3) Chapter 1 (4-5) Chapter 2 (6-7) Chapter 3 (8-9) Chapter 4 (10-11) Chapter 5 (12-13) Chapter 6 (14) ビデオ (15) 試験 (16-17) Chapter 7 (18-19) Chapter 8 (20-21) Chapter 9 (22-23) Chapter 10 (24-25) Chapter 11 (26-27) Chapter 12 (28-29) ビデオ (30) 試験

成績評価の方法 試験50% 出席率および授業態度50%

教科書 Life and Health —生活と健康— (鳳書房)

履修コード	295301
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい IAを基礎としてさらに高度な英語運用能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には、テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習した後で、エッセイライティングをおこなってもらいます。また、口語表現の学習のため、TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点 (1)オリエンテーション (2~15) Unit1~6 (15~30) Unit7~13

成績評価の方法 毎時間必ず辞書を持ってくること。
出席点、発表点50%、授業中のレポート50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 石谷由美子/エマ・アンドルース『Skills for Better Writing (Revised Edition) —構造で書く英文エッセイ(改訂版)』 南雲堂 ¥1995 ISBN978-4-523-17604-6

履修コード	295401
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい	IAを基礎とし、より高度な英語（Writing/Speaking）の運用能力を身につける。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	(1)小テスト、(2～6)Unit1-5、(7)確認テスト①、(8～12)Unit6-10、(13)確認テスト②、(14～18)Unit11-15、(19)確認テスト③、(20～24)Unit16-20、(25)確認テスト④、(26～30)文法のまとめと自由英作文。
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。
成績評価の方法	出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。
教科書	年2回の定期試験（50％）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50％）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。 『スヌーピーと覚える日常表現』（朝日出版社）1,700円＋税

外国語

履修コード	295501
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	梅原 敏弘

講義のねらい	英語を読み・書き・話すために必要な実践的な英文法の知識の習得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて、英語の理解・運用に不可欠な文法項目を勉強します。教科書は練習問題が豊富で、一年間の授業でその全てをこなすことは難しいので、重要と思われる文法項目を取捨選択して取り上げ、学習していくことにします。この教科書は日本人英語学習者を特に念頭において書かれたものではありませんので、日本人学習者が苦手とする文法項目や犯しやすい過ちには特に留意しながら、授業を進めていく予定です。取り上げる文法項目は開講時に指示します。
履修上の留意点	練習問題はアットランダムにあてますので、全員しっかり予習してきてください。
成績評価の方法	成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。
教科書	Raymond Murphy, <i>Grammar in Use(Intermediate), second edition</i> , (Cambridge)
参考書等	江川泰一郎「英文法解説」（金子書房） 正保富三「英語の冠詞がわかる本」（研究社出版）

履修コード	295601
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	笹倉 貞夫

講義のねらい	近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	(1～5) AMAZING ANIMALS, (6～10) YOUR AMAZING BODY, (11～14) OUR AMAZING UNIVERSE, (15) テスト, (16～20) AMAZING FIRSTS, (21～25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS, (26～29) AMAZING ODDS & ENDS, (30) テスト
履修上の留意点	予習・復習重視、辞書持参。
成績評価の方法	前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。
教科書	M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』（太陽社）¥1,400

履修コード	295801
科目名	英語IIB〔再クラス〕
担当者名	濱口 真木

講義のねらい	文法・構文を重点的にチェックしつつ、テキストの内容をより速く正確に読みとる能力の向上をはかる。
講義の内容・授業スケジュール	環境問題や文化、教養、ビジネス等をテーマとしてテキストを読みすすめる。Hibari Misora ～ Rice (1～10)、Ecocircle ～ Anti-cancer Diet (11～14)、Postal System Privatization ～ Bioethanol (15～24)、TV Viewer Ratings ～ Pachinko (25～30)。
成績評価の方法	出席や発表などの平常評価（50％）、前期・後期試験（50％）の総合評価。
教科書	ECO-INNOVATION AND PROSPERITY（南雲堂）1900円 ISBN978-4-523-17598-8

履修コード	295901
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	<small>ゆきひろ たいぞう</small> 行廣 泰三

講義のねらい この授業では、総合的な観点から英語の基本的な技能が習得できることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

第一回目では、プリテスト
 第二・三回目では、The Polar Bear
 第四・五回目では、The Hippotamaus
 第六回目では、小テスト
 第七・八回目では、How can a plant kill?
 第九・十回目では、How do many Hearing-Impaired people talk?
 第十一回目では、小テスト
 第十二・十三回目では、The Date Palm
 第十四回目では、Oranges
 第十五回目では、前期のまとめとテスト
 第十六回目では、前期の復習
 第十七・十八回目では、Blues and Jazz
 第十九・二十回目では、Latin music and Salasa
 第二十一回目では、小テスト
 第二十二・二十三回目では、Work Clothes
 第二十四・二十五回目では、The Ainu of Japan
 第二十六回目では、小テスト
 第二十七・二十八回目では、The Yanomami of the Amazon
 第二十九回目では、The Hopi of Arizona
 第三十回目では、後期のまとめとテスト

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

復習と予習をしっかりと下さい。
小テスト55% 期末30% 出席15%

編著者 柳浦 恭『納得する英文解釈再入門』センゲージラニング(株) ¥1700+税 ISBN97
8-4-86312-109-6C3082

外国語

履修コード	296201
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	<small>たかの ひでお かい かつこ</small> 高野 秀夫・甲斐 捷子

講義のねらい

ニューヨークで収録されたABC放送の定評あるニュース番組をビデオで学び、英語の運用能力を高めることがこの授業の目的です。言葉の面白さはもちろん、人とのコミュニケーションのあり方、また、アメリカ文化についても学べるでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

再履修者のためのやさしい教材を、あえて使わないことで、力をつけていただこうと思っています。全15章の内、7章を前期に、残りの後半8章を後期に学びます。授業のスピードも早いので、履修したら最後、頑張るしかありません。

履修上の留意点
成績評価の方法

小テストがありますから、まず、授業を休まないことです。
一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、中間・定期試験各30%の総合評価とします。

教科書

ABC World News 11 Shigeru Yamane/kathleen Yamane 著 金星堂 ¥2,300 ISBN: 978-4-764
7-3869-0

参考書等
その他の

特になし。
特になし。

履修コード	296301
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい	IB (Reading/Listening Comprehension) を基礎として、多読・速読をめざす。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、基礎からTOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	(1)小テスト、(2～4)Unit1,2、(5～7)Unit3,4、(8～10)Unit5,6、(11～13)Unit7,8、(14～16)Unit9,10、(17～19)Unit11,12、(20～22)Unit13,14、(23～25)Unit15,16、(26～28)Unit17,18、(29～30)Unit19,20
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。
成績評価の方法	年2回の定期試験(50%)と小テスト、提出物、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。
教科書	『エコイノベーションと繁栄』(南雲堂)1,900円+税

外国語

履修コード	296501
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	丸小 哲雄

講義のねらい	題材は日本文化論。読みと表現の総合英語。速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力を涵養しながら、語彙を増やし英語のヴァリエーションに留意し、速読の要領も捉えるように目指します。
講義の内容・授業スケジュール	ウォーミングアップとしてリスニング・タイム(授業の始めに毎回10分間程度)とし、文構造の作成の仕方に留意し、コメント力を養成していきます。 ・授業スケジュール 第1回 Introduction 第2回～第5回 Smaller Is Better:Four Examples 第6回～第8回 The Fan—Fold It, Hold It, Bring It Closer 第9回～第12回 The Anesama Doll—Take away and pare down 第13回～第15回 The Well-Stuffed Box Lunch—Pack It In 第16回～第18回 Reductionism Today 第19回～第21回 Transistors Reflecting the Japanese Spirit 第22回～第23回 Reductionism and Management 第24回～第25回 The Robot and Pachinko 第26回～第27回 Expansionism and the Japan of Today:The Samurai Merchant 第28回～第29回 A Fear of Open Spaces 第30回 The Handtruck and the Raft
履修上の留意点	質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。
成績評価の方法	出席率、平常テスト、レポート作成課題(開講時に指示)、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。
教科書	・ Listening Time:TOEIC Test Fundamentals 南雲堂 ISBN978-4-523-17533-9 ・ Reading Time:The Compact Culture 英宝社 ISBN978-4-523-17533-9
参考書等	参考資料等を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

履修コード	296901
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	^{ほんま としかず} 本間 俊一

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、学習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普通の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書 Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円
ISBN4-7647-3717-5

履修コード	297101
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	^{もとほし うきょう} 本橋 右京

講義のねらい 伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得します。

講義の内容・授業スケジュール 文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものにします。

履修上の留意点 予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書 諏訪田 清著『新訂・ドイツ文法18歩』(同学社)2004年刊 2300円+税
ISBN8102-0839-7

履修コード	297201
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	^{しき ともみ} 志真 斗美恵

講義のねらい さまざまな理由でもう一度ドイツ語IAを再履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確実なものにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール ABCからはじめて、ドイツ語の初級文法を学習します。文法だけでなく、CDを使い、聞き取りや簡単な会話の練習もしながら、初級ドイツ語を習得していきます。前期は、7課分離動詞まで、後期で、14課接続法まで終えます。

履修上の留意点 ドイツ語は決して難しくはありません。きちんと法則にしたがって構成されています。積み重ねが大事です。欠席をするとわからなくなるのは当然ですので、必ず出席してください。

成績評価の方法 前期・後期試験および平常点(毎回その日の授業内容の復習練習をし点検します)で総合的に評価します。

教科書 春日正男・松澤淳著、『怖くはないぞドイツ文法』、朝日出版社、2400円+税、ISBN978-4-255-25323-7C1084

履修コード	297401
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	武田 利勝

講義のねらい 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身に付けてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3) 発音の練習 (4～6) 動詞の変化、その1 (7～10) 名詞の格変化のいろいろ (11～15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16～20) 動詞の変化、その2 (20～23) 接続詞、受動文、否定詞など (24～26) 形容詞、序数 (27～28) 関係代名詞と関係文 (29～30) 非現実話法、まとめ

履修上の留意点 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること！ とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しあいましょう。

成績評価の方法 各学習事項についての小テスト、また学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。

教科書 未定

外国語

履修コード	297411
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	野島 利彰

講義のねらい ドイツ語は英語と比べると覚える文法事項が多いのですが、それを避けている限り、ドイツ語は理解できません。少し努力すれば後は楽です。

講義の内容・授業スケジュール 練習問題を中心に授業を進めます。

履修上の留意点 外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

成績評価の方法 出席回数、小テスト、七月と一月の試験の成績、および授業中、練習問題や質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。

教科書その他 大岩信太郎著『快速ドイツ文法』、朝日出版社、2100円。
慣れるためにテレビやラジオのドイツ語講座も利用して下さい。

履修コード	297501
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	飯塚 公夫

講義のねらい 正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。

講義の内容・授業スケジュール 教科書通り、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていきますが、練習問題に重点が置かれます。

履修上の留意点 語学の勉強は大変日常的な事柄と密着していますが、未知の外国語である以上、自己の日常べったりでは、理解に至りません。辞書の引き方からして、ただ持っていればことばがわかると思っている人が多いようですが、引き方を知らなければ目的の単語に到達しませんし、また到達しても、考えなければ、意味のわかることばにはなりません。大変な作業です。「暗記物」ではありませんので、心してください。辞書必携。

成績評価の方法 前期後期各一回の筆記試験と平常点(=発表点)。

教科書 萩野蔵平他著『ドイツ文法 型から型へ』(朝日出版社) 2,300円

履修コード	297601
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	杉本 正俊

講義のねらい ドイツ語に再チャレンジする人々にも、初めて学ぶ人々にも、ドイツ語を学ぶ楽しさを知って頂きたい。基礎的な知識を初めから丁寧に学びつつ、ドイツ語を学ぶ土台を築いて頂きたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 所定の教科書に従って一年間の授業を進める。発音を重視し、教科書の文や練習問題は必ず発音してもらい、また添付CDを聴いてネイティブ・スピーカーの発音を確認する。

履修上の留意点 予習は必ずしも必要ではないが、与えられた課題はしっかりと行い、授業を有効に活用して実力を付けて頂きたい。

成績評価の方法 きちんと授業に参加しているかどうかを評価します。年度末試験も評価の基準になる。

教科書 関口一郎著『ハロー・ミュンヘン・ノイ』 白水社 ¥2200

履修コード	297801
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	数下 紘一

講義のねらい 困難に思えるドイツ語を、何とか理解してもらいたい。
 講義の内容・授業スケジュール 1 講目第1課～30講目第10課まで、各課に授業3回をかけて、とにかくわかるまで教える。
 履修上の留意点 今年こそ単位をとるぞと頑張ってもらいたい、出席重視。
 成績評価の方法 成績は、前・後期各1回の試験(50点満点)を実施。教わったとおりに答えて下さい。平常点も加味する。
 教科書 佐藤ほか著『新ドイツへ行ってみませんか』郁文堂(2500円+税)
 参考書等 辞書だけは持って来る事。

履修コード	297901
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	南 はるつ

講義のねらい 会話表現、文法事項に関する比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけるとともに、ドイツ文化についても学びます。
 講義の内容・授業スケジュール 前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、命令形
 後期：助動詞、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞
 履修上の留意点 出席を重視します。
 成績評価の方法 夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
 教科書 小野寿美子・中川明博・西巻丈児著『ドイチュ プラヴォー！ プラスアルファ』朝日出版社
 ¥2400+税 ISBN:978-4-255-25310-7 C1084
 参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	298001・298002
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	森 公成

講義のねらい 文法を最初から学びなおし、ある程度の読解力を身につける。
 講義の内容・授業スケジュール 一年をかけて、下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。
 履修上の留意点 授業への積極的な参加を希望します。遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます。3分の1以上休んだ場合は原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。
 成績評価の方法 定期試験(年2回)、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
 教科書 小塩節著『ドイツ ころの旅』(朝日出版社)2,200円

履修コード	298101・298102
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	本橋 右京

講義のねらい 平易な読章を読みながら、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得して行きます。
 講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。
 履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
 成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
 教科書 佐藤和弘・他『新ドイツへ行ってみませんか』(郁文堂)2009年刊 2500円+税, ISBN978-4-261-01232-3

履修コード	298201・298202
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	数下 紘一

講義のねらい 辞書をひいて、文を読み訳すのは毎回1人1文ずつ、中級ドイツ文が読めるようにする。
履修上の留意点 1回3ページが目標。ぜひ単語だけでも家で辞書を引いて下さい。出席重視。
成績評価の方法 前・後期各1回50点満点の試験をする。毎時間の読・訳も考慮に入れる。
教科書 テキスト、A.Raab, 石井著：『こんにちはドイツです』；朝日出版（1900円＋税）
参考書等 参考書・辞書等については第1講目に口頭で。

履修コード	298801
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	芦原 巻

講義のねらい 1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。
講義の内容・授業スケジュール 前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。
履修上の留意点 教科書と同時に辞書を持参して下さい。
成績評価の方法 毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。
教科書 中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

履修コード	298901
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	大野 英士

講義のねらい フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。仏検5級合格の実力を錬成することを目指します。
講義の内容・授業スケジュール (1)～(2)受講上の諸注意/綴り字と発音 (3)～(4)自己紹介する (5)～(6)家族・年齢を言う (7)～(8)好き嫌いを言う (9)～(10)所有を言う、指し示す (11)～(12)人を描写する (13)中間テスト (14)～(15)尋ねる (16)～(17)近い未来・近い過去 (18)～(19)数量を表す (20)～(21)時間や天候を言う (22)～(23)比較する (24)～(25)比較する (26)～(27)過去の話をする (28)定期試験
履修上の留意点 授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するぐらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。
成績評価の方法 出席点、授業中の小テスト、1学期末の中間テスト、定期試験の三つの総合点で評価します。
教科書 藤田裕二著『新訂版・えすかるご1』（朝日出版社）
参考書等 森本 英夫、三野 博司著、『プチット・リュミエール フランス語参考書』（駿河台出版社）
その他 辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

履修コード	299001
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	菅原 猛

講義の内容・授業スケジュール かつて習ったフランス語の初歩をもう一度基礎から学習しなおすクラス。かぎられた授業時間内で毎時間先へ先へと進んでゆきます。
履修上の留意点 再履修クラスですから出席状況が重視されます。
成績評価の方法 年2回の定期試験の成績を中心に、毎時間行なう練習問題の結果も評価の対象にします。
教科書 石上亜紀子他『アトリエ・フランセー見開きフランス語文法』2007年刊（朝日出版社）2100円＋税

履修コード	299011
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	谷川 かおる

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

フランス語に親しみながら、基本文法を学び直す。
自己紹介―カフェでの注文―簡単な日常会話などを学ぶ。毎週、簡単なフレーズをいくつか暗記する。
出席重視。なるべく積極的に授業に参加すること。
前期・後期の暗唱テスト、筆記テストの点を基準とし、小テストの点を加算し、全体として60点以上を合格とする。
伊勢晃、谷口千賀子著、『サヴァ?』、早美出版、2400円。
授業中に指示する。

履修コード	299101
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	菅谷 暁

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
教科書は1課ごと、会話、文法、演習、読解、文化の5つのパートからなっています。全部で12課あるので、1課を2回の授業で終わらせる予定です。
休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
前期末と後期末の試験、および小テストによります。
藤田著『新・彼女は食いしん坊!1』(朝日出版社)2,625円

外国語

履修コード	299201
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	今関 アン

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

1年次に習得できなかった初級フランス語の理解を確実にする。
前期：(1) ガイダンス、アルファベ (2~7) 発音、数字、名詞、動詞、avoir、être、自己紹介 (10~14) -er 動詞、住所、好きなもの (15) 定期試験
後期：(1~7) 否定文、数字、所有・指示形容詞、時間表現、非人称構文 (8~11) aller、交通手段、疑問詞、prendre、目的の代名詞 (12~14) 代名動詞、複合過去 (15) 定期試験
2課毎に小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。
小テスト40%+定期テスト(60%)
『これだけでフランス語!』駿河台出版社

履修コード	299301
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	伊藤 なお

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

フランス語の基礎を学習しなおし、実用に適した知識を身につけます。
1) ~3) 受講上の諸注意 /Alphabet と発音の基礎 4) ~15) 文法の基礎(名詞/冠詞/形容詞/前置詞と定冠詞の縮約/人称代名詞強勢形/動詞現在形/近接未来・近接過去/命令形など)と会話練習(自分と家族の紹介、何をする?など)および読解 16) ~29) 文法の発展(補語人称代名詞/比較級/疑問代名詞/動詞過去形・未来形など)と会話練習および読解の発展 30) 復習と今後のフランス語学習について(中級に向けて)
積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。辞書は必ず持参して下さい。
平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。
藤田祐二著 『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 本体2,000円

履修コード	299501
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	^{たにかわ} 谷川 かおる

講義のねらい フランス文化に親しみながら、フランス語の基礎をゆっくりと学び直す。
 講義の内容・授業スケジュール (1) フランス語の歴史(2-3) 発音(4-8) あいさつ、自己紹介(9-30) 旅行に便利な表現など。
 履修上の留意点 毎回暗記小テストを行う。
 成績評価の方法 前期・後期の期末テストを基本とし、小テストを加算し、60点以上を合格点とする。
 教科書 フランク・デルバル他著『パス・パルトゥ』駿河台出版社、2,625円
 参考書等 参考書は授業中に指示する
 その他 出席重視。

履修コード	299601・299602
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	^{ほたなか} ^{ちあき} 畑中 千晶

講義のねらい やさしいフランス語で書かれたお話を読みます。日本語に訳す必要はありません。フランス語の問いにフランス語で答えることで、語彙・文法・コミュニケーション力などを総合的に伸ばしていきます。
 講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス/L1 (2)~(6) L2-4 (7) 復習 (8)~(13) L5-7 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出/L8 (17)~(21) L9-11 (22) 復習 (23)~(27) L12-14 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験
 履修上の留意点 ①毎回、辞書を持参してください。②基本的に予習は不要。その代わりに宿題を出します(平常点としてカウント)。
 成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%
 教科書 リリアンス・ラタンジオ/村松定史『続・小さなコントール読解からコミュニケーションへー(CD付)』2004年刊(駿河台出版社)2,500円+税

履修コード	299701・299702
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	^{いまざき} 今関 アン

講義のねらい 1年次に習得できなかった初級フランス語の理解を確実にする。
 講義の内容・授業スケジュール 前期:(1) ガイダンス (2~7) 代名動詞、半過去 (8~14) 関係代名詞、単純未来 (15) 定期試験
 後期:(1~7) 比較級、最上級、中性代名詞 (8~14) 条件法、接続法、目的の代名詞 (15) 定期試験
 履修上の留意点 課毎に小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。
 成績評価の方法 小テスト40%+定期テスト(60%)
 教科書 『新・彼女は食いしん坊!2』朝日出版社

履修コード	299801・299802
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	^{くわた} ^{のりあき} 桑田 禮彰

講義のねらい フランス語中級
 講義の内容・授業スケジュール まず発音の基本をしっかりと復習した上で、初級文法を再確認しながら簡単なフランス語の文章をゆっくり読んでいきます。できるかぎり分かりやすい解説を心がけます。
 (1) 受講上の諸注意(2) 発音の基本の復習(3)~(15) 初級文法復習を中心としたテキスト読解(16)~(29) 中級文法解説を中心としたテキスト読解(30) 復習と今後のフランス語学習について
 履修上の留意点 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
 成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
 教科書 授業開始時に受講者と相談の上決定。
 参考書等 そのつど授業で指示します。

履修コード	300601・300602
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	秋元 翼 <small>あきもと たすく</small>
講義の内容・ 授業スケジュール	発音の基礎からやり直し、初級文法・表現を学ぶ。全12課を1回1課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。
履修上の留意点	今年度は絶対に単位を落とさないという気持ちで授業に臨んで欲しい。4分の3以上の出席を要する。授業中は積極的に声を出して発音練習すること。
成績評価の方法	平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。
教科書	本間史・孟広学『中国語ポイント42』白水社、2100円+税

履修コード	301201・301202
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	天野 節 <small>あまの せつ</small>
講義のねらい	中国語の発音、初級文法修得。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1)発音(1~4) (2)人称代詞、指代詞(5~7) (3)数詞、時間詞、動詞(8~10) (4)形容詞等(11~13) (5)動態助詞、前置詞(14~17) (6)比較(18~21) (7)助動詞(22~25) (8)動態助詞、補語(25~30)
履修上の留意点	遅刻早退欠席せず、予習をすること。
成績評価の方法	テスト+課題+授業態度+出席
教科書	榎本英雄『おもしろスキット初級中国語』(同学社)2500円

履修コード	301301・301302
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>
講義の内容・ 授業スケジュール	発音と文法をゼロからていねいに勉強してゆく。
成績評価の方法	年間4~5回のテスト、出席点、その他の平常点を総合して成績評価を行う。授業進行のためのルールとマナーを守れない人、欠席が全授業回数4分の1を超えた人などは、その時点で受講をやめてもらう。卒業年次生も特別扱いではないので要注意! 必ず初回から出席すること。
教科書	古川裕・盧華岩『話し放題中国語』スリム版(金星堂) ¥2300+税 ISBN 978-4-7647-0679-8

履修コード	301401・301402
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	布施 直子 <small>ふせ なおこ</small>
講義のねらい	入門初級段階をていねいにゆっくり学習。
講義の内容・ 授業スケジュール	授業開始から4週は発音。5週から前期終了まで、人称代詞、「是、不是」と基本的動詞。後期に入り、経験、完了、助動詞を用いる表現、前置詞、受身、比較の表現を学習。
履修上の留意点	欠席をしないこと。積極的に取り組むこと。
成績評価の方法	出席状況、テスト、授業への積極性を評価。
教科書	鄧秀・湯海鵬著『ゆうゆう中国語』郁文堂。価格2500円+税。ISBN978-4-261-01821-9

履修コード	301501・301502
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>
講義のねらい	当初は、発音や基本的な文法の確認を行う。テキストは分かり易い文法説明と練習問題、簡単な会話文から成っている。一年を通じ、バランスの取れた学力向上を目指す。
講義の内容・ 授業スケジュール	第1回 発音・声調確認 他 第2回~第14回 本文・練習問題等 (うち1回は中間テスト) 第15回 期末テストの予定 第16回~第29回 本文・練習問題等 (うち1回は中間テスト) 第30回 学年末テスト
成績評価の方法	成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	八木章好・廣麗媚『はじめての中国語ぶうとんぼあ』朝日出版社 2200円 ISBN 4-255-45086-2C 1087

履修コード	301511・301512
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	曹 泰和

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
 講義の内容・授業スケジュール 基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。
 履修上の留意点 元気で、積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
 教科書 南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2100円＋税
 参考書等 開講時に説明する。

履修コード	301801・301802
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	本間 由香利

講義のねらい 中国語の基本である発音の訓練と語順を覚えることを重視し、各自が運用できるようにする。
 講義の内容・授業スケジュール 前期は発音訓練、発音矯正を重視します。さらに単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにします。次に難しい文章を読んだり書いたりするのではなく、必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。
 履修上の留意点 必ず出席をし、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 授業に出席していることを前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。
 教科書 『スタンダードチャイニーズ②上海旅行編』朝日出版社
 参考書等 授業内で指示します。

履修コード	301901・301902
科目名	中国語ⅢA〔再クラス〕 中国語ⅢB〔再クラス〕
担当者名	大久保 明男

講義のねらい 中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指します。
 講義の内容・授業スケジュール 基本的に教科書に沿って授業を進めていくが、折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定です。
 履修上の留意点 積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 毎回予習、復習すること。
 教科書 出席率、試験の成績、平常点の三項目で総合評価します。
 石慧敏・金子真也『上海びより』（好文出版）2000円

履修コード	302001・302002
科目名	中国語ⅣA〔再クラス〕 中国語ⅣB〔再クラス〕
担当者名	李 雲

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
 講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
 履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。
 成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
 教科書 相原茂等『えんぴつで覚える中国語』朝日出版社 2300円
 その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

外国語

履修コード	302601・302602
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。
後期15回で目的語代名詞、不規則活用の動詞、再帰動詞等を学習。
前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らか場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『Aventura』立岩礼子他著 同学社
参考書等 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』(三修社)

履修コード	302701・302702
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	さいとう あけみ 齋藤 明美

講義のねらい 直説法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。前期が終わるころには簡単な自己紹介や道を尋ねるなどの基本的な質問が、後期が終わるころにはスペイン料理店などで注文ができたり簡単な会話が交わせるようになります。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション(文字、数字、簡単な挨拶など) (1)
(2) 1課: こんにちは、私はマリアです(名詞の性・数、冠詞、ser 動詞)、2課: 私の母です(es-tar 動詞の用法)、3課: このあたりに銀行ありますか(存在文、前置詞)(2-9)
(3) 4課: 君は学生ですか(直説法現在、疑問文、否定文)(10-13)
(4) 5課: 私のめがねを探しています(所有形容詞、指示形容詞) 6課: 一緒に出かける?(直説法現在2、天候の表現)(14-19)
(5) 7課: 何にしますか(語根母音変化動詞、関係詞)、8課: ああ残念!(直説法現在3) (20-26)
(6) 9課: 病院で(目的格人称代名詞、gustar 型動詞)(27-30)

履修上の留意点 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法 出席状況、授業参加、各期末の定期試験によります。

教科書 内田/尾尻/稲森『Mucho gusto 初めてのスペイン語』同学社 2500円
参考書等 講義時に推薦する辞書の中から一番使いやすいと思うものを選び、活用しましょう。
その他の 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	302801・302802
科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	いしい のぶる 石井 登

講義のねらい スペイン語の基本的な文法を修得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は全12課からなっており、前期は1~6課、後期は7~12課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション(2~5)名詞、冠詞、ser、estar 動詞、形容詞など、(6~10)直説法現在の規則動詞・不規則動詞など、(11~15)目的語の人称代名詞、gustar 動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など。
後期は(16~20)点過去、線過去、現在分詞など、(21~25)過去分詞、再帰動詞など、(26~30)関係詞、接続法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書 福嶋教隆『動く!スペイン語』朝日出版社 2600円 978-4-255-55023-7

履修コード	303001・303002
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	荻野 恵

講義のねらい スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

講義の内容・授業スケジュール テキストにそって、文法の説明と練習を進める。
前期：名詞形容詞の性数変化、規則動詞の活用など。
後期：不規則動詞、再帰動詞など。

成績評価の方法 成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書 荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』(大学書林)

履修コード	303011・303012
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	佐藤 麻里乃

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール テキストにそって教員が解説を行い、その後受講者は関連する練習問題を解いて提出する。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 テキストと辞書を毎回必ず持参すること。授業時の提出物の出来具合により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法 試験は行わず、毎回の授業内で提出する課題の点数により評価する。やむをえない事情で欠席した場合は、(それを証明できる文書等を提出した場合に限り) 後日課題を提出すればその点数の80%をもって評価する。

教科書 未定(プリント配布の場合もあり)

履修コード	303101・303102
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい スペイン語Iなどで学習した基礎文法を復習しながら、現在完了、再帰動詞、過去形などの初級文法、および日常よく使われる口語表現などを教科書やプリントなどで具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。映像資料なども積極的に取り入れます。前期が終わるころにはスペイン語圏の友陣と簡単な雑談ができるようになります。後期が終わるころにはスペイン語圏に無理なく短期留学ができる力がつきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- (1) オリエンテーション・自己紹介(基礎の復習)(1)
 - (2) 9課 病院で(人称代名詞、gustar)、10課 映画スターのインタビュー(再帰動詞、時間の表現、人称代名詞2)(2-7)
 - (3) 11課 観光ツアーを探す(不定語、否定語、疑問詞) 12課 トルティージャを食べたことがありますか(過去分詞、現在完了、現在分詞、現在進行形)(7-13)
 - (4) これまでのおさらい(14)
 - (5) 中間試験(15)
- 後期
- (6) 13課 ショッピング(形容詞、副詞の比較) 14課 世界の偉人たち(点過去1)(16-21)
 - (7) 15課 言い訳はなし!(点過去2、時の経過を表すhacer)、16課 君の青春時代はどうだった?(線過去、点過去と線過去の違いなど)(22-28)
 - (8) まとめ(29)
 - (9) 定期試験(30)

履修上の留意点 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

毎回の出席、授業参加と各期末の定期試験(年二回)を総合的に判断します。
内田他『Mucho gusto 初めてのスペイン語』(テキスト+CD) 同学社、2500円
授業時に推薦する辞書の中から自分に合うものを探し、活用しましょう。
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	303201・303202
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義のねらい スペイン語Iで学習した内容を発展させ、文法知識と読解力とを深化させることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回 不規則動詞と目的語代名詞の形と用法を復習した後、点過去時制の規則活用、不規則活用を学習。
後期15回 点過去時制の復習の後、線過去時制、完了時制、未来時制、過去未来時制等を学習。
前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『やさしいスペイン語文法』大岩功著(三修社)
他に長文読解用のプリント教材を使用します。

参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	303301・303302
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	いしい のぼる 石井 登

講義のねらい スペイン語文法の基礎を復習し、修得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は全20課からなっており、前期は1~10課、後期は11~20課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション(2~5)名詞、冠詞、ser, estarなどの動詞、直説法現在の規則動詞など、(6~10)直説法現在の不規則動詞、所有詞、指示詞、比較級、最上級など、(11~15)点過去、線過去など。
後期は(16~20)現在分詞、過去分詞、現在完了、再帰動詞など、(21~26)未来形、過去未来形、命令法、関係詞など、(27~30)接続法など。
授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

履修上の留意点 福島教隆 『生き活きスペイン語』 朝日出版社 2000円 978-4-255-55013-8

成績評価の方法

教科書

履修コード	303501・303502
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
4) 基礎的な初等文法を学びます。
5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切です。

4-7月はイントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

履修上の留意点 PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価します。

教科書 杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円

参考書等 『露和辞典』

履修コード	303601・303602
科目名	ロシア語I A〔再クラス〕 ロシア語I B〔再クラス〕
担当者名	佐野 朝子

講義のねらい 発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月は、イントネーション、発音に力を入れる。
9-12月は、やさしい短文のききとり、初級文法を学ぶ

履修上の留意点 予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法 平常点を重視します。

教科書 絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

履修コード	303701・303702
科目名	ロシア語I A〔再クラス〕 ロシア語I B〔再クラス〕
担当者名	木村 英明

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
4) 基礎的な初等文法を学びます。
5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4月-7月は、イントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
参考書 『露和辞典』

履修コード	303801・303802
科目名	ロシア語I A〔再クラス〕 ロシア語I B〔再クラス〕
担当者名	安德 ニーナ

講義のねらい 基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて講義を進める。
4-7月 発音、イントネーション。
9-12月 読み書きを学ぶ。

履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書 桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)

参考書 必要に応じてその都度資料を配布する。

外国語

履修コード	303901・303902
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。

講義の内容・授業スケジュール ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
4-7月 発音、会話を学ぶ。
9-12月 会話力を一層高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他の他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304001・304002
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>おびすか ふみかず</small> 大須賀 史和

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。

講義の内容・授業スケジュール ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
4-7月 基礎文法の復習。
9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他の他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304101・304102
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>あんどく</small> 安德 ニーナ

講義のねらい 一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて講義を進める。
4-7月 基礎文法の復習。
9-12月 会話と読解に重点をおく。

履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書 桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)

参考書等 必要に応じてその都度資料を配布する。

履修コード	284901
科目名	英文講読
担当者名	林 明人

講義のねらい 現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるように
なれば幸いです。

講義の内容・ 授業スケジュール	1	pp.1-2	プリント (1) 配布	16	pp.1-2	プリント (2) 配布
	2	pp.3-4	(試訳提出)	17	pp.3-4	(試訳提出)
	3	pp.5-6		18	pp.5-6	
	4	pp.7-8		19	pp.7-8	
	5	pp.9-10		20	pp.9-10	
	6	pp.11-12	(試訳提出)	21	pp.11-12	(試訳提出)
	7	pp.13-14		22	pp.13-14	
	8	pp.15-16		23	pp.15-16	
	9	pp.17-18		24	pp.17-18	
	10	pp.19-20		25	pp.19-20	
	11	pp.21-22	(試訳提出)	26	pp.21-22	(試訳提出)
	12	pp.23-24		27	pp.23-24	
	13	pp.25-26		28	pp.25-26	
	14	pp.27-28		29	pp.27-28	
	15	前期試験		30	後期試験	

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法 ①試訳(40%)②試験(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①~②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書 教員が作成したものをを用います。

履修コード	285001
科目名	英文講読
担当者名	矢島 直子

講義のねらい 昨夏ロンドンで観たオーストラリア人劇作家の喜劇作品を読みます。現実に近い英語会話と戯曲
の読み方を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール 戯曲を読んで意味を言ってもらい、こちらで訂正したものを言います。
授業スケジュール 1回目-授業の説明、2~14回目-各回2~4ページずつ進む。15回目-前
期末試験。16回目-前期末試験の解説、17~29回目-各回2~4ページずつ進む。慣れれば進度を
あげます。30回目-後期末試験。

履修上の留意点 どんどん当てますから、必ず予習をしてください。1回目の授業から出て下さい。

成績評価の方法 平常点と前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書 Joanna Murray-Smith, *The Female of the Species*, Nick Hern Books, £ 8-99, ISBN 978-1-8545
9-522-5.

履修コード	285101
科目名	英文講読
担当者名	前田 脩

講義のねらい 17世紀のフランス式整形庭園から、それに対立するかのよう登場したイギリス式風景庭園までの
過程を英文による庭園史の中で見てゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール 一回にテキスト二章づつ進みます。テキストが終わったのち、The Formal Garden の中からプリ
ントを配布します。

履修上の留意点 あくまでも購読の時間ですから予習が重要です。

成績評価の方法 日常評価を60%、前期テストを10%、後期テストを20%の割合で評価します。

教科書 English Garden (イギリス庭園) 南雲堂 ¥1,200
ISBN4-523-18506-9

履修コード	285701
科目名	時事英語研究
担当者名	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>

講義のねらい	「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしうて言えば“Current English”ということになろうか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではない。メディアの英語と考えてよいであろう。 小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終わりに近くなってクライマックスに達する。メディアの英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、次に重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。
講義の内容・授業スケジュール	かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義でそういった分野の英語、また journalese に親しんでもらう。英字新聞なども気軽に読むようになってほしい。 講義の性質上、新鮮な素材を使用する。その素材のソースとするところはイギリスの BBC4、アメリカの npr (national public radio) や VOA (Voice of America)、さらに新聞や雑誌というところ。夏休み前の初夏の頃、秋風が立つ頃、それぞれの時期に一番世界で話題になっているものを追っていく。従って、特定の教科書は使用しない。
履修上の留意点	事前に資料を配布するので、必ず下見をしてください。世界の政治・経済の動きにも常に注意を払いフォローしてほしい。その意識が効果を上げることになるし、それが社会の事象に対して問題意識を持つことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノをいう。
成績評価の方法	前期・後期の試験、予習の出来具合、出欠・遅刻状況等、総合的に評価する。被りものは脱いでから教場へ入る。ケータイは切っておく。携帯するものは辞書。
教科書	上に記したように特定のものは使用しない。

外国語

履修コード	285801
科目名	時事英語研究
担当者名	梅原 敏弘 <small>うめはら としひろ</small>

講義のねらい	新聞英語・放送英語の特徴を身につけることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	できる限り現在話題になっている英文記事を英字新聞、英語雑誌、インターネットなどから選び、講読していきます。放送英語にもなれるため、録音されたニュースも教材として使用します。
履修上の留意点	予習は不可欠です。英文記事を理解するためには英語の知識だけではなく背景の知識も欠かせません。普段から時事問題に関心を持つようにしてください。
成績評価の方法	成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。
教科書	使用しません。ハンドアウトを配布します。
参考書等	学習者用の英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の) を購入し、利用してください。

履修コード	285811
科目名	時事英語研究
担当者名	白鳥 義博 <small>しろとり よしのぶ</small>

講義のねらい	政治を中心とした時事的なトピックの英文を多読し、語彙力と速読力を高める訓練を行う。あわせて、音読の練習を通してリスニング力の向上も図る。英語学習だけではなく、時事的なトピックに対する強い好奇心と意欲をもって受講されたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期：(1) ガイダンス (2~14) 毎回ひとつのチャプターを進めてゆく (15) 前期末試験、後期：(15~28) テキストを進める (29) 総復習 (30) 後期末試験 *その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。
履修上の留意点	選択履修の授業であるので不真面目な態度での受講は決して許されない。注意されたい。
成績評価の方法	授業への参加の熱心さ、課題への取り組み、出席状況、テストの結果などから総合的に判断する。
教科書	『NHKワールド・ニュースで学ぶ「聴く英語、読む英語」』(南雲堂、2009年) ¥2,100

履修コード	285901
科目名	時事英語研究
担当者名	おちあい かずみ 落合 和昭

講義のねらい このクラスのレベルは英語の中級から上級（英検二級、準一級、一級）程度とし、新聞、雑誌、インターネット、ラジオ、テレビ等で使用されている英語を読み、聞き取ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、書き取りをする。第三段階は、リスニングで聞いたニュースの意味を、文字を通して、確認する。

年間の授業計画は次の通りである。

第一回	オリエンテーション	
第二回	『ライフスタイル』	Chapter1
第三回	『ライフスタイル』	Chapter2
第四回	『ライフスタイル』	Chapter3
第五回	『ライフスタイル』	Chapter4
第六回	『ライフスタイル』	Chapter5
第七回	『ライフスタイル』	Chapter6
第八回	『ライフスタイル』	Chapter7
第九回	『ライフスタイル』	Chapter8
第十回	『ライフスタイル』	Chapter9
第十一回	『ライフスタイル』	Chapter10
第十二回	『ライフスタイル』	Chapter12
第十三回	『ライフスタイル』	Chapter13
第十四回	『ライフスタイル』	Chapter14
第十五回	前期試験	
	(『ライフスタイル』 Chapter 14,16,17)	
第十六回	『ライフスタイル』	Chapter18
第十七回	『ライフスタイル』	Chapter20
第十八回	『ライフスタイル』	Chapter21
第十九回	『ライフスタイル』	Chapter22
第二十回	『ライフスタイル』	Chapter23
第二十一回	『ライフスタイル』	Chapter24
第二十二回	『CNN』	UNIT1
第二十三回	『CNN』	UNIT2
第二十四回	『CNN』	UNIT3
第二十五回	『CNN』	UNIT4
第二十六回	『CNN』	UNIT5
第二十七回	『CNN』	UNIT6
第二十八回	『CNN』	UNIT7
第二十九回	『CNN』	UNIT8
第三十回	後期試験	

(『CNN』のUNIT9,10,11,12)

※上記の『ライフスタイル』は『ライフスタイルとニュービジネス』、『CNN』は『CNN：ビデオで見る世界のニュース (10)』

なお、リスニングは毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は、学生の事前の予習を前提にし、徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を求める。前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『ライフスタイルとニュービジネス』成美堂 1,600円 ISBN4-7919-4049-0 C1082
- 2) 『CNN：ビデオで見る世界のニュース (10)』朝日出版社 2,000円 ISBN978-4-225-15461-9 C1082
- 3) プリント

履修コード	285911
科目名	時事英語研究
担当者名	矢島 直子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

辞書を引いて英米のニュースを読めるようになり、聞き取りにも慣れてもらうこと。
講義内容は、英語の記事を聞き、読んで意味を取ってもらうもの。

授業スケジュール

1回目—授業の説明。2～4回目— Unit 1、5～7回目—U7、8～10回目—U8、11～13回目—
U9、14回目—見直し、15回目—前期末試験。16回目—前期末試験解説、17～19回目—U15、20～22
回目—U19、23～25回目—U20、26～28回目—U22、29回目—見直し、30回目—後期末試験。

履修上の留意点

どんどん当てて意味を取ってもらいますから、必ず予習すること。1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法
教科書

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

佐藤公雄『オンラインニュースで学ぶ世界情勢』、成美堂、1,800円、ISBN4-7919-1043-5。

外
国
語

履修コード	286501
科目名	マルチ・メディア
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭

講義のねらい

このクラスに副タイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級から上級（二級、準一級、一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、リスニングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、リスニングを向上させる。第二段階は、会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『ネイティブ』 UNIT1
- 第三回 『ネイティブ』 UNIT2
- 第四回 『ネイティブ』 UNIT3
- 第五回 『ネイティブ』 UNIT4
- 第六回 『ネイティブ』 UNIT5
- 第七回 『ネイティブ』 UNIT6
- 第八回 『ネイティブ』 UNIT7
- 第九回 『ネイティブ』 UNIT8
- 第十回 『ネイティブ』 UNIT9
- 第十一回 『ネイティブ』 UNIT10
- 第十二回 『ネイティブ』 UNIT11
- 第十三回 『ネイティブ』 UNIT12
- 第十四回 『ネイティブ』 UNIT13
- 第十五回 前期試験
（『ネイティブ』 UNIT14,15,16,17）
- 第十六回 『UNIT18,19,20』
- 第十七回 台本の読み方について
- 第十八回 『映画』 UNIT1～4 （単語、熟語）
- 第十九回 『映画』 UNIT5～8 （単語、熟語）
- 第二十回 『映画』 UNIT9～10 （単語、熟語）
- 第二十一回 『映画』 UNIT1
- 第二十二回 『映画』 UNIT2
- 第二十三回 『映画』 UNIT3
- 第二十四回 『映画』 UNIT4
- 第二十五回 『映画』 UNIT5
- 第二十六回 『映画』 UNIT6
- 第二十七回 『映画』 UNIT7
- 第二十八回 『映画』 UNIT8
- 第二十九回 『映画』 UNIT9
- 第三十回 後期試験
（『映画』 UNIT10,11,12）

※『ネイティブ』は『ネイティブ英語の慣用表現（2）』、『映画』は『映画シナリオ：海辺の家』。なお、リスニングは毎回行う。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、少々、つらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40数名しか入れないLL教場を使用するので、それ以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験は20%、その他（課題、小テスト、授業中の発表等）は60%とする。出席率は、前・後期試験を除いた、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」となる。

教科書

- 1) 『ネイティブ英語の慣用表現（2）』 マクミラン 1,800円 ISBN978-4-89585-333-0 C3082
- 2) 『映画シナリオ：海辺の家』 英宝社 1,900円 ISBN978-4-269-09005-7 C1082
- 3) プリント

履修コード	286601
科目名	マルチ・メディア
担当者名	<small>おおば なおき</small> 大庭 直樹

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。
 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。

履修上の留意点

第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。
 受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。また、後期のパワーポイントを使ってのプレゼンテーションも成績評価の対象である。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

外国語

履修コード	286701
科目名	マルチ・メディア
担当者名	<small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

映画の英語に慣れることを目標とします。
 1942年に製作されたアメリカ映画 Casa Blanca を教材として使用します。この映画を十分鑑賞するためには、時代背景などの知識が不可欠ですが、まずは各場面で使われている英語がある程度理解できなくてははいけません。授業はリスニング・コンプリヘンションを中心としますが、日常会話で使えるような表現をピックアップし学習することによって、英語での表現力の向上をも目指します。

履修上の留意点

映画の英語の聞き取りは難しいので、途中で give up しないこと。

成績評価の方法

前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心に、出席、授業への積極的参加なども考慮したうえで成績評価をします。

教科書

使用しません。

履修コード	286801
科目名	マルチ・メディア
担当者名	大庭 直樹

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法</p> <p>そ の 他</p>	<p>このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。</p> <p>第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。</p> <p>第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。</p> <p>第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。</p> <p>第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。</p> <p>後期からは、パワーポイントを使って、テーマを決めてプレゼンテーションをしてもらう。</p> <p>受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。</p> <p>試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。また、後期のパワーポイントを使ってのプレゼンテーションも成績評価の対象である。</p> <p>受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。</p>
--	--

履修コード	264201・264301・264601
科目名	英会話I
担当者名	セイジ, K

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・ 授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点 成績評価の方法</p> <p>教科書 参考書等</p>	<p>Those students who are interested in English conversation - but a little underconfident - should take this course. The course aims to build your interest and confidence in English conversation for the real world.</p> <p>In lessons there will be mainly pair work and some small group work. Each class we will look at different English functions, then you will practice them. The functions will build to reflect a life-like situation of the real world. About 5 situations will be done.</p> <p>Please come to class willing to try to participate at your best.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Class activities 2. Pair performances × 5 (about) 3. Attendance and attitude 4. YeStudy work and use <p>There is no textbook. You will need to keep the printouts and YeStudy will be used. A dictionary, preferably an electronic one.</p>
---	--

履修コード	264401・264501・264801・265321
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

講義の内容・
授業スケジュール Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!
First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN!

履修上の留意点 There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please DO NOT take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.

Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times.
There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法 Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 40 students in the classroom!

Attendance: 50%
Tests: 25% (one test each semester)
Quizzes: 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書 There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他 The first class is VERY important, so please do not be absent!
I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a fine university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun!

SEE YOU IN CLASS SOON!

外国語

履修コード	264701・265001・265311
科目名	英会話I
担当者名	ミックエリゴット, J. P.

講義のねらい This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容・授業スケジュール Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, to be able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs. Students will ask each other questions and offer opinions according to the theme of each chapter of the text.

履修上の留意点 Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.

成績評価の方法 GPA方式

教科書

Dale Fuller & Clyde Grimm 著 "New Airwaves Developing Better Listening Skills"
Macmillan Language House \2,100

参考書等

Bilingual dictionary

外国語

履修コード	264901
科目名	英会話I
担当者名	レーン, C.M.

講義のねらい This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy then they might find this class difficult.

成績評価の方法

- (ア) Attendance 20 %
- (イ) Participation during class 50 %
- (ウ) Individual presentation 10 %
- (エ) Group presentation 20%

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

A good dictionary
A file to keep work sheets together-A4 size

履修コード	265101・265301
科目名	英会話I
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes, so good attendance will be required.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about skills and abilities.
- 3) Exchanging personal information politely.
- 4) Time and date.
- 5) Daily routines.
- 6) How often? Adverbs of frequency.
- 7) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 8) MOVIE #1 viewing and discussion of a movie's content.
- 9) Talking about likes and dislikes.
- 10) Where does it go? Prepositions of location.
- 11) Giving directions.
- 12) Favorite holidays and places.
- 13) Comparative adjectives and superlatives.
- 14) Review and practice exercises
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of the previous term's class topics and test questions.
- 17) Describing people.
- 18) Best friends.
- 19) Talking about family.
- 20) Favorite movies and actors/actresses.
- 21) MOVIE #2 viewing and discussion of a movie's content.
- 22) About tomorrow. Questions and answers about the future.
- 23) About yesterday. Talking about the past.
- 24) Do you remember when ... ? Conversation game.
- 25) In a restaurant. Food ordering role-plays.
- 26) What do you think of ... ? How to give and listen to opinions.
- 27) Looking ahead. Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty-fifty Book 1 (Third Edition) ISBN 962-00-5665-5
Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	265201
科目名	英会話I
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい	This course enables students to use better conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as to improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.
講義の内容・授業スケジュール	[1] Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted student presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams will draw from selected textbook activities.
履修上の留意点	Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence from 1/3 of classes will result in a failing grade.
成績評価の方法	Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.
教科書	Steven Molinsky and Bill Bliss Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4 Longman 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	287401
科目名	英会話II
担当者名	セイジ, K

講義のねらい	If you want to take your English conversation to the next level through discussions, then you should choose this course. The course aims to further build on your English conversation skills and develop your discussion skills as well. The teacher's role will be a facilitator in this class and students will be expected to contribute topics for discussion in class.
講義の内容・授業スケジュール	In lessons, you will do pair work. Individually you will be expected to contribute your own topics of interest for conversation or discussion. The pair work builds to a challenging scenario that you would find in the real world. You will be assessed on your ability to function in these scenarios.
履修上の留意点	Due to the conversation and discussion focus of this course, you must be prepared to come to every class ready at first to speak and then move on to discussing things in English.
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. Class activities 2. Pair performances 3. Individual contributions 4. Attitude and attendance 5. YeStudy work and use
教科書 参考書等	There is no textbook. You will need to keep the printouts and YeStudy will be used. A dictionary, preferably an electronic one.

履修コード	287501
科目名	英会話II
担当者名	ロンゴ, T.

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about likes/dislikes and preferences.
- 3) Family relationships.
- 4) The place where you live.
- 5) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 6) Daily routines and habits.
- 7) Feelings and emotions.
- 8) Going places: Holiday destinations and travel tips.
- 9) Favorite holidays and places.
- 10) Comparative adjectives and superlatives.
- 11) Talking about the best and the worst.
- 12) Explaining problems and making excuses.
- 13) Borrowing and lending.
- 14) Talking about culture and festivals.
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of last term's class topics and test questions.
- 17) Do you remember when ... ?
- 18) Best friends.
- 19) Favorite movies and actors/actresses.
- 20) MOVIE viewing and discussion of movie's content.
- 21) A special time and a special person.
- 22) Making plans: Offers and requests.
- 23) What should I do? How to give advice.
- 24) Dilemmas discussion game: I need your advice because ...
- 25) Tell me a story. Retelling stories and interesting past events.
- 26) In my opinion.
- 27) Looking ahead: Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic Japanese-English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a conversation test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8
Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287601
科目名	英会話II
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい This course will enable students to use better conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as to improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class..

講義の内容・授業スケジュール [1]Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to student presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams will draw from selected textbook activities.

履修上の留意点 Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence from 1/3 of the scheduled classes will result in a falling grade.

成績評価の方法 Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.

教科書 Steven Molinsky and Bill Bliss *Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4* Longman 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	287701
科目名	英会話III
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak freely.

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester:

Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Current events ARE important!

履修上の留意点

Your grade will be determined by your participation in class as well as your attendance. ATTENDANCE is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class.

There are NO exceptions for activities in sports or for JOB HUNTING. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

* It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!
Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this when we meet.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Grading: Class participation evaluation and attendance

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded.

Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 (A4 size) should be used.

その他

Notebooks will be checked in the second class.

I am an older American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I.

If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class.

SEE YOU IN CLASS!

外国語

履修コード	287801
科目名	英会話Ⅲ
担当者名	レーン, C. M.

講義のねらい This course concentrates on improving communication, discussion and fluency skills in English. During the first semester a different topic will be discussed each week through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel confident when speaking in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール During the first semester students will be invited to give their opinion on a variety of different issues. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech. Then, during the second semester more time will be spent on more in depth group discussions. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a controversial topic of their choice.

履修上の留意点 As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Also, students who are not prepared to give their opinions strongly might find this class difficult.

成績評価の方法 (ア) Attendance 20 %
(イ) Participation during class 50 %
(ウ) Individual presentation 10 %
(エ) Group presentation 20 %

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書 A good dictionary
A file to keep work sheets together-A4 size

履修コード	265401
科目名	英語 L L I
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義のねらい 聞き取り、読む力を同時につける。日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る方を向上させていく。TOEIC形式の模擬試験を前期1回後期1回行う。すくなくともスコアで150から300程度のアップをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

1. 小テスト（1）実施（受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う）
2. 聞き取り、書き取り訓練（1）
3. 聞き取り、書き取り訓練（2）
4. 聞き取り、書き取り訓練（3）
5. 聞き取り、書き取り訓練（4）
6. 小テスト（2）
7. 英語での自己紹介（1）
8. 英語での自己紹介（2）
9. 英語での自己紹介（3）
10. 聞き取り、書き取り訓練（5）
11. 聞き取り、書き取り訓練（6）
12. 聞き取り、書き取り訓練（7）
13. 小テスト（3）

後期

1. 小テスト（4）
2. 聞き取り、書き取り訓練（8）
3. 聞き取り、書き取り訓練（9）
4. 聞き取り、書き取り訓練（10）
5. 聞き取り、書き取り訓練（11）
6. 小テスト（5）
7. 英語でおこなうペアワークと書く英語（1）
8. 英語でおこなうペアワークと書く英語（2）
9. 英語でおこなうペアワークと書く英語（3）
10. 英語でおこなうペアワークと書く英語（4）
11. 小テスト（6）
12. 復習とまとめ（1）
13. 復習とまとめ（2）

履修上の留意点

全員コンピュータIDを取得しておくこと。（総合情報センターで取得可能）。
例年希望者が多いので振り分けテストをおこなう。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、TOEIC形式模擬試験の成績、上昇度などによる。定期試験は実施しない。

教科書
参考書等
その他

配布資料、および教場内コンピュータにある教材をつかう。
授業中に提示する。

ウェブ上でおこなう宿題は YeStudy などをつかい、電子データでの音の持ち帰りもできる。フラッシュメモリー（USB）、自宅での吹き込み用簡易ヘッドセット（マイクつき）などを用意しておく
と便利。

外国語

履修コード	265501
科目名	英語 L L I
担当者名	さしもと しげかず 岸本 茂和

講義のねらい 聴解能力一会話において相手が何を話しているか聴き取れる力の涵養につとめる。「習うより馴れる」を標語に1年間やってゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

教場のPCに既設のソフトであるPC@LLを利用しながら必要におうじて映画DVDなどの商用ソフトも使用する。授業時にはいわゆる「双方向性」にのっとりIT機器をとおした受講生の自主的参加がもためられる。

履修上の留意点

出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかならず携行のこと。電子辞書も可。電子辞書をあらたに購入する用意のある受講生は「英和大辞典」が入っているものを選ぶこと。

成績評価の方法

前期・後期試験の結果および平常点ならびに出席状況等をかながみ評価する。試験形式はセンター入試の Listening Tests とおなじような形になるであろう。

教科書
参考書等
その他

開講時に指示する。
このシラバス（授業内容）作成の時点（平成20年12月）から21年4月の開講時までに担当者（岸本）の機器習熟とソフトの研究により一部授業内容が変更することもあることを付記する。

履修コード	265601
科目名	英語 L L I
担当者名	井伊 順彦

講義のねらい リスニング、スピーキングの初歩から始まり、最終的には高度なニュースをある程度は聞き取れ、かつ内容のあるスピーチができるまで実用能力を高めること。

講義の内容・授業スケジュール 初心者が少なからず履修する点に留意して発音練習を重視するとともに、書き取りの時間を確保する。ビデオ、DVDも活用するつもり。

履修上の留意点 毎回おそらく一度は指名され、なんらかの問題に解答してもらおうことになる。また各自の練習時間もかなり設ける。積極的な姿勢が大事。

成績評価の方法 数回の小テストの成績、ひんぱんな質疑応答の出来、出席数などを柱とするが、詳細は教室で。

教科書 『話すためのリスニング』南雲堂 1900円（税別）

参考書等 おりにふれて教室で指示する。

履修コード	265701
科目名	英語 L L I
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい 英語の母音、子音、ストレス、単語と単語のリエゾン等の発音を練習し、ネイティブスピーカーが聞いて分かる明確な発音で話すことが出来るようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には、日常の様々な場面を再現したスキットをビデオで見ながらリスニング能力の向上をはかりつつ、スキットの中で用いられた単語や、フレーズ、文章等の発音練習を行います。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点 (1)オリエンテーション (2~5) Unit1~10 (15~30) Unit11~20

成績評価の方法 恥ずかしがらずに大きな声で明瞭に発音することをこころがけてください。

教科書 平常点50%、前期末と後期末の試験50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

村川久子『Sounds Right! Sounds Good!』マクミランランゲージハウス ￥2000（税別）ISBN4-89585-304-7

履修コード	265801・265901
科目名	英語 L L I
担当者名	外池 一子

講義のねらい リスニングに欠かせない英語の音声変化と聞き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後英語のニュースを中心に、比較的短いモノログやダイアログなどを正確に聞き取れるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 1. 前期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。

(a) 個音（母音、子音）の識別
(b) 連結
(c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
(d) 脱落・同化
(e) リズム、イントネーション

2. 後期は実際の聞き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。

(a) ニュース
(b) ドキュメンタリー
(c) 映画、ドラマ
(d) インターネット

履修上の留意点 授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。

また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法 平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書 開講時に指示します。

その他の 毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

履修コード	266001
科目名	英語 L L I
担当者名	甲斐 捷子

講義のねらい 外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、パランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から始めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、スピーキング力が身につきます。中、高等学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール テキスト各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期後半にはビデオ2本を終了し、American Accent Training へ進み、アメリカ英語の特色であるリエゾンの訓練を通して、リスニング力、スピーキング力の飛躍的なレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点 発音の訓練は早いほど良いので、1、2年次での履修が望ましいと思います。

成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書 Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス 2,100円 ISBN: 978-4-89585-304-0

参考書 American Accent Training 2nd ed. Barrons. \$39.95

その他 特になし。

外国語

履修コード	266101
科目名	英語 L L I
担当者名	久保 ひさ子

講義のねらい 海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎週、小テストあり。

履修上の留意点 クラス同時録音のため、遅刻しないように、又、実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法 前期試験と、授業実習点と、小テストの合計点

教科書 マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂 ¥1,200

履修コード	288501
科目名	英語 L L II
担当者名	セイジ, K

講義のねらい If you are interested in integrated language skills (reading+speaking+listening+writing - at the same time!) in a multimedia atmosphere, then this course will be a good challenge for you.

講義の内容・授業スケジュール Since this course is in the LL room, we will have access to online authentic sources from web-sites, including video and audio. In lessons, you will be expected to combine the resources provided by the teacher and/or yourself from the internet, into pairwork activities and real-world scenerios presented to the class. Various activities on YeStudy will also be required.

履修上の留意点 As this course is a little intensive, you must be prepared to have a good attitude and try your best to keep up with the material provided and your YeStudy work.

成績評価の方法

1. Class activities
2. Pair work and scenario presentations
3. YeStudy work and use
4. Attendance and attitude

教科書 There is no textbook. You will need to keep up-to-date with the online material and your YeStudy work.

参考書 Know of a good online dictionary.

履修コード	288601
科目名	英語 L L II
担当者名	高橋 明子

講義のねらい ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるように練習を重ねていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じて映画などの教材やTOEICのリスニング・セクションの問題も取り入れます。テキストの各 Unit を二回の授業を目安にして進め、前期に Unit6 まで、後期に Unit12 までを学びます。

履修上の留意点 毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

成績評価の方法 平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書 『CNN：ビデオで見る世界のニュース（10）』（朝日出版社）2,000円＋税
ISBN978-4-255-15461-9

履修コード	288701
科目名	英語 L L II
担当者名	加藤 佐和子

講義のねらい TOEICの高得点を目指して、リスニング強化の訓練する。

講義の内容・授業スケジュール テキストに、Tactics for TOEIC を用い、TOEICの攻略法を研究し、練習問題を解きながら実践的力をつける。テキストの Listening Test Part を1ユニットずつ進む。

履修上の留意点 TOEICの Reading Part は、各自自習すること。

成績評価の方法 授業の参加度 50%
毎回の小テスト 50%

教科書 Tactics for TOEIC Listening and Reading Test, Student Book (Oxford University Press)

履修コード	289301
科目名	英語 L L III
担当者名	勅使河原 三保子

講義のねらい 英語圏の大学に留学するためのリスニング・スピーキング力の養成を目指します。英語圏の大学の授業では、読んだ記事や自分のレポートの口頭での要約が求められることもあります。この授業では、英語でプレゼンテーションを行うための準備、スピーチの仕方を学び、スピーキングの訓練をします。留学希望者でなくても、英語によるプレゼンの練習をしたい学生も歓迎します。

講義の内容・授業スケジュール 授業中に2回プレゼンテーションをしてもらいます（前後期各1回）。授業では英語でプレゼンテーションを行うための準備の仕方と講義の聞き方について学び、学んだスキルを練習します。

成績評価の方法 2回のプレゼンテーション、提出物、平常点

外
国
語

履修コード	289401
科目名	英語 L L III
担当者名	西村 祐子

講義のねらい 英字新聞を使い、時事問題をつかってディスカッションやプレゼンテーションをしながら読み書き話す英語力をやしなう。1年間の受講の後、すくなくともスコアが50から100程度は上昇することをめざす。授業はすべて英語でおこなう。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：

- (1) 自己紹介、The Japan Times の記事にもとづくディスカッション
- (2) Herald Tribune の記事を選び各自プレゼンテーション
- (3) The Japan Times 上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
- (4) TOEIC形式模擬テスト(1)
- (5) TOEIC形式模擬テスト(2)
- (6) テーマにそったまとめとディスカッション(1)
- (7) 小テスト
- (8) まとめとディスカッション(2)
- (9) Herald Tribune の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (10) The Japan Times の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (11) まとめと英語サマリー提出
- (12) 小テスト
- (13) プレゼンテーションとディスカッション

後期

- (1) 夏休み課題 のまとめ：ディスカッションとプレゼンテーション
- (2) Herald Tribune の記事を選び各自プレゼンテーション
- (3) The New York Times 上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
- (4) まとめと小テスト
- (5) Herald Tribune より記事を選びプレゼンテーションとディスカッション
- (6) テーマにそったまとめと英語サマリー提出
- (7) 小テスト
- (8) まとめとディスカッション(2)
- (9) The New York Times の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (10) 小テストと英語サマリー提出
- (11) 関連トピックをオンラインで検索、英語でサマリーをする。
- (12) TOEIC形式模擬試験 (1)
- (13) TOEIC形式模擬試験 (2)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

受講者はTOEICで650点以上のレベルであること。受講制限あり。
平常点(出席点40%)、模擬TOEICテストのスコア40%、小テストスコア(20%)など。
オンラインで入手できる英字新聞(The Japan Times, Herald Tribune, The New York Times など)および教場にある英語学習ソフト、youtube などのオンラインによるビデオ教材。

参考書等
その他

教場で指示する。
PC教場にある英語学習ソフトも使用するのを持ち帰り用としてUSBメモリースティックや家庭学習用に簡易ヘッドセット(マイクつき)を用意しておくとい。

履修コード	289501
科目名	英語 L L III
担当者名	久保 ひさ子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。
テキストを再生、聞きとり、書きとり、解答し、反復練習する。授業後半は、ABC or BBC ニュースのビデオ or DVD を使用します。
実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
前期試験と授業実習の合計点
World Times of Japan, Michigan Action English Step 6 ￥3,000

履修コード	285201
科目名	名文で味わうドイツ語
担当者名	<small>まつおか すずむ</small> 松岡 晋

講義のねらい 日本の現代作家、村上春樹の小説『海辺のカフカ』のドイツ語訳“Kafka am Strand. Roman“(btb-Verlag, München 2006)を部分的に読みます。ときには原文の日本語と同箇所のドイツ語をつき合わせて、この箇所をドイツ人の訳者(Ursula Gräfe)はどう解釈してドイツ語に移し換えたのであろうか、などといったことも考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール ドイツ語訳でも600ページ以上の長編小説ですから、そのうちの5~10箇所ほどを集中的に読みます。上述のように、適宜、日本語の原文も参照します。講読の速度は授業参加者の理解度によって定めます。

履修上の留意点 毎回の予習をきちんと行ってください。また、授業には必ず独和辞典を持参してください。受講者は少数と予測されますので、ほぼ毎回、分担箇所を和訳してもらうことになるでしょう。日本文学専攻の方も受講を歓迎いたします。なお、講義担当者が作成した語句の語学的小および内容的説明のための注解を配布いたします。

成績評価の方法 試験はおこなわず、出席率と分担箇所の和訳の出来具合に基づいて成績を評価いたします。

教科書 教材はコピーで配布いたします。

参考書等 参考書、辞書などは授業の初回に紹介いたします。

履修コード	286001
科目名	現代を読むドイツ語
担当者名	<small>のじま としあき</small> 野島 利彰

講義のねらい ドイツ語圏の新聞を読み、それぞれの国が抱えている問題を知り、その対処の仕方を学びます。今年度は環境問題の記事を中心に取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール 訳読は原則として希望者に任せますが、少人数クラスなので一回の授業で必ず一度は順番が回って来ることを予定してください。なお記事に関しては難しい文法事項、単語などを前もって解説し、辞書を引きやすいようにします。

履修上の留意点 文を読む上で必要なのは、正確な文法知識です。1年次の文法教科書を復習しておいて下さい。授業に対する貢献度、例えばどれだけ予習し、どれだけ訳を発表したかが評価の重要な基準です。

成績評価の方法 プリントを配布します。

その他 日本語での知識があればあるほどドイツ語の記事は簡単に読めます。日本の新聞・雑誌あるいは新書などで温暖化の問題や地球環境に関して知識を入れておいて下さい。

履修コード	286901
科目名	ドイツ語スキルアップ
担当者名	<small>ほりうち みえ</small> 堀内 美江

講義のねらい はじめて学んだドイツ語を、せつかくですから少しでもモノにしてみませんか？新たに学びなおし、最後には「けっこうできるな、自分」と思えるようになります！この授業は、あやふやだったドイツ語の語いや知識を整理整頓しつつ、「話す」「聞く」「書く」「読む」という技能をていねいに訓練し、獲得していきます。

講義の内容・授業スケジュール ドイツの文化背景を紹介しつつ、前期は「話す」「聞く」に重点を置き、映像や聴覚資料を用いてそのスキルを鍛えます。後期は「書く」「読む」に重点を置き、インターネットなどを使いながら、さまざまなドイツ語の姿に触れていきます。

履修上の留意点 出席をこころがけるようにしてください。せつかく獲得したスキルも、毎週使わなければ衰えてしまいます。また、ドイツの文化や歴史で関心を引くテーマを見つけ、それに関して使われるドイツ語などから、興味を持ってみるといいでしょう。

成績評価の方法 試験は行いません。平常点で評価します。

教科書 プリント配布予定。

参考書等 必要に応じて教場で指示します。

その他 楽しく、皆さんがドイツが好きになれるような授業を心がけたいと思います。がんばってドイツに行ったり、ドイツ人とコミュニケーションできるようなドイツ語を、少しでもマスターしてみよう！

履修コード	288001
科目名	ドイツ語コミュニケーションI
担当者名	小林 ^{こばやし} ゲアリンデ

講義のねらい ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。
 日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

講義の内容・授業スケジュール (1～4) LektionI 今日は私の名前は (5～8) LektionII 家族と友だち (9～12) LektionIII 食物と飲食 (13～16) LektionIV 私の家 (17～20) LektionV 私の一日 (21～24) LektionVI くつろぎの時 (25～29) LektionVII 生涯学習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書 Kursbuch + Arbeitsbuch “Schritte international I” (Hueber)

その他 ビデオ、カセットを使用する。

履修コード	288801
科目名	ドイツ語コミュニケーションII
担当者名	小林 ^{こばやし} ゲアリンデ

講義のねらい ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。
 話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) お互いに知り合う (4～6) 電話での会話 (7～9) コーヒーショップで (10～12) ヨーロッパ旅行 (16～19) 買い物 (16～19) 自由時間 (20～23) 家族と親戚 (24～28) 衣服・百貨店 (29) 復習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。当面はプリントを配布する。開講時に指示する。

教科書 ビデオを使用する。

履修コード	289601
科目名	ドイツ語IA (選)
担当者名	武田 ^{たけだ} 利勝 ^{としかつ}

講義のねらい 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身につけてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3) 発音の練習 (4～6) 動詞の変化、その1 (7～10) 名詞の格変化のいろいろ (11～15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16～20) 動詞の変化、その2 (20～23) 接続詞、受動文、否定詞など (24～26) 形容詞、序数 (27～28) 関係代名詞と関係文 (29～30) 非現実話法、まとめ

履修上の留意点 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること! とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しましょう。

成績評価の方法 各学習事項についての小テスト、また学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。

教科書 未定

履修コード	290201
科目名	ドイツ語IB (選)
担当者名	井村 ^{いむら} 行子 ^{ゆきこ}

講義のねらい ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って進めます。少なくとも4課までは終わらせる予定です。

成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書 『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	290801
科目名	ドイツ語II (選)
担当者名	井村 行子

講義のねらい ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。
 講義の内容・授業スケジュール 第5課から第8課まで教科書後半を終わらせる予定です。
 成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績によります。
 教科書 『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	285301
科目名	名文で味わうフランス語
担当者名	東 辰之介

講義のねらい 素朴で平明な文体をもつ魅力的な短編小説を教材として、フランス文学に親しむことを目的とします。
 講義の内容・授業スケジュール あらかじめ割り当てられた箇所を音読の上、日本語に訳していただきます。その後、担当者が解説します。授業スケジュールは受講者のレベルを考慮して調整しますが、以下のように考えています。(1)ガイダンス、受講者への割り当て(以後適宜) (2)~(15)アルフォンス・ドーデの短編 (16)~(30) ジェラルール・ド・ネルヴァルの短編
 履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。
 成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。平常点を重視します。
 教科書 適宜プリントを配布します。

履修コード	286101
科目名	現代を読むフランス語
担当者名	桑田 禮彰

講義のねらい フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
 講義の内容・授業スケジュール 比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。できれば最後に、実際のフランスの新聞記事を読んで見ましょう。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
 履修上の留意点 (1)受講上の諸注意 (2)(3)豪華帆船と海賊 (4)(5)サン=テグジュペリ、謎の結末 (6)(7)クリスチャン・ディオール (8)(9)「パリ海岸」(10)~(24)名所めぐりのパリマラソン、他 (25)~(29) Le Monde 記事 (30)復習と今後のフランス語学習について
 成績評価の方法 最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
 教科書 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
 参考書等 クリスチャン・ボームルー他著『ヴァリエテ・フランセーズ2009』(朝日出版社) 1,995円 ISBN978-4-255-35198-8
 そのつど授業で指示します。

履修コード	287001
科目名	フランス語スキルアップ
担当者名	遠山 博雄

講義のねらい 文法の復習をしながら、きちんとした発音と基礎的な文字表現力を身につけること、仏検3級も視野に入れて。
 講義の内容・授業スケジュール (1~5)名詞、冠詞、形容詞、基本動詞の直説法現在形、疑問文、否定文等)、(6~10)命令形、動詞現在形のつづき、疑問形容詞、指示形容詞等)(11~15)形容詞の比較級・最上級、動詞の過去形、代名動詞等)(16~20)関係代名詞、動詞の条件法、接続法、現在分詞等)、(21~30)教科書をはなれて様々な実践練習。
 履修上の留意点 続けて出席すること。
 成績評価の方法 平常点を原則とします。
 教科書 松村剛『はじめての仏作文』朝日出版社、2,200円+税 ISBN4-255-35134-1 C1085

履修コード	288101
科目名	フランス語コミュニケーションI
担当者名	ラリア・三倉, M.

講義のねらい 教科書の内容に沿ってフランス語コミュニケーションの聴く、話す、読む実力が自然とついてくる授業にします。

講義の内容・授業スケジュール あくまで全くの初心者にフランス語のコミュニケーション力の基礎を習得させる内容になっています。

(1) Alphabet /興味を持たせるための簡単な会話と表現/フランス語発音練習 (2) ~ (4) Leçon 1 (5) ~ (7) L2 (8) ~ (10) L3 (11) ~ (13) L4 (14) ~ (16) L5 (17) ~ (19) L6 (20) ~ (22) L7 (23) ~ (25) L8 (26) ~ (28) L9 (29) ~ (30) L10

履修上の留意点 授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。

成績評価の方法 成績評価は講義で学生の各々の能力を見極める通常点で評価します。試験はいたしません。

教科書 高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』第三書房
ISBN 4-8086-2136-3

履修コード	288901
科目名	フランス語コミュニケーションII
担当者名	ラリア・三倉, M.

講義のねらい フランス語の基礎力が備わった学生向けのフランス人講師による授業です。

講義の内容・授業スケジュール ビデオを使って視聴覚中心の授業をいたします。

(1) 受講上の諸注意 / à l'Aéroport の1回目 (2) ~ (4) à l'Aéroport (5) ~ (7) à l'hôtel (8) ~ (10) Paris, la nuit (11) ~ (13) Au café (14) ~ (16) Le train (17) ~ (19) Le téléphone (20) ~ (22) invitations (23) ~ (25) les courses (26) ~ (28) Au Restaurant (29) ~ (30) まとめと復習

履修上の留意点 授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。

成績評価の方法 試験はいたしません。通常評価で採点します。

教科書 教材は“BIENVENUE EN FRANCE”よりプリントして学生に渡します。

履修コード	289701
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	東辰之介

講義のねらい フランス語初級文法の習得を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1)受講上の諸注意 / Alphabet (2)~(3)発音の基礎 (4)~(15)文法の基礎(主語人称代名詞/動詞の直説法現在/形容詞の性・数/名詞/冠詞など) (16)~(29)文法の発展(疑問代名詞/縮約/補語人称代名詞/比較/動詞の過去・未来時制など) (30)復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 2,000円+税 ISBN978-4-560-06083-4

参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	289711
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	出口 雅敏

講義のねらい フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2) ~ (4) 発音の基礎 (5) ~ (15) 文法の基礎 (名詞の性・数/主語人称代名詞/冠詞、疑問文・否定文・命令文/形容詞/冠詞の縮約/動詞の現在時制など) (16) ~ (29) 文法の発展 (目的語人称代名詞/中性代名詞/比較/代名動詞/関係代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 「仏和辞典」を毎回持参して下さい。*但し、電子辞書やポケット版辞典は不可です。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験と通常点(出席状況・小テストなど)によって評価します。

教科書 仏語IA (選)
石野好一・大久保政憲・山崎吉朗 『O es-tu? (どこにいるの?)』2008年刊 朝日出版社 2,500円+税 ISBN978-4-255-35190-2

履修コード	290301
科目名	フランス語IB (選)
担当者名	菅原 猛

講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書

既得の英語力を応用してフランス語の初歩を学びながら外国語で書かれた文章の構造を分析して読解力を高めてゆく。その作業は日本語の文章作法を見直すことにも通じてゆくと思われる。履修した以上、できるだけ最後まで学習する意欲をもちつづけて欲しい。年2回の定期試験の成績を中心に、各課ごとに行なう練習問題の結果も平常試験として評価の対象にします。

鈴木隆芳・中野茂『フランス語文法の単位』2007年刊(駿河台出版社)2,625円(税込)

履修コード	290901
科目名	フランス語II (選)
担当者名	桑田 禮彰

講義のねらい
 講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書
 参考書等

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終った人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

(1) 受講上の諸注意 (2)(3) 豪華帆船と海賊 (4)(5) サン＝テグジュペリ、謎の結末 (6)(7) クリスチャン・ディオール (8)(9) 「パリ海岸」(10)～(29) 名所めぐりのパリマラソン、他 (30) 復習と今後のフランス語学習について

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

クリスチャン・ボームルー他著『ヴァリエテ・フランセーズ2009』(朝日出版社)1,995円 ISBN978-4-255-35198-8

そのつど授業で指示します。

履修コード	285401
科目名	名文で味わう中国語
担当者名	塩旗 伸一郎

講義のねらい
 講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書
 参考書等

講義において音読は「刺身のつま」ではない。原文に深く食いこみ、より正確な理解に達するための手段である。朗読と翻訳という二つの表現方法により、古今の名文を味わい、文章を読む力を養う。

解題(1)、当代・現代篇(2～13)、前期末試験(14)、当代・古代篇(15～27)、後期末試験(28)

予習は不可缺。「一字の存在理由」を追究する姿勢と、朗読への意欲的取り組みを期待する。試験(30×2)+平常点(40)-欠席点。「平常点」≠「出席点」。欠席が3回を超えると10点ずつ減点。

プリント配布
 辞書は必携のこと。下記URLが参考になる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho>

履修コード	286201
科目名	現代を読む中国語
担当者名	岩崎 暁

講義のねらい
 講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書

中国の経済改革、対外開放が始まって30年経ちましたが、その間、中国社会は大きく変化しています。授業のねらいは、古いイメージを離れて、ありのままの中国を見てみることです。コンピュータ教場を利用して、映像を見ながら授業を進めます。特にテーマはなく、中国社会のさまざまな面を見ていこうと考えています。

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得はできません。なお、就職活動を行う学生はそのつど状況を報告してください。場合により上記の制限を多少緩和することがあります。

また、これまで中国語を勉強したことのない人は履修できません。履修上の留意点にある条件を満たした上で、毎回の授業への取り組み、課題提出、テスト等で評価します。

教材はこちらで用意します。

履修コード	287101
科目名	中国語スキルアップ
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい 実用的な中国語表現の習得を目指すと同時に、各種検定試験への対策を行ないます。頻出する基本構文・語彙を反復学習しつつ、聴き取り・翻訳・作文などの訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール 中国でのインタビューを中心に編集された音声教材を使用し、自然なスピードで話された中国語に毎回触れてもらいます。前期は全12課のテキストを毎回1~1.5課ずつ進め、前期の終わりから後期には、教員が用意した教材により、検定試験の具体的な対策を行ないます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席、失敗を懼れない果敢さを求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 楊達・南勇『リスニング中国I』（朝日出版社、2200円、CD付）。

参考書等 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他 検定試験の受験を予定していない学生も、もちろん歓迎します。

履修コード	288201
科目名	中国語コミュニケーションI
担当者名	陳 洲挙

講義のねらい 中国語を用いて意思疎通を円滑に進める能力を養う。日常会話の初歩的な表現を口でスムーズに応答できるように習得する。

講義の内容・授業スケジュール 割とやさしい教科書を使い、学んだ内容を理解し、暗誦できる程度まで繰り返して音読し、そして今まで憶えた単語や文型など活用して、日常的な会話を練習する。5課ごとに1回自由会話を行う。

履修上の留意点 学んだ課の本文の録音をよく聞き、まねをして読み、正確に言えるように練習すること。

成績評価の方法 後期のテストの成績によって評価する。

教科書 陳洲挙他著『中国語耳留学』（隆美出版）2600円（CD2枚付き）

履修コード	289001
科目名	中国語コミュニケーションII
担当者名	小川 隆

講義の内容・授業スケジュール 「II」とあるが、レベルは「I」と同じ。大量の口頭練習を行いながら、発音と文法を基礎から復習し、徹底的に身につける。予習は必要ないが、毎回の学習内容を必ず次の週に暗誦してもらおう。かつて中国語IA・IBを履修した、でも内容が身につけているわけではない、という現状の受講生を標準とする。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。

成績評価の方法 成績は平常点評価。

教科書 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友』トータル版（朝日出版社）¥2500+税 ISBN978-4-255-45167-1

履修コード	289801
科目名	中国語IA（選）
担当者名	吉田 建一郎

講義のねらい 中国語の基礎力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール (1~6) 四声とピンイン (7~14) 代名詞、「是」と「不是」、名前・月日・曜日の言い方、疑問詞疑問文など (15~19) 形容詞述語文、比較文、「在」と「有」、「了」など (20~) 助動詞、補語、存現文、使役文、受身文など

履修上の留意点 積極的に練習に参加し、自主的に努力する意志のある方のみ歓迎。

成績評価の方法 平常点（出席状況、積極性）と定期試験をもとに総合的に評価。

教科書 内田慶市等『中国語への道—近きより遠きへ—』金星堂、2380円（税別）、ISBN978-4-7647-0659-0

外国語

履修コード	289811
科目名	中国語ⅠA (選)
担当者名	岩崎 皇

講義のねらい 中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。

講義の内容・授業スケジュール テキスト(全12課)に沿って日常会話を練習していきます。5月の連休までに発音の練習をし、その後はほぼ授業2回で1課進む予定です。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5として合計し、6点以上の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 上記の出席を前提とした上で、年間4回行う試験で判断します。

教科書 劉穎『1年生のコミュニケーション中国語』(白水社) 2,200円(本体)

履修コード	290401
科目名	中国語ⅠB (選)
担当者名	大久保 明男

講義のねらい 中国語の基礎知識(発音、基本的な文法、基本文型、慣用句など)を確実に習得して、会話力や文章読解力を養うとともに、現代中国社会に対する認識や理解を深めていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 発音編から入り、基礎編(基本文型など)を経て、ひねくれた女の子燕燕との会話を学んでいきます。ジョークまじりの中国語を通して中国人の笑いのセンスにも触れてみます。また、授業中に折に触れて現代中国の社会情勢や、学生諸君と同年代の中国若者の生活や文化などを紹介していきます。

履修上の留意点 中国語を学ぶ意義を認識し、意欲を持って授業に臨むこと。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法 出席、試験、平常点(担当時の出来具合や討論への参加、授業に臨む姿勢など)で総合評価します。

教科書 相原茂・郭雲輝『ひねくれ燕燕 ジョークで中国語入門』(朝日出版社、2520円)

履修コード	291001
科目名	中国語Ⅱ (選)
担当者名	三田村 圭子

講義のねらい 基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。また1年間の学習終了時には、中国語検定3級程度の力を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。
②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

履修上の留意点 出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法 前・後期の中間期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。本文の暗記も点数に加算する。

教科書 董燕・遠藤光暁著『話す中国語北京篇2』(朝日出版社) 2500円

参考書等 辞典や参考書については、授業開始時に説明する。

その他 辞典を持っていることが望ましい。

履修コード	285501
科目名	名文で味わうスペイン語
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい 辞書の力を借りながら内容を理解する力をつけ講義を通して基礎文法の復習と語彙力の増加を目指します。前期では、直説法現在形、未来形、過去形(点過去、線過去)の復習を、後期は接続法現在などの中級文法習得も視野に入れます。スペイン語圏を代表する名曲の歌詞を題材にしヒヤリング力と発音の向上も図ります。講義が終わるころにはカラオケで歌われるスペイン語の歌の歌詞の意味が理解できるようになります。

講義の内容・授業スケジュール (1)スペイン語ポップスの名曲に親しむ(1-7)
(2)カリブのリズム(サルサ・メレンゲなど)を感じる(8-14)
(3)メキシコ、アンデス音楽を楽しむ(15-23)
(4)スペインの民謡(フラメンコ、クリスマスの歌など)を味わう(24-30)

履修上の留意点 初級文法修了者を対象とします。

成績評価の方法 毎回の授業参加と年二回の演習課題によります。

教科書 GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社1200円
テキストは毎回配布します。

参考書等 推薦辞書:『西和中辞典』(小学館) 『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)

その他 講義内容の順序が前後する場合があります。

履修コード	286301
科目名	現代を読むスペイン語
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい 初級文法および基本語彙を復習しながら、現代のスペイン語圏の政治・社会、文化、芸術、スポーツ、文化についての簡単なテキストを読んでいきます。スペイン語を使った情報収集能力を高めます。講義が終了するころには辞書をひきながら現地の新聞雑誌やインターネットの簡単な話題を理解できるようになります。

講義の内容・授業スケジュール (1) スペイン語圏の衣食住(1-6)
(2) スペイン語圏の社会(若者像、職業、大学など)(7-13)
(3)文化・余暇(旅行、音楽、映画、スポーツなど)(14-19)
(4)今年の重大ニュース(20-26)
(5) スペイン語の日本に関するニュース(27-30)

履修上の留意点 初級文法修了者対象。
興味関心もてるテーマの一つでも見つけ、辞書をたよりに貪欲に語彙や慣用表現を増やす努力をしていきましょう。またインターネット等を積極的に活用して日ごろからスペイン語に慣れましょう。

成績評価の方法 毎回の授業参加や演習課題(夏休み1回)そして後定期試験によります。

教科書 GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社 1200円
テキストは毎回配布します。

参考書等 推薦辞書:『西和中辞典』(小学館)
『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)

その他 講義内容の順序が前後する場合があります。

履修コード	287201
科目名	スペイン語スキルアップ
担当者名	上野 勝広

講義のねらい このクラスでは、スペイン語検定試験(3級・4級)に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール 作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点 前期(1)オリエンテーション(2~5)自動詞・再帰動詞・他動詞の構文、など(6~10)連結動詞の構文、など(11~15)関係節、など
後期(16~20)副詞節、など(21~25)受動構文、など(26~30)比較構文、など
「継続こそ力なり」です。休まずさばらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法 前期末・学年末試験の結果(60%)と平常点(40%)を総合して評価します。

教科書 小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』(第三書房)2,500円

履修コード	288301
科目名	スペイン語コミュニケーションI
担当者名	モラーレス, ムニョス, S.

講義のねらい スペイン語を用いて平易な日常会話が可能となるよう、必須の語彙を蓄えさせ、基礎文法の習得を促す。同時にスペイン語圏についての知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 世界の中のスペイン語・発音とアルファベット (2) 自己紹介をする・動詞SERとESTAR (3) 自己紹介における形容詞の使い方・所有形容詞 (4) 場所と位置関係の表現 (5) 直説法現在規則活用の動詞 (6~7) 曜日と月・数詞 (8~9) 再帰動詞 (10) 直説法現在不規則活用動詞 (11) HABERとESTAR (12) 動詞GUSTAR (13) 食事について (14) 天候の表現 (15) 前期試験 (16) 命令法(規則活用) (17) 依頼の表現 (18) 現在進行形 (19) 約束をするときの表現 (20) 点過去規則活用 (21) 買い物をする (22) 目的語代名詞 (23~24) 身体の各部の名称・病院で・動詞DO LER (25~26) 点過去不規則活用 (27) 線過去 (28~29) 現在および過去の習慣について (30) 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。
出席 (20%)、短い作文、発話 (30%)、2回の口頭試験 (50%)。
Francisca Castro Viúdez, et al. 『Español en marcha 1,A1. (Libro del alumno)』 (S.G.E.L.)

外国語

履修コード	289101
科目名	スペイン語コミュニケーションII
担当者名	モラーレス, ムニョス, S.

講義のねらい スペイン語のやさしい言い回しで心情などが表現できるようにする。過去の出来事の語り方や、未来の計画の立て方を学ぶ。現代のテーマについてスペイン語で意見を述べられるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

(1~3) 自分について話す (4から6) 評伝を読む (7から9) 習慣と行事 (10~12) 未来の事柄 (13~14) 過去と現在 (15) 前期試験 (16~18) 比較 (19~21) 広告文・求人・買い物 (22~24) 助言をする (25~27) 自由時間・世界のお祭り (28~29) 未来の計画 (30) 後期試験

履修上の留意点

以前に学んだ文法の復習をしっかりとやっておくこと。積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法
教科書

出席 (20%)、短い作文、発話 (30%)、2回の口頭試験 (50%)。
Francisca Castro Viúdez 『Español en marcha 2,A2. (Libro del alumno)』 (S.G.E.L.)

履修コード	289901
科目名	スペイン語IA (選)
担当者名	^{なかじま} ^{さとこ} 中島 聡子

講義のねらい スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課~5課まで、後期は6課~10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

前期 (1) 導入、アルファベット (2~5) 文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など (6~10) 動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など (11~15) 疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など

後期 (16~20) 語根母音も変化する動詞、querer, poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など (21~25) 比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など (26~30) 100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点

外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。

成績評価の方法
教科書
参考書等

テスト結果 (80%) に平常点 (20%) を合わせて評価します。
上野勝彦『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社) 2,500円
初回の授業で紹介いたします。

履修コード	290501
科目名	スペイン語IB (選)
担当者名	^{さいとう} 齊藤 ^{あけみ} 明美

講義のねらい

基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏を安心して旅行できるコミュニケーション能力習得を目指します。

前期が終わるころにはスペイン語で簡単なあいさつや自己紹介、また道を聞いたりすることができるようになります。後期が終わるころにはスペイン料理店で自信を持って注文したり、スペイン語圏の友人と簡単なやりとりができるようになります。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) コースの説明、アルファベット、簡単な挨拶(1)
- (2) 1課：あいさつ、カフェで(発音、アクセント、挨拶、数、名詞の性・数、冠詞など)、2課：バス停にて(直説法現在,規則動詞) (2-8)
- (3) 3課：大学で(ser 動詞と estar 動詞(不規則動詞)) 4課：どこ出身？(形容詞の性質と用法) (9-14)
- (4) 中間試験 (15)
- (5) 5-7課：バルにて、夏休みの計画、空港にて(直説法現在,不規則動詞など) (16-25)
- (6) 8課：歓迎会にて(gustar 型動詞など) (26-28)
- (7) まとめ (29)
- (8) 定期試験 (30)

履修上の留意点

文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。

成績評価の方法

毎回の出席、授業参加や各期末の達成度チェック(年二回)によります。

教科書

菊田/丹波『Entre dos mundos 二つの世界で』同学社 2700円

参考書等

授業で推薦する辞典の中から各自使いやすいものを選び活用しましょう。

その他

学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

外国語

履修コード	291101
科目名	スペイン語II (選)
担当者名	^{さとう} 佐藤 ^{まりの} 麻里乃

講義のねらい

原語でまとまった量の文章を読むことに慣れ、スペイン語の持つ諸特徴への理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

受講者はあらかじめテキストの文章を予習しておき、授業時に音読と和訳をする。教員は必要に応じてこれに解説を加える。

履修上の留意点

毎回必ず予習してくる。

成績評価の方法

予習の状況と前期末・後期末の試験を総合して評価する。

教科書

未定

履修コード	285601
科目名	名文で味わうロシア語
担当者名	廣田 英靖 <small>ひろた ひろやす</small>

講義のねらい

ロシアの各メディアのホームページをパソコン画面で見渡すと、エネルギー関係を含むその豊富な天然資源のもとで、ロシアの経済発展が極めて著しいと感じられます。さらに、ロシア語で検索すると、様々な情報がリアルタイムに入手でき、日本の国土の約45倍もの広大な領土で生活するロシア人の科学、文化、芸術等の分野での思考方法、獨創性、奥深さが伝わってきます。

講義の内容・授業スケジュール

本授業では、近年のグローバル化、多極化したIT時代の状況をも踏まえ、PCルームにてインターネットなどの機能を活用し、膨大な情報の山に秘められている、簡潔で、温かみのある短文、詩、歌などの入手手順も分かりやすく説明し、五感を生かし、きらりと光る“ロシア語”を楽しく、内容豊かに学びます。気分転換もかね、『千と千尋の神隠し』などのアニメ作品で有名な宮崎駿監督など、日本を代表する多数の映画監督も、その若き日に、感銘や影響を受けたソ連時代のロシアアニメやビデオ映画を鑑賞します。

履修上の留意点

インターネットを活用し、発音、基本文法を復習しつつ、平明なロシア語講読を行います。
4-7月 ○基礎文法の復習と
○中級文法の導入
○ロシア語版のソフトになれるようにする

成績評価の方法
教科書

9-12月 ○インターネットを駆使し様々なロシア関係の知識を集積し深める。
PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。
積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。
試験は行わず、平常点で評価します。
教場にてプリント配布。

外国語

履修コード	286401
科目名	現代を読むロシア語
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊から20年近くが過ぎたロシアは、2000年代に入ってから、豊かな天然資源を基盤に著しい経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源にも恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘める潜在力は看過できないものがある。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

4-7月 新聞や雑誌の記事をもとに様々なスタイルのロシア語を読む。
9-12月 メドヴェージェフ大統領、プーチン首相による現在のタンドム体制を読み解く。
各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。
試験は行わず、平常点で評価する。
プリントを配布する。
辞書：研究社露和辞典、岩波ロシア語辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	287301
科目名	ロシア語スキルアップ
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

4-7月 初歩の会話を学ぶ。
9-12月 会話力を高めながら同時にロシア語の文章の理解力を深める。
出席を重視します。
平常点で評価します。
教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	288401
科目名	ロシア語コミュニケーションI
担当者名	安徳 ^{あんどく} ニーナ

講義のねらい ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。
教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
安徳ニーナ他著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)、「21世紀のロシア語」(大学書林)
必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	289201
科目名	ロシア語コミュニケーションII
担当者名	安徳 ^{あんどく} ニーナ

講義のねらい 日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)学生
のレベルにあわせて、その他の資料を用います。

その他の

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

履修コード	290001
科目名	ロシア語IA(選)
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみ
っちりやります。

2) 簡単な挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディークラジを含む)を
身につけます。

3) 平易な内容を聞き取りによって理解できるようにします。

4) 基礎的な初級文法を学びます。

5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。
教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、受け答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使
い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話
してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。
全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

4-7月は発音やアクセントに重点をおき、9-12月は短文の読みや文法をくり返し学びます。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

テストは行わず、平常点で評価。

『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円、プリント配布。

ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

履修コード	290601
科目名	ロシア語IB (選)
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義のねらい アジアからヨーロッパにかけて広がるロシアは、100に及ぶ民族を抱え、歴史的、文化的に多様な、世界の縮図のような国家です。ソ連崩壊後の1990年代は社会的に大変混乱しましたが、今世紀に入ってからは再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも確実に高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール この授業では、4-7月では簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。9-12月ではビデオ等の映像資料も利用する予定です。

履修上の留意点 外国語の学習は、その外国語を使う国や人々、文化への関心が継続の意欲につながります。受講者各自が、授業を通じて、それぞれの関心と出会えるような能動的な参加を望みます。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価します。

教科書 黒田龍之介『ニューエクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

参考書等 学生の関心に応じて、適宜紹介するようにします。
辞書：白水社パスポート露和辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	291201
科目名	ロシア語II (選)
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。

講義の内容・授業スケジュール ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
4-7月 発音・会話を学ぶ。
9-12月 会話力を一層高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	290101
科目名	朝鮮語IA (選)
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョム</small>

講義のねらい 朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。テキストに沿って進めていくが、初歩的な学習事項はIAとIBクラス同様である。後期からIAのクラスでは、口頭練習を通じた会話能力の養成に力を注いでいく。

履修上の留意点 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法 出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 IA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社) 2,400円+税

参考書等 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

履修コード	290701
科目名	朝鮮語IB (選)
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small>

講義のねらい 朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。テキストに沿って進めていくが、初歩的な学習事項はIAとIBクラス同様である。後期からIBのクラスでは、文法事項による作文や読解に力を注いでいく。

履修上の留意点 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法 出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 IB:長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(読んで書こう1)』(白帝社)2,400円+税
参考書等 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

履修コード	291211
科目名	朝鮮語II (選)
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small>

講義のねらい 基本的な文法内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるよう、表現能力を養成する。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に基本的な文法や語彙を学習し、会話文は完全に暗誦する。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を強化し、応用練習を通してより豊かな表現力を強化していく。第1回～第4回は初級の復習を行う。第5回からはテキストを中心に進めていく。

履修上の留意点 韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての人は朝鮮語Iのほうを受講すること。受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法 授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 浜之上幸 監修 姜英淑ほか5人共著『楽しく学ぶハングル1』白帝社 2,400円 +税
参考書等 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

4. 保 健 体 育 科 目

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	鈴木 淳平 <small>すずき じゅんぺい</small>

講義のねらい	室内で行なわれるボールゲーム等を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	バレーボール・バスケットボール等のチームスポーツ、バトミントンを行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。 1時限目はオリエンテーションを行う。 2～5時限目 バスケットボール 6～9時限目 バレーボール 10～13時限目 バトミントン 14・15時限目 学生の希望によって決定する。
履修上の留意点	遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアと凹凸の少ないフラットなソールの室内用シューズで受講してください。
成績評価の方法	出席を重視し、評点の80%とします。 出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。 その他、実技やルール等の小テストの得点、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	岩本 哲也 <small>いわたもと てつや</small>

講義のねらい	ソフトボールにおける「打つ」「捕る」「投げる」といった基本動作の習得を目指し、ゲームを中心とした実践練習でゲームの進め方、ルールを学習する。また、授業を通じて生涯スポーツの基盤を築き、豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 3時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 4時限目：シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム 5時限目：シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム 6時限目：総合練習、ゲーム 7時限目：総合練習、ゲーム 8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：総合練習、ゲーム 10時限目：ゲーム（リーグ戦1） 11時限目：ゲーム（リーグ戦2） 12時限目：ゲーム（リーグ戦3） 13時限目：ゲーム（リーグ戦4） 14時限目：ゲーム（リーグ戦5） 15時限目：ゲーム（リーグ戦6）
履修上の留意点	服装：一般的な運動服装とする。 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズ可。スパイクは不可とする。
成績評価の方法 その他	評価は、出席点70点、実技点30点とする。 雨天時は、室内にて他種目の運動もしくは、ルール説明とビデオ観戦とする。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（ジョギング）
担当者名	内山 雅博

講義のねらい	健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。
講義の内容・授業スケジュール	1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩） 3 時限目：＃ 4 時限目：＃ 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング） 6 時限目：＃ 7 時限目：＃ 8 時限目：12分間走 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー） 10 時限目：＃ 11 時限目：＃ 12 時限目：＃ 13 時限目：＃ 14 時限目：12分間走 15 時限目：まとめ
履修上の留意点	事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うための着替えの用意が必要である。
成績評価の方法 そ の 他	平常点など 雨天時は走のための補強トレーニング。

保健
体育

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	佐藤 政之

講義のねらい	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容・授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方、シングルスゲーム 5 時限目：バックハンドショートの打ち方、バックハンドゲーム 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法、カット&カット、シングルスゲーム 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 9 時限目：シングルスゲーム 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11 時限目：ダブルスゲーム 12 時限目：ダブルスゲーム 13 時限目：ダブルスゲーム 14 時限目：ダブルスゲーム 15 時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。
成績評価の方法 そ の 他	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。 30分以上の遅刻は認めない。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	高橋 俊介

講義のねらい 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体からの左右の猿臂、前屈立ちで体を回転してから猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点 服装は、全員が授業用の空手着を着用する。

成績評価の方法 授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

保健体育

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	竹田 幸夫

講義のねらい 「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3時限目：〃
- 4時限目：マッサージ法
- 5時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12時限目：発展技の練習
- 13時限目：自主練習
- 14時限目：自主練習
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法 健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他 授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	かておか しまき 館岡 儀秋

講義のねらい ゴルフゲームは、より豊かな余暇時間の体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、楽しくゴルフのラウンドプレーする為の基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング）
- 3時限目：打撃練習（9I）
- 4時限目：打撃練習（PW・9I）
- 5時限目：打撃練習（PW・9I）
- 6時限目：打撃練習（9I・7I）
- 7時限目：打撃練習（7I・1W）
- 8時限目：打撃練習（7I・1W）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：パッティング（ゴルフコース・クラブの解説）
- 12時限目：パッティングラウンド（マナー、エチケットの解説）
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天及び強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	<small>みつなが</small> 光永 <small>よしてる</small> 吉輝

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3時限目：〃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう。
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ(室内専用)を用意すること。

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	194501
科目名	健康・スポーツ実習（ダブルダッチ）
担当者名	末次 美樹

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ビデオ学習
 3時限目：短縄を使って練習
 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
 6時限目：5回跳び・10回跳び
 7時限目：ターナーの回転・スピード
 8時限目：ビデオ学習
 9時限目：連続跳び
 10時限目：応用
 11時限目：応用
 12時限目：応用
 13時限目：応用
 14時限目：応用
 15時限目：応用

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（室内専用）を用意する。
 成績評価の方法 出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	下谷内 勝利

講義のねらい この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
 3時限目：フォアハンドドライブ、簡易ゲーム
 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。簡易ゲーム
 5時限目：バックハンドショートの打ち方。簡易ゲーム
 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
 9時限目：シングルスゲーム
 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
 11時限目：ダブルスゲーム
 12時限目：ダブルスゲーム
 13時限目：ダブルスゲーム
 14時限目：スキルテスト
 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウエアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。
 成績評価の方法 授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。

教科書 他に特に指定はしないが、卓球のルールは予習してもらいたい。
 その他 グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（簡化太極拳）
担当者名	<small>すえつぐ みき</small> 末次 美樹

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分そう・白鶴亮翅
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
7時限目：第五組 高探馬・右とう脚・双峰貫耳・轉身左とう脚
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
10時限目：第八組 轉身搬らん捶・如封似閉・十字手・収勢
11時限目：総合
12時限目：総合
13時限目：総合
14時限目：総合
15時限目：テスト

履修上の留意点 服装：上下とも身軽に動きやすいものがよい。基本的に裸足で行うが、シューズを用意しても構わない。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	<small>みづなが よして</small> 光永 吉輝

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3時限目：＃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう。
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	<small>たておか よしあき</small> 館岡 儀秋

講義のねらい ゴルフゲームは、より豊かな余暇時間の体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、楽しくゴルフのラウンドプレーする為の基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング）
- 3時限目：打撃練習（9I）
- 4時限目：打撃練習（PW・9I）
- 5時限目：打撃練習（PW・9I）
- 6時限目：打撃練習（9I・7I）
- 7時限目：打撃練習（7I・1W）
- 8時限目：打撃練習（7I・1W）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：パッティング（ゴルフコース・クラブの解説）
- 12時限目：パッティングラウンド（マナー、エチケットの解説）
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天及び強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）
担当者名	竹田 幸夫

講義のねらい 「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび(バック転)まで発展させる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：＃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるので、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	高橋 俊介

講義のねらい 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	鈴木 淳平

講義のねらい	室内で行なわれるボールゲーム等を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	バレーボール・バスケットボール等のチームスポーツ、バトミントンを行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。 1時限目はオリエンテーションを行う。 2～5時限目 バスケットボール 6～9時限目 バレーボール 10～13時限目 バトミントン 14・15時限目 学生の希望によって決定する。
履修上の留意点	遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの室内用シューズで受講してください。
成績評価の方法	出席を重視し、評点の80%とします。 出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。 その他、実技やルール等の小テストの得点、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加點評価します。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	江口 淳一

講義のねらい	テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。 また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。 1時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明 2時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク 3時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術 4時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術 5時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー 6時限目：スマッシュ、サービスの基本技術 7時限目：ストロークの応用とミニゲーム 8時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ） 9時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用） 10時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用） 11時限目：ダブルスのルールとポジショニング 12時限目：ダブルスゲームを楽しむ 13時限目：より高度なダブルスのゲームへ 14時限目：トーナメント形式の試合の進め方 15時限目：まとめ
履修上の留意点	(1) 履修者の技術レベルは問わない。 (2) 服装は一般的な運動服装とする。 (3) ラケットは貸与する。
成績評価の方法その他	出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。 雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

履修コード	194601
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	<small>うちやま まさひろ</small> 内山 雅博

講義のねらい ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。また、「気軽に実施出来るソフトボール」としての印象が強いと同時に、危険の予知能力、安全管理能力を高めるよう努力したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
- 2 時限目：〃
- 3 時限目：試合（勝ち点制）
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
- 9 時限目：〃
- 10 時限目：試合（勝ち点制）
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：〃
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与する。
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可。
 出席を重視する。積極性、平常点、試合毎の勝ち点も加えて評価する。
 雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。また、施設使用の条件によっては、他のスポーツ種目、トレーニング等を行う。

成績評価の方法その他

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	みつなが よしてる 光永 吉輝

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3時限目：〃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう。
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	<small>しもやち かつとし</small> 下谷内 勝利

講義のねらい この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、簡易ゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。簡易ゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。簡易ゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：スキルテスト
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的なスポーツウエアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は実技テストにて判定する。

教科書
その他

特に指定はしないが、卓球のルールは予習してもらいたい。
グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

保健
体育

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	<small>いわもと てつや</small> 岩本 哲也

講義のねらい ソフトボールにおける「打つ」「捕る」「投げる」といった基本動作の習得を目指し、ゲームを中心とした実践練習でゲームの進め方、ルールを学習する。また、授業を通じて生涯スポーツの基礎を築き、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム
- 3時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム
- 4時限目：シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム
- 5時限目：シートノック、フリーバッティング、バント、ゲーム
- 6時限目：総合練習、ゲーム
- 7時限目：総合練習、ゲーム
- 8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：総合練習、ゲーム
- 10時限目：ゲーム（リーグ戦1）
- 11時限目：ゲーム（リーグ戦2）
- 12時限目：ゲーム（リーグ戦3）
- 13時限目：ゲーム（リーグ戦4）
- 14時限目：ゲーム（リーグ戦5）
- 15時限目：ゲーム（リーグ戦6）

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。
シューズ：ランニングシューズ、アップシューズ可。スパイクは不可とする。

成績評価の方法
その他

評価は、出席点70点、実技点30点とする。
雨天時は、室内にて他種目の運動もしくは、ルール説明とビデオ観戦とする。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	江口 淳一

講義のねらい テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法その他

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。
雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	鈴木 淳平

講義のねらい 室内で行なわれるボールゲーム等を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール等のチームスポーツ、バトミントンを行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

- 1 時限目はオリエンテーションを行う。
- 2～5 時限目 バスケットボール
- 6～9 時限目 バレーボール
- 10～13 時限目 バトミントン
- 14・15 時限目 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点

遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの室内用シューズで受講してください。

成績評価の方法

出席を重視し、評点の80%とします。
出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。
その他、実技やルール等の小テストの得点、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	高橋 俊介

講義のねらい 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点 服装は、全員が授業用の空手着を着用する。

成績評価の方法 授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（ジョギング）
担当者名	佐藤 政之

講義のねらい 健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：ジョギングのオリエンテーション
- 2時限目：ウォーキング（速歩）
- 3時限目：ウォーキングと初歩のジョギング
- 4時限目：〃
- 5時限目：ジョギング（初歩のインターバルランニング）
- 6時限目：ジョギング（5分間走の連続）
- 7時限目：ジョギング（10分間走の繰返し）
- 8時限目：ジョギング（12分間走）
- 9時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走と距離走）
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：20分間走
- 14時限目：野外走、クロスカントリー
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点 事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。平素の授業時の努力を加味して評価する。

その他 雨天時は走のための補強トレーニング（屋内にてナワ跳びを含む）

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	<small>なておか よしあき</small> 館岡 儀秋

講義のねらい ゴルフゲームは、より豊かな余暇時間の体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。生涯スポーツとして、楽しくゴルフのラウンドプレーする為の基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング）
- 3 時限目：打撃練習（9I）
- 4 時限目：打撃練習（PW・9I）
- 5 時限目：打撃練習（PW・9I）
- 6 時限目：打撃練習（9I・7I）
- 7 時限目：打撃練習（7I・1W）
- 8 時限目：打撃練習（7I・1W）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：パッティング（ゴルフコース・クラブの解説）
- 12時限目：パッティンググラウンド（マナー、エチケットの解説）
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法 授業に出席して実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他 雨天及び強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

保健体育

履修コード	194701
科目名	健康・スポーツ実習（キックボクササイズ）
担当者名	<small>すえつぐ みき</small> 末次 美樹

講義のねらい キックボクササイズとは、キックボクシング・ボクシング・空手道・ムエタイ・マーシャルアーツなどの動きを取り入れ、アップスピードな曲と動きを一体化する運動である。持久力強化・腹筋強化・シェイプアップなどに効果があり、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：拳の握り方、基本姿勢の説明
- 3 時限目：ストレート、フック、アッパーの練習
- 4 時限目：キックの練習
- 5 時限目：コンビネーション
- 6 時限目：フットワークの練習
- 7 時限目：コンビネーション（音楽に合わせる）
- 8～14時限目：総合
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。裸足でも良いが、なるべくシューズ（室内専用）があったほうが良い。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	195901・196001・196101・196201・196301
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校教育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム(ダブルスのラリーゲーム)
- 3時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム(ダブルスのラリーゲーム)
- 4時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6時限目：同 第2日目
- 7時限目：同 第3日目
- 8時限目：同 第4日目
- 9時限目：同 第5日目
- 10時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12時限目：同 第2日目
- 13時限目：同 第3日目
- 14時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴(体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習(集中授業)〔再クラス〕(室内球技)
担当者名	山口 良博

講義のねらい

室内で行われるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主な狙いとする。

講義の内容・授業スケジュール

バスケットボール、バレーボール、フットサルといった室内でのボールゲーム(主にチームスポーツ)を行う。技術・戦術を学んだ後は、主にゲームを通じて技術の習得、体力の向上を図る。
1時限目にオリエンテーションを行い、スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

スポーツウエア(上下)、体育館シューズの着用を厳守すること(土足厳禁)。

成績評価の方法

授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月18日(土)～7月22日(水)
(後期)1月4日(月)～1月8日(金)
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習(集中授業)開講科目一覧」参照

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ダブルダッチ）
担当者名	末次 美樹

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく。縄の回し方、跳び方等を自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション ターナールの練習・ジャンプの練習
午後：一本縄での応用 5回跳び・10回跳び
- 2日目 午前：短縄を使って練習 一本縄応用
午後：奇数跳び・偶数跳び
- 3日目 午前：出方の練習
午後：応用
- 4日目 午前：ビデオ学習・応用
午後：応用
- 5日目 午前：応用
午後：応用、まとめ

**履修上の留意点
成績評価の方法
その他**

服装：上下とも動きやすいものが良い。 シューズ（室内用）を用意する
出席状況（出欠の確認は午前・午後の二回行う）、授業の参加意欲・態度から総合的に判断する。
再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

保健
体育

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳）
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿杖・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身撇ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点
成績評価の方法
その他

- 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
出席率70%、総合評価30%で行う。
- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
 - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川校舎
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン）
担当者名	^{まさの しげる} 牧野 茂

講義のねらい ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基礎的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本（回内・回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク（1）（スマッシュ、ドロップ）
コート半面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）
サービス、コート半面のシングルス・ゲーム
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）
サービス、シングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク（2）（ロブ、クロス・ネットショット）
シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）
サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（3）（カット、プッシュ）
総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

ラケットは貸与する。
服装は、一般的な運動服装とする。
体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

成績は、出席（70点）と服装・授業態度等（30点）で評価し、60点以上を合格とする。出欠は、午前・午後の二回確認する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- （1）実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- （2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- （3）実施場所：玉川校舎
- （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- （5）備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。

「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

保
健
体
育

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）
担当者名	鈴木 淳平

- 講義のねらい 1. 卓球を教材に使い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。
技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技術を身につける。
- 講義の内容・授業スケジュール 2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。
- 履修上の留意点
成績評価の方法 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
2日目：サーブとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
3日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
- スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。
出席を重視し、評定の80%とします。
出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。
その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。
- そ の 他 再クラス 集中授業コース実施について
(1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
(3) 実施場所：玉川校舎
(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
(5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール）
担当者名	<small>たかはし しゅんすけ</small> 高橋 俊介

講義のねらい 補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッティング、走塁練習、その他）
午後：同上

第2日目 午前：ゲーム
午後：〃

第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム

第4日目 午前：〃
午後：〃

第5日目 午前：〃
午後：〃

履修上の留意点 一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法その他 出席を重視し、総合的に評価する。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（屋外球技）
担当者名	岩本 哲也

講義のねらい サッカーにおける、止める（トラップ）、蹴る（キック）、運ぶ（ドリブル）の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」「フットサル」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- （サッカー）
- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
 - 2 時限目：リフティング、インサイドキック、トラッピング、ゲーム
 - 3 時限目：浮き球のトラッピング、インステップキック（浮き球、グラウンダー）、ゲーム
 - 4 時限目：インフロントキック、オフサイドルールの理解、ゲーム
 - 5 時限目：基本技術の応用、ゲーム
 - 6 時限目：リーグ戦 1
 - 7 時限目：リーグ戦 2
 - 8 時限目：リーグ戦 3
- （フットサル）
- 9 時限目：ボールコントロール、ドリブル、ゲーム
 - 10 時限目：パス、トラップ、シュート
 - 11 時限目：基本技術の応用 1、ゲーム
 - 12 時限目：基本技術の応用 2、ゲーム
 - 13 時限目：リーグ戦 1
 - 14 時限目：リーグ戦 2
 - 15 時限目：リーグ戦 3

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。
シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること（取替え式スパイクは不可）。

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点30点とする。実技点は、授業中に行われるゲーム成果、授業態度を加味して評価する。また、個人の実技テストは行わない。

そ の 他

雨天時は、室内にて他種目の運動もしくは、ルール説明とビデオ観戦とする。30分以上の遅刻は認めない。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものが後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）
担当者名	まつむら まこと 村松 誠

講義のねらい	バスケットボール、バレーボールのゲームを通して、その基礎技術、戦術、ルール等を理解し、他の受講者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1月4日午前：オリエンテーションと班分け 午後：バスケットボールのパス・キャッチとシュート 5日午前：ボールハンドリングとリーグ戦 午後：対人技術とリーグ戦 6日午前：コンビネーションプレートリーグ戦 午後：バレーボールの基礎技術 7日午前：スパイクとリーグ戦 午後：サーブ・レシーブとリーグ戦 8日午前：総合練習とリーグ戦 午後：リーグ戦とまとめ
履修上の留意点	スポーツ服装と室内用スポーツシューズを用意すること。冬期のため、風邪を引かないよう防寒に留意すること。
成績評価の方法その他	出席点を重視する。全体の3分の2以上の出席者に対して評価点をつけることとする。 再クラス集中授業実施について (1) 実施期間：後期；1月4日（月）～1月8日（金） 1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合 (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30 (3) 実施場所：玉川校舎 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。 (5) 備考：再クラスの集中授業は、 <u>前期・後期を履修して通年で2単位である</u> 。該当する担当者・種目が、前期のものか後期のものか確認すること。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

保健体育

履修コード	196501・196502・196503・196504
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技）
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等） 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス） 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等） 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウェア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196601・196602・196603・196604
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等)
- 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス)
- 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等)
- 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
- 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
- 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
- 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

保健体育

履修コード	196701・196702・196703・196704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等)
- 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス)
- 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等)
- 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
- 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
- 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
- 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196801・196802・196803・196804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等)
 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス)
 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等)
 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点
 1. 本校第一体育館で行う。
 2. 定員は40名とする。
 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196901・196902・196903・196904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等)
 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス)
 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等)
 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点
 1. 本校第一体育館で行う。
 2. 定員は40名とする。
 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	197001・197002・197003・197004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等)
 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス)
 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等)
 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等)
 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点
 1. 本校第一体育館で行う。
 2. 定員は40名とする。
 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技点20点、態度点10点

保健体育

履修コード	197101・197102・197103・197104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(ミニサッカー)
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ること数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点
 (1) 定員：35名
 (2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

(3) 教場：体育館
 成績評価の方法 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197201・197202・197203・197204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(ミニサッカー)
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目: オリエンテーション
 2時限目: ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目: ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目: 基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目: ゲーム
 15時限目: まとめ

履修上の留意点
 (1) 定員: 35名
 (2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
 (3) 教場: 体育館

成績評価の方法 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197301・197302・197303・197304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(簡化太極拳)
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返す稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目: オリエンテーション
 2時限目: 重心の移動・腹式呼吸運動
 3時限目: 第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
 4時限目: 第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
 5時限目: 第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
 6時限目: 第四組 単鞭・雲手・単鞭
 7時限目: 第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
 8時限目: 第六組 左下勢独立・右下勢独立
 9時限目: 第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
 10時限目: 第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
 11時限目: 総合
 12時限目: 総合
 13時限目: 総合
 14時限目: 総合
 15時限目: テスト

履修上の留意点
 1) 定員: 45名
 2) 服装: 一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
 3) 教場: 体育館

成績評価の方法 出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197401・197402・197403・197404		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（簡化太極拳）	生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（簡化太極拳）	生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（簡化太極拳）
担当者名	大石 武士		

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet ・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷膀
- 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

保健体育

履修コード	197501・197502・197503・197504		
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技）	生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技）
担当者名	下谷内 勝利		

講義のねらい

この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション（バスケットボール）
- 2時限目：基本技術の学習（ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど）
- 3時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など
- 4時限目：ゲーム
- 5時限目：ゲーム
- 6時限目：ゲーム（バレーボール）
- 7時限目：基本技術の学習（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど）
- 8時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム
- 9時限目：ゲーム
- 10時限目：ゲーム
- 11時限目：ゲーム（バドミントン）
- 12時限目：基本技術の学習（ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど）
- 13時限目：スマッシュの練習およびシングルのゲーム
- 14時限目：サービスの練習およびダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。

成績評価の方法

授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。

教科書

特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。

その他

グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	197601・197602・197603・197604
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（室内球技）
担当者名	^{しもやち} ^{かつとし} 下谷内 勝利

講義のねらい この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
（バスケットボール）
- 2 時限目：基本技術の学習（ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど）
- 3 時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など
- 4 時限目：ゲーム
- 5 時限目：ゲーム
- 6 時限目：ゲーム
（バレーボール）
- 7 時限目：基本技術の学習（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど）
- 8 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム
- 9 時限目：ゲーム
- 10 時限目：ゲーム
- 11 時限目：ゲーム
（バドミントン）
- 12 時限目：基本技術の学習（ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど）
- 13 時限目：スマッシュの練習およびシングルのゲーム
- 14 時限目：サービスの練習およびダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

**履修上の留意点
成績評価の方法**

服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。

教科書

特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。

その他

グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	197701・197702・197703・197704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技）
担当者名	<small>しもやま かつとし</small> 下谷内 勝利

講義のねらい この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
（バスケットボール）
- 2時限目：基本技術の学習（ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど）
- 3時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など
- 4時限目：ゲーム
- 5時限目：ゲーム
- 6時限目：ゲーム
（バレーボール）
- 7時限目：基本技術の学習（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど）
- 8時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム
- 9時限目：ゲーム
- 10時限目：ゲーム
- 11時限目：ゲーム
（バドミントン）
- 12時限目：基本技術の学習（ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど）
- 13時限目：スマッシュの練習およびシングルのゲーム
- 14時限目：サーブの練習およびダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。

教科書

特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。

その他

グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	197801・197802・197803・197804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(室内球技)
担当者名	<small>しもやま かつとし</small> 下谷内 勝利

講義のねらい	この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション (バスケットボール) 2時限目：基本技術の学習(ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど) 3時限目：ハーコート2対1、3対2、5対5など 4時限目：ゲーム 5時限目：ゲーム 6時限目：ゲーム (バレーボール) 7時限目：基本技術の学習(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど) 8時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム 9時限目：ゲーム 10時限目：ゲーム 11時限目：ゲーム (バドミントン) 12時限目：基本技術の学習(ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど) 13時限目：スマッシュの練習およびシングルのゲーム 14時限目：サービスの練習およびダブルスのゲーム 15時限目：ダブルスのゲーム
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。
教科書	特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。
その他	グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

保健体育

履修コード	197901・197902・197903・197904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(卓球)
担当者名	<small>むらた まこと</small> 村松 誠

講義のねらい	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム 5時限目：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11時限目：ダブルスゲーム 12時限目：ダブルスゲーム 13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：ダブルスゲーム 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198001・198002・198003・198004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(卓球)
担当者名	村松 誠

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目: オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目: ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目: フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目: フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目: バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目: カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目: カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目: スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
- 9時限目: シングルスゲーム
- 10時限目: ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目: ダブルスゲーム
- 12時限目: ダブルスゲーム
- 13時限目: ダブルスゲーム
- 14時限目: ダブルスゲーム
- 15時限目: まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

保健体育

履修コード	198101・198102・198103・198104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(ダブルダッチ)
担当者名	末次 美樹

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目: オリエンテーション
- 2時限目: ターナールの練習・ジャンプの練習
- 3時限目: 短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4時限目: ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5時限目: ターナールの練習、奇数と偶数の違い
- 6時限目: 5回跳び・10回跳び
- 7時限目: ターナールの回転・スピード
- 8時限目: ビデオ学習
- 9時限目: 連続跳び
- 10時限目: 応用
- 11時限目: 応用
- 12時限目: 応用
- 13時限目: 応用
- 14時限目: 応用
- 15時限目: 応用

履修上の留意点 服装: 上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	198201・198202・198203・198204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（ダブルダッチ） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（ダブルダッチ） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（ダブルダッチ） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（ダブルダッチ）
担当者名	<small>すえつぐ みき</small> 末次 美樹

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
- 3 時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4 時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5 時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6 時限目：5回跳び・10回跳び
- 7 時限目：ターナーの回転・スピード
- 8 時限目：ビデオ学習
- 9 時限目：連続跳び
- 10 時限目：応用
- 11 時限目：応用
- 12 時限目：応用
- 13 時限目：応用
- 14 時限目：応用
- 15 時限目：応用

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（室内専用）を用意する。
成績評価の方法 出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%で行う。

履修コード	198301・198302・198303・198304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>すえつぐ みき</small> 末次 美樹

講義のねらい 室内で行う球技（バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ドッジボール等）を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション
- 2 時間目：＜バスケットボール＞パス、ドリブル等の基本技術・応用
- 3 時間目：ゲーム
- 4 時間目：ゲーム
- 5 時間目：＜バレーボール＞サーブ、レシーブ等の基本技術・応用
- 6 時間目：ゲーム
- 7 時間目：ゲーム
- 8 時間目：＜ドッジボール＞ルールの説明、キャッチボール等の基本技術
- 9 時間目：ボールコントロール、ゲーム
- 10 時間目：ゲーム（リーグ戦）
- 11 時間目：ゲーム（リーグ戦）
- 12 時間目：＜バドミントン＞基本的な説明
- 13 時間目：ゲーム
- 14 時間目：ゲーム
- 15 時間目：まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。人数によっては（出席者人数）、種目を変更する場合もある。
成績評価の方法 出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	198401・198402・198403・198404
科目名	生涯スポーツ実習I（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習II（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習III（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>すえつぐ みさ</small> 末次 美樹

講義のねらい 室内で行う球技（バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ドッジボール等）を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション
- 2 時間目：＜バスケットボール＞パス、ドリブル等の基本技術・応用
- 3 時間目：ゲーム
- 4 時間目：ゲーム
- 5 時間目：＜バレーボール＞サーブ、レシーブ等の基本技術・応用
- 6 時間目：ゲーム
- 7 時間目：ゲーム
- 8 時間目：＜ドッジボール＞ルールの説明、キャッチボール等の基本技術
- 9 時間目：ボールコントロール、ゲーム
- 10 時間目：ゲーム（リーグ戦）
- 11 時間目：ゲーム（リーグ戦）
- 12 時間目：＜バドミントン＞基本的な説明
- 13 時間目：ゲーム
- 14 時間目：ゲーム
- 15 時間目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。人数によっては（出席者人数）、種目を変更する場合もある。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価（授業への参加意欲、授業態度など）30%とする。個人の実技テストは行わない。

保
健
体
育

履修コード	198701・198702・198703・198704
科目名	生涯スポーツ実習I（前期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習II（前期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習III（前期・応用）（バスケットボール） 生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（バスケットボール）
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：マンツーマン・オフense（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：マンツーマン・オフense（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：マンツーマン・オフense（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフense（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフense（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフense（3）ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム
- 14 時限目：総合練習、ゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 駒沢キャンパス第1体育館で実施する。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198801・198802・198803・198804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(バスケットボール)
担当者名	モトノ シゲル 牧野 茂

講義のねらい	バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦) 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦) 7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦) 13時限目：総合練習、ゲーム 14時限目：総合練習、ゲーム 15時限目：実技テスト、ゲーム
履修上の留意点	(1) 定員は50名とする。 (2) 駒沢キャンパス第1体育館で実施する。 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198901・198902・198903・198904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(バスケットボール)
担当者名	モトノ シゲル 牧野 茂

講義のねらい	バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦) 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦) 7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦) 13時限目：総合練習、ゲーム 14時限目：総合練習、ゲーム 15時限目：実技テスト、ゲーム
履修上の留意点	(1) 定員は50名とする。 (2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	199001・199002・199003・199004
科目名	生涯スポーツ実習I(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習II(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習III(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習IV(後期・基礎)(バスケットボール)
担当者名	<small>まさの しげる</small> 牧野 茂

講義のねらい	バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦) 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦) 7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦) 13時限目：総合練習、ゲーム 14時限目：総合練習、ゲーム 15時限目：実技テスト、ゲーム
履修上の留意点	(1) 定員は50名とする。 (2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	199301・199302
科目名	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用）（ゴルフ）
担当者名	三幣 晴三 他

講義のねらい 「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。
 ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
 生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月8日（水）12：10～12：40 2研-209教場
 - 2回目 4月18日（土）12：10～12：40 2研-209教場
 ＊本オリエンテーションにて、受講許可書を発行します。
 1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月21日（火）13：00～16：10 2研-209教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月7日（月）
 講義：9：00～12：10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎（玉川校舎教場）
 実技：13：00～17：30 打撃練習
 ＊注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月8日（火） 実技・講義：11：00～18：00 打撃練習・ゴルフの規則1、その他
 - 3日目 9月9日（水） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ゴルフの規則2
 - 4日目 9月10日（木） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月11日（金） 実技・講義：8：30～13：30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎・シーズン応用）を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程：平成21年9月7日（玉川校舎）・9月8日～11日（現地：3泊4日）
 - 場所：

宿泊：マロードインターナショナルホテル成田
 〒286-0121 千葉県成田市駒井野763-1
 電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習コース：ダイナミックゴルフ成田
 〒289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
 電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
 - 定員：40名
 - 集合解散：
 - （1）集合 9月7日（月）午前9時 玉川校舎 305教場
 9月8日（火）午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - （2）解散 9月11日（金）午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
 - 受講料：37,600円（左記金額には、交通費は含まれない。）
 - 納入期間：平成21年5月18日（月）～5月30日（土）
 証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。

成績評価の方法その他

- 服装・用具
 - （1）一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
 - （2）ゴルフシューズ（ソフトスパイクに限る）は必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - （3）グローブは、必ず各自で用意すること。
 - （4）ゴルフクラブ・キャディーバックは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- 出席状況、ゴルフの技術的向上、授業態度を総合的に判断して評価する。
 都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されることがあります。

保健体育

履修コード	199401・199402
科目名	生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎）（スキー・スノーボード） 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用）（スキー・スノーボード）
担当者名	鈴木 淳平 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。
○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月8日（水）12：10～12：40 2研-209教場
2回目 4月18日（土）12：10～12：40 2研-209教場
※本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 1月8日（金）13：00～16：00 2研-209教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 1月28日（木）
午前：駒澤大学駒沢校舎から貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 正午到着予定
午後：開講式 班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 1月29日（金）
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 1月30日（土）
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 1月31日（日）
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省まとめ」
 - 5日目 2月1日（月）
午前：班別実習 閉講式
午後：駒澤大学駒沢校舎へ貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 到着後解散予定

履修上の留意点

- 本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎／応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認してください。
- 実習日程：平成22年1月28日（木）～2月1日（月）の4泊5日（現地集合解散）
 - 実習場所：セントレジャー舞子スノーリゾート
（宿泊）セントレジャー舞子ホテル 電話（025）783-3511
〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子2056-108
 - 定員：スキー20名
スノーボード30名（但し、初心者・初級者に限る）
 - 受講料：50,000円（内訳：往復交通費・宿泊費・食費・傷害保険・その他雑費として）
※リフト券、レンタル代は別途料金がかかります。
証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成21年5月18日（月）～5月30日（土）
 - 用具：用具は現地レンタル可能（有料）。
 - 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）に参加修了し、2単位が認められる。成績評価方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

履修コード	199501・199502
科目名	生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス） 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）
担当者名	<small>えぐち じゅんいち</small> 江口 淳一

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの一つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術

1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ

2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用

2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム

3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）

3日目午後：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）

4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ

5日目午前：トーナメント形式の試合

5日目午後：まとめ

履修上の留意点

(1) 履修者の技術レベルは問わない。

(2) 服装は一般的な運動服装とする。

(3) テニスシューズを必ず用意すること。

(4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法その他

出席状況（出欠は午前午後との二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

(1) 実施期間：7月18日（土）～22日（水）

7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合

(2) 実施時間：午前10：00～12：00

午後13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート

(4) 定員：40名とする。

(5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

特・4時限（前期）

履修コード	199701・199702
科目名	生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）

講義：スイングの基本

2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）

講義：マナーとエチケット

3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）

講義：ゴルフルール

4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）

講義：ゴルフコースとラウンドについて

5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

(1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）

(2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法
その他の

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

(1) 実施期間：1月4日（月）～8日（金）

1月4日午前10時に玉川校舎集合

(2) 実施時間：10：00～12：00

13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川校舎グラウンド

(4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。

(5) 定員：40名

(6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

特・4時限（後期）

履修コード	199901
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	下谷内 勝利

講義のねらい 「健康」あるいは「スポーツ」をテーマに、スポーツ科学が教える基礎知識を理解することを目的とする。

1. 授業内容の説明

2. 健康とは

3. スポーツとは

4. 健康・スポーツを究明するスポーツ科学とは

5. からだと環境 1 適応について

6. " 2 生活習慣病について

7. " 3 運動の必要性について（日常生活と運動）

8. 骨の構造と機能（骨格、関節の種類、関節の働きなど）

9. 身体構造に規制される動き

10. 筋肉（骨格筋の種類、筋収縮の仕組みなど）

11. 筋収縮エネルギー（ATP-PC機構、乳酸性機構、非乳酸性機構、スポーツ競技との関連など）

12. 有酸素運動

13. 無酸素運動

14. ワークショップ

15. まとめ

履修上の留意点 配布プリントに沿って板書することが多くあることから、ノート整理が重要である。

成績評価の方法 小テスト数回、期末テストあるいはレポートによって総合的に評価する。

教科書 特に指定はしない（授業において、プリントを配布する）

参考書 配布プリントに記載されている参考文献参照のこと。

その他 基本的に講義形式で行うが、必要に応じてワークショップを行う。

履修コード	200101
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	<small>えぐち じゆんいち</small> 江口 淳一

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な弊害を生んできた。本講義では、現代社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自律的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。

また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of life を実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤である。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを享受する能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時限目：講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2 時限目：ゆとり時代のLIFE STYLE (To have or To be)
- 3 時限目：生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4 時限目：現代社会と健康・スポーツ (余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因)
- 5 時限目：健康と体力の概念
- 6 時限目：人体 1) 骨格の構造
- 7 時限目： 2) 筋肉の構造
- 8 時限目： 3) 運動と呼吸循環器系
- 9 時限目： 4) 運動と代謝
- 10 時限目： 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11 時限目：スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12 時限目：スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13 時限目：運動処方計画のための基礎 (パワートレーニング、エアロビクストレーニング)
- 14 時限目：スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15 時限目：まとめ—学生自身による授業評価—

**成績評価の方法
参考書等**

出席状況および授業最終日に行うアンケートにて評価する。
配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。
『運動処方』(朝倉書店) 3,500円
『運動生理学20講』(朝倉書店) 2,884円
『「ゆとり」時代のライフスタイル』(日本経済新聞社) 1,300円

履修コード	20111
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	佐藤 政之

講義のねらい 現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に生活習慣病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 " : 現代生活と健康 (食生活と健康)
- 3 " : " (食生活と栄養)
- 4 " : " (")
- 5 " : " (運動不足と生活習慣病)
- 6 " : " (栄養と生活習慣病)
- 7 " : " (平均余命と寿命の伸び)
- 8 " : " (健康のための生活習慣)
- 9 " : " (喫煙・飲酒)
- 10 " : " (ストレス社会と健康障害)
- 11 " : " (ストレスと健康度測定)
- 12 " : 現代生活と運動 (健康づくり運動)
- 13 " : " (スポーツマンのトレーニング)
- 14 " : " (スポーツマンの運動処方)
- 15 " : (スポーツ医学の一般知識)

**成績評価の方法
教科書**

学期末試験と授業内に提出を求める2回の課題レポート中心に評価します。
教科書は使用しない。適時に配布プリントにて授業を進める。

保健
体育

履修コード	201201
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	大石 武士

講義のねらい 生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならぬ処置、とっきの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病氣や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病氣・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど(熱傷)、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

**履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等**

日頃から新聞・雑誌等の応急手当に関連する記事に目を通しておくこと。
出席・実習および学期末試験で評価する。

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』(カッサ出版) 1,700円
- 2 『最新図解救命救急一応急手当の手引き』(小学館) 700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

履修コード	201401
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	<small>しもやう かつとし</small> 下谷内 勝利

講義のねらい 「健康」あるいは「スポーツ」をテーマに、スポーツ科学が教える基礎知識を理解することを目的としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 授業内容の説明
2. 健康とは
3. スポーツとは
4. 健康・スポーツを究明するスポーツ科学とは
5. からだと環境 1 適応について
6. " 2 生活習慣病について
7. " 3 運動の必要性について（日常生活と運動）
8. 骨の構造と機能（骨格、関節の種類、関節の働きなど）
9. 身体構造に規制される動き
10. 筋肉（骨格筋の種類、筋収縮の仕組みなど）
11. 筋収縮エネルギー（ATP-PC機構、乳酸性機構、非乳酸性機構、スポーツ競技との関連など）
12. 有酸素運動
13. 無酸素運動
14. ワークショップ
15. まとめ

履修上の留意点

配布プリントに沿って板書することが多くあることから、ノート整理が重要である。

成績評価の方法

小テスト数回、期末テストあるいはレポートによって総合的に評価する。

教科書

特に指定はしない（授業において、プリントを配布する）

参考書等

配布プリントに記載されている参考文献参照のこと。

その他

基本的に講義形式で行うが、必要に応じてワークショップを行う。

保健体育

履修コード	201601
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	<small>むらまつ まこと</small> 村松 誠

講義のねらい 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。

教科書

特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	201801
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	牧野 ^{まさの} 茂 ^{しげる}

講義のねらい 現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か（2） 身体的健康、精神的健康
- 4 時限目：健康とは何か（3） 社会的健康
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件
- 7 時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：WHOの総合健康指標
- 10時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養
- 11時限目：日常生活と健康（2） 休養・睡眠
- 12時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康
- 13時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核
- 14時限目：感染症について（2） 性行為感染症
- 15時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。60点以上を合格とする。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学-知っておきたい予防医学-」（丸善）

「ライフスタイルと健康の科学」（不味堂出版）

他は、講義のなかで紹介する。

保健
体育

II 專 門 教 育 科 目

1. 国 文 学 科

履修コード	021061
科目名	日本語文法入門
担当者名	奈部 淑子 <small>なべ としこ</small>

講義のねらい 文学部国文科の学生として文学作品（古典作品も含む）を読解・鑑賞する際に基礎となる文法能力を高め、文学作品の読解に不十分とならないよう文法能力を身につけ、文法に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール (1) 文法とは・文法を学習する意義
(2～5) 高等学校までに学習した日本語（現代語と古典）文法を振り返り、確実に定着するように理解・復習（6～10）文法史への理解と応用——古代語から現代の日本語のかたちをとるまで、どのような変遷があったのか、などについて知識を深める。(11～15) 近年の記述文法の基礎的なトピックについての理解と考察——日本語の中のあいまいな表現・「ら抜き言葉」・アスペクト・モダリティなどについて身近な例文から、日常的に自分自身が何気なく口に出している「口頭語」について理解を深める。

履修上の留意点 必修科目であることを常に念頭に置き、欠席はなるべくしないこと。また大人数になると私語をしてもよいと考える人が多く見られるが、講義中の私語は一切認めない。

成績評価の方法 学期末試験の成績と、折をみて実施する小テストの点数をもとに評価します。出席状況も考慮します。

教科書 小田 勝著『古代日本語文法』2007年刊（おうふう）2,625円
プリント等を配布して補っていく予定。

履修コード	021051・021052
科目名	日本語文法入門 国語学概論
担当者名	土井 光祐 <small>どい こうすけ</small>

講義のねらい (1) 「学校文法」に基づく古典文法の基礎。
(2) 現代語における記述文法の基礎と古典語への応用。
(3) 文法史の基礎。
以上三つの柱を中心に、日本語文法の基礎を体系的に学習する。

講義の内容・授業スケジュール 当科目は、多くの学生にとって日本語文法を体系的に学ぶ最初で最後の機会となるはずである。国語学は勿論のこと、古典文学を始めとする関連諸領域を学ぶための必須の基礎知識を提供することとなる。

いわゆる「学校文法」は、様々な問題点が指摘されているが、特に形態論においては、古典解釈や文法史の拠り所として一定の役割を果たしてきた。既習であるはずの「学校文法」の知識が極端に不足していると、記述文法への発展や文法史への応用は勿論のこと、古典文学作品の基本的な読解も困難となる。更に、日本語の仕組みと変遷とをより総合的、分析的に学ぶためには、「学校文法」の知識だけでは不十分であって、近時深化の著しい記述文法の成果に基づく体系的な学習が不可欠となってくる。

履修上の留意点 本授業では、まず、形態論を中心に、(1) 「学校文法」に基づく古典文法の基礎知識の再確認を徹底的に行うと共に、「学校文法」の問題点を確認し、補足する。次に、(2) 主に現代語に基づいて記述された「文」を単位とする文法論の成果を学び、古典語に応用する。更に、(3) 古代語から現代語に至る文法史の中から特に重要と思われる事象を選んで、日本語の変遷を概観する。

古語辞典は必携、高校で使用した文法解説書があれば持参のこと。指定教科書は主に(2)に関するものであり、(1)(3)に関しては補助プリントを配布する。

尚、欠席者に対して、当方は一切フォローしない。欠席時の配布プリントは他の出席者に借りてコピーする等、各自で対応すること。

成績評価の方法 出席点と、前期・後期の筆記試験との総合による。
教科書 小田勝『古代日本語文法』(おうふう、¥2,625(税込)、ISBN978-4-273-03474-0C3081)
参考書等 授業中に紹介する。

履修コード	013201
科目名	国文学概論
担当者名	近衛 典子

講義のねらい 国文学史上の代表的な作品を読み、古語に親しみつつ、そこに表れている自然観や美意識、人間観などについて検討し、日本文学を支える思想を理解する。

講義の内容・授業スケジュール (1~15)『古今和歌集』を中心に、日本の自然を古代人がどのようにとらえ、愛でていったかを考察する。また、それが後世にどのような影響を与えたか、広い視野から考察する。(16~30)『浮世物語』を中心として、仏教色の濃い中世と現実的な思想に裏打ちされた近世とを比較検討し、その宇宙観、人間観の変化を理解する。

履修上の留意点 第1回目の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法 レポート(前期、後期各1回提出)、出席状況(1/3以上の欠席は単位を認めない)、その他の提出物などを総合的に判断して評価する。

教科書等 授業時にプリントを配付する。

参考書等 授業中に適宜指示する。

履修コード	012101
科目名	基礎国語学
担当者名	高田 智和

講義のねらい 1. わたしたちが、話し、聞き、読み、書く日本語についての知識を深めます。
2. ことばを分析的にとらえ、観察する視点を養います。

講義の内容・授業スケジュール 前期 1. (1-4) 音声・音韻 2. (5-8) 文字・表記 3. (9-15) 文法・敬語
後期 4. (16-20) 文章・文体 5. (21-24) 語彙 6. (25-30) 方言・共通語

履修上の留意点 主に現代の日本語を扱いますが、歴史的な側面を取り上げることもあります。

成績評価の方法 前期末と後期末の2回の試験を中心に、授業時間内に提出を求める課題を加えて総合的に判断します。

教科書等 『国語概説』(佐伯哲夫・山内洋一郎編、和泉書院、1983)
『国語学』(築島裕、東京大学出版会、1964)
『日本語史』(沖森卓也編、おうふう、1989)

履修コード	012201
科目名	基礎国語学
担当者名	奈部 淑子

講義のねらい 国語学の主要な研究分野についての理解を深め、国語学研究の姿勢・ありかたについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール (1)はじめに (2)~5音声・音韻について (6)~(10)文字・表記について (11)~(13)語彙について (14)~(18)文法・敬語について (19)~(22)文章・文体について (23)試験

履修上の留意点 一年間通して、やっと国語学の概要がみえてくるものなので、なるべく出席することが望ましい。私語はしないこと。

成績評価の方法 年度の最後に学年末試験を行う。

教科書等 『国語概説』(和泉書院)1,785円

その他 授業方法は講義形式で行う。随時プリント等を配布。

履修コード	012301
科目名	基礎国文学I
担当者名	田中 徳定

講義のねらい 古典文学を読解するための基礎的な知識を学び、古典文学を研究する方法を学ぶ。古典文学の読解を通して、日本語の表現の美しさ、おもしろさを知る。また、作品世界を深く読み込むことを通して、古典文学は、なぜ時代を超えて人々の心を捉えてきたのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール 古代から中世における代表的な古典文学作品をとりあげて読解する。併せて、作品読解に必要な古語の解釈方法、作品世界を理解するために必要な時代・社会背景について講義し、作品ごとに、どのような研究が行われているのか解説する。また、写本や版本を読むための基礎として、くずし字を読む練習も行う。

履修上の留意点 全授業数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象としない。

成績評価の方法 出席状況、授業態度、小テスト、レポート、学期末試験によって総合的に評価を行う。

教科書等 その都度、プリントを配布する。

参考書等 授業時に随時紹介する。なお、くずし字を読むため、『字典かな』(笠間書院、380円)を用意すること。

履修コード	012401
科目名	基礎国文学I
担当者名	湯浅 幸代

講義のねらい	古典文学を取り巻く現在の状況を理解し、いま、古典を学ぶことによどのような意味があるのかについて考える。また、実際に古典文学を読解するための基礎的な知識と方法を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	昨年は、『源氏物語』が書かれた時代から千年を迎えたということで、京都を中心に多くのイベントが開催された。このような現代に生きる古典のありように留意しながら、国風文化の据え直し、あるいは古典という認識の成立に立ち返った上で、具体的に平安時代の文学を中心に読解の方法を示す。また、近年、古代史や美術史といった越境的な広がりを見せる研究分野についても触れ、あわせて研究の指針となるような術語についても解説する。
履修上の留意点	遅刻・欠席が多い場合、評価の対象としない。
成績評価の方法	前期試験と後期試験、小レポート、出席状況などを総合して評価する。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	授業時に紹介する。

履修コード	012501
科目名	基礎国文学I
担当者名	近衛 典子

講義のねらい	印刷技術が発達して、誰もが同じ本を手にすることが出来るようになったのは、江戸時代からである。それまでは、一つ一つの作品がみな手書きであった。周知の作品を丁寧に読み解くことを通して、古典の作品がいかんして生み出され享受されてきたかを学習し、文学研究への導入としたい。くずし字の学習も行う。
講義の内容・授業スケジュール	後代の作品に大きな影響を与えた『伊勢物語』や『古今和歌集』など平安時代の作品を中心として、さまざまな作品に触れたいと考えている。またくずし字の学習も同時に行う。(1) ガイダンス、(2~14) 『伊勢物語』をめぐって、(15) 前期試験、(16~28) 『古今集』その他、(29・30) まとめ、後期試験
履修上の留意点	出席することが重要である。予習・復習が必要となるので、各自の積極的な取り組みを望む。また授業を糸口として、数多くの古典作品を自ら読んで欲しいと願っている。
成績評価の方法	学期末の試験を最も重視するが、出席、小テスト、提出物なども含めて総合的に判断する。
教科書	『字典かな——出典明記——』(笠間書院)

国
文

履修コード	012601
科目名	基礎国文学II
担当者名	出口 智之

講義のねらい	文学研究の基礎的な方法や概念を学び、それを用いて貴志祐介『青の炎』の精読を試みる。特に、様々な批評理論を応用することにより、作品の読解が多様に変化することを示し、テキストの可能性を取出す。同時に、日本の近代小説への応用も行い、学んだ概念や方法をいかに活用して作品を読みかえるか、実例を挙げて解説する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (2) ~ (4) 記号・作者・読者・テキスト (5) ストーリーとプロット (6) ~ (8) 語り手・視点と焦点化・人称 (9) ~ (10) 声・叙述 (11) ~ (12) 主人公・自我・個性と性格 (13) ~ (14) 記号とコード (15) ~ (16) ここまでのまとめ (17) 引用・文化 (18) ~ (19) フェミニズムとジェンダー (20) ~ (21) 精神分析 (22) ~ (23) ジャンル・フィクションとメタフィクション (24) ~ (25) メディア (26) ~ (27) 文化記号 (28) ~ (29) 『青の炎』の読解 (30) まとめ
履修上の留意点	『青の炎』は必ず購入し、第五回の授業時までには読了してくる。ほかにも夏目漱石、芥川龍之介、志賀直哉、太宰治など、多くの作品を扱うが、これは授業中にプリントで配布する。
成績評価の方法	年度末に提出するレポートによる。なお、単位確認には七割以上の出席を条件とする。
教科書	貴志祐介『青の炎』(角川文庫、平成十四年)、667円。ISBN:978-4-04-197906-8

履修コード	012701
科目名	基礎国文学II
担当者名	高田 知波 <small>たかだ ちなみ</small>

講義のねらい 近代の小説作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (2～10) 『坊っちゃん』講義 (11～19) 『伊豆の踊子』講義 (26～28) 『舞姫』講義 (29～30) まとめ。

履修上の留意点 小説の読みに、唯一絶対の《正解》というものとは存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の《読み》を追求することが近代文学研究の基本なのだと思うことを、この授業を通して理解してほしいと思う。

成績評価の方法 原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。

教科書 夏目漱石『坊っちゃん』(新潮文庫) 森鷗外『阿部一族・舞姫』(新潮文庫) 川端康成『伊豆の踊子』(新潮文庫)

参考書等 教場で指示する。

履修コード	012801
科目名	基礎国文学II
担当者名	勝原 晴希 <small>かつはら せいき</small>

講義のねらい 近現代の文学研究へのオリエンテーションを行ない、具体的な作品を使ってのアプローチの方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 近現代文学についての概略的な講義を行なった後、近現代の代表的な短篇小説・評論・詩歌について作品の分析読解を進めて行く。それぞれの作品について、授業時間内に簡単なレポートを課し、その内容をふまえながら講義を進める。また基本的な研究の手づぎについて講義する。

履修上の留意点 文学研究には基礎的な知識・技術の習得と主体的な個別アプローチの両方が必要である。どちらか一方に偏らないよう、バランスを取りながら身につけていって欲しい。

成績評価の方法 前後二回の試験、出席状況、時間内レポートによる。出席回数の少ない学生は受験資格を失うことがある。

教科書 プリント配布。

参考書等 授業中に随時指示する。

履修コード	012901
科目名	漢文学
担当者名	和田 和子 <small>わだ かずこ</small>

講義のねらい 漢文を読解する為に必要な知識の習得を目指す。また、言語の系統を異にする日本語と中国語の、その隙間を埋めるべく完成された訓読という方法についての検討を行い、国語としての漢文の位置づけを明確にしていきたい。併せて資料の読解を通じて、長い歴史の中で熟成されてきた中国人の言語活動や文化的営為に対する基礎的な理解を身につけていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は漢文学の基礎を学ぶ上で精読すべき資料を紹介・講読していく。また取り上げる漢文資料の内容に即して、適宜訓点の施し方、書き下し文の方法などを教授する。

後期は漢文理解の鍵となる助字の用法やその他の文法的諸問題についての考察を行い、漢文の構造をより発展的に学べるようにしたい。

成績評価の方法 期末に筆記試験を実施するとともに、出席状況、授業への参加の姿勢などにより総合的に評価する。

教科書 教員が作成したプリント資料を用いる。

その他 主に教員が講義する形式となるが、取り扱う資料や講義の内容について、各自予習・復習をしておくことが望ましい。

履修コード	013001
科目名	漢文学
担当者名	和田 ^{わた} ^{かずこ} 和子

講義のねらい 漢文を読解する為に必要な知識の習得を目指す。また言語の系統を異にする日本語と中国語の、その隙間を埋めるべく完成された訓読という方法についての検討を行うことで、国語としての漢文の位置づけを明確にしていきたい。併せて資料の読解を通じて、長い歴史の中で熟成されてきた中国人の言語活動や文化的営為に対する基礎的な理解を身につけていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は漢文学の基礎を学ぶ上で精読すべき資料を紹介・購読していく。また取り上げる漢文資料の内容に即して、適宜訓点や送り仮名の施し方、書き下し文の方法などを教授する。後期は漢文理解の鍵となる助字の用法やその他の文法的諸問題について考察を行い、漢文の構造をより発展的に学べるようにしたい。

成績評価の方法 期末試験と出席日数で評価する。

教科書その他 教員が作成したプリント資料を用いる。
主に教員が講義する形式となるが、取り扱う資料や講義の内容について、各自予習復習しておくことが望ましい。

履修コード	013301
科目名	国文学史I(古典)
担当者名	鈴木 ^{すずき} ^{ひろこ} 裕子

講義のねらい 上代から近世に至るまで、日本の歴史がどのように展開したかを概観しながら、古典文学史の流れを把握する。古典文学史を学ぶことで、日本文化を理解するための基礎的な知識を身につけ、文学の「価値」とはいかなるものかを総合的に考えるための広い視野を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・授業の概要
- 上代から近世(奈良時代から江戸時代)までに成立した日本文学の中で、文学史上重要な作品を取り上げ、時代背景や作品間の影響関係などを解説しながら紹介していく。
- ・授業計画
- (1) 総説・文学史とは何か、(2~6) 上代の文学……「文学」の成立、神話、上代の詩歌、(7~14) 中古の文学……中古の詩歌、仮名文学の成立と達成、古代説話の世界、(15) まとめ・上代から中古までの文学史、
- (16~23) 中世の文学……中世の詩歌、中世説話、軍記物語、室町物語、中世の随筆と日記文学、劇文学の成立、(24~29) 近世の文学……近世文学の概要、近世の詩歌、仮名草子、読本、劇文学、(30) 総括……日本文化の伝統と創造について

履修上の留意点 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。

成績評価の方法 期末毎に行う筆記試験60%、平常点40%で評価する。平常点は、出席状況、授業内で課する小テスト、授業外に課する課題で評価する。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 『日本古典文学史』(双文社出版)1,785円

参考書等 その他、プリント教材。
参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

国
文

履修コード	013401
科目名	国文学史I(古典)
担当者名	菌部 ^{そのべ} ^{みさお} 幹生

講義のねらい 日本の古典文学史全般にわたって講義するが、単なる知識の習得に終わるのではなく、時代背景や理念、作品の文学史的意義、作品間の関連などについても理解し、考える力を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 1 講座説明。2 時代区分と時代概念およびジャンル意識。3~6 上代の文学。7~10 中古の文学。11~14 中世の文学。15~18 近世の文学。19~28 課題文学史。29 教場試験。30 まとめ。

履修上の留意点 毎時間、最初に、確認テストを行い、最後にその日の講義内容に関する意見文の提出を求める。必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法 出席点20点、確認テスト20点、毎時間の意見文20点、教場試験40点の割合で評価する(教場試験はテキスト・ノート・辞書・参考書等持込可。確認テストは持ち込み不可)。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達(該当者・テーマ・提出期限等)を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書 高木博、佐々木克衛、神谷吉行編『新日本文学史要説・古典』双文社出版、1500円+税。

参考書等 必要があればそのつど紹介する。

履修コード	013501
科目名	国文学史II (近現代)
担当者名	小林 治

講義のねらい 明治以降、近代から現代に至るまでの日本文学の流れを概観しつつ、時代との関わりの中で生成される作品の系譜を考える。ひいては文学史の構築を可能ならしめるべく、近代以降の文学の展開と歴史の消長の間に独自の法則性を見つけ出すことをこの授業の到達目標とした。

講義の内容・授業スケジュール 小説による表現を主軸として文明開化期から昭和の終り(1988)までにおいて、個々の作家ならびにその集団が作り出した文学潮流と変転する歴史の潮流との相剋に焦点をあて、一連の作品生成の流れにどのような法則性が存在するかについて言及していく。その際、基本的な文学史事項の説明だけでなく、できるだけ具体的に個々の作品の本文と照らし合わせて、その表現の様態を把握することが可能になるよう留意して授業を進めたい。

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：文明開化期の文学について
- 第3回：過渡期の文学について
- 第4回：写実小説について
- 第5回：浪漫主義文学について
- 第6回：硯友社の文学について
- 第7回：社会主義思想と文学について
- 第8回：自然主義文学について
- 第9回：反自然主義文学について
- 第10回：耽美派について
- 第11回：「白樺」派について
- 第12回：「奇蹟」派について
- 第13回：「新思潮」派について
- 第14回：明治作家の成熟について
- 第15回：ニヒリズムについて
- 第16回：私小説について
- 第17回：労働文学について
- 第18回：大衆文学の確立について
- 第19回：プロレタリア文学について
- 第20回：新感覚派について
- 第21回：新興芸術派について
- 第22回：転向と文芸復興ならびに日本浪漫派について
- 第23回：戦後文学の出發について
- 第24回：第一次戦後派と政治について
- 第25回：第二次戦後派と前衛について
- 第26回：第三の新人と家庭小説について
- 第27回：70年安保前後の時代について
- 第28回：「内向の世代」について
- 第29回：文学の現在について
- 第30回：総論的まとめ—文学史の構築について—

履修上の留意点 授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と並行して読むことが望まれる。また、特に詳しく取り上げる作品はあらかじめ知らせるので、事前に読んでおくこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法 年度末の筆記試験の成績、課したレポートの内容、ならびに毎回の講義の出席状況を総合して成績評価を行う。

教科書 「現代日本文学史」(笠間書院) 1,800円

参考書等 適宜プリントも配布する。

授業時に指示する。

履修コード	013601
科目名	国文学史Ⅱ(近現代)
担当者名	松田 直行

講義のねらい	近代の日本文学史を、政治・社会・経済・芸術・風俗の総体としての文化史の中に位置づけ、演劇・映画・音楽などの表現や、レコード・映画・ラジオなどメディアの変遷とともに理解し、「メディアの中の文学」を考える。
講義の内容・授業スケジュール	映像資料などを使って時代背景を理解することから始め、特に近代演劇史に焦点をあてて、時代順に講義する。通史ではあるが概説にとどまることなく、各時代の代表的な作品に触れながら進める。 (1-2)「近代」とは何か／「前近代」とは何か (3-4) 明治維新と「開化」の文芸 (5-6) 坪内逍遙の近代意識 (7-8) 自由民権運動と壮士劇 (9-10) 硯友社文学と新派劇 (11-12) シェイクスピアの翻訳 (13-14) 文芸協会と新劇の誕生 (15-16) 演劇改良と帝国劇場 (17-18) 「銀座座」と「浅草」－それぞれの西洋 (19-20) 複製芸術とメディア－映画とレコード (21-22) 大衆消費社会の出現と文芸 (23-24) 川端康成『浅草紅団』を読む－震災後の浅草 (25-26) モダンリズムとは何か (27-28) ラジオとトーキー映画
履修上の留意点	2/3以上の出席がなければ単位は取得できない。遅刻の場合は出席とみなさないで注意すること。
成績評価の方法	前期・後期(学年末)それぞれの定期試験期間中に、筆記試験を行う。前期試験の点数を3割、学年末試験の点数を4割、出席状況と授業の中で随時提出を求める提出物による評価を3割として計算し評価する。
教科書	指定しない。

履修コード	013701
科目名	国語史
担当者名	山本 真吾

講義のねらい	古代から近代にかけての日本語の流れを概説する。特に時代の変動期に注目することによって、多様な文献資料の複雑な言語変化のさまを観察してみたい。その際には、言語活動の主体である当時の人々の社会、生活、文化、宗教とのかかわりも重視し、観点も文字・表記、音韻、文法、語彙、文体と幅広く取り上げたい。
講義の内容・授業スケジュール	【前期】※以下の項目に従って、それぞれ2～5回ずつ講義を行う。 1、国語史の研究水準と問題点(1・2) 2、文献資料の多様性(3～5) 3、古代の日本語(6～10) 4、院政期言語の諸問題及び前期の総括(11～15) 【後期】※以下の項目に従って、それぞれ2～6回ずつ講義を行う。 1、鎌倉時代語の諸問題(1～6) 2、室町時代の日本語(7～9) 3、江戸時代の日本語(10・11) 4、幕末明治期言語の諸問題及び前後期の総括(12～15)
履修上の留意点	図書館等に所蔵の関連文献を大いに活用してほしい。 (講義最終回に予定の)筆記試験の成績による。
成績評価の方法	用いない。適宜プリントを配布する。
教科書	講義の中で随時紹介する。
参考書等	

履修コード	013801
科目名	国語学史
担当者名	木村 一

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

言語研究の歴史について考える。

国語についての研究は、古代から様々な観点でなされてきている。その流れを大きくテーマによって区分し（古語への意識、音韻の研究、文法の研究、語彙の研究、キリシタンの日本語研究など）、概観したい。また、国語学史上、欠かすことのできない資料の読解もあわせて行う。

前期は、日本語学の時代区分、国語学史の意義、古語の意識、音韻の研究、仮名遣いの研究、文法研究をあつかう。後期は、方言の研究、アクセントの研究、語彙の研究、キリシタンの日本語研究、西洋人の日本語研究をあつかう。各テーマについて3回程度の講義を行う。

履修上の留意点

テキストの分類に沿って講義形式で授業を進めるが、プリントなどによる資料を配布して、受講者による調査・作業も行う予定である。積極的な取り組みを希望する。

成績評価の方法
教科書
参考書等

授業への参加姿勢、出席状況、試験・レポートなどを総合して評価する。

『国語学史』（第3版）馬淵和夫・出雲朝子 笠間書院 ￥1,890

『国語学史資料集』 国語学会編 武蔵野書院

『国語史資料集』 国語学会編 武蔵野書院

『資料日本語史』 沖森卓也編 おうふう

『古典日本語の世界』 東京大学教養部国文・漢文学部会 東京大学出版会

その他、授業を通じ必要に応じて紹介する。

履修コード	013901
科目名	国語学研究I
担当者名	木村 一

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

江戸・明治期の日本語について考える。

ことばとは、ある時点での現在を反映すると共に、その前後と深いかかわりを持っている。変化の過程が著しい一時点として挙げられる江戸（幕末）から明治（初）期を中心に、語彙・語法に焦点を当て、広く日本語について考察したい。

変化の過程（古典語から現代語）を眺めるための実例として、諸種の辞書・随行録・訳書・著作を取り上げ、ことばの一斑を明らかにしたい。また、当時の印刷事情にも触れる予定である。各テーマについて5回程度の講義を行う。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

主として講義形式で進めるが、併せて、文献を利用した基礎作業や、課題の報告などを行う。

授業への参加姿勢、出席状況、試験・レポートなどを総合して評価する。

適宜プリントを配布する。

森岡健二著 『改訂 近代語の成立 語彙編』 明治書院

沖森卓也他編 『日本辞書辞典』 おうふう

惣郷正明著 『日本語開化物語』（朝日新書360）朝日新聞社

丸山真男・加藤周一著 『翻訳と日本の近代』（岩波新書 新赤版580）岩波書店

高島俊男著 『漢字と日本人』（文春新書198）文芸春秋

その他、授業を通じ必要に応じて紹介する。

履修コード	014101
科目名	上代文学研究I
担当者名	中嶋 眞也

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

現存、日本最古の歌集『万葉集』を精読し、古代日本の一端を理解することをねらいとします。
2010年は、キャラクター先行の感もありますが、巻を騒がせている平城京遷都1300年であります。そのような100年に1度の記念すべき年に、人生で遭遇できることは幸運ともいえます。そこで平城京は文学作品ではどのように描かれているのかを、2010年を迎える前に『万葉集』を中心にしていきたいと思います。古代を理想的に幻視するのではなく、残された歌を通じて、古代の人々の喜びや悲しみを少しでも身近に感じられれば幸いであります。

『万葉集』を読むのが初めてという方も少なくないでしょうから、『万葉集』に関する概説を最初は極力丁寧に行ないます。読解に入ってから、前期は平城京に関わる歌の紹介を中心に、状況理解に努め、後期はそれらの歌々に相互に関わる問題、派生する問題を取り上げていこうと思います。ただし、授業は生き物ですから、移ろいゆく場合もあることをご承知おきください。前期と後期の最後に試験を行います。以下、回数ごとの予定を記しておきます。

(1・2) ガイダンス、『万葉集』概説、(3～5) 大宰府からの平城京、(6・7) 旅の途上の平城京、(8～10) 越中からの平城京、(11・12) 失われた平城京、(13・14) 平安時代の平城京、(15) 前期試験、(16～18) 平城京の近郊1(高円)、(19・20) 平城京の近郊2(生駒)、(21～24) 平城京の近郊3(佐保)、(25～28) 平城京の近郊4(三笠)、(29) まとめ、(30) 後期試験

履修上の留意点

講義というスタイルですが、主体的な受講を切に希望します。

テキストは毎回必ず忘れないように。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

学期末の試験を中心に評価しますが、授業の出席状況ならびに授業態度も重視します。

鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)

必要に応じて、授業中に指示します。

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布します。

履修コード	014301
科目名	中古文学研究I
担当者名	松井 健児

講義のねらい

『源氏物語』の自然叙述を、その歴史的・表現史的な背景を踏まえつつ読み解いてゆく。ことに自然叙述の種々相における、認識方法や類型化の問題を、表現それ自体に内在する歴史性的問題として扱うことによって王朝文化論としての展開を試みる。

講義の内容・
授業スケジュール

『源氏物語』より、訪問・宴・儀礼など、固有の意味を持ついくつかの場面を取り上げつつ講読する。具体的には、物語叙述と詩歌表現とを相互に関連付ける、歴史的心性および言語表現史への言及ということになる。折に触れ、王朝絵画や文様など、他の関連分野との比較検討を行う。(1～4) 『源氏物語』概説、(5～7) 物語文学と自然叙述、(8～14) 『源氏物語』第一部の巻々、(15～21) 『源氏物語』第二部の巻々、(22～28) 『源氏物語』第三部の巻々、(29～30) 物語表現と主題形成。

履修上の留意点

毎回、長文の本文を講読する。『源氏物語』の文章は難解で知られる。また、和歌・漢詩を数多く読むこととなる。古語辞典等を活用しつつ、自宅での予習・復習の時間にじっくりと本文と向き合い味読してほしい。また、この講義では、受講生による本文の音読を重視する。

成績評価の方法
教科書

①本文解釈を中心としたレポート ②出席状況 ③その他を総合して行う。

授業時にプリントを随時配布する。

履修コード	014501
科目名	中世文学研究I
担当者名	櫻井 陽子

講義のねらい	源義経が文学・芸能の中でどのように登場し、活躍し、増幅されていくのかを考えることから、中世文学の側面を考える。
講義の内容・授業スケジュール	軍記物語全体の特色について、文学史上における意味・意義・問題点を講義する。次に、義経の登場する『平治物語』『平家物語』『義経記』について、作品の内容を紹介する。 その上で、諸作品における義経の登場個所を丁寧に読み解き、問題意識を深める。必要に応じて、歴史史料などを参照する。 余裕があれば、御伽草子・幸若・能・歌舞伎などに登場する義経について言及する。 1～5 軍記物語とはどのようなジャンルか。 6～10 『平治物語』『平家物語』『義経記』の特徴。 11～15 『平治物語』における義経 16～20 『平家物語』における義経 20～28 『義経記』における義経 29・30 芸能などの諸作品における義経
履修上の留意点	講義ノートを作成しておくこと。
成績評価の方法	出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。
教科書	授業時に指示する。
参考書等	授業時に指示する。

履修コード	014701
科目名	近世文学研究I
担当者名	川元 ひとみ

講義のねらい	従来の小説方法を一新して浮世草子というジャンルを切り開いた西鶴の方法を探ることを目的とし、近世前期の上方文化についても理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	井原西鶴の『好色一代男』を読む。 1. 江戸時代の特色（前期を中心に）の概論。（1） 2. 井原西鶴とその後の浮世草子作者（2～3） 3. 西鶴の浮世草子とその後の浮世草子（4～5） 4. 『好色一代男』研究における諸問題（6） 5. 各章を読む（7～29） 6. 試験（レポート）
履修上の留意点	授業では時間の都合上、全文を通読できない。したがって、個々で全文読破する意欲を持っていること。
成績評価の方法	最後に課すレポート（原稿用紙10枚程度）に拠る。出席も考慮する。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	『西鶴集』（日本古典文学全集）板坂元・岩波書店、『好色一代男全注釈』前田金五郎・角川書店、『対訳西鶴全集』富士昭雄・明治書院、『現代語訳西鶴全集』暁峻康隆・小学館

国
文

履修コード	O14901
科目名	近代文学研究I
担当者名	榎本 正樹

講義のねらい 二十世紀前後にデビューした作家の作品を網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマや表現、モチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探ります。

講義の内容・授業スケジュール 現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの技法、周辺メディアとの関連などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学（純文学）を中心に、その他のジャンルも対象とします。

今年度の授業では、昨年（2008年）映画公開された現代日本文学を原作とする映画を鑑賞し、原作と比較しながら作品を解説する小特集的なテーマを設定します。森絵都『ダイブ!!』（熊澤尚人監督）、梨木香歩『西の魔女が死んだ』（長崎俊一監督）、長嶋有『ジャージの二人』（中村義洋監督）、森博嗣『スカイ・クロラ』（押井守監督）、東野圭吾『容疑者Xの献身』（西谷弘監督）の候補作品の中から、3～4作取りあげる予定です。

履修上の留意点 榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報、文学界、出版界のトピックスなども盛りこんでいきます。

現代日本文学、映画、周辺ジャンルなど、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。学生からの質問や問題提起にも積極的に応じます。

成績評価の方法 学期末提出のレポートの評価をメインに、出席点を加味し評価します。

教科書 使用しません。取りあげる作品を事前に読んでいなくても理解できる形で、授業は進めます。

参考書等 参考文献等は教室で指示します。

その他 講義形式をとります。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト（<http://enmt.jp>）も参考にしてください。

履修コード	O15001
科目名	近代文学研究II
担当者名	高田 知波

講義のねらい 年間テーマは「漱石を読む」である。国民的作家と呼ばれる漱石は、著名な作家であるぶん、その作品の読みにはさまざまなバイアス（先入観）が付着している。そうしたバイアスから作品を解き放つ「読み」というものを追求したい。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス（2～10）『こころ』講義（11～19）『三四郎』講義（20～28）『それから』講義（29～30）まとめ

履修上の留意点 講義形式ではあるが、受講生参加型の授業である。毎時間、授業の中で、多数の学生を指名して、意見や想像を含むさまざまな発問を行い、時には小討論も取り入れる予定であるので、それに対応できる心積もりをもって受講してほしい。

成績評価の方法 年度末の筆記試験によって評価を出す。欠席多数者は受験資格を失うことがある。

教科書 夏目漱石『こころ』『三四郎』『それから』（いずれも新潮文庫）

参考書等 教場で指示する。

履修コード	O15101
科目名	国語学特講I
担当者名	山本 真吾

講義のねらい 平安時代語の諸問題。これまであまり知られていない新資料を活用し、新たな視点や方法を導入することによって、平安時代語の新しい研究領域を探る。

講義の内容・授業スケジュール 【前期】※以下の項目に従って、それぞれ2～7回ずつ講義を行う。

- 1、平安時代語の研究水準と問題点（1・2）
- 2、文献資料の多様性（3～5）
- 3、仮名資料の諸相（6～8）
- 4、平安仮名文学の言語その一（和歌、歌物語、日記）（9～15）

【後期】※以下の項目に従って、それぞれ2～7回ずつ講義を行う。

- 1、平安仮名文学の言語その二（物語、随筆）（1～7）
- 2、漢字専用時代の継承（8・9）
- 3、漢文の理解（10～12）
- 4、片仮名交じり文の系譜及び総括（13～15）

履修上の留意点 図書館等に所蔵の関連文献を大いに活用してほしい。

成績評価の方法 （講義最終回に予定の）筆記試験の成績による。

教科書 用いない。適宜プリントを配布する。

参考書等 講義の中で随時紹介する。

履修コード	015201
科目名	国語学特講II
担当者名	高田 智和

講義のねらい	1. コンピュータを利用した日本語研究の方法と考え方を習得します。 2. 利用可能な電子化テキストとその利用法について理解します。 3. 電子化テキストを用いた日本語研究の現状と課題を解説します。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期 1. (1-3) 電子化テキストを利用した日本語研究 2. (4-6) 電子化テキストの加工・検索 3. (7-10) 文字コードと漢字処理 4. (11-15) 正規表現 後期 5. (16-18) ことばの計量的研究 6. (19-22) 文字量を測る 7. (23-30) 語彙量を測る
履修上の留意点	授業では総合学術センターのパソコンを使用しますが、初心者でも受講可能です。
成績評価の方法	授業への出席状況、実習時（授業時間内）の課題提出、期末試験によって総合的に判断します。
教科書	教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。
参考書等	『計量言語学入門』（伊藤雅光、大修館書店、2002） 『パソコンを使う日本語研究』（『日本語学』14巻7月臨時増刊号、明治書院） 『新聞電子メディアの漢字一朝日新聞CD-ROMによる漢字頻度表』（横山詔一・笹原宏之・野崎浩成・エリク＝ロング、三省堂、1998）
その他	授業は講義のほか、パソコンを使用した実習を行います。

履修コード	015301
科目名	国文学特講I
担当者名	吉田 幹生

講義のねらい	古代の恋歌を読む。一首一首を丹念に精読して、それぞれの歌がどのようにして恋心を描き出しているのかを考えると同時に、そこに描きだされた恋心が当時の恋愛観とどのように関わるのか、また古代の恋愛文学史をどう切り拓いていったのかということも明らかにしていきたいと考えている。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期は『万葉集』、後期は『古今和歌集』を中心に取り上げる予定。前期は、「人目・人言」「夢」「人妻」「面影」「恋死に」といった『万葉集』に特徴的な言葉を取り上げて、それらの背後に潜む当時の恋愛観や歌の抒情について考えていく。後期は、恋の始まりから終わりまで時間軸に沿って恋歌を読み進めながら、『万葉集』とは一味違った平安恋歌の世界を明らかにしたいと思っている。
履修上の留意点	特になし。
成績評価の方法	定期試験に基づくことを基本とするが、授業態度についても考慮する場合がある。
教科書	特になし。
その他	講義形式を基本とするが、人数次第では受講者にも発言を求めるなどしてゼミ的な要素を取り入れる可能性がある。

履修コード	015401
科目名	国文学特講II
担当者名	渡部 泰明

講義のねらい	和歌がワカラナイ、古典の中でも和歌はとくに難しい、という若い人の嘆きをしばしば耳にします。和歌はどう読んだらよいのでしょうか。どういうものだと考えたらよいのでしょうか。万葉集から近世の和歌まで幅広く取り上げ、和歌特有の技巧である枕詞・序詞・掛詞・縁語・見立て・本歌取りや、贈答歌・屏風歌・歌合・人麻呂影供・古今伝授など和歌独特の催しごとの実態と意味を考えながら、いったい和歌とはそもそも何なのか、「ああわかった」と思ってもらえるように講義してみたいと思います。
講義の内容・ 授業スケジュール	(1～2) 和歌概説…和歌は演技である。(3～17) 和歌のレトリックとはどういう働きをするのか…枕詞・序詞・掛詞・縁語・見立て・本歌取り。(18～28) 贈答歌・屏風歌・歌合・人麻呂影供・古今伝授の実態と意義。(29～30) 和歌の作者はどこにいるか。
成績評価の方法	前期および後期の最終授業日における論述形式の筆記試験を中心とし、出席状況も加味します。
教科書	渡部泰明『和歌』（岩波書店、2009）

履修コード	O15501
科目名	国文学特講III
担当者名	<small>わたなべ すすみ</small> 渡部 泰明

- 講義のねらい 受講生の皆さんに、実際に演技や戯曲作成をしてもらいながら、日本の古来の言葉が、どのように現在に生かすことができるか、実体感してもらおう授業です。プロの演劇家によるワークショップ形式の演技体験など（3回）も含め、最終的に皆さん自身の力で、古典文学作品の上演をしてもらいます。
- 講義の内容・授業スケジュール （1～4）現代の演劇への視角…夢の遊眠社野田秀樹氏の演劇空間。（5～7）NODA・MAP高都幸男氏によるワークショップ。（8～12）現代戯曲の構造の分析…『桜の森の満開の下』などを例に。（13～20）古典文学の戯曲化の方法と実際。（21～30）グループに分かれての演劇製作および上演。
- 履修上の留意点 過去の演技体験の有無はまったく問いません。これまでの受講者の多くが演劇未経験者でした。ただし出席が重要となります。
- 成績評価の方法 出席状況を中心として、上演によって評価します。
- 教科書 とくにありません。

履修コード	O15601
科目名	国文学特講IV
担当者名	<small>いわたき ときひこ</small> 岩崎 雅彦

- 講義のねらい 能の詞章である謡曲を読む。
- 講義の内容・授業スケジュール 始めに能についての概説を行い、以下、「葵上」「景清」「恋重荷」「隅田川」「邯鄲」「紅葉狩」等の作品を講読する。
- 成績評価の方法 前期・後期末に、それぞれレポート提出。
- 教科書 授業時に指示する。
- 参考書等 表章構成 別冊『太陽』能（平凡社）
岩波講座『能・狂言』（岩波書店）
- その他 講義形式。

履修コード	O15701
科目名	国文学特講V
担当者名	<small>さとう たけみつ</small> 佐藤 武光

- 講義のねらい 映画が全く新しい方向へ歩き出している、オーストラリアでは、義務教育に映画製作が導入され、民族、宗教、文化の違いを超えた教育の成果を上げている。日本に於いても全国各地で中学生等の映画作りが行われ、又市民だけによる映画祭等が川崎市等を中心に広がっている。映像表現は、もはやプロだけの表現手段では、なくなった。今や若者の「精神を高揚」させたり「クリエイティブな自己啓発」、また自己表現する文化的端子が、余りにも少ない中、皆が集い互いに影響し合い魅力的な「文化状況を自分達で作りに出していく存在としての映画」に変化してきたのである。しかし一方で映像の氾濫の時代でもある、求められてくるのは、映像のLITERACY（リテラシー読み書き能力）である。そこで本講座は、時代が生み出した小津、黒澤、今村、等の名作を考察し、又若手監督や、学生映画や、中学生映画をも觀賞しながら、其の貴重な同時代の財産を、共有したいと思う総じて創造的映画批評力を、蓄え、人間力の向上を目指します。
- 講義の内容・授業スケジュール
- ①視点の違う作家達（作品上映して）
（イ）小津安二郎の世界（ロ）今村昌平の世界（ハ）黒沢明の世界（ニ）学生映画の世界（ホ）ジュニアシネマ（中学生）の世界（ヘ）他の監督
 - ②メディアリテラシー及びシネマリテラシーの考察
（イ）メディア受容能力（ロ）メディア使用能力（ハ）メディア表現能力
 - ③新しい映画ビジネス「映画ファンド」を考察します
映画「フラガール」を参考にして
 - ④シナリオ創作演習
（イ）十本企画（何を書きたいか？）（ロ）テーマ（誰の為に作るのか）（ハ）時代は何を求めているか（対象性）（ニ）作家性
 - ⑤シナリオワークショップ
（イ）名作シナリオの実践的分析（用心棒、愛と青春の旅立等）
- 履修上の留意点 日常的映像が何を目的として作られているかを考えながら映像感覚をみがく（TV、CM、映画等）
- 成績評価の方法 作品上映後のレポート提出及び後期末提出のシナリオ作品（200字30枚以上）で評価する
- 教科書 授業時に指示する
- 参考書等 参考文献は、講義の中で紹介します
- その他 基本的に講義中心だが、作品上映後等でディスカッション中心の授業にしたい

履修コード	015801
科目名	国文学特講VI
担当者名	津島 知明

講義のねらい 清少納言の『枕草子』を精読しながら、古典文学を読むにあたっての様々な問題を考えてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール はじめの数時間は、本文の異同、諸本の問題など、古典研究に必要な基礎知識から、時代背景、享受と研究の歴史、現時点での課題や問題点などを概説します。
以後は、日記回想段と呼ばれる部分を中心に本文を読み進めて行きます。年表や系図などを参照しながら、ひとつひとつの表現に立ち止まり、『枕草子』の世界を再構築して行ければと思います。また、随時「写本」に触れる機会も作ってゆく予定です。

成績評価の方法 平常点（出席状況、夏期レポート、授業時テストから総合的に評価）

教科書 岸上慎二『校訂 三卷本枕草子』（武蔵野書院、1240円）
津島知明『ウェイリーと読む枕草子』（鼎書房、2100円）

参考書等 津島知明『動態としての枕草子』（おうふう）

その他 その他、授業時に指示する。
講義形式。ただし、理解度や疑問点の有無などを折々確認しながら進めて行く。

履修コード	015901
科目名	国文学特講VII
担当者名	関根 賢司

講義のねらい 文学史・物語史を背景に、『伊勢物語』を、『古今和歌集』『大和物語』『源氏物語』などと比較しながら（インターテクスチュアリティの視点から）読む。

講義の内容・授業スケジュール 初めに、古代・中世の物語史を概観し、『伊勢物語』の諸問題（作者・成立・書名・構成・主題・主人公と在原業平・歌物語というジャンルなど）について解説し、『伊勢物語』を初段から読み進めていく。

履修上の留意点 あらかじめ『竹取物語』を（現代語訳ではなく）岩波文庫や角川ソフィア文庫で（岩波の新古典大系や小学館の新編古典全集などでもよい）通読し、古典を読むことに親しみ、初期の物語史のイメージを描いておくこと。

成績評価の方法 出席状況、小テスト、レポート（前期『竹取物語』について、後期『伊勢物語』について）によって判断する。

教科書 神野藤昭夫・関根賢司編『新編伊勢物語』（おうふう、1995円）

参考書等 室伏信助編『伊勢物語の表現史』（笠間書院）、関根賢司著『伊勢物語論 異化と脱構築』（おうふう）。その他、授業時に指示する。

その他 講義形式。時に質問して対話し、時に朗読させたりすることもある。

履修コード	016001
科目名	国文学特講VIII
担当者名	池山 晃

講義のねらい 近世（江戸時代）を代表する人形浄瑠璃作家、近松門左衛門の、「時代物」浄瑠璃作品を扱う。先行関連作品などの資料を参考にしながら、下記の作品本文を読み進める。同時代の庶民を描いた「世話物」とは異なり、それ以前のさまざまな時代の出来事に取材した時代物の、独特の魅力をさぐっていく。

講義の内容・授業スケジュール （1～2）人形浄瑠璃と近松の概説（3～8）『出世景清』（9～15）『用明天王職人鑑』（16～23）『国性爺合戦』（24～29）『平家女護島』（30）まとめ

履修上の留意点 原則として、毎回コメントや質問を書いてもらい、次の回にこちらからそれにこたえるようにする。プリントは早めに配付していくので、事前に目を通しておくことがのぞましい。

成績評価の方法 前後期末試験と平常点（出席状況など）。

教科書 随時プリントを配付する。

履修コード	016101
科目名	国文学特講IX
担当者名	<small>かんだ ゆみこ</small> 神田 由美子

講義のねらい 東京は日本の近代化、西欧化の象徴として発展してきた。本講では、東京の様々な空間と、近代化の象徴としての建物を舞台とする作品を読み、日本独自の〈近代〉〈現代〉の意味と〈近代小説〉〈現代小説〉の方法を考察する。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には、東京の〈山の手〉と〈下町〉の構造を、医学生と若い妾との淡い交情によって浮彫にした森鷗外作の「雁」、東京が〈ムラ〉から〈マチ〉へ移向する様相を吉原遊郭周辺の子供たちの姿によって描いた樋口一葉作の「たけくらべ」、日本近代の喜劇でもあり悲劇でもあった鹿鳴館を舞台とする三つのドラマ・泉鏡花作「貧民倶楽部」、芥川龍之介作「舞踏会」、三島由紀夫作「鹿鳴館」、日露戦争後の東京を地方出の青年の目を通して映した夏目漱石作の「三四郎」、関東大震災後の東京を〈地獄〉として対象化した芥川龍之介作の「歯車」、昭和初期の浅草の虚無的な美をヒロインの危険な魅力に託した川端康成作の「虹」、学生運動の時代の青春を新宿や山手線を中心に描いた村上春樹の「ノルウェーの森」、東京の中の〈アメリカ〉である横田基地を舞台とする村上龍作の「限りなく透明に近いブルー」などを扱う予定である。

成績評価の方法 夏休み明けと期末試験中の2回のレポートと、授業中に提出してもらった感想などを総合しておく。作品の舞台になる場所をビデオで紹介するので、遅刻のないように出席すること。

履修コード	016201
科目名	国文学特講X
担当者名	<small>くにまつ としひさ</small> 国松 俊英

講義のねらい この時間は童話や創作を書く。創作はもともと個人の作業である。何を、どのように書いていくのかは、ひとりひとりが書きながら考え、苦しみながら、その方法を体得していくものだ。とはいうものの、創作のために少しでも手がかりがあれば、より早くより確実に創作の方法を見つけてことができると思う。道すがらわかれば、迷ったり悩んだりすることも少なくなるだろう。この時間では、童話や創作を書いていく手がかりを提示し、それをもとにいろんな作品に挑戦する。童話、児童文学の創作を書くことの楽しさと充実した時間を、受講したみんなが獲得できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 原稿用紙の使い方 (2) 個性ある文章を書くために (3) 物語作りとは (4) 題材はどこで見つけてくるか (5) ストーリーを組み立てる (6) 魅力あるキャラクターを作る (7) 説明文と描写文 (8) 生きた会話を書くには (9) 長編と短編 (10) 表現技術を高める

履修上の留意点 これまで一度も童話や小説を書いた経験がない人でもかまわない。この時間では、文章の書き方のABCから始め、創作の書き方に進んでいく。

成績評価の方法 出席状況と提出作品で評価する。

その他 この授業は人数制限がある。第一日目の授業で受講者を決定する。そのため受講希望者はかならず第一日目の時間に出席すること。

履修コード	016301
科目名	国文学特講XI
担当者名	榎本 正樹

講義のねらい 世界的に見ても類を見ない表現ジャンルとして進化した、日本のマンガとアニメについて考察します。

講義の内容・ 前期はアニメ、後期はマンガについて講じます。

授業スケジュール

前期は宮崎駿監督の主要作品を論じます。

まず初めに、宮崎が大きな影響を受けたフランスのアニメ監督ポール・グリモーの『王と鳥』を分析し、宮崎作品を成立させる「文法」と「法則」を確認します。そして、『未来少年コナン』を出発点に、『ルパン三世 カリオストロの城』『風の谷のナウシカ』『天空の城ラピュタ』『となりのトトロ』『魔女の宅急便』『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』について、作品発表順に個別に作品論を展開し、宮崎駿の世界にアプローチしていきたいと思います(時間的な問題から、一部の作品を取りあげる形になります)。

後期はマンガ論をとりあげます。マンガには、表現論、物語論、ジャンル論、流通論、メディア論、ジェンダー論、記号論、身体論、作家論、読者論など多様なアプローチが可能です。本講義では、「マンガを解説するための基本的な方法論」について考えていきます。「記号の集積物」としてのマンガを読むための理論の構築を目指します。

履修上の留意点

マンガやアニメだけでなく、文学の周辺ジャンルやサブカルチャーに興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

学期末提出のレポートの評価をメインに、出席点を加味し評価します。

教科書

後期は、四方田犬彦『漫画原論』(ちくま学芸文庫)を軸に授業を進めますが、購入する必要はありません。

参考書等

参考文献等は教室で指示します。

その他

講義形式をとります。前期は作品鑑賞を伴う形で行います。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト(<http://enmt.jp>)も参考にしてください。

国
文

履修コード	018001
科目名	国語国文学演習I
担当者名	土井 光祐

講義のねらい ○現代語に至る日本語の歴史を文献資料で具体的に跡づける中で、日本語の変遷の実態を確認し、言葉の「調べ方」の基本を学ぶ。

○室町時代末期(1500年代末)を中心として、個々の表現を視点に、文語規範の基盤である古代語(1000年頃)から、現代語(2009年)まで、国語史の時間軸を往復して、現代日本語の形成過程を考察していく。

講義の内容・ 1593年刊行の「天草版金句集」を国語史の観点から分析する。

授業スケジュール

天草版金句集は、天草版平家物語、同伊曾保物語と合綴されて、ロンドン・大英図書館に所蔵されているローマ字本口語体キリシタン資料の一種で、最古の日本語学習用教材である。

16世紀半ばに渡来したイエズス会の宣教師達は、当時の日本の格言を学んでキリスト教の布教に利用しようとした。漢籍等に出典を持つ文語体の格言に、16世紀末の「口語訳」を付したもので、室町時代末期の口語資料として知られている。室町時代における文語体と口語体とを、音韻、文法、語彙、文体等の諸点から言語比較して、現代語の形成過程を具体的に観察する。

【第1回～第3回】教員より資料の概説と調査方法の説明。

【第4回～】順番にレポーターを決めて、レジュメを作成し、発表する。

成績評価の方法

出席点、発表内容、質疑への参加態度、レポート内容の総合。

教科書

プリントを配布。

参考書等

授業中に紹介。

履修コード	O18101
科目名	国語国文学演習I
担当者名	中嶋 真也 <small>なかじま しんや</small>

講義のねらい

『万葉集』を読むことを通じて、古典文学研究の実際を体得し、また自身の理解したことを他の人に正確に伝えるための発表技術（資料作成ならびに口頭発表）を習得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

現在刊行されている、いくつかの抄出された『万葉集』をもとに一首一首の読みが深められるよう、丁寧に発表してもらいます。抄出された『万葉集』は近現代の歌人や研究者が選別したものです。人により好みはありますが、現在における『万葉集』の有名な歌を読むことになります。

以下、大まかな予定を示しておきます。

(1) ガイダンス、(2～4)『万葉集』概説、調査方法解説、担当決定、(5～14)発表、(15)前期まとめ、(16～29)発表、(30)後期まとめ

履修上の留意点

多くの予備知識を要求することはありません。例年受講生の大半は、それまで『万葉集』に全く触れていない方々ですから、意欲を持って取り組んでくれれば何も問題はありません。

演習の主体は、学生の側にあります。自分が発表ではない回も欠席は慎むこと。また、討議にも積極的に参加すること。

成績評価の方法

発表内容を特に重視します。質疑、それに対する応答、提出物、出席状況も加味して総合的に評価します。

教科書
参考書等

鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)
授業中に適宜指示します。

履修コード	O18301
科目名	国語国文学演習I
担当者名	松井 健児 <small>まつい けんじ</small>

講義のねらい

平安時代物語の研究を自立的に展開できる基礎的な方法および意識を養う。具体的には、『源氏物語』を対象とし、その物語内容を理解するのみではなく、その内容を導き出す、古代物語の方法や構造をとらえることに主眼を置く。

講義の内容・授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』「初音」「胡蝶」以降の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、たんなる感情移入や印象批評におわることなく、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえで分析的な研究を展開できる技術を養う。(1～2)『源氏物語』概説・参考文献紹介、(3～4)基礎演習・発展演習の方法、(5～6)『源氏物語』基礎研究、(7～8)当該巻全体報告、(9～10)担当範囲分担当報告、(11～18)演習発表、(19～20)レポート説明、(21～28)演習発表、(29～30)レポート発表。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定することに留意してほしい。

成績評価の方法

受講者による (1)演習発表資料 (2)発表内容 (3)レポート (4)出席状況 (5)その他を総合して行う。

教科書
参考書等

石田稔二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 四』(新潮社)
参考書は授業時に紹介する。

履修コード	O18401
科目名	国語国文学演習I
担当者名	湯浅 幸代 <small>ゆあさ けいよ</small>

講義のねらい

平安時代の宮廷社会を生きる人々の生活・文化を理解した上で、本文のことば、表現に注目し、当時の日記における文学性について考える。具体的には、『紫式部日記』をとり上げるが、『源氏物語』作者の日記としても留意し、物語との往還的な考察の力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

『紫式部日記』を冒頭より読む。受講者に本文を割り振り、毎回発表してもらう。発表者は、本文全体を読み込むと同時に、語句について調べ、資料を作成し、その段における考察を述べる。この演習発表をもとに、互いに意見を出し合う形で講義を進める。(1～3)『紫式部日記』概説・参考文献紹介、(4～6)演習基礎訓練、(7～14)演習発表、(15)総括、(16～23)演習発表、(24)総括、(25～26)レポート説明・参考文献紹介、(27～30)レポート討論

履修上の留意点

演習は発表と意見交換が基本となるため、各自の主體的な姿勢が求められる。

成績評価の方法

(1)発表内容 (2)レポート (3)出席 (4)討論時における意見を総合して評価する。

教科書
参考書等

小谷野純一 訳・注『紫式部日記』(笠間文庫)1,700円(税別)
参考書は授業時に紹介する。

履修コード	018501
科目名	国語国文学演習I
担当者名	櫻井 陽子

講義のねらい 古典文学の調査・研究の方法の基礎を学びつつ、中世文学を代表する軍記物語に親しむ。

講義の内容・授業スケジュール 『平家物語』巻五を読む。原則として一回の発表で、一人一章段を採り上げる。章段を選び、自分でテーマを設定して調査し、報告する。必要に応じ、諸本の比較、周辺作品との比較を行う。発表後の討議の中で自分の問題意識を掘り下げる。後日、レポートにまとめて提出する。

1～3 『平家物語』と巻五の説明
4 担当章段の決定
5～ 発表と討議

履修上の留意点 学生自身が、些細であっても自分なりの問題点や関心を持つこと。また、自身の発表時以外には積極的に質疑・討論に参加すること。

成績評価の方法 口頭発表、レポート、出席、授業態度、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書 『平家物語』二（岩波文庫）

参考書等 授業中に適宜指示する。

履修コード	018601
科目名	国語国文学演習I
担当者名	田中 徳定

講義のねらい 古典文学を読解・調査していくための基本的な文献を学び、それらの文献によって実際に古典文学作品を読解する方法を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 『徒然草』をとりあげ、語彙調査の方法や歴史的史料の扱い方を学ぶ。また、関連する物語・説話にも広く眼を向けて、中世の人々の思想や信仰、及び平安時代以来の貴族文化の美意識について探究する。

成績評価の方法 出席状況、授業時間内に行なう口頭発表、レポートによって総合的に評価を行なう。

教科書 鈴木知太郎・西一祥編『新注 徒然草』（おうふう）1,800円

参考書等 授業中に随時指示する。

履修コード	018801
科目名	国語国文学演習I
担当者名	林 達也

講義のねらい 基礎演習である、この演習を通して、自分で調べて読み、且つ理解する姿勢を要請する。

講義の内容・授業スケジュール 松尾芭蕉の俳諧を精読する。芭蕉初期の句作から順次、元禄に到るまでの句を丁寧に読んでゆく。時には、俳諧の原点である連句も視野に入れる。必要に応じて芭蕉一門の俳諧論も読む。

履修上の留意点 演習は、教員と受講生の共同作業という基本的な合意がなければならない。積極的に、演習に参加しようとする学生は避けられない。

成績評価の方法 担当レポートの質、毎時の演習での参加態度、学年末の提出レポートの成果などを総合的に判断して評価する。

教科書 中村俊定校注『芭蕉俳句集』（岩波文庫）

参考書等 開講時に紹介する。

その他 調べ、まとめ、聞き手に正しく伝達する（所謂プレゼンテーション）訓練に励み、本格的な国文学の勉強の第一歩としよう。

履修コード	018901
科目名	国語国文学演習I
担当者名	出口 智之

講義のねらい 日本近代文学の研究と発表についての基礎的な方法を学ぶ。特に、作品を論理的に分析し、新たな読解を切り拓くことを重視する。分析対象は明治から大正期に書かれた小説とし、先行研究の調べかたやレジュメの作りかたなど、基礎的な事項から解説する。

講義の内容・授業スケジュール 一つの作品につき二回の授業をあて、発表はすべて学生が行う。一回めは作家についての発表。二回めは作品についての発表とする。受講者全員が少なくとも一度は発表し、できれば作家と作品分析両度の発表を経験することが望ましい（受講人数による）。また、各授業中、参加者全員に一度以上の発言を求める。

履修上の留意点 (1) ガイダンス・発表者の決定 (2)～(3) 先行研究の調べかた・発表の方法・レジュメの作りかたなどについての概説 (4)～(5) 樋口一葉「大つごもり」(6)～(7) 尾崎紅葉「青葡萄」(8)～(9) 泉鏡花「外科室」(10)～(11) 広津柳浪「黒蜥蜴」(12)～(13) 国木田独步「春の鳥」(14)～(15) 伊藤左千夫「野菊の墓」(16)～(17) 夏目漱石「文鳥」(18)～(19) 森鷗外「かのやうに」(20)～(21) 永井荷風「深川の唄」(22)～(23) 谷崎潤一郎「秘密」(24)～(25) 江戸川乱歩「心理試験」(26)～(27) 芥川龍之介「芋粥」(28)～(29) 志賀直哉「小僧の神様」(30) まとめ

履修上の留意点 発表を担当する回は絶対に欠席しないこと。なお、扱う作品や順番は一例であり、初回のガイダンス時に要望によって変更もありうる。

成績評価の方法 原則として発表が100%だが、発表回数にかたよりが出た場合はレポート提出なども考慮する。また、単位認定には七割以上の出席を条件とする。

教科書 不用。扱う作品は授業中に配布する。

国
文

履修コード	019001
科目名	国語国文学演習I
担当者名	高田 知波

講義のねらい 年間テーマは「太宰治を読む」。太宰治は青年層の間で人気の高い作家であるが、「太宰治」という神話が作品の読みを著しく束縛してきたことも確かである。作中人物の言葉をただちに「太宰」の肉声だと決め込んでしまうようなバイアス（先入観、偏見）からいかにして作品を解き放ち、自由で豊かな「読み」を生産していくか。学生相互による壮大な共同作業を追求する演習を目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス・履修者確定 (2) 導入授業・発表分担決定 (3) 『魚服記』の発表と質疑 (4) 『魚服記』のディスカッション

履修上の留意点 以下、1作品2週間のペース（1週目は発表と質疑、2週目はディスカッション）で、『人間失格』までの演習を進め、最後に合宿ゼミナールのための授業と合宿ゼミナールを実施する。

履修上の留意点 毎時間テキストを読んで出席することは最低限のルール。そして「演習の主役は学生である」という原則に則って、活発な発言を行うという姿勢で演習に臨んでほしい。

成績評価の方法 平常点と、期末のレポートの採点結果とを総合的に評価する。

教科書 『晩年』、『走れメロス』、『お伽草紙』、『斜陽』、『ヴィオンの妻』、『人間失格』（いずれも新潮文庫）

参考書等 教場で指示する。

履修コード	019101
科目名	国語国文学演習I
担当者名	勝原 晴希

講義のねらい	近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	近現代(明治～平成)の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は各参加者の希望によるが、場合によっては振りあてられることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。 北原白秋・高村光太郎・三好達治・中原中也・室生犀星・萩原朔太郎・宮澤賢治・立原道造・武者小路実篤・草野心平・石原吉郎・八木重吉・寺山修司・茨木のり子・石垣りん・金子みすゞ・富岡多恵子・谷川俊太郎・大槻ケンヂ・町田康
履修上の留意点	各人の積極的な参加を求める。
成績評価の方法	発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。欠席回数に制限があるので、注意すること。
教科書	プリント配布。
参考書等	授業時に随時指示する。

履修コード	019301
科目名	国語国文学演習II
担当者名	土井 光祐

講義のねらい	○文語規範の原点にある平安時代語が徐々に変質して近代語化する様相を、鎌倉時代成立・書写資料に基づき観察する。 ○特定の文献を国語史的観点から具体的に考察することによって、国語史の基礎知識、研究方法、文献学的な処理の方法を身に付ける。
講義の内容・授業スケジュール	中世は、現代語に通じる日本語の大転換期と言われ、近代語の芽生えの時代とされている。 本演習は、言語資料として鎌倉時代に活躍したカリスマ的学僧である明恵上人の言行録である「脚癡忘記(きゃくはいもうき)」鎌倉時代(1235年)写本の写真版を使い、国語学的に考察する。 「脚癡忘記」は、明恵上人の没後三年を経て、弟子が明恵上人存命中に発言した言葉をそのまま文字化した可能性を有する希有の口語資料として知られ、漢字片仮名交り文で記されている。文献学的手続きを厳密に適用して、古代語から近代語への過渡期にあたる鎌倉時代の言語の実態を表記史、音韻史(和語、漢字音)、文法史、語彙史、文体史の諸点から考察していく。 発表は原則として前期1回、後期1回の計2回を予定している。前期は文献学的手続きの基礎を学ぶことを目的とする。後期は発表者が任意の言語事象を選び、自由な視点から調査する。 【第1回～第3回】教員より資料の概説と調査方法の説明。 【第4回～】順番にレポーターを決めて、レジメを作成し、発表する。
成績評価の方法	出席点、発表内容、質疑への参加態度、レポート内容の総合による。
教科書	プリント配布。
参考書等	○高山寺典籍文書総合調査団編『明恵上人資料第二』(東京大学出版会) ○田中久夫他『鎌倉旧仏教』(日本思想大系)(岩波書店) ○高橋秀栄他『大乘仏典 中国・日本篇第20巻 栄西・明恵』(中央公論社) ※その他授業中に指示する。

履修コード	019401
科目名	国語国文学演習II
担当者名	中嶋 真也

講義のねらい 『万葉集』の理解を深めることを根本のねらいとします。アプローチの仕方として、「歌人の研究」と「享受の研究」という2つのコースを設定し、受講者は各自、どちらかを選択してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール 「歌人の研究」では『万葉集』の代表的歌人と呼べる人物を、受講者は1人取り上げ、その詠歌に関して調査発表してもらいます。具体的には、額田王、柿本人麻呂、高市黒人、山上憶良、大伴旅人、大伴坂上郎女、山部赤人、笠金村、高橋虫麻呂、笠女郎、大伴家持あたりを対象にしたいと思っています。

「享受の研究」では『万葉集』の後代の諸本もしくは他の作品を、受講者は原則1つ取り上げ、その記述の内容と現行の『万葉集』との対比などを調査発表してもらいます。具体的には「諸本」をテーマに、桂本、類聚古集など、「歌集」をテーマに、『後撰和歌集』、『古今和歌六帖』など、「歌学書」をテーマに、『奥義抄』、『五代集歌枕』など、「国学」をテーマに、『万葉代匠記』、『万葉考』などを対象の候補と考えています。

以下、大まかな予定を示しておきます。

(1) ガイダンス、(2～4)『万葉集』概説、調査方法解説、担当決定、(5～14)発表、(15)前期まとめ、(16～29)発表、(30)後期まとめ

履修上の留意点 多くの予備知識を要求することはありませんが、地道な努力を怠らず、卒業論文を視野に入れて意欲を持って取り組んでください。

演習の主体は、学生の側にあります。自分が発表ではない日も欠席は慎むこと。また、討議にも積極的に参加すること。

成績評価の方法 発表内容を特に重視します。質疑、それに対する応答、提出物、出席状況も加味して総合的に評価します。

教科書等 鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)
授業中に適宜指示します。

履修コード	019501
科目名	国語国文学演習II
担当者名	湯浅 幸代

講義のねらい 平安後期に成立した『狭衣物語』を巻一から読む。演習では『源氏物語』を中心とした先行文学の影響、及び時代背景(後期摂関時代)に留意しながら、物語独自の文章、及びその構造を明らかにしていくことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 最初に平安後期物語の特質、また『狭衣物語』成立の背景、及び多様な本文を生み出した享受の様相について講義した後、受講者に本文を割り振り、毎回発表してもらおう。発表者は、注釈や参考文献をもとに資料を作成し担当範囲の内容について考察を述べる。この演習発表をもとに、互いに意見を出し合う形で講義を進める。(1～3)『狭衣物語』概説・参考文献紹介、(4～6)演習基礎訓練、(7～14)演習発表、(15)総括、(16～23)演習発表、(24)総括、(25～26)レポート説明・参考文献紹介、(27～30)レポート討論

履修上の留意点 演習は発表と意見交換が基本となるため、各自の主體的な姿勢が求められる。

(1)発表内容 (2)レポート (3)出席 (4)討論時における意見を総合して評価する。

教科書等 久下晴康・堀口悟編『校注 狭衣物語』(新典社)1700円

参考書は授業時に紹介する。

履修コード	019601
科目名	国語国文学演習II
担当者名	松井 健児

講義のねらい 『源氏物語』にあらわれる、王朝貴族の美意識や生活様式を探り、その作品世界への文芸化の方法を考察する。古代物語を形成するうえでの基礎的な構造の把握と、その制度的な構造から逸脱する、一回的な感覚世界との緊張関係を読み解くことによって、作品自体が常に新たなものとして生成していく、動態としての『源氏物語』観を獲得する。

講義の内容・授業スケジュール 受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』の「葵」「賢木」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を行ない、それらによって得られた知見を論理的に構成し、批評できる力を養う。(1～2)『源氏物語』概説・参考文献紹介、(3～4)基礎演習・発展演習の方法、(5～6)『源氏物語』基礎研究、(7～8)当該巻全体報告、(9～10)担当範囲分担報告、(11～18)演習発表、(19～20)レポート説明、(21～28)演習発表、(29～30)レポート発表。

履修上の留意点 演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定することに留意してほしい。

成績評価の方法 受講者による (1)演習発表資料 (2)発表内容 (3)レポート (4)出席状況 (5)その他を総合して行なう。

教科書 石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 二』(新潮社)
参考書等 授業時に紹介する。

履修コード	019801
科目名	国語国文学演習II
担当者名	櫻井 陽子

講義のねらい 平家物語は鎌倉時代に成立したと考えられているが、作者・成立年代のみならず原態もすべて不明であり、その解明に向けて研究が進んできたと言っても過言ではない。

平家物語の作品世界を知り、内容を精読し味わうことと、研究上の問題がどのように関わるのか、具体的な問題に触れつつ考えていく。

講義の内容・授業スケジュール 『平家物語』の登場人物、事件、事象、事柄などから関心をもつテーマをとりあげ、研究上の諸問題についてまとめ、その上で自分なりの問題点を設定し、調査し、発表する。

全体を追ってもよいし、部分に絞ってもよい。但し、絞る場合でも、必ず全体を見通した上での発表となるように。

覚一本を中心とし、精読する中で生み出される疑問を出発点とすること。その際、なるべく他種の異本も視野に入れること。

1～3 『平家物語』の説明

4～ 発表

履修上の留意点 問題点は書誌学・国語学・芸能・和歌・説話・音楽・宗教他、多方面にわたり、また、歴史との関わりにも注意を向ける必要がある。学生自身が自分なりの関心と問題意識を掘り下げる機会となることを願う。

発表の前週に資料を配っておくこと。

授業中の討論に積極的に参加し、必ず一回は発言すること。

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書 授業中に適宜指示する。

参考書等 授業中に適宜指示する。

履修コード	019901
科目名	国語国文学演習II
担当者名	田中 徳定

講義のねらい 院政期に成立した代表的説話集である『今昔物語集』を読みながら、説話の伝承や改変の様相について考える。同時に、説話が描き出す時代や社会のありようを探究し、さらには人々の思想・信仰について考察する。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点 『今昔物語集』の説話について、鬼・天狗・陰陽道・狐、また笑話等、興味を持ったテーマを設定して、当時の人々の生活や信仰のありようを調査、研究し、その様相を探っていく。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他 専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。また、授業において、必ず口頭発表を行なってもらう。

出席状況、授業中に行なう口頭発表、レポートによって総合的に評価を行なう。

今野達編『新注 今昔物語集選』（大修館書店）1,260円

授業中に随時指示する。

受講生に発表担当する説話を割り当てる。受講生は、担当する説話について調査・考察を行ない、その結果をレジュメに作成し、授業中に口頭発表を行なう。

履修コード	020101
科目名	国語国文学演習II
担当者名	林 達也

講義のねらい 基礎演習である演習Iを経た上での展開の位置にある演習である。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点 参考書の読みをうまく消化することから発展して、自分で調べて読む姿勢を強め、むしろ、自分が参考書を作成する意気込みを持つ。

前期は近世の女性の紀行文のうちでも比較的読みやすい作品を読み解き、後期からは野村望東尼の『夢かぞへ』を読む予定。

演習は、教員と受講生の共同作業という基本的な合意がなければならない。積極的に、演習に参加しようとする学生を受講生は避けられたい。

成績評価の方法 担当レポートの質、毎時の演習での参加態度、学年末の提出レポートの成果などを総合的に判断して評価する。

教科書
参考書等
その他 プリント教材を用意する。

開講時に紹介する。

調べ、まとめ、聞き手に正しく伝達する（所謂プレゼンテーション）訓練に励み、卒業論文作成へのよき準備にしよう。

履修コード	020201
科目名	国語国文学演習II
担当者名	榎本 まさき えののもと まさき 榎本 正樹

講義のねらい 作品を熟読し、関連資料を調べ、分析を行い、レジュメ（発表概要）をまとめ、発表（プレゼンテーション）を行い、議論を行うプロセスを通して、研究的視座に立って文学作品にアプローチする方法を学ぶとともに、演習のノウハウを習得することをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 扱う時代は「現代」です。ジャンルは問いません。主流系（純文学）のみならず、エンターテインメント、ミステリ、SF、ファンタジー、ライトノベルなど、現代日本文学のあらゆる小説ジャンルを対象にします。アニメ、マンガ、ゲームなど周辺ジャンルの作品についても、「文学性」を抽出しうるものであるならば、対象とします。

履修者が確定する第1回目の授業時に、発表方法、発表回数、担当チーム、年間スケジュール等を決めます。

履修上の留意点 基本的には、数人の発表者が自分たちが決めた作品について発表を行い、全員でその作品についてディスカッションを重ねていくスタイルをとります。

履修者は演習という授業形式を自覚し、主体的に発表を行い、積極的にディスカッションに参加するように努めてください。

成績評価の方法 発表内容と出席点をメインに、授業への参加度（ディスカッションでの発言等）を加味し評価します。

教科書 参考書等 その他 使用しません。
参考文献等は教室で指示します。
履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト（<http://enmt.jp>）も参考にしてください。

履修コード	020301
科目名	国語国文学演習II
担当者名	高田 ちなみ たかた ちなみ 高田 知波

講義のねらい 年間テーマは、「近代100年の小説を読む」。明治前期から1960年代末頃までを対象範囲とする。森鷗外、樋口一葉、泉鏡花、島崎藤村、夏目漱石、志賀直哉、芥川龍之介、谷崎潤一郎、川端康成、太宰治、岡本かの子、三島由紀夫、遠藤周作、大江健三郎等々、近代100年間の代表的作家たちの代表的作品（小説に限定）を読んでいく。各作品を表現と構造に即して精読することと、100年の文学的流れを体感することを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール （1）ガイダンス、履修者確定 （2）年間スケジュール確定（演習で取り上げる作品の確定と発表分担の決定。作品は学生の希望を重視して決定する） （3）1作品2週間のペース（1週目は発表と質疑、2週目はディスカッション）で演習を実施する。

履修上の留意点 毎時間、必ずテキストを読んで出席することが最低限のルールである。自分が発表を分担しない作品についても、積極的に発言する姿勢を全員に強く求めたい。

成績評価の方法 平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

教科書 参考書等 取り上げる作品ごとに発表チームがテキストを指定するが、入手の容易な文庫本を原則とする。教場で指示する。

履修コード	020401
科目名	国語国文学演習II
担当者名	勝原 晴希 かつはら はるき 勝原 晴希

講義のねらい 近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を深める。

講義の内容・授業スケジュール 近現代（明治～平成）の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。これまでに採りあげた詩人の例を、以下にあげておく。

谷川俊太郎・三好達治・新川和江・宮澤賢治・萩原朔太郎・高村光太郎・辻仁成・金子みすゞ・小野十三郎・若山牧水・中原中也・中野重治・寺山修司・立原道造・西脇順三郎・野口雨情・西條八十・大木惇夫・石垣りん・山村暮鳥・まどみちお・工藤直子・江國香織・荒川洋治・伊藤比呂美

履修上の留意点 各人の積極的な参加を求める。欠席回数に制限があるので、注意すること。

成績評価の方法 発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書 参考書等 プリント配布。
授業時に指示する。

履修コード	020601
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	土井 光祐

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文執筆のための具体的な手続きについて、発表を繰り返して検証していく。
以下の手続きを段階的、相互補完的に整理して、発表してもらう。
1、卒論の候補となる仮設的なテーマを設定する。
2、研究史の確認（リスト化して、コピー、ファイリングし、読む）。
3、学問体系の中での研究の意義を確認する。
4、研究対象とする言語資料を設定する。
5、具体的な研究方法を設定する。

履修上の留意点

以上をその都度文章化し、ある段階からサンプリング調査、ポーリング調査を試験的に行って、研究の適切性の検証を繰り返していく。1～5はそのまま卒論内の序論となる。
1～5の検証を経ずして論題の設定はあり得ない。徹底した調査が不可欠となる。
熱意ある取り組みには真摯に応える。

成績評価の方法
参考書等

出席点50% 発表内容50%
授業時に随時紹介。

履修コード	020701
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	中嶋 真也

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

上代文学で卒業論文を作成する学生を対象に指導を行います。
卒業論文作成に向け、求められる調査方法や具体的な作業について、指導・助言を行いません。
演習として、前期・後期それぞれ最低1回の発表を義務とし、個別面談も随時行ないます。以下、大まかな予定を記しておきます。
(1) ガイダンス、(2～14) 発表・面談、(15) 前期まとめ、(16～29) 発表・面談、(30) 後期まとめ

履修上の留意点

自主的かつ積極的な取り組みを求めます。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席、提出物、討議への参加などを総合的に評価します。
坂本信幸・毛利正守編『万葉事始』（和泉書院）
必要に応じて、授業時に指示します。

履修コード	020801
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	湯浅 幸代

講義のねらい

平安時代の文学を対象とした卒業論文を作成するにあたっての指導、及び助言。受講者は、4年間の学業の総括となる論文を仕上げるための力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に、平安時代の文学を卒論テーマとするにあたり、必要な参考文献を紹介する。その後、各自、卒論テーマを提出し、卒論関連論文を読む。それらを元に発表を行い、卒論具体例の研究に入る。夏期レポートは、各自のテーマに沿って序文を作成し、後期は、それらを元に具体的な目次を作る。また、各自、卒論中間発表を行った後、目次の修正を行った上で再提出する。
(1) 参考文献紹介(2～3) 卒論テーマの提出・参考文献検索指導(4～10) 卒論関連論文要約発表(11～15) 卒論具体例の研究(16～18) 夏期レポート提出と総括・目次の提出(19～25) 卒論中間発表会(26～30) 発表会の総括・目次の再提出

履修上の留意点

各自の主體的な姿勢が求められる。

成績評価の方法
参考書等

(1) 発表内容 (2) レポート (3) 出席 を総合して評価する。
授業時に指示する。

履修コード	020901
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	松井 健児

講義のねらい 平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の指導、助言。
 講義の内容・ 卒業論文は学生生活の総決算ともいえる重要な課題である。対象の決定－問題設定－参考文献の
 授業スケジュール 検索－文献目録－研究史の把握－資料作成－中間報告－論述の方法－など、いくつかの段階を設定
 して、論文の作成を自主的に行えるよう指導、助言する。また『源氏物語』の読みから卒業論文テ
 ーマの実例を考える。(1～3)卒論テーマの提出、(4～7)『源氏物語』第一部、(8～11)『源氏物語』
 第二部、(12～15)『源氏物語』第三部、(16～19)夏期レポート提出・卒論具体例の研究、(20～23)
 中間発表会第一部、(24～27)中間発表会第二部、(28～30)目次・序文提出・報告会。
 履修上の留意点 自主性と積極性。
 成績評価の方法 受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5)
 その他を総合して行なう。

履修コード	021001
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	櫻井 陽子

講義のねらい 卒業論文作成の指導を行う。
 講義の内容・ 学生自身の問題意識の先鋭化と具体化を助け、研究方法と実際の論文作成にあたっての助言を行
 授業スケジュール う。
 1～3 卒業論文の書き方・諸注意
 4～ 学生自身の発表と討議
 履修上の留意点 学生自身の自主的な活動に負う。
 成績評価の方法 卒業論文の内容と完成に至る過程。
 参考書等 授業時に適宜指示する。

履修コード	021101
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	田中 徳定

講義のねらい 卒業論文作成のための指導を行なう。
 講義の内容・ 年度始めに「卒業論文研究計画書」を提出してもらい、その研究計画に沿いながら、授業中に口
 授業スケジュール 頭発表を行なってもらい、その都度、発表内容をまとめたレポートを提出してもらい、また、論文
 の作成方法について、随時、具体的に指導を行なう。
 履修上の留意点 専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。
 成績評価の方法 授業中に行なう口頭発表と、それをまとめたレポートによる。
 参考書等 授業中に随時指示する。

履修コード	021201
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	川元 ひとみ

講義のねらい 卒業論文を作成するための基本的な力を養うことを目的とする。各自の卒業論文のテーマに合わせて
 講義の内容・ 取り上げる作品を決定、必要な資料の検索方法、論文の書き方などを指導する。
 授業スケジュール 基本的に発表形式で進める。(1) ガイダンス (2～4) 作品解説、調査方法の指示、発表担当者
 の決定 (5～30) 担当者による発表。中間発表会も行う予定である。
 履修上の留意点 出席を重視する。自主的な取り組みを期待する。
 成績評価の方法 最も重要なことは積極的に授業に参加することである。担当者の発表内容・配付資料の的確さが問
 われるのは勿論であるが、参加者の発表への質疑、担当者の応答、提出物、出席状況等も加味して
 評価を行う。

履修コード	021301
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	林 達也

講義のねらい 卒業論文作成のための演習である、この演習を通して、卒論対象作品作家を深く理解し、自分なりの切り口、作品作家と渡り合う方法を見出す努力をしよう。

講義の内容・授業スケジュール 受講生の選ぶ対象にしたがう。

履修上の留意点 演習は、教員と受講生の共同作業という基本的な合意がなければならない。積極的に、卒業論文作成に向かい合えない学生の受講は避けられたい。

成績評価の方法 卒業論文作成へ向けての姿勢、卒業論文の質、毎時の演習での参加態度、等を総合して評価する。

教科書 対象作品作家に応じた教科書を指示する。

参考書等 開講時に紹介する。

履修コード	021401
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	小林 治

講義のねらい 日本の近現代文学を対象とした卒業論文作成のための指導、助言を行う。

講義の内容・授業スケジュール 卒業論文論題提出前の4月～5月の時期に個人面談を行い、対象とする作家、作品を決定していく。また、授業に於いては前後期を通じて順次、各自が卒業論文に関連する作品について口頭発表を行い、教員も含めて出席者全員による討論によって検討を進めていく。後期に於いても、各自の卒業論文執筆の進捗状況に応じて随時、個人面談を行う。

履修上の留意点 (1) ガイダンス (2) 発表作品、発表スケジュールの仮決定 (3～14) 口頭発表、面談 (15) 前期のまとめ (16～29) 口頭発表、面談 (30) 全体のまとめ
四年間の集大成として卒業論文を書くのであるから、発表や面談などに於いて意欲的かつ主体的に取り組む姿勢を見せて欲しい。

成績評価の方法 発表内容、発表後に提出するレポートの内容、卒業論文執筆のための計画と姿勢ならびに出席状況等を総合的に評価する。

教科書 必要に応じて、授業時に指示する。

参考書等 必要に応じて、授業時に指示する。

履修コード	021501
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	高田 知波

講義のねらい 各自の小説の読みを深めることと、卒業論文制作のために生きる相互学習を行うことを二本柱にした演習である。両者が有機的に結びつくことによって成果のあがることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (2) 発表分担、年間スケジュールの確定 (作品は卒論テーマを見据えつつ発表者自身が決定する) (3) 以下、1作品1週のペースで演習を実施し、全員の卒論提出をめざす。

成績評価の方法 平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

履修コード	021601
科目名	国語国文学演習Ⅲ
担当者名	勝原 晴希

講義のねらい 近現代の詩歌・児童文学を読むことを通じて、作品を読み味わう力を養い、また研究の方法を学ぶ。あわせて卒業論文作成に向けての指導を行なう。

講義の内容・授業スケジュール 近現代の詩歌・児童文学を読む。対象とする作家・詩人・作品は学生の希望 (原則として卒業論文に関連するもの) を尊重するが、場合によっては振りあてられることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点 各人の積極的な参加を求める。欠席回数に制限があるので、注意すること。

成績評価の方法 発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書 授業時に指示する。

履修コード	016401
科目名	中国文学
担当者名	田熊 信之 <small>たくま のぶゆき</small>

講義のねらい 数千年にわたる中国の歴史の中で、政治や文化の中心的な担い手となった漢民族は、時には他の民族とも混雑を累ねながら、特異な漢字文化を生み育てて来た。本講座では、こうした漢字文化の粹である各種の文学作品（新出遺文も含め）を選読し、中国の人々が築き上げた多様な文字表現の世界を省察したい。

講義の内容・授業スケジュール 前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このものには、社会生活を営む人間それぞれの哀歓こもごもの姿が写し出されている。各々の時代の思想、信仰等に彩られる、さまざまな形の文学のうち、中国文学のあやどりの世界を具体的に理解していくために、歌謡、詩偈等を含めた韻文や、人伝、僧録などをも含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めていく。

履修上の留意点 中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法 評価は、受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を勘案し、総合的に行なう。

教科書 プリントを配布しこれをテキストとして、使用する予定。
参考書等 参考書、資料等については、授業時に説明し、紹介する。
その他 授業は、講義及び演習の両方式を混じえて行なう。

履修コード	017001
科目名	比較文学
担当者名	内藤 まりこ <small>ないとう</small>

講義のねらい 比較文学研究の成立背景、目的、方法を学び、比較文学の方法を実際の文学作品を取り上げて検討する。

講義の内容・授業スケジュール まず、比較する行為の問題性を考え、比較文学の研究が成立した歴史的な文脈をおさえ、比較文学の目的と方法を確認する。

次に、実際の文学作品を取り上げて、比較文学の方法を検討するが、授業では、映画化された文学作品を中心として、文学と映像との比較分析を含めて、比較文学の方法を学ぶ。

成績評価の方法 出席と授業内でのレポートあるいは学期末テストによる。

教科書 コピーを配布する。
参考書等 授業中に指示する。

履修コード	016901
科目名	児童文学
担当者名	国松 俊英 <small>くにまつ としひで</small>

講義のねらい 童話や児童文学といえば、かつては「子どものためになる文学」という考えが中心だった。大人が子どもに与えるもので、子どもをしつけ、健全な社会的人間に育てるためにあるとされた。子どもが感動したり、楽しむことよりも、その教育性が大切にされたのである。しかしそうした考えは、時代とともに変わってきた。現代では、児童文学は「大人も子どもも共有できる文学」だと考える人がふえた。ミヒヤル・エンデ、J・K・ローリングの作品、あさのあつこや上橋菜穂子の作品には大人たちの熱心な愛読者がついている。大人の文学との境界がなくなってきたといえる。

この時間では、児童文学とはどんなものか、どんなジャンルがあって、どんな作品が書かれてきたのか、児童文学の可能性、などを探っていく。

講義の内容・授業スケジュール 前期 (1) 児童文学とは何か (2) 児童文学のジャンル (3) 絵本 (4) ファンタジー (5) ノンフィクション (6) 昔話

後期 (7) 日本児童文学の流れ (8) 宮沢賢治 (9) 新美南吉

履修上の留意点 講義を聞くだけでは児童文学の世界は理解できない。授業で紹介する作品を多く読むこと。
成績評価の方法 出席状況と年6回のレポート、期末試験によって評価する。

教科書 なし
参考書等 なし

履修コード	016501
科目名	有職故実
担当者名	近藤 好和

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家・武家の装束と中世の武具について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

前期では、装束について、公家男女・武家の順に講義する。後期では、武具について、甲冑・弓箭・刀剣等について講義する。
前・後期各一回の試験で判定する。
特になし。授業ごとにプリントを配布する。
必要に応じて提示する。

履修コード	017101
科目名	日本民俗学
担当者名	谷口 貢

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

(1～2) 民俗学とは (3～5) 民俗学の流れと現在 (6～7) 家族生活と住まい (8～10) 食をめぐる民俗 (11～12) 村と町の成立 (13～15) 若者と一人前 (16～18) 婚姻と出産・子育ての民俗 (19～21) 女性・子ども・老人の民俗 (22～24) 葬送儀礼と先祖祭祀 (25～27) 里と海・山のなりわい (28～29) 祭りと年中行事 (30) 民俗宗教の諸相

履修上の留意点
成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。
学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書

谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ』2006年刊（八千代出版）2,100円（税込）、ISBN 4-8429-1405-X

履修コード	017901
科目名	民間信仰論
担当者名	谷口 貢

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成す様々な世界には、どのような意味があるのかを追究していくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義について考察を加える。

講義の内容・
授業スケジュール

(1～3) 民間信仰研究とフィールドワーク、(4～5) 民間信仰の性格、(6～10) 伊豆諸島青ヶ島の神祭りと巫俗、(11～15) 巫俗信仰の諸相、(16～18) 山岳信仰の性格、(19～23) 福島県会津地方の神社参拝の講集団、(24～25) 民間信仰と成立宗教の関係、(26～28) 憑霊信仰の諸相、(29～30) 死霊結婚の習俗

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

学年末に課題に基づくレポートの提出を求める。レポートの課題は授業の中で発表する。
学年末の課題レポートに基づいて成績評価を行う。出席を重視する。
使用しない。

履修コード	043711
科目名	日本史概説
担当者名	松本 信道 <small>まつもと のぶみち</small>

講義のねらい	日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通じて概観したい。
講義の内容・授業スケジュール	(1)ガイダンス、(2)～(4)原始時代の日本、(5)～(7)倭王権の伸長、(8)～(12)古代国家への歩み、(13)～(16)古代国家の成立、(17)～(20)、律令国家の形成、(21)～(23)律令国家の成熟と展開、(24)～(25)古代の社会と文化、(26)～(27)摂関政治の展開、(28)摂関時代の外交と文化、(29)地方支配の転換、(30)院政の成立と展開
履修上の留意点	受動的でなく、主体的に学習してほしい。
成績評価の方法	前期・後期の2回の試験の総合点で成績を評価する。
参考書等	『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館) 青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会) 笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会) 佐々木潤之介『概論 日本歴史』(吉川弘文館)
その他	授業の方法は講義形式で進める。

履修コード	047111
科目名	日本文化史
担当者名	廣瀬 良弘 <small>ひろせ りょうこう</small>

講義のねらい	日本文化の歴史が、当時の社会の生産の仕組みや政治・経済・宗教などと深く関わりあったことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを明らかにしていきたいと思います。そして、この日本文化は現代においても、多くは底流として、また、ときには、「日本の代表的な文化」として、存在しています。現代の文化と対比しながら、検討していきたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化の流れを概観し、民衆の躍動やその文化が顕著になってくる中世の文化を中心にその前後の文化にも注目しながら、文化の様相と特色について見ていきます。 ・日本文化史概観、・中世文化史研究の動向(1, 2)、・鎌倉仏教と文化(3～5)、・禅宗と五山文化(6, 7)、・南北朝から室町期の文化(8, 9)、・北山文化の展開(10, 11)、・東山文化とその基盤(12～15)、・中世の職能民(16, 17)、・連歌師の旅(18, 19)、・戦国社会と宗教(18, 19)、・戦国社会の駆込寺(20～22)、・大名領国の文化(23, 24)、・統一政権とその文化(25, 26)、・近世文化史研究の動向と寛永文化(27～30)
履修上の留意点	講義の中に出てきた事項について、図書館の蔵書や辞書などで調べ直してみたり、現地に行ってみたりすることが必要です。また、日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持って下さい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめます。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施します。
成績評価の方法	定期試験の結果と授業の出席を重視します。定期試験では一般論を回答しても正解とならないことが多いので注意して下さい。つまり授業に出席し、しっかりとしたノートができていないと合格点は取れません。
教科書	とくに指定しません。必要な資料は随時コピーを配布します。
参考書等	講義内容に関する博物館・研究所などを随時提示して行きます。

履修コード	O16801
科目名	東洋思想史
担当者名	末木 恭彦 <small>すえき やすひこ</small>

講義のねらい 中国の伝統思想、特に儒教のあり様について理解を深めることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 直線的に歴史把握を行うのではなく、儒学の根本文獻(経)についての理解を深め、各経の歴史的展開を並行的に把握することとする。手掛りとしては、江戸時代の儒者荻生徂徠の『経史子要覧』を用いる。『経史子要覧』の言説を読み、それに現代の視点からの補説を行う。この作業を通じて、儒学の経とは何か理解を深めていく。

履修上の留意点 (1) ガイダンス (2) 荻生徂徠について (3～5) 経総論 (6～9) 詩・書 (10～12) 礼記・易 (13) 春秋 (14) 予備 (15～18) 論語・孝経 (19) 経まとめ (20～21) 子総論 (22～23) 孟子 (24) 荀子 (25～27) 老荘列 (28) 子まとめ (29・30) 質疑応答

成績評価の方法 予習をして来て欲しい。テキストの疑問点を整理して授業に臨んで欲しい。その疑問点の解明を中心として、授業を展開する予定である。

教科書 平常の受講態度と学年末レポートによる。追試はしない。

参考書等 『経子史要覧』(コピーを配布する)
関口順『儒学のかたち』(東大出版会)

履修コード	O16701
科目名	西洋思想史
担当者名	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>

講義のねらい 感情の哲学。感情について哲学的に考えたい。我々は常日頃から自らの感情に振り回されて生きている。このやっかいな感情というものが、どのような本性のものであり、どんな機能を果たしているのかを考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 哲学的情念論の古典的なテキストの一部を配布し、それを丁寧に読み、解説する。それに基づいて、議論をすすめることになる。スミス、ヒューム、カントなどを扱う予定。

[1回～5回] 感情の問題の概観(情念論の哲学史など)
[6回～10回] 感情と社交(人間関係と感情はどうかかわるのか?)
[11回～15回] 感情と趣味(芸術性の評価と感情はどうかかわるのか?)
[16回～20回] 感情と倫理(道徳的な善悪と感情はどうかかわるのか?)
[21回～25回] その他の諸問題
(※残りは予備日。また、あくまで目安である。)

履修上の留意点 講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。

成績評価の方法 中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書 講義中にプリントを配布する。その他のものにかんしては、適宜指定する。

参考書等 久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。その他のものについては講義中に適宜指定する。

国
文

履修コード	O17801
科目名	美術史概説
担当者名	北野 良枝 <small>きたの よしえ</small>

講義のねらい 日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容・授業スケジュール 前期 平安時代から室町時代の絵画
(1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
(3)～(5) 仏教絵画 (6)～(8) 絵巻物
(9)～(10) 肖像画 (11)～(15) 室町時代の水墨画
後期 室町末から江戸時代の絵画
(16)～(20) 狩野派 (21)～(24) 琳派
(25)～(26) 浮世絵 (27)～(28) 南蘋派と洋風画
(29)～(30) 江戸から明治へ

履修上の留意点 授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	016601
科目名	演劇概論
担当者名	森井 直子

講義のねらい 今日私たちが触れることの出来る演劇は、多くの人々による絶え間ない試みが積み重なって生まれてきたものです。演劇が、なぜ、どのような変遷を辿ってきたのかを考え、同時に演劇のもつ可能性への感度を養うことを目的とします。授業は、講師による講義形式で行います。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) 日本近代演劇の模索 (4～5) 近代演劇の黎明、文芸協会、自由劇場 (6～8) 芸術座、新国劇 (9～11) 築地小劇場、プロレタリア演劇 (12～15) 戦中・戦後の新劇、俳優座、文学座 (16～18) 60年代演劇、状況劇場、早稲田小劇場、現代人劇場 (19～21) 70年代演劇、つかこうへい事務所、秘法零番館 (22～24) 80年代演劇、TPO師★団、夢の遊眠社、第三舞台 (25～27) 90年代演劇、青年団 (28～30) 今日の演劇

成績評価の方法 観劇レポートの提出を2回求めます。そのレポートおよび出席状況によって評価します。

教科書 授業中に資料を配布します。

履修コード	017401
科目名	書道概論
担当者名	金子 大蔵

講義のねらい 中国・日本の書道史を学び、また現代書の誕生と歴史、現況を研究し、書の意義や芸術性に対する知識と理解を高める。

講義内容は主に書道理論と、ビデオや拓本、複製品などを使っての名品や現代書の鑑賞である。

前期では主に、中国書道史の概要を学ぶ。最古の文字「甲骨文」から「金文」、「木簡」へと移行する古代文字の変遷と、書の芸術性を高めたといわれる書聖王羲之の書と人の研究。

後期では主に、日本書道史と現代書の概要を学ぶ。書が中国から日本へと伝来してきた背景と経緯、そして“現代書の父”といわれる比田井天来から現在の現代書7部門までを理解し、実際に数回書の展示会を見てレポートを提出する。

講義の内容・授業スケジュール 前期 (1) 書とは? (2・3) 甲骨文について (4・5) 金文について (6・7) 簡牘について (8・9) 漢代の隸書について (10・11) 王羲之の書と人について (12・13) 北魏の楷書について 後期 (14・15) 初唐の三大家について (16・17) 顔真卿の書と人について (18～20) 日本書道史について (21・22) 現代書の父比田井天来について (23・24) 上田桑鳩、金子鷗亭など現代書を広めた書家について (25・26) 現代書7部門と今後の書の展開

履修上の留意点 講義では主に頭から入る知識を学ぶが、常日頃から展示会や博物館等に足を運び、目で親しむ時間をつくることが望まれる。

成績評価の方法 年数回行う展示会等のレポート提出の内容と、講義中に行う小テストの結果に依拠して行う。

教科書 『書II』高等学校芸術科(書道)文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

履修コード	017301
科目名	書道史
担当者名	那須 隆吉

講義のねらい 東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを過覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール
 前期(1)ガイダンス(文字と書体について)
 (2)漢字の発生(甲骨文字の発見)
 (3)(4)甲骨文字の内容・解読・書風の変遷
 (5)(6)(7)青銅器の文字、金文について
 ” の銘文の内容、解読、書風
 (8)(9)篆書の時代(始皇帝の文字統一)
 (10)(11)(12)隸書のはじまり
 (13)最古の文字の解説書「説文解字」について
 (14)(15)草書の完成
 (16)(17)(18)魏晋南北朝時代の文字について
 後期(19)(20)隋の統一と楷書の発展
 (21)(22)(23)唐の書法
 (24)宋の書法
 (25)元の書法
 (26)明の書法
 (27)(28)清の書法

履修上の留意点 遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。
 成績評価の方法 出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。
 教科書 伏見冲敬著『書の歴史』(二玄社)
 参考書等 随時紹介する。

履修コード	017501
科目名	書道実習I
担当者名	金子 大蔵

講義のねらい 書道とはただ文字をきれいに書き写すというだけではない。中国、日本における古代からの名品といわれる古典の臨書を重ねることにより、パソコンやワープロでは表現することができない書き手の心や顔が見ることが出来る書表現を身につける。

本講座では主に書の基本ともいえる楷書と行書の古典を中心に半紙を使って学び、それにより多彩な線表現を会得し、独自の臨書感を持って書に取り組めるようにする。また最後に漢字仮名交じりの書を学ぶことにより、我々が今現在使用している言葉を用いた書表現にも挑戦する。

前期では主に楷書の臨書を行う。「高貞碑」等の北魏の楷書から、「九成宮醴泉銘」等の唐の楷書まで幅広く学ぶ。後期では書聖王羲之の最高傑作「蘭亭序」や唐代能書家の名品、日本の空海書「風信帖」まで古今東西の古典を学ぶ。最後3回の講義にて漢字仮名交じり書の作品を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール
 前期・楷書の研究 (1) 用具・用材の説明と臨書について (2・3) 高貞碑の臨書
 (4・5) 牛橛造像記の臨書 (6・7) 孔子廟堂碑の臨書 (8・9) 九成宮醴泉銘の臨書 (10・11) 雁塔聖教序の臨書 (12・13) 顔氏家廟碑の臨書
 後期・行書の研究と漢字仮名交じりの書 (14~16) 蘭亭序の臨書 (17) 集王聖教序の臨書
 (18・19) 枯樹賦の臨書 (20・21) 祭姪文稿の臨書 (22・23) 風信帖の臨書
 (24~26) 漢字仮名交じりの書

履修上の留意点 書道の上達は筆を持つ時間の長さに拠るところが大きいです。予習復習以外にも日頃から筆を持つ機会を多くすることが大切です。

成績評価の方法 毎講座後に提出する作品の内容の評価と夏休みの宿題の内容の評価を総合判断して行う。
 教科書 『書I』高等学校芸術科(書道)文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

履修コード	017601
科目名	書道実習II
担当者名	那須 隆吉

講義のねらい 世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わいたい。書道の用具用材の取り扱い等基礎的知識を理解し、基本点画から始め古典の臨書に至るまで学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール
 前期(1)用具用材の種類とその取り扱い方(文房四宝について)
 (2)(3)楷書の基本点画(横画縦画、起送収筆折れ曲がり右払い左払い等)
 (4)(5)二文字を書く
 (6)(7)四文字を書く
 (8)五文字を書く
 (9)六文字を書く
 (10)行書の基本について
 (11)二文字を書く
 (12)(13)四文字を書く
 (14)五文字を書く
 (15)六文字を書く
 後期(16)草書の基本について
 (17)二文字を書く
 (18)四文字を書く
 (19)片仮名
 (20)(21)(22)平仮名
 (23)漢字仮名まじり文
 (24)硬筆
 (25)封筒、手紙、年賀状
 (26)色紙、短冊の書式
 (27)賞状、式次第、立看板

履修上の留意点 テキスト、用具は常に整備しておく。(墨汁は使用しない。硯、筆は常に洗っておく。)
 成績評価の方法 出席点、平常点(遅刻等)、清書、レポート等による。
 教科書 大学書写書道教育(第一法規)

国
文

履修コード	017701
科目名	書道実習III
担当者名	那須 隆吉

講義のねらい 一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隷書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容・授業スケジュール
 前期(1)隷書について
 (2)隷書の書法
 (3)~(7)臨書「曹全碑」
 (7)~(10)「禮器碑」
 (11)篆書について
 (12)篆書の書法
 (13)~(15)臨書「吳讓之」の篆書
 後期(16)~(19)臨書「吳讓之」の篆書
 (20)篆刻の用具用材と手順について
 (21)篆刻について
 (22)~(27)篆刻実習(姓名印、吉語印等)

履修上の留意点 文房具を愛することは、古来文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどということのないよう注意されたい。

成績評価の方法 出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。
 教科書 コピーによる。
 参考書等 随時紹介する。

履修コード	017201
科目名	編集実務
担当者名	長谷川 ^{はせがわ たかし} 孝

講義のねらい 編集とは、事象や物事から「何か」に気付き、その意味をつかみとり、取捨選択（評価）し、再構成し表現の形を整えて、受け手に引き渡す（伝える）という、一連の過程に自覚的にかかわる作業です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考え、自らの問いを立てるなどの力が、「実務」には求められます。そのための自分なりの「目のつけどころ」（視点）をつくり、批判力・疑問力を身につけるなど、いわば《知的基礎体力》を養うことが目標です。また、へんしゅうというはたらきは、生活の中で誰もが日常的に行っていることなので、それを自覚的（意識的）に適用してみることで、「編集力」や情報へのリテラシーの力を育て、情報が氾濫する情報化（渦・渦）の社会で、情報を主体的に読み取り選択して活用できるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、編集という仕事について考えます。前期は、①編集作業の流れや関係の知識・技能の概略、②編集の意味や企画の役割、③編集の社会的な役割と責任、④記事の読み比べと取材のあり方、⑤視点のあり方や形成、⑥表現や添削の姿勢と責任——などを編集論的に。後期は、①編集の姿勢とマインド、②データやテキストの読みとり方とその役割、モチーフの取り立て③原稿の執筆や直しの実際、④見出しやリードの意味と実際に書いてみること、⑤レイアウトの概要や企画の実際、⑥編集を行う主体性と自律性——などを知識・技能に即して実践的に。生活の中の情報と編集についても、前・後期を通して取り上げます。

履修上の留意点 授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えでの参加を。そこに、多くの編集的な過程（作業）が含まれているので、編集の実践にもなると考えています。また、授業で「取材」して「自分なりに感じ気づき考えた」ことを毎時、短い文章にして（「イケン文」と呼ぶ）提出してもらいます。「イケン文」をもって出席表に代えます。

成績評価の方法 自己評価点を重視します。それと、「イケン文」など平常の提出物および課題作品（B4版2つ折り4ページの個人紙・誌の制作を予定）によります。

教科書 毎時、印刷物を配布します。
参考書等 適宜、紹介します。

II 專 門 教 育 科 目

2. 英 米 文 学 科

履修コード	023101・023102
科目名	英語演習 作品講読I
担当者名	唐澤 一友
講義のねらい	英語文献を使ってリサーチが出来るだけの正確な英語読解力をつけるべく、リーディングを中心に するが、それと同時に、英文の音読及び英作文を通じて、英文法の感覚をも身につけることが できるような授業をしたい。随時行う小テスト等により、語彙力も養成する。
講義の内容・ 授業スケジュール	(前期) 1. オリエンテーション、2. ～15. 教科書に沿った演習 (後期) 1. ～15. 教科書に沿った演習
履修上の留意点	必ず予習をしてくること。予習の際によく分からなかった点については、授業で積極的に質問して 下さい。
成績評価の方法	出席、小テスト、期末テスト、および授業への取り組みにより総合的に評価します。
教科書	John Dougill, <i>Oxford — A Personal Account</i> — 三井徹註解、成美堂、1200円+税 ISBN4-7919-1233-0

履修コード	023201・023202
科目名	英語演習 作品講読I
担当者名	逢見 明久
講義のねらい	英語の基礎知識を確認しながら、TOEFL等の練習問題に取り組み、文法・読解力を磨く。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期：(1) センテンスにおける名詞・代名詞の役割(2～3) 文型を決定する二種類の動詞 (4) 形容詞と副詞の役割(5～6) 句と節の種類(7) 動名詞の役割(8～9) 分詞の役割(10～ 11) 不定詞の役割(12) 前置詞の役割(13) 関係詞の役割(14～15) 接続詞の役割 後期：(16～20) 名詞句と名詞節(21～25) 形容詞句と形容詞節(26～30) 副詞句と副詞節 語学の習得には、単調に思えることの繰り返しと、継続的な積み重ねを厭わずに実践することが 不可欠となる。毎回の練習問題のみならず、インターネットや新聞、映画など日頃触れる英語に関 心を持ち、自主的に英語力を練磨すること。
履修上の留意点	毎回の練習問題のみならず、インターネットや新聞、映画など日頃触れる英語に関 心を持ち、自主的に英語力を練磨すること。
成績評価の方法	毎回授業の冒頭で文法の予備知識についての質疑を行い、予習・復習など積極的な学習姿勢を確 認し、前期と後期のテストの結果を加味して、出席状況も考慮のうえ総合的に判断する。
教科書 参考書等	プリント配布。 適宜指示。

履修コード	023301・023302
科目名	英語演習 作品講読I
担当者名	佐藤 真二
講義のねらい	総合的な英語力の養成を目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	TOEIC: PartI,II(1-8) PartIII,IV(9-15) IDENTITY: Unit1-4(16-23) Unit5-8(24-30)
履修上の留意点	毎週課題を出す。 毎回予習の上出席すること。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験および授業内の発表や提出物、出席によって評価する。
教科書	『新 TOEIC TEST 総合スピードマスター入門編』(Jサーチ出版) IDENTITY(Oxford University Press)

英
米
文

履修コード	023401・023402
科目名	英語演習 作品講読
担当者名	川崎 明子

講義のねらい	英語力の基礎を固めます。リーディング中心の教科書を使用しますが、ライティング、スピーキング、リスニングも取り入れます。 ペアワーク、グループディスカッション、ディベート、プレゼンテーションも行います。
講義の内容・授業スケジュール	前期 (1) オリエンテーション(2~13)教科書に沿って進む。(14) 期末テスト (15) まとめ 後期 (1~13)教科書に沿って進む。(14) 期末テスト (15) まとめ
履修上の留意点	1 数種類の辞書を使い予習をして臨むこと 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること 3 提出物は書式を指定します。授業でマニュアルを配りますが、最低限のパソコンの知識があることが望ましいでしょう。
成績評価の方法	出席は3分の2以上が必要。出席、小テスト、期末テスト、提出物、発表に加え、授業への参加・貢献度により総合的に評価します。
教科書	Peter Duppenhaler, Current Issues and Topics (大阪教育図書、2008年) ¥1,600 ISBN978-4-271-11316-4
参考書等	Eastwood, Oxford Practice Grammar: Intermediate (Oxford: 2006)

履修コード	023501
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーション
担当者名	モート、セーラ

講義のねらい	The aim of Speech and Communication I is to develop speaking skills and to improve confidence in giving presentations on a specific topic in small groups.
講義の内容・授業スケジュール	I. (1-15)During the first semester the emphasis will be on practicing new vocabulary, phrases and sentence patterns to communicate clearly. Pronunciation skills and voice projection will also be part of the course. II. (16-30)During the second semester students will concentrate on research skills,lengthening sentences and communicating using question forms, such as wh-questions, effectively. Students will be required to give group presentations followed by Q & A, in front of the class at the end of each semester.
成績評価の方法	Students will be assessed through the group presentations(35%), mini-tests(20%) and classwork, including attendance(45%). Students will be expected to attend regularly, complete all tasks set in class and participate actively.
教科書	There is no textbook, however a note-book and dictionary will be required in class.

履修コード	023601
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーション
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい	This course will enable students to better use conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.
講義の内容・授業スケジュール	[1] Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams on selected textbook activities.
履修上の留意点	Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence of 1/3 of classes will result in a failing grade.
成績評価の方法	Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.
教科書	author: Steven Molinsky and Bill Bliss title:Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4 publisher: Longman date: 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	023701・023801
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションI
担当者名	マーティン, S. F.

講義のねらい Speech and Communication I will be organized around modes of communication, as well as content. Most classes will be organized so as to have students preparing for projects through small groups. But when practical, individual participation will be encouraged and will be included in overall student evaluation.

講義の内容・授業スケジュール No textbook is required, but students will need to have a file holder or notebook for student generated materials and handouts from the instructor. Material to be covered will be comprised of roughly 50% practical conversation, and 50% will be drawn from a variety of lectures and discussions of academic or cultural interest.

履修上の留意点 Attendance is required, and with few exceptions, the instructor will hold students accountable for the minimum attendance required by the Ministry of Science and Education (Monkasho). Final student evaluation will be based on year long attendance, and a willingness to communicate as exemplified by completion of homework assignments and active participation in classroom exercises.

成績評価の方法 Students will be evaluated according to attendance, in class Participation, occasional written tests, and occasional written homework assignments.

教科書 Students are not required to buy a textbook

参考書等 Students should try to other English source material as much as possible. Any source is acceptable-newspapers, novels, magazines.

履修コード	023901・023902
科目名	作品講読 作品講読II
担当者名	加藤 光也

講義のねらい 現代イギリスの短篇を精読しながら、文学テキストの基本的な読解力を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 『現代イギリス短編集』を教科書にして現代イギリスの代表的な短編を精読します。授業は以下のスケジュールで進めます。

- (1) イントロダクション
- (2~13) 短編作品の精読
- (14) レポートの提出
- (15) レポートへのコメントと全体でのディスカッション
- (16~28) 短編作品の精読
- (29) レポートの提出
- (30) レポートへのコメントと全体でのディスカッション

履修上の留意点 わからない個所については必ず辞書、事典で調べる習慣をつけてください。分担して発表してもらいますので、予習を欠かさないでください。

成績評価の方法 出席、授業への取り組み、学期ごとのレポートの内容を総合的に評価します。

教科書 『現代イギリス短編集』 *Modern British Short Stories: Forster, Joyce, Mans field, Lawrence, Maugham* (成美堂) ¥1,300 ISBN:978-4-7919-0030-5

参考書等 授業時に適宜、紹介します。

履修コード	024001・024002
科目名	作品講読 作品講読II
担当者名	川崎 明子

講義のねらい アメリカの作家による短編小説を読み、英語力の向上を図ると同時に、テキスト分析の基礎を学ぶことで、広義の意味での読解力の向上を目指す。
前期・後期末にレポート提出とディクテーションおよび音読試験実施。優秀レポートの発表あり。レポート、発表は英語、日本語いずれも可。

講義の内容・授業スケジュール
前期
(1) オリエンテーション
(2～13) 教科書。うち一回はレポート作成法中心。
(14) レポート提出。ディクテーション。音読試験。
(15) レポート全体コメント。個別返却。プレゼンテーション。
後期
(1～13) 教科書。
(14) レポート提出。ディクテーション。音読試験。
(15) レポート全体コメント。個別返却。プレゼンテーション。

履修上の留意点 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること。
授業中の積極的な参加が求められる。

成績評価の方法 出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、レポート、ディクテーション、音読試験の結果で総合的に評価する。

教科書 酒本雅之・岩元巖 註解『古典アメリカ短編集』(成美堂) ¥1,300
ISBN4-7919-0518-0

参考書等
1 川口喬一『イギリス小説入門』(研究社) イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られる。
2 Eastwood, Oxford Practice Grammar: Intermediate (Oxford: 2006)
大変優れた文法書。問題つき。

履修コード	024101・024102
科目名	作品講読 作品講読II
担当者名	高野 正夫

講義のねらい イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。その他、さまざまな英文に現れる英語特有の表現や言いまわしについても細かくふれていきます。

講義の内容・授業スケジュール (1～8) Kingsley Amis (9～15) John Wain (16～24) Allan Sillitoe (25～30) Edna O'Brien などの作品を読みます。

履修上の留意点 発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。
前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

成績評価の方法 教場にて指示します。

教科書 授業は演習形式で行います。

その他

履修コード	024201・024202
科目名	作品講読 作品講読II
担当者名	<small>winsburg</small> 東 <small>ohio</small> 雄一郎

講義のねらい

アメリカ小説の精読を通して英語の読解力並びに文法力を養う。単なる英文和訳ではなく、有機的な英文の内容理解・解釈を試みる。コンテキスト・コンプリヘンションから、適宜な日本語の選択ができるように努める。また、20世紀のアメリカ小説を通して、アメリカの農村と都市、地方主義、社会、文化、芸術への認識・情報・知識を深め、アメリカの民主主義や産業資本主義の実態が如何なるものであるのかを考察する。時に英字新聞からの抜粋記事を読む。

講義の内容・授業スケジュール

20世紀初頭のモダニズムの黎明期に、中西部出身の作家シャーウッド・アンダーソンが創作したオムニバス形式の小説『ワインズバーグ・オハイ』から厳選した傑作7～8編を読む。アンダーソンの名文は、後輩作家のヘミングウェイなどにも大きな影響を与えた。前期、後期、それぞれに3～4編の作品を読破する。毎回、数名が発表する形式で授業を進める。発表者は周到な準備をした上で、発表に臨むこと。各自の発表後に、内容や語彙に関する質問（15問ほど）がある。また、毎回、授業内に小テストを行う。「手」（1～3） 「母」（5～7） 「哲学者」前半（8） 「哲学者」後半（9～11） 「冒険」前半（12～13） 「冒険」後半（14～16） 「神の力」（17～19） 「教師」（20～23） 「紙玉」（24～25） 「目覚め」（26～）

履修上の留意点

理由のない遅刻者は教場への入室不可。無断欠席を3回以上した場合、その者は成績評価対象外とする。中英和辞書並びに英英辞典を必ず持参すること。発表者以外の他の者も必ず予習をして授業に参加すること。

成績評価の方法

原則的に次の5項目に基づき評価する。①毎回の授業内小テスト（25％）②前期のまとめ試験（25％）③後期のまとめ試験（25％）④年間5回の小レポート（10％）⑤夏季休暇課題レポート（15％）

教科書
参考書等

Winsburg, Ohio (『ワインズバーグ、オハイオ』) 研究社 価格1155円
随時、授業内で指示する。

履修コード	024301・024401
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションII
担当者名	ブランケン, D. L.

講義のねらい To increase students' aural-oral proficiency and their willingness to speak in English. Students will talk in English via short memorized passages, dialogs and readings in the first semester. In the second, they will speak on topics of their choice, and make presentations as part of their "extra materials, activities."

講義の内容・授業スケジュール

Spring Semester
 Week 1: Vetting of student oral proficiency
 Weeks 2 & 3: English On Tap (EOT), Unit 1
 Weeks 4 & 5: EOT, Unit 2
 Week 7: Extra materials; activities (1)
 Weeks 8 & 9: EOT, Unit 3
 Weeks 10 & 11: EOT, Unit 4
 Week 12: Extra materials; activities (2)
 Weeks 13 & 14: Book check, extra work
 Fall Semester
 Week 1: Review: EOT, Unit 5
 Week 2 & 3: EOT, Unit 6
 Week 4 & 5: EOT, Unit 7
 Week 7: Extra materials; activities (3)
 Week 8 & 9: EOT, Unit 8
 Week 10 & 11: EOT, Unit 9
 Week 12: Extra materials; activities (4)
 Week 13 & 14: Book check, extra work

履修上の留意点

Two class periods will be used for each unit of the textbook. Four units are to be covered in each semester, with a review unit of one period. The goal is to "do" some five pages of the text per class period. Four classes per year are reserved for extra activities like games and puzzles in the first semester, and short presentations in the second.

The text provides for weekly listening and speaking activities like role playing. They will be graded as part of the instructor's continuous assessment of each student.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows: (1)classwork, using the textbook, 30%; (2)Classwork, using extra materials, 20%; (3)attendance and weekly speaking performance, 30%; and quizzes and end of semester book check, 20%.

教科書

Name: English On Tap
 Authors: D. Lee Blanken & Associates
 Publisher: Urban Productions, Ltd.

Price: ¥2,000 (available as handouts in Spring, and as printed book in Autumn (October))

参考書等

A suitable electronic Japanese-English dictionary is strongly recommended. The instructor will discuss this during the first class meeting, when course goals and contents will be outlined.

履修コード	024501
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションII
担当者名	モート, セーラ

講義のねらい The aim of Speech and Communication II is to develop speaking and listening skills as well as expressing an opinion in English.

講義の内容・授業スケジュール

I. (1-15)During the first semester the emphasis will be on techniques for developing speaking and listening skills, which will be practised in pairs and small groups. Research skills using as many sources as possible, on a specific topic, will also be developed.

II. (16-30)During the second semester the focus will be on expressing an opinion and learning how to present different points of view. Question forms such as wh-questions, tag questions and rhetorical questions will be practiced to deepen communication skills. Students will be required to give group presentations in front of the class, including evidence of research findings, followed by Q&A, at the end of each semester.

成績評価の方法

Students will be assessed through the group presentations (35%), mini-tests(20%) and class-work including attendance (45%). Students will be expected to attend regularly, complete all tasks set in class and participate actively.

教科書

There is no textbook,however a note-book and dictionary will be required.

履修コード	024601
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションII
担当者名	ハバード, W. D.

講義のねらい The goal of this course is to provide students with the tools and abilities to effectively express themselves in a variety of interactions with English including reading, writing, speaking, and listening. To reach this goal, students will be given a variety of assignments and tasks, both written and oral, to improve their English competence. This includes written assignments, reading, and oral reproduction of selected passages to measure and help students with their comprehension, intonation, and general speaking ability. If time allows during the school year, group presentations will be given. By the end of this course, students are expected to be able to communicate their basic wants and needs in understandable written and oral English.

成績評価の方法 Final grade will be based on attendance, class work, quizzes, and mid-term and final tests.
教科書 A Basic Course Book 4

履修コード	024701
科目名	英語学概論
担当者名	佐藤 真二

講義のねらい 英語学の諸項目に関する基礎的な知識を身につける事を目的とする。

講義の内容・ 主な講義内容は以下の通り。

授業スケジュール

- 1) What is linguistics ? (言語学とは何か) 1-2
- 2) Phonetics (音声学) 3-8
- 3) Phonology (音韻論) 9-15
- 4) Morphology (形態論) 16-17
- 5) Lexicology (語彙論) 18-19
- 6) Syntax (統語論) 20-21
- 7) Semantics (意味論) 22-23
- 8) Linguistic schools in the twentieth century (20世紀の諸言語学派) 24
- 9) Branches of linguistics (言語学の諸分野) 25-30

成績評価の方法 前期末及び学年末の試験によって評価する。
教科書 J.D.O' Connor, Better English Pronunciation, (Cambridge University Press) 1980, (Paperback)

参考書等 参考文献は教場にて紹介する。

英
米
文

履修コード	024801
科目名	英語表現法
担当者名	高野 正夫

講義のねらい いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。また、この他にも日常会話の英語表現の演習も行います。

講義の内容・ (1～8) Campus Life や Changing Weather (9～15) At the Bank や Watching TV (16～24) Sports や Traveling Abroad (25～30) Studying Abroad や Transportation などのトピックを扱います。

履修上の留意点 授業は、毎回演習形式で行うので、あたる時には十分準備をすること。
成績評価の方法 前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あたる時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

教科書 教場にて指示します。

履修コード	024901
科目名	英語表現法
担当者名	河崎 征俊

講義のねらい 平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。一般的に、ややもすると機械的な学習と単なる暗記に終止する傾向が見られるので、それを打破するためにも、優れた英文に触れながら英英辞典を多用し、英語で英文のイメージをまとめることが望まれる。本講義ではさまざまな場面や角度からの英語表現の習得を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) 辞書ならびに参考書の紹介、小テストの実施。(3～4) Articles。(5～6) Nouns。(7～8) Pronouns。(9～10) Adverbs and Adverbials。(11～15) Prepositions and Phrases。(16～18) Past Participles。(19～21) ing-Forms。(22～23) Auxiliary Verbs。(24～25) Infinitives。(26～29) Conjunctions and Correlatives。(30) まとめならびに総復習。

履修上の留意点 授業効果をあげるためにも、あらかじめ文法書を熟読し、英文の形を整理しておいていただきたい。授業はすべて演習形式をとるため、予習・復習に専念し、まじめな学習を心がけていただきたい。

成績評価の方法 年2回の試験(7月と1月)ならびに小テストを基本的に評価することになるが、出席状況を重視する。遅刻は基本的に認めない。

教科書 緒方勲『英語表現への道』(成美堂、1996) 1,545円。

履修コード	025001
科目名	英語表現法
担当者名	佐藤 千春

講義のねらい ここで扱う英文はすべて日常会話のものばかりで、いわゆる書き言葉なるものは一つもない。口語英作文と考えてもらえばよい。はじめに基本となる英文の表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程度の短い文を練習し、基本が身に付いているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し、これはあらかじめ分担を決めておくので1人1問の分量を板書してもらう。この授業で扱う表現はすべて実生活を土台としたもので、できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現が出来るようになることをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expression の説明、およびテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明し、その後はすべて学生諸君に一問ずつ質問に答えてもらう Basic Training の練習を行う。Writing Practice はあらかじめあておくので準備をし、板書してもらう。またテキストとは別に、アメリカの Colloquialism や、その他面白い表現について学び、自由作文をしてもらうことも考えている。

履修上の留意点 授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。遅刻・欠席はマイナス評価、Assignment は必ずやってくるように。

成績評価の方法 毎回あてる Quiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。遅刻・欠席はマイナス評価となり、試験の点数が良くても、最終評価は必ずしもこれに一致することはないので注意すること。

教科書 『コミュニケーションのための口語英作文』(The Road from Writing to Speaking) (成美堂) 1,680円

参考書等 授業内にて紹介して行く。

履修コード	025101
科目名	英語表現法
担当者名	逢見 明久

講義のねらい 英米の映画を通じて、多様な英語表現の用例に触れて、言葉遣いのニュアンスを学び、英語の基礎を培う。

講義の内容・授業スケジュール 前期：(1)ガイダンス(2～8)『フォー・ウェディング』(9～15)『ノッティングヒルの恋人』。

後期：(16～20)『グリーンフィンガーズ』(21～30)『秘密と嘘』。

履修上の留意点 語学の習得には、単調に思えることの繰り返しと、継続的な積み重ねを厭わずに実践することが不可欠となる。毎回の練習問題のみならず、インターネットや新聞、映画など日頃触れる英語に関心を持ち、自主的に英語力を練磨すること。

成績評価の方法 毎回授業の冒頭で文法の予備知識についての質疑を行い、予習・復習など積極的な学習姿勢を確認し、前期と後期のテストの結果を加味して、出席状況も考慮のうえ総合的に判断する。

教科書 教場で知らせる。

参考書等 必要に応じて紹介。

履修コード	025501
科目名	英語史
担当者名	唐澤 一友

講義のねらい 世界の共通語とまでいわれるようになった英語とは、どのようなバックグラウンドを持つ、どのような性質の言語であるのかということ、イギリスの歴史や文化とともに学びます。英語の歴史を学ぶことは、現代の英語がいかなる性質の言語であるのかということを知る上で大変参考になります。また、英語の歴史とイギリスの歴史や文化とは非常に密接に関わり合っています。したがって、英語の歴史を学びながら、英語の性質についてより深く知るとともに、イギリスの歴史や文化の基礎知識をも身につけるとするのが本講義のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール 英語のルーツから現在まで、また、英語と他のヨーロッパの言語との関係性を含む幅広いトピックを以下のようなスケジュールで扱います。(前期) 1. イントロダクション、2. 英語のルーツ、3. ～5. 英語の歴史以前、6. 英語の歴史の始まり、7. ～10. アングロ・サクソン人の言語、文学、文化、11. ～12. ヴァイキングの侵入とその影響、13. ～15. ノルマン征服とその言語的、文化的影響 (後期) 1. 前期の復習、2. 英語の復活と英文学の開花、3. 印刷機の導入と大母音推移、4. ～5. ルネサンスと英語、6. 英語の語彙的特徴、7. 英語の辞書および文法の成立、8. ～10. 英語の綴りと発音、11. 英語の方言、12. ～15. リンガ・フランカとしての英語

履修上の留意点 この授業用にノートを一冊用意し、授業で扱われた大切な点をメモしたり、配布物を貼り付けたりするとともに、授業以外の時間に自習して学んだこともノートに記録し、自分なりの「英語史ノート」を作って下さい。(なお、最終的に提出できる形をとれば、パソコン等を用いて作成しても構いません。)

成績評価の方法 平常点、レポート、および作成したノートをもとに成績をつけます。
教科書 唐澤一友『多民族の国イギリス—4つの切り口から英国史を知る』春風社、2100円
 ISBN:978-4-8-6110-148-9

履修コード	030181
科目名	3年次ゼミ
担当者名	唐澤 一友

講義のねらい 英語には約1500年の歴史があり、その間、言葉の特徴を少しずつ変えながら現在に至っています。このゼミでは、様々な時代の英語を実際に少しずつ読んでみることで、英語の変遷を体感するとともに、各時代の英語の特徴やその背後にある歴史的、文化的事情を概観してみたいと思います。(ただし、英語の歴史の概論としては、「英語史」の授業があるので、このゼミではもう少し個別具体的な問題を扱う予定です。)

講義の内容・授業スケジュール このゼミでは様々な時代に書かれたイギリスの歴史に関する書物(歴史書や年代記の類)を部分的に読み、そこで用いられた英語の特徴などについて学びます。20世紀(あるいは19世紀)の書物から始め、徐々に古い時代にさかのぼっていきます。前期は初期近代英語の時代(16世紀)までの書物をいくつか読む予定です。後期には、中英語期そして古英語期の書物にも挑戦してみましょう。(前期) 1. イントロダクション、2. ～15. 各時代の英語の読解、それと関連する発表、ディスカッション等。(後期) 前期と同様の作業を毎回行います。

履修上の留意点 この授業のためにノートを一冊用意し、授業中に読む英文(プリントとして配布)をこれに貼り付け、授業中に学んだこと、予習・復習の際に学んだことなどを書き込み、勉強の成果が形に残るようにしてください。毎回の授業で読む英文は、予め一度目を通し、内容や英語の特徴等がある程度把握しておいてください。(授業中にいろいろ質問します)。発表が割り当てられた場合には、特によく準備をしてくる。授業中に積極的に発言してもらえると活気あり楽しい授業になると思います。

成績評価の方法 出席、授業中の発表、発言、学期末のレポート及び作成したノートにより成績をつけます。
教科書 使用しない
参考書等 随時紹介する。
その他 特になし

履修コード	030191
科目名	3年次ゼミ
担当者名	逢見 明久

講義のねらい 英米演劇・映画作品研究。前期は演劇・小説・映画などを題材に取り上げ、作品の分析法を身に付ける。後期は各自が取り組んだ研究成果を発表し、卒業論文作成の基礎知識を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 前期：(1) ガイダンス (2) 視点の模索：登場人物の目線と作者の目線 (3) 行動の動機：状況整理 (4) 行動の動機：心理分析 (5) 無言と沈黙の意味 (6) 映画と文学の関わり (7) 映像言語：構図 (8) 映像言語：クロースアップ (9) 映像言語：人間の顔 (10) 映像言語：変化する視点 (11) 映像言語：デフォルメ (12) 映像言語：モンタージュ (13～15) 作品分析演習。

履修上の留意点 後期：(16～25) 各自研究成果を発表 (26～30) 卒業論文作成法。

成績評価の方法 毎回全員に発表の機会があるので、準備は怠らないこと。

教科書 毎時間の発表姿勢と、レポートの結果から判断する。

参考書等 適宜案内する。
荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社、1996年) ISBN: 4787584588
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林、1992年) ISBN: 4905640857

履修コード	030201
科目名	3年次ゼミ
担当者名	河崎 征俊

講義のねらい イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかかなりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特徴をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

講義の内容・授業スケジュール (1) 中世イギリス文学概観。(2～5) 中世英語の文法と発音練習ならびにチョーサーの簡単な英文の読解法。(6～15) *The Canterbury Tales* 中の *The Pardoner's Tale* の読解。(16～19) ゼミ生による研究発表とディスカッション。(20～23) チョーサーの批評文読解。(24～28) *The Pardoner's Tale* の読解。(29) まとめならびに総合復習。(30) チョーサーの批評文に関する小テスト。

履修上の留意点 イギリス文学史の中世の箇所を一般的な書物をおして確認し、時代背景を把握しておいていただきたい。開講時に中世イギリス文学に関する文献リストを配布するので、図書館等で文献確認を行い、レポート作成に向けていただきたい。

成績評価の方法 (a) 夏期レポート、(b) レポート口頭発表、(c) 演習発表、(d) 12月の授業最終時に行う小テスト、ならびに (e) 出席状況等を中心に総合的に評価する。ゼミに対する積極的姿勢も評価の対象とした。

教科書 A.C.Baugh 版を用いることになるが、この版は現在入手不可能なので、この版をコピーして配布する予定。

履修コード	030401
科目名	3年次ゼミ
担当者名	高野 ^{たかの} ^{まさお} 正夫

講義のねらい

Wordsworth と Coleridge が *Lyrical Ballads* を出版した1798年からの約30年間をロマン主義の時代と呼んでいます。イギリス・ロマン派の詩人たちの特徴の一つにその自然観があります。ロマン派の詩人たちは、それまで顧みられることのなかった自然の奥深くにある神秘性や啓示的精神に目を向けて、新たな詩を生み出していったのです。さらに、*Lyrical Ballads* の特徴の一つである、平凡な話し言葉によって書かれた詩は、従来のものより読みやすくなり、このロマン主義の時代に詩は、一般大衆にとって身近なものとなっていきました。そして、彼らが選んだ主題は、自然以外にも、愛や古いバラッドや、神話など、人々の日常生活に関わるものが多かったのです。その他、Blake や Wordsworth の作品にも見られるように、子供を文学作品の重要なテーマとしたのもロマン主義の一つの特徴であったのです。とくに Wordsworth は、多くの子供を中心とした素朴な家族の愛を描いた作品を書いていました。

このようなイギリス・ロマン派の詩人たちが描いた自然や愛そして子供たちを主題とした作品や、Beatrix Potter, Mother Goose などを読みながら、当時のイギリスの人々のロマンチックな精神を探っていく予定です。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

(1～8) Beatrix Potter の生涯 (9～15) Potter の代表的な作品 (16～24) Mother Goose の魅力と作品 (25～30) Wordsworth の作品
レポートや平常点や出席状況を見ながら総合的に評価する。
プリントを使用します。

履修コード	030601
科目名	3年次ゼミ
担当者名	モート, セーラ

講義のねらい

- ・このセミナーは、比較文化論的に、日本とイギリス、ヨーロッパの美術の基礎を学ぶ。
- ・絵画を見る目を養い、それについて英語で自分の意見を言えるようにする。
- ・芸術家について基本的な歴史的背景を学ぶ。
- ・美術鑑賞における基本的な専門用語を学ぶ。(テーマ、機能、創作、スケール、素材、ネガティブ・スペース、台紙、落款)
- ・研究方法を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- a. 17世紀から現代に至る美術を扱う。
- b. 個々の作品を鑑賞したり、同じテーマや作風の作品を比較して鑑賞したりする。
- c. 必要に応じて、資料を扱う。

履修上の留意点

- ・積極的に授業に参加し、研究のスキルを上達させることが要求される。
- ・レポートを提出し、授業中に発表することが必要である。

成績評価の方法
教科書
その他

授業内の発表とレポートによって評価する。
プリントを使用する。
英語で授業を行う。

履修コード	030801
科目名	3年次ゼミ
担当者名	東 雄一郎

講義のねらい	アングロ・アメリカン文学を越境する、アメリカのエスニック・モダニズム、具体的にはユダヤ系のアメリカ作家、アンジア・イージアスカ並びにサリンジャーと、チカーノ文学（広義には、メキシコ系アメリカ人の文学）を代表するゲーリー・ソトの作品（詩と小説）を読む。英語で『ゼミ論集』を作成し、卒業論文の作成に備える。研究発表を通じ、プレゼンテーション力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	「前期」 ①初期のユダヤ系移民の少女の憧れ：『餓えた心』所収「奇跡」（1～5回）②自己存在証明の確立：『餓えた心』所収「私のアメリカ発見」（6～10回）③20世紀初期のユダヤ人街での暮らし：『餓えた心』所収「贅沢な暮し」④同民族内での格差：『餓えた心』所収「恋人の夢の世界」（11～15回） 「後期」 ⑤サリンジャー『ライ麦畑の捕手』の抜粋講読とチカーノ・チカーナの歴史（16～20回）⑥『ライ麦畑の捕手』の民族的な問題点と初期のユダヤ系文学との相違（21～22）⑦エスニック・越境文学の本質（23回～）
履修上の留意点	理由のない遅刻者はゼミ室への入室不可（欠席扱い）。2回以上の無断欠席者は成績評価対象外となる。ゼミ論未提出者も同様に対象外となる。ゼミであっても、単位を落とすことがある。夏のゼミ合宿、並びに英語資格試験の模擬試験を行うが、これらはゼミ活動・授業の一環であるため、必ず参加すること。
成績評価の方法	①ゼミへの参加貢献度・議論内容等（20%） ②前期課題英語レポート（20%） ③プレゼンテーション・研究発表内容評価（25%） ④ゼミ英語論集（25%） ⑤TOEIC模擬試験結果（10%）
教科書	① Hungry Hearts(Penguin Classics) ② Catcher in the Rye (英潮社ペンギンシリーズ) ③ Gary Soto の作品はプリント配布。
参考書等その他	ゼミの初日、並びに随時、指示する。 3年次ゼミにおける各自の活動を参考にし、卒業論文指導の可・否を決定する。3年次ゼミを履修した者が全員、4年次の卒論指導を受けられるとは限らない。

英
米
文

履修コード	030901
科目名	3年次ゼミ
担当者名	佐藤 千春

講義のねらい	アメリカ文学史上、1830年頃から超絶主義（Transcendentalism）という文芸思潮が台頭してきた。このゼミでは、超絶主義とは何か？を論じ、これにかかわる作家をとりあげてみることにする。その1人がナサニエル・ホーソーン（Nathaniel Hawthorne,1804-64）である。彼の作品を精読し、さらにほかの作家との比較も行いながら、その人間観、世界観などを探っていくことにする。あわせて、この時代、アメリカ・ルネッサンスという時代も展望してみたい。
講義の内容・授業スケジュール	ホーソーン作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。本年度扱う作品は、ゼミ開講時にプリントで配布する予定である。
履修上の留意点	あらかじめ発表部分をあておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、内容の分析、ならびに難解な部分の解説や説明を行ったり、説明を求めたりする形式で進めて行く。遅刻・欠席は厳に慎むこと。人数によって教場変更もあるので4月の開講時に注意していただきたい。
成績評価の方法	分担して発表してもらう姿勢と内容、作品の内容と分析に関するテスト、あるいはレポートを課題として出す予定。出席が重視されるのは当然と考えてほしい。
教科書	プリントを使用する。4月の開講時に各自に手渡すので注意されたい。
参考書等	参考書、翻訳書など多数にのぼるので授業内において、その都度紹介して行く。

履修コード	031101
科目名	3年次ゼミ
担当者名	佐藤 眞二

講義のねらい	Accents of English (地域や社会階級、年齢、性別等による発音の違い) を、音声資料を用いて研究する。
講義の内容・授業スケジュール	International Phonetic Alphabet、地域による相違、社会階級による相違、性別、年齢による相違。(1-8) 研究予定地域：イングランド南部(ロンドン等)、イングランド北部(リヴァプール等)、スコットランド、アイルランド、ウェールズ、オーストラリア、カナダ等。(9-15) 学生の研究発表(16-25) まとめと今後の課題(26-30) 使用予定資料：インタビュー、ニュース、テレビ番組、映画、音楽等。
履修上の留意点	・履修には、英語音声学全般に関する基礎知識が必要である。 ・音声資料の分析等のために、実践的な英語力も要求される。 ・参考書や資料は、英語のもののみ使用予定。 ・後期には、学生各自が、自ら選択したテーマで夏期に研究した結果の発表を行う。 ・口頭発表は、英語で行うことも視野に入れる。 ・後期の発表のためには、前期の授業に毎回出席し、テキストの要約発表や ear-training などの基礎学習が不可欠となる。毎回予習の上出席すること。
成績評価の方法	授業内の発表とレポートによって評価する。
教科書その他	教場にて指示する。 夏期に、音声学をテーマにした合宿を行う予定。

履修コード	031191
科目名	3年次ゼミ
担当者名	川崎 明子

講義のねらい	ジョージ・エリオット (George Eliot) の『ダニエル・デロンダ』(Daniel Deronda, 1876) を題材に、文学研究に必要な過程を一通り学びます。卒業論文作成の練習にもなるでしょう。具体的には、テキスト精読、語りの手法、歴史背景、英文・和文の批評の読解、批評の方法、論文の書き方、口頭発表の仕方など。 作品が長いので小説の読解に興味のある学生、また授業は発表と討論が中心なので積極的な学生を歓迎します。
講義の内容・授業スケジュール	前期に小さな発表が数度と、小レポートの発表があります。夏休みに4000字以上のレポートを作成し、合格点に達した場合、後期レポートは免除します。レポートは合格点に達しない場合は書き直しとなります。レポートと口頭発表は英語・日本語どちらでも可。 前期 (1) オリエンテーション (2~9) 作品通読 (10) レポート作成法 (11~15) レポートの発表とディスカッション等 後期 (1~8) レポート発表と質疑応答およびディスカッション (9~15) 原書精読、批評精読、参考文献のグループ発表等
履修上の留意点	1 Eメールのアカウントを持つこと 2 レポートの書式を指定するので、最低限のパソコンの知識を持つこと
成績評価の方法	出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、発表やディスカッションの内容、レポートの結果で総合的に評価します
教科書	翻訳は二つありどちらを使用しても結構です。
参考書等	原書は George Eliot, Daniel Deronda (Penguin) 川口喬一『イギリス小説入門』(研究社) イギリス小説の流れと特徴がつかめるのみならず、小説研究のヒントも得られる良書。卒論を小説で書く方には一読をおすすめします。 川口喬一『「嵐が丘」を読む ポストコロナル批評から「鬼丸物語」まで』小説研究のヒントを得られます。

履修コード	031201
科目名	3年次ゼミ
担当者名	加藤 光也

講義のねらい	モダニズムの時代に活躍したE.M.フォースターの『ハワーズ・エンド』を教材にして、文学作品の文体や、語り、構成の分析方法を考えます。合わせて、いくつかの批評を読むことで、卒業論文作成にも役立つことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は以下のスケジュールで、作品の丁寧な読解を通じ、さまざまな文体の効果、作品全体の構造、テーマについて考えます。 (1) イントロダクション (2～12) 作品の講読 (13～15) レポートの発表と討議 後期は以下のスケジュールで、いくつかの批評を読みながら、作品の重要箇所を精読。課題のみつけ方、論文の書き方についても指導します。 (16～26) 批評の精読と作品の精読 (27～30) レポートの発表と討議
履修上の留意点	長い作品なので、授業中にすべてを精読することはできません。授業開始前に、翻訳でかまいませんから通読しておいてください。授業では毎回、担当者に発表してもらいますので、きちんと学習して臨んでください。
成績評価の方法 教科書	出席を含めた授業への取り組み、授業での発表、前期・後期のレポートを総合的に評価します。 E.M.Forster, <i>Howards End</i> (Norton Critical Editions) ISBN-10 : 0393970116 ISBN-13 : 978-0393970111
参考書等	授業時に適宜、紹介します。

履修コード	025201
科目名	アメリカ文学史
担当者名	佐藤 千春

講義のねらい	一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。
講義の内容・授業スケジュール	アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点をしばり、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。
履修上の留意点	講義は必ずしもテキスト通りに進むとは限らないし、内容も異なることもある。したがって講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。
成績評価の方法	期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。筆記試験に関しては、毎時間必要と思われる箇所を説明するので注意しておくこと。年度の終り近くになって特別に試験にあたっての注意をするわけではない。
教科書 参考書等	西田実『アメリカ文学史』(成美堂) 2,205円 講義を進めて行く間、適宜紹介して行く。

履修コード	025301
科目名	イギリス文学史I
担当者名	河崎 征俊

講義のねらい 古期から18世紀までのイギリス文学の流れを概観し、時代思潮ならびに各時代に現れた主要作家・作品等に触れながらイギリス文学の特質について考察する。

講義の内容・授業スケジュール (1) イギリスの風土と文学について。(2～3) アングロ・サクソン文学の内容と特質。(4～5) 中世後期の文学の内容と特質。(6～8) チョーサー文学。(9～10) ルネサンス前期の文学の内容と特質。(11～12) ルネサンス後期の文学と特質。(13～15) シェイクスピア文学。(16～17) 17世紀の文学の内容と特質。(18～19) ジョン・ダンとその一派。(20～21) ジョン・ミルトン文学。(22～23) 新古典主義文学。(24～25) 18世紀の文学の内容と特質。(26～29) 市民社会と小説の隆盛。(30) まとめならびに総復習。

履修上の留意点 イギリス史に関する一般的な書物を熟読し、時代の流れを把握しておいていただきたい。授業は講義形式で行い、重要な作品ならびに文献はできるだけコピーで配布するので、文献整理を忘れてないでいただきたい。

成績評価の方法 (a) 夏期レポート、(b) 1月の定期試験、ならびに(c) 出席状況等を中心に総合的に評価する。

教科書 (a) 20パーセント、(b) 70パーセント、(c) 10パーセントの割合で成績を評価する予定。
G. C. Thornley (吉田三千雄注訳)、*An Outline of English Literature* (英潮社フェニックス) 3,500円。

履修コード	025401
科目名	イギリス文学史II
担当者名	加藤 光也

講義のねらい 18世紀後半以降のイギリス文学の展開を、各時代の代表的な作品(詩、小説、批評)に焦点を当てながらたどります。

講義の内容・授業スケジュール 講義はおおよそ以下のスケジュールに沿って進めます。
(1) 前期ロマン主義とゴシック小説
(2～5) ロマン主義の詩—ブレイク、ワーズワス、シェリー
(6～10) 19世紀の小説—オースティン、ブロンテ姉妹、ディケンズ
(11～12) ヴィクトリア朝の詩—ブラウニング、テニスン
(13～14) 近代の批評—ペイター、ワイルド
(15) ハーディの小説と詩
(16～18) モダニズムの詩と批評—イェイツ、エリオット
(19～23) モダニズムの小説—ジョイス、ウルフ、フォスター
(24～25) 大戦間の文学
(26) 第二次世界大戦後の文学—怒れる若者たち
(27) 新しい前衛—ファウルズとレッシング
(28～30) 1980年以降の文学—カーター、ヒーニー、イシグロ

履修上の留意点 授業ではできるだけ具体的な作品の紹介に主眼を置くので、各時代の社会、文化的背景については、参考書等で補うようにしてください。

成績評価の方法 出席、学期中の小テスト、学期末の試験によって総合的に評価します。

教科書 必要な資料はプリント配布します。
参考書等 川崎寿彦『イギリス文学史』(成美堂) ¥2,205
ISBN4791934032

英
米
文

履修コード	025601
科目名	イギリス文学特講I
担当者名	石原 孝哉

講義のねらい イギリスのルネッサンス期の文学について講義します。主な作家とその作品を通じて、イギリス文学の大きな流れを読み取るのがこの講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 前期には、「ヨーロッパにおけるルネッサンス運動の流れとその実態」、「イギリスのルネッサンス」について、Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, William Shakespeareなどを例に講じます。後期は、Shakespeareの作品を中心に Ben Jonson, John Bunyan, John Miltonなどを取り上げます。

履修上の留意点 講義形式で授業を進めますが、文学理論の部分は多少難解なので、意欲ある学生の受講を求めます。

成績評価の方法 期末試験、レポートにより評価します。

教科書 ノースロップ・フライ著、『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』、三修社

履修コード	025701
科目名	イギリス文学特講II
担当者名	高野 ^{たかの} 正夫 ^{まさお}

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope など代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

(1～8) Love Poetry (9～15) Nature Poetry (16～24) Religious Poetry (25～30) Poetry of Meditation など多様な作品を読んでいきます。

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教場にて指示します。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

履修コード	025801
科目名	イギリス文学特講III
担当者名	濱口 ^{はまぐち} 真木 ^{まき}

講義のねらい

それぞれの詩人の代表的な詩を読み進める。

講義の内容・
授業スケジュール

イギリスの代表的な詩を選んで読み進め、重要な言葉の意味を考察しながら言葉に込められた詩人の生き方の問題や文化、社会、宗教等の問題、個々の詩人たちの人間観などを読み取る。取りあげる詩人はシェイクスピア、ジョン・ダン、ミルトン、グレイ、ブレイク、ワーズワス、コウルリッジ、バイロン、キーツ、テニソン、ブラウニングなど。

成績評価の方法
教科書

出席やレポートなどの平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%) の総合評価
教場にて指示する。

履修コード	025901
科目名	イギリス文学特講IV
担当者名	川崎 明子

講義のねらい

ヴィクトリア朝の小説を中心に、19世紀のイギリスの文化と社会を紹介します。小説の黄金時代といわれるヴィクトリア朝の著名作家、具体的には、ディケンズ、ブロンテ姉妹、エリオット、ギャスケル、サッカレー、ハーディ等の代表作品を解説します。並行して、カーライル、アーノルド、ニューマン等、当時の思想についても解説します。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期末に試験とレポート。レポートは合格点に達しない場合再提出を命じる場合がある。優秀レポートの口頭発表あり。レポートと口頭発表は日本語・英語いずれでも可。

前期 1 オリエンテーション 2 ヴィクトリア朝のイギリス概観 3 チャールズ・ディケンズ 4 『オリヴァ・ツイスト』と救貧法 5 『ハード・タイムズ』と功利主義 6 『ディヴィッド・コパフィールド』と自伝小説 7 ジョン・スチュアート・ミルと自伝 8 スマイルズの『自助論』と立身出世 9 ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』、レポート作成法 10 『大いなる遺産』と教養小説 11 サッカレーの『虚栄の市』 12 ニューマンとオックスフォード運動 13 試験、レポート提出 14 試験・レポート全体コメント、試験・レポート個別返却、プレゼンテーション 15 まとめ

後期 1 エミリ・ブロンテの『嵐が丘』と語りの構造 2 シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』と女性版教養小説 3 アン・ブロンテの『アグネス・グレイ』とキャリアウーマン 4 カーライルとアーノルドのイギリス批判 5 ギャスケルの『メアリ・バートン』と『北と南』と社会小説 6 エリオットの『アダム・ビード』、『フロス河の水車場』 7 エリオットの『ミドルマーチ』と『ダニエル・デロンダ』 8 ハーディの『テス』とダーウィンの進化論 9 ハーディの『日陰者ジュード』と女性 10 ハーディの『日陰者ジュード』と教育制度と労働者階級 11 ワイルドと世紀末 12 ラスキンの『モリス』 13 試験、レポート提出 14 試験・レポート全体コメント、試験・レポート個別返却、プレゼンテーション 15 まとめ

履修上の留意点

1 第一回目の授業より必ず辞書を持参してください。
2 レポート作成においては書式を指定します。マニュアルを配りますが、最低限のパソコンの知識があることが望ましい。

成績評価の方法

出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、レポート、試験の結果により総合的に評価します。

教科書
参考書等

特になし。
・イギリスの歴史を概観したい→指昭博『図説イギリスの歴史』河出書房新社
・19世紀のイギリスの歴史を概観したい→谷川稔他『世界の歴史22 近代ヨーロッパの情熱と苦悩』中央公論新社
・イギリスも含めた19世紀の欧州の歴史を知りたい→J.M.ロバーツ『図説 世界の歴史(7) 革命の時代』創元社
・19世紀のイギリスの文化を知りたい→佐久間康夫他『概説 イギリス文化史』ミネルヴァ書房
・19世紀のイギリス文化を詳しく知りたい→松村昌家他『英国文化の世紀1～5』研究社
・ヴィクトリア朝の思想について知りたい→萩野昌利『歴史をく読む>ヴィクトリア朝の思想と文化』英宝社
・イギリス小説とその読み方について知りたい→川口喬一『イギリス小説入門』研究社
・小説の研究方法について知りたい→川口喬一『「嵐が丘」を読む ポストコロニアル批評から「鬼丸物語」まで』

履修コード	026001
科目名	イギリス文学特講V
担当者名	モート, セーラ

講義のねらい The world of Jane Austen and early nineteenth century English painting, will be the focus of this course.
The set text will be the second novel by Jane Austen(1775-1817), 'Pride and Prejudice'. English landscape artists of the period such as J.M.W.Turner (1775-1851), John Constable (1776-1837) and George Stubbs (1724-1806), will also be referred to.

講義の内容・授業スケジュール A detailed schedule will be given to the students at the first lecture, however topics such as:
- changing ideas on nature and environment.
- the relationship of literature and painting.
- social rank and customs such as dancing, will be discussed in depth.

成績評価の方法 Report and assignments based on year level.
教科書 'Pride and Prejudice'. Jane Austen.(Oxford World's Classics. Oxford University.2008). ¥1,250.
参考書等 Reference texts on Austen and also on English nineteenth century painting to be announced at first lecture.
Dvd. 'Pride and Prejudice'. Directed by Joe Wright. 2005.

履修コード	026101
科目名	イギリス文学特講VI
担当者名	丸小 哲雄

講義のねらい 美学から見た文学・芸術・批評にかかわる美的体験と教養体験を高める一方で、文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、諸作品の紹介を含めて文学的価値（テキストの快楽と効用）を見出すことを目指します。
文学・芸術とは人類の愚業の堆積で、文学・芸術の毒性と異界を創造する文学者・芸術家（革命家）の「ココロ」と「スタイル」のありようを開示することにあります。「美しい」は制度であり、文学者・芸術家は作り出されるものです。人は「美しい」と感じる方向へ進み、自分に関わらないものは自分を高めないことを知るようになります。「美しい」は「憧れ」で、「憧れ」とは自分に無いものや欠落部分をあぶり出し、人を外へ向かわせます。人として生きる〈生活世界〉から「審美学」に切り込むことが前提です。ここに「文学空間」と文学・芸術の「歴史」と「社会学」の存在理由と意義（内部読解から外部読解に向けて）があることが見出されます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 自然言語と外国言語と芸術言語の違い（精神の階層性の存在について）（1～3）
- 2) 文学と批評の基本的用語の習得（文学の基本的要素及び文学の機能と力）（4～7）
- 3) 文学の美的体験（読み・解釈・批評）と教養経験（文学史・様式史・一般史）（8～15）
- 4) さまざまな批評方法についての概説と演習（後期）
 - 1) 伝統批評と伝記批評（16～18）
 - 2) ロシア・フォルマリズムとニュー・クリティシズム（19～21）
 - 3) テーマ批評と精神分析批評と受容理論（22～25）
 - 4) 構造主義と記号論とポスト構造主義（26～27）
 - 5) ニュー・ヒストリシズムとポストコロニアル批評とカルチュラル・スタディーズ（28～30）

履修上の留意点

- 1) 読書リストのプリント配布
- 2) 講義用のプリントを毎回配布（多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること）

成績評価の方法 出席率、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパーなどの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書 参考書は講義内容に対応して指示します。

履修コード	026201
科目名	演劇特講（イギリス・アメリカ）
担当者名	あらかい かずあき 落合 和昭

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。後期には、数回を費やして、イギリス中世演劇やギリシャ演劇にも目を向け、現代演劇との共通点や相違点を探る。また、講義の中で、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、劇作品を通して、具体的に、考察する。

講義で取りあげる劇作家は、多くは、アメリカの劇作家であるが、それ以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

第一回 オリエンテーション（授業の進め方・内容等についての説明）

第二回 ピューリタン（1）

第三回 ピューリタン（2）

第四回 Arthur Miller(1915-2005)（1）

第五回 Arthur Miller(1915-2005)（2）

第六回 Susan Glaspell(1882-1948)

第七回 リアリズムと表現主義（1）

第八回 リアリズムと表現主義（2）

第九回 Eugene O'Neill(1888-1953)（1）

第十回 Eugene O'Neill(1888-1953)（2）

第十一回 劇のプロットの要素

第十二回 Shirley Jackson(1919-65)

第十三回 Alice Gerstenberg(1885-1972)

第十四回 Tennessee Williams(1911-83)（1）

第十五回 Tennessee Williams(1911-83)（2）

第十六回 Thornton Wilder(1897-1975)

第十七回 John Boynton Priestley(1894-1984)

第十八回 「登場人物」

第十九回 Samuel Beckett(1906-89)（1）

第二十回 Samuel Beckett(1906-89)（2）

第二十一回 Harold Pinter(1930-)

第二十二回 Sam Shepard(1943-)

第二十三回 Bernard Pomerance(1940-)

第二十四回 Peter Shaffer(1926-)

第二十五回 Arthur Kopit(1937-)

第二十六回 アリストテレスの『詩学』、ホラティウスの「詩論」（1）

第二十七回 アリストテレスの『詩学』、ホラティウスの「詩論」（2）

第二十八回 中世演劇（1）

第二十九回 中世演劇（2）

第三十回 期末試験

履修上の留意点
成績評価の方法

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。
期末試験が全評価の50%、前期の課題が25%、後期の課題が25%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2,000字から4,000字）とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。

参 考 書 等

- 1) 『楽しく読める英米演劇』 ミネルヴァ書房
- 2) プリント

履修コード	026301
科目名	演劇演習 (イギリス・アメリカ)
担当者名	逢見 明久 <small>あきみ ありひさ</small>

講義のねらい 現代アメリカ演劇の秀作を扱う。原作から立ち上がる演劇空間を模索して作品解釈を深め、作者の人間観や社会意識を探る。

講義の内容・授業スケジュール 前期：(1～8) テネシー・ウィリアムズ作『ガラスの動物園』、(9～15) ウィリアム・インジ作『草原の輝き』。後期：(16～23) テレンス・ラティガン作『銘々のテーブル』、(24～30) ハロルド・ピンター作『背信』。

履修上の留意点 劇作品の理解には、様々な角度から継続的にテキストを分析することが望ましいので、その障害となる遅刻や欠席といった事態は回避するように努めること。

成績評価の方法 毎回の発言内容と姿勢、及び前期と後期のレポート(各1400字程度)で総合的に評価。

教科書 教場にて案内する。

参考書等 荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社、1996年) ISBN: 4787584588
ペラ・パラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林、1992年) ISBN: 4905640857

履修コード	026401
科目名	アメリカ文学特講I
担当者名	東 雄一郎 <small>あずま ゆういちろう</small>

講義のねらい アメリカ詩を通時的、共時的に考察し、アメリカとは何かを考えるのが、この講義の主眼である。グローバル・ヴィレッジ化や越境化が進行する21世紀において、ダイナミックなアメリカ文学の動向は、アングロ・アメリカン(白人)文学を視座にした従来の閉塞的な把握方法では、捉えきれない。アメリカ文学、広義にはアメリカの芸術一般の根源的な特徴は、その多様性であり、また、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調・主張である。How do I find America? What is America? Who is an American? How can I become an American? これらの自意識や自問のうちに、様々なアメリカ詩人たちが、独自の詩を創作している。巨大なサラダボール化したエスニックのアメリカが、今後どのような方向に進もうとしているのか。その未来のヴィジョンを受講者各自に考えて欲しい。アメリカ詩の精読を通して、英語力を高める。なお、リスニング力を高めるために、ジャズやミュージカルの英語の歌も鑑賞する。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、数名の詩人・芸術家を取り上げ、その作品を精読します。歴史、文化、社会、時代精神、その時代の思潮も考察します。また各時代の代表的な音楽や映画も随時取り上げます。①アメリカ文学の発生と実用文学、並びに白人移民による先住民への迫害・ジェイムスタウンとプリマスが意味するもの(1～4) ②アメリカの荒野と自然・牧歌の夢並びに独立革命(5～7) ③「明白な運命」の嘘・分離戦争としての南北戦争・西部開拓時代・ホイットマンを読む(8～10) ④アマーストの隠遁者の魔女・エミリー・ディキンソンを読む・彼女は如何にして厳格な神を飼い馴らしたのか ⑤アメリカの世紀末からモダニズム・農本主義の完全崩壊と産業資本主義の形成・第1次世界大戦と迷える若者たち・国を捨てた若者たち・パウンドとエリオットを中心に読む ⑥アフリカン・アメリカン文学の台頭・ハーレム、そしてジャズとは何か・ラングストン・ヒューズたちのルネッサンス・地霊を守るモダニスト(11～15) ⑦大恐慌から第2次世界大戦・ピンクのリボンに飾られた小箱(または精巧に作られた壺)のような詩・形式主義者たちの詩を読む(16～18) ⑧沈静した社会への反逆と対抗文化・ビート詩人とギンズバーグを読む・大胆な告白をする病んだ詩人たち ⑨ロバート・ブライ、ジェイムズ・ライトの牧歌的瞑想とアウトサイダー指向 ⑩ポストモダニズム考察・ソローに帰るエコロジー・ディキンソンの妹リッチのフェミニズム詩を読む(19～20) ⑪祖国を奪われた人々・チカーノ/チカーナの詩人・ネィティヴ・アメリカンの詩人を読む(21～24) ⑫アメリカの子どもの詩・マザー・グースはボストンに永眠する(26～)

履修上の留意点 無断欠席や、遅刻は厳禁。4回以上、無断欠席をした者は、評価対象外となりますので、留意してください。

成績評価の方法 ①年間5回ほどの授業内小レポート(25%) ②2400字以上の前期レポート(25%) ③2400字以上の後期レポート(25%) ④出席点(25%)

教科書 新倉俊一著『アメリカ詩入門』研究社 2000円程度

参考書等 開講時、並びに講義内にて随時指示する。

履修コード	026501
科目名	アメリカ文学特講II
担当者名	馬場 聡 <small>あきら</small>

講義のねらい 1950年代～1970年代に出版された短編小説を数編取りあげて精読すると同時に、公文書、育児書、映画、論文等の周辺資料を用いて、アメリカ対抗文化期の文化表象について検討します。毎回、テーマごとに担当者を決めて報告していただきますので、十分な事前準備が必要です。以下の3つの短編を読みます。Raymond Bradbury:“There Will Come Soft Rains”, Richard Brautigan:“The Cleveland Wrecking Yard”, Donald Barthelme:“I Bought a Little City”

講義の内容・授業スケジュール
 (1) オリエンテーション
 (2-8) 冷戦とサイエンス・フィクション
 (9-15) ヒッピー文化とアメリカの夢：プローティガン
 (16-22) 断片の美学：パーセルミ
 (22-30) 学生による発表

履修上の留意点 特別な理由がない限り、遅刻や欠席は避けてください。演習形式の科目ですので、割り当てられた課題をこなし、授業内で積極的に発言することを心がけましょう。

成績評価の方法 出席、授業への貢献度、毎回の課題 (50%) 期末レポート (50%)

教科書 以下のアンソロジーを用いる。

参考書等 北山克彦編注『今日のアメリカ作家から』(鷹書房弓プレス) 1,029円 ISBN:4803410526
 佐藤良明著『ラバーソウルの弾みかた ビートルズと60年代文化のゆくえ』(平凡社) 1,470円 ISBN-10:4582764908

日本マラマッド協会編『アメリカの対抗文化-1960年代で知るアメリカ全土の地殻変動』(大阪教育図書) 3,045円 ISBN-10:4271116335

履修コード	026701
科目名	アメリカ文学特講IV
担当者名	逢見 明久 <small>あきひさ</small>

講義のねらい 現代アメリカ小説を映画で読む。原作を踏まえたうえで、映像作家の作品解釈を探り、個の在り方がどのように扱われているかを考える。

講義の内容・授業スケジュール
 前期：(1～3) 背景としての大恐慌時代(4～5) ヘミングウェイ作『老人と海』(6～10) スタインベック作『二十日鼠と人間』(11～15) フィッツジェラルド作『グレート・ギャツビー』
 後期：(16～20) トルーマン・カポーティ作『ティファニーで朝食を』(21～25) ケン・キージー作『カッコーの巣の上で』(26～30) マイケル・カニンガム作『めぐりあう時間たち』

履修上の留意点 扱う事柄の性質上、遅刻や欠席は禁物。原作と映画版について気づいたことをまとめた小レポートを毎回提出することになる。

成績評価の方法 毎回の小レポートと、前期と後期の期末課題レポート(各40字×30行=1200字程度)で評価。随時紹介する。

教科書 荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社1996年) ISBN:4787584588
 参考書等 ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林1992年) ISBN:4905640857

履修コード	026801
科目名	アメリカ文学特講V
担当者名	西原 克政 <small>かつまさ</small>

講義のねらい 作家の生涯と作品の相関関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール 主としてアメリカ詩の代表とされている、エドガー・アラン・ポー、エミリー・ディキンソン、ロバート・フロストの生涯を辿り、彼らの詩を検討していく。

履修上の留意点 授業に際して予習に最も力を入れてもらいたい。

成績評価の方法 授業回数の3分の2以上の出席が必要となる。それに前期・後期の試験成績を考慮に入れて、総合的に判断評価する。

教科書 Elliot Engel, *How Oscar Became Wilde*, (Robson Books Ltd.,2005) ¥1,271

履修コード	026901
科目名	イギリス文学演習I
担当者名	河崎 征俊

講義のねらい 昨年度に引き続き William Shakespeare の四大悲劇のひとつと言われる *Hamlet* を精読しながら、伝統と新しさを総合的に描き切ったこの劇作家の英語の面白さならびにルネサンス期の社会状況や文化的背景について考察する。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) Shakespeare の英語ならびに文献について。(4) 第1幕の復習。(5～8) 第2幕1場。(9～15) 第2幕2場。(16～19) 第3幕1場。(20～26) 第3幕2場。(27～29) Shakespeare の時代的ならびに文化的背景。(30) まとめならびに総復習。

履修上の留意点 Shakespeare の四大悲劇に関する書物を熟読し、その文学的特性についてあらかじめ把握しておいていただきたい。なお、開講時に Shakespeare の文学ならびに英語に関する文献リストを配布するので、図書館等で文献確認をし、研究に役立てていただきたい。

成績評価の方法 (a) 夏期レポート、(b) 1月の定期試験、ならびに (c) 出席状況等を中心に総合的に評価する。なお、この講義は演習科目なので、全員参加という形で行いたい。予習状況も評価の対象とする予定。

教科書 Riverside 版をコピーで配布する予定。

履修コード	027001
科目名	イギリス文学演習II
担当者名	川崎 明子

講義のねらい ギャスケルとディケンズの短編を読み、英文読解力の向上とテキスト分析の基礎技術の習得を目指します。リスニングも行います。慣れるまでは英語がやや難しく感じるかもしれませんが、小説の黄金期と言われるヴィクトリア朝の文豪たちの原文の魅力を味わえます。

授業は、前半はグループディスカッション、後半は教官による説明。

前期と後期に、
 [課題1] ディスカッションの内容をまとめたもの
 [課題2] 自由に選んだテーマで書いたレポート
 を提出。課題1・2とも合格点に達しない場合は書き直し。優秀レポートの口頭発表あり。前期・後期末にディクテーションと音読試験あり。

ディスカッション、レポート、口頭発表は英語・日本語のいずれも可。

講義の内容・授業スケジュール

前期
 (1) オリエンテーション
 (2) 精読
 (3～13) ディスカッション形式による通常授業。うち1回はレポート作成法と精読。
 (14) レポート提出。ディクテーションおよび音読試験。
 (15) レポートの全体コメントと個別返却。優秀レポートの発表。

後期
 (1～13) 通常授業
 (14) レポート提出。ディクテーションおよび音読試験。
 (15) レポートの全体コメントと個別返却。優秀レポートの発表。

履修上の留意点

- 1 ディスカッションに参加できるよう、十分な予習をして臨むこと
- 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること
- 3 レポート作成においては書式を指定するので最低限のパソコンの知識を持つこと

成績評価の方法 3分の2以上の出席が必要。出席と授業への貢献度、レポートの内容とディクテーションと音読試験の結果により総合的に評価。

教科書 田中英史、横山幸三 註解 『古典イギリス短編集』(成美堂)
 ¥1,300 ISBN4-7919-0029-4-C1382

参考書等

- 1 川口喬一『イギリス小説入門』(研究社) イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られます。
- 2 Eastwood, Oxford Practice Grammar: Intermediate (Oxford: 2006)
 大変優れた文法書。練習問題がついていますが、解説部分に目を通すだけでも確実に英語力が向上するでしょう。

その他 受講者が50名を超えた場合は選抜試験を行うことがあります。

履修コード	027101
科目名	イギリス文学演習Ⅲ
担当者名	高野 ^{たかの} 正夫 ^{まさむね}

講義のねらい

イギリスの1950年代に登場した‘Angry Young Men’ とほぼ同じ時期に現われた一群の詩人たちについて読んでいく予定です。‘The Movement’ と呼ばれた彼らは、イギリス人の日常生活を分かりやすい率直な言葉で描写していたが、彼らが自らの詩という表現方法によってどのように20世紀後半のイギリス社会とのつながりを認識していったのかなどについて考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

‘The Movement’ に属する詩人をとりあげ、前、後期でできるだけ多くの作品を読んでいきます。

(1～8) *The North Ship* (9～15) *The Less Deceived* (16～24) *The Whitsun Weddings* (25～30) *High Windows* などの詩集を読みます。

履修上の留意点
成績評価の方法

演習ですので予習を欠かさずに受講して下さい。

教科書

前期のレポートや後期の試験、出席状況、平常点などによって成績評価をする。

参考書等

Philip Larkin, *Collected Poems* (faber and faber, 1988)

その他

それぞれの詩人の作品を精読しながら、彼らの詩的特質や伝記的な側面について考えていきます。

履修コード	027301
科目名	イギリス文学演習Ⅴ
担当者名	大瀨 ^{おほせ} 利春 ^{としはる}

講義のねらい

日本を愛し、小泉八雲という名をもつ作家ラフカディオ・ハーンの短編を読む。英語読解力の向上を目指すとともに、ハーン文学を味読したい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にはテキストの短編を読み進めていく。イントロダクション (1～3)、「The story of Mimi-Nashi-Hoichi」(4～7)、「Oshidori」(8)、「The Story of O-Tei」(9～10)、「Diplomacy」(11～12)、「Mujina」(13～15)、「Yukionna」(16～20)、「The Story of Aoyagi」(21～24)、「The Dream of Akinosuke」(25～28)、レビュー (29～30)。これらの作品の中には、すぐれた映画化作品もあるため、映画も見たい。

履修上の留意点

予習をしてくること。辞書をもってくること。

成績評価の方法

前、後期のレポートをもとにしながら、日頃の授業への参加度も加味し、総合的に評価する。

教科書

Lafcadio Hearn 『Kwaidan』 成美堂 700円 ISBN 978-4-7919-0012-1

参考書等

参考書はたくさんあるので、授業中に指示します。

履修コード	027401
科目名	アメリカ文学演習I
担当者名	あづま ゆい ちろう 東 雄一郎

講義のねらい アメリカの19世紀の女性詩人、Emily Dickinson の詩と、Edgar Allan Poe の作品を皮切りに、他の20世紀のアメリカ女性詩人、Elizabeth Bishop, Sylvia Plath, Mary Oliver, Alice Walker, H.D. などの作品を読みます。Dickinson に関してはフェミニズム的な視点はもちろん、エコロジカルな視点からも鑑賞してゆきます。Emily Dickinson を取り巻く詩人たちを考える演習です。また Poe の審美主義並びにゴシック・ロマンスにも触れましょう。19世紀のアメリカは女性作家たち主に児童文学の分野でが大いに活躍していた時代でした。20世紀は、ナンセンス詩と同様に、女性詩人たちの優れた作品が多く見られます。演習では活発に発表し、議論しましょう。日本の詩人、白石かずこさんの詩の英語訳なども試みます。アメリカの詩を通して、アメリカの芸術・文化・社会を考察します。演習で、プレゼンテーション、コミュニケーション、ディスカッション、ディベートの能力をなお一層高めましょう。言うまでもなく、個々の作品の精読・未読が基本となります。

講義の内容・授業スケジュール

[前期]
Emily Dickinson と Poe を中心に詩や小説を読む。① Dickinson と19世紀のアメリカと詩人(1~5)。② Poe と19世紀のアメリカ詩人(6~10) 第1次世界大戦後、ジャズ・エイジのアメリカと詩人(11~15)。③モダニズムのアメリカと詩人、ハーレム・ルネサンスのアフリカン・アメリカンの詩人(11~12) ④ Dickinson の作品の熟読・精読(13~15)。

[後期] Alice Walker と Mary Oliver を中心に詩を読む。⑤ Poe の短編小説を読む(16~20) ⑥ 児童文学とアメリカ詩(21~23) ⑦アメリカ詩におけるイブ、Dickinson 再考と日本の詩作品の英語訳(24回以降)

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。演習なので発表者には用意周到な準備を必ずして、発表をしてください。必ず、辞書を持参してください。

成績評価の方法

年間5回の授業内の小レポート(20%)、演習発表(40%)、前期・後期、年間2回提出の課題レポート(各20%、計40%)なお、無断欠席を4回以上した者は、評価対象外とする。

教科書

①『エミリー・ディキンソン詩選』(新倉俊一注釈、研究社出版)。②『対訳ディキンソン詩集』(亀井俊介著、岩波文庫)。Poe やその他の詩人の作品は、プリントで配布します。

参考書等

開講時に紹介します。または、授業中に言及します。

英
米
文

履修コード	027501
科目名	アメリカ文学演習II
担当者名	ばば あきら 馬場 聡

講義のねらい 現代アメリカ作家の超短編小説選集 Sudden Fiction(1986) を精読することで、小説の技法や分析方法について学習します。この選集に収録されている作品はすべて1頁から5頁の分量で構成されており、英語で小説を読むことに慣れていない学生でも読みこなすことができるはずです。毎回、テーマごとに担当者を決めて報告していただきますので、十分な事前準備が必要です。

講義の内容・授業スケジュール

(1)Introduction (2-3)Mother/Grace Paley (4-5)The king of jazz/Donald Barthelme (6-7)Re-union/John Cheever (8-9)Pygmalion/John Updike (10-11)Thank You, M'am/Langston Hughes (12-13)Popular Mechanics/Raymond Carver (14-15)The HitMan/T. Coragessan Boyle (16-17)I See You Never/Ray Bradbury (18-19)Tent Worms/Tennessee Williams (20-21)Happy/Joyce Carol Oates (22-23)A Very Short Story/Ernest Hemingway (24-25)Sunday at the Zoo/Stuart Dybek (26-27)The Neighbor/Russell Banks (28-29)Moving Pictures/Charles Johnson (30)A Lost Grave/Bernard Malamud.

履修上の留意点

特別な理由がない限り、遅刻や欠席は避けてください。演習形式の科目ですので、割り当てられた課題をこなし、授業内で積極的に発言することを心がけましょう。

成績評価の方法

出席、授業への貢献度、毎回の課題(50%) 期末レポート(50%)

教科書

Robert Shapard & James Thomas eds., Sudden Fiction: American Short-Short Stories (1986) Gibbs M. Smith Inc., \$ 17.95 ISBN 10:0879052651

参考書等

デイヴィッド ロッジ『小説の技巧』(白水社) 2,520円 ISBN-10:4560046344
J.ヒリスミラー『文学の読み方』(岩波書店) 2,520円 ISBN:9784000246477
柴田元幸『生半可版 英米小説演習』(研究社) 1,995円 ISBN-10:4327376728

履修コード	027601
科目名	アメリカ文学演習Ⅲ
担当者名	松本 昇

講義のねらい アメリカ黒人文学に親しむ。

講義の内容・授業スケジュール 映画『カラー・パープル』を観た後（1～2）、1回につき10ページのペースで読んでゆき（3～30）、小説に描かれた宗教観、自然観などを考察する。また小説の時代背景についても考える。

履修上の留意点 前もって学生に課題を出して、それについて話してもらい、みんなで討論する。当てられた人は、必ず答えてもらう。

成績評価の方法 授業への参加度20点、前期及び後期にそれぞれ課題を2回提出（20点）、後期に試験（60点）の計100点とする。

教科書 Alice Walker, *The Color Purple* (Phonex)

履修コード	027701
科目名	アメリカ文学演習Ⅳ
担当者名	古宮 猛

講義のねらい ホーソンやメルヴィル等イギリス性の強いアメリカ文学から、いわゆるアメリカ社会に根ざしたアメリカ文学の代表的執筆家であるソローとフォークナーの作品の概説と作品のひとつを演習します。

講義の内容・授業スケジュール 前期はソローについて、(1)～(15)で、最初の(1)～(2)はソローが持つ意味を解説した後、学生にその紀行文を、予習してきてもらい、演習のひとつとします。後期はフォークナーについて、その作品のもつ意味を(16)～(17)で解説し、その作品のひとつを(18)～(30)で読解演習します。

履修上の留意点 演習に必要なのは基礎的（中、高で習った事）能力なので、もう一度復習してもらう事を望みます。

成績評価の方法 前期は、筆記試験は実施しないで、各時間に2名ぐらいソローの作品をプリント使用で、予習発表してもらい評価とします。後期はフォークナーの作品を、各学生と購読形式で、作品演習し、それについての筆記試験を実施します。

教科書 前期はソローの『The Main Woods』のプリントを配布しテキストとします。後期はフォークナーの短篇を教場にて指示します。

履修コード	027801
科目名	アメリカ文学演習Ⅴ
担当者名	佐藤 千春

講義のねらい アメリカの1920-30年代の作品を講読する。

講義の内容・授業スケジュール 講読する作家・作品に関しては、授業開講時に簡単に説明する。あらかじめ発表部分を割り当てておき、それを音読・訳読していただく方法で進めていく。発表者への質問、こちらからの説明などを含め、作品を分析し、作家のねらいなども併せて探っていく。

履修上の留意点 遅刻・欠席はマイナス評価となり、これが重なる場合には履修・試験を受ける資格を失うこともあるので注意されたい。

成績評価の方法 前期・後期の最終授業時にテストを行なうが、割り当てられた発表の回数、ならびにその内容、姿勢など、さらに遅刻・出欠など総合的に判断し評価を出す。

教科書 『現代アメリカ短編集』酒本・岩本（註解）成美堂 ￥1300

参考書等 必要に応じ、授業内において、その都度指示していく。

履修コード	027901
科目名	時事英語
担当者名	唐澤 一友

講義のねらい 時事英語というと、新聞や雑誌等、ジャーナリズムと関連した英語というイメージがありますが、この授業では、必ずしもそういう枠に囚われず、もう少し幅広く、「最近の英語」一般を扱いたいと思っています。リーディングが中心となりますが、随時ビデオなどを用いてリスニング（ディクテーション）の練習も行う予定です。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 1. オリエンテーション、2. ～15. 教科書に沿った演習、(後期) 1. ～15. 教科書に沿った演習

履修上の留意点 必ず予習をしてくること。予習の際によく分からなかった点については、授業で積極的に質問して下さい。

成績評価の方法 出席、小テスト、期末テスト、および授業への取り組みにより総合的に評価します。

教科書 使用せず。毎回ハンドアウト等を配布します。

英
米
文

履修コード	028001
科目名	商業英語
担当者名	あきは 秋葉 しいる 滋

講義のねらい	<ul style="list-style-type: none"> －国際ビジネスの現場で使っている英語力を見につける －国際ビジネスで使うレター、E-mail の書き方を身につける －将来国際ビジネスにチャレンジする際のアドバイス
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> (a) 第1回－第8回 国際ビジネスに使われている英語の習得（読む、書く、意思疎通）英文ニュース、社説を通じた国際ビジネス、世界経済の現状把握 (b) 第9回－第12回 英文レター、E-mail の書き方の基本 (c) 第13回－第15回 (a)、(b) の復習及び後期授業に向けたオリエンテーション (d) 第16回－第25回 英文レター、E-mail の書き方の実践、ビジネス英会話の実践、 (e) 第25回－第30回 いくつかの業界を選び国際ビジネスにチャレンジする際のアドバイスをを行う
履修上の留意点 成績評価の方法	<p>次回使う資料、参考書（メディアが配信する経済ニュース、社説等）の予習 プロセス評価（毎回の授業における発言回数等）40% 結果評価（テスト、レポート）60%</p>
教科書 参考書等	<p>未定 未定</p>

履修コード	028101
科目名	ラテン語
担当者名	うえの かつひろ 上野 勝広

講義のねらい	ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。
講義の内容・授業スケジュール	<p>下記のテキストを用いて、基礎文法の要点を順次説明してゆきます。必要に応じてテキストにない文例も補充し、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。</p> <p>前期は序論から第12課まで、後期は第13課から第24課までを学習します。</p> <p>前期（1）導入、ラテン語とは（2～5）文字と発音、動詞の直説法現在・未完了・未来、名詞の第1・2変格など（6～10）動詞の直説法完了・過去完了・未来完了、名詞の第3変格など（11～15）動詞の直説法現在・未完了・未来・過去完了・未来完了、名詞の第4・5変格、形容詞の比較法、など</p> <p>後期（16～20）命令法、各種の代名詞、副詞、など（21～25）不定法、数詞、形式受動動詞、分詞、など（26～30）接続法、動名詞、動形容詞、様々な従属文、など</p>
履修上の留意点	<p>練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。</p> <p>1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。</p>
成績評価の方法	年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（80%）に平常点（20%）を加味して評価します。
教科書 参考書等	<p>松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円 辞書と共に初回の授業で紹介します。</p>

履修コード	028201
科目名	ギリシャ語
担当者名	長谷川 岳男

講義のねらい	西洋の多くの言語の語彙や文法にとってルーツに位置する古典ギリシア語の基礎を学ぶことを主要な目的としています。そして古典ギリシア語のみならず、その文法や語彙の学習、読解を通して、英・独・仏・伊などの言語の仕組みを理解することもめざします。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、第一回目のオリエンテーションで古典ギリシア語を用いていた古代ギリシア世界が西洋文明において有する意義と、西洋諸言語における古典ギリシア語の影響と学ぶ現代的有用性を説明して学習の動機付けを行います。第二回目、三回目はローマン・アルファベットとは異なるギリシア・アルファベットを学び、第4回目から5回程度、文法の基礎事項を扱って、現代の西洋諸言語に通ずる決まりを理解します。その後、簡単な古典ギリシア語の講読を文法事項の学習とともに進めることで、古典ギリシア語の理解を深める予定です。このような進行の合間に、古典ギリシア語の理解には、その背景にある古代ギリシア世界の理解が不可欠なために、何度かビデオやスライドなどで、ギリシア世界に触れてもらおうと思っています。
履修上の留意点	ただ講義に参加するだけでは古典ギリシア語の習得は難しいので、受講生の皆さんの積極的な参加が必要です。具体的には、最初の文法事項の学習の際には、練習問題を解いて参加しなければ意味がありませんし、講読の際には事前に予習することが不可欠になります。
成績評価の方法	二度行うテスト、講義時に練習問題を解いたり、講読において和訳する際の積極的な参加などを総合して評価します。ですから出席は必要となります。このような形で評価しますので、追試験は行いません。
教科書	田中利光『新ギリシャ語入門』、大修館書店、3400円、ISBN 4-469-21191-5。それ以外に必要なものはこちらで印刷して配布します。
参考書等	講義中に随時、指示します。

履修コード	028301
科目名	英米文化
担当者名	広川 治

講義のねらい	「映画・演劇に見る英米文化」を中心テーマとして講義を進める。今年度4月から12月の公開映画、上演の舞台のうち何本かをレポート対象作品に指定し、テーマ別に数作品を組み合わせ比べて比較し、レポートにまとめる課題を数多く設定するので、受講者は可能な限り多くの作品を演劇・映画・DVD（ビデオ）などのジャンルから選び、レポートにまとめて随時提出することになる。
講義の内容・授業スケジュール	(4月) レポートの書き方、対象作品についての説明 (5月) ミアアカデミー賞授賞式について～賞の制度・歴史と今年度のノミネート・受賞作品 (6・7月) 英米の映画・演劇あるいは美術・音楽からテーマを設定し、講義予定 (9・10月) イギリス現地でも撮影してきたビデオ（街の表情、劇場、観光地、映画のロケ地などを収録）を見ながらイギリス文化の諸相について学ぶ。 (11・12月) 様々なテーマ（歴史・言語・芸術・生活等）を映画・演劇等にさらに探っていく。
履修上の留意点	出席は取らないが、授業中に見たビデオなどの感想を書いて提出してもらうことがある。12月に成績の申請日を設けるので必ず出席すること。この申請がない者はレポート提出が無効になることがある。
成績評価の方法	提出したレポートの数で基本的に成績が決まる。点数の詳細や各レポートの書き方は初回の授業で説明するが、最低でも演劇1公演、映画館の映画1作品、ビデオ（DVD）4作品程度は見てレポートをまとめることになる。 (配布する試験用紙に書いて提出すること。)
教科書	プリント配布の予定。
参考書等	授業内に紹介する。

英米文化

履修コード	028401
科目名	外国文学
担当者名	真下 祐一

講義のねらい	メキシコの詩人オクタビオ・パスの詩論を中心に、20世紀のイSPANアメリカ詩を読む。詩人たちはどこから語りかけてくるのか、詩作品の読解を通して人間論を模索する。
講義の内容・授業スケジュール	(1~3)導入 イSPANアメリカとは何か (4~6) モデルニスモと前衛詩 (7~20)オクタビオ・パスの詩論1 および、ボルヘス、ネルーダ (21~30)オクタビオ・パスの詩論2 スペイン語圏の亡命詩人たち
履修上の留意点	授業中にも課題作文などがあるので授業に積極的に参加する。
成績評価の方法	授業参加(50%)とレポート(50%)による。
教科書	初回時に指示する。

履修コード	028501
科目名	英米思想史
担当者名	麻生 享志 <small>あさお たかし</small>

講義のねらい	英米の思想家について、幅広く思想と生涯を紹介し、興味を持てるようになることを目標とします。さらに、ひろく英米文化に関心を深められればいいと思っています。
講義の内容・授業スケジュール	哲学史の議論を骨格にしますが、隣接諸学問から思想にかかわる著述家を広く選び、「哲学」だけに偏らないようにする方針です。例えばエマーソンやアダム・スミスやカーライルなどを考えています。また時代的には、中世から19世紀までを予定します。 (1) 概説と文献 (2-5) アルクインから英中世哲学へ (ほか、以下同) ・アンセルムスと神存在証明・大学とスコラ哲学・オッカムの唯名論以降 (6-12) F.ベーコンと欧近世哲学・ホッブズの政治哲学・ロックと認識論・ロックと民主主義・知覚とバークリ・ヒュームの経験論・英国倫理学の歴史 (13-21) ベンサムと功利主義・ミル父子の政治論・ミル子の思想と論理学・A.スミスと経済学・ギボンと歴史の思想・パークの美学・カーライルの英雄思想・M.アーノルドと教養の理想・19世紀英国思想の意義 (22-27) J.エドワーズと米国思想の夜明け・エマソンと超絶主義・パースの「生」の哲学・論理学と真理論としてのプラグマティズム・ジェームズの宗教心理学・デューイの教育哲学 (28-30) 進化論とスペンサー・新ヘーゲル主義の観念論・分析哲学の時代へ
履修上の留意点	最低限の常識的なルールを守ってもらい、あとは、興味に応じて講義を聞く事を“楽しんで”もらいたいと思っています。
成績評価の方法	成績は、出席による平常点 (60%強)、および後期のレポート (レポート試験) によって評価します。レポート試験に対する追試験は行いません。ただし学生の希望によって講義時に発表を行い、平常点を加味せず発表内容のみによって採点する場合も考えています。(発表者はレポート試験も免除。)
教科書 参考書等	久保・河谷編、麻生ほか著『原典による哲学の歴史』(公論社刊) 3200円 参考書は、講義中に指示した図書を、各自が自発的に選択して下さい。講義で必要なものについては、基本的に、コピーを使用します。
その他	英米の哲学史に、やや広く思想史の内容を加えた講義を行います。 初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。(その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。) この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

英米文

履修コード	028601
科目名	現代美術
担当者名	矢野 陽子 <small>やの ようこ</small>

講義のねらい	この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げます。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきました。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているかも考察していきます。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (2~5) 19世紀後半の美術 (6~9) 世紀転換期の美術 (10~14) フォーヴィスムとキュビスム (15~18) ダダからシュルレアリスムへ (19~21) 抽象主義 (22~23) バウハウスなど (24~26) 抽象表現主義からポップ・アートへ (27~30) 戦後の様々な動向
履修上の留意点	美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れるように心がけてください。
成績評価の方法	夏休みの課題レポートと学年末の筆記試験、出席率、授業態度を合わせて評価します。
教科書 参考書等	講義時にプリントを配布します。 美術出版社編『現代美術入門』(美術出版社) 2,000円 そのほか授業中適宜紹介します。
その他	授業は毎回、画像を見ながら進めます。

履修コード	047111
科目名	日本文化史
担当者名	ひろせ りょうこう 廣瀬 良弘

講義のねらい	日本文化の歴史が、当時の社会の生産の仕組みや政治・経済・宗教などと深く関わりあっていたことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを明らかにしていきたいと思います。そして、この日本文化は現代においても、多くは底流として、また、ときには、「日本の代表的な文化」として、存在しています。現代の文化と対比しながら、検討していきたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化の流れを概観し、民衆の躍動やその文化が顕著になってくる中世の文化を中心にその前後の文化にも注目しながら、文化の様相と特色について見ていきます。 ・日本文化史概観、・中世文化史研究の動向（1，2）、・鎌倉仏教と文化（3～5）、・禅宗と五山文化（6，7）、・南北朝から室町期の文化（8，9）、・北山文化の展開（10，11）、・東山文化とその基盤（12～15）、・中世の職能民（16，17）、・連歌師の旅（18，19）、・戦国社会と宗教（18，19）、・戦国社会の駈込寺（20～22）、・大名領国の文化（23，24）、・統一政権とその文化（25，26）、・近世文化史研究の動向と寛永文化（27～30）
履修上の留意点	講義の中に出てきた事項について、図書館の蔵書や辞書などで調べ直してみたり、現地に行ってみたりすることが必要です。また、日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持って下さい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめます。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施します。
成績評価の方法	定期試験の結果と授業の出欠を重視します。定期試験では一般論を回答しても正解とならないことが多いので注意して下さい。つまり授業に出席し、しっかりとしたノートができていないと合格点は取れません。
教科書 参考書等	とくに指定しません。必要な資料は随時コピーを配布します。 講義内容に関する博物館・研究所などを随時提示して行きます。

履修コード	026611
科目名	翻訳演習
担当者名	かとう みつや 加藤 光也

講義のねらい	英語の詩を丁寧に読んで訳すことは、英語を深く理解するための最も効果的な方法の一つです。ロマン派から現代までの英詩の翻訳を通じて、多様な英語表現の理解力を高めることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	『新英米詩選—ロマン派から現代まで』を教材として、前期には主に19世紀の詩（Wordsworth, Keats, Christina Rossetti など）、後期には主に20世紀の詩（Yeats, Hughes, Heaney など）を対象に、詩作品の詳しい読解に基づいた翻訳を試みます。
履修上の留意点	授業では毎回、翻訳の課題を出しますので、まじめに取り組んでください。
成績評価の方法	出席、授業での発表、学期末試験によって総合的に評価します。
教科書	マイケル・ブラッドショー他編著『新英米詩選—ロマン派から現代まで』（研究社）¥2,310 ISBN 978-4-327-47195-3
参考書等	『イギリス名詩選』（岩波文庫）。イギリス詩の流れをたどる上でも便利です。

履修コード	O28801
科目名	英作文演習
担当者名	あづま 雄一郎

講義のねらい 基本的には、ある程度の長さの英文を正確に書けるような実力を養成する。対象とする日本語の文章を英語に単に直訳するのではなく、その文章の内容を英語で簡潔、明瞭に伝達できる技能を研磨する。「教育」「環境」「文通と旅行」「スポーツと娯楽」「社会問題」「大学生活」など各テーマに沿ってまとめられた20章構成のテキストを使用し、英語の基礎力を総合的に高める。前半の第1章から第12章の内容は、多様な日常生活を扱う英文で、手紙やEメールの作成も含まれる。後半の第13章から第20章では、英語での議論の仕方やその表現力を身につけ、社会・時事問題の話題に関して、自分の意見を表現する英語力を育成する。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、各章の練習問題（15問ほど）、サンプル英語対話のリスニングとそのディクテーション（書き取り）、基本英文の暗記並びに応用英作文の口頭発表（クイック・リスポンス）をこなし、「読み」「聞き」「話し」「書く」の4技能を高める。また、各章のテーマに関連する語彙の暗記に努める。例、「環境」に関しては、global environment/ eco-systems/ forest recycling/ carbon dioxide/ harmful chemicals/ environmental protection/ combustion of fossil fuels/ global temperatures などの用語。中英和辞典の効果的な利用方法（1）日本語の文章の内容を伝達する・意識のコツ（2～5）文章から名詞・名詞句への転換。例「若者の人口は急激に減っている」→ the radically decreasing number of young people（6～8）手紙文の書き方・Eメールの作成（9～10）会話文から書き言葉へ（11～12）英文での主張の仕方・要旨を伝える（13～15）新聞英語に学ぶ（16～18）英語エッセイを書く（19～22）社会・時事問題の英語（23～25）英語の名文や、英字新聞に学ぶ（26～）。

履修上の留意点 理由のない遅刻者は入室を認めない。無断欠席を3回以上した場合、その者は成績評価対象外となる。予習を必ずして、毎回の授業に参加すること。中英和辞典を必ず持参すること（電子辞書は不可）。

成績評価の方法 原則として次の5項目に基づき評価を下す。①毎回の授業内小テスト（25%）②年5回の小レポート（10%）③前期のまとめ試験（25%）④後期のまとめ試験（25%）⑤夏期休暇の課題レポート（15%・後期の初日の授業にて提出）

教科書 English Writing for Global Communication (『グローバル社会の英語作文』)
金星堂出版 価格1950円

参考書等 随時、授業内で、英語活用辞典や熟語辞典などを指示する。

その他 3年次ゼミの履修者は、英語論文作成に関する英作文力養成のため、この英作文演習を履修してください。

履修コード	O28901
科目名	英作文演習
担当者名	かわさき あきこ 川崎 明子

講義のねらい より良い英文の作成のために、文法とパラグラフ・ライティングを同時並行して学びます。教科書は、第一部（文法中心）、第二部（パラグラフ・ライティング）、第三部（応用）の三部構成となっています。基本的に、教科書の一部と二部を並行して学習し、不規則に第三部も学習します。

講義の内容・授業スケジュール 前期
（1）オリエンテーション
（2～15）教科書の第一部と第二部を同時に進み、時に第三部も学習する。

後期
（1～15）同上。

履修上の留意点 1 英英辞典、コロケーション辞典、活用辞典など数種類の辞書を頻繁に使用すること。
2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること。
3 書式を指定するので最低限のパソコンの知識を持つこと。

成績評価の方法 出席は3分の2以上必要。出席を含めた授業への貢献度と提出課題の内容を総合的に評価。
教科書 山村三郎『基礎からパラグラフ・ライティングへ』成美堂
ISBN4-7919-5037-2 C1082 ¥1,600

参考書等 次のものは大変優れた練習問題つきの文法書です。時間の都合上授業では扱えませんが、全体に目を通したり、弱い項目を復習すると、確実に英語力が向上するでしょう。

その他 Eastwood, Oxford Practice Grammar: Intermediate (Oxford: 2006)

受講者が50名を超えた場合は、選抜試験を行うこともあります。

履修コード	029001
科目名	英語学演習I
担当者名	菅原 勉

講義のねらい 全ての言語は構造上、音声、意味、文法から成り立っています。この授業では英語の音声に焦点を当て、その特徴について解説をします。相手に意思が伝わるように発音できることが先決です。英文のテキストや資料に応じて Reading や Speaking の実践練習も取り入れます。英米文学科卒業生として必要最低限の基礎知識の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- 《前期予定》
- I. 音声によるコミュニケーションについて
音声というものはどんなものなんだろう？
頭の中にある音と実際に口から出る音とは同じなんだろうか？
どうして外国人とは言葉が通じないのかな？
 - II. 英語の歴史概観
一番最初に英語を話したのは誰か？
アングロ・サクソンって誰？
 - III. 音声をどのようにして表記するか？
音声記号って発音記号のこと？
 - IV. 音声器官解説
音声はどこでどのようにして作られ、聴き取られるのか？
女よりも男のほうが喉ぼとけが出ているのはなぜなんだろう？
・前期分試験
- 《後期予定》
- V. 英語の単音 (segments) について (1)
母音と子音の違いって？
母音だけ子音だけという言語がないのはなぜ？
英語の母音はこんなにあるのか！日本語と比べてごらんよ！
 - VI. 英語の単音 (segments) について (2)
子音は雑音 (noise) だってこと知ってた？
英語の子音って日本語よりも単純だね。
 - VII. 英語の音節構造 (syllable structure) について
タケヤブヤケタは上から読んでも下から読んでも同じかな？
それじゃ、アカサカはどう？
 - VIII. 英語の連続音 (connected speech) について
音が連続したときの諸現象
前後の音がお互いに影響し合ったらどうなるか？
「ウイノウ (winow)」って「上野」が訛ったのかな？
ゲラップ (get up) とかベラー (better) ってなんかかっこいいよね！
英語のイントネーションについて
・後期分試験

履修上の留意点

- ・授業に対して1年間絶対に休まないという執着心を持ち続けること
- ・授業を休まなければ必ず何か得られると信じていること
- ・授業を通して自分の好きなことを見つけ出そうと好奇心を燃やすこと
- ・どうしても授業を休みたい時や面白くないと感じた時は、その旨申し出ること

成績評価の方法

- ・年2回の試験 (25×2) とレポート (10)、リアクションペーパー (10) 及び出席 (30) を参考に総合評価をする

教科書等その他

- ・使用しない
- ・授業展開中に適宜紹介する
- ・基本的には講義であるが、履修者の数によりゼミ形式に移行することもある
- ・実践的な側面と授業に参加する意欲を重視する

履修コード	029101
科目名	英語学演習I
担当者名	菅原 勉

講義のねらい 世界の globalization にあわせて英語による世界共通語化が進んでいます。そこには英語による世界支配という大きな問題が予測されるため色々と議論を引き起こしています。なぜ英語がこのような地位に上り得たのか、英語は本当に強い言語なのか等々疑問は尽きません。この授業では世界で使われている英語の実態について考え、解説をします。英文のテキストや資料に応じて Reading や Speaking の実践練習も取り入れます。英米文学科卒業生として必要最低限の基礎知識の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 《前期予定》
 I. Background notions
 II. English becomes a world language
 III. 英語の Vocabulary
 IV. 英語の Grammar
 ・前期分試験
 《後期予定》
 V. 英語の Spelling
 VI. 英語の Pronunciation
 VII. The revenge of the colonized
 VIII. Becoming independent
 IX. Standards in the colonies

履修上の留意点 ・後期分試験
 ・授業に対して1年間絶対に休まないという執着心を持ち続けること
 ・授業を休まなければ必ず何か得られると信じること

・授業を通して自分の好きなことを見つけ出そうと好奇心を燃やすこと
 ・どうしても授業を休みたい時や面白くないと感じた時は、その旨申し出ること

成績評価の方法 ・年2回の試験(25×2)とレポート(10)、リアクションペーパー(10)及び出席(30)を参考に
 して総合評価をする

教科書 ・使用します
 Laurie Bauer, An Introduction to International Varieties of English, 2002, Edinburgh University Press ISBN 0 7486 1338 2

履修者は各自で購入してください。教科書を購入するまで最長2週間、授業担当者が解説および講義を行ないます。

参考書等その他 ・授業展開中に適宜紹介する
 ・基本的には講義であるが、履修者の数によりゼミ形式に移行することもある
 ・実践的な側面と授業に参加する意欲を重視する

履修コード	029201
科目名	英語学演習II
担当者名	唐澤 一友

講義のねらい 現代英語に見られる様々な現象に関する英文を読みながら、英語学の基礎知識、特に英語の文法、英単語の成り立ちや意味変遷、英語の綴りや発音、俗語等と関連する知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 毎回英語に見られる様々な現象を例に挙げた1ページ程度の短いエッセイを読みます。これはもともとラジオ番組用に集められた題材に基づくもので、親しみやすいところに題材をとったものが多くあります。これを読みながら、そこで扱われている英語に関する諸問題について、英語学的な視点から考えてみることにします。英文読解に加え、毎回のテーマと関わる調べ物や発表をしてもらいます。

履修上の留意点 (前期) 1. イントロダクション、2. ~15. エッセイの講読および毎回のテーマと関連する発表、ディスカッション。(後期) 前期と同様に行います。

発表を割り当てられた場合には、特にしっかり予習してくる。割り当てがなくとも英文に一通り目を通し、内容を理解しておくこと。

成績評価の方法 出席、授業への取り組み、および期末のレポートにより評価します。
教科書 毎回ハンドアウトを配布する。

参考書等 Kate Burridge, Blooming English: Observations on the Roots, Cultivation and Hybrid of the English Language, Cambridge University Press. 約2,700円 ISBN:0-521-54832-2

その他の 特になし

履修コード	029301
科目名	英語学演習III
担当者名	町田 尚子 <small>よらだ なおこ</small>

講義のねらい 世界共通語としての英語と多様な英語の双方を視野に入れ、英語教師を目指す学生が知っておくべき英語と英語の歴史に関する基本的な知識の修得と考察が中心です。

講義の内容・授業スケジュール 前期5月中旬まで：
David Crystal, The English Language およびプリント資料で英語の多様性の現状を、地理的な広範さ・地域差、英語使用の多様性（母語・第一言語、第二言語、外国語として）から概観し、歴史的背景を見る外面史による説明を中心とします。

前期5月中旬から7月初旬まで：

R. L. Trask, Language: The Basics 第2版で英語学および言語学の基本的知識を音声、音韻、形態、統語、意味について復習します。

後期：

英語の歴史的变化を音韻、形態、文法・統語、語彙・意味から概観します。

講義の焦点は、他のヨーロッパの言語と英語を異ならせている、英語の以下の特徴に当てます。

①ぬきんでた語彙数の多さ、多義表現の多さと使用上の留意点、

②語形変化・活用による文法関係を示す機能の消失と語順の確立、前置詞・助動詞の発達、

③母音の発音と文字の基本的な一対一対応が歴史的に崩れていった過程に焦点をあてます。特に大母音推移を考察することで、現代英語の基本的な母音（長母音・二重母音）と表記文字との対応関係の規則性をみます。

古英語時代からの他言語との言語接触の観点を入れて、これらの特徴を考えてみます。

成績評価の方法 授業中の課題発表評価点、年3回程度の作業課題（レポート）成績、定期試験期間中に提出するエッセイ・レポートを総合して成績評価点を出します。

教科書
参考書等

プリント使用予定。

David Crystal, The English Language 第2版（2002年）Penguin Books

ISBN 0-14-100396-0

R. L. Trask, Language: The Basics 第2版（1999年、2001年リプリント）Routledge

ISBN 0-415-20089-X

その他の参考書は教室で指示します。

その他

欠席する場合はメール等で連絡し、プリント教材、課題の指示を受けること。

連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。授業前に必ず確認して下さい。

英
米
文

履修コード	029401
科目名	英語学演習IV
担当者名	狩野 晃一 <small>かのう こういち</small>

講義のねらい 古英語、中英語の文法の修得、テキストの精読分析を通して英語の歴史的变化を観察する。批判的に文献を読む力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 前期の前半は古英語の文法習得を集中的に行う。同時に古英語テキストを読み進める。後期は古英語テキストを復習後、中英語テキストに移る。

履修上の留意点 根気よくテキストを読んでゆける者の参加を期待する。

成績評価の方法 出席、授業での発表、レポートの提出による。積極的な授業への参加を求める。

教科書 市河三喜（著）松波有（編）1997『古英語中英語初歩』研究社

参考書等 Barrow, J.A. and Thorlac Turville-Petre (eds.). 2005 (3rd ed.). A Book of Middle English. Oxford: Blackwell.

Davis, Norman (rev.). 1978 (9th ed.), 1980. Sweet's Anglo-Saxon Primer. Oxford: Clarendon Press.

Mitchel, Bruce and Fred C. Robinson (eds.). 2007 (7th ed.). An Introduction to Old English. Oxford: Blackwell.

中尾俊夫（著）1985『音韻史』大修館書店

履修コード	029511
科目名	TOEIC (R) ・ TOEFL (R) 講座
担当者名	ブランケン, D. L.

講義のねらい To develop listening and reading skills for the TOEIC test. The specific goals are to (1) to increase listening ability for Part I , sections2-4 of the TOEIC ; (2) increase reading speed and comprehension in Part II of the TOEIC ; and (3) give specific hints and “tips” on taking the test.

講義の内容・授業スケジュール
 Spring Semester
 Week1 : TOEIC materials : ORAL
 Week2-7 : Test topics & drills ; hints
 Week8 : TOEIC test 1, Oral
 Week9-12 : Test topics & drills, READING
 Week13 : TOEIC test 2, Reading
 Week14 : Analysis of test results, tips
 Fall Semester
 Week1 : TOEIC materials : ORAL
 Week2-7 : Test topics and drills ; hints
 Week8 : TOEIC test 3, Oral
 Week9-12 : Test topics and drills, READING
 Week13 : TOEIC test 4, Reading
 Week14 : Analysis of test results, tips

履修上の留意点 Homework is needed : it means doing sample listenings / readings from texts and prints for 30 minutes a day. Homework will be checked ; the more you do, the better your progress. You may request extra books and prints for more practice.

There will be more emphasis on listening than reading, but hints and tips will cover both types. Sample TOEIC tests will be given twice a semester , and students will be encouraged to register for an actual TOEIC test in or after the second semester.

履修上の留意点

To students : You must attend class on time to do the listening drills. Homework : Half an hour a day is enough for reading practice ; longer study harms your concentration.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows : (1) classwork, using prints and CD listening materials : 25% ; (2) classwork, attendance and quizzes : 25% ; homework, submitting drills and readings : 25% ; and (4) test performance in terms of progress : 25%.

教科書

To be announced in class and supplied by the teacher. There will be printed drills or readings given each week. “TOEIC test-taking advice” will be given as handouts.

参考書等

A suitable electronic Japanese - English dictionary is strongly recommended. An English - English paper dictionary is also highly recommended. The instructor will give advice on suitable dictionaries in the first class meeting.

英
米
文

履修コード	029521
科目名	TOEIC (R) ・ TOEFL (R) 講座
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい This course will help familiarize students with both the TOEFL and TOEIC test by providing students with: 1] instruction in the areas tested; 2] opportunities to take sample exams and 3] test-taking strategies.

講義の内容・授業スケジュール
 [1] Class introduction. [2-6] Listening practice and strategies. [7-10] Vocabulary and grammar overview. [11-15] Reading overview. [16-18] Model Test #1. [19-21] Model Test #2. [22-24] Model Test #3. [25-27] Model Test #4. [28-30] Exams.

履修上の留意点

Students should be aware that there will be a great deal of homework as grammar review and TOEFL/TOEIC tests will be done at home and reviewed in class. Students should also be aware that regular attendance is essential. Absence of 1/3 classes will result in a failing grade.

成績評価の方法

Students will be evaluated on the basis of the satisfactory completion of homework assignments, attendance, class participation and improvement on selected in-class TOEFL / TOEIC exams.

教科書

Barron's TOEIC TEST, 4th Edition ISBN-13: 978-0-7641-3550-7

履修コード	029601
科目名	オーラル・イングリッシュ
担当者名	マーティン, S. F.

講義の内容・
授業スケジュール

The spring semester will largely consist of communicative exercises geared towards activating latent knowledge of English and fostering a communicative and cooperative atmosphere in the class.

The fall semester will be geared more towards providing students practice in making formal presentations in an academic context.

The content will be an anthropological approach to contemporary movies and music as modern myth.

The specific focus for each semester will typically be a multidisciplinary analysis of specific movies and/or popular songs. Analysis is tentatively defined as a comparison of a work of art with another more familiar work, or with academically oriented metaphors taken from the arts and sciences, or with life experience.

履修上の留意点

Students are expected to make presentations in their choice of format, but mind mapping and multimedia approaches are encouraged.

Students will have the option of working alone, but will be encouraged to work in groups.

成績評価の方法

As testing will be minimal, evaluation will largely depend upon student participation.

Therefore the minimal standards of attendance will adhere to those set by the Ministry of Education, Science, and Technology.

教科書

Materials will be provided by the instructor, however students will be expected to occasionally use homework assignments as the basis of the following week's exercises.

履修コード	029701
科目名	オーラル・イングリッシュ
担当者名	ハバード, W. D.

講義の内容・
授業スケジュール

The goal of this course is help 3rd and 4th years students to continue on with their study of English and to assist them to more effectively express themselves in a variety of interactions with English including reading, writing, speaking, and listening. To reach this goal, students will be given a variety of assignments and tasks, both written and oral, to improve their English competence. This include written assignments, reading, and oral reproduction of selected passages to measure and help them with their comprehension, intonation, and general speaking ability. By the end of this course, students are expected to be able to communicate their general wants and needs in understandable written and oral English. Some EIKEN material will be used to help students desiring possible future EIKEN certification.

成績評価の方法
教科書

Final grade will be based on attendance, class work, quizzes, and mid-term and final tests.

No textbook. Printed class lessons will be handed out at the beginning of each class period.

履修コード	029801
科目名	オーラル・イングリッシュ
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい	This discussion-oriented class will better enable students to think critically, make opinions and express those opinions effectively in English. This course will also help students better understand how TV commercials are crafted as well as better understand the differences between the American and Japanese cultures as depicted in each country's TV commercials.
講義の内容・授業スケジュール	[1] Class introduction with discussion of commercial evaluation criteria. [2-29] Students will be shown selected American TV commercials for the first thirty minutes of each class period and the effectiveness of each commercial will be discussed. The next hour of each class will be devoted to student presentations of Japanese TV commercials with a discussion of the commercial's effectiveness. [30] Exam.
履修上の留意点	Students must have access to a video or DVD recorder [or a friend who does] and come to class with a video tape or DVD-R of a selected TV commercial and a prepared class presentation discussing the commercial. This is a discussion-oriented class so class participation is essential. Regular attendance is essential. Absence of 1/3 of classes will result in a failing grade.
成績評価の方法	Students will be graded on the basis of participation during class discussions, class presentations and the Final Exam.
教科書	none

履修コード	029901
科目名	オーラル・イングリッシュ
担当者名	ハバード, W. D.

講義の内容・授業スケジュール	The goal of this course is help 3rd and 4th years students to continue on with their study of English and to assist them to more effectively express themselves in a variety of interactions with English including reading, writing, speaking, and listening. To reach this goal, students will be given a variety of assignments and tasks, both written and oral, to improve their English competence. This include written assignments, reading, and oral reproduction of selected passages to measure and help them with their comprehension, intonation, and general speaking ability. By the end of this course, students are expected to be able to communicate their general wants and needs in understandable written and oral English. Some EIKEN material will be used to help students desiring possible future EIKEN certification.
成績評価の方法	Final grade will be based on attendance, class work, quizzes, and mid-term and final tests.
教科書	No textbook. Printed class lessons will be handed out at the beginning of each class period.

履修コード	030001・030101
科目名	オーラル・イングリッシュ
担当者名	ナトウシュ, B. A.

講義のねらい	English speaking and listening improvement
講義の内容・授業スケジュール	Warm-Up: Pair work using telephone conversations Quizzes: Vocabulary expansion in themes Conversation Awareness: Observe, record conversations (blog) Fluency development: Presentation and pair performance (video)
成績評価の方法	Class attendance Quiz performance Blog postings Video performances
教科書	All materials available from the following websites http://wh5.blogspot.com/ http://geocities.com/bnatusch/

履修コード	031211
科目名	4年次ゼミ
担当者名	河崎 征俊

講義のねらい 本ゼミは3年次ゼミで習得した中世英文学の知識を踏まえながら、チャオサーの作品を鑑賞したい。なお、本ゼミは卒業論文の作成も兼ねているので、ゼミ生の研究分野に沿った研究指導を行う予定。さらに、英語の内容と文体に関する英文を随時読みながら、文章作成の方法を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) 卒業論文の論題について。(4～8) *The Canterbury Tales* の読解。(9～15) 内容と文体に関する英文の読解。(16～20) 中世イギリス文学の特質について。(21～29) *The Canterbury Tales* の読解。(30) まとめ

履修上の留意点 論文作成に関する一般的な書物を熟読し、卒業論文のテーマをあらかじめ設定したうえで授業にのぞんでいただきたい。ゼミ生の研究分野に応じた文献リストを配布するので、図書館等で確認し、資料収集に着手していただきたい。

成績評価の方法 教科書 (a) 演習発表、(b) 卒業論文作成にのぞむ姿勢、(C) 出席状況等を中心に総合的に評価する。
A.C.Baugh 版をコピーして配布する予定。

履修コード	031231
科目名	4年次ゼミ
担当者名	高野 正夫

講義のねらい 4年次の卒業論文の執筆に向けて様々な指導を行います。どのようにして卒論を書いたらよいかということについて、具体的な例をあげながら説明していきます。

講義の内容・授業スケジュール (4月～7月) 前期は、卒論の論題受付に向けて、どのようなジャンルやテーマを選んだらよいか、そしてどのような作家や作品を選んだらよいかなどについて、相談しながら論題を決定する作業を行います。

(9月～12月) 後期は、論文を書く時の具体的な書き方などについて説明し、さらに下書きの段階で提出された論文を訂正するなどして、論文の完成に向けての細かな作業を行います。

履修上の留意点 卒論の作成は長期間にわたるものなので、粘り強く様々な作業を進めることが必要であり、授業の時だけでなく日頃から自主的な姿勢で研究作業を進めていくことが望まれる。

成績評価の方法 教科書 授業への積極性や論文の進み方などにより評価する。
授業開講時に教場で指示する。

履修コード	031241
科目名	4年次ゼミ
担当者名	モート, セーラ

講義のねらい The aim of the 4th year 'zemi' is to give students a variety of techniques in effective academic writing;

- from forming sentence and paragraph structures
- to writing short essays, expressing opinion and comparing and contrasting points in a topic.

The emphasis will be on developing critical thinking and advice will be given regarding writing a graduation thesis.

講義の内容・授業スケジュール I.(1-15) The first semester will include;

- practicing and improving research skills, using a variety of sources.
- planning short pieces of writing on a specific theme and organizing ideas effectively.
- developing writing skills such as paraphrasing and summarizing
- small group discussion.

成績評価の方法 教科書 II.(16-30) The second semester will provide individual guidance and advice on graduation theses. Written assignments will be assessed as well as evidence of research.

Print-outs will be provided on academic writing techniques.

履修コード	031251
科目名	4年次ゼミ
担当者名	あずま ゆいちろう 東 雄一郎

講義のねらい 卒業論文の指導。夏休みに入る前期において、各自がしっかりとした構想を立てる。原作・原文テキストや、関係書誌がそろうようにしておく。また、作家・作品研究の場合は、必ず原作を精読・熟読しておくこと。

講義の内容・授業スケジュール ①卒業論文とは何か・論文の論題の決定(1~2)
②ジャンル別、グループ指導・書式並びに資料収集(3~4)
③ジャンル別口頭発表と質疑・論文の構成・章分けの仕方等(5~6)
④ジャンル別口頭発表と質疑・下書き(7~10)
⑤ジャンル別口頭発表と質疑・問題点の提示とその解決(11~13)
⑥下書き完成、提出(夏期休暇前)・ゼミ生同士によるグループ・チェック(14~15)
⑦研究室等における個別指導とそれに伴うスケジュール表の配布(16~19)
⑧ジャンル別口頭発表最終(20~21)
⑨指導教授による個別チェック(22~)

履修上の留意点 大学内個別指導(個別チェック)に加え、メール添付ファイルによる指導も行う。各自のテーマに真剣に取り組み、ゼミには欠席をしないように。欠席をすると、自分の作業が大幅に遅れ、卒論の期間内提出に間に合わないことになる。ゼミであっても、単位を落とすことがある。

成績評価の方法 ①授業への参加・貢献度(25%) ②ジャンル別口頭発表と質疑(40%) ③提出物・下書き(15%) ④グループ・チェックへの貢献度(20%)

教科書等 プリント配布
参考書等 開講時に指示します。
その他 インターネットによる情報収集を行ってもよいが、現存の出版物を参照の上で、その情報の真偽を必ず確認するように。

履修コード	031261
科目名	4年次ゼミ
担当者名	さとう ちはる 佐藤 千春

英
米
文

講義のねらい 卒業論文作成の基本となるゼミと考えてほしい。作家・作品その他論題の決定、そのための準備、そして完成への助言、助力を行う。

講義の内容・授業スケジュール アメリカ・ルネッサンス期の作家を中心として指導を行う。研究室で行うが、人数によりグループ別に分けて隔週でこれを行う予定。6月までにテーマを決め、その研究方針・報告を受け、それに従ってスケジュールをたてる。尚、4年ゼミの曜日、時限は、佐藤研究室にて連絡、発表し、そこでスケジュール表を渡すことにする。4年ゼミを希望する学生は早めに上記研究室(1441)に来られたし。

履修上の留意点 決められたスケジュールに従って報告をしてもらうので十分な準備をしていただくことになる。

成績評価の方法 報告の内容、論文の内容などを考慮し評価を出す。

教科書等 とくに使用せず。

参考書等 研究対象によって異なるので、その都度指摘することにする。

履修コード	031271
科目名	4年次ゼミ
担当者名	さとう しんじ 佐藤 真二

講義のねらい 3年次にゼミで研究した事項(音声学)を基礎として、それを発展し、卒業論文へまとめあげることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 研究方法の再確認。テーマの決定。資料の収集。卒業論文の書き方。(1-8)
アウトライン作成。卒業論文指導(9-15)個別指導(16-30)
9月下旬序章(或いは第1章)提出、10月下旬第1章(或いは第2章)提出の予定。

履修上の留意点 卒業論文の指導を希望するものは必ず履修すること。
履修者は必ず第1回目の授業に出席し、担当教員と連絡を取ること。
5月末からの論題提出期間までには、テーマを決定し、論題の案を用意し、その上で担当教員に連絡の上、相談にくること。
教育実習に行く学生は早めに論題の準備しておくこと。
就職活動で忙しい場合でも、何らかの方法で担当教員に連絡すること。

成績評価の方法 レポートにより評価する。

参考書等 渡部昇一他『論文・レポートの書き方』スタンダード英語講座8(大修館書店)1984年 他

履修コード	031281
科目名	4年次ゼミ
担当者名	加藤 光也

講義のねらい 卒業論文作成の基本となるゼミです。論文作成の準備、文献の選び方、論文構成、執筆までを指導します。

講義の内容・授業スケジュール 最初の2回ほどで、論文執筆の要領を具体例を挙げながら解説。その後は、各自のテーマに合わせてスケジュールを立て、個別の指導を行います。

履修上の留意点 3年次までの授業を元に、できるだけ論文の対象、テーマを明確にしておくことが大切です。スケジュールに合わせて進行状況を報告してもらいますので、個別指導には十分な準備をして臨むようにしてください。

成績評価の方法 論文への取り組み、課題レポート、論文の内容によって総合的に評価します。

参考書等 ゼミの中で適宜、紹介します。

履修コード	031291
科目名	4年次ゼミ
担当者名	唐澤 一友

講義のねらい 3年次までに学んできたことを基礎として、各自のテーマに沿って卒業論文（英語または日本語）を作成します。全員で何度か集まりますが、それ以外は基本的にメールや個別の面接で指導します。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 4月に論文執筆法を確認します。5月末までにテーマを絞り、アウトラインを執筆。参照予定の文献リストも作成。夏休みに入る前には、全員で集まり、途中経過の報告会を行います。(後期) 後期のはじめには、少なくとも一章分の第一稿を提出。10月末までに残りの章に関しても第一稿を提出。11月には一度全員で集まり、第一稿に基づく報告会を行います。

履修上の留意点 卒論指導を希望する学生は必ず履修すること。第一回の授業に必ず出席すること。提出物の期日はしっかり守ること。メールで連絡が円滑に取れるようにすること。

成績評価の方法 作業への取り組みや提出物を遅滞なく提出したかどうかという点、および出来上がった論文の質により評価します。

教科書 使用しない。

参考書等 必要に応じて指導します。

その他 特になし。

履修コード	031321
科目名	4年次ゼミ
担当者名	逢見 明久

講義のねらい 英米演劇・映画作品研究。3年次ゼミの研究テーマを基礎に卒業論文を書くことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 開講時に論文の要旨(400字5枚程度)と章立ての構想を必ず提出のこと。前期はこれをもとに論文の方向性を明確にして6月の論題提出に備え、夏期休暇を利用して全体を書き上げる。9月中旬に原稿の写しを一部提出のこと。後期は、原稿を推敲して論文の完成を目指す。

履修上の留意点 論文作成の経過報告を忘れずに、論文の完成に向けて必ず指導を受けること。

成績評価の方法 卒業論文を評価。

参考書等 適宜指示。

履修コード	031331
科目名	4年次ゼミ
担当者名	川崎 明子

講義のねらい 3年次ゼミで学んだことを基礎として卒業論文を作成します。英語・日本語いずれも可。数回全員で集合し、後はメールと面接での個別指導となります。

講義の内容・授業スケジュール 4月に論文作成法を確認。
5月末の論題提出までにテーマ選択と大まかなアウトライン作成。
10月末から11月初めに第一稿提出。

履修上の留意点

- 1 当教官の卒論指導を希望する場合は、必ず履修すること。
- 2 第一回目の授業で、次の程度に絞ったテーマを教官に知らせてください。例：『『オリヴァ・ツイスト』について』、『ディケンズの短編について』、『イギリスの子供について』、『19世紀のロンドンについて』。
- 3 自分名義のEメールのアカウントを持つこと。

成績評価の方法 提出物の内容と論文の進行により評価します。

教科書 特になし

参考書等 適宜個別に指示します

II 專 門 教 育 科 目

3. 地 理 学 科

地

理

履修コード	038201・038202
科目名	自然地理学入門 地域環境研究概説
担当者名	江口 卓・高木 正博・田中 靖・長沼 信夫・早船 元峰・平井 幸弘

講義のねらい 自然地理学ではどのような視点から自然をとらえていくのかを、自然地理学の諸分野において概観する。さらに、自然と人間のかかわりについて考えることにより、地理学におけるもの見方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 6人の教員により視点を変えて自然地理学の諸問題について学ぶ。年間の授業スケジュールは次のとおり予定している。

1. 気候と環境について考える【4月16日～5月14日 江口 卓】

気候変化／地球温暖化問題

2. 身近の自然とGIS【5月21日～6月11日 田中 靖】

気候変動と海面変化／東京の地形／プレートテクトニクスと山地形成
／新しい地理情報技術と地理学

3. 自然災害を知る・防ぐ【6月18日～7月16日 平井幸弘】

自然災害とはいかに防ぐか／火山と火山災害／地震、活断層、津波災害／河川と土砂災害／平野と洪水・高潮

4. 扇状地における自然と人間のかかわりあい【9月17日～10月8日 早船元峰】

大間々扇状地・黒部川扇状地を例として－
地形発達史／土地利用・水利用／治水・集落の立地

5. 都市を中心にした水の循環【10月22日～11月12日 高木正博】

都市の川／都市の水害／都市をめぐる水／都市の水循環と環境保全

6. 人間生活の舞台である平野の在り方【11月19日～12月17日 長沼信夫】

平野の在り方／丘陵地・台地の生い立ち／低地の生い立ち

成績評価の方法 定期試験は行わず、評価は担当者ごとの小テストおよび出席状況を考慮して行う。

参 考 書 等

出題・採点は各担当者が行い、その結果を総合して評価する。

シリーズ『自然景観の読み方』全12冊、岩波書店。

シリーズ『自然環境とのつきあい方』全7冊、岩波書店。

杉谷隆・平井幸弘・松本淳『風景のなかの自然地理―改訂版』、古今書院。

山田彦彦編著『総合 地域の科学―水と地域のかかわり合い』、古今書院。

松岡憲知・田中博・杉田倫明・村山祐司 他編『地球環境学』、古今書院。

都市環境学シリーズ2『都市の水文環境』、共立出版。

田淵洋編著『自然環境の生い立ち』（第三版）、朝倉書店

履修コード	043102
科目名	自然地理学概論
担当者名	早船 元峰

講義のねらい 人間生活の舞台である第四紀の大地の生成過程などを論じ、さらに自然に対し人間はいかにあるべきかを災害などの環境問題を通して考えていく。また、いくつかの地域をとりあげ、人間と自然とのかかわりあい（人間に対する自然の影響・自然への人間の働きかけ）を主に環境地誌的立場から論じる。

講義の内容・授業スケジュール (1～6)・地形図とは、主題図の作成方法

(7～12)・山麓における土地利用

(13～17)・山麓における環境保全

(18～20)・気温と湖水温の垂直分布の季節的变化と人間とのかかわり

(21～23)・北海道本部の気候地形

(24～27)・関東平野の地形発達史（東京の地形の成り立ち）

(28～30)・ビオトープ（学校ビオトープ、緑の回廊、近自然工法）

履修上の留意点

国土地理院発行の地形図を数枚用意してもらい、それらをもとに種々の作業（高度別着色・地形断面図など）をして、理解を一層深めてもらう。直定規・方眼紙・トレース紙・硬質色鉛筆・黒色水性ペンを各自用意すること。

成績評価の方法

課題・レポート・出席状況などによる平常点。

履修コード	043202
科目名	自然地理学概論
担当者名	<small>たかぎ まさひろ</small> 高木 正博

講義のねらい	自然地理学の分野のうち、河川や地下水など水にかかわる地理学を中心に講ずる。近年、河川環境や地下水の汚染・保全などに関心が寄せられている。これらのテーマを考えるため、その基礎となる河川や地下水の水文特性について、地域事例をもとに説明する。
講義の内容・授業スケジュール	年間の授業内容は次の通り予定している。1-2自然地理学と水文学、3-4水文循環と水収支、5-6河川の流域とは、7-8日本の河川と洪水、9-10河川の侵食・運搬・堆積作用、11-12地形と災害、13-14都市の河川と水害、15-16自然湖沼と人造ダム湖、17-18地下水とは、19-21地下水と河川水、22-23地下水の利用、24-26 地下水の汚染、27-30 都市の水環境と地下水など。 地域事例を紹介する際、地形図や空中写真などを利用して地域調査の基礎についても概説する。
履修上の留意点	講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。地域概要を把握するために、地図帳や地形図を利用してほしい。
成績評価の方法	年度末の定期試験（40％）と夏休みの課題レポート（30％）に重点を置いて評価するが、授業中に随時実施する課題、出席状況などの平常点（30％）も加算する。
教科書 参考書等	授業時間にプリントを配布する。 配布プリントをおし随時紹介する。

履修コード	032501・032502
科目名	人文地理学入門 地域文化研究概説
担当者名	櫻井 明久・小田 匡保・佐藤 哲夫・須山 聡・高橋 健太郎・土谷 敏治・橋詰 直道

講義のねらい さまざまな分野からなる人文地理学の入門として、さまざまな地域の文化や社会を取り上げ、人文地理学の内容、方法を学ぶことを主なねらいとする。地域にみられるさまざまな現象、すなわち広い意味での地域文化が、その地域の環境・風土や歴史、生業や生産活動、社会のしくみ、より広い地域との関連とそれらの変化によって、どのように生み出されてきたのかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 民族文化を考える（高橋）
2. 熱帯アジアの地域研究入門（佐藤）
3. 村の土地利用に見る「地域」（櫻井）
4. 都市とまちづくり入門（橋詰）
5. 文化地理学いろいろ（小田）
6. 都市の歴史と交通（土谷）
7. 景観の見方・読み方・考え方（須山）

履修上の留意点

次のスケジュールで、1人の教員が3、4回ずつ担当する予定である。毎回テーマが変わるので、必ず出席することが必要である。

4月14日 担当者全員
4月21日～5月19日 高橋健太郎
5月26日～6月16日 佐藤哲夫
6月23日～7月14日 櫻井明久
9月29日～10月13日 橋詰直道
10月20日～11月10日 小田匡保
11月17日～12月1日 土谷敏治
12月8日～12月22日 須山 聡
12月25日 担当者全員

成績評価の方法

7人の教員が、それぞれの講義内容に関するレポートを課すか試験を実施し、その得点に出席状況などを加味して各自の成績を評価する。その上で、7人の担当者の合計点によって総合評価する。とくに指定しない。

**教科書
参考書等**

高橋
佐々木信彰編「現代中国の民族と経済」世界思想社
山下清海編「エスニック・ワールド―世界と日本のエスニック社会―」明石書店、2008年。
佐藤
比嘉政夫「沖縄からアジアが見える」（岩波ジュニア新書）
矢ヶ崎典隆他編「地理学基礎シリーズ3 地誌学概論」朝倉書店
櫻井
尾留川正平編著「沿岸集落の生態」二宮書店
桜井明久「西ドイツの農業と農村」古今書院
橋詰
小林秀樹「集住のなわばり学」（彰国社）
角野幸博「郊外の20世紀」（学芸出版社）
小田
金子優子編「西の牛肉、東の豚肉―一家計簿から見た日本の消費―」日本評論社
坂本光司研究室・アタックスグループ編「消費の県民性を探る―47都道府県で売れる商品・売れない商品―」同友館
土谷
早川東三・工藤幹巳「ドイツを知るための60章」明石書店
宇都宮浄人「路面電車ルネッサンス（新潮社新書034）」新潮社
須山
須山 聡「在来工業地域論―輪島と井波の存続戦略―」古今書院。
山と地図のフォーラム「富士山展望百科」実業之日本社。

地
理

履修コード	036903・037003
科目名	人文地理学概論
担当者名	中村 剛 <small>なかむら こう</small>

講義のねらい	この講義は、スタンダードな人文地理学の理論やモデルを概説するにとどまらず、「人文地理学」さらには「地理学」が、私たちの実生活（地域の社会・文化・自然）と深く関わっていることを強く意識した講義としたい。
講義の内容・授業スケジュール	1・2：人文地理学とは？（イントロ、自然地理学・地誌学との関係）、3・4：地図と教養地理（地図の歴史と利用、「地理」のイメージ）、5・6：地図と地理教育（中学・高校における地理教育と地図教育、地図帳）、7・8：自然（気候景観、人文地理学と「自然」との関わり）、9・10：農業（文化としての農業、農業地域）、11・12：鉱工業（鉱業分布、工業立地と工業地域）、13・14：貿易（食料・鉱産資源の輸出入、フェアトレード）、15・16：農村（過疎化、高齢化）、17・18：都市（都市構造と都市機能、都市化）、19・20：都市計画と土地利用（郊外化とスプロール、法制度とその問題）、21・22：交通・観光（時間距離、ツーリズムとまちおこし）、23・24：文化（言語と民族・民族と宗教、民族分布と民族問題）、25・26：国家（国際機構、領土問題）、27・28：環境問題と災害（温暖化と地球環境、成長と破壊）、29・30：まとめ（総括、試験）
履修上の留意点	この講義に強い興味・関心を持つ学生の受講を希望する。よって、出席や授業への参加態度も当然のように評価に影響する。
成績評価の方法	前期・後期それぞれ最終回に行く試験と出席、小テスト、提出課題を総合して評価する。なかでも、出席率を重視する。
教科書	・高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫・杉谷隆 編(2008)：『改訂新版 ジオグラフィー入門』古今書院 2,500円(税別) ISBN978-4-7722-3118-3 ・高校用の「学校地図帳」を用意することが望ましい。

履修コード	031701
科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	江口 卓 <small>えぐち たく</small>

講義のねらい	自然地理学のフィールド調査を行う際に必要となる基礎的調査手法および調査で得られたデータの解析手法を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	実習は次の3つのテーマについて行う。 1) 地図と実体視、簡易測量（1回－5回） 2) 分布図の書き方、読み方（天気図を例に）（6回－9回） 3) データの分析（簡単な統計処理、グラフの作成）（10回－15回）
履修上の留意点	毎回出席し、レポートの提出期限は厳守すること。
成績評価の方法	レポートと出席状況を総合して評価する。
教科書	特に指定しない

地
理

履修コード	031801
科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	長沼 信夫 <small>ながぬま のぶお</small>

講義のねらい	この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して、図表の表現化、作成した図表の読み方などを学習する。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。
講義の内容・授業スケジュール	（1～2）実習内容の説明、地形図・海図を用い等高線や等深線などの記入と読み方（3～8）地形図を用いて地形計測一流域・水系図、起伏量図の作成（9～13）簡易測量実習（14～15）地質図の読み方と書き方
履修上の留意点	出席を重視する。
成績評価の方法	出席状況と定期的に提出する図版類やレポートなどを基に評価する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	実習の中で適時紹介する。
その他	実習に必要な地図類や資料は適時配布する。

履修コード	031901
科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	早船 元峰

講義のねらい 地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール (1～3)・2.5万分の1あるいは5万分の1地形図を用いた主題図の作成(切峰面図・起伏量図・帯状平行投影地形断面図など)

(4～6)・試料の収集・分析・整理の方法(粒度分析など)

(7～9)・調査器材・器具の使用法

(10～12)・空中写真判読

(13～15)・地形断面図(実測)の作成

履修上の留意点 地形図や製図用具は各自用意してもらう。

成績評価の方法 出席をこころがけ、成果の提出期限を守ること。

その他 出席状況・提出物の内容などにより評価する。

実習に必要な資料は随時配布する。

履修コード	037601
科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	平井 幸弘

講義のねらい 様々な「地域」が持っている自然地理学的な特質を明らかにし、それぞれの地域における開発と環境問題、あるいは災害と防災の問題などに取り組むために、基本的な地形図の読図、様々な地形分類図の読図、簡単な地形分類の実習、簡単な空中写真判読、ハザードマップの試作などを行う。

講義の内容・授業スケジュール 1)地形図・空中写真の種類と入手方法、2)地形図の読図と作業、3)地形分類図の読図、4)簡単な地形分類の実習、5)簡単な空中写真判読

履修上の留意点 実習科目なので、課題に対する成果品(作業した地図類)を提出することが必要条件である。

成績評価の方法 授業への出席および提出物を総合して成績評価する。

教科書 教科書は指定しない。課題に対するプリントを用意する。

参考書等 大矢雅彦ほか(1998, 2002改訂増補)『地形分類図の読み方・作り方』古今書院

その他 高校で使う程度の地図帳(二宮書店や帝国書院発行のものなど)と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

履修コード	037701
科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	江口 卓

講義のねらい 自然地理学のフィールド調査を行う際に必要となる基礎的調査手法および調査で得られたデータの解析手法を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 実習は次の3つのテーマについて行う。

1) 地図と実体視、簡易測量(1回～5回)

2) 分布図の書き方、読み方(天気図を例に)(6回～9回)

3) データの分析(簡単な統計処理、グラフの作成)(10回～15回)

履修上の留意点 毎回出席し、レポートの提出期限は厳守すること。

成績評価の方法 レポートと出席状況を総合して評価する。

教科書 特に指定しない

履修コード	037801
科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	長沼 信夫

講義のねらい この実習は自然地理学の立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して、図表の表現化、作成した図表の読み方などを学習する。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。

講義の内容・授業スケジュール (1～2)実習内容の説明、地形図・海図を用い等高線や等深線などの記入と読み方 (3～8)地形図を用いて地形計測一流域・水系図、起伏量図の作成 (9～13)簡易測量実習 (14～15)地質図の読み方と書き方

履修上の留意点 出席を重視する。

成績評価の方法 出席状況と定期的に提出する図表類やレポートなどを基に評価する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 実習の中で適時紹介する。

その他 実習に必要な地図類や資料は適時配布する。

地
理

履修コード	032101
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	橋詰 直道

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	人文地理的諸現象を調査・分析し、レポートにまとめるための基礎的手法を学習する。 ①②地理学文献の検索方法、地図データ等の入手方法、③④地理情報の判読（地形図読図・空中写真判読）、⑤⑥地理データの処理（パソコンを用いたグラフ化、地図化）、⑦⑧地理データの分析手法（基礎統計分析手法）、⑨⑩調査課題の設定（地理的課題と地域の設定）、⑪⑫現地調査の方法（フィールドノートのとり方、アンケート調査用紙の作成）、⑬⑭調査レポート（プレゼンテーション・文献レビュー）
履修上の留意点	総合情報センターのパソコン教室を使用。必修科目であり、毎週新たな課題が出されるので、特に課題への積極的な取り組みが必要である。出席（遅刻をしないこと）や授業への参加態度も重視する。課題の提出期限を厳守すること。
成績評価の方法	期間中に提出される課題・レポートや地図などの成果品、授業への出席（一定基準以上）や学習状況などを総合的に評価する。
教科書 その他	とくに定めない。なお、毎時間の課題についてはプリントを配布する。 総合情報センター利用登録を済ませておくこと。

履修コード	032201
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	須山 聡

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	人文地理学における基本的な分析手法を習得するとともに、最低限必要な表現（図的表現・文章表現）技法を身につける。 (1) 地形図と空中写真 (2) 文献検索・文献リストの作成 (3) 統計データと統計地図の種類と利用法 (4) 土地利用調査（野外観察の基礎） (5) 土地利用図の作成（口頭表現のトレーニング） (6) コロプレスマップの作成 (7) ドットマップの作成 (8) 地図の計測（ポイントサンプリング） (9) 土地利用の分析（修正ウイバー法） (10) ネットワークの分析（最大流動法） (11) 人口の静態的分析（人口構造・ランクサイズルール） (12) 人口の動態的分析（コーホート分析）
履修上の留意点	各回に与えられる課題は次回までにレポートとして提出する。本実習では、日本語表現を地理学で学ぶ上での重要な能力と位置づけている。したがって作成した課題に基づき、レポート上でいかに説得力のある論理を構築できるかが重視される。 課題未提出者はノルマが雪だるま式に増えて首が回らなくなるおそれがある。
成績評価の方法	毎回の授業で課されるレポートをもとに判断する。レポートは要求水準に到達するまで何度でも書き直しを求める。具体的には合格したレポートは1点、不合格は0.5点、未提出は0点とし、それらの合計点に基づいて評価する。したがって、不合格または未提出であっても再提出して合格すればよい。
教科書 参考書等	毎回資料を配布する。 製図ペン・電卓を利用する。

履修コード	032301
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	<small>おだ まさやす</small> 小田 匡保

講義のねらい この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. 文献を見る
 2. 地形図を買う
 - 3～4. 手書きによる地図の作成
 5. 情報検索
 - 6～8. エクセルによる表の作成
 - 9～10. エクセルによるグラフの作成
 - 11～13. 統計データの地図化

履修上の留意点 毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。授業の途中から総合情報センターを利用するので、利用者IDを手元に用意しておくこと。コンピュータ基礎科目を履修するなどして、パソコンの基本的な使い方に慣れておくこと（ワープロが使えるという前提で授業を進める）。

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、課題の提出状況（遅れずに提出したかどうか）によって行なう。提出された課題のできばえも勘案する。ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できない。

- 教科書 担当教員作成のプリントを配布する。
- 参考書等 授業中に紹介する。
- その他 定規・地形図などを用意する必要がある。詳細は、授業時に随時指示する。

履修コード	037901
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	<small>たかはし けんたろう</small> 高橋 健太郎

講義のねらい レポートや論文を作成するための基礎的な学力を身につけ、人文地理学への理解を深めるために、実習形式で、学術論文や統計資料、地図、フィールドワークなどについて学ぶ。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. 文献資料の検索と収集
 2. 学術論文の精読と評論
 3. 表計算とグラフ作成
 4. 地形図判読
 5. フィールドワークの基礎

履修上の留意点 この授業は実習科目であるため、毎回出席し、その日の学習内容をよく理解し、課題をきちんと仕上げ提出することが特に求められる。遅刻は厳禁である。

成績評価の方法 授業への出席状況と課題の提出状況で評価する。

参考書等 浮田典良ほか『ジオ・パル21－地理学便利帖－』、海青社。

地
理

履修コード	038001
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	<small>さとう てつお</small> 佐藤 哲夫

講義のねらい この実習では、人文地理学のレポートが作成できるようになることを目標にする。図表やレポートの体裁、統計分析や地図作成などの基礎的な技術について学ぶ。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 以下の内容と予定で、受講者の理解度を見て調整しながら進める。
- (1～5) 地図と画像の利用法（読図、地図編集・計測、写真など）
 - (6～10) 文献の利用法（文献検索、論文要旨の作成など）
 - (11～15) 統計の利用法（統計分析、グラフ作成など）

履修上の留意点 毎回課題を課す。授業時間内に終わらなかった課題は、持ち帰って仕上げてもらおう。欠席した場合は、教員に連絡して当該時間の課題を受け取り、自習で課題を仕上げてもらおう。

成績評価の方法 課題の提出状況で評価する。出席も取るが、これは受講者の進捗を把握するためのものである。課題提出の最終的な締め切りに遅れた場合は不可になる。

教科書 教材と作業課題は授業時間に配布する。

履修コード	038101
科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）
担当者名	つちかひ としはる 土谷 敏治

講義のねらい 人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 9～11月上旬：コンピュータを用いて、レポートの作成方法、文献検索方法、統計データの処理・グラフ化を行う。11月中旬～12月：資料の整理、図表・地図の作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。

主な実習項目は、次のとおりである。

1. レポートの作成方法（第1回）
2. 文献の検索と読解（第2回）
3. 表計算ソフトによる作表実習（第3・4回）
4. 統計データの整理・集計・加工（第5・6回）
5. 統計データの分析とグラフ作成（第7・8回）
6. コンピュータによる地図作成と地図表現力の向上（第9～11回）
7. 製図実習（第12～15回）

履修上の留意点 毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。コンピュータを使用するので、総合情報センターのユーザーID、パスワードを用意しておく必要がある。コンピュータ使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は総合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

成績評価の方法 すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1：1の比重とする。地図の作製は、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

教科書等 とくに指定しない。
地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となろう。
浮田典良編『ジオ・パル21 地理学便利帖』（海青社）
中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』（古今書院）
菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著『地理学講座2 地理的情報の分析手法』（古今書院）
高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）

地
理

履修コード	033301
科目名	地域概論
担当者名	さくらい みさき 櫻井 明久

講義のねらい この授業では、地理学における「地域」とは何かを検討し、「地域」を説明する地誌学、そしてその調査研究方法について考える。その際、伊豆の沿岸集落の事例、ドイツ農村の事例を丁寧に検討するとともに、地方都市とその周辺、大都市圏、国というスケール、ヨーロッパという超国家スケールにおける地誌についても考えたい。地誌の実際上の利活用場・地理教育における地誌学習のあり方についても考察を加えたい。調査・研究方法の習得に力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール 地域とは何か、地誌とは何かについてまず大枠を考え（1、2）、農村地域における観察と土地利用図の作成に始まり、考察の対象としての個人や農家を考え（3～5）、集落スケール（5～12）、地域スケール（13～16）、大都市圏、国（17～20）、超国家（20～）とスケールを広げながら地域の見方と地誌のあり方を積み上げていく形にしたい。

履修上の留意点 出来る限り、授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートに書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法 出席とミニレポート50点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教科書等 桜井明久「西ドイツの農業と農村」古今書院、¥4,800（購入する必要はない）
高橋伸夫、中村和郎他編「地理学講座1～6」古今書院（購入する必要はない）
適宜紹介する。

履修コード	038901
科目名	地図学
担当者名	野々村 邦夫 <small>ののむら くにお</small>

講義のねらい 地図についての基礎的な知識と技術を学び、地図を作成する能力および地図を活用する能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 次のようなことについて、順次授業を行う。
 1. 地図の基礎知識に関すること（測地学の基礎に関することを含む）
 2. 地図の作成に関すること（測量学の基礎に関することを含む）
 3. 地図の利用に関すること
 4. 数値地図と地理情報システム（GIS）に関すること
 5. 地図の歴史と楽しみに関すること

履修上の留意点 講義の内容を鵜呑みにするのではなく、自分なりの考えや意見を持つことを心がけて受講し、その結果を後述する受講報告に反映させて欲しい。

講義を欠席した場合、または、やむを得ず遅刻または早退した場合は、講義に出席した場合よりはるかに多くの努力を払って自習をすることが必要である。

成績評価の方法 毎回の授業で提出する受講報告と学期末に行う試験（場合によりレポートや本格的な論文で代替することもある）とを併せ、成績を評価する。

教科書 特定の教科書は使わない。
 参考書等 参考書、参考文献は、授業の中で紹介する。
 その他 原則として、毎回の授業でプリント（講義のレジュメ）を配布する。原則として、毎回の授業で受講報告（小論文など）を提出してもらう。夏期休暇を利用して課題研究を行い、その報告書を提出してもらう。講義形式の授業を主体とするが、課題研究報告を1人1人発表する機会も設ける予定である。

履修コード	032701
科目名	村落地理学
担当者名	高橋 健太郎 <small>たかはし けんたろう</small>

講義のねらい 現代社会において、村落には、食料生産のみではなく、環境保全やレクリエーションの提供などの多様な役割がある。また、村落は、少子高齢化や産業不振、従来の地域社会の機能不全などの問題を抱える地域でもある。他方、それらの問題を克服するために、地域社会のあり方について再検討されていたり、地域活性化の取り組みも盛んに行なわれている。本講義では、日本と中国の事例を比較しながら、このような村落地域について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール
 1. 村落のみかたと分類
 2. 中山間地域①：過疎とその克服
 3. 中山間地域②：グリーンツーリズム
 4. 中山間地域③：棚田
 5. 民家の地域性
 6. 沿岸村
 7. 都市郊外地域
 8. 都市の農地と農業
 9. 都市・農村関係
 10. 中国の村落①：経済格差と戸籍制度
 11. 中国の村落②：三農問題
 12. 中国の村落③：民工潮
 13. 中国の村落④：環境保全と村落

履修上の留意点 講義内容についての理解の程度を把握するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法 教場レポート（30%）と定期試験（70%）で採点する。

教科書 使用しない。授業時にプリントを配布する。
 参考書等 主な参考書は次のとおり。その他は、授業中に随時紹介する。
 農林水産省編『食料・農業・農村白書』（各年度版）、農林統計協会。
 山本正三ほか『日本の農村空間』、古今書院。
 宮崎 猛編『グリーンツーリズムと日本の農村』、農林統計協会。
 中島峰広『日本の棚田』、古今書院。
 高橋 誠『近郊農村の地域社会変動』、古今書院。
 河原昌一郎『詳解中国の農業と農村』、農山漁村文化協会。
 張 玉林『転換期の中国国家と農民』、農林統計協会。
 王 文亮『中国農民はなぜ貧しいのか』、光文社。
 石田 浩『中国農村の構造変動と「三農問題」』、晃洋書房。

履修コード	032801
科目名	都市地理学
担当者名	橋詰 直道

講義のねらい モノ・ヒト・情報の交換や文化の創造空間として変化しつつある現代都市の機能及び都市での生活、居住空間の抱える諸問題をさぐる。

講義の内容・授業スケジュール 次の項目を予定している。(1)(2)都市の概念(小テスト・都市とは何か)、(3)(4)都市システム(中心地理論・日本の都市システム)、(5)(6)都市機能の分類(アメリカと日本での研究)、(7)(8)都市の内部構造(都心の構造)、(9)(10)都市化と大都市圏(大都市圏と地価・中間試験)、(11)(12)大都市圏の居住空間(居住地移動)、(13)(14)郊外の居住空間(郊外住宅地の開発・団地の開発)、(15)(16)都市と高齢化(団塊世代・少子高齢化社会と女性)(17)(18)都市の生活環境(犯罪・監視社会)(19)(20)都市住民の行動(生活時間と生活行動)、(21-23)都市空間の認知(メンタルマップ・居住地選好)、(24)(25)都市環境の整備(都市計画・田園都市建設)、(26)まとめ(試験)

履修上の留意点 毎時間出席をとる(開始後15分以上の遅刻は欠席となる)。

成績評価の方法 中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数(%)以上と試験(課題を含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書 特に定めなし。

参考書等 高橋伸夫・菅野峰明・村山祐司・伊藤 悟『新しい都市地理学』(東洋書林)2,500円、その他の参考書や論文は授業で紹介する。

その他 講義は、配布プリントとパワーポイントを利用して行う。課題や小テストも実施する。

履修コード	032901
科目名	交通地理学
担当者名	土谷 敏治

講義のねらい 現代社会において、1地域は人・物資・情報をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っているといえよう。本講義では、(1)前期は、これらの地域間の結びつきを反映する都市システム構造の特色と、これらの結びつきから都市システム構造を分析する方法を解説すること、(2)後期は、現在の交通システムの特色とその問題点を明らかにし、今後の交通政策に求められることを考えること、の2点をねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール 前期はこれまでの交通地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定しているが、講義担当者も少しは勉強していきたいと考えているので、その成果によっては多少の変更が生じるかもしれない。

前期

1. 交通と都市システム(第1~5回)
2. 交通ネットワーク(第6~8回)
3. 交通とアクセシビリティ(第9~11回)
4. 交通と空間的相互作用モデル(第12・13回)
5. 交通と中心地理論(第14・15回)

後期

6. 都市圏内部における公共交通の現状と課題(第16~23回)
7. 鉄道交通の現状と問題点(第24~28)
8. 航空交通の変化(第29・30回)

履修上の留意点 多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、了解しておくこと。ただし、その内容は中学校程度のものであり、数学の専門的知識はとくに必要としない。

成績評価の方法 前期最終回(7月)に前期試験、後期最終回(12月)に後期試験を実施する。2回の試験は、それぞれ100点満点で採点し、その合計点で成績を評価する。

教科書 とくに指定しない。

参考書等 奥野隆史『交通と地域』(大明堂)
奥野隆史『計量地理学の基礎』(大明堂)
西村幸格・服部重敬『都市と路面公共交通 欧米にみる交通政策と施設』(学芸出版社)
今城光英編著『鉄道改革の国際比較』(日本経済評論社)

その他 後期は、具体的な事例を示すため、スライド・ビデオを使用する。

地
理

履修コード	033101
科目名	文化地理学
担当者名	小田 匡保

講義のねらい 文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. オリエンテーション
 2. 文化地理学の概要
 - 3～4. 宗教地理学の概要
 - 5～11. 宗教分布
 - 12～14. 信仰圏
 - 15～16. 宗教集落・宗教都市
 - 17～20. 巡礼・社寺参詣
 - 21～23. 墓地・火葬場
 24. 村落の宗教組織

成績評価の方法 成績評価は、試験（前期・後期の2回、持込不可）の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書等 使用しない。
授業中に指示する。

履修コード	032601
科目名	文化生態学
担当者名	中侯 均

講義のねらい いわゆる「伝統的」な文化地理学の一分野として「文化生態学」を位置づけ、その内実を説明する。特に日本の文化地理学における主流派としての文化生態学という側面を強調したい。

講義の内容・授業スケジュール 前期：①はじめに②近代地理学の発生③④環境決定論—その功罪⑤関係論から景観論へ⑥⑦サウアーの文化景観論⑧ Wagner/Mikesell の「5つのテーマ」⑨文化生態学の成立1⑩照葉樹林文化論について⑪⑫⑬日本列島の文化史⑭千葉徳爾の文化生態学⑮まとめ

後期：①はじめに②③景観概念の再考・拡張・変化④主観の地理学へ⑤⑥⑦風水論⑧⑨場所イメージ論⑩競われる空間の意味⑪⑫伝統文化の創造と景観⑬⑭文化の空間論的転回⑮まとめ

履修上の留意点 教室内での私語は厳に慎まれない。

成績評価の方法 前期末の筆記試験と後期末のレポート（提出しさえすれば単位取得できると甘く考えてもらっては困る）とによって行なう。

教科書等 講義開始時に詳しく指示する。基本的に特定の教科書の採用は予定していない。

高橋伸夫他(1995)：『文化地理学入門』（東洋書林）¥2575

中川正・森正人・神田孝治(2006)：『文化地理学ガイダンス』（ナカニシヤ出版）¥2520

その他の 基本的に講義によって授業を進める。ただし、なるべく教員側からの一方的な情報提供に終わらないような工夫をしたいと考えている。

地
理

履修コード	033001
科目名	歴史地理学
担当者名	小田 匡保

講義のねらい 主に日本の村落と都市の歴史地理について講義を行なう。歴史地理学の範囲は非常に広いので、「浅く広く」を基本に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール
 1. オリエンテーション
 2～3. 歴史地理学の概要
 4～13. 歴史時代の村落（先史から近代まで）
 14～21. 歴史時代の都市（主に古代）
 22. 歴史地理学の資料
 23. 歴史的町並み・景観保存
 24. 大学周辺のミニ巡検（受講生が少ない場合）

履修上の留意点 この科目は、地理学科・歴史学科両方の専門科目であるが、教員は地理学の間人であるので、地理学的内容が中心になる。しかし、地理学科の学生も、ある程度の日本史の知識を持っていることが望まれる。歴史が苦手な人には向いていない科目である。ただし、古文書が読める必要はない。

成績評価の方法 成績評価は、試験（前期・後期の2回、持込不可）の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書 使用しない。
 参考書等 授業中に指示する。

履修コード	033351
科目名	地域研究論
担当者名	佐藤 哲夫

講義のねらい この授業は、中学・高校で学習した世界地理の延長上にある世界地誌を発展させたもので、地域研究の入門的な講義である。例として東南アジア、とくにタイを中心にとりあげる。

講義の内容・授業スケジュール 前期は東南アジア全域を対象とした地誌について、総合地誌的なアプローチによって学ぶ。後期には、主にタイを例にして、グローバリゼーションや地球環境問題に関連したトピックを取り上げ、小地域の調査事例を論じる予定である。授業の進行状況を見て、南アジアの地誌と地域研究についても補足的にふれたい。

(1～3) 地理と地域研究
 (4～15) 東南アジア地誌
 (16～23) タイの地域調査事例
 (24～30) 南アジアの地誌と地域研究

履修上の留意点 第1回目の授業で、より詳細な講義内容とスケジュールについて説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法 前期、後期の2回のレポートと出席状況を考慮して評価する。

参考書等 矢ヶ崎典隆ほか編著 2007 『地理学基礎シリーズ3 地誌学概論』（朝倉書店）3300円
 藤巻正己・瀬川真平編 2003 『現代東南アジア入門』（古今書院）2730円
 村山祐司編 2003 『シリーズ人文地理学2 地域研究』（朝倉書店）3990円

地
理

履修コード	038801
科目名	リモートセンシング
担当者名	田中 靖 <small>たなか やすし</small>

講義のねらい リモートセンシングとは、離れた所から非接触で対象物を同定あるいは計測し、その性質を分析する技術の総称である。このうち、空中写真の判読や衛星画像解析から地理学的に意味のある空間データを抽出する研究は、リモートセンシング研究の最も重要な分野である。本講義では、デジタル化された空中写真画像や人工衛星画像データを用いて、画像解析の基礎と数理的な環境の捉え方を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 1. リモートセンシング入門. 2. 電磁波. 3. データ構造と画像処理の基礎（コンピュータプログラム作成によるデータ処理）. 4. 画像分類による土地利用図の作成. 5. 植生指数図の作成. 6. 地表面温度分布図の作成. 7. 総合演習.

履修上の留意点 コンピュータによる地図作成に強くなりたい学生の受講を希望する。積み上げが大切な科目なので出席を重視する。

成績評価の方法 出席（40%）＋授業内で行う小テスト（30%）＋提出課題の質（30%）。定期試験は実施しない。

教科書 田中邦一ほか 『新版 フォトショップによる衛星画像解析の基礎』（古今書院）4,200円（税別）

参考書等 適宜紹介する。

その他 授業はPC教場での実習を中心に行う。実習にはPC教場に導入されている ArcGIS (ESRI), Photoshop (Adobe), Borland C++ Compiler などを用いる。これらは自習室や地理学科のコンピュータ室でも使うことができる。

履修コード	038301
科目名	環境地理学
担当者名	早船 元峰 <small>はやふね げんぽう</small>

講義のねらい 自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用・災害などを通じ歴史的観点をふまえて論じる。

講義の内容・授業スケジュール (1~6) 地形図とは、主題図の作成方法
(7~16) ・北海道美瑛町・富良野市の傾斜地（観光資源“丘”）における土地利用の変化と環境保全（土壌侵食防止など）について
(17~23) ・多摩川上流域の山腹斜面における日本古来の伝統農法と環境保全について
(24~27) ・ビオトープ・環境基本計画について
(28~30) ・環境論など

成績評価の方法 課題（主題図の作成）・レポート・出席状況などによる平常点。

履修コード	038601
科目名	計量地理学
担当者名	土谷 敏治

講義のねらい 地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法について学習し、これらの方法を用いて調査・分析された研究論文を理解できるようになることを目的とする。さらに、講義だけでなく、各分析方法を用いて実習を行い、実際に各方法を使用できる能力を身につけることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール 下記の各項目について解説するとともに課題を与え、実際にデータを処理、分析、考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。

1. 統計データの種類と特色 (第1・2回)
2. 統計データの収集と整理 (第3・4回)
2. 統計データの集計 (第5・6回)
3. 基礎統計量 (第7・8回)
4. 代表的な度数分布の型 (第9・10回)
5. t 検定 (第11・12回)
6. 分散分析 (第13・14回)
7. χ^2 乗検定 (第15・16回)
8. 相関・回帰分析 (第17～19回)
9. 重回帰分析 (第20・21回)
10. 立地係数 (第22・23回)
10. 主成分分析・因子分析 (第24～27回)
11. クラスタ分析 (第28～30回)

なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

履修上の留意点 この授業は実習的側面ももっているため、毎回の出席と、課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft Excel をおもに使用するため、これを使いこなせることが履修の条件である。とくに、配列関数の使用、データの抽出、グラフ作成などができる必要がある。これらを使いこなせない学生は、前期において「計量地理学実習」をあわせて履修すること。また、総合情報センターを使用するため、ユーザIDとパスワードを用意しておく必要がある。

成績評価の方法 各授業項目について提出されたレポートを点数化し、これに出席率を加味して行う。

教科書

参考書

その他

とくに指定しない。
奥野隆史『計量地理学の基礎』(大明堂)
野上道男・杉浦芳夫『パソコンによる数理地理学演習』(古今書院)
教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

地
理

履修コード	038501
科目名	応用地理学
担当者名	高木 正博

講義のねらい この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあい、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール 年間の授業内容は下記のとおり予定している。

(1)「川」を考える関連学問分野、(2,3) 河川流域の水収支、(4-6) 日本の河川流況特性、(7-10) 河成平野の地形分類と防災、(11,12) 水害、(13,14) 治水と水防、(15,16) 日本のダムと堆砂、(17, 18) フランスの河川と洪水、(19-22) 日本の水資源、(23-25) 農業用水を考える、(26-28) 地域用水の活用事例、(29,30) 河川環境。

履修上の留意点 夏休みに現地調査を伴うレポートを作成してもらう。

成績評価の方法

試験は12月(授業最終日)に実施予定の教場試験1回(40%)。追試験は行わない。その他、夏休みのレポート(30%)、授業中の課題、出席状況など(30%)平常点も合わせて評価する。

教科書

参考書

その他

授業時間にプリントを配布する。
配布プリントをとおして随時紹介する。
必要に応じて映像等を適宜使用する。

履修コード	038701
科目名	地域計画論
担当者名	原 昭夫

講義のねらい 地域とは、立地・規模・歴史・自然・生産形態などにより多様な姿を持ち多様な課題を表出している。そうした地域を見る眼を養う。

講義の内容・授業スケジュール 1) 前期: i) 4～5月/地域を知る: 地域や都市の姿、成り立ち、現況、動態等を把握する。
ii) 6～7月/課題を発見する: 地域や都市がどのような課題を抱えているか発見し考察する。
2) 後期: i) 9～10月/課題を考える: それらの課題がどのような原因を持つか考える。
ii) 11～12月/地域を計画する: 地域の課題を解決する方策を考え、将来像を描き提案する。

履修上の留意点 現代日本および世界の地域や都市全般の動向について幅広い関心を持ち、そこでの課題や困難の改善や克服について強い意欲を有し、その解決案を「計画」として提示できること。

成績評価の方法 出席(授業への積極性の評価)およびレポート(年数回、折々の社会や環境について自己の意見・論評・提案等の独自性の評価)。

教科書 原昭夫著『自治体まちづくり』(学芸出版社) 2,800円+税

参考書等 『都市計画』(共立出版) 3,800円+税
『都市計画論』(NHK出版) 2,400円+税

その他 その他授業の都度提示する。
講義形式を基本とし、テーマによってはスライドも使用。聴講人数によっては共同作業型演習(「地域計画作成ワークショップ」)なども考えたい。(前年度は実施した。)

履修コード	038401
科目名	地理情報論
担当者名	王尾 和寿

講義のねらい 地理情報の収集と空間解析の方法について説明するとともに、近年注目を集める地理情報システムGISについて概説する。さらに、地理学研究におけるGISの有効性について説明する。

GISは、地図(地域)情報と属性(主題)情報を一元的に取り扱う。多様な情報源から大量の空間的データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、地図出力やレポート作成などを行い、ユーザの意思決定を支援する。

GISは、国土、県域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用され始めている。極めて将来性に富んだ分野である。

講義の内容・授業スケジュール 1. 地理情報の収集方法(文献) 2. 地理情報の収集方法(統計データ) 3. 地域分析に有用な統計パッケージ 4. 地理情報と空間分析 5. 多変量解析 6. 地理情報システムGISとは 7. GISのハードウェア 8. GISの発展史 9. GISのデータ構造 10. アナログ地図とデジタル地図 11. ラスターデータとベクターデータ 12. 社会モニタリング 13. GISの空間解析機能(オーバーレイ・バッファリング) 14. GISの空間解析機能(ネットワーク分析・テッサレーション) 15. GISの社会的応用(環境問題・防災) 16. GISの社会的応用(行政・民間) 17. インターネットによるGIS・地理情報の入手 18. インターネットGIS 19. GISの将来 20. 地理学とGIS(まとめ)

成績評価の方法 小テストとレポートに出席回数を加味して行う。

教科書 村山祐司編『地理情報システム』(朝倉書店) 3,800円 2005年

その他 1) 駒澤大学「総合情報センター」において、年に数回、GISのデモを行う。
2) GIS関連の企業・行政機関を訪問し、地理情報システムの使われ方に関して実地見学を行う。

地
理

履修コード	033601
科目名	地域文化調査法（現地調査含む）C
担当者名	小田 匡保

講義のねらい	1. 人文地理の諸テーマについて地域調査の経験をする。 2. 収集した資料を、体裁の整ったレポートにまとめる練習をする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、文献・統計などの資料を収集・分析し、事前レポートにまとめる。9月下旬（予定）の現地調査では、聞き取り調査・観察調査を中心に行なう。その後、集まった資料を分析・整理し、最終的な報告書をまとめる。
履修上の留意点	体裁・内容の不十分な報告書原稿は、現地の方に送って見ていただいても恥ずかしくないよう、何度でも修正してもらおう。修正する教員にとっても大変な作業であり、受講生も頑張ってもらいたい。
成績評価の方法	成績評価は、授業の出席状況、現地での調査態度、提出されたレポート・報告書原稿の内容などを総合して判断する。
教科書	使用しない。
参考書等	授業中に指示する。
その他	調査地は新潟県、現地調査の期日は9月下旬または10月上旬を考えている。詳細は4月の振り分け時に発表する。

履修コード	033701
科目名	地域文化調査法（現地調査含む）D
担当者名	櫻井 明久

講義のねらい	この授業では、地理学における「地域」とは何かを検討し、その「地域」を語る地誌学、そして地誌学研究の方法について、現地調査を中心として、実習を行いながら考える。現地調査地域は未定であるが、農村部を含む中小の地方都市で、4泊5日程度を考えている。
講義の内容・授業スケジュール	地域とは何か、地誌的研究とは何かについて、まず大枠を考え（1～4）、いくつかの研究課題ごとにグループに分かれて、観察や調査の方法を考え、試みる。現地調査は、9月末を考えている。その後、その調査成果をもとにその地域をいかに描くかを考え、レポートなどの形式でまとめる。
履修上の留意点	実際に調査設計し、現地へ出向いて調査実習するので、参加が不可欠である。また、その過程では、課題に沿って疑問や質問を仲間同士でどんどんぶつけ、討論するなどして、問題を絞ったり、解決方法を考え、資料を収集するので、積極的に参加するよう望みたい。
成績評価の方法	出席（40点）と発表・レポート（60点）といったバランスで評価したい。
教科書	なし
参考書等	適宜紹介する。

地
理

履修コード	033801
科目名	地域文化調査法（現地調査含む）E
担当者名	須山 聡

講義のねらい	課題設定から調査準備・現地調査そして報告書の作成までを実習することで、地域調査の方法を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	奄美大島でのフィールドワークを6月下旬に4泊5日で予定している。
成績評価の方法	授業への取り組み方と、報告書の完成度によって評価する。
参考書等	随時紹介する。
その他	現地調査ではレンタカーを借用するので、普通運転免許を保有していることが望ましい。

履修コード	033901
科目名	地域文化調査法（現地調査含む）F
担当者名	土谷 敏治

講義のねらい

地理学の調査・研究においては、もちろん現地調査は最も重要なものの1つである。しかし、事前に関連する既存の文献をよく読んだ上で、まず調査・研究の手順を学んでおく必要がある。それを踏まえて、調査の目的・調査地域・調査スケジュールの設定を行うとともに、統計資料等を用いて調査地域の特色を把握する。現地調査後は、収集資料を整理・分析し、調査結果をまとめる必要がある。このような視点から、本授業では交通や都市の問題を主要テーマとして、まず文献検索・文献研究を行い、調査・研究の方法を学ぶとともに、現地調査前後の準備段階から最終的な報告書作成までの総合的能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

下記のようなスケジュールに沿って授業を行う。

- ①現地調査で取り上げようとするテーマに関連する論文を読み、その内容をまとめて発表する。
- ②各種統計資料などによって、調査地域の特色について分析を行いレポートにまとめる。
- ③各自の調査目的、調査地域を決定する。なお、複数人で共同研究してもよい。
- ④現地での調査内容や調査スケジュールを決定する。
- ⑤現地調査。
- ⑥調査結果の整理・分析、図表化を行う。
- ⑦調査結果をレポートとしてまとめる。
- ⑧調査結果を発表し、全員で討論する。
- ⑨各自のレポートをまとめて、報告書を作成する。

調査対象地域：茨城県ひたちなか市、あるいは、北海道札幌市を予定している。受講者が希望すればこれ以外の地域も検討する。目的地の決定は授業の中で、受講者の希望を聞きながら行う。

現地調査日程：10月の中旬を予定している。

履修上の留意点

現地調査はもちろんであるが、その前提となる文献研究や事前の計画・準備、調査後の資料整理や分析が重要である。とくに、毎回の出席は不可欠であり、出席率が8割を下回った場合は、単位を認定しないことがあり得る。また、積極的な討論への参加、事前・事後の発表、レポートの提出、報告書作成作業への参加も必要である。

成績評価の方法

文献のまとめ方、事前調査のレポート、現地調査状況、調査結果の整理・分析と口頭発表の内容、討論・報告書作成作業への参加状況、授業への出席を総合して評価する。

教科書その他

とくに指定しない。
事前の準備、現地調査では、1人、あるいは5人程度までのグループに分かれて、それぞれの担当内容を決めて行う。

履修コード	039001
科目名	地域環境調査法（現地調査含む）A
担当者名	平井 幸弘

地
理

講義のねらい

地理学の研究でとくに環境問題に関するテーマを掲げる場合、まずは現場を訪ねることが必要不可欠である。その場合、具体的なテーマの設定、事前の学習、現地での調査や資料の収集、テーマに関する課題の分析と考察、レポートのまとめなど、しかるべき調査方法を習得しておくことが重要である。本授業では、9月下旬～10月中旬に数日間の現地調査を実施するが、前期はその準備を、後期は取りまとめを中心に、上記の各点について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）野外調査の基本的な方法論、調査地域の概観、基礎的な文献・資料の収集と地図作業（現地調査）日本国内の海跡湖（加茂湖、浜名湖、中海、宍道湖など）のうち1ヵ所を取り上げ、その周辺地域で、湖をめぐる開発や環境問題等について現地調査を行う。具体的な日程と調査地域はガイダンス時に明示する。

（後期）現地調査にもとづくテーマに関する課題の分析と考察、レポートのまとめ

自らのテーマを見出し、積極的に現地調査に参加することが望まれる。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業・現地調査への出席および1年を通して各自のテーマへの取り組み状況を総合して成績評価する。

教科書
参考書等

教科書は指定しない。
平井幸弘（1995）『湖の環境学』、同（2005）『水辺の環境ガイド』（いずれも古今書院）など、適宜紹介する。

履修コード	039201
科目名	地域環境調査法（現地調査含む）C
担当者名	高木 ^{たかぎ} 正博 ^{まさひろ}

講義のねらい 地理学の基本とも言える「地域」の捉え方を、現地調査を含めて1年間にわたり学ぶことである。とくに、それぞれの地域に固有な水と人々のかかわりを、現地での測水調査や水利用などの調査をとおして明らかにしたい。現地調査を重視し、結果・考察をまとめた報告書を作成する。

講義の内容・授業スケジュール 現地調査の準備段階として文献調査、資料収集、地形図・空中写真などによる地域概要の把握を行い調査マニュアル（資料集）を作成する。現地調査は班別行動を原則とし、各班毎のテーマに沿って、各種の実測調査、聞き取り調査や資料収集などを実施する。現地では効率的かつ精度の高い調査が要求される。調査期間中は毎日の成果を報告し、レポートを作成する。調査終了後は、各自の成果をまとめた個人レポートを提出すると共に、各班毎に行った調査結果を整理・分析・考察して発表し、最後に報告書を作成する。

履修上の留意点 調査テーマは個人の希望を尊重するが、場合によってはこちらで指示することもある。現地では班別行動をとるので、同様なテーマを持つ人同士で班を構成してもらう。
資料集および報告書は、ワープロの使用を義務づける。

成績評価の方法 課題レポートの内容を主な評価基準とするが、授業への出席状況や現地での調査行動、報告書作成への取り組みなどを総合的に評価する。

参考書等その他 参考書は適宜指示する。
調査地域は山形県飽海（あくみ）郡遊佐（ゆざ）町周辺を予定している。当地域は鳥海山の麓に位置し、豊富に湧出する地下水（自噴井戸）を住民が日常生活に巧みに利用している日本でも数少ない町である。水利用の様々な形態に注目し、都市では失われた日常的な水利用の実態を明らかにし、当地域ならではの地下水の役割を考える。また、河川・湧水の水質特性も調査したい。内容の詳細については、ガイダンスの際に発表する。

履修コード	039401
科目名	地域環境調査法（現地調査含む）E
担当者名	長沼 ^{ながのま} 信夫 ^{のぶ}

講義のねらい 一つの地域を題材に、地理学の調査方法の修得、および現地調査で得られた資料などを基に、その地域的特色の一端を把握・検討することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1～11) 事前準備 調査地域の地形図の読図、関連資料の収集、関連論文の輪読、調査テーマや調査方法の吟味など (12) 現地調査 北海道南西地域 (13～15) 資料整理作業、(16～22) 関連する図表類の作成、レポート作成 (23～26) 調査成果の報告会 (27～29) 報告書用原稿の作成 (30) 報告書の完成と反省会
現地調査は、次の要領で実施する予定である。
調査地域：北海道小樽市、余市町、仁木町、赤井川村
調査期間：2009年6月30日～7月3日（3泊4日）
調査概要：(1) 小樽商都の再生
(2) 小樽の水辺環境と観光開発
(3) 余市の水産業の変遷とその生活
(4) 余市・仁木の果樹栽培と生活
(5) カルデラの里・赤井川村の自然と生活

履修上の留意点 特に出席を重視するので、遅効・欠席をしないよう望む。
調査地域が遠方のため、交通費は多額となるので留意すること。

成績評価の方法 出席回数、口頭発表、レポートの提出、報告書作成に参加するなどによって、総合的に評価する。
特に指定しない。

教科書 必要な文献・資料・地形図などは事前調査の初期段階で指示する。

参考書等その他 各自の調査テーマや内容は、学生諸君の自主性に委ねる。

履修コード	035801
科目名	地域文化演習 C
担当者名	佐藤 哲夫

講義のねらい	この授業では、文献（外国語を含む）の講読、地図や衛星画像の利用、統計の分析を中心とした、外国地域の研究方法を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	タイを例とした研究を行う。前期にはタイ全体を対象とした基本情報のレポートを全員で分担して作成する。後期は、都市誌または観光にトピックを絞り、タイ国内の特定地域について研究する。授業内容は以下を予定しているが、状況を見て調整しながら進める。 (1～5) 参考文献の講読など (6～12) 地図・統計を用いた作業 (13～15) カントリーレポートの作成 (16～20) 研究トピックに関する文献の要旨発表など (21～25) 研究トピックに関する地形図・衛星画像や統計を用いた調査 (26～30) 調査のまとめと報告
履修上の留意点	英語の能力は問わないが、英語を見るのがいやだという人には絶対向かない。また、地図・衛星画像と統計のどちらも嫌いだという人にもお勧めしない。自宅でもインターネットを利用できる環境にあることが望ましい。
成績評価の方法	出席状況、参加の積極性や発表内容などを総合的に評価する。
教科書	教材その他の必要な資料は配布する。出所は以下のものなど。
参考書等	Kermel-Torres, D. ed 2004. Atlas of Thailand. Chiang Mai: Silkworm Books. 綾部恒雄・林行夫編 2003 『タイを知る60章』（明石書店）2100円 ISBN4-7503-1725-X

履修コード	035901
科目名	地域文化演習 D
担当者名	高橋 健太郎

講義のねらい	論文や統計、地図などの資料の収集と分析の方法を学ぶとともに、農山村地域の生活や産業、地域社会のあり方について理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	1. 農山村地域について理解を深めるために、村落地理学関連の研究論文を輪読し、内容を順番に報告してもらう。 2. 調査テーマを設定し、関連資料を収集・分析するとともに、フィールドワークの準備を進める。 3. 農山村地域にてフィールドワークを行なう。 4. フィールドワークで得た資料を整理し、文献資料と合わせて総合的に考察して、調査報告レポートを作成する。
履修上の留意点	フィールドワークやその他の授業内容の詳細は、4月に行なわれる地理学科の説明会で話す。受講希望者はこの説明会に必ず参加し、授業を履修するための事前の申し込みをすること。
成績評価の方法	出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、フィールドワークでの活動状況、調査報告レポートの内容で評価する。
参考書等	浮田典良ほか『ジオ・パル21-地理学便利帖-』、海青社。
その他	フィールドワークには相応の出費がかかる。また、事前準備や調査報告レポートの作成には、課外の時間も含めて多くの作業が必要である。これらの点をよく理解したうえで受講すること。

履修コード	036001
科目名	地域文化演習 E
担当者名	橋詰 直道

講義のねらい 人文地理学に関する専門分野の論文をレビューし、発表することで地域研究の課題や調査方法を学ぶ。また、後期には短期間地域調査を行い地理調査の方法を探る。

講義の内容・授業スケジュール 人文地理学に関する課題論文レビューと地域調査を中心に行う。全員が課題論文を複数編レビューし、レポートにまとめ、発表・議論することで、今日の研究動向を把握する。夏休み課題は、各自のテーマに沿って現地調査を行いレポートを作成し提出する。後期は関東甲信越の小都市において短期間地域調査を行い、地域の分析方法やプレゼンテーション（報告書の作成を含む）の方法などについて学ぶ。課題論文は、原則として2000年以降の人文地理、地理学評論、地理科学、季刊地理学、都市計画論文集などに掲載された地域調査に基づく実証的研究論文の中からレビューすることになる。

履修上の留意点 課題論文が多く出されるので、出席状況や授業への参加姿勢も重視する。課題論文の発表は、年間スケジュールを作成して行うので、欠席・遅刻をしないこと。

成績評価の方法 期間中に提出される課題論文に関するレポートや発表内容、夏休み中の課題、現地調査のレポートや報告書作成への取り組み姿勢や授業への出席状況などを総合的に評価する。

教科書等 なし

参考書等 課題論文の詳細は5月に決定する。夏休み中の課題の詳細、及び後期の現地調査先は5月以降に決定する。

その他 課題論文のレビュー結果は、指定された様式のレポートにまとめ、ゼミ員全員に配布（各自で印刷）した上で、発表する。図書館などを利用した十分な文献調査が必要である。

履修コード	041601
科目名	地域環境演習 C
担当者名	田中 靖

講義のねらい 風景をサイエンスの目で見る力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 1. オリエンテーション（地理学における現地調査とは？） 2. 文献調査。3. 現地調査（本年度は、巡検予定地を「房総半島南部」とし、6月下旬に3泊4日の日程で実施する予定。） 4. 調査結果の発表。 5. 報告書の作成。

成績評価の方法 調査に取り組む姿勢、発表、最終レポートのレベルで総合的に評価する。定期試験は実施しない。

教科書等 適宜紹介する。

参考書等 適宜紹介する。

履修コード	041701
科目名	地域環境演習 D
担当者名	早船 元峰

講義のねらい 自然と人間とのかかわりあい（扇状地や傾斜地の土地利用・グリーンツーリズム・エコツーリズム・ピオトープなど）の研究・調査方法を、主に文献講読を通して学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 前半は各人の興味ある分野（環境地理学）の論文を要約して発表し、レジメを提出する。後半は都市部における自然環境の復元の技術を、ピオトープの再生や雑木林の手入れなどの実体験を通して学ぶ。さらに地理写真撮影の技法を室内外において修得する。

履修上の留意点 活発な討論を望む。班別もあるので欠席なきよう努めること。

成績評価の方法 出席状況・発表・レジメなどで評価する。

その他 撮影技法の基本を学ぶため、35 mm カメラではライカ、中判カメラではハッセル、ビューカメラではリンホフなど手動操作の旧タイプも使用する。

履修コード	034021
科目名	地域調査入門B
担当者名	高橋 健太郎 <small>たかはし けんたろう</small>

講義のねらい 農山村地域の生活や産業、および地域社会のあり方について理解を深め、さらに聞き取りや資料収集の手法の基礎を身につける。

講義の内容・授業スケジュール まず、村落地理学関連の研究論文を輪読し、内容を順番に報告してもらおう。その後、フィールドワークの準備に入る。
フィールドワークは、農山村地域を選んで、3～4泊程度で実施する。主に次のような調査テーマが考えられる。農山村地域の生活習慣の変容、農林業の取り組み、都市・農村交流、観光開発と地域活性化など。選択したテーマにしたがって、各自で調査計画の立案から調査報告レポートの作成までを行なう。

履修上の留意点 フィールドワークの詳細は、4月に行なわれる地理学科の説明会で話す。受講希望者はこの説明会に必ず参加し、授業を履修するための事前の申し込みをすること。

成績評価の方法 出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、フィールドワークでの活動状況、調査報告レポートの内容で評価する。

参考書等その他 浮田典良ほか『ジオ・パル21ー地理学便利帖ー』、海青社。
この科目は、3年の演習や調査法をより効果的に学ぶために主に2年生用に設けられた調査の仕方に関する入門科目です。よって、できるだけ2年生に履修してほしい科目なので、振り分け時に人数が多数になった場合は、3・4年生の希望がかなわない場合もあります。

履修コード	034031
科目名	地域調査入門C
担当者名	佐藤 哲夫 <small>さとう てつお</small>

講義のねらい この授業では、地図や空中写真の利用、現地での土地利用や景観の観察を中心として、現地調査の方法について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 沖縄県那覇市の調査を行う。グループごとに分かれてテーマを決めて調査する。現地調査は11月上旬の予定。授業の内容とスケジュールは以下を予定しているが、作業状況を見て調整しながら進める。
(1～5) 地形図や空中写真を用いた室内作業
(6～10) 参考文献の要旨発表など、事前調査の報告
(11～15) 現地調査結果の報告とまとめ

履修上の留意点 この科目は、3年の演習や調査法をより効果的に学ぶために主に2年生用に設けられた調査の仕方に関する入門科目です。よって、できるだけ2年生に履修してほしい科目なので、振り分け時に人数が多数になった場合は、3・4年生の希望がかなわない場合もあります。2年生については、優先順位を「人文地理学入門」の成績で決めます。学科主催の説明会（演習・調査法振り分け、4月7日）に遅れた者の履修は認めません。

成績評価の方法 出席状況、発表内容、現地での調査の積極性、調査報告の内容などを総合的に評価する。

参考書等 サンゴ礁地域研究グループ 1992 『熱い心の島ーサンゴ礁の風土誌』(古今書院) 4587円 ISBN4-7722-1023-7
堂前亮平 1997 『沖縄の都市空間』(古今書院) 2625円 ISBN4-7722-1042-3
吉川博也 1989 『那覇の空間構造 沖縄らしさを求めて』(沖縄タイムス社) 2447円 ISBN4-87127-019

地
理

履修コード	039621
科目名	地域調査入門E
担当者名	江口 卓 <small>えぐち たかし</small>

講義のねらい フィールド調査による研究の基礎的な流れを理解することを目標とする。つまり、調査テーマの設定、調査の準備、調査、調査のまとめという一連の流れを実際体験する。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) フィールド調査の意義 (3～10) 調査に関する基本的な文献の購読および調査の事前準備 (11～15) 調査データの整理とそのまとめ
授業時間外に設定した調査日に調査を実施する。
レポートおよび出席状況を総合して評価する。

成績評価の方法 特に指定しない

教科書その他 この科目は、3年の演習や調査法をより効果的に学ぶために主に2年生用に設けられた調査の仕方に関する入門科目です。よって、できるだけ2年生に履修してほしい科目なので、振り分け時に人数が多数になった場合は、3・4年生の希望がかなわない場合もあります。

履修コード	036201
科目名	地理学演習
担当者名	佐藤 哲夫

講義のねらい	この演習では卒業論文を作成するための調査の方法、資料の収集・整理の方法、報告の発表方法などについて学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	4月末までに研究対象を決定する。その後は、おおむね次の予定で研究を進める。 (1~5) 研究テーマの方向付け (6~10) 参考文献の検討 (11~15) 仮説の設定 (16~20) 調査によるデータ収集 (21~25) 論文構成の検討 (26~30) 論文執筆と添削
履修上の留意点	第1回目の授業までに、国内の地域を研究する場合は、調査地域をカバーする地形図や住宅地図などを入手し、現地を踏査して地域の概況を把握しておくこと。海外地域を研究する場合は、関連文献を徹底的にリストアップし、その所在を確認しておくこと。 緊密なコンタクトをとって相談を重ねることが重要である。報告・相談する場合には、必ず報告メモを作成して、提出用のコピーを作成してくること。文章にすることで頭の中を整理できる。 第1回目の授業までに、国内の地域を研究する場合は、調査地域をカバーする地形図や住宅地図などを入手し、現地を踏査して地域の概況を把握しておくこと。海外地域を研究する場合は、関連文献を徹底的にリストアップし、その所在を確認しておくこと。
成績評価の方法	参加の積極性で評価する。

履修コード	036301
科目名	地理学演習
担当者名	須山 聡

講義のねらい	卒業論文の作成を指導する。
講義の内容・授業スケジュール	毎回1人ずつ進捗状況を発表する。前期はテーマの決定、対象地域・方法・調査計画の立案、予備調査の実施までに到達することを目標とする。テーマは各自の構想を提示してもらい、参加者全員の討論により緻密な内容に仕上げる。もちろんこれらの作業が早く進行すれば、前期中に現地調査やデータの分析にとりかかることも可能である。フィールドワーク主体のテーマを設定した者は、夏休みが勝負となる。後期は収集したデータの分析・整理を前期に立てた予定にしたがって遂行する。その経過は逐次発表し、参加者全員からの意見やサジェスチョンを盛り込み、内容を高度化させる。執筆段階においては、原稿のチェックを随時行う。
履修上の留意点	多くの参加者にとって卒論は学校教育の締めくくりとなるものであろう。これ以上「勉強」することはないのであるから、これまで得てきた能力のすべてを傾注されることを望む。就職活動などで4年生は多忙であろうが、中途半端な「やっつけ仕事」として卒論を捉えられることをもっとも危惧する。最初の授業までに卒業論文の構想を立案しておくことを希望する。
成績評価の方法	演習であるので、発表内容はもちろんのこと、質疑参加の状況も評価の対象となる。
教科書その他	とくに定めず、各自に適切なものを紹介する。 授業時間内で不足な場合、個別指導を行う。

地
理

履修コード	036401
科目名	地理学演習
担当者名	小田 匡保 <small>おだ まさやす</small>

講義のねらい 1. 卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになる。
2. 人前でわかりやすく発表できる。
3. 他の人の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言えるようになる。

講義の内容・授業スケジュール 前期：従来の研究例を参考に、自分の卒論の構想について発表する。
後期：現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を行なう。
1月：卒論発表会。

履修上の留意点 発表の後は、受講者の間で互いにディスカッションをする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。

成績評価の方法 4月最初の授業は、発表スケジュールを決定するので、必ず出席すること。
成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。
卒業論文の評価とは別である。

教科書等 使用しない。
授業中に指示する。

履修コード	036501
科目名	地理学演習
担当者名	高橋 健太郎 <small>たかはし けんたろう</small>

講義のねらい 卒業論文の作成を進めながら、フィールドワークや文章執筆の方法を習得し、加えて地域社会を理解する力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 前期：研究論文の精読と報告、研究テーマの設定、研究計画の立案、調査地域の設定、文献資料の収集と検討、フィールドワーク。
後期：フィールドワーク、調査結果の整理と分析、地図の作成、論文執筆、研究成果の発表。

履修上の留意点 卒業論文作成の相談にはできる限り対応するが、卒業論文は最終的には自己責任で完成させるものであるということ、受講生には認識してもらいたい。

成績評価の方法 出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、卒業論文発表会での発表内容で評価。

参考書等 浮田典良ほか『ジオ・バル21-地理学便利帖-』、海青社。

履修コード	036601
科目名	地理学演習
担当者名	橋詰 直道 <small>はしづめ なおみち</small>

講義のねらい 卒業論文の作成のための具体的指導を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール 4~5月は、卒業論文の研究テーマ、地域の設定、研究方法、研究計画などについて十分検討した上で、文献・資料調査法や現地調査法についての指導を行う。6~7月は、それまでの文献調査や事前調査などの成果をもとに中間発表会を個人別実施する。9~11月は、夏休中およびその後の調査成果をもとにした経過報告会を行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方について具体的に指導する。12月論文提出時に不完全な論文は受理しない。その後、内容・構成など書き直しもある。1月には卒論要旨集用の原稿の提出、同要旨集の印刷・製本を行う。1月末に卒論発表会を行う。発表はパワーポイントを使用し、発表会には次期地理学演習（橋詰ゼミ）履修者の3年生も全員参加することになる。

履修上の留意点 卒業論文の提出後、1月に卒業論文要旨集の作成と卒業論文発表会も行うので、積極的な研究姿勢が重要である。

成績評価の方法 授業（卒論発表会を含む）への取り組み方、出席状況などを総合的に評価する。

参考書等 正井泰夫・小池一之『卒論作成マニュアル』（古今書院）2,060円
事前に地理学文献データベースを利用した十分な文献（論文）調査が必要である

履修コード	036701
科目名	地理学演習
担当者名	櫻井 明久 <small>さくらい あきひさ</small>

講義のねらい ある地域の事象ないしはある地域の人文地理学的課題について、討論を通じて、その調査方法を考え、資料を集め卒業論文として完成させる。

講義の内容・授業スケジュール 前期については課題を解くための方法、調査法を中心に考える(1~15)。後期については、収集した資料から説明すること、もしくはその説明のための統計資料の加工や表現方法について考えたい(16~)。

履修上の留意点 自分の卒論研究について考えるのは当然であるが、仲間の研究の討論に積極的に参加することが重要である。そのことによって自分の研究の仕方にも刺激が得られるであろう。

成績評価の方法 ゼミへの参加の状況と討論への参加の状況、並びに各自の研究への取り組みを総合的に評価する。

履修コード	036801
科目名	地理学演習
担当者名	土谷 敏治 <small>つちたに としはる</small>

講義のねらい 3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールをたて、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の選択、資料収集、現地調査、データ整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する(第1・2回)。
2. 各自の研究の参考となる論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・調査方法について発表し、全員で討論する(第3~12回)。
3. 夏休み中の研究・調査計画について討論する(第13~15回)。
4. 夏休み中に各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる(夏休み中)。
5. 研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする(第16~25回)。
6. 最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす(第26~30回)。
7. 卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括をするとともに、各自が研究成果を自己評価する(1月)。

履修上の留意点 授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回2~3名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講者が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に本授業専用の欠席届によって、申し出ることが必要である。発表担当日がこれらの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。

成績評価の方法 発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加や発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。また、出席率が7割を下回った場合は、単位の認定をしない。

教科書 ともに指定しない。

参考書等 卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となる。

高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』(古今書院)

履修コード	042001
科目名	地理学演習
担当者名	長沼 信夫 <small>ながぬま のぶお</small>

講義のねらい 卒業論文の作成指導を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール (1~9) 文献・資料の収集、調査・研究の方法などを学習する。(10~15) 各自のテーマに関連する文献の紹介。(16~22) 受講者各自のテーマによる調査・研究の成果を踏まえて、主に口頭発表の形式で中間発表を行う。(23~30) 論文に必要な図表類の作成要領、論文作成上の再検討などを行う。

履修上の留意点 少人数のゼミ形式で行うため、発表や討論などには積極的に参加することが期待される。また、就職活動のためと称して、頻りに欠席しないよう努力すること。

成績評価の方法 出席回数、文献紹介(口頭発表)、レポート、卒論中間発表内容などを基に評価する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 必要に応じて適時指示する。

その他 受講者の希望によっては、1泊2日程度の巡検を実施する予定である。

履修コード	042101
科目名	地理学演習
担当者名	早船 元峰

講義のねらい 卒業論文の作成および口頭発表の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール (1~10) は論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理・写真撮影などの方法について講じる。(11~30) は各自テーマにしたがって調査研究した成果の発表(10回)や関連した論文の内容の紹介およびコメント(10回)をしよう。

履修上の留意点 就職活動や教育実習などで多忙であろうが、努めて出席のこと。活発な討論がなされるよう積極的な態度をのぞむ。

成績評価の方法 出席状況・口頭発表・レジメなどで評価する。

履修コード	042201
科目名	地理学演習
担当者名	高木 正博

講義のねらい 卒業論文の作成指導を主体とする。とくに、1. 適切な論文のテーマを設定すること、2. 研究成果を発表すること、3. 論文作成の具体的な方法を指導することなどである。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や主題図作成を課題として指示する。また、年2回の口頭発表とレジメの作成を義務づける。

履修上の留意点 前期は卒論題目の決定に向けて、各自の研究内容について検討する。(1,2) 卒業論文作成の意義、(3-12) 研究構想と先行研究についての発表、(13-15) 現地調査・研究方法についての検討。後期は、現地調査や文献・資料などから得た結果を整理・考察し、口頭発表する。(16-25) 卒業論文の中間発表。その際、研究上重要と思われる主題図を示す必要がある。(26-30) 卒業論文作成上の諸注意及び執筆要領についての指導。

成績評価の方法 1. 調査・研究は、早期に手掛けることが重要である。2. 授業では積極的に発表・討論に加わってほしい。3. 授業を欠席する場合は、必ず事前に連絡すること。

参考書等 その他 口頭発表や討論への参加状況(60)、課題の提出状況(20)、出席状況(20)を合わせて評価する。適宜紹介する。基本的には教場を使用するが、少人数の時や文献調査が必要な時は教員研究室も使用する。

履修コード	042301
科目名	地理学演習
担当者名	江口 卓

講義のねらい 地理学における論文の作成の流れを、卒業論文の作成を通して理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期：(1-3) 卒業論文の方針発表(4-10) 文献発表(11-15) 中間報告
後期：(16-20) 中間報告(21-25) 中間報告(26-30) 最終報告

成績評価の方法 出席を含む平常点で評価する。

履修コード	042401
科目名	地理学演習
担当者名	平井 幸弘

講義のねらい 自然地理学、とくに地形学およびその関連分野から、各自が自ら興味・関心のあるテーマを発見し、それを調査・分析、さらに考察を加えて、最終的に卒業論文としてまとめるまでの諸段階について、受講生の自主性を重んじつつ、全員参加の発表および討論の場とする。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 1) 各自のテーマの設定、2) 基礎的な文献・資料の収集、3) 基礎的な地図作業・統計分析
(夏期休暇を中心に) 4) フィールドワーク
(後期) 5) 現地調査をもとに課題の整理、分析、考察、6) 中間報告と討論、7) 卒業論文の取りまとめ・執筆

履修上の留意点 自主的にかつ着実に取り組むことが重要。約1週間ほどのフィールドワークは必須。

成績評価の方法 演習への出席および1年を通して各自のテーマへの取り組み状況を総合して成績評価する。

教科書等 指定しない。適宜紹介する。

履修コード	042501
科目名	地理学演習
担当者名	田中 靖

講義のねらい 地理情報学や自然地理学に関する卒業論文の作成指導。
 講義の内容・授業スケジュール 4月：研究テーマの設定。5月～7月：共通テーマでの勉強会、巡検など。夏休み前：方針発表会。夏休み：ゼミ合宿。調査、解析作業。10月：中間発表会。12月：卒業論文提出、発表会。
 履修上の留意点 授業以外でもいつでも相談にのります。できるだけ主体的に取り組むこと。
 成績評価の方法 平常の研究姿勢で評価する。

履修コード	039801
科目名	図学実習
担当者名	清水 長正

講義のねらい 2万5千分1地形図は、環境・文化にかかわらず地理学のいろいろな調査・研究に欠くことはできません。そうした利用者からみて、地形図に表現されている内容についてよく知ることは重要なことです。この実習では、地形図の内容や作製過程などについて『地形図図式』を中心に、利用者として理解を深めてもらうのが目標です。また、近年普及しているデジタルマップの情報や作図ソフトを利用した地図製図などを紹介します。
 講義の内容・授業スケジュール 2万5千分1地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』です。これは本来、プロの地形図作製者が使用する規程書ですが、ここではそれを詳細に解説します。その間にデジタルマップを利用した簡易な編集作業も紹介します。その他、日帰り圏内でレーザーアリダードを用いた平板測量を実施する予定です。
 履修上の留意点 地形図の最新情報・地図業界の動向など知りたい学生は履修するといいでしょう。なお、10月下旬ころに開催されるデジタルマップフェアは見学する予定。
 成績評価の方法 図式に関するミニ試験、地図編集作業の成果品の作製などから評価します。
 教科書 『平成14年2万5千分1地形図図式』（日本測量協会）
 参考書等 利用しやすいデジタルマップや関連ソフトなどは、実習中に紹介します。
 その他 現地実習・見学は受講学生の都合により日時を決めましょう。

履修コード	034201
科目名	日本地誌
担当者名	橋詰 直道

講義のねらい 日本の農村はいかに変容してきたか。この地域変容に関する最近の研究事例を紹介しながら、日本列島の地域的特色とその変容過程を明らかにする。
 講義の内容・授業スケジュール 次の項目を予定している。(1)(2)日本の風土(小テスト・日本の風土)、(3)(4)自然環境と生活(気候景観、集落景観)、(5)～(7)自然環境と生活(地下資源の利用・水田の機能)、(8)～(10)自然環境と生活(植物の利用・日本の災害)、(11)(12)都市化と農業地域(兼業化・中間試験)、(13)(14)農業地域の変容(近郊農業地域・輸送圏芸地域)、(15)(16)農業地域の変容(茶業地域など)、(17)(18)地場産業地域の変容、(19)(20)中山間地域の変容(限界集落・林業地域)、(21)(22)余暇地域の変容(まちおこし)、(23)～(25)リゾート開発(リゾート地域の諸問題)、(26)まとめ(試験)。
 履修上の留意点 毎時間出席をとる(開始後15分以上の遅刻は欠席)。
 成績評価の方法 中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数(8割以上)と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。
 教科書 特に定めない。
 参考書等 参考書や関連する論文は授業で紹介する。地図帳を毎回持参すること。
 その他 講義は、配布プリントとパワーポイントを利用して行う。課題や小テストも実施する。

地
理

履修コード	034301
科目名	外国地誌特講
担当者名	湯田 ミノリ

講義のねらい	インドネシア、特にジャカルタについて理解を深めることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	前期はインドネシアの地理的位置、自然環境、民族構成とジャカルタの成立を、後期は主にジャカルタの産業、人口、都市居住等の問題を取り上げる。 (前期) ・地理的位置（インドネシアの範囲、地理的位置と自然・人文環境との関係） ・自然環境（地形、気候） ・多民族国家インドネシア成立の背景 ・植民地時代のジャカルタ ・インドネシア独立後ジャカルタの発展 (後期) ・ジャカルタ首都圏における経済発展と産業 ・ジャカルタにおける人口動態と就業構造の変動 ・カンボンと都市居住政策
履修上の留意点	参加者には、何らかの具体的な現象に注目した上で、様々な視点からの理解や判断を編み出す努力を期待したい。さらには、休暇等を利用して自主的に海外などを旅行してほしい。
成績評価の方法	講義中に指定する課題の提出と、学年末試験の受験の両方を満たし、かつその成績が基準以上であること。ただし、授業中に行なう小レポートも加味する。
教科書 参考書等	特に指定しない。 適宜紹介する。

履修コード	034401
科目名	アジア地誌
担当者名	高橋 健太郎・江口 卓

講義のねらい	ヒマラヤ地域および中国の地誌について講義する。前期は江口がヒマラヤ地域を、後期は高橋が中国を担当する。
講義の内容・授業スケジュール	前期（江口） 1 ヒマラヤとは？ 2 ヒマラヤの成り立ちとブータンヒマラヤの地形 3 モンスーンとブータンヒマラヤの気候 4 アジアの植生におけるヒマラヤの植生の位置づけ 5 ブータン王国の生活・文化と自然環境 6 ヒマラヤにおける環境問題 後期（高橋） 1. 中国の行政区域と地域性 2. 地域間の経済・生活格差 3. 1人っ子政策と人口移動 4. 都市構造と生活空間 5. 民族政策と文化変容
成績評価の方法	前後期各50%のウエイトで評価する。前期は、レポート（40%）と出席を含む平常点（10%）で評価する。後期は、定期試験（40%）と教場レポート（10%）で評価する。
教科書 参考書等	特に指定しない。 随時資料を配布する。

履修コード	034501
科目名	アメリカ地誌
担当者名	ふたむら たろう 二村 太郎

講義のねらい	本講義は自然環境、政治、経済、社会、文化などの多面的視野からアメリカ合衆国について総合的に理解することを目指す。前期はアメリカ合衆国の全体像と地域区分概念を把握するため、自然環境、歴史、経済活動、政治、文化などについて包括的に講義する。後期は合衆国各地でみられる近年の様々な時事問題をとりあげながら、現代のアメリカ合衆国が有する諸課題をローカル・ナショナル・グローバルな側面から批判的に検討する。
講義の内容・授業スケジュール	(詳細な日程は初回のガイダンス時に指示する) 〈前期〉アメリカ合衆国の全体像と地域区分 自然環境・歴史・人口・都市・産業・政治・文化など 〈後期〉現代アメリカ合衆国の諸問題 貧困と差別、NAFTAと産業空洞化、スポーツと地域社会、環境正義など
履修上の留意点	前期中に50州を覚えてもらうため、各自で地図帳を用意し毎回持参すること。なお、受講者の人数・関心に応じて内容を変更する場合がある。
成績評価の方法	中間試験(前期終了時)(20%)、期末試験(20%)、文献小レポート(35%)、授業中の小テストおよび課題提出(25%)の四項目より総合的に評価する。また、講義内容に沿った英文雑誌記事を用いて定期的にボーナス課題を課し、その結果を加味する。
教科書等 参考書 その他	なし。講義・小レポート用の文献については初回のガイダンス時に指示する。 参考書は初回のガイダンス時に紹介する。 ・初日に詳細なガイダンスを行うので、履修希望者は必ず出席すること。 ・講義は写真、ビデオ題材などを活用するほか、内容に応じてグループディスカッションも取り入れる。一方通行的な講義を極力回避するため、受講者には積極的に講義中の議論へ参加していく姿勢が求められる。

履修コード	034601
科目名	ヨーロッパ地誌
担当者名	いわま のぶゆき 岩間 信之

地
理

講義のねらい	本講では、多種多様な歴史や文化を有し、多くの問題を抱えながらも大きく生まれ変わろうとしているヨーロッパについて解説する。なかでも都市問題、商業問題に着目する。講義はパワーポイントを使用しながら進める。また、卒論執筆を念頭におき、読図や資料検索(英語)、都市・商業問題に関する調査方法についてもあわせて解説する。
講義の内容・授業スケジュール	前期:ヨーロッパ各国の地誌を、実例を用いながら解説する。 後期:ヨーロッパ諸国が抱える都市問題やEU統合に伴う経済活動の変化について解説する。
履修上の留意点	地誌の講義であるため、地図帳を持参すること。また、講義毎に小テストを実施するので、積極的に参加すること。
成績評価の方法	成績は出席30%、小テスト20%、定期テスト50%で評価する。定期試験は、事前に提示しておいた課題についての調査結果を記述するというスタイルをとる。
教科書	Neil Wrigley and Michelle Lowe "Reading Retail" Oxford University Press. 5,729円(ペーパーバック)
参考書等	ジョーダン著・山本・石井訳『ヨーロッパ文化』(大明堂)5,160円

履修コード	034701
科目名	経済地理学
担当者名	矢延 洋泰

講義のねらい

経済的諸活動の空間構造を地理学的に捉えてみたい。なかでも世界で最も経済発展が著しい東アジア地域を中心に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 地理学の中における経済地理学とは (2) 経済を中心にみた世界史の潮流 (3) 経済社会の変化を探る (4) 東南アジアの基礎知識 (5) アジア・ダイナミズムの源泉を探る-OECDレポートの衝撃とその分析、アジアNIES誕生の意味。(6) 成長の基層文化 (7) 戦後日本の経済発展と周辺アジアとの関係 (8) 東南アジアにみる地域協力機構の色々-ASEANの成立過程、シンガポールの経済開発と成長の限界、成長の三角地帯構想の背景、(9) 冷戦崩壊後の世界と日本-冷戦とバブル崩壊後の日本の対応、幻のEAEC構想とAFTA実現の意味、太平洋を跨ぐAP ECの思惑、日米中が描くASEANを核にした地域協力、(10) 「ハブ」と「スポーク」の考え方 (11) 大航空時代の周辺アジアと日本の動向

履修上の留意点

学ぶことに意欲を持ち、アジアに興味と関心のある学生を期待します。文献紹介は適宜するつもりですが、それらは必ず読むようにしてください。

成績評価の方法

学期末の筆記試験(80%)と、授業内に提出を求める課題、アトランダムに取る出席(20%)で評価します。

教科書

教科書は使いませんが、適宜プリントを配布します。配布は基本的に2週としますので、忘れずに取得するようにしてください。

参考書等その他

矢延洋泰『インサイト東南アジア』勁草書房 3255円 ISBN4-326-65182-2
質問は授業の後に受け付けます。諸般の事情で授業スケジュールを変更する場合があります。

履修コード	034801
科目名	産業地域論
担当者名	須山 聡

講義のねらい

日本の在来工業地域を事例に、地域に展開する諸産業の地域的な分析方法を提示する。講義の最初では、経済地理学的な分析の枠組みを批判的に提示する。工業は従来よりその経済的側面が強調され、立地・集積といった分布現象や工業地域に内包されたメカニズムもまた、経済的ロジックに基づいて説明される傾向が強かった。そのため、工業地理学は経済地理学の枠組みに押し込められ、地域を構成する諸要素との有機的な関係性といった地理学に独自の観点を捨象するに至った。

産業は、その地域の経済のみならず、地域社会や文化の構成要素でもある。本講義では、地域社会や文化の担い手としての産業の側面を強調する。具体的には土地利用、景観、コミュニティ、労働力、社会組織・制度などと工業(産業)の関係を検討し、工業を地域的構成要素のなかに位置づけ直すことを眼目とする。その際、従来の工業地理学ではあまり用いられてこなかった分析手法についても論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

以下の予定で講義を進める。

- 1 経済地理学の論理による工業現象の説明様式
- 2 古典的経済地理学のアプリケーション(輪島漆器業、地域構造論)
- 3 分布・集積の新たな説明(輪島漆器業、インキュベータ「仮説」)
- 4 在来工業地域における人口移動パターン(輪島漆器業、ライフパスの援用)
- 5 在来工業とコミュニティ(輪島漆器業、産業地域社会)
- 6 在来工業による新たな景観形成(井波木彫業、景観の「演出」、「伝統」の誤謬)
- 7 在来工業を支える「制度」(結城紬、イエ制度)
- 8 文学の中の地理空間(結城紬、有吉佐和子『鬼怒川』)
- 9 生産と生活-中小企業集積地域に対する視点-

履修上の留意点

出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。

成績評価の方法

出席状況(50%)と試験(50%)を規準とする。

教科書

須山 聡『在来工業地域論-輪島と井波の存続戦略-』(古今書院)2004年
購入を義務づけるものではないが、あった方が絶対に便利。

履修コード	039901
科目名	地形学
担当者名	平井 幸弘

講義のねらい 私たちが今生きている社会において、ある「地域」を理解し、そこでの様々な開発や環境問題、あるいは災害などを的確に理解し、さらに適切な対応策を講じるためには、その場所がもっている自然的諸条件の特質を明らかにしておくことが、まず重要である。この講義では、そのような自然的諸条件のなかで、「地域」の場の条件となっている様々な地形について、地形発達史的側面（おもに前期）と地形環境誌的な側面（主に後期）の両方から理解し、様々な環境問題について学び、その解決策についても考えたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、主として地形発達のバックグラウンドとしての（1）気候変動（2回～5回）、（2）海水準変動（6回～9回）、（3）地殻変動（10回～12回）、（4）火山活動（13回～15回）について学ぶ。後期は、前期で学んだことを踏まえて、関東平野の地形発達と地形誌として、（1）利根川上流域の火山活動と地形発達（16回～19回）、（2）中流域の関東造盆地運動と平野の地形発達（20回～23回）、（3）下流沖積低地における海面変動と低地の地形発達（24回～27回）、（4）関東平野の環境問題とまとめ（28回～30回）。

履修上の留意点 現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

成績評価の方法 出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

教科書 とくに指定しない。

参考書等 貝塚爽平ほか『日本の地形 4 関東・伊豆小笠原』（東大出版会）2000年

その他 高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

履修コード	040001
科目名	地形学実習
担当者名	清水 長正

講義のねらい 地形とは簡単に言えば地べたの形のこと。我々はこの地形上で活動し生活しているのだが、最近ではアーバンライフが定着したせいも、地形を見る目が一般に退化していると言わざるをえません。いわんや地理学科の学生までも地形の見方が苦手？。環境・文化を問わず地理的現象の大半は地形上に立脚しているのですから、地理学を勉強した中で地形のことも少しでも知っておこうよ、というのがこの実習の目標です。さらに地形を観ることによって、その土地が地震や洪水などの災害の度合いの予測評価も可能なので、これは一生役にたつワザになるかもしれません。

講義の内容・授業スケジュール 実習の内容として、空中写真判読、現地調査に重点を置きます。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握のこと。難しそうに思うかもしれませんが、まずやってみることが肝心で、あとは「習うより慣れろ……」でしょう。現地調査については、休日を利用した半日2回程度と、夏休み前半に1泊2日程度の巡検を行います。現地における地形の実測と、地形を構成する物質（とくに第四紀地質）の露頭調査などもやってみましょう。

履修上の留意点 地形学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、同時に履修することが望ましいでしょう。また、空中写真実体視については経験済みの人も多いでしょうが、もう一度、コツを手ほどきします。

成績評価の方法 空中写真判読図・巡検レポートなどにより評価。

教科書 テキストは使用しない。

参考書等 参考書は実習中に指示します。

その他 巡検の地域や日程など、受講する学生と相談して決めます。

履修コード	034901
科目名	社会地理学
担当者名	伊藤 修一

講義のねらい

人文地理学で注目する地域の可視的な特徴や差異には、不可視な社会的構造や関係が空間に表出した結果と理解できるものも少なくない。また、そうした社会的構造を支えるものが空間や場所であるともいえる。この講義では、特に都市に注目し、事例を取り上げながら、そうした構造や関係を空間や場所から理解する力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

主な講義のテーマは以下のI～VIIである。社会地理学の流れを概説した後に、最近の都市の再開発に伴う都市住民の社会的変化や、女性や若者、外国人といった人口のサブ・グループと空間・場所との関係に注目する。後半には犯罪や情報技術に関連した社会問題についても取り上げ、最終的には学んだことをベースとして、各自の関心に基づいて社会地理的な課題に取り組んでもらう。

I都市生活様式とその経済的背景の変化(2～5)、II都市の成長・開発(6～8)、IIIジェンダー・家族・若者(9～18)、IVエスニシティ(19、20)、V犯罪と防犯(21、22)、VI情報技術の発展と社会変化(23、24)、VII社会地理学の実践(25～30)

なお、受講者数によって構成や内容を変更することがあるため、詳しくは第1回の講義の際に述べる。

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。一次方程式や対数といった数学の基礎知識に不安がないことが望ましい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

原則として学年末の試験結果から評価する。なお、追試験は実施しない。

特に指定しないが、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

ノックス、P.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳、『新版 都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0

町村敬志・西沢 晃彦、『都市の社会学—社会がかたちをあらわすとき』、有斐閣、2,520円、

ISBN4-6411-2103-6

水内俊雄編、『空間の社会地理』、朝倉書店、3,990円、ISBN4-2541-6715-6

その他

講義ではプリントを随時配布する。

履修コード	035001
科目名	外書講読
担当者名	佐藤 哲夫

講義のねらい

この授業では、地理学で用いられる英語の語彙を増やすことと、地理に関する英文をなるべく速く読むことを目標にして、中学校レベルの日本地理の英訳本を読む。なお授業範囲は大学院地理学専攻の入学試験(英語)の出題範囲に含まれている。

講義の内容・授業スケジュール

参加者にワンセンテンスずつ逐次訳をしてもらい、重要な部分に解説を加えながら読み進める。毎回、既習範囲の和文英訳の課題を提出してもらう。

(1～3) Location and Environment (4,5) Historical Overview (6～8) Culture and Tradition (9～11) Changing Industrial Structure (12,13) Population and Urbanization (14,15) Japan and Japanese in Globalization (16～18) The Kanto District (19～21) The Chubu District (22～24) The Kinki District (25～27) The Hokkaido District (28～30) The Kyushu District

履修上の留意点

下の文章は最初に用いるテキストの preface である。この意味が辞書なしで理解できる程度の英語力を持っている諸君を、受講対象者として想定する。

受講希望者が30人を超える場合は、人数制限を行うことがあるので、第1回目の授業には必ず出席すること。

This book is intended to provide a geographical overview of Japan to readers who are unfamiliar with Japan's regional geography. The book consists of two parts. Chapters one through six present the physical, historical, cultural, economic, and social features of Japan. Chapters seven through thirteen deal with regional geography by dividing the country into seven districts. The chapters on regional geography are based largely on a Japanese geography textbook written by H.Sato and others. The first six chapters were newly written for this book by the editor. I hope that this book will be of help in understanding the regions and regionality of Japan.

成績評価の方法
教科書

成績は出席と課題提出の状況のみで評価する。試験はしない。レポートによる救済もしない。

テキストはコピーして配布する。出所は下記のとおり。

YAGASAKI, Noritaka ed.2002. 『Japan-Geographical Perspectives on an Island Nation (Third Edition)』(帝国書院) 1890円 ISBN 4-8071-5113-4

履修コード	040101
科目名	気候学
担当者名	江口 卓

講義のねらい 日本および世界の気候の成り立ちとその地域的・季節的な違いを理解することを目標とする。前期は日本の気候、後期は世界の気候を中心に講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点 (1) 気候学の流れ、(2-4) 世界と日本の気候区分と季節区分 (5-15) 日本の気候の季節変化とその地域性 (16-18) 世界の気候のしくみ (19-30) モンスーンアジアの気候
気候に関する予備知識は必要としないが、ステップアップの講義であるので、講義の概要は復習のうえ理解し、次の講義に臨むこと。

成績評価の方法 各学期末の筆記試験と出席を含む平常点を総合して評価する。

教科書 特に指定しない

参考書等 中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』(岩波書店)
気候影響・利用研究会編『日本の気候I』『日本の気候II』(二宮書店)
鈴木秀夫『風土の構造』(原書房)

履修コード	040201
科目名	気候学実習
担当者名	江口 卓

講義のねらい 気候を研究する上で必要となる調査の方法およびデータの解析手法を身につけることを目標とする。実習は次の内容に即して行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 気候観測 (1-4) : 測器の使い方、観測の実施、観測データの処理
- 2) 気候データの解析 (5-10) : テーマを決め、気象庁観測データの解析を行う。
- 3) 天気図の解析 (11-15) : 上記のデータ解析によって明らかになった現象の原因を天気図によって分析する。

履修上の留意点 気候学の講義を履修していることが望ましい。

成績評価の方法 レポートおよび出席状況を総合して評価する。

教科書 特に指定しない

履修コード	040301
科目名	水文学
担当者名	長沼 信夫

講義のねらい 地理学の一分野でもある水文学の基本的な見方・考え方、さらに水文環境の現状などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール (1-3) 水の科学としての海洋学、陸水学、水文学—歴史と現状の概要— (4-5) 地球上の水循環過程と水量 (6-14) 陸地における水の基本的な在り方—河川水、湖沼水、地下水の存在状況など— (15) 前期試験 (16-20) 水文学の中心概念である水収支の見方・考え方 (21-27) 水と地域と人間活動について、横浜・川崎市域や南西諸島などを事例に、水環境の現状に言及 (28-29) 科学としての水文学、水文地理学に関連する諸問題 (30) 後期試験

履修上の留意点 選択科目であるため、水文学、水文地理学、水文環境などに興味ある学生諸君の受講を希望する。出席状況と授業期間内に実施する2-3回程度の筆記試験を基に評価する。

教科書 地学団体研究会編：「地球の水圏—海洋と陸水—」 東海大学出版会 2,625円

参考書等 講義中に適時指示する。

その他 教科書を使用するが、必要に応じ教材プリントなどを配布する。

地
理

履修コード	040401
科目名	水文学実習
担当者名	高木 正博

講義のねらい 河川や地下水・湧水などの測水調査をとおして、水文環境の一端を明らかにする。野外での水量や水質調査及び採水試料の分析実験に重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール (1-6) 河川や地下水・湧水の水量・水質などに関する基礎的な学習及び調査目的、水域・地点の選定、調査項目、計測器材の特徴と使用方法など。(7-9) 野外での測水調査。(10-12) 水質分析。(13-15) 調査結果の整理、図表の作成、解析・考察など。測水調査は1～2回程度予定している。

履修上の留意点 野外での調査、実験室での分析は原則として週末に行うので、授業時間以外にもかなりの時間を必要とする。

成績評価の方法 授業・調査中の実習態度を基礎点(50%)とし、提出物の成果(50%)と合わせて評価する。

教科書 授業時間にプリントを配布する。

参考書等 新井 正『水環境調査の基礎』改訂版(古今書院)
日本地下水学会編『名水を科学する』、『続・名水を科学する』(技報堂出版)
半谷高久・小倉紀雄『水質調査法』(丸善)
日本分析化学会北編海道支部『水の分析』(化学同人)
その他、随時紹介する。

履修コード	035101
科目名	人口地理学
担当者名	平井 誠

講義のねらい 現在「少子高齢化」という現象が関心を集めているが、日本ではこれまでも「過疎・過密」「東京一極集中」「ドーナツ化」など、人口に関する事柄が社会的な課題として議論されてきた。これらの問題は、人口規模や人口構造の地域的差異に関する問題であり、空間的な視点、地理学的な視点から捉えることによってその理解が容易になる。

講義の内容・授業スケジュール 本講義は、人口の規模や構造、およびその変化に関する地域性について考える。前期は、人口現象の地域性を把握する上で必要となる基本的な指標やその利用を紹介する。後期は、これらの指標を用いながら、少子高齢化の現状を考案する。(各テーマについて2～3回講義する。)

1. 人口変化と人口学的方程式
2. 人口変化の要因(出生、死亡)
3. 人口構造(年齢構造、産業構造)
4. 人口分布
5. 人口移動
6. 中間試験
7. コーホートの考え方
8. 少子化と高齢化(展開と要因)
9. 高齢社会の地域性
10. 高齢人口移動
11. 高齢者福祉の地域性
12. まとめ

履修上の留意点 教科書は指定しない。配布資料を用いて講義を行う。簡単な実習を行う場合がある。

成績評価の方法 前期終了時の中間試験および後期のレポート、平常点(出席や提出物)の総合評価とする。

教科書 指定しない。

参考書等 阿藤 誠『現代人口学』日本評論社。
荒井良雄他『日本の人口移動 ライフコースと地域性』古今書院。
大友 篤『日本の人口移動』大蔵省印刷局。
小笠原節夫『人口地理学入門』原書房。
濱 英彦・山口喜一編『地域人口分析の基礎』古今書院。
石川義孝『人口減少と地域』京都大学学術出版会。
その他講義中に紹介する。

履修コード	035201
科目名	歴史地理学実習
担当者名	小田 匡保

講義のねらい 歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うことが必要になる。この科目では、歴史地理学の史料（あるいは研究対象）として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行なう。授業時間以外に、博物館等での古地図見学または大学周辺のミニ巡検も1、2回実施する。

履修上の留意点 第1回：オリエンテーション、第2回：古地図概説、第3回～：履修者の発表

成績評価の方法 旧漢字の知識があることが望ましい。
成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。無断欠席が3回になった段階で、単位不要と判断する。

教科書等その他 山下和正『江戸時代古地図をめぐる』（NTT出版）、本体1,650円
林英夫監修『増訂近世古文書解読字典』（柏書房）、本体2,524円
教科書が品切になって入手できない場合は、別の授業内容を考える。

履修コード	040501
科目名	地球物理学
担当者名	柳田 誠

講義のねらい この講義では、地球表面で起こるさまざまな現象を地質学、地形学、地球物理学的な立場から説明する。そのために地球の深部、浅部の構造や地球の歴史についても知識を説明する。そして、これらの知識を踏まえて地球環境の将来を考えてゆく。

講義の内容・授業スケジュール 前期は1地球の姿と形、2地球の内部構造、3地球の年代と歴史、4大陸移動説とプレートテクトニクス、5海底の古地磁気、6地震と火山の分布、7三種類のプレート境界、8弧状列島、後期は9中央海嶺（海底の山脈）、10伊豆半島の衝突、11地震活動、12活断層、13地震予知、14山はどうしてできたか、15アイソスタシーによる隆起、16火山活動と火山の地形、18第四紀と未来の予測

履修上の留意点 受講生は地形学と第四紀学の講義を履修するか単位を取得していることが望ましい。

成績評価の方法 成績は授業中に提出してもらってレポートと学期末の試験で評価する。出席は必ずしも重視せず、地球物理学の内容を自分の知識として理解できているか、という点で評価する。

教科書等その他 指定しない。プリントを配布する。参考書はそのつど紹介する。
普段の授業中、あるいは授業後の活発な質問、議論を期待する。

地
理

履修コード	041311
科目名	景観地理学
担当者名	須山 聡

講義のねらい 前期は地理学の基礎的な概念である景観について、伝統的な景観論から人文主義的な視点までさまざまな観点を紹介することにより、景観を観察することによって地域や空間、場所の何がわかるかを講義する。また、後期は文化景観を構築する営力となる、人間の行動と知覚の空間的な視点と分析手法を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地域概念（キーワード；地誌学、人文地理学、地域、等質地域、結節地域）
2. 景観の諸相1（キーワード；景観、自然景観、文化景観、集落景観）
3. 景観の諸相2（キーワード；江戸、風水思想、ディズニーランド、観光資源）
4. 景観の諸相3（キーワード；富士山、風景印、写真、読みの強要）
5. 人間の空間的行動（キーワード；時間地理学、Quality of Life、デイリーリズム）
6. 生きられる空間（キーワード；都市と高齢者、ジェンダーの地理学、差別と地理学）
7. 空間の認知（キーワード；メンタルマップ、選好地図、アクションスペース）
8. 空間の評価（キーワード；都市のイメージ、空間構成のエレメント）

履修上の留意点 論理的な文章表現力を養うため、毎回約400字程度のエッセイ、または要約文の作成を課する。

成績評価の方法 出席と試験で評価する。

教科書等 指定しない。
配付資料などで随時紹介する。

履修コード	040601
科目名	土壌地理学
担当者名	<small>うるしげら かづこ</small> 漆原 和子

講義のねらい 私たちの最も身近にあり、その恩恵に浴している土壌、植生の分布様式のもつ規則性を理解しよう。

講義の内容・授業スケジュール 前期では、土壌の定義と生成因子、生成作用について述べる。後期では、一定の気候下ではその環境に適応した特色ある植生が分布し、熟成した土壌が生成されることについて学ぶ。世界の気候帯、植生帯、土壌帯の分布様式について考える。さらに世界における各種の生態型や土壌型ごとに営まれている生活、農業、作物について考える。母材が火山灰の時、日本では黒ボク土が生成されるが、なかなか利用しにくい土壌である。どうして日本にしかないのか、どうして困った土なのかも説明する。

1. 土壌の定義
2. 各種土壌母材との土壌生成作用
3. 土の中では何が起きているか。
4. どうして土壌があるところで農業ができるのだろうか。
5. 世界の土壌はどんな性格か、どんな自然条件のところに生成されるのか。
6. 特殊な母材の土壌
7. 人間が土壌の扱いを間違えると、何がおこるのか。

履修上の留意点 この授業は他の地理学の分野でほとんど耳にするこのない専門用語が使われる。しだがつて、欠席すると理解できなくなり、容易についてこれなくなる。毎回出席すること。また、復習をしていくことが望ましい。

成績評価の方法 毎回出席をとる。出席とテストで評価。
教科書 永塚鎮男・漆原和子訳『世界の土壌』2004年刊（古今書院）3,600円

履修コード	040701
科目名	生物地理学
担当者名	<small>さかい あきこ</small> 酒井 暁子

講義のねらい 生物地理学は、生物多様性の地理的なパターンとその成因や形成プロセスを、世界レベルから一つの山の斜面といった様々な空間スケールで解明します。本講義では生物地理学の基礎と植物を中心とした事例研究を紹介し、地球上の生物圏の現状と背景に対する理解を深めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 生物地理学とはどのような学問か
- (2-5) 生物区系地理学：地球レベルおよび日本周辺の生物の分布パターン
- (6-15) 生物生態地理学：生物相の成立・存続に関する生態学的規則や、小スケールでの生物相と環境要因との関係
- (16-30) 歴史的生物地理学（系統地理学）：現在の生物相の形成された歴史的背景（生物の系統進化と地史的な時間スケールにおける移動分散）

成績評価の方法 学期末試験と出席状況を基本に評価します。

履修コード	040801
科目名	計量地理学実習
担当者名	土谷 敏治

講義のねらい	今日、多くのデータを統計的・計量的方法を用いて、客観的に分析するためには、コンピュータを活用できることが前提条件となっている。また、地図の作成や画像データもコンピュータ処理が一般化している。本実習では、パーソナルコンピュータをベースとして、計量地理学の学習に必要なこれらのソフトウェア使用方法を習得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	次のようなスケジュールに基づいて、実習を進める。 1. Microsoft Excel によるデータの入力・加工 (第1・2回) 2. データの分類と抽出・グラフ作成 (第3・4回) 3. 統計分析 (第5・6回) 4. Adobe Illustrator による地図作成 (第7~9回) 5. Adobe Photoshop による統計地図作成 (第10・11回) 6. Adobe Photoshop による写真データの加工 (第12・13回) 7. Microsoft Power Point によるプレゼンテーション (第14・15回)
履修上の留意点	計量地理学の受講を希望しているが、Microsoft Excel・Power Point・Adobe Photoshop・Adobe Illustrator を使用して、統計的分析やグラフ・地図作成・プレゼンテーションができない学生を対象としている。これらのソフトウェアを十分活用できる学生は受講の必要がない。また、コンピュータの基本操作や Microsoft Windows の操作を習得していることを前提とする。ただし、これらの未習得学生の受講も可能とするため、未習得者は必ず第1回目の授業に出席すること。実習科目であるため、毎回の出席と課題の提出が不可欠である。また、総合情報センターを利用するため、ユーザIDとパスワードを用意しておく必要がある。
成績評価の方法	各課題を得点化して合計し、さらに出席状況を加味して評価する。
教科書	とくに指定しない。
その他	教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

履修コード	040901
科目名	測量学
担当者名	田中 靖

地
理

講義のねらい	測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を正確に把握する技術を研究する学問である。さらに最近では従来の「測る」技術にとどまらず、空間データを効率的にマネジメントする技術と合わせて「空間情報工学」としてその範囲を広げている。本講義では古典的な測量方法による地図作成法からGISによる地図作成法までを扱い、国家資格である測量士補を取得するのに必要な知識の習得を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	0. 測量の数学。1. 地球の姿。2. 誤差論。3. 地理座標。4. 角測量。5. 距離の測定。6. 水準測量。7. GPS測量。8. 空中写真測量・空中写真判読。9. GIS (デジタルマッピングと国土数値情報)。 それぞれの項目に2~3時間程度をあてる予定。年5回程度課題を出すので必ず提出すること。
履修上の留意点	この講義は、測量士補取得 (国家試験免除) のための必修科目である。高校教科書レベルの数学 (特に三角関数と確率・統計) を復習しておくこと。
成績評価の方法	定期試験 (80%) + 提出課題の評価 (20%)
教科書	包国・茶畑・平田『絵とき 測量』2,940円 (税込)。オーム社出版局
参考書等	丸安隆和『測量学 (上)』3,255円 (税込) 『測量学 (下)』3,360円 (税込)。コロナ社
その他	村井俊治『改訂版 空間情報工学』2,400円 (税別)。日本測量協会 授業は講義中心に行うが、年間数回の課題実習を行う。

履修コード	O41101
科目名	第四紀学
担当者名	鈴木 毅彦

講義のねらい 第四紀とは最近約200万年間（最近では260万年間とする考えが有力になった）の地質時代をさす。この時代は、地形、気候、動植物、人類などが現在みられる姿となった時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは、人類の動向も含めた地球の将来予測につながる。本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での現象と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール 講義前半では第四紀の各種基礎的概念を解説、後半では日本列島の第四紀の主要な現象のうち、地形発達、火山活動、第四紀地殻変動などに焦点をあてる。(1-2)第四紀の概要と学際科学としての第四紀学の特徴、(3-4)氷期の認定に関する歴史、(5-7)大陸氷床の発達と海面変化からわかる氷期・間氷期サイクル、第四紀海面変化の復元（日本列島および関東地方を例として）、(8-9)海洋底堆積物、酸素同位体比変化から復元される氷期・間氷期サイクル、(10)地球上各域における第四紀の気候変化、(11-12)氷期・間氷期サイクルの原因とミランコビッチサイクル、(13)数値年代と放射年代測定およびその原理、(14-15)第四紀の古地磁気編年とレス編年、(16-21)第四紀のテフクロノロジー：火山噴火の多様性、原理、日本列島および関東地方における応用例、(22-24)第四紀の火山活動、(25-27)第四紀地殻変動、活断層、山地形成、(28-30)人類の歴史

成績評価の方法 主には前期末のレポートと後期末の筆記試験で評価する。追試験は実施しない。

教科書 教科書は特に指定しない

参考書等 参考書として、町田ほか編『第四紀学』（朝倉書店）、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）、成瀬『第四紀学』（岩波書店）をあげる。それ以外は講義中に紹介する。

その他 授業の方法：講義、なお時間等が許せば日帰りの野外巡検を行う予定である。

履修コード	O41001
科目名	現代地理学特論
担当者名	平井 幸弘

講義のねらい 人為的な開発行為によって傷ついた自然の再生を目指す「自然再生推進法」が2003年1月に施行され、2007年11月には「第三次生物多様性国家戦略」が策定されるなど、近年身近な自然・生態系に関する行政や一般市民の関心が高まっている。また、IPCCによる「第4次統合報告書」も2007年11月にまとまり、地球温暖化に対する様々な対応が強く求められるようになった。このような国内外における現代の環境問題を踏まえ、本講義では、とくに水辺の環境問題の事例として、それぞれの地域における人間と環境の関係について、主として自然地理学の視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール 前期は主として日本国内の水辺（河川、海岸、湖沼）を対象として、(1)日本のラムサール条約登録湿地をめぐる課題と意義（2回～6回）、(2)日本の湖沼（霞ヶ浦、宍道湖・中海など）における自然再生への取り組み（7回～10回）、(3)日本の海岸（オホーツク海沿岸、東京湾、有明海など）における近年の環境問題（11回～15回）。後期は主としてアジアの水辺を対象として、(1)タイのチャオプラヤ川、ソクラー湖、アンダマン海での環境問題（16回～20回）、(2)ベトナムの江河デルタ、メコンデルタ、フエのラグーン地域での海面上昇問題（21回～25回）、(3)韓国の始華湖、セマングム干拓地、ほか（26回～30回）。

履修上の留意点 現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

成績評価の方法 出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

教科書 とくに指定しない。

その他 高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

履修コード	041201
科目名	地理学特講I
担当者名	橋詰 <small>はしづめ</small> 直道 <small>なおみち</small>

講義のねらい	今日わが国の都市が抱える諸問題について「都市計画と社会資本整備」という視点から考える。ここでは特に、都市生活者のための生活環境整備手法の歴史とその課題について紹介する。
講義の内容・授業スケジュール	次の項目を予定している。(1)(2)都市計画(都市計画と地理学・都市計画の概要)、(3)～(5)東京の都市計画史(震災復興計画・戦災復興計画)、(6)(7)都市緑地の整備(生産緑地・公園緑地計画と緑地保全政策)、(8)(9)日本の住宅開発史(郊外住宅地の誕生・郊外住宅地の発達)、(10)(11)アメリカの郊外住宅開発史(リバーサイド・ラドバーンなど)、(12)(13)英国の田園都市運動(ガーデンヴィレッジ、ガーデンシティ、ガーデンサブurb)、(14)まとめ(試験)
履修上の留意点	「都市地理学」の単位を取得した後の受講が望ましい。出席状況や授業への参加状況も重視する。毎時間出席をとる(開始後15分以上の遅刻は欠席となる)。
成績評価の方法	定期試験の成績及び授業への出席日数(%以上)が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。
教科書	特に定めない。
参考書等	越澤明:『東京都市計画物語』(ちくま学芸文庫)1300円、日端康雄:『都市計画の世界史』(講談社現代新書)1000円、その他の参考書や論文は授業で紹介する。
その他	講義は、配布プリントとパワーポイントを利用して行う。

履修コード	035301
科目名	地理学特講II
担当者名	長沼 <small>ながぬま</small> 信夫 <small>のぶお</small>

講義のねらい	地中に存在する水ー地下水・温泉水ーについて、水文地理学的な視点から講義する。
講義の内容・授業スケジュール	(1～2)地球上の水と地中に存在する水 (3～4)地下水の在り方とその特徴 (5～6)地下水の流動、水理、水質など (7)地下水の存在量と使用量 (8)地下水を取り巻く環境問題 (9～10)温泉の定義、温泉法、温泉の成因など (11～13)温泉の存在状態 (14～15)温泉利用と地熱発電の諸問題
履修上の留意点	地下水や温泉に興味のある学生諸君の受講を希望する。また、選択科目の「水文学」を同時に履修することが望ましい。
成績評価の方法	出席回数と授業内に実施する筆記試験によって評価する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	必要に応じて適時指示する。
その他	受講者が少人数の場合、希望によってはゼミ形式で実施することもある。

履修コード	035401
科目名	地理学特講III
担当者名	澤渡 貞男

講義のねらい 文学部地理学科学学生の学問的専門履修科目の応用と実践を意図して通年課程で設置された「特講III」は、観光産業の中核である運輸・宿泊・旅行業に共通する国家資格「旅行業務取扱管理者試験」の受験を目指す学生への補助的講座として設置されたものである。

講義の内容・授業スケジュール 管理者試験には総合と国内の区別があり、受験科目は、①旅行業法及びこれに基づく命令についての知識 ②旅行業約款、運送約款及び宿泊約款 ③国内旅行実務（運賃料金、観光地理、旅行実務） ④海外旅行実務（国内と同項目に加え出入国関連法令及び手続実務、観光英語）で、国内は上記①②③科目で例年9月に実施、総合は上記全科目で10月に実施される。これを踏まえ、次のようなスケジュールとする。（1～3）旅行業界の現状と歴史（4～8）旅行業法（9～15）標準旅行業約款、国際航空運送約款（16～19）出入国に関する諸法令（20～23）航空運送、鉄道、バスに関する諸知識（24～26）ホテル、レストランに関する諸知識（27～30）旅程管理業務、旅客サービス業務の実際。これらに関連して必要となる外国事情等は実際の経験をベースにした内容をAVを利用して講義する。

履修上の留意点 業法約款の理解には旅行業の現状理解が不可欠との立場から、冒頭に業界の現状・歴史等について概括的な講義を行うので必ず出席のこと。また、各自の経験に照らして考えると理解し易いので、日頃から業法・約款的な見方で接するように心がけてほしい。受験科目の学習については、通信講座等は専門講座により受験対策を講じられるようお勧めする。

成績評価の方法 前期及び後期の出席率並びに定期試験の成績をそれぞれ評価のうえ、単位付与並びに成績評価とする。なお総合国内旅行業務取扱管理者試験合格者には無条件4単位付与とする。

教科書 中央書院編集部『総合または国内旅行管理者試験合格ハンドブック』2009年版 3,400円（ISBN978-4-88732-175-5(株)中央書院）東京都千代田区猿樂町2-8-11。なお、必要に応じ、プリントを配布する。

参考書等 業法・約款は上記教科書に編纂されている。国際・国内の航空・鉄道時刻表、旅行業小六法、観光白書、旅行会社の制作する広告・宣伝印刷物。

履修コード	035501
科目名	地理学特講IV
担当者名	山縣 毅

講義のねらい 本講義の目的は、地理学の研究に必要なと考えられる地質学の基礎的知識・技術を学習することにあります。地質学は、岩石・鉱物や地層、化石などから、地球の成り立ちや、過去の自然環境、その環境の決定要因を解明していく研究分野です。そのために、地球自体から様々なデータを読み取っていくことが必要になります。本講義では、その基礎となる、岩石・鉱物の鑑定、地層の観察、地質図の読解などのスキルを修得できるように授業を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール
〔前期講義〕
1. 地質学概論（1、2回）
2. 鉱物と岩石の基礎知識（3、4回）
3. 鉱物鑑定法（鉱物観察の実習、5～9回）
4. 岩石鑑定法（岩石観察の実習、10～15回）

〔後期講義〕
1. 地層の基礎知識（16、17回）
2. 地質構造の基礎知識（18、19回）
3. 地層の観察法（日帰り野外実習を含む、20～22回）
4. 地質図の読み方・書き方（地質図学の実習、23～30回）
履修上の留意点 1. 後期授業期間中の休日に、野外実習（一日日帰り）を、三浦半島城ヶ島で行います。
2. 授業は、実習が中心になります。
3. 毎回、出欠をとります。

成績評価の方法 実習のレポート、授業の出席状況にて、成績を評価します。
教科書 小島丈兒監修「新訂地学図解」第一学習社 定価800円 ISBN4-8343-4007-4
その他 必要な資料は、授業で配布します。

履修コード	041301
科目名	地理学特講V
担当者名	平井 史生 <small>ひらい みるお</small>

講義のねらい 社会的に関心の高い時事問題を題材とし、現象の空間的な把握や分布図の重ね合わせ等の地理学的手法を用いて分析していきます。卒業論文の主題選定に役立つ話題や切り口を多く提供することをめざしています。また、学生の皆さんと共に講義を創り上げていくスタンスを目標としています。地理学に関する専門的な知識があまりなくても受講はできます。

講義の内容・授業スケジュール 参考までに2008年の題材をお知らせします。2009年も同様な話題を取り上げます。「スギ花粉の大飛散とその背景」「2007年台風9号」「2008年盛夏の雷雨」「竜巻被害の特徴」「梅雨の特性」「地球温暖化」「新潟・福井集中豪雨」「南極オゾンホールと北極海の海水」「ヒートアイランド」「冬季の降雪とスキー場の立地」など。大きな自然災害が発生した場合には速報的にすぐに取り上げる予定です。選択科目の「気候学」と最も関連が深く、自然地理学的な題材を多く扱いますが、興味の対象を絞り込むわけではなく、時には人文地理学的内容も扱います。

履修上の留意点 講義資料については、ウェブサイトに掲載し、講義はコンピューター教室で実施します。端末台数の制約から履修人員を最大64名するつもりです。作図などの作業を伴う実習的性格の強い科目です。予備知識はなくても大丈夫ですが、1年間やり通す強い意志が必要です。欠席が多くなりそうな方には向きません。レポートなどの成果品は電子媒体で提出を求め、成果品はウェブ公開します。不完全なレポートについては、再提出を求める場合もありますので、中途半端な気持ちで受講しないでください。レポートについては簡単な発表を含み、質問や批判を含めたミニ討論会なども実施します。初回講義の際にこれまでの授業アンケートの結果などを示しますので、履修するかしないかの参考にしてください。

成績評価の方法 ①作図作業の成果品、②レポート課題、③調査内容の発表、④定期試験、で総合的に評価をします。ウェイトは①40%、②～④20%です。出席するだけでは単位は認定できません。成果品やプレゼンテーションが重要です。

教科書等その他 特に定めません。講義中に資料を配布する場合があります。必要に応じて講義中に指示します。参考ウェブサイトを示す場合もあります。気象予報士試験の受験を希望している学生には個別に相談いたします。ウェブサイトにてレジュメを掲載しています。質問・相談等も電子メールで受け付けています。参考までに、履修登録者に対する単位認定者の割合は、86%（2004年度）、92%（2005年度）、83%（2006年度）、83%（2007年度）でした。

履修コード	O39551
科目名	G I S実習
担当者名	田中 靖 <small>たなか やすし</small>

地
理

講義のねらい GISを用いて基本的な地図の作成や解析作業を行えるようになることを目的とする。地理学科では地理情報学系の科目として「地理情報論」を開講しているため、ここでは主に実習によりGISに関する知識と経験を積む。実習には主に ArcGIS (ESRI) を使用するが、必要に応じて地理学科に導入されている他のGISソフトウェアなどについても扱う。なおこの実習は、社団法人日本地理学会の「GIS学術士」資格取得のために必要な科目である。

講義の内容・授業スケジュール 1. GISとは 2. 地図投影法 3. データの作成 4. ベクタ解析 5. ラスタ解析 6. 地理データベース 7. 三次元表示と解析 8. 総合演習

履修上の留意点 「地理情報論」の単位を既に修得していることを前提に授業を行う。コンピュータによる地図作成に強くなりたい学生の受講を希望する。積み上げが重要であり、一度欠席すると授業についてこれなくなる可能性が高い。また、授業時間だけでは作業時間は十分ではないので、自習を必要とする。

成績評価の方法 授業に取り組む姿勢(40%) + 提出課題の質(60%)。定期試験は実施しない。

教科書等 指定しない。授業内に配布するプリントと、下に示す参考書を合わせて勉強し、授業に臨むこと。川崎昭如・吉田 聡(2006)『図解 ArcGIS Part2 - GIS実践に向けてのステップアップ -』古今書院
野上道男ほか(2001)『地理情報学入門』東京大学出版会
村井俊治(2002)『空間情報工学(改訂版)』日本測量協会
村山祐司・柴崎亮介(2008)『GISの理論』朝倉書店

その他 コンピュータおよびGISソフトウェアのライセンス数に限りがあるので、受講者数を制限することがある。

II 專 門 教 育 科 目

4. 歷 史 學 科

履修コード	043311・043312
科目名	日本史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	熊本 史雄

講義のねらい 大学で歴史学を専攻していくうえで基礎となる、「歴史を読み解く作法」を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール
 前期：1回 授業の進め方などについての説明 / 講読資料について
 2回 「歴史学」とは？
 3回 「史料」とは？ ～「史料」と「資料」の間～
 4回 図書館ツアー（ビデオ鑑賞、文献の検索方法）
 5回 史料批判の方法 ① ～「外的批判」とその方法～
 6回 史料批判の方法 ② ～「内的批判」とその方法～
 7回 「工具書」について ～参考文献ガイダンス～
 8～11回 史料講読『岐路に立つ外交官』
 12回 研究対象の見つけ方・探し方～問題の所在と論点の提示方法～
 13回 論文・レポートの書き方
 14回 レジュメの作り方
 後期：夏期休暇中の課題（レポート）に基づく「ミニ発表」（レジュメを用いて）を全員で順番に行う。

履修上の留意点 歴史には「問」がある。「暗記する歴史」ではなく、「考える歴史」、「発見する歴史」を身につけるきっかけをつかんで欲しい。

成績評価の方法 夏期休暇中に課すレポートと後期の報告内容、さらには出席状況、授業態度を総合的に勘案して判断する。

教科書 ともに指定しない（教師側で準備する）。

参考書等 適宜紹介する。

その他 前期は講義形式で進め、後期は演習形式で行う。解説・補足説明などは随時織り交ぜていく。

履修コード	043411・043412
科目名	日本史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	小泉 雅弘

講義のねらい 歴史研究を行うための基礎的方法を習得するため、史料批判・史料解釈・史料操作について、具体的な例をあげながら学び、日本史研究の方法論を学習する。あわせて、社会における歴史学の活用について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール (1) 日本史研究入門、(2・3) 図書館ガイダンス、(4) 禅文化歴史博物館見学、(5) 歴史研究のための手引－文献等の紹介－、(6) 論文の調べ方、(7～17) 論文購読、(18) 絵画資料の活用、(19～28) 地域文化財から歴史を探る、(29) 国会図書館・史料保存機関の活用、(30) レポート提出

履修上の留意点 歴史資料は情報やデータと言い換えることが可能である。そのような資料を基にしてどのような結論を導き出していくのか。歴史研究を学ぶということは考え方を学ぶことであり、この点に留意して授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法 出席状況とレポートによって評価する。遅刻は減点。

教科書 特になし。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等 小泉雅弘『下町の学芸員奮闘記－文化財行政と生涯学習の最前線－』（文芸社）1,400円。その他適宜紹介する。

歴
史

履修コード	043541・043542
科目名	日本史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	中野 達哉

講義のねらい 歴史研究の現状について紹介し、大学で学び研究する「歴史学」がいかなる学問であるのか、各自が認識し、考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール (1) 授業の進め方、新入生研修旅行についてのガイダンス。(2～5) 高校教科書にみる歴史記述の変化～変わる歴史像。(6) 図書館の使い方についてのガイダンス。(7～8) 歴史と歴史研究・歴史学。(9～10) 学内学会への参加とレポート作成。(11～12) 歴史研究と成果の公表～どこで歴史は創られるか。(13～14) 歴史研究の現状と問題点。(15) 夏期休暇課題レポート「生まれ育った地域の歴史を調べよう」について。(16～19) 日本人の歴史観－西洋史・東洋史・日本史－。(20～24) 地域と歴史研究。(25～29) 史料保存利用と文書館。(30) 年度末課題レポートについて。

履修上の留意点 授業は必ず出席すること。遅刻をしない。

成績評価の方法 レポートおよび出席状況。授業への態度も重視する。

教科書 教科書はなし、必要な資料は適宜プリントして配布する。

履修コード	043511・043512
科目名	東洋史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	なかむら じゆん 中村 淳

講義のねらい	4年間「東洋史学」という学問分野において学び、研究していく上で必要となる基本的な知識と技術を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、教員が基本事項等を説明する講義形式と、学生がそれに基づいて実際に作業を行なう演習形式との二本立てで進める。内容はおおむね以下の通りを予定している。 [前期] ガイダンス、図書館の利用法、インターネットと東洋史学、文献目録の作成、レポートの書き方 [夏期] レポートの作成 [後期] レポート講評、学術論文の輪読会、研究発表、アジアの地理、東洋史学史、史籍解題、最終レポートの作成
履修上の留意点	ともかくにも出席重視。4月1回目の授業から必ず出席すること。また随時、発表やレポート等を課す。
成績評価の方法 教科書 参考書等 その他	出席点に、研究発表等の平常点と、レポートの評価を加味して、総合的に判断する。 教科書はとくに指定しない。必要な資料は配付する。 授業中に随時、参考書を紹介する。 随時、図書館やパソコン教場を使用する。

履修コード	043521・043522
科目名	東洋史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	すぎやま きよひこ 杉山 清彦

講義のねらい	東洋史学とは「東洋」を対象とする「歴史学」である。では、「東洋」とは何か。「歴史学」とは一般にいう「歴史」と何が、どう違うのか。どのような方法でそれに取り組むのか、また先人はどう取り組んできたか。このようなことを念頭に、1年間をかけて、大学において「東洋史」を学びかつ自ら研究していくための基本的な知識と技術の修得をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	1. 「歴史学」と「東洋史学」(1～5) 2. 史資料の検索・調査(6～10) 3. 歴史事項の調べ方(11～15) 4. 口頭発表とレジュメの技法(16～20) 5. 論文・レポートの書き方(21～25) 6. 東洋史学史・目録学(26～30)
履修上の留意点	講義を中心に進めつつ、受講生にも辞書を引く、文献を探するなど実際に作業を行ないその結果を報告してもらう。受講生には、積極的に参加する姿勢を求める。 今後4年間の基礎となる知識と技術の獲得が目的であるので、4月初回から必ず出席し、毎回出席を怠らないこと。欠席は原則として認めない。
成績評価の方法	出席点と平常点、および随時課すレポート・課題作業等を総合して評価する。研究方法の習得度と積極的な取り組み・発言とを重視する。
教科書 その他	特に指定しない。必要な資料は配布し、参考書等は適宜紹介する。 図書館・PC教場・専門書店など学内外に出かけて実地学習することもある。

歴
史

履修コード	055621・055622
科目名	西洋史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	おおしろ みちのり 大城 道則

講義のねらい	大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業である。
講義の内容・授業スケジュール	1年間を通じて、以下のような内容を扱う。 a) 図書館の使い方 b) インターネットの利用方法 c) 歴史学に関する文献(書籍や研究論文)の探し方 d) レポートの書き方と提出されたレポートの添削 e) 授業での発表 f) 外国語文献の購読
履修上の留意点	西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識の習得を目指す。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席すること。原則として欠席は認めない。
成績評価の方法 教科書 参考書等 その他	成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定する。 教科書は特に指定しない。 必要に応じて指示する。 授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的作業を繰り返すことにより進行する。

履修コード	055631・055632
科目名	西洋史学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	佐々木 真

講義のねらい 大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業である。

講義の内容・授業スケジュール 1年間を通じて、以下のような内容を扱う。

- a) 図書館の使い方
- b) インターネットの利用方法
- c) 歴史学に関する文献(書籍や研究論文)の探し方
- d) レポートの書き方と提出されたレポートの添削
- e) 授業での発表

具体的なスケジュールは以下の通り。

(1)ガイダンス(2-3)図書館利用について(4-6)パソコンやインターネットの利用方法(7-9)歴史学研究における情報収集(10)個別報告について(11-30)個別報告、その他6月末から7月の日曜日に博物館見学を予定している

履修上の留意点 西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識を習得することを目的とする。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席すること。原則として欠席は認めない。

成績評価の方法 成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定する。

教科書 教科書は特に指定しない。

その他 授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的な作業を繰り返すことにより進行する。

履修コード	043531・043532
科目名	考古学基礎演習 基礎歴史学
担当者名	設楽 博己

講義のねらい 考古学の諸問題 標記のテーマにもとづいて、研究発表の方法と実際に学ぶ。研究発表に際しては、問題提起、学史の理解、適切な資料の提示、論理的な分析によって、結論を明快に述べる必要がある。そのためには、わかりやすいレジメの作成、プレゼンテーションなど他人を納得させる客観的な技術を身につける必要がある。また、司会のしかたを学んだり、他人の発表を聞いて、質問をする癖を身につける。考古学は、発掘調査などにもとづく資料を丹念に分析して歴史を復元する実証的な学問である。発掘調査は日々おこなわれ、新たな資料が続々と現れるので、常に新しい情報に敏感になる必要があり、そうした力も養う。

講義の内容・授業スケジュール 最初は私が研究発表をおこなって、それに対する質疑応答をおこなう。連休明けから後期は、受講生が研究発表を行ない、討論する。発表は、『文化財発掘出土情報』の中から、好きな記事を選び、それについて調べておこなう。

履修上の留意点 講義中の私語は控えるように。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので、要注意。

成績評価の方法 発表及び中間レポートと、出席などによる評価。

参考書等 図書館備え付けの『文化財発掘出土情報』。

歴
史

履修コード	043712・043711
科目名	日本史概説I 日本史概説
担当者名	松本 信道

講義のねらい 日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通じて概観したい。

講義の内容・授業スケジュール (1)ガイダンス、(2)～(4)原始時代の日本、(5)～(7)倭王権の伸長、(8)～(12)古代国家への歩み、(13)～(16)古代国家の成立、(17)～(20)、律令国家の形成、(21)～(23)律令国家の成熟と展開、(24)～(25)古代の社会と文化、(26)～(27)摂関政治の展開、(28)摂関時代の外交と文化、(29)地方支配の転換、(30)院政の成立と展開

履修上の留意点 受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法 前期・後期の2回の試験の総合点で成績を評価する。

参考書等 『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館)

青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会)

笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)

佐々木潤之介『概論 日本歴史』(吉川弘文館)

その他 授業の方法は講義形式で進める。

履修コード	056303・056301
科目名	日本史概説II 日本史概説
担当者名	野尻 ^{のじり} かおる

講義のねらい 本講義は、歴史学、考古学を始めとする人文科学の研究を志す学生、または将来教職につくことを希望する学生に対し、下記の事項を通して、歴史を研究すること、または日本史を教授することの意義を理解し、基礎的な知識を身に付けることが目的である。講義に当たっては、古文書・記録・編纂物・金石文等の史料を中心に考古資料、絵画資料、民俗資料等を使用して進める。また、近世・近代を研究するに当たって必須の課題である身分差別の歴史もあわせて指導する。

講義の内容・授業スケジュール

一、空間から見た近世近代〔都市とその近郊等を事例とする〕(1～6)、二、モノから見た近世近代〔石造物等を事例とする〕(7～12)、三、人から見た近世近代〔生と死等を事例とする〕(13～18)、四、絵画資料に現れた近世近代〔景観や習俗等を例に〕(19～24)、五、社会組織から見た近世近代〔祭礼・講等を事例に〕(25～30)

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

質問等の発言は歓迎するが私語は慎む事。

定期試験及び出席状況

講義資料を配布する。

『日本史史料』〔3〕近世、2006年(岩波書店)、4,410円、ISBN 4-00-026138-X、『日本史史料』〔4〕近代、1997年(岩波書店)、4,200円、ISBN 4-00-026139-8、地方史研究協議会編『江戸・東京近郊の史的空間』2003年(雄山閣)、5,985円、ISBN 4-639-01825-8、メタ・アーケオロジー研究会『考古学リーダー3 近現代考古学の射程～今なぜ近現代を語るのか～』、2005年(六一書房)、ISBN 4-947743-25-5、都市史研究会『年報 都市史研究』1～16、1993年～2006年、山川出版、3,880円、ISBN 4-634-61910-5 他、齋藤洋一・大石慎三郎講談社現代新書『身分差別社会の真実-新書-江戸時代<2>』1995年、(講談社)、735円、ISBN 978-4-06-149258-5

その他

講義資料は、原則として講義毎に配布する。前回欠席した分は用意しないので注意の事。定期試験の準備に必要な資料なので友人等から複写を入手することが望ましい。

履修コード	056403・056401
科目名	日本史概説II 日本史概説
担当者名	小泉 ^{こいずみ} 雅弘 ^{まさひろ}

講義のねらい 近世から現代にいたる日本の歴史について概説する。その際、政治・社会・文化・経済・外交などの関連性を重視したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期(1～15)では幕藩体制の成立から幕末期までを対象とし、近世国家の形成過程と解体について講義する。後期(16～30)では、明治維新を契機とする近代国民国家の成立、展開過程を取り扱う。

**履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等**

歴史的事象を個別のものとして捉えるのではなく、広い視野で考える姿勢を身につけてほしい。

定期試験で評価し、出席状況を加味する。

講義内容にあわせて随時紹介する。

履修コード	043912・043911
科目名	東洋史概説I 東洋史概説
担当者名	石井 仁

講義のねらい 歴史教科としての「東洋史」は、近代日本におけるアジア・オリエント研究＝東洋学を母胎としており、この学問・研究の成立と発展は、明治以来の日本の対アジア政策と密接にリンクしています。講義では、東洋史の生い立ちをたどりつつ、アジアの歴史を中国古代・中世史、ならびに日中関係史を柱に考察します。

講義の内容・授業スケジュール
 (前期) (1～4) 東洋史とは何か
 (5～7) 中国文明の始まり
 (8～10) 秦漢帝国の成立
 (11～13) 漢の武帝とその時代
 (14～15) 補論
 (後期) (16～19) 三国志の世界
 (20～22) 東晋南朝の貴族制
 (23～25) 五胡十六国から北魏へ
 (26～28) 隋唐帝国の成立
 (29～30) 補論

履修上の留意点 講義を通して、歴史を学ぶことの意味を考えて欲しい。
 成績評価の方法 前期レポート(40%)と学期末試験(60%)の成績を基準にしますが、出席状況を加味することもあります。

教科書等 使用しません。配付プリントをもとに講義を進めます。
 参考書等 熊本崇編著『中国史概説』(白帝社)。このほか、講義で随時紹介します。
 その他 適宜、映像資料も使います。

履修コード	056503・056501
科目名	東洋史概説II 世界史概説
担当者名	小林 惣八

講義のねらい アジア史を基点に世界史の歩みを多角的にとらえることを主眼とする。
 講義の内容・授業スケジュール その場合の取り扱い方法として、同時代史に力点を置いて講義する。
 例えば、・中国の秦漢時代史とローマ帝国の盛衰
 ・モンゴル民族の発展とヨーロッパ騎士団との対立
 ・清の黄金時代とヨーロッパの市民革命…など10項目を設定する。ときに、ディスカッションや課題学習も考慮に入れる。

成績評価の方法 前期・後期のレポート提出と試験・出欠状況の総合評価とする。
 教科書等 特別定めないが、世界史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを勧める。
 その他 出席を重視する。

履修コード	044112・044111
科目名	西洋史概説I 西洋史概説
担当者名	佐々木 真

講義のねらい ヨーロッパ史の流れのなかで、いくつかの題材をとりあげて、その内容についての歴史学上の見解の変遷を解説する。それにより、歴史学の学問的特質や、現在を生きる我々と過去との関係について検討を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール
 (前期)
 (1)はじめに (2-6)ギリシア史の理解 (7-8)アレクサンドロス大王の帝国 (9-14)ローマ帝国の意義
 (15)試験
 (後期)
 (16)前期試験の返却、講評 (17-23)中世社会の評価について (24-30)近代社会の特質について

履修上の留意点 週1回の講義で、具体的な事件を挙げつつヨーロッパ史全体の流れを述べることは不可能であり、講義では抽象的な解説が多くなる。そのため、ヨーロッパ史に関する具体的な歴史知識をある程度有していることを前提として講義をするので、高等学校の世界史程度の知識は自ら身につけておくこと。また、講義中に紹介された書籍をなるべく多く読むことを希望する。

成績評価の方法 成績は前期末の試験と学年末試験および出席により判定する。
 教科書 教科書は特に指定しない。
 参考書等 参考書等は講義中に、必要に応じて紹介する。
 その他 授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布する。

履修コード	044203・044201
科目名	西洋史概説II 世界史概説
担当者名	井村 行子

講義のねらい	西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい授業を心がけたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	第1講 世界史とは何か 第2講 「古代オリエント」 第3講 古代地中海世界（1） 第4講 古代地中海世界（2） 第5講 中世ヨーロッパ世界（1） 第6講 中世ヨーロッパ世界（2） 第7講 ビザンツ帝国と正教世界 第8講 近世ヨーロッパ（1） 第9講 近世ヨーロッパ（2） 第10講 近世ヨーロッパの社会経済（1） 第11講 近世ヨーロッパの社会経済（2） 第12講 オスマン帝国と東ヨーロッパ 第13講 前期試験 第14講 革命の時代 第15講 自由主義と発展主義 第16講 諸国民の春 第17講 帝国と国民統合 第18講 ベル・エボック 第19講 ハプスブルク帝国とラテンアメリカ 第20講 世界戦争の衝撃 第21講 大衆動員政治の時代 第22講 大恐慌と一国主義的分立状況の出現 第23講 第二次世界大戦と社会主義的ユートピア 第24講 戦後世界と冷戦 第25講 冷戦の終結と新世界秩序 第26講 エスニシティとジェンダー
成績評価の方法	前期と後期の筆記試験の成績による。
教科書	近藤和彦編『西洋世界の歴史』（山川出版社、1999） 3,200円
参考書等	開講時に世界史全般に関する文献目録を配布する。個々のテーマについてはその都度、必要性に応じて適宜紹介する。

歴史

履修コード	044303・044301
科目名	考古学概説I 日本考古学概説
担当者名	酒井 清治

講義のねらい	日本の考古学は発掘も膨大にあり日々新しい資料も蓄積されている。その資料はどのような意味があるのか、資料からどのようなことが分かるのか、日本の考古学の中に位置づけ考古学とは何かを理解してもらう。
講義の内容・ 授業スケジュール	考古学の研究史、研究法および、遺跡・遺物を時代を追って取り上げ、日本考古学を時代史的に概観する。（1～2）考古学とは何か、（4・5）考古学の研究史、（6～9）資料解釈の研究法、（10～13）年代論、（14～17）旧石器時代、（18～21）縄文時代、（22～25）弥生時代、（26～29）古墳時代。前期は授業の始めに最新発掘資料の写真・図を見ながら考古学の理解を深めてもらう。
履修上の留意点	遅刻厳禁、私語厳禁。
成績評価の方法	定期試験とレポートで採点。平常点も加味する。
参考書等	鈴木公雄『考古学入門』（東大出版社） 安藤雅雄『考古学キーワード』（有斐閣） 江上波夫『考古学ゼミナール』（山川出版社）
その他	そのほか授業中に解説しながら紹介する。 講義の中でOHPを使用し、図や写真あるいは実物資料を利用し理解を深める。

履修コード	044403・044401
科目名	考古学概説II 外国考古学概説
担当者名	三宅 俊彦 <small>みやけ としひこ</small>

講義のねらい

「中国の考古学」について講義をおこなう。

まず、これまでの中国考古学の学史的流れを把握し、各時代の様相を考古学の視点から見ていきたい。あつかう時代は、旧石器から新石器・青銅器時代、および秦・漢から隋・唐くらいまでを予定している。

講義の内容・授業スケジュール

前期は学芸員課程のための履修者もいることから、考古学の研究法から開始する(第1回)。その後中国考古学の歴史(第2,3回)、旧石器時代～青銅器時代(第4～10回)、夏・商・周(第11～15回)を予定している。

後期は北方系青銅器文化(第16～20回)、秦・漢(第21～24回)、魏晋から隋唐(第25～30回)を予定している。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

必要に応じて、通史的なトピックにも触れる予定である。

授業に積極的な姿勢で臨むことを希望する。

出席状況ならびにレポートによって、総合的に判断する。

特になし。

特になし。授業の参考になる書籍などは、その都度紹介する。

授業は講義が中心となる。できるだけプリントやスライドなどを用い、内容の理解を深められるよう努めたい。

履修コード	043601
科目名	史学概論
担当者名	伏島 正義 <small>ふしじま まさよし</small>

講義のねらい

「歴史とは何か。」「歴史学は学問たりうるのか。」等の質問にたいする答えには公式な正解があるわけではない。各人が自身で探求するほかない。本講では、歴史はどのように認識されてきたのかについて、古代以来のその道筋を概略し、辿ってみる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、現代における歴史認識の一般的な例として、たとえば、ドロイゼン、クローチェ、ブロック、フェーブル、ラッツェル、ブラーシュ、ホイジンガー、カーなどの見解を紹介する。次に、古代から近代までの歴史認識の展開について代表的な歴史書及び歴史家などに言及し、概略する。順次中国、西洋、日本においてみる。

もとより各地域それぞれにおける詳細な史学的論点は、当該の授業に委ねるものの、本講ではそれぞれの地域においては、それぞれ歴史認識の特徴のあることを理解したい。そしてその特徴の意義を考え、広く古代から現代、そして未来に続く人間の歴史を考えたい。

履修上の留意点

本講は「歴史とは何か。」を自身で考えるために、その参考となるように古代以来の考え方を概観するものであり、歴史についての狭義の知識を詰め込もうという性格のものではない。したがって本講を受講するに当たって必要なのは自分自身で考えようとする心構えであり、特別な歴史の知識の多寡ではない。

成績評価の方法
教科書

前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をする。

教科書は特に定める必要はない。前期の講義開始の最初の授業で掲げる参考書、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて指摘する参考書を読んでいただきたい。

履修コード	045301
科目名	日本史学史
担当者名	湯浅 隆 <small>ゆあさ たかし</small>

講義のねらい 日本における歴史の捉え方は、時代によって変わってきました。この科目では、江戸時代以前は代表する史書をとおり、明治時代以降は歴史にたいする捉え方の変遷をとおり、日本史認識の変化を説いていきます。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) 記憶の保存と継承、(3) 中国の正史、(4～5) 8世紀以前の修史 [『古事記』、『日本書紀』他]、(6～7) 朝廷の修史事業、(8～9) 古代における私撰の修史、(10～12) 中世の史書とその背景 (『愚管抄』、『神皇正統記』、『太平記』他)、(13～17) 近世における修史 [幕府・儒者の修史事業、『大日本史』、国学者の歴史認識]、(18～19) 近代歴史学、(20～22) アカデミズム実証主義史学とさまざまな動き、(23～24) 唯物史観と皇国史観、(25～27) 20世紀後半の日本史学、(28～30) 現代の日本史学。

履修上の留意点 日本史学を対象として現在までの変遷を理解しておくことは、自らの歴史像を構築していくための必須要件になります。したがって、日本史学を専攻するための基礎科目です。
日本史学の変遷を、知識としてではなく理解として記憶するように心懸けてください。そのため、配付するプリントの予習をしてください。

成績評価の方法 いくつかの事項については、授業中に各自の理解を尋ねます。前期末および後期末には、論述試験をします。評価は、すべてを合算して算出します。

教科書等 特定のものは使用せず、プリントを配付します。
その都度、提示します。
授業は講義形式となります。

履修コード	045601
科目名	考古学史
担当者名	小柳 美樹 <small>こやなぎ よしき</small>

講義のねらい 日本考古学研究の歴史を通して、研究の方法や論理構築の仕方、議論・論争の展開について学ぶ。また近年の考古学の発見が、研究史に照らし合わせれば、どのような意義を有しているのかも確認する。そして、自己の研究への姿勢、理念、方法論の確立等を構築するための一助となることを望む。

講義の内容・授業スケジュール 日本考古学の歩みを発見・発掘調査・研究者列伝・論争などを軸に論じる。

前期
①～③ 日本考古学のはじまり・江戸時代の考古学
④～⑥ 近代科学と考古学 (大森貝塚の発掘・外国人の研究)
⑦～⑨ 明治時代の考古学 (坪井正五郎・コロボックル論争)
⑩～⑫ 浜田耕作の考古学研究 (京都大学の考古学研究)
⑬～⑮ 大正時代の考古学 (鳥居龍蔵など)

後期
①～③ 森本六爾と東京考古学会
④～⑧ 縄文時代研究史 (山内清男など)
⑨～⑫ 小林行雄の考古学研究 (弥生時代・古墳時代・鏡・邪馬台国)
⑬～⑮ 旧石器時代研究史 (岩宿遺跡の発見・前期旧石器問題・捏造問題)

履修上の留意点 限られた時間内では全てを言及することができないため、授業の中で取りあげられた文献や調査報告書を自主的に積極的に目を通し、博物館などで実物資料を観察して復習して欲しい。授業の理解度や興味の深さが一層増すはずである。

成績評価の方法 学生諸君には考古学という枠組みをこえたさまざまな領域に興味を持つことを期待したい。
夏季休暇中にレポート作成を課す (提出によって学年末試験を受けることができる条件とする) 学年末の試験 (筆記試験) が成績評価の大部分を占める。
出席状況はあくまで参考程度。

教科書等 なし (レジュメを準備し、授業時に配布している)
授業時に随時紹介していく

歴
史

履修コード	053601・053602
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	瀧音 能之 <small>たきおと よしゆき</small>

- 講義のねらい 古代史料を受講者に割りあてて、それについての報告を通して古代史への理解および報告のやり方を学ぶことを目的とします。あわせて次年度の卒業論文作成の足がかりとすることもねらいとします。
- 講義の内容・授業スケジュール 『日本書紀』の神代をテキストにして、各人の報告を中心とした内容を考えています。(1)『日本書紀』特に持統紀の内容について講義します(2~14)各人(もしくはグループ)による割りあてられた部分の発表(15)前期のまとめ(16)ビデオ教材による学習(17~29)各人の発表(30)後期のまとめと次年度の卒業論文のテーマの仮報告
- 履修上の留意点 演習Ⅰは原則として、演習Ⅱへと連動していますので、古代史を卒業論文に選ぼうということを決して履修するようにして下さい。
- 成績評価の方法 演習は、学生が報告などを通して、より主体となって展開していく授業形式ですので、報告の内容を重視します。それと同時に他者の報告をどれくらいよく聞き、それに対して意見を述べることができるかという点も重視します。その割合は報告の内容70パーセントに他者の報告への対応力30パーセントと考えて下さい。
- 教科書等 プリントを配布します。
- 参考書等 瀧音能之『神々と古代史の謎を解く古事記と日本書紀』2005年刊(青春出版社)750円+税
- その他 自分の意見をしっかりと述べると共に他者の意見をきききそれらにコメントする熱意のある学生の参加を期待します。くれぐれも「おつや」のような場にしないようにして下さい。

履修コード	054701・054702
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	松本 信道 <small>まつもと のぶみち</small>

- 講義のねらい 日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール 前期の(1)~(15)回は、『日本後紀』をテキストとして用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について再検討してみたい。後期の(16)~(30)回は、卒業論文作成の準備過程として正倉院文書・木簡・金石文・律令その他の性格の異なる史料を輪読し、史料読解力を養成するとともに、文献の検索・収集・読解の方法と研究の進め方などについても指導する。
- 履修上の留意点 受講生は必ず予習して出席すること。
- 成績評価の方法 平常点と出席点の総合で行う。
- 教科書等 当該部分をコピーして配布します。
- 参考書等 『新字源』(角川書店)
- その他 授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

履修コード	053501・053502
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	廣瀬 良弘 <small>ひろせ りょうこう</small>

- 講義のねらい 中世史料の講読を通じて、中世の文化、すなわち戦乱の世をしたたかに生きた人びとの生活・文化・宗教等について考えます。人びとのものの考え方、慣習、禪と能・禪と食文化・禪と庭園、主従の関係、男女の関係、人びとの信仰と神や仏などについても考えたいと思います。例えば、中世の村々の寺院は文字通り駆込み寺化しておりましたが、どのような人物が駆込んで身の安全を図ろうとしたのでしょうか。敗戦者・殺人犯・離縁希望者・逆心者(反逆者)・博徒など様々です。また、「女房の密懐」(不倫)にプライド高い男たちはどのように対応したのでしょうか。戦国大名は家臣同士が争うような「困った」問題にいかに対応しようとしたのでしょうか。史料に基づく事実の究明はとも興味深いものです。少し難しいが、すぐにおもしろくなる授業にしたいと思います。
- 講義の内容・授業スケジュール 室町幕府法や戦国大名の分国法の中から不入・走入り(駆込)・無縁所・密懐(不倫)に関する文化・宗教・生活に関する法を読み説いて行きます(1~20)。
- 履修上の留意点 戦国時代には嫁ぐ者に対して、求められる「嫁」像を説く「幻庵覚書」、弾丸が飛び交った乱世を生き抜いた「おおむ」「おきく」の物語などを読み進める(21~30)。
- 成績評価の方法 最初は少し難しいが、すぐに興味深いものになります。探究心をもって史料に臨んでほしいと思います。
- 教科書等 随時、史料のコピーを配布します。
- 参考書等 随時紹介してゆきますが、『くずし字解読辞典』(東京堂出版)2,200円などがあるとよいと思います。

履修コード	054001・054002
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	久保田 昌希 <small>くぼた まさき</small>

講義のねらい 本講座は、特定の史料の講読を受講者自身が分担し発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者（発表者）自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を目的としている。積極的に取り組んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール 本講座では数年来、戦国大名とくに東国戦国大名（今川・武田・北条・上杉氏）の史料を対象としている。その理由は発給文書の数も多く、内容も多岐にわたり、しかも研究史としての蓄積も比較的多いからである。発表者には一点の文書を中心に、関連史料や関連論文を通して、できるだけ調べてくることを課している。この過程は来るべき卒論への準備段階として、大きな意味をもつであろう。

年間を通して、毎時間受講者による発表と討論が基本となる。順番を決めそれに従っての発表となる。(1・2) ガイダンス、(3～30) 発表ならびに討論

履修上の留意点 留意点は上述の「講義の内容」項目と重なる。なお場合により補講を実施する。

成績評価の方法 定期試験は行わない。発表等の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教科書 翻刻史料として『東国戦国大名文書』を作成配布する。これが年間を通して基本的なテキストとなる。

参考書等 適宜紹介する。大いに図書館を利用してほしい。

履修コード	053401・053402
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	中野 達哉 <small>なかの たつや</small>

講義のねらい 史料の解読・分析力、関連資料・文献の調べ方、先行研究の理解・批判力をつけ、日本近世史（織豊期～幕末期）研究のための基礎的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 日本近世史の史料は各地に所在し、しかも膨大な量があり、その多くは史料集などにより刊行されていない（活字になっていない）。そのため、研究にとりかかるとき、史料調査やくずし字の解読から始める必要がある。

この点を踏まえ、前期にはくずし字で記された史料を取り上げて講読し、古文書に慣れるとともに、近世の社会について考える。講読は受講者が分担して解読し、関連資料・文献を調べ、授業で発表・討議する。後期は、各自が研究テーマを設け、研究史の整理と研究課題についてまとめ、授業で発表・討議する。なお、後期授業での発表の準備として夏期休暇中にレポートを課す。

(1) 授業についてのガイダンス。(2) テキスト『朝野舊聞哀藁』についての解読と解読部分の分担。(3～15) 受講者によるテキスト購読と発表・質疑。(16) 発表方法のガイダンスと発表順の決定。(17～30) 研究発表と討議。

履修上の留意点 前期の講読に際しては必ず予習し、前後期とも積極的に質疑・討議に参加すること。

成績評価の方法 授業での発表と質疑・討議、出席状況、夏期のレポートにより評価する。定期試験はなし。

教科書 教科書はなし。前期に使用するテキストはコピーを配布する。

その他 史料の見学・ゼミ合宿なども受講者と相談し、実施を考えたい。

履修コード	053801・053802
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	湯浅 隆 <small>ゆあさ たかあ</small>

講義のねらい 日本近世史のうち、都市・文化・宗教などのテーマを中心とした演習となります。具体的なテーマに基づいて、先行する研究成果の整理、検討すべき課題の探索、史料に接し文言の解釈、歴史像の構築などを行っていきます。

講義の内容・授業スケジュール (1～15) 史料を輪読しながら、江戸時代後半の社会のありようを大きく把握することをめざします。テキストには『日暮硯』を用います。(16～30) 江戸町方にかんする文献史料を講読し、近世史研究の実際に触れていきます。それと併行して、各自の卒業論文作成に向けての課題の絞り込みを行います。

履修上の留意点 『日暮硯』（岩波文庫）は4月授業開始前に入手し、78ページまでは読んでおいてください。

成績評価の方法 授業中の発表・討論における発言に基づきます。

教科書 前期は『日暮硯』（岩波文庫）。後期はプリントを配付します。

参考書等 その都度、提示します。

その他 教場における授業に加えて、都内もしくは近郊へ実踏に出かけます。

履修コード	053701・053702
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	小泉 雅弘 <small>こいずみ まさひろ</small>

講義のねらい 幕末から明治期を対象とし、受講者が当該期の研究方法を習得することを目的とする。さらに、討論を通じて日本近代史に関する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール 前期(1~15)は『日本の時代史』20~22の中から各自が興味のあるテーマを選び、概説発表を行う。後期(16~30)は、各自が『幕末維新新論集』全12巻に掲載されている論文を講読し、担当者による報告、受講者全員による討論を行う。これらを通じて、卒業論文作成の準備としたい。

履修上の留意点 報告・討論での積極的な発言を期待する。

成績評価の方法 出席状況、発表・発言内容、学習態度などにより総合的に評価する。

教科書 該当資料をプリントして配布する。

参考書等 適宜紹介する。

履修コード	053901・053902
科目名	日本史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	熊本 史雄 <small>くまもと しゆう</small>

講義のねらい 昭和期を中心とする近代日本の政治と外交につき、配布史料や課題図書を読解、検証する作業を積み重ねることで、歴史像を自ら構築する力を養う。これら作業を、翌年に控えた卒業論文作成の準備に役立てたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、まず前半で、担当教員より①ゼミの運営方針と計画、②日本近代史を学ぶための基礎的事項、③「工具書」、④図書館の利用方法、⑤レジュメの作り方などにつき説明する。後半では、『日本の時代史』(吉川弘文館)の近現代史相当分(第21~26巻)から、報告者が各自で希望する論文(1本)を選んで報告する。

履修上の留意点 後期は、各自が興味をもつテーマにもとづき、当該分野の先行研究(論文3本)を読み、レジュメ(論点を独自に設け史料に基づきながら)を作成のうえ報告する。

配布史料や課題図書の参照指定箇所には、必ず事前に目を通すように。授業冒頭には、配付史料・図書に対する感想や問題点、疑問などを、「1分間コメント」として参加者全員に手短かに述べてもらう。

成績評価の方法 出席、報告内容、授業態度などを基に総合的に判断する。

教科書 適宜史料を配布する。

参考書等 適宜紹介する。

履修コード	054101・054102
科目名	東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	中村 淳 <small>なかむら じゆん</small>

講義のねらい 清の趙翼が著した『二十二史劄記』の宋・遼・金・元の部分を中心に講読する。ねらいは、漢文読解能力の養成と、受講者各自がより具体的な問題意識を持つきっかけを見いだしてもらうことにある。

講義の内容・授業スケジュール 具体的にどの箇所を読むかについては、受講者の希望する研究テーマを勘案して、授業開始時に指示したい。

少なくとも1ヶ月以上前に担当者を決める。担当者は、担当日までの間に、担当部分の書き下し・日本語訳、関連データの収集・分析をする。当日は、作業結果を整理したレジュメに基づいて報告をしてもらう。

履修上の留意点 また夏期休業期間中には、研究テーマに関するレポートを作成してもらう。後期には、レポートに基づく発表をしてもらう機会を設ける。

出席重視。初回から必ず出席すること。また自分以外のゼミ生が担当する箇所の漢文も、本文については書き下しをして、文意について考えてくことを求めます。

成績評価の方法 出席点と平常点にレポートの評価を加味し、総合的に評価する。

教科書 必要な史料はプリントで配布。

履修コード	054201・054202
科目名	東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	杉山 清彦 すぎやま きよひこ

講義のねらい 研究文献・漢文史料の講読を通して、史資料の読解力・扱い方を身につけるとともに、近世・近代の中国史・内陸アジア史の基礎知識を獲得することをめざす。

講義の内容・授業スケジュール ユーラシア東方の近世・近代史に関する秀れた研究論文を取り上げ、漢文史料はじめ引用されている史料・先行研究を確認しつつ講読する。受講者各自で精読してくるとともに、輪番で担当を決めて引用史料・関連事項等に関するレジュメを作成・報告してもらう。最終的には、それらの訓練を通して習得した研究能力を活かして、各自に研究発表を課す。

履修上の留意点 各自、漢和辞典など基本工具書必携（電子辞書は不可）。詳しくは開講時に紹介・指導する。

成績評価の方法 出席状況を含む平常点とレポートにより評価する。演習であるので、毎回の出席はもちろん、事前の十分な予習と演習時の積極的参加姿勢とが求められる。

教科書その他 講読テキストはそのつど指示する。参考書・工具書は適宜紹介する。講読テキストは受講者の関心・希望分野を勘案して選定し、なるべく幅広い分野の研究成果を学べるよう配慮する。

履修コード	054211・054212
科目名	東洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	石井 仁 いしい ひとし

講義のねらい 中国古代・中世史研究の基礎知識を修得し、卒業研究の出発点とすることをめざします。前期の前半では、三国時代史研究を例にとりながら、正史をはじめとする文献史料の使い方、あるいは関連する研究論文・著書などの調査・収集方法などを中心に、解説します。これをもとに、前期の後半と後期では、受講生が各自の興味関心に沿いつつ、主として研究論文を素材に、調査・研究内容を輪番で報告します。

講義の内容・授業スケジュール (前期) (1) ガイダンス (2~10) 中国史研究の基礎知識、(11~15) 研究発表・討論 (後期) (16~28) 研究発表・討論、(29~30) 補論

履修上の留意点 予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。

成績評価の方法 出席状況（研究発表も含む）をもとに評価します。

教科書 渡邊義浩著・三国志学会監修『三国志研究入門』（日外アソシエーツ、2007年）。このほか、研究発表で取りあげる論著、および補足資料をプリントして配布します。

参考書等 随時紹介します。

履修コード	054301・054302
科目名	西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	佐々木 真 ささき まこと

講義のねらい 西洋近代史を対象として卒業論文を書こうとする学生のための演習。前半は、西洋近代史に関する統一テーマを設定し、そのテーマに沿った報告を行うことを中心とする。後半には次年度に執筆する卒業論文のテーマに関する報告を行う。

講義の内容・授業スケジュール 前半のテーマについては、授業開始時に話し合っ決定する。スケジュールは以下の通り。

(1) ガイダンス (2-3) 図書館ガイダンス (3-4) 文献の調査などについて (5) 統一テーマの概論 (6-18) 個別報告 (19) 卒論について (20-30) 卒業論文構想の報告

履修上の留意点 自分の報告をきちんと行うのは当然だが、他人の報告もよく聞き、討論に積極的に参加すること。成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。授業に主体的に参加することが重要なので、欠席は原則として認めない。

成績評価の方法 特に指定しない。

教科書 必要に応じて一覧を配付する。

歴
史

履修コード	054401・054402
科目名	西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	伏島 正義

講義のねらい	まず第1に、当該演習Ⅰは4年次に課される卒業論文の作成のための第1次準備段階であることからして、各人は自己の卒業論文テーマを具体的に決定し、その研究に着手しなければならない。したがってそのための文献、史料の収集方法に習熟することである。第2に、受講生にとって共通となる文献を輪読し、相互の意見交換などにより、歴史研究を深める機会とする。
講義の内容・授業スケジュール	まず各自の設定した卒業論文のテーマに添って、文献、史料の収集と読解に努めることを原則、前提とする。前期においては受講生の共通となる論文、専門書などの文献を、とりわけ西欧史研究では依然として共通語の1つである独語、仏語、英語のいずれかで書かれた文献を、発表などを交えながら輪読する。後期は、前期から各人の進めてきた卒業論文のテーマに関する研究の成果を発表し、受講生は相互に質疑応答する。
履修上の留意点	卒業論文のテーマに該当する言語に習熟することは言うまでもなく、当該演習の共通言語にも読解力をつけておくことが必要である。研究文献、史料の検索、収集、さらにその解説には多大の時間を必要とするものである。したがってそのための気概が期待される。
成績評価の方法	演習にいかに関心を持って参加しているかが基本的な基準である。出席の回数及び研究レポートの提出により、決める。
教科書等 参考書等	共通するテーマ及びテキストは受講生と相談し、決める。 必要に応じて随時指摘する。

履修コード	054711・054712
科目名	西洋史学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	大城 道則

講義のねらい	最終目標である卒業論文作成の準備のために、文献の読み方、資料の集め方と扱い方を学ぶのが講義のねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	①卒業論文作成の手始めとして、西洋古代史に関する文献史料の集め方を知る。 ②各自が決定した卒業論文(仮題)作成のために必要な文献を収集し、その内容紹介を行う。 ③後期には、各自が選んだ卒業論文のテーマについての発表・報告を行い、意見交換を行う。
履修上の留意点	まずは演習に参加し、他の学生の考え方・発表の仕方などを知ることが重要である。
成績評価の方法	講義に対する取り組み姿勢(個々人の発表内容と他の生徒の発表に対する質問など)と出席率により評価する。
参考書等 その他の	必要があれば適時紹介する。 前期・後期にそれぞれ一回ずつ行う発表・報告は1時間に2～3人を予定している。

履修コード	054501・054502
科目名	考古学演習Ⅰ 演習Ⅰ
担当者名	酒井 清治

講義のねらい	将来卒業論文を作成するための基礎的な力を養うため、日本考古学の論文の読み方、論文作成のための資料収集法、執筆の方法、考古学の考え方を学ぶ。また、論文作成の基礎知識を養う。
講義の内容・授業スケジュール	いくつかの日本考古学の論文や書籍の中から自分の興味ある題材を選択し、発表要旨を作成して発表してもらう。その中から発表の仕方、文献や資料の使い方、図版の作り方などを学び、発表の内容などについて全員で論議する。発表した内容を考慮して卒業論文の題材を想定したテーマで研究レポートを書いてもらう。博物館等で実物資料を見ながら講義し、研究テーマを絞るよう指導する。
履修上の留意点	受講者はそれぞれが積極的に論文を読み、発表に対する質疑にも積極的に参加すること。また関連する遺物・遺跡を自ら積極的に見学することを心がけること
成績評価の方法	研究レポート、発表要旨、報告者へのコメント、出席状況。特に授業で発表者に質問した回数は重視する
教科書等 参考書等 その他の	研究する上に必要な論文等は授業の中で指摘する 論文掲載の引用文献 授業はゼミ形式で

履修コード	054601・054602
科目名	考古学演習I 演習I
担当者名	小柳 美樹

講義のねらい 中国考古学に関する原書講読（中国語文献）を通して、中国考古学の基本的な研究方法、基礎用語・人文地理等を確認しながら今後の学習・研究活動に活かしてもらうことを「ねらい」とする。また中国から日本考古学を見るという視点を身につけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ① 基本講義 - 中国の人文地理
- ② 基本講義 - 中国考古学史1（日本人研究者を主軸に）
- ③ 基本講義 - 中国考古学史2（日本人研究者を主軸に）
- ④～⑧ 学生発表 中国の人文地理
- ⑨～⑬ 学生発表 考古学から見た中国の歴史
- ⑭～⑮ 基本講義 中文原書の読み方

後期

- ①～⑭ 学生発表 中文原書からの発表

『新中国考古五十年』（文物出版社、1999年）で受講生が決めた地域の中文購読を行う。

講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要があり、遺跡分布図などの図版作成の必要もある。

- ⑮ 総括

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと
状況によっては、成績評価に大きく影響することを書き添えておく。

成績評価の方法

出席状況（発言回数など積極的な参加状況を重視する）
発表内容（発表の創意工夫、原書内容の理解度など）

教科書

『中国考古学概論』飯島武次、同成社、2003年
『新中国考古五十年』（文物出版社）1999年
購入する必要はないが、図書館等で現物を確認すること
必要箇所等は複写して入手すること（適時指示する）

参考書等その他

授業時に指示する
中国考古学で卒業論文を予定している学生は必ず履修すること。
基礎的な中国語能力を有していることが望ましい。

履修コード	054611・054612
科目名	考古学演習I 演習I
担当者名	設楽 博己

講義のねらい 東京都川端遺跡出土遺物の整理 川端遺跡は縄文時代後・晩期の遺跡である。東京都埋蔵文化財センターが発掘調査し、出土した土器や石器は本学に寄贈された。本講義では、土器の拓本や土器・石器の実測、墨入れ、写真撮影、版下作成などの作業をおこない、事実記載や考察の原稿を執筆する。遺物整理と報告までの実務を通じて、卒業論文の作成や専門職に就いたときの作業の基礎を学ぶと同時に、縄文文化に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

川端遺跡の遺物整理作業。前期は遺物の拓本と実測、写真撮影。後期は版下作成と原稿の執筆。各自で整理した遺物についての調査研究結果を発表し、討論する。

履修上の留意点

整理作業に必要な道具はとりあえず各自で購入するが、のちに演習補助費で負担する。

成績評価の方法

整理作業の成果および発表の内容で評価。

参考書等

逐次紹介する。

歴史

履修コード	055001・055002
科目名	日本史学演習II 演習II
担当者名	龍音 能之

講義のねらい	卒業論文の作成を目的とします。各人の卒業論文のテーマに基づいた報告を中心にして、あわせて発表・討論の方法の習得をはかります。
講義の内容・授業スケジュール	各々の受講生の卒業論文を素材にして、順次報告をおこなってもらい、古代史の諸テーマへの理解を深めるようにします。(1) ガイダンス (2～4) 報告形式による各人の卒業論文の題目の決定 (5～14) 各人の卒論の章立てをめぐる報告 (15) 前期のまとめ (16～20) 各人の卒論の目次についての報告 (21～30) 各人の卒論の「はじめに」についての報告
履修上の留意点	卒業論文の作成過程を素材とした演習をおこないますので、古代史の卒業論文を書く学生が履修して下さい。なお、全員の卒業論文は、ゼミ卒業論文集として1冊にまとめて卒業式に各人に配布する予定です。
成績評価の方法	各人の報告内容を重視します。それに他者の報告をどれくらいよく聞き、それに対してコメントを述べるができるかという点も重視します。その割合は、報告の内容70パーセントに他者の報告への対応力30パーセントと考えて下さい。
教科書 参考書等 その他	各人ごとに対応します。 各人ごとに指導します。 最後まであきらめないで努力する学生の参加を期待します。

履修コード	056201・056202
科目名	日本史学演習II 演習II
担当者名	松本 信道

講義のねらい	日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じての歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。
講義の内容・授業スケジュール	前期の(1)～(15)回は、『令義解』所収の「職員令」をテキストとして用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について再検討してみたい。 後期の(16)～(30)回は、各自の卒業論文の研究テーマについての発表と討論を行い、それをもとに卒業論文を完成させる。
履修上の留意点	受講生は必ず予習をして出席すること。
成績評価の方法	平常点と出席点の総合で行う。
教科書 参考書等 その他	『令義解』の当該部分をコピーして配布します。 授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

履修コード	054901・054902
科目名	日本史学演習II 演習II
担当者名	廣瀬 良弘

講義のねらい	史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒業の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の購読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていきます。授業のスケジュールとしては、卒業論文のテーマの提示(1・2)(4月～)研究史の整理(3～6)(5月～)卒論論題の確定(7・8)(6月11日論題提出)研究史の整理と参考文献の検討(9～10)中心的史料等の分析と論点の明確化(11～13)卒論の章立に関する作業(14～15)卒論の概要に関する発表(16～18)(9月～)中間報告(19・20)卒論作成に関する技術的なアドバイス(21)最終報告(22・23)下書の提示に基づく指導と添削(24・25)清書・完成・提出(26～28)(12月10日提出)卒論をふりかえるの順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導という形式で進めていきます。
履修上の留意点	よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めらるので早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。
成績評価の方法	卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価します。
教科書 参考書等	各自の卒論のテーマに応じて随時示していきます。 随時、示していきます。

履修コード	055401・055402
科目名	日本史学演習II 演習II
担当者名	久保田 ^{くぼた まさき} 昌希

講義のねらい 本講座では、卒業論文作成にむけての指導を目的とする。中心は受講者各自の卒論テーマにもとづく発表で、討論を受講者相互で積み重ねつつ、各自が卒論内容の充実と発表・討論の「力」をそなえる「場」としたい。この過程で論題の検討・研究史の整理・研究視点の設定・史料収集・史料の検討と分析・論文叙述など、一つ一つの段階を辿ることになる。卒業論文の有意義な結実を期待する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 卒論作成へのガイダンス、(2～4) 卒論テーマの検討、(5～9) 研究史の整理と関連史料の検討・論点の提示、(10) 卒論論題の決定、(11～15) 章節構成の内容検討、(16～20) 卒論作成の進捗による内容発表Ⅰ、(21・22) 章節構成の再検討、(23～25) 卒論作成の進捗による内容発表Ⅱ、(26) 卒論叙述への技術的な指導、(27～29) 卒論の添削から完成・提出、(30) 卒業論文を書き終えてのガイダンス

履修上の留意点 卒業論文は、本学科に学んだ結果の最たるものでもある。大いに尽力してほしい。

成績評価の方法 定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などを基本に、卒論作成への取り組み過程も見守っていく。

教科書 なし。適宜各自のテーマに沿って紹介する。

その他 講座の時間以外でも、必要に応じて指導を実施する。

履修コード	054801・054802
科目名	日本史学演習II 演習II
担当者名	中野 ^{なかの たつや} 達哉

講義のねらい 大学生活の最も大きな成果の一つとなる卒業論文の作成とともに、史料の調査方法と解読力、論理的に考察・論述する力を身につけることを目的とする。そして、それを歴史研究のみならず、社会生活においても役立てて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール 授業は受講者による卒業論文についての発表と質疑応答を中心に行う。
(1) 授業についてのガイダンス、発表順の決定。(2～6) 準備報告と卒業論文のテーマ・論題の決定。(7) 卒業論文の章節構成などについての指導。(8～15) 卒業論文中間発表Ⅰ。(16) 卒業論文の書き方についての指導。(17～26) 卒業論文中間発表Ⅱ。(27～30) 卒業論文執筆についての個別質問。

履修上の留意点 本講座は日本近世史(織豊期～幕末期)を対象とするものである。第1回目の授業において、各人の卒業論文の方向性について考え、あわせて発表順(日程)も決めるので、必ず出席すること。

成績評価の方法 授業での発表と質疑応答、出席状況により評価する。定期試験はなし。

教科書 教科書はなし

その他 授業時間外にも、必要に応じ、個別に卒業論文指導を行う。
史料の見学・ゼミ合宿なども受講者と相談し、実施を考えたい。

履修コード	055201・055202
科目名	日本史学演習II 演習II
担当者名	湯淺 ^{ゆあさ たかし} 隆

講義のねらい 日本近世史で卒業論文を作成しようとする者のうち、都市・文化・宗教などのテーマを主たる対象とした演習となります。
卒業論文を、大学4年間の生活が凝縮するものと捉え、それへむかってオリジナルの作品を悔いなく創りあげていくことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール 各構成員は、以下の内容について研究発表をおこない、意見交換をとおして卒業論文の作成をおこなうものとします。
(1～6) 卒業論文のテーマを確定し、先行する研究成果を把握する。(7～15) 論点を明確にしたうえで、論文構成の章立てを確定させる。(16～30) 内容に関する個々の論証を史料に基づいておこなうことで、論文の精度を確たるものとしていきます。

履修上の留意点 自己の卒業論文のみならず、ゼミ構成員全員のテーマ・方法に関心をもつことが必要です。

成績評価の方法 授業中の研究発表、討論時における発言に基づいて行います。

履修コード	055101・055102
科目名	日本史学演習II 演習II
担当者名	小泉 雅弘
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点	卒業論文作成の指導を通じ、幕末～明治期における諸問題について検討する。 受講者各自が研究テーマに基づいた発表を行う。前期（1～15）は研究史、後期（16～30）は卒業論文の内容を踏まえて発表し、受講者全員で討論を行う。 卒業論文でオリジナルかつ説得力のある論文を書くということは、社会に出て必要とされる能力を身につけることである。常に問題意識を持つこと。
成績評価の方法 教科書 参考書等	出席状況、発言内容、学習態度などにより総合的に評価する。 指定しない。 適宜紹介する。

履修コード	055301・055302
科目名	日本史学演習II 演習II
担当者名	熊本 史雄
講義のねらい	卒業論文作成の指導を主として行う。 大正～昭和期を中心とする日本近代史研究の状況を把握しつつ、各種公文書（内閣、外務省、陸軍省、海軍省など）や私文書（日記や手紙）についての史料状況を解説する。また、関連する先行研究を読むことも併せて行う。これらを踏まえた後、受講生が自らのテーマについて研究を深め、卒業論文作成の指導を行う。
講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点 成績評価の方法	前期の前半は上記についての解説と先行研究の確認を行う。前期の後半より後期にかけて、受講生各自が報告を行い、それに基づき参加者全員で討論を行う。 各自の選んだ研究テーマに真摯に取り組んで欲しい。 報告、授業態度などを基に総合的に判断する。

履修コード	055501・055502
科目名	東洋史学演習II 演習II
担当者名	中村 淳
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	主に中世のアジア史を対象とする卒業論文に関する指導をする。並行して文献講義を行ないたい。 卒業論文の相談会・中間発表を随時行なう。前期に卒論のテーマとその研究史に関する発表を1回、夏休み前に中間発表として1回、後期に構想発表を1回行い、10月から11月にかけて内容報告を数回予定している。具体的なスケジュールについては、最初の講義の際に受講生と相談しながら決める。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書	出席重視。 出席点と平常点とを総合して評価する。 必要な史料はプリントで配布。

履修コード	055601・055602
科目名	東洋史学演習II 演習II
担当者名	杉山 清彦
講義のねらい	卒業論文、とくにアジア諸地域の近世～近現代史を扱う卒業論文の作成を指導する。大学での4年間の学業の集大成である卒業論文とは、自分の問題意識と興味関心に基づいてテーマを設定し（問題設定）、それを解くための史資料を収集・検討し（史料読解・批判）、自分の検討結果・見解を論理的に他者に提示する（構想報告・論文執筆）という一連の過程である。受講生各人がこの過程を体験し、かつ朋輩の報告・討論に参加することによって、問題発見・解決の力とプレゼンテーションの力を養うことを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	卒業論文へ向けての構想発表とそれに対する討論・指導を主として進め、受講生は輪番で研究報告する。並行して東アジアの近世～近代史に関する秀れた研究論文を講読し、それらの過程において史資料の調査・収集・読解の方法や論文の構想・執筆法について指導する。具体的なスケジュールについては、開講後受講者の人数・テーマを勘案して相談する。 （1）ガイダンス （2～30）研究法指導・文献講読・研究発表
履修上の留意点 成績評価の方法 その他	演習であるので、毎回の出席はもちろん、発表・討論への積極的参加姿勢が求められる。 出席状況を含む平常点による。 卒業論文作成に関しては、演習の時限に関わりなく指導するので、積極的に質問・相談されたい。

履修コード	055611・055612
科目名	東洋史学演習II 演習II
担当者名	石井 仁

講義のねらい 東洋史(中国史)に関する卒業論文の作成を指導します。研究テーマの設定から、参考文献や基本史料の調査・収集・解読、具体的な論文執筆の方法・手順に至るまで、一般的にバックアップします。前期では、各自の問題関心にかかわる基本的な研究、ないしは注目する研究について調査し、輪番で報告します。そのうえで、これまでの研究の問題点や精査を要する事項などをチェックしつつ、研究テーマをしばらくこみ、論文作成の手順を確認します。後期では、できるだけ早い時期に、各自の研究テーマを輪番で中間報告し、作業手順を再確認します。進捗度によっては、作業手順(あるいはテーマ自体)の補足・修正などについてもアドバイスします。ただし、受講者が極端に少ない場合には、前期・後期とも個別指導をおこないます。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

(前期)(1)ガイダンス (2~15)発表・討論
(後期)(16~30)発表・討論

講義時間外も、可能なかぎり、相談に応じます。「自分の研究なのだ」という自覚をもち、一生に一度の卒業論文の執筆に情熱を傾けましょう。

成績評価の方法

出席状況(研究発表も含む)をもとに評価します。

履修コード	055701・055702
科目名	西洋史学演習II 演習II
担当者名	佐々木 真

講義のねらい 卒業論文の報告を中心として授業を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

前期に1回、後期に1回それぞれ卒業論文の内容についての報告を行う。

成績評価の方法

(1)ガイダンス(2-30)個別報告

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となり、出席はあくまでも必要条件でしかないことに留意すること。

教科書
参考書等

特に指定しない。

特に指定しない。

履修コード	055801・055802
科目名	西洋史学演習II 演習II
担当者名	伏島 正義

講義のねらい 演習Iで進めてきた卒論のテーマに添った研究を最終的に完成するよう指導することが最大のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Iの段階で読むことのできなかった文献の入手と解読に全力を尽くすとともに、これまでの研究上の不備な点を再検討し、万全を期す。

履修上の留意点

これに並行して各人が進めてきた研究の進捗状況、成果を順次発表する。受講生は相互に質疑応答し、研究の改善を目指す。

成績評価の方法

上記の諸点は夏期休暇の期間内に履行し、ほぼ完了することが望ましい。なぜならば、卒業後就職しようとする者にとっても、さらに上級の大学へ進学しようとする者にとっても当該演習IIの4年生はなすべきことはあまりにも多く、したがって忙殺のため当初掲げたさまざまな課題を十分に満足することのできなかった例をこれまで少なからず見てきたからである。なお、演習に出席することは当然であるが、万一就職活動その他の理由により欠席する場合は、必ずその理由を報告していただきたい。

その他

演習にいかに関心を持って参加しているかが基本的な基準である。出席の回数及び卒論のテーマに関する研究発表により評価する。

他人(教師)による評価にとどまるのではなく、自身にとっても、大学生活の、最後にして最大の、忘れ難い記念碑となるような卒業論文を作成すべく、心がけてください。自身が心をこめて自身におくった贈り物ほど、いとおしく、尊いものはない。

歴
史

履修コード	056211・056212
科目名	西洋史学演習II 演習II
担当者名	大城 道則

講義のねらい 演習Iで行った基礎作業を踏まえ、最終目標である卒業論文の完成に向けての指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール 前期は各自がそれぞれ選んだ外国語文献を読み、その内容について講義中に紹介を行う。後期は各自が準備を進めている卒業論文のテーマについての発表を行う。その際に準備状況についての最終的な確認を行う。

履修上の留意点 就職活動を優先することはいたしかたないが、発表者は必ず欠席しないこと。あるいは事前に伝えること。

成績評価の方法 各自の発表内容と授業への積極的な参加・出席（率70%以上）を重視する。

教科書 教科書は無いが、発表者各自がレジュメを作成し、それをコピーし配布する。

参考書等 必要があれば適時紹介する。

その他 発表・報告は1時間に2～3人（前期）、4～5人（後期）を予定している。

履修コード	055901・055902
科目名	考古学演習II 演習II
担当者名	酒井 清治

講義のねらい 卒業論文をどのように書くのかを指導する

講義の内容・授業スケジュール 最初の2週は論文の書き方について説明する。その後、自分のテーマと関連する主要論文を読み込み、研究の方向性を決め、テーマに沿った卒業論文の構成作りを行うために、各自のテーマに基づいた研究発表を行い、皆で議論しながら論文としてまとめられるよう指導する。また、博物館・教育委員会などで実物資料を見ながら研究テーマを深めるよう指導する。

履修上の留意点 発表者は事前に発表する日を知らせるので、準備するとともに、当日発表者は遅刻、欠席をしないこと。欠席した場合は単位が取れないと考えてほしい。また、個人指導もするので、積極的に研究室へ訪ねてほしい。

成績評価の方法 発表要旨の作成と発表の内容を重視する。また、卒論の進行状況を把握するためにも出席および、授業で発表者に質問した回数も重視するので積極的に議論に参加してほしい。

参考書等 授業の中で紹介する。

その他 授業はゼミ形式。

履修コード	056001・056002
科目名	考古学演習II 演習II
担当者名	三宅 俊彦

講義のねらい 卒業論文の指導を行う。学術論文は、一定のルールによって作成されており、卒業論文においてもその様式が求められる。卒業論文作成のための研究の進め方や、論文の書き方などを指導する。また、履修者の発表を行うことにより、各人のテーマに沿った卒業論文の進め方も指導していく。

講義の内容・授業スケジュール 卒業論文の研究手法の指導を行う。また、論文作成のためのノウハウや、論文の形式、章立てのやり方なども指導していきたい。

履修上の留意点 履修者は、卒業論文の進捗状況に合わせ、研究発表を行う。発表者は、いかなる理由があっても、無断での欠席・遅刻は認めない。発表者の遅刻・欠席に関しては、単位取得に大きな影響が出ることを覚悟していただきたい。

成績評価の方法 平常点。特に発表時の作成資料や研究の深度、討論への積極的な参加などを考慮する。

教科書 特になし。

参考書等 特になし。

その他 卒業論文はレポートと違います。「研究」をすることにより、初めて「論文」が書けます。ぜひ研究する楽しさを実感し、良い卒業論文を書いてください。

履修コード	056101・056102
科目名	考古学演習II 演習II
担当者名	設楽 博己

講義のねらい	卒業論文の指導を行なう。論文は、先行研究を咀嚼しているか、適切な素材を用いているか、正確な分析を行なっているか、妥当な結論に達しているかが要求される。数回にわたる中間発表によって、そうした手続きが論理的に行なわれているかどうか、自分自身で確認できるようにする。論文は、章立ての階層構造の論理性、文体の統一や図表の適切なレイアウトなども要求される。人が読んでわかりやすい論文を仕上げるよう指導する。
講義の内容・授業スケジュール	前期2回、後期2回ほどの中間発表を行なう。前期はまず、6月のテーマ提出を目指し構想を発表した後、学史を中心とした研究発表を行なう。後期は資料分析について研究発表を行なった後、章立てを完成させて各章ごとにその要約を発表する。質疑応答も行なう。
履修上の留意点	与えられた課題をスケジュールどおりにこなすこと。評価でも触れるように、自分自身でこつこつと資料を収集することが重要なので、早くから課題を明確にし、資料収集をおこない、既存の関連研究に目を通しておくようにしたい。
成績評価の方法	発表内容や質疑応答、出席で評価する。収集する資料は人様のコピーなどではなく、自分自身でおこなうことを心がけるようにすれば、高い評価が与えられる。
参考書等	その都度指示。

履修コード	046201
科目名	考古発掘実習
担当者名	酒井 清治・設楽 博己

講義のねらい	考古学の基本は発掘した資料から人類の歴史を考えることであるが、発掘技術の優劣により発掘資料の情報量も異なってくる。発掘現場で対応できる発掘技術の習得を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。文化財とは何か(1)、埋蔵文化財とは何か(2・3)、発掘調査とは(4~8)、発掘調査の方法(9~15)、発掘調査と文化財保護法(16~18)、整理作業と報告書作成技術(19~22)
履修上の留意点	夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが通例である。従って履修者は、博物館実習等との関係をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。
成績評価の方法	授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業関係から無届けの欠席、遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。
教科書	成績評価は出席点と平常点および発掘実習の態度と発掘日誌などを総合して判断する
参考書等	『考古学調査ハンドブック1 野外編』(雄山閣)1984年
その他	授業の中で資料を配付する 通常は講義で、夏休みに野外発掘実習を行う。予定では8月に日本の発掘は北海道を予定している。9月に中国での発掘を計画しているが、実施するか未定である。なお発掘は日本・中国どちらかの発掘を選択してもらう。

歴史

履修コード	044501
科目名	日本史史料講読I
担当者名	瀧音 能之

講義のねらい	古代の史料を読解することによって、史料の理解力を養成すると共に、古代史へのアプローチ法を学ぶことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	古代に編纂された史料のうち、『常陸国風土記』を具体的にとりあげ、冒頭の部分から読み下し解説を加えていきます。(1)『常陸国風土記』の史料的价值(2~14)『常陸国風土記』の購読(15)確認テスト(16)確認テストの返却および解説(17~29)『常陸国風土記』の購読(30)確認テスト
履修上の留意点	『常陸国風土記』を解説していきますが、ただ授業に出るだけでは、史料読解の力も『常陸国風土記』の理解力もつきません。必ず予習・復習をする習慣をつけて下さい。特に復習は忘れずにして下さい。
成績評価の方法	前期と後期におこなう確認テストを重視します。それに出席など平常点を加味して評価します。割合は、テスト85パーセントに平常点15パーセントと考えて下さい。
教科書	最初の講義のときに指示します。受講希望者は初回の講義には必ず出席して下さい。
参考書等	瀧音能之『文献でたどる日本史の見取り図』2004年刊(青春出版社)730円+税
その他	古代史に興味と熱意のある学生の受講を待っています。

履修コード	044601
科目名	日本史史料講読II
担当者名	久保田 昌希 <small>くぼた まさき</small>

講義のねらい 言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史（日本史）研究の出発点（基本は史料を読むことと解釈にある）といえる。それによって、各自が歴史像を構築していくのである。そうした積み重ねが大事である。その過程で各自が新たな発見を通して、楽しさや意義を見出すことができるだろう。

講義の内容・授業スケジュール 本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。
 (1・2) 中世史料入門、(3～11) 吾妻鏡を読む、(12～17) 御成敗式目・建武式目を読む、(18) 中世史料機関の紹介、(19～22) 中世民衆史料を読む、(23・24) 公家日記を読む、(25・26) 棟札や金石文を読む、(27～29) さまざまな中世史料を読む、(30) 中世史料・遺跡保存への視点

履修上の留意点 本講座に限ったことではないが、本学図書館には多くの活字化（刊行）された史料集がある。それらを自身の問題関心により目を通そうとすることが大切である。また出席を怠るとなかなか上達しないので注意すること。なお博物館や史・資料館などで開催される中世関係の史・資料展などについても紹介する。「原本」見学の機会に役立ててほしい。

成績評価の方法 定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。
教科書 とくに指定はしない。適宜必要に応じて史・資料を配布する。

履修コード	044701
科目名	日本史史料講読III
担当者名	中野 達哉 <small>なかの たつや</small>

講義のねらい 歴史の研究は、いかに理論を組み立て、それを実証していくかにある。そして、そのためには、先人たちの足跡として残された史料を読み解くことが必要である。本講義では、日本近世の史料を正確に読み込み、判断する力をつけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 織豊期～幕末期にかけてのさまざまな史料を取り上げて読み、分析していく。いうまでもなく、近世については、武家文書・町方文書・村方文書・寺社文書など多様な分野にわたり膨大な量の史料が伝えられている。授業では、いくつかのテーマを設けて行っていくが、読むための基礎的な力をつけるだけでなく、その史料の背景にある社会情勢などについても考えていく。

(1) 授業の進め方について。(2) 近世史料の特徴。(3～5) 武家文書①知行宛行。(6～10) 武家文書②法度と触書。(11～14) 武家文書③江戸の藩邸と藩日記。(15～18) 村方文書①村議定。(19～22) 村方文書②村の事件と訴訟。(23～28) 宿場文書①事件と宿場の構造。(29～30) 史料の所在と調査方法。

履修上の留意点 難解なものとは怖がらず、親しみをもって史料を読んでほしい。
成績評価の方法 基本的には、年度末の定期試験により評価する。なお、授業の出欠状況も参考とする。
教科書 教科書はなし、必要な資料は適宜プリントして配布する。

履修コード	044801
科目名	日本史史料講読IV
担当者名	小泉 雅弘 <small>こいずみ まさひろ</small>

講義のねらい 実証に裏づけされた歴史研究を行うために、その基礎となる日本近代史史料の読解力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール 前期(1～15)は、幕末期から明治期における活字史料(公文書・書簡・日記など)を教材として、史料の読み方、解釈、内容分析などを行う。また後期(15～30)は、「東京府文書」(東京都公文書館所蔵)を使用して、くずし字の読解力を養う。

履修上の留意点 必ず予習すること。
成績評価の方法 定期試験によって評価し、出席状況を加味する。
教科書 史料をプリントして配布する。
参考書 児玉幸多編『くずし字解読辞典(普及版)』(東京堂出版)2,200円

履修コード	046401・046402
科目名	古文書研究I 古文書講読I
担当者名	吉田 ^{よしだ} 政博 ^{まさひろ}

講義のねらい	古代から中世にかけての古文書・古記録などについて、その読解力の習得に加え、歴史資料に関する知識と意識を高めることを目的とする。歴史研究は資料に基づきこれを分析・評価し、実証して行くという過程があるが、そのなかで、様々な情報を含んでいる古文書の解読能力を身につけることは不可欠なこととなっている。前期では古文書の概要と形式を把握した後、戦国期の大名文書について、読みながら内容分析を行なう。後期には平安・鎌倉期、南北朝期、室町期の文書を読解しながら、古文書全般について対応する力や、歴史的事実を明らかとする能力を養いたいと考えている。
講義の内容・授業スケジュール	(1・2) 古文書の概要と形式 (3～8) 戦国大名文書に親しむ (9～13) 天下人(信長・秀吉・家康)の書状を読む (14～16) 古代の文書を読む (17～19) 鎌倉時代の文書を読む (20～22) 室町期の文書を読む (23～25) 戦国期の文書を読む (26～28) 記録・金石文・奥書などを読む (29～) まとめ
履修上の留意点	古文書の読解力は、文書に慣れ親しむことが必要である。予習・復習はもちろんであるが、日頃から博物館の展示などを通じて古文書などの歴史資料に接してほしい。
成績評価の方法	年度末の定期試験を基礎として、レポート(1回)の評価と授業の出欠状況を加味する。
教科書	教科書はない。史料のプリントを適宜配布する。
参考書等	必要に応じて講義において紹介する。

履修コード	046501・046502
科目名	古文書研究II 古文書講読II
担当者名	湯浅 ^{ゆあき} 隆 ^{たかし}

講義のねらい	江戸時代に作成された古文書・記録類・典籍などの版本(以下、江戸時代史料と記します)を対象として、その読解力の習得をめざします。文書の形を知ること、文字を解読すること、そのうえで文言・様式から歴史事実を読みとる力の養成を目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	まず、江戸時代史料に幅広く接するようにします。江戸時代の表現に慣れることで、文脈から判読困難な文字を推定できるようにしていきます。 (1～5) 武家の史料[領地宛行状、大名・旗本の家政、高札など]、(6～10) 町方の史料[沽券状、借用証文、引札など]、(11～15) 村方の史料[年貢割付状、村明細帳など]、(16～20) 寺社の史料[往来手形、寺請証文など]、(21～23) かな文字、(24～30) あるまじりをもった文書群の読解。
履修上の留意点	文書読解力向上の捷徑(近道)は、当該時代に多用された言い回しに慣れることです。したがって、他の科目で江戸時代史料の講読(活字でも構わない)をすでに履修しているか、もしくは同時並行で履修するようにしてください。さらに、授業時間以外における自習は必須です。
成績評価の方法	解読できるか否か、それだけです。それは、授業における取り組み、学年末の試験などをとおして判定します。
教科書	教材として、史料のプリントを配布します。
参考書等	その都度、提示します。
その他	授業は、輪読形式となります。 江戸時代史料には、歴史学がこれまでに蓄積してきた成果の総量を遥かに超える豊富な事実が詰め込まれています。解読の扉を自ら開き、さらに広げていくことで、江戸時代への興味が限りなく広がっていくきっかけになることを期待しています。

履修コード	046301・046302
科目名	記録史料学I 古文書学
担当者名	松本 信道・久保田 昌希・中野 達哉

講義のねらい 古代から近世にいたるわが国の史料保存の歴史や史料論について講義する。とかくおちいりがちな、ひとつの時代に片寄った史料論ではなく全時代を対象とした古文書学をめざす。また、文書を後世に残していこうという姿勢を国家レベルで打ち出した公文書館法（昭和62年制定）やアーキビスト（文書士）養成問題などもふまえて史料の保存と利用に関する問題にもふれるつもりである。さらに、古文書のみならず歴史資料として絵画や出土遺物・金石文なども視野に入れて考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) ガイダンス……（担当教員全員）。
(2) 文字の伝来と受容、(3)～(5) 古代の文書様式、(6) 正倉院文書、(7) 木簡、漆紙文書・墨書土器などの利用法、(8) 金石文の有効性…（松本担当）。
(9)～(11) 中世の史料について、(12)～(14) 中世史料学、(15)～(18) 中世史料の管理、(19)～(20) 中世史料の保存と伝来…（久保田担当）。
(21) 近世文書の特質、(22) 近世文書の所在と種類、(23)～(26) 武家文書のいろいろ、(27) 町方・村方文書の所在と種類、(28) 年貢の賦課・徴収と文書、(29) 領主支配と文書、(30) 訴訟と文書…（中野担当）

履修上の留意点 ※以上とは別途に文書館・史料館等への見学を実施する予定。
古代から近世までの古文書の全体について学びたいと思っている学生、また、従来の古文書学に加えて史資料の保存・利用といった観点に興味をもっている学生の履修を期待する。

成績評価の方法 試験・レポートの成績によって評価する。
教科書 教科書は特定のものを用いず、必要に応じて担当教員が指示する。
参考書等 各担当教員が教場において指示・紹介する。
その他 講義が中心となるが、必要に応じてビデオ・スライド・OHPなどを使用する。

歴
史

履修コード	044811
科目名	記録史料学II
担当者名	熊本 史雄・小泉 雅弘

講義のねらい

現在、各地の文書館などで記録史料を取り扱う専門職（アーキビスト）の設置が検討されており、その必要性が広く認識されているが、本講義では、記録史料を取り扱う基本的な知識を取得する事を目的としている。ここでは、明治維新以降に作成された様々な「近代史料」について、史料の収集や整理、保存さらに修復など、さらには近年注目される「オーラルヒストリー」の方法など、「記録史料（アーカイブ）」の全般について講義する。前期は、とくに公文書の読解における作法を学び、後期は、「近代史料」の取り扱い全般について学ぶ。前期では具体的には外交文書（電報、公信）を主として採り上げ、そこから窺い知れる文書処理や政策決定の過程、さらには「記録」として保存されることの意味につき検証する。これらを踏まえ、階層構造をなす文書群の固有の体系性について考える。また、「記録史料学」の授業の中では、教室での講義にとどまらず、実際に文書館を訪ね、現物の史料にふれると共に史料整理や保存などの現場を見学し、実践的な学習を重視する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1回：講義の概要（授業計画／参考文献）（担当：熊本・小泉）
- 前期（担当：熊本）
- 2回 記録史料学とは 一歴史学と記録史料一 〔概説〕
 - 3回 記録史料学の方法と対象 一補助科学としての史料学からアーカイブズ学へ一 〔概説〕
 - 4・5回 公文書館の機能と役割 〔公文書館論〕
 - 6回 国民国家形成とアーカイブズ① 一フランス革命と文書館一 〔公文書館論／記録管理論〕
 - 7回 国民国家形成とアーカイブズ② 一近代日本の文書行政一 〔公文書館論／記録管理論〕
 - 8回 近代日本と公文書① 一外交文書一 〔記録資料論／記録管理論〕
 - 9回 近代日本と公文書② 一拓務省関係文書一 〔記録資料論／記録管理論〕
 - 10回 近代日本と公文書③ 一府県文書と町村文書一 〔記録資料論／記録管理論〕
 - 11・12回 公文書のライフステージと評価・選別 一移管・保存・廃棄一 〔評価・選別論〕
 - 13回 「近代史料学」の世界 一文書群の構造と組織機能の解明一 〔「近代史料学」〕
 - 14回 「情報公開法」と「近代史料学」 〔「近代史料学」〕
 - 15回 中間試験
- 《以上前期》
- 後期（担当：小泉）
- 16回 公文書館の資料収集について
 - 17回 史料の整理一現状記録論一
 - 18回 史料の整理一封筒詰め・封筒書き一
 - 19・20回 史料の整理一目録の作成一
 - 21・22回 史料の保存と管理
 - 23回 マイクロカメラの組立て・操作
 - 24・25回 史料の修復
 - 26回 史料閲覧の考え方
 - 27回 「オーラルヒストリー」の方法
 - 28・29回 記録映像の制作と活用
 - 30回 まとめ

歴
史

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、史料に接する事の喜びを感じ取ってほしい。また、「公文書」がもつ「固有の体系性」を学び取って欲しい。

成績評価の方法

前後期授業における試験の結果（70%）と、出席状況と授業態度さらに夏冬にそれぞれ行う公文書館訪問への参加（30%）、などを総合的に判断する。

教科書
参考書等
その他

特に指定しない。
適宜紹介する。
「記録史料学」と合わせての履修が望ましい。夏と冬に文書館見学を行う。

履修コード	044901・044902
科目名	東洋史文献史料講読I 東洋史史料講読I
担当者名	石井 仁

講義のねらい 北宋の司馬光(1019-1086)が編纂した『資治通鑑(しじ・つがん)』294巻は、周の威烈王二十三年(西暦紀元前403年)から五代後周の世祖顯徳六年(紀元後959年)までの1362年間を編年体で叙述した歴史書です。司馬光は各時代の基本史料を整理収集し、事実と考えられる記事を採用しました。内容は政治過程を基調としつつも、社会経済・文化など、多岐にわたり、各時代の概況が通観できるように工夫されています。また、元の胡三省が『資治通鑑』にほどこした精密な注釈(=胡注)は、単なる字句の解釈にとどまらず、政治制度・地理などの各分野ですぐれた見解を提示しています。

**講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法**

以上のような特色を兼ね備える『資治通鑑』の講読を通して、漢文史料読解力の向上はもとより、研究のための各種実用書-工具書(辞典・年表・地図・索引類など)の使用方法や、文献の検索方法など、中国史研究に不可欠の基本知識と作業手順の修得をめざします。なお、『資治通鑑』のどの時代、何巻から講読するかについては、開講後、相談のうえ決定します。

(前期)(1・2)ガイダンス (3・13)講読 (14・15)補論
(後期)(16~28)講読 (29・30)補論

予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。

テキストを受講者全員が輪番で漢文訓読します(1人2~3回担当)。したがって、各自の分担部分を責任をもって調べ、かつ正確に解釈し、講義中に発表したか否かを最大の評価基準とします。

レポートを課すこともあります。

**教科書
参考書等**

中国・中華書局刊行の標点本をテキストに使用します(コピーを配布)。
随時紹介します。

履修コード	045011・045012
科目名	東洋史文献史料講読III 東洋史史料講読I
担当者名	中村 淳

講義のねらい 本講では、モンゴル時代(モンゴル帝国・元朝の時代)を対象とする漢文を、補助資料を用いながら輪読する。

漢字を普段から用いている日本人は、ややもすれば漢文を雰囲気を読んでしまうことがある。本講読を通して、一文字一文字を大切にしながら史料を読む習慣を身につけてもらいたい。同時に、モンゴル時代を研究する際の基本的な知識や技術を合わせて修得してもらいたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

事前に、輪読の中心となる担当者を決める。具体的なスケジュールは、受講者の人数がわかって初めて決まるので、授業開始時に受講者と相談して決めたい。

担当者は担当日に向け、担当箇所漢文について、書き下しと日本語訳を作り、関連データを収集・整理し、レジュメを作成して授業に臨む。

当日はそのレジュメに基づいて報告をする。

レジュメの作成方法や発表・報告の仕方は、授業開始時にガイダンスを行なって説明する。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書**

出席を重視する。第1回から必ず出席すること。

出席点・平常点により総合的に判断する。

特に指定しない。必要な史料はコピーして配布する。

歴
史

履修コード	045031・045032
科目名	東洋史文献史料講読Ⅴ 東洋史史料講読Ⅰ
担当者名	杉山 清彦 <small>すぎやま きよひこ</small>

講義のねらい	清の故事・制度を記した19世紀の随筆『嘯亭雜録』を選読し、漢文史料読解能力を養成するとともに、清代の制度・史実についての知識と理解を深める。あわせて、辞書・索引・年表など各種工具書の利用法や、史料・研究文献の検索法など研究のための基本的な知識と技術の修得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	開講後まず漢文法の基礎を指導したのち、本文の講読を進める。受講者全員に漢文テキスト本文の訓読・現代語訳を課し、人物・術語など関連事項については、必要に応じて担当者を指名してレジュメを作成・報告してもらう。 (1) ガイダンス (2～5) 漢文の基礎 (6～30) 講読
履修上の留意点 成績評価の方法	各自、漢和辞典など基本工具書必携（電子辞書は不可）。詳しくは開講時に紹介・指導する。 出席状況を含む平常点とレポートにより評価する。演習であるので、毎回の出席はもちろん、事前の十分な予習と演習時の積極的参加姿勢とが求められる。
教科書 参考書等	テキストは中華書局刊の標点本を使用し、講読箇所をプリントを配布する。 講義中適宜紹介する。時代の理解に有用なものとして、岡田英弘・神田信夫・松村潤『紫禁城の栄光』（講談社学術文庫、2006）を薦める。
その他	講読テキストは漢籍であるが、モンゴルなどアジア諸地域に関連する内容も扱うので、中国史以外の専攻を志望する学生の受講も歓迎する。

履修コード	045051・045052
科目名	東洋史文献史料講読VII 東洋史史料講読II
担当者名	津田 資久 <small>つだ ともひさ</small>

講義のねらい 本講義は、第一に専門的な漢文読解の養成を目指し、その上で三国時代史の事象に対する認識を深めることを目的とする。科目名が示すとおり史料講読が主となり、毎回あらかじめ指定した分担報告者（年2回以上。訓読文、書き下し文、現代日本語訳を分担）による発表を行ってもらい、またそれ以外の者にも随時質問するので、受講者諸君には、くれぐれも漢文の十分な予習・復習を欠かさずに出席してもらうよう要請する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期

- 第1回 年間授業計画、工具書の説明
- 第2回 受講者への報告分担範囲の割り当て、『三国志』の史料的性格（1）
- 第3回 『三国志』の史料的性格（2）
- 第4回 史料講読・黄巾の乱、董卓の専横
- 第5回 史料講読・曹操の挙兵、孫堅の活躍
- 第6回 史料講読・劉備と関・張、袁紹の覇権
- 第7回 史料講読・官渡の戦い
- 第8回 史料講読・江東を託す
- 第9回 史料講読・三顧の礼
- 第10回 史料講読・長阪の忠臣
- 第11回 史料講読・赤壁の戦い
- 第12回 史料講読・劉備の入蜀
- 第13回 史料講読・漢魏革命
- 第14回 史料講読・遺孤を託す
- 第15回 前期のまとめ

後期

- 第16回 前期の回顧と後期の展望、受講者への報告分担範囲の割り当て
- 第17回 史料講読・出師の表
- 第18回 史料講読・泣いて馬謖を斬る（1）
- 第19回 史料講読・泣いて馬謖を斬る（2）
- 第20回 史料講読・秋風五丈原（1）
- 第21回 史料講読・秋風五丈原（2）
- 第22回 史料講読・正始の政変（1）
- 第23回 史料講読・正始の政変（2）
- 第24回 史料講読・蜀の滅亡（1）
- 第25回 史料講読・蜀の滅亡（2）
- 第26回 史料講読・魏晋交替（1）
- 第27回 史料講読・魏晋交替（2）
- 第28回 史料講読・三国の統一（1）
- 第29回 史料講読・三国の統一（2）
- 第30回 まとめ

履修上の留意点 本講義では、正当な理由なき欠席（学則で例外措置と認められた公欠、忌引き、病欠などを除く全ての欠席を指す）が全授業数の3分の1を超えた場合、学則に定められた単位取得に関わる出席不足となるので、定期試験への出席は一切認めず、「不可」とする。また「講義のねらい」でも述べたように、くれぐれも漢文の十分な予習・復習を欠かさず出席してもらいたい。

成績評価の方法 定期試験（50%）、年2回以上の分担報告（40%）、授業態度・正当な理由なき遅刻の有無（10%）。ただし「履修上の留意点」でも述べたように、正当な理由なき欠席（学則で例外措置と認められた公欠、忌引き、病欠などを除く全ての欠席を指す）が全授業数の3分の1を超えた場合、学則に定められた単位取得に関わる出席不足となるので、定期試験への出席は一切認めず、「不可」とする。この点、よく注意すること。

**教科書
参考書等**

三国志学会監修『漢文講読テキスト 三国志』（白帝社、2008年）1700円（税抜）

主な工具書

- 諸橋徹次『大漢和辞典』（全13巻。大修館書店）
- 羅竹風主編『漢語大詞典』（諸バージョン有り。漢語大詞典出版社）
- 藤島達朗・野上俊静編『東方年表』（平楽寺書店）
- 譚其驤主編『中国歴史地図集』（第2冊、第3冊。中国地図出版社、1982年）
- 『中国歴史大辞典・魏晋南北朝史巻』（上海辞書出版社、2000年） など

主な概説書

- 岡崎文夫『魏晋南北朝通史・内編』（1932年初出。のち平凡社東洋文庫、1989年）
- 川勝義雄『魏晋南北朝』（1974年初出。のち講談社学術文庫、2003年）
- 福原啓郎『西晋の武帝 司馬炎』（白帝社、1995年）
- 石井仁『曹操 魏の武帝』（新人物往来社、2000年） など

履修コード	045071・045072
科目名	東洋史文献史料講読IX 東洋史史料講読II
担当者名	石川 重雄

講義のねらい 本講義は清の趙翼『廿二史劄記』を読みながら、史料学や史料批判などについて学ぶことを目的といたします。まず各自が関心のある項目をいくつか選択し、原文筆記、返り点、訓読、日本語訳をつくってもらいます。その過程で趙翼が引用した記事と正史の記事との校合、人物・地名・官職・歴史事項等の検討をおこない、簡単な「訳注」を完成させたいと思います。このほか講義の合間に、「正史のはなし」「暦のはなし」「年号のはなし」「諱を避ける」等の基本事項についても言及する予定です。

講義の内容・授業スケジュール 【前期】
 1) テキスト・辞書の説明
 2) 担当者の輪読、発表
 3) 正史のはなし
 4) 訳注のレジュメの作成
 【後期】
 5) 担当者の輪読、発表
 6) 年号のはなし
 7) 諱を避ける
 8) 訳注レジュメの作成、総括

履修上の留意点 担当者を決めて発表形式ですすめます。各自予習が必要となります。講義の際には適当な漢和辞典を持参して下さい。

成績評価の方法 平常の発表内容、出席率、提出レジュメによって行います。
教科書 テキストは、講義時にプリントを配布いたします。
参考書等 必要に応じてそのつど紹介します。

履修コード	045091・045092
科目名	東洋史文献史料講読XI 東洋史史料講読II
担当者名	上田 裕之

講義のねらい 本講義では、受講生全員による清代の漢文史料の講読を行い、丹念な史料の読解に基づいて歴史理解を構築するための能力の修得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、19世紀中頃に清朝の官僚であった王慶雲の著作『石渠餘記』（せききょよき）から、清朝(1636～1912)の財政に関する文章をピックアップして講読します。

財政とは、政府が民間から貨幣や物品を徴収し、それを統治の実現のために様々な用途に支出するという活動です。財政のありかたは、それぞれの時代・地域における国家と社会の結びつき方を如実に表現しています。本講義では、上記史料をテキストとして財政史観点から清代中国の国家と社会の実像に迫るとともに、その作業を通じて、中国史の研究に不可欠な漢文読解能力の研鑽を図ります。

第1講では本講義の進め方についてのガイダンス、第2～5講では明清時代の流れを概観するとともに同時期の財政史に関する基本事項の説明を行い、第6～30講では受講生全員による史料輪読を行います。輪読の際、担当者は、担当部分の書き下し文（常用漢字・現代仮名遣い）・現代日本語訳・語句説明を記したレジュメを作成し、必要に応じて歴史地図のコピー等の補足資料を用意すること。

履修上の留意点 漢和辞典を毎回必ず持参してください。
 高度な予備知識は求めませんが、講義で解説された事柄については質問や復習などの自主的な努力によって着実に自身の知識として定着させるよう励んでください。

成績評価の方法 出席が一定水準に達した受講生について、①発表レジュメ、②発表内容、③期末レポート（①の訂正版を前期末および後期末に提出）に基づいて評価を行います。出席不良者は、①～③の内容如何に関わらず評価の対象としませんので、心身の管理に努めて極力毎回出席するようにしてください。

教科書 講読箇所のコピーを配布します。
参考書等 岩井茂樹『中国近世財政史の研究』京都大学学術出版会、6,600円、ISBN4-87698-521-9（大学図書館3階、342/76）
 その他、明清時代の理解に有用な概説書・専門書・研究論文を、講義において適宜紹介していく予定です。

履修コード	045101・045102
科目名	西洋史文献史料講読I 西洋史史料講読I
担当者名	伏島 正義 ふせじま まさよし

講義のねらい 西洋学を学ぼうとする場合、それが人文・社会科学の1部門であるとの立場に立つ限り、その根拠として、史料は必要不可欠であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも史料を読むことにより、それを包む社会がいかなるものであったのかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせる。なぜならば、史料は自身からはなんら自動的に語り出すものではなく、我々の史料への問いかけ次第で、多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。

講義の内容・授業スケジュール 具体的にいかなる史料を扱うかについては受講生と相談のうえ、決める。但し本講では西欧諸国を対象とし、概して前近年をその範囲とする。また史料は翻訳に拠ることなく原典それ自体を読むこととしたい。なぜならば、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは我々各人の自由で、独創的な解釈を阻害する危険があるからである。

昨年度は9世紀初頭パリのサン＝ジェルマン＝デ＝プレ修道院の院長イルミノンによる所領明細帳の一部を読んだ。これは西洋中世における領主―農民関係を議論する場合の根拠とされる第一次史料である。授業のスケジュールとしては、前期に初歩のラテン語を学び、後期に史料を読んだ。本年度もこのようなスケジュールをとりたい。

履修上の留意点 歴史を原典史料に降り立って、じっくりと研究しようとする志を持つ、地道な姿勢が期待される。

成績評価の方法 演習形式で授業を進めるため、毎回授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかが基本的な基準である。学期末にテストを実施し、決める。

教科書 ラテン語の辞書は必ず用意して下さい。たとえば下記の辞書。

- ・ Charlton T. Lewis, *An Elementary Latin Dictionary*, Oxford University Press
- ・ James Morwood, *The Pocket Oxford Latin Dictionary*
- Smith, William / Lockwood, John, *Chambers Murray Latin - English Dictionary (PAP) REI SUB Edition - GB -*

その他必要な史料等はプリントして、配布する。

参考書等 授業に合わせて、その都度指摘する。

履修コード	045211・045212
科目名	西洋史文献史料講読III 西洋史史料講読I
担当者名	佐々木 真 ささき まこと

講義のねらい フランス語で文献を購読してみたい人のための授業。フランスの絶対王政期から革命期にかけての文献をフランス語で講読する。同時に、テキストの背景となる歴史状況についての解説も行う。

講義の内容・授業スケジュール 授業は履修者の輪読による演習形式で進める。進行方法については、受講者の数やレベルを考慮して授業を行うなかで決定する。

履修上の留意点 (1)ガイダンス、(2-30)文献の購読
外国語を講読する授業なので、フランス語の基礎的な知識は必要となる。また、フランス史についてのある程度の知識が必要となるので、授業中に紹介する参考文献や概説書を必要に応じて読むこと。テキストを精確に読むためには、内容を常に理解することが肝要であり、それには前後関係の理解が重要となる。そのため、欠席は原則として認めない。

成績評価の方法 成績は授業への出席と、授業に対する各受講生の取り組みを中心に評価し、必要が認められた場合には学年末に試験を実施する。

教科書 テキストは授業開始時にコピーを配布する。

参考書等 参考文献は必要に応じて授業の中で紹介する。

歴
史

履修コード	045231・045232
科目名	西洋史文献史料講読V 西洋史史料講読I
担当者名	大城 道則 おおしろ みちのり

講義のねらい 西洋史研究に必須である外国語について、専門的な文献史料を扱いながら慣れることを最大の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール 古代西洋史あるいは古代オリエント史に関して英語で書かれた史料をテキストとして用いる。

履修上の留意点 予習と辞書（電子辞書は勧めない）の携帯を求める。予習をしていない場合は、欠席扱いとする。

成績評価の方法 出席率、予習の質、そして後期試験期間中のテストにより評価する。

参考書等 適時プリントを配布したり、映像を見せたりする。

履修コード	045251・045252
科目名	西洋史文献史料講読VII 西洋史史料講読II
担当者名	井上 文則 <small>いのうえ ふみのり</small>

講義のねらい 西洋史の研究に必要な英文読解能力の向上を目指す。
 講義の内容・授業スケジュール 古代ローマ史に関する英文文献を講読する。
 履修上の留意点 予習は不可欠（毎回、全員に回答を要求する）。また、講義に際しては、英和辞典を必携すること。
 成績評価の方法 受講態度、出席、期末試験で総合的に評価する。
 教科書 講読テキストは、講義中に配布する。
 参考書等 講義中に随時指示する。

履修コード	045271・045272
科目名	西洋史文献史料講読IX 西洋史史料講読II
担当者名	菊池 紘一 <small>きくち こういち</small>

講義のねらい 西洋史の基本テーマに関する欧語文献を読む力をつけるとともに、関連テーマに及ぶことにより西洋史理解のレベルを上げる。今年度は、「大学史」を基本テーマとする。「大学」は現代世界を分割支配している国家制度よりもはるかに長い歴史をもつ文化制度であり、学生諸君自身がその歴史の中に在ることを実感してもらいたい。
 講義の内容・授業スケジュール 最初にH・ラッシュドールの『大学の起源』の原著から一部を抜き出して要約しつつ、大学史文献にどのようなものがあるか紹介していく。最終的には日本の大学も含めて、大学史がどのように書かれているかを比較する。
 履修上の留意点 随時副教材を配布するので、出席をおろそかにしないこと。
 成績評価の方法 出席態度、レポート水準、試験結果を見る。
 教科書 文献から要点を抜き出して編集したものを使う。
 参考書等 随時紹介する。

履修コード	045291・045292
科目名	西洋史文献史料講読XI 西洋史史料講読II
担当者名	土方 史織 <small>ひじかた しおり</small>

講義のねらい 18～19世紀のブリテンを論じた英文テキストを読み、当時の社会状況、世界観を他のヨーロッパ諸国や植民地との関係から理解することを目的とします。
 講義の内容・授業スケジュール 輪読形式で読み進めます。また、こちらから解説を適宜加えていきます。前期一基礎編。簡単な概説書を読み、時代状況をイメージできるようにします。後期一応用編。19世紀ブリテンに関する研究論文を読み、史料分析の手法を学びます。
 履修上の留意点 毎回出来るだけ多くの受講生に発表してもらうため、予習は必ずしてきて下さい。予備知識としてブリテン史及び近代ヨーロッパの時代状況を理解しておくことが必要です。遅刻、私語は厳禁。守れない人は履修しないで下さい。
 成績評価の方法 基本的には授業中の発表や課題内容で決めます。受講生が多い場合は試験や追加課題を行うことも考えています。また、発表者でなくとも授業への積極的な参加が認められれば、評価の対象になります。
 教科書 開講時に発表します。
 参考書等 川北稔、木畑洋一編『イギリスの歴史―帝国＝コモンウェルスのあゆみ』（有斐閣アルマ―世界に出会う各国＝地域史）有斐閣2000年。
 村岡健次、川北稔編著『改訂版 イギリス近代史：宗教改革から現代まで』ミネルヴァ書房2003年。
 井野瀬久美恵著『大英帝国という経験』（興亡の世界史 第16巻）講談社2007年。
 その他 授業初回に詳細なガイダンスをおこなうので履修予定者は必ず出席して下さい。出席しないと履修できません。

履修コード	045701
科目名	考古学実習（写真）
担当者名	塚原 明生

講義のねらい 考古学における、発掘現場写真撮影出土遺物写真撮影について基礎より学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 写真撮影の為のカメラ機材及び写真用品の解説とその使用方法、用途や目的に応じたその利用方法を写真専門用語と共に基礎より学び、撮影実習暗室実習を通して写真記録の重要性を考える。

履修上の留意点 受講生は実習を円滑に進める為、原則的に 35mm 判一眼レフカメラを所持する事を条件とする。（デジカメ及びコンパクトカメラは不可）

成績評価の方法 課題写真提出、出席点（どちらが欠けても評価の対象外とする）

その他 前期に講義を中心とし撮影実習（屋外）後期に撮影実習（屋内）及び暗室実習を行なう。

履修コード	045801
科目名	考古学実習（測量）
担当者名	古庄 浩明

講義のねらい 発掘調査に必要な測量技術を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 測量機器を使って野外で測量活動をおこなう。また、2月に3週間ほど実際の遺跡の測量調査をおこなう。

履修上の留意点 野外での作業を伴うので、作業しやすい服装で受講すること。

成績評価の方法 「出席」と「2月におこなう遺跡測量へ参加できるかどうか」を最も重視する。また、一定の技術を習得したか授業中に試験を行う。

参考書等 野帳（150円程度）・コンベックス・電卓（ともに100円ショップで売っているものでよい）が必要。どのようなものを買ったほうが良いか授業中に指示します。

その他 男女とも野外作業に適した服装。雨天でも通常の授業では屋根のある場所で測量実習を行う。

履修コード	045911
科目名	考古学実習（実測）
担当者名	杉山 浩平

講義のねらい 考古学を勉強する上で、各種出土品を図化し資料化することは必須である。本授業では、主に土器と石器を用いて、資料の観察と図化するための方法を学習する。そして、卒業論文作成時に役立つように図版の作り方（トレースやレイアウト作業）についても説明をする。

講義の内容・授業スケジュール 前期では、図化する必要性について説明を行い、資料を観察して特徴・製作技術について解説が出来るようになる。その後、実測方法を習得する。後期では、実測や拓本を行い、実測図面の清書（トレース作業）および図版作りを行う。資料の観察・実測は、授業時間内では終わらないと思われるので、宿題として次の授業までに終わらして授業時に解説等を行う。結果として出来るだけ多くの資料に触れられるようにする。

履修上の留意点 資料の説明や観察や実測の方法を説明するので、欠席はしないこと。また、宿題を行うこと。

成績評価の方法 授業への取り組みと提出された課題に基づく

教科書 授業中に指示する。

参考書等 授業中に指示する。

履修コード	046101
科目名	考古学実習(情報)
担当者名	小柳 美樹

講義のねらい	この授業は、パソコンを利用しながら考古学上の調査方法および整理技術、研究を進めていく際に必要な基礎知識や考え方を理解していくものである。
講義の内容・授業スケジュール	基本的なパソコンソフトである文章作成機能、数理統計機能、図画作成、写真加工機能、インターネット環境などを使用し、与えられた課題を処理していく。そのため、授業時間の大半は、パソコンを活用しながらの作業になる。 前期 ①～⑤ インターネットによる資料・情報収集 ⑥～⑩ パワーポイントを使った発表資料の作成 ⑪～⑮ 発表とその反省によるパワーポイントの修正 後期 ①～⑤ フォトショップを使った提示資料の作成 ⑥～⑩ フォトショップを使った分布図の作成 ⑪～⑮ データベースのグラフ化(エクセルを使用)
履修上の留意点	履修する学生はパソコン利用が初心者であるものを優先したい。すでにパソコンに慣れている学生には物足りなく感じてしまう恐れがある。ご注意願う。 課題は考古学に関するものである。そのため、基礎的な考古学用語などを把握している学生が望ましい。
成績評価の方法	出席状況(50%)。 課題を期日までに全て提出していること(50%)。 成績は課題提出によるので、筆記試験は行わない。
教科書その他	指定する教科書・参考書はない。 開講時までに学内パソコン利用の登録を済ませておくこと。

履修コード	047311
科目名	日本古代史
担当者名	瀧音 能之

講義のねらい	原始～平安時代への理解を深めるとともに、古代に生きた人々の生活、風習、信仰などについて考え、各人の能力のアップをはかることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	古代の歴史を単に通史的に追うのではなく、それぞれの時代の中の興味深いテーマを設定して、そこから古代史をみつめたいと思います。(1)ガイダンス(2)～(14)原始から奈良時代前期にかけての歴史(15)確認テスト(16)確認テストの解説(17)～(29)奈良時代後期から平安時代にかけての歴史(30)確認テスト
履修上の留意点	講義の日だけに古代史を勉強するというのではなく、日頃から新聞・雑誌・インターネット・TV番組などで報じられる古代史の新発見や情報に反応する習慣を養っておいて下さい。
成績評価の方法	2回おこなう確認テストを重視します。それに平常点(出席や発言など)を加味して評価します。その割合は、テスト85パーセントに平常点15パーセントくらいと考えて下さい。
教科書 参考書 その他	初回の講義のさいに指示しますので、受講希望者は、欠席しないようにして下さい。 瀧音能之『古代史の舞台裏』2007年刊(青春出版社)1000円+税 古代史を考えてみよう、という熱意と興味のある学生の受講を期待します。

履修コード	047411
科目名	日本中世史
担当者名	久保田 昌希

講義のねらい	本講座は中世社会の構造を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。はたして中世という社会は、古代から近世社会の間でいかなる構造をもち、いかなる展開を遂げたのかという、いわば中世社会の「枠組み」を紹介する。
講義の内容・授業スケジュール	(1～5) 古代から中世へ、(6～11) 鎌倉幕府と朝廷、(12・13) 武家と公家の法秩序、(14～18) 鎌倉中・後期の幕府と朝廷、(19) 建武政権をめぐって、(20～23) 室町幕府と守護体制、(24・25) 惣的結合と一揆の時代、(26～28) 戦国大名領国の形成、(29) 豊臣政権、(30) 近世(幕藩制)社会へ
履修上の留意点	細かな政治史、事件等の経緯についてはあまり紹介しない。各自で中世史関係の論文や図書を読んでほしい。また講義内容で関心をもった事項は自分で積極的に調べてほしい。もちろん質問も歓迎する。これらを通して自分のノートを充実することを期待している。
成績評価の方法	定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。
教科書	とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。
参考書等	適宜紹介する。

履修コード	047511
科目名	日本近世史
担当者名	中野 達哉

講義のねらい	近世の領主支配と社会について理解することを目的とする。具体的には、関東、とくに武蔵国を中心に、現在の研究上の問題点に触れながら考えていく。とくに関東転封より江戸幕府開幕までの関東領有期の徳川氏の領国整備の過程を中心に、およそ享保期までを視野に入れ、具体的に史料をあげ、講義する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 授業についてのガイダンス 序、北条氏の滅亡と徳川家康の関東転封 (2～3) 惣無事令と北条氏の滅亡、(4～5) 家康の江戸入府 I. 関東領有期の徳川氏の領国経営 (6) 近世初頭の江戸、(7～8) 江戸・江戸城の建設、(9～10) 家臣団への屋敷下賜と江戸の武家屋敷、(11～12) 埋め立てと町の建設、(13～14) 町の支配と住民、(15) ドン・ロドリゴの見た慶長期の江戸 II. 家臣団の知行割と幕藩体制への展開 (16) 知行割りの実施と基本方針、(17～18) 知行割りの実施過程、(19～20) 拠点・要所への家臣団配置、(21) 蔵入地の設定、(22) 知行宛行の実際 III. 検地と在地支配 (23～24) 近世の検地と徳川初期検地の特徴、(25～26) 武蔵国の検地実施過程、(27～28) 検地と知行割り・石高制、(29～30) 代官頭と在地支配
履修上の留意点	「知識としての日本史」を深めるために受講するのではなく、近世の社会を大局的に捉え、考えるための糧とすべく講義を受講して欲しい。
成績評価の方法	基本的には、年度末の定期試験により評価する。試験では、史料の解説と論述問題を課す。なお、授業の出欠状況も参考とする。
教科書	教科書はなし、必要な資料は適宜プリントして配布する。
参考書等	授業中適宜指示する。

履修コード	047611
科目名	日本近代史
担当者名	熊本 史雄

講義のねらい

いうまでもなく、歴史を学ぶにおいては「問」が存在します。近代史に限って言えば、アジア太平洋戦争はなぜ起こったのか、は大きな「問」のひとつに違いないでしょう。これと関連して、「国民国家」が如何にして建設されたのかという「問」もまた、近代史を学ぶ際の大きな「問」です。

西欧文明との接触を契機として始まった日本の近代化は、憲法制定や帝国議会設置といった政治体制の整備にとどまらず、産業、経済、教育、芸術、さらには文化といった生活レベルにまで至るものでした。その過程は、伝統と変革と建設の三つ巴の混乱を伴いながら、西洋文明すなわち異文化をいかにして受容するかとの課題に対応し続けたものと言えるでしょう。そしてその先には、強靱な「国民国家」を建設する、という明治国家が掲げた大きな目的があったのです。

そこで本講義では、「国民国家」建設における「内」と「外」、すなわち「国民」を創り出すべく展開された国内事業とりわけ教育政策と、対外関係のなかで「帝国日本」の位置を模索した外交につきそれぞれ史料を交えて講述し、先の「問」に答えていくための視座を提供していきたいと考えています。

まず前期では、西洋文明の摂取とそれに対向すべく喧伝された日本の伝統文化のなかで模索を続けた近代日本の足跡を、「文学（自我の確立）」と「国語（ことば）」を切り口として考察します。とくに、「国語教育」が担った「国民」創出過程を繙くことによって、アジア進出を促した論理やナショナリズムの問題にも言及していきます。

かわって後期では、「国民国家」建設作業と表裏一体でもあった、日本の外交につき論じていきます。とくに、キーとなる人物を探り上げてその外交思想を解明し、近代日本外交が抱え持った、多様で膨らみのある言説空間と足跡を、史料を交えて講述していきます。これらの検討を通じて、近代日本が対峙した対外関係の課題が浮かび上がってくるでしょう。それはすなわち、「なぜ、日本は無謀な戦争を起こさねばならなかったのか？ そして国民の多くは、なぜそれを支持したのか？」という問を解くヒントになるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1回 授業の進め方、参考文献などについての説明
- 2～4回 近代日本の西洋体験 ①～③
- 5～8回 「国語」の創出と国民国家形成 ①～④
- 9～12回 「国語」の海外進出と文化統治政策 ①～④
- 13回 前期のまとめ
- 14回 中間試験
《以上前期》
- 15回 前期の総括（中間試験返却）／後期の授業計画について
- 16回 山縣有朋の「外交政略論」
- 17回 内藤湖南の「アジア主義」
- 18回 内村鑑三の「非戦論」
- 19回 宮崎滔天の「侠」と中国
- 20回 牧野伸顕の「新外交」論
- 21回 幣原喜重郎の「協調外交」
- 22回 石橋湛山の「小日本主義」
- 23回 矢内原忠雄の「植民地政策」論
- 24回 佐藤尚武の「文化外交」論
- 25回 石原莞爾の「最終戦争論」
- 26回 吉田茂の戦後構想
- 27回 まとめ ～国民国家形成と近代日本～

履修上の留意点
成績評価の方法

歴史には「問」がある。「暗記する歴史」ではなく「考える歴史」、「発見する歴史」を。前・後期2回の試験成績（70%）、出席状況および授業への取り組み姿勢（30%）をもとに総合的に評価する。

教科書
参考書等

- とくに指定しない。
- 伊藤 隆『昭和史をさぐる』（朝日文庫）1991年
- 中野目徹『書生と官員－明治思想史点景－』（汲古書院）2002年
- 細谷千博『日本外交の軌跡』（NHKブックス）1993年
- 三好行雄編『漱石文明論集』（岩波書店）1986年
- E. H. カー著 清水幾太郎訳『歴史とは何か』（岩波新書）1962年
- イ・ヨンスク『「国語」という思想』（岩波書店）1996年

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

履修コード	047801
科目名	日本史特講II〔古代〕
担当者名	八馬 朱代

講義のねらい 平安時代において都に住む人々は様々な災害（風水害や疫病など）に見舞われ、いつ疫病や地震などの災害に遭うかわからないという恐れを抱いて生活していたと考えられる。人々は災害や疫病を防ぐために神仏に加護を求め、都では様々な祭祀が営まれていた。特に、天慶年間には平将門や藤原純友の乱が発生し、人々に不安を与えていた。そのような社会状況の中で、天慶年間に起こった八幡新宮破却事件と志多羅神入京事件を取り上げ、平安時代の民衆と宗教との関わりについて考えていきたい。また、10世紀になると天皇・上皇や藤原氏などが神社・寺院参詣を行うようになるが、天皇の周辺の人々がどのような神祇・仏教信仰をもっていたのかについて、特に神社行幸を取り上げて考察を進めていきたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. ガイダンス
 2. 八幡神とは何か（2～4）
 3. 平安京の境界（5～6）
 4. 平安時代の民衆と災害（7～8）
 5. 八幡新宮破却事件（9～11）
 6. 志多羅神入京事件（12）
 7. 八幡神と地震災害（13～15）
 8. 天皇の御願祭祀―臨時祭―（16～17）
 9. 円融天皇と八幡信仰（18～20）
 10. 一条天皇の神社信仰（21～23）
 11. 後一条天皇の神社行幸（24～26）
 12. 女院の神社参詣（27～30）

履修上の留意点 『日本の歴史』など各出版社から刊行している概説書を読んで、平安時代の政治状況について理解を深めるようにしてください。

成績評価の方法 学期末試験を中心に出席状況も考慮に入れて評価します。
テスト70%、出席・平常点30%。

履修コード	047901
科目名	日本史特講III〔中世〕
担当者名	小松 寿治

講義のねらい 讓状と置文の分析を通じて御家人の所領等の相続の意義と一族結合の意義について考える。また、関東各地を事例として、中世の景観について考える。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- (1)御家人の相続について①市河氏の事例（2～4）②諏訪氏の事例（5～7）③入来院氏の事例（8～12）④相良氏の事例（13・14）(2) 中世の景観①下河辺荘の事例（15～19）②赤塚郷の事例（20～24）③多摩川流域の事例（26・27）

履修上の留意点 黒板をフルに使うので内容を覚えるので、ノートをとることを勧める。また、史料については、プリントして配布する。

成績評価の方法 評価は基本的には1月の試験期に提出してもらったレポートで評価するが、授業態度も加味する。
参考書等その他 参考図書・参考論文等については、授業の中で提示する。
講義形式であるが、多少は古文書（活字）を読んでもらうこともある。

履修コード	048101
科目名	日本史特講IV〔中世〕
担当者名	浅倉 直美

講義のねらい 戦国期の権力と社会について理解し、追求することを目的とする。とくに関東の北条氏領国を中心として、近年の中世史研究の進展と課題を踏まえたうえで、具体的に史料と先行論文も取り上げて考えていく。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- (1)～(10) 近年の中世史研究の課題と成果、(11)～(20) 北条領国における権力と社会、(21)～(30) 史料の分析と理解

成績評価の方法 レポート及び出席点
教科書 特に教科書は指定せず、必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	048201
科目名	日本史特講V〔近世〕
担当者名	<small>おだか しょういち</small> 小高 昭一

講義のねらい 近年の近世史研究で注目された研究論文を講読し、関係史料もあわせて読み込み、何が分かったのか、また今後に残された課題を探り、各自の近世史研究に役立てたい。

講義の内容・授業スケジュール 近世の支配・被支配関係における儀式・儀礼・習俗・意識といった研究に注目し、支配の正統性について考える。次いで「馳走」という行為にみられる領主と民衆の間の儀礼・作法についても研究文献を講読して考えてみたい。

成績評価の方法 授業での平常点（出席）と定期試験での成績で総合評価する。

教科書 特定の教科書はない。講義の際に文献・史料のコピーを配布する。

履修コード	048301
科目名	日本史特講VI〔近世〕
担当者名	<small>さくらい おさお</small> 桜井 昭男

講義のねらい 江戸時代の村の成り立ちとその変遷について、史料を使いながら具体的に検討していく。前期は江戸時代の村の特質を時代をおって見ていき、後期は山形県庄内地方に位置する一村で、国の重要無形文化財に指定されている黒川能を伝える黒川村を取り上げて検討することにより、具体的な江戸時代の村の姿を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 江戸時代の村について (2～3) 江戸時代初期の村 (4～6) 村のしくみ (7～8) 村の変容 (9～12) 江戸時代後期の村 (13～14) 幕末・維新期の村 (15) 試験 (16) 黒川村の概要 (17～29) 黒川村の歴史 (30) 試験。

履修上の留意点 受講にあたり、自分が生まれた、あるいは自分の住む地域、もしくは自分に関係のある地域の歴史を調べておいてもらいたい。

成績評価の方法 出席状況 (20%)、試験およびレポートの成績 (80%) で評価する。

教科書 各回レジュメを配布する。

参考書等 桜井昭男『黒川能と興行』(同成社、2003年刊、2600円+税)。

履修コード	048401
科目名	日本史特講VII〔近代〕
担当者名	熊本 史雄

講義のねらい

本講義では、日清・日露戦争期から第一次大戦、第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約締結に至るまでの日本外交につき、史料を交えて講述する。

前期では、朝鮮・満洲地域進出の足がかりとなった日清・日露戦争期の日本外交政策を起点に、第一次大戦後の「転換期」に「新外交」を模索したはずの日本が、満洲事変を経て日中戦争、アジア・太平洋戦争へと突入していく過程を検証しつつ、その根底に潜む「外交思想」の解明を試みる。

後期には、終戦工作を経て、敗戦後の日本が独立に向けて再生していく過程を、占領期GHQとの折衝交渉をつうじて検証する。

こうした検証と解明をもとに、近代日本の歴史像の一面の提示を併せ行いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 前期の授業計画、参考文献などの説明
- 第2回 アジア進出の端緒①
- 第3回 アジア進出の端緒②
- 第4回 第一次大戦と東アジア社会
- 第5回 「転換期」としての戦間期
- 第6回 「新外交」としての「対支文化事業」
- 第7回 「幣原外交」と「田中外交」
- 第8回 若槻礼次郎と海軍軍縮会議
- 第9回 満洲事変とその拡大過程 ①
- 第10回 満洲事変とその拡大過程 ②
- 第11回 松岡洋右と国際連盟脱退をめぐる動向
- 第12回 「広田外交」と「佐藤外交」
- 第13回 日中戦争への道
- 第14回 日中戦争とその拡大
- 第15回 中間試験
《以上前期》
- 第16回 前期の総括（中間試験返却）／後期の授業計画
- 第17回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ①
- 第18回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ②
- 第19回 南進政策と日米関係
- 第20回 日米交渉から日米開戦へ
- 第21回 総力戦体制と戦後の世界
- 第22回 終戦工作と戦後構想
- 第23回 敗戦と占領の開始 ①
- 第24回 敗戦と占領の開始 ②
- 第25回 「自衛外交」の模索
- 第26回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ①
- 第27回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ②
- 第28回 吉田茂の安全保障構想
- 第29回 サンフランシスコ講和条約の締結
- 第30回 日米安全保障条約と行政協定の締結

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

前・後期2回の試験の成績（70%）、および出席状況と授業態度（30%）で評価する。

成績評価の方法
教科書等
その他の

とくに指定しない。

適宜紹介する。

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

履修コード	048411
科目名	日本史特講VIII〔近代〕
担当者名	かつた まさひろ 勝田 政治

講義のねらい ペリー来航からアジア太平洋戦争までの近代日本政治史を考察することによって、日本近代国家の特質を明らかにすることを目的とします。近代史全般を視野に入れますが、幕末から昭和初期までを主な対象とします。

講義の内容・授業スケジュール <1> 講義概要の説明 <2～5> 幕藩体制の特質、開国の意味、開国後の政治変動、江戸幕府の滅亡 <6～12> 王政復古と戊辰戦争、版籍奉還と廃藩置県、開化政策の展開、留守政府と征韓論政変、大久保政権と内務省、内務行政の展開、国境の画定 <13～15> 士族反乱、自由民権運動、明治14年の政変 <16～19> 大日本帝国憲法、初期議会と日清戦争、日清戦後の政治状況、社会運動の登場 <20～23> 日露戦争、桂園時代、韓国併合同化政策、大正政変 <24～30> 第一次世界大戦と日本の参戦、政党政治の展開、大正デモクラシーと社会運動、ワシントン体制下の内政、政党内閣期の政治、軍部の台頭、戦争の時代へ

履修上の留意点 近代日本政治史にかぎらず歴史学には、さまざまな学説があります。私の講義も一つの学説として理解するようにしてください。講義では、他の学説をふくむ参考文献を随時紹介するようにつとめます。受講生はそれらの文献をはば広く読むことによって講義内容を確認し、最終的には自らの日本近代史論を作り上げることを期待します。

成績評価の方法 各学期末の試験を基本として評価しますが、出席状況も考慮します。
教科書等 ありません。レジュメ（プリント）を配布します。
参考書等 講義のなかで適宜紹介します。

履修コード	048611
科目名	東洋史各説II〔古代史〕
担当者名	やまぐち ひろし 山口 洋

講義のねらい 中国王朝と周辺諸国との関係について、如何なる問題点が存在し、どの様に研究が進められているのかを知ると共に、自ら問題に取り組めるようになること。

講義の内容・授業スケジュール 前漢王朝以来、中国王朝にとって北アジアの遊牧民族勢力との関係は非常に重要であった。遊牧勢力は時には中国世界の奥深く進入し、やがて王朝をうち立てることもあった。北魏や北朝諸王朝、隋、唐などもその王族は鮮卑系である。また、西域諸国と中国王朝との交流は、それ自体が中国王朝に様々な影響を与えたが、その過程では北アジア遊牧勢力との力関係が影響していた。本講義では、北アジア史や中央アジア史の視点から中国史を再検討する。また、後期は隋王朝を中心に東アジア史の視点から、高句麗・日本との関係も視野に入れたい。対象時代は、中国王朝で言えば秦から唐まで。以下の予定で進める。

第1回～第2回：アジアの地理と風土 第3回：冊封 第4回～第5回：西域と漢王朝 第6回～第8回：匈奴 第9回～第11回：鮮卑、柔然 第12回～第13回：隋の統一 第14回～第17回：突厥 第18回～第19回：高句麗 第20回～第21回：隋王朝と西域 第22回：高昌国 第23回：日隋関係 第24回：試験

履修上の留意点 出席不良者には単位修得を認めない。課題は必ず提出すること。
成績評価の方法 レポート（数回）、及び平常点（出席、授業態度）を総合して評価する。
教科書等 授業時間内に史料のプリントを配布。
参考書等 池田温〔ほか〕著『中国史』（山川出版社）1996。7（世界歴史大系）

歴
史

履修コード	048711
科目名	東洋史各説III〔中世史〕
担当者名	いっだ はじめ 石田 肇

講義のねらい <唐宋変革期の諸問題>と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。

講義の内容・授業スケジュール 前期では時代区分論について紹介し、ついで唐宋変革期を概説し、後期では前期をふまえてあるテーマについてお話しする予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史・科学論といった私の関心のある分野から選んで講義することになると思われます。一昨年度は金石学について話し、昨年度は士大夫論を話しました。受講者の関心になるべく対応するつもりです。

履修上の留意点 講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。
成績評価の方法 出席ならびに課題提出によります。
参考書等 適宜、講義中に示します。
その他 講義を中心としますが、なるべく受講生に発言を求めます。

履修コード	048811
科目名	東洋史各説IV〔近世史〕
担当者名	宮崎 洋一

講義のねらい	明・清王朝時期の開発・生産・技術・流通・経営などの分析を通して、今日の中国の様々な問題点を明らかにし、21世紀のアジア世界の中で、我々が諸国、主に中国とどのような関係を築き上げていけばよいか、その指針を提示する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 導入その1：今日の中国の姿を、社会的・経済的側面からとらえて本講義の目的を語り、合わせて今後の講義を進める上で必要な情報を提示する。 (2) 導入その2：明王朝及び清王朝についての基本的情報を提示し、大まかな時代背景を確認する。 (3～8) 明清時代の生産と技術：金属加工・紡織・食品加工・陶磁器・燃料などについての生産技術を分析する。 (9～14) 明清時代の物流：商業・運輸を通して、生み出された商品がどのような形で流通するかを考える。 (15) 前半のまとめ：明清時代の中国で具体的に、どのようなものがどのようなかたちで生産され消費されていたかをまとめる。 (16) 後半の導入：製品と原料の関係について語り、後半の目的を説明する。 (17～22) 前近代時期中国の資源：木材・食材や鉱産資源が中国にどのように分布し、それがどのような形で採取されていたかを分析する。 (23～28) 前近代時期中国の開発：中国の開発が如何にして行われてきたかを分析する。 (29) 全体のまとめその1：前近代中国の社会・経済についての問題点はなにかを考える。 (30) 全体のまとめその2：中国前近代の社会・経済のあり方が、今日の中国とどのようにつながってくるかを考える。
履修上の留意点	予習などしなくてもよろしいが、歴史事項の詳細な解説などは行わないので概説書を自分で読んで明清時代の中国についての知識を増やしておくこと。また、授業中に提示された参考文献は必ずさがして読んでおくこと。
成績評価の方法	学期末試験(80%)を主とし、数回行う予定であるミニレポート・小テスト(20%)を合わせて評価する。
教科書	使用しない。但し、毎時間参考資料をプリントして配布する。参考文献については適宜指示する。

履修コード	048911
科目名	東洋史各説V〔近・現代史〕
担当者名	趙 軍

講義のねらい	数千年にわたる中国の歴史の中で、近・現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジアおよび世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概要的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を高める。
講義の内容・授業スケジュール	前期は1840年のアヘン戦争から第二次世界大戦までの歴史を解説し、後期は戦後の中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。 1. アヘン戦争と中国の「開国」 2. 「太平天国」農民運動 3. 洋務運動と日清戦争 4. 士紳らの救国運動－戊戌維新－ 5. 農民らの救国運動－義和団事件－ 6. プルジョア階級による救国運動－辛亥革命－ 7. 北洋軍閥統治下の中国 8. 国民革命の開始と挫折 9. 日本の満洲侵略と紅軍の長征 10. 中国の抗日戦争 11. 解放戦争と新中国の誕生 12. 1950年代前期の中国 13. 「反右派闘争」前後 14. 「文化大革命」の嵐 15. 鄧小平と改革開放政策
履修上の留意点	受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。
成績評価の方法	年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。
教科書 参考書等	小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』(岩波新書336) 岩波書店 授業の中で指示する。

履修コード	049011・049012
科目名	東洋史各説VI〔アジア諸民族史〕 東洋史学史
担当者名	奈良 ^{なら} 修一 ^{しゆいち}

講義のねらい 東南アジアという地域は、古来よりインド、中国の両文明に挟まれ交易により潤ってきている。しかし、日本との関係が深いにも関わらず、この地域に対する理解が深いとは言えないのが現状である。故に、この地域の歴史、文化を再確認したい。そのためには、単に歴史的な知識だけを入れるのではなく、歴史の流れと見方を学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール 普通、東南アジア史というと、各国史の総合のような形で説かれることが多いが、近代的な国家概念では、前近代の国を理解することができない。それゆえ、世紀割りに歴史を見ていき、各王朝の変遷を追いながら、歴史の流れを把握していく方法をとる。また、歴史を研究する時に盲点になりやすい、文化、宗教、技術の点にも触れていく予定である。さらに、歴史という総合学を学ぶために、文学、社会学の手法をも適宜使用する予定である。

履修上の留意点 (前期) (1) 東南アジアの定義、(2) 時代区分について、特に「近世」の説明 (3～13) 近世を中心とした世紀ごとの歴史 (後期) (14～22) 「近代」の特徴と19世紀の歴史、(22～25) 20世紀の歴史、(26) まとめ

成績評価の方法 東南アジア史は各地の自発的な発展の歴史であると同時に東西交流の場として世界史的な動きの影響を色濃く受けている。それだけに、基本的な世界史の知識を確認しておいていただきたい。また、授業中には地図帳を持ってきてもらいたい。

参考書等 成績は夏休みと年度末のレポートと、授業中に書いてもらう小レポートによって評価する。石澤良昭、生田滋『世界の歴史13 東南アジアの伝統と発展』、中央公論社 石井米雄他『東南アジア史』全9巻、別巻1、岩波書店

その他 単に知識を入れるだけの講義にしたいくないので、活発な議論ができる授業にする予定である。

履修コード	049511
科目名	東洋史特講I〔古代史〕
担当者名	石井 ^{いし} 仁 ^{ひとし}

講義のねらい いわゆる三国志には、3世紀末、西晋の歴史家、陳寿によって編纂された正史『三国志』と、14世紀の元末明初期に大衆芸能をもとに書かれた『三国志演義』とがあります。後者は脚色が施された小説であって史実ではありませんが、現代の日本では、中国史の専門家も含め、これをもとに三国時代の歴史が語られる場合が少なくありません。講義では、『三国志演義』の強い影響のもと、これまで誤解・曲解されてきた三国時代の歴史や人物像を再構成することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (前期) (1～3) 三国時代史研究の課題 (4～6) 漢六朝史概説 (7～13) 孫呉政権に関する諸問題①孫氏の家系と出自 (14～15) 補論 (後期) (16～22) 孫呉政権に関する諸問題②江南経略と外交 (23～28) 蜀漢政権に関する諸問題 (29～30) 補論

履修上の留意点 受講前に、三国時代の簡単な歴史や主要人物について、一通り勉強しておいて下さい(小説・マンガ・映画などでも構いません)。

成績評価の方法 レポート(複数回)の成績をもとに評価します。

教科書 使用しません。配付プリントをもとに講義を進めます。

参考書等 渡邊義浩『諸葛亮孔明』(新人物往来社)、同上『凶解雑学・三国志』(ナツメ社)、石井仁『曹操一魏の武帝』(新人物往来社)など。

その他 このほか、講義で随時紹介します。適宜、映像資料も使います。

歴
史

履修コード	049611
科目名	東洋史特講II〔中世史〕
担当者名	なかむら じゆん 中村 淳

講義のねらい 中世のアジアも、分断された歴史世界が並立した状態ではなく、また単純に「中国」が中心にあった時代と言うわけでもなかった。13～14世紀のモンゴル時代（モンゴル帝国・元朝の時代）の歴史を中心にして、中央ユーラシア世界から中世のアジア世界史像を見てみたい。

講義の内容・授業スケジュール おおむね以下のような授業内容を予定している。
〔前期〕導入（地理・文字・言語・民族）、拓跋時代、三国時代（唐・ウイグル・吐蕃）、キタイ時代（1）

履修上の留意点 〔後期〕キタイ時代（2）、多元化の時代、モンゴル時代
東洋史分野の中でもかなり特殊な話をするので、高校世界史B・地理B程度の知識は最低限必要。一次史料を多く用いて講義を進めるので、ある程度漢文の素養があると理解しやすい。

成績評価の方法 出席・授業態度・筆記試験の結果を総合的に評価する。

教科書等 必要な史料はプリントで配布。
参考書については授業時に随時紹介する。

履修コード	049711
科目名	東洋史特講III〔近世史〕
担当者名	すぎやま きよひこ 杉山 清彦

講義のねらい 16～18世紀のユーラシアは、モンゴル時代に起源する巨大帝国が各地域世界に並び立つ時代であった。一般に「最後の中華王朝」と理解されている清朝も、マンジュ（満洲）人が皇帝となって広大・多様な領域を統合した帝国であるという点において、オスマン帝国やムガル帝国と並び立つ「大清帝国」として捉えることができる。

本講義では、時系列的な中国史上の一王朝としてではなく、同時代のユーラシアに並立した巨大帝国の一つとして大清帝国を捉え、支配層たるマンジュ人・八旗に焦点を当てて、帝国の形成過程とその支配構造について考察する。あわせて、ユーラシアに並存したオスマン・サファヴィー・ムガルといった諸帝国の支配体制との比較検討を行なう。

講義の内容・授業スケジュール 〔前期〕大清帝国の形成と構造
1. 近世のユーラシア東方 2. 大清帝国の形成と発展 3. 八旗制と帝国の支配構造

〔後期〕大清帝国と近世のユーラシア
4. 中央ユーラシア国家の完成型・モンゴル帝国 5. オスマン帝国とカプ＝クル軍団・イエニチェリ 6. サファヴィー帝国とキジルバシ・ゴラーム 7. ムガル帝国とマンサブダール 8. ユーラシアのなかの大清帝国

履修上の留意点 講義形式で行ない、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史B程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

成績評価の方法 前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

参考書等 講義中適宜紹介する。全般にわたるものとして、岡田英弘・神田信夫・松村潤『紫禁城の栄光』（講談社学術文庫、2006）を薦める。

歴
史

履修コード	049811
科目名	東洋史特講Ⅳ〔近・現代史〕
担当者名	藤谷 浩悦 <small>ふじや こうえつ</small>

講義のねらい 前期は、19世紀の半ば、中国の華南、華中地方で起きた太平天国運動を題材としながら、歴史をどのように考えていったらよいかについて、様々な角度から言及します。具体的には、文化摩擦と変容、理念と現実、パーソナリティと社会、或いは歴史評価の変遷といった問題を取り上げます。

後期は、本と中国の近代を中心としながら、文化需要の異同や、発想の違い、展開の特徴などを考えるものです。題材は、茶やアヘン、都市、留学生、翻訳語、服飾や髪型など、日常生活に密着したテーマです。また、日本の史跡も紹介しながら、歴史を考えることの魅力に触れたいと思います。

講義で強調したい事柄は、物の考え方、見方にあります。従って、必ずしも世界史や中国史の基礎的な知識に不安のある学生でも、受講に差し障りはありません。興味さえあれば、結構です。

講義の内容・授業スケジュール

前期：1. 民衆反乱の世界、2. 秘密結社と民衆、3. 民間宗教の系譜、4. 中国の試験地獄、5. 洪秀全の目覚め、6. 文化伝播と変容、7. 洪秀全と曾國藩、8. 太平天国の内紛、9. 理念と現実の差、10. 洪の死と曾國藩、11. 李秀成の供述書、12. 歴史評価の変遷、13. 歴史を学ぶ意味、

後期：1. 茶の世界史、2. 茶の需要と地域差、3. 病氣と茶、4. 茶とアヘン、5. アヘン戦争、6. 日本の開国、7. 横浜の歴史と中華街、8. 中華街：日本の論理と中国の論理、9. 上海と横浜、10. 留学生と日本、11. 翻訳語とアジア、12. 服飾と髪型、13. 日本と中国の近代

成績評価の方法

講義が主体となります。毎回、授業に関する感想を書いていただき、次回以降の授業内容に反させたいと思います。

教科書

評価は、テスト6割、出席率4割の比率で行います。テストは、二回行います。ノートは持ち込み可能ですが、コピーしたものは認めません。

教科書はありません。参考書は、授業中適宜指示します。

履修コード	049911
科目名	東洋史特講Ⅴ〔アジア諸民族史〕
担当者名	小沼 孝博 <small>おぬま たかひろ</small>

講義のねらい 中央アジアは、多様な民族・宗教・文化が交錯し、融合と分離を不断に繰り返すことによって発展してきた歴史世界である。前期講義では、前近代における諸民族の興亡の歴史をたどる。後期講義では、清代以降の新疆地域（中国領中央アジア）を主な対象とし、今日の地域社会像が形成されていく過程を見ていく。講義の中では、遊牧・オアシス社会の生活文化についても紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

1 中央アジアという歴史空間、2 遊牧民の生活文化、3 オアシス社会の特徴、4 古代の中央アジア、5 イスラーム化とトルコ化、6 モンゴル帝国の遺産、7 ジューンガル部の覇権、8 清朝の中央アジア進出、9 清朝治下の新疆社会、10 新疆省の成立、11 革命と「民族」、12 「グレートゲーム」の時代、13 現代の新疆・中央アジア

履修上の留意点

中央アジアや中国辺境の歴史に関心のある学生の聴講を期待する。

成績評価の方法

学期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教科書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

参考書等

間野英二ほか『内陸アジア』朝日新聞社、1992年。

歴
史

履修コード	050011
科目名	東洋史特講VI〔アジア諸民族史〕
担当者名	よっかいち やすひろ 四日市 康博

講義のねらい	イスラーム教はその成立以来、アラブ世界・イラン世界に留まらず、ユーラシア・インド洋海域世界に広く波及し、各地域の歴史や国際交流、地域間交流に大きな影響を及ぼした。本講義は東西ユーラシアにおけるイスラームの歴史的展開とアジアとの接触を中心に講義をおこなう。また、宗教的側面のみならず、政治・経済・社会・文化的側面からイスラームの歴史の理解をこころみる。
講義の内容・授業スケジュール	(1) introduction、(2) イスラーム教概観、(3) アラブ世界のイスラーム、(4) イラン世界のイスラーム、(5) トルコ世界のイスラーム、(6) イスラームと商業、(7) イスラームと都市、(8) イスラームと遊牧、(9) インド・東南アジアにおけるイスラーム、(10) マルコ=ポーロとイブン=バットゥータ、(11) スワヒリ世界におけるイスラーム、(12) イスラームと巡礼、(13) イスラームの学術ネットワーク、(14) インド洋海域世界とイスラーム商業ネットワーク、(15) モンゴル帝国の出現とイスラーム世界への衝撃、(16) 東アジア世界におけるイスラームの展開、(17) イスラーム教と仏教、(18) イスラームの美術と文化、(19) 「イスラーム世界」をめぐって、(20) イスラームと現代社会
履修上の留意点	受講内容に対して自分に身近な社会・文化との相違点・相似点を考えてみる。
成績評価の方法	年2回のレポートに加え、出席点・平常点で評価する。
教科書	授業時にプリントを配布する

履修コード	051001
科目名	西洋史各説I
担当者名	しょうじ けい一 庄司 啓一

講義のねらい	アメリカ合衆国の歴史 アメリカ合衆国について情報は氾濫している。それは日本と政治・経済・文化などの分野において最も密接な関係がある国だからである。そればかりではない。アメリカは世界最強の軍事・経済・文化帝国であり、世界のあらゆる出来事に強い影響を与えている。しかしながら、アメリカ合衆国の全体像、その基本的な性格を理解するには、その歴史に遡らなければならない。「アメリカ史」を日本の若者はどのようにして学んできたのだろうか。日本の若い人々にとり生活の一部となっており、わざわざ勉強しなくてもいい、と考えられていないだろうか。
講義の内容・授業スケジュール	アメリカはヨーロッパの植民地として歴史がはじまり、原住民であるインディアンを追い払いながら、ヨーロッパから多様でたくさんの人々を受け入れてきた「移民国家」である。黒人はアフリカ大陸から強制的に奴隷として連行されてきたのであり、決して自由な移民ではない。また、アジアからも中国、日本、フィリピンなどからの移民は人種・民族的な差別を体験しながらアジア系アメリカ人としてのアイデンティティを模索している。近年はラテン・アメリカからの「不法移民」の流入も政治問題となっている。このような世界各地の人々が自らを「アメリカ人」として自己認識するには長い歴史的な時間が必要であった。
履修上の留意点	世界の辺境の地に植民地として歴史がはじまったアメリカ合衆国が世界最大の工業国家に成長し、世界に君臨するようになり、その歴史的な限界をも露呈するようになった今日、アメリカの歴史の基本線を勉強することは、日本人にとっても大切なことだと考える。
成績評価の方法	(1) アメリカ史を学ぶ意義について (2-8) さまざまなアメリカ人 (9-15) 国民統合の制度と文化 (16-20) 19世紀のアメリカ (21-25) 20世紀のアメリカ (26-30) 第二次世界大戦後のアメリカ
教科書	日常的にアメリカに関する新聞・雑誌・TVなどにアクセスするように心がけること。昨年は大統領選挙の年でしたので、新大統領のオバマ政権の特徴なども調べると良いでしょう。中間、学年末試験と授業内でのビデオを見てのレポート提出 有賀・油井編『アメリカの歴史』有斐閣

履修コード	051201
科目名	西洋史各説III
担当者名	長谷川 岳男 <small>はせがわ たけお</small>

講義のねらい	従来、西洋世界の源流に位置づけられてきた古代ギリシア・ローマ世界を扱う。1980年代より、この「源流」という位置づけへの疑義が高まり、違った視点からの考察が進められている近年の研究動向をふまえて、新たなギリシア・ローマ世界像を紹介したうえで、本年度はギリシア人のコミュニティの実態についてローマ支配下までを視野に入れて通時的に考察する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、第一回目のオリエンテーションで講義全体の問題設定と視点を明確にしたうえで、第二回目から5、6回程度、古代ギリシア・ローマ世界全体の理解をめざして概説を行い、まずは基本的なことの理解を行う。第7回目以降前期は古代ギリシア・ローマ史学界の近年の動きをもとに、従来説に対する見直しの成果についていくつかのテーマを取り上げて解説したい。後期は前期に紹介した古代世界に対する新たな見方を「コミュニティと社会」というトピックで掘り下げて考える予定である。第一回目に前期のまとめを行って基本的な捉え方を再確認してから、第二回目から6回程度、古代ギリシア人のコミュニティとそのメンバーの関わりを公私の区別の有無、公的規範などのキーワードから探りたい。後半はヘレニズム諸王国、ローマ帝国のもとギリシア人は公私の両面できかに自らを位置づけたのかを「競技祭」、「国際関係」の点から考察する予定である。
履修上の留意点	ただ情報を得るだけでなく、講義内容を土台に西洋古代世界とは現実的にはいかなる社会であったのかを自分なりにイメージし、自らが所属する現代社会とはいかに違うのかを考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。
成績評価の方法	講義をした上で講義の最後に試験を行って評価するが、出席が前提となる。追試験は行わない。
教科書	使用しない。
参考書等	なお参考書は講義中に随時、指示する。

履修コード	051301・051302
科目名	西洋史各説IV 西洋史学史
担当者名	佐々木 真 <small>ささき まこと</small>

講義のねらい	21世紀を迎え、今日のフランスでは「連帯 solidarité」や「共生 convivialité」がよくキーワードとして聞かれる。これはある意味では、近代以降に発展して個人主義への反省と言えよう。そこで、この授業では中世以来の共同体(農村共同体や都市共同体)を取り上げ、それが社会においていかなる役割を持っていたのか。また、近代においてそれがどのようにして破壊されていったのかをフランスを中心として解説する。
講義の内容・授業スケジュール	(1)はじめに (2-7)中世における共同体の形成 (8-14)前近代における共同体の社会的機能 (15)前期試験 (16-19)近世に共同体の動揺 (20-22)フランス革命と共同体 (23-28)19世紀における共同体の変質 (29)まとめ (30)後期試験
履修上の留意点	専門的な内容が多く含まれるので、授業で紹介した参考文献をなるべく多く読むこと。
成績評価の方法	前期末と学年末にそれぞれ試験を実施し、その内容により成績を決定する。
教科書	教科書は特に指定しない。
参考書等	授業開始時に参考文献リストを配付する。
その他	授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布する。

履修コード	051501
科目名	西洋史特講II
担当者名	伏島 正義

講義のねらい	中世史に興味がひかれる契機は、ある伝説的物語、事件、事項のもつ魅力に負うところが少なくない。本講ではそうした事柄を選んでみたい。そして、そうした事柄がある特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にはどのような事柄を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。
講義の内容・授業スケジュール	上記に関する文献、論文、史料などを読む。昨年度はドイツ語による論文を読んだが、具体的には受講生と相談し、決める。 本講では演習形式により授業を進める。本講では論文をその数において多く読むことよりも、その1つ1つを丁寧、正確に読むことを心がけることにより、当該論文の筆者の主張を深く理解し、合せて歴史研究の方法を学ぼうとするものである。
履修上の留意点	本講は西洋史一般の知識を広く、そして多く獲得することを単に目的とするものではなく、むしろ歴史の深部を探求し、考究しようとするものである。したがって授業は演習形式で行うため、受動的な態度ではなく、地道にして、しっかりした心構えを持つ受講生を希望します。
成績評価の方法	毎回授業にどれ程熱心に、積極的に参加しているかが基本的な基準となることは言うまでもない。授業で毎回確かめる出席の回数と期末テストで評価する。
教科書 参考書等	教科書は特に定めない。必要な論文、史料はプリントとして配布する。 参考書は授業の進行に合わせて、その都度指摘する。

履修コード	051701
科目名	西洋史特講IV
担当者名	白川 耕一

講義のねらい	テーマ「現代ドイツにおける『外国人』—19世紀後半から1980年代まで—」 19世紀に移住送り出し国であったドイツは、20世紀にはいと移住受入国となった。外国人政策の変遷を、政治、経済、文化の観点から把握したいと考えている。さらに国境外のドイツ人やドイツ国内の少数民族の動向にも光をあてたい。
講義の内容・授業スケジュール	19世紀末から第1次世界大戦までの外国人労働者（1～4）、第1次世界大戦からナチ時代前半までの政策の変化（5～8）、第2次世界大戦期における外国人労働者政策（9～14）、元外国人労働者の行方、補償問題（15～17）、領土変更とドイツ人マイノリティ（18～20）、ドイツ連邦共和国（西独）における外国人政策1950～1980年（20～27）、西欧諸国との比較（28～30）
成績評価の方法	筆記試験（7割）、出席点（3割）によって成績評価を決定。前期末（7月）の中間試験を必ず受験すること。
教科書 参考書等	定めない。 伊藤定良『故郷と異郷』1986年刊（東京大学出版会） 近藤潤三『統一ドイツの外国人問題』2002年刊（木鐸社） 近藤潤三『移民国としてのドイツ』2007年（木鐸社）

歴
史

履修コード	051811
科目名	西洋史特講VI
担当者名	おおしろ みちのり 大城 道則

講義のねらい	人類の歴史の中でも異彩を放つ古代エジプト文明は、約2000年前に既に滅亡したにもかかわらず、その文化は今もなお消滅する事無く輝き続けている。本講義は、その古代エジプトの文化に焦点を当て、未だ我々を魅了する古代エジプト文明が周辺世界・周辺文化とかがわりながら、どのようにして形成されていったのかについて理解を深める事が狙いである。
講義の内容・ 授業スケジュール	古代エジプト文化がどのように形成され、現代世界にまで影響を及ぼしているのかを具体例を挙げつつ講義を行う。時代的には最初の繁栄期であった古王国時代以降を取り扱う。以下のような内容の講義を予定している。 前期：①ピラミッド以降の古代エジプト ②物語に見るエジプト混乱期 ③セケンエンラー王とヒクソス ④古代エジプトにおけるラピスラズリ ⑤アクエンアテン王とその時代 後期：①オソルコン3世のプロフィール ②タルクイニア出土のボッコリス王のファイアンス製産 ③サイス朝時代(第26王朝)：古代エジプト文化の再興期 ④エジプトのアレクサンドリアの建設 ⑤古代地中海世界に拡大するエジプトの神々
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書	15分以上の遅刻には出席を認めない。 後期試験の結果および出席を重視する。 大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散』(ミネルヴァ書房)、必要に応じて講義内容に関する資料をコピーし、配布する予定である。
参考書等 その他	必要があれば適時紹介する。 パワーポイントで映像資料を用いながら講義形式で行なう。

履修コード	051831
科目名	西洋史特講VIII
担当者名	こうの じゆん 河野 淳

歴
史

講義のねらい	現代社会を構成する様々な要素、例えば資本主義、民主主義、ナショナリズムといったものの直接、間接の起源を西洋中世に求めるということが、広く行われています。いわば西洋中世は、常にアクチュアルな関心の対象なわけです。しかし、西洋中世というものが、きわめて複雑で現代人に理解し難い側面を持っているということも確かです。そこでこの講義では、西洋中世の全体像を、「社会のあり方」と「社会のあり方についての考え方」という軸を中心に、簡潔な形で示すことを目的としています。
講義の内容・ 授業スケジュール	内容：初期中世から後期中世にかけてのヨーロッパ社会のあり方を、重要なトピックをおさえながら概観してゆきます。そして同時に、その社会が、教会や王権を含めて全体的にどのように理解されていたのか、見てゆきます。叙任権闘争期を境に独特な形で展開されることになった国家論については、近代の国家論への影響ということを念頭に置きつつ、特に詳しく論じてゆきます。 授業スケジュール：(1~10) 初期中世の社会と思想 (11~20) 盛期中世の社会と思想 (21~30) 後期中世から近世前半期にかけての社会と思想
履修上の留意点	西洋中世という遠い地域の遠い昔のことを、そもそもどれだけ理解しうるのか？そしてなんのために理解するのか？という疑問に対して、自分なりの解答を見つけるつもりで、授業に臨んでください。
成績評価の方法 教科書	授業期間中に課す課題と、出席状況をもとに評価します。 特になし。必要に応じて資料を配布します。

履修コード	052411
科目名	考古学各説II
担当者名	近藤 英夫

講義のねらい インダス文明は、前2500～1800年頃にインド亜大陸西北部、インダス川流域を中心に栄えた都市文明であり、四大文明の一つにあげられます。この文明について最新の情報を整理し、紹介していきます。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) インダス文明を育んだ環境、(3～5) 文明を生み出したものはなにかについて検討、(6～8) 都市とは何か―その構造的な理解―、(9～12) 文明成立への胎動―初期ハラッパー諸文化の展開―、(13) インダス諸都市の成立、(14～17) インダス都市の様相、(18・19) インダス文明人の持ち物―遺物考―、(20～22) 海をわたる文明―対メソポタミア交易―、(23～24) 文明衰退とその後のインド世界。

履修上の留意点 インダス文明が展開した地域は日本列島とは異なる地理的・気候的環境の世界です。地図や写真、さらにはTV番組などから、異なった環境への理解を自主的にするように努めてください。

成績評価の方法 夏期と学期末とにレポート提出をしてもらい、それを評価の基本とします。出席状況も考慮します。

教科書 特に定めません。授業内で参考文献等を指示します。

履修コード	052611
科目名	考古学各説IV
担当者名	三宅 俊彦

講義のねらい 「北アジアの考古学」について講義を行う。

モンゴル高原には青銅器時代から、匈奴・突厥といった歴史時代の遊牧騎馬民族まで、様々な考古文化が残されている。前期は、それらを概観する。

後期はモンゴル時代をあつかう。担当者は、2001年から毎年チンギス・カンの本拠地が置かれていたモンゴル国のアウラガ遺跡での発掘に従事している。その発掘の最新成果を紹介しながら、モンゴル時代のモンゴル高原の様相を明らかにしていく。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、青銅器時代から突厥までに主眼をおく。遊牧とはどのような生活文化か(第1回)、北アジアの青銅器時代(第2～5回)、匈奴(第6～10回)、突厥(第11～15回)を予定している。

後期はモンゴル帝国期に焦点をあてる。モンゴル族の故郷とその考古文化(第16～18回)、チンギス・カンの登場と関連遺跡(第19～21回)、アウラガ遺跡(チンギス・カンの本拠地)の発掘とその成果(第22～26回)、チンギスの末裔たち(ウゲデイ、クビライ)の残した遺跡(第27～30回)を予定している。

履修上の留意点 授業に積極的な姿勢で臨むことを希望する。

成績評価の方法 出席状況ならびにレポートによって、総合的に評価する。

教科書 特になし。

参考書等 特になし。授業に参考になる書籍などは、その都度紹介する。

その他 授業は講義が中心となる。できるだけプリントやスライドなどを用い、内容の理解を深められるよう努めたい。

履修コード	052811
科目名	考古学特講II
担当者名	酒井 清治

講義のねらい 日本列島には各時代にわたって大陸から多くの渡来人が訪れた。彼らは日本に多くの文化や技術を伝え、それが日本文化の形成に影響を与えた。渡来人が弥生時代・古墳時代に伝えた文化は、発掘調査によって多くの遺跡・遺物として確認できる。そのような遺跡・遺物を取り上げ、渡来人がどのような文化を残し、それがどのように受けいられていったのかを探り、各時代の文化に与えた影響などについて考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール 弥生・古墳・歴史時代を通史的に、それぞれの時代の渡来人と渡来文化について遺物・遺跡などの資料を紹介する。おおよそ以下の①海を渡ってきた渡来人(1～3)、②米作りと武器を伝えた渡来人(4～7)、③倭のクニグニと渡来人(8～11)、④大和政権と渡来人(12～15)、⑤渡来人の伝えた古墳時代の技術(16～20)、⑥飛鳥時代の渡来人(21～25)を講義してまとめを行う。

履修上の留意点 遅刻をしないこと

成績評価の方法 レポート、出席、授業態度

教科書 授業の中で適宜紹介する

参考書等 授業の中で適宜紹介する

その他 授業は書画カメラを使い、写真・図を見せながら講義を行う。

履修コード	052921
科目名	考古学特講IV
担当者名	設楽 博巳 <small>しんら ひろみ</small>

講義のねらい 顔の考古学 現代日本人の祖先はどこに求められるのか。それを解く手がかりは、縄文・弥生・古墳時代の人々にある。彼らはどのような顔立ちをしていたのか。そうした形質の起源はどこに求められるのか。その答えがヒントになる。また、彼らはたかさんの顔にかかわる造形を残した。土偶や埴輪などは、その代表的な遺物である。本講義では、古代人の顔にまつわるさまざまな問題を取り上げ、日本古代文化とそれを担った人々を掘り下げる。あわせて、縄文・弥生・古墳時代の概略も把握できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、弥生・古墳時代・律令期の線刻人面絵画や埴輪、人面墨書土器を取り上げ、その特徴や意味を探る。後期は、縄文時代の土偶や仮面など顔にまつわる造形品に対して、その特徴や性格について考える。また、縄文・弥生・古墳時代の人骨を取り上げ、その形質的な特徴、DNA分析の結果などに関する研究の現状を解説し、現代日本人とのかかわりを考える。

履修上の留意点 講義中の私語は慎むようにしてください。
成績評価の方法 年度末の試験と中間レポートやミニ試験、出席によって総合評価する。
参考書等 その都度指示するが、当面原始絵画にかかわる参考書として、(佐原真・春成秀爾1997『原始絵画歴史発掘5』講談社)に目を通しておくこと。

履修コード	053021
科目名	考古学特講VI
担当者名	杉山 浩平 <small>すぎやま こうへい</small>

講義のねらい ヒトの歴史は石の道具を用いるところから始まる。この授業では、石の考古学と題して石器の研究を解説していく。対象とする時代は主に縄文時代から弥生時代である。石材獲得・製作(生産)と流通・消費について検討する。特に黒曜石と安山岩という岩石は、打製石器の素材として最も用いられた石材の一つであり、その産地も理化学的な分析が進められている。こうした資料をもとにヒトの行動を捉え、歴史的な意味について学習する。

講義の内容・授業スケジュール 前期は石器・石材について総説を行った後に黒曜石について解説を行う。後期は安山岩について解説を行う。各地産地を説明して、黒曜石の獲得と流通を巡る集団について検討する。また、この授業では野外観察として、河川での石材観察や黒曜石の原産地の見学なども行いたいと考えている。

成績評価の方法 授業への取り組みの姿勢と期末試験
教科書 授業中に指示する
参考書等 授業中に指示する

履修コード	053041
科目名	考古学特講VIII
担当者名	矢野 和之 <small>やの かずゆき</small>

講義のねらい 近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
- ・日本建築史(古代)概要
- ・遺構とその上部構造体の復元
- ・保存計画概論
- ・保存科学、保存工学概論
- ・まちづくりと文化財
- ・計画策定の実務
- ・国内の事例
- ・海外の事例、文化財保存の国際機関、世界遺産

以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点 特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法 試験、演習提出物

参考書等 適宜指示

その他 講義は、スライド、ビデオ(保存工事の記録等)を使用する。

履修コード	046601
科目名	日本仏教史
担当者名	まつもと のぶみち 松本 信道

講義のねらい 本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス、(2)～(5) インド・中国・朝鮮仏教の成立、(6)～(10) 日本への仏教伝来と受容、(11)～(15) 飛鳥仏教の成立、(16)～(25) 奈良仏教の成立、(26)～(30) 平安仏教の成立

成績評価の方法 前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教科書 随時、プリントにて配布します。

参考書等 速水侑『日本仏教史 古代編』(吉川弘文館)

履修コード	047111
科目名	日本文化史
担当者名	ひろし りょうこう 廣瀬 良弘

講義のねらい 日本文化の歴史が、当時の社会の生産の仕組みや政治・経済・宗教などと深く関わりあっていたことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを明らかにしていきたいと思います。そして、この日本文化は現代においても、多くは底流として、また、ときには、「日本の代表的な文化」として、存在しています。現代の文化と対比しながら、検討していきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール 日本文化の流れを概観し、民衆の躍動やその文化が顕著になってくる中世の文化を中心にその前後の文化にも注目しながら、文化の様相と特色について見ていきます。

・日本文化史概観、・中世文化史研究の動向(1, 2)、・鎌倉仏教と文化(3～5)、・禅宗と五山文化(6, 7)、・南北朝から室町期の文化(8, 9)、・北山文化の展開(10, 11)、・東山文化とその基盤(12～15)、・中世の職能民(16, 17)、・連歌師の旅(18, 19)、・戦国社会と宗教(18, 19)、・戦国社会の駆込寺(20～22)、・大名領国の文化(23, 24)、・統一政権とその文化(25, 26)、・近世文化史研究の動向と寛永文化(27～30)

履修上の留意点 講義の中に出てきた事項について、図書館の蔵書や辞書などで調べ直してみたり、現地に行ってみたりすることが必要です。また、日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持って下さい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめます。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施します。

成績評価の方法 定期試験の結果と授業の出欠を重視します。定期試験では一般論を回答しても正解とならないことが多いので注意して下さい。つまり授業に出席し、しっかりとしたノートができていないと合格点は取れません。

教科書 とくに指定しません。必要な資料は随時コピーを配布します。

参考書等 講義内容に関する博物館・研究所などを随時提示して行きます。

歴
史

履修コード	046911
科目名	西洋文化史
担当者名	にしうら まみこ 西浦 麻美子

講義のねらい 古代から20世紀までの西洋服飾の歴史を、図像資料を中心に概説する。各時代の流行の服飾を、その時代特有の美意識や社会背景との関わりの中で理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) 古代ギリシャ、ローマ、ビザンチン帝国の服飾(4～6) 中世の服飾：色の象徴性(7～8) 16世紀の服飾：誇張と変形(9～10) 17世紀の服飾：ギャラントリー(11～12) 18世紀の服飾：モードの簡素化(13) 革命期から19世紀初頭の服飾：エンパイア・スタイル(14) ロマン主義の服飾(15～17) ダンディズムの服飾(18～19) 19世紀後半の服飾：クリノリン、パッスル、S字型スタイル(20～21) コルセットをめぐる歴史(22) ジャポニズムの服飾(23) 20世紀初頭の服飾(24～29) 18世紀後半のフランスにおけるアングロマニーの服飾(30) まとめ

履修上の留意点 授業内で紹介する参考文献をできるだけ読み、展覧会などに積極的に足を運んでください。

成績評価の方法 学年末試験(60%)と出席状況(40%)により評価する。

教科書 深井晃子監修『世界服飾史』1998年刊(美術出版社)2,625円 ISBN4568400422

参考書等 授業内で随時紹介していく。

履修コード	016501
科目名	有職故実
担当者名	近藤 好和

講義のねらい 10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家・武家の装束と中世の武具について講義する。

講義の内容・授業スケジュール 前期では、装束について、公家男女・武家の順に講義する。後期では、武具について、甲冑・弓箭・刀剣等について講義する。

成績評価の方法 前・後期各一回の試験で判定する。

教科書 特になし。授業ごとにプリントを配布する。

参考書等 必要に応じて提示する。

履修コード	017101
科目名	日本民俗学
担当者名	谷口 貢

講義のねらい 日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) 民俗学とは (3～5) 民俗学の流れと現在 (6～7) 家族生活と住まい (8～10) 食をめぐる民俗 (11～12) 村と町の成立ち (13～15) 若者と一人前 (16～18) 婚姻と出産・子育ての民俗 (19～21) 女性・子ども・老人の民俗 (22～24) 葬送儀礼と先祖祭祀 (25～27) 里と海・山のなりわい (28～29) 祭りと年中行事 (30) 民俗宗教の諸相

履修上の留意点 夏期レポート及び小レポートを実施する予定。

成績評価の方法 学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書 谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊（八千代出版）2,100円（税込）、ISBN 4-8429-1405-X

履修コード	033001
科目名	歴史地理学
担当者名	小田 匡保

歴
史

講義のねらい 主に日本の村落と都市の歴史地理について講義を行なう。歴史地理学の範囲は非常に広いので、「浅く広く」を基本に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール 1. オリエンテーション
2～3. 歴史地理学の概要
4～13. 歴史時代の村落（先史から近代まで）
14～21. 歴史時代の都市（主に古代）
22. 歴史地理学の資料
23. 歴史的町並み・景観保存
24. 大学周辺のミニ巡検（受講生が少ない場合）

履修上の留意点 この科目は、地理学科・歴史学科両方の専門科目であるが、教員は地理学の間人であるので、地理学的な内容が中心になる。しかし、地理学科の学生も、ある程度の日本史の知識を持っていることが望まれる。歴史が苦手な人には向いていない科目である。ただし、古文書が読める必要はない。

成績評価の方法 成績評価は、試験（前期・後期の2回、持込不可）の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書 使用しない。

参考書等 授業中に指示する。

履修コード	036902・037002
科目名	人文地理学概説
担当者名	中村 剛

講義のねらい	この講義は、スタンダードな人文地理学の理論やモデルを概説するにとどまらず、「人文地理学」さらには「地理学」が、私たちの実生活（地域の社会・文化・自然）と深く関わっていることを強く意識した講義としたい。
講義の内容・授業スケジュール	1・2：人文地理学とは？（イントロ、自然地理学・地誌学との関係）、3・4：地図と教養地理（地図の歴史と利用、「地理」のイメージ）、5・6：地図と地理教育（中学・高校における地理教育と地図教育、地図帳）、7・8：自然（気候景観、人文地理学と「自然」との関わり）、9・10：農業（文化としての農業、農業地域）、11・12：鉱工業（鉱業分布、工業立地と工業地域）、13・14：貿易（食料・鉱産資源の輸出入、フェアトレード）、15・16：農村（過疎化、高齢化）、17・18：都市（都市構造と都市機能、都市化）、19・20：都市計画と土地利用（郊外化とスプロール、法制度とその問題）、21・22：交通・観光（時間距離、ツーリズムとまちおこし）、23・24：文化（言語と民族・民族と宗教、民族分布と民族問題）、25・26：国家（国際機構、領土問題）、27・28：環境問題と災害（温暖化と地球環境、成長と破壊）、29・30：まとめ（総括、試験）
履修上の留意点	この講義に強い興味・関心を持つ学生の受講を希望する。よって、出席や授業への参加態度も当然のように評価に影響する。
成績評価の方法	前期・後期それぞれ最終回に行う試験と出席、小テスト、提出課題を総合して評価する。なかでも、出席率を重視する。
教科書	・高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫・杉谷隆 編(2008)：『改訂新版 ジオグラフィー入門』古今書院 2,500円(税別) ISBN978-4-7722-3118-3 ・高校用の「学校地図帳」を用意することが望ましい。

履修コード	037102
科目名	地誌学
担当者名	川元 豊和

講義のねらい	この授業では、アジアを事例地域として、地誌的な見方・考え方を身につけることを目的とします。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定しています。
講義の内容・授業スケジュール	(1～3) 地誌的な見方・考え方について、(4～6) 世界の人口-発展途上国における「人口爆発」とその収束-、(7～10) 農業の発展-稲作における「緑の革命」を中心として-、(11～15) アジアの宗教-イスラームとヒンドゥー教を中心として-、(16～20) バングラデシュ農村における近年の農業の変化、(21～22) バングラデシュ農村における土地所有と小作制度、(23～26) 半島マレーシアにおける多民族社会の形成、(27～28) 半島マレーシアにおける地方都市の発展、(29～30) サラワク州におけるイバンの生活
履修上の留意点	高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して授業に臨んでもらいたい。
成績評価の方法	出席状況（授業回数の2/3以上、15%）及び9月末のレポート提出（15%）を前提とし、学年末の筆記試験（70%）と併せて総合的に評価します。
教科書 参考書等 その他	教科書は、特に定めずプリントを配布します。 授業内において、その都度紹介します。 講義形式。

歴史

履修コード	037202
科目名	地誌学
担当者名	湯田 ミノリ

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	<p>インドネシア、特にジャカルタについて理解を深めることを目指す。</p> <p>前期はインドネシアの地理的位置、自然環境、民族構成とジャカルタの成立を、後期は主にジャカルタの産業、人口、都市居住等の問題を取り上げる。</p> <p>(前期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的位置(インドネシアの範囲、地理的位置と自然・人文環境との関係) ・自然環境(地形、気候) ・多民族国家インドネシア成立の背景 ・植民地時代のジャカルタ ・インドネシア独立後ジャカルタの発展 <p>(後期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャカルタ首都圏における経済発展と産業 ・ジャカルタにおける人口動態と就業構造の変動 ・カンポンと都市居住政策
履修上の留意点	参加者には、何らかの具体的な現象に注目した上で、様々な視点からの理解や判断を編み出す努力を期待したい。さらには、休暇等を利用して自主的に海外などを旅行してほしい。
成績評価の方法	講義中に指定する課題の提出と、学年末試験の受験の両方を満たし、かつその成績が基準以上であること。
教科書 参考書等	特に指定しない。 適宜紹介する。

履修コード	037302
科目名	地誌学
担当者名	山口 太郎

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	<p>地誌学は、「地域」を説明する地理学の一分野である。本講義では、風土・景観論に立脚して「地域」を読んだり、書いたりする方法を学ぶ。前期は景観論、後期は日本の風土性を中心に講義する。次の項目を予定している。(1)イントロダクション、(2)地域(等質地域、結節地域)、(3)スケール、(4)~(6)空間と場所(人文主義地理学、メンタルマップ、都市のイメージ)、(7)景観と風景、文化景観、(8)景観構成要素と形態、(9)景観の可視的側面と視知覚特性、(10)(11)景観観察法、(12)景観の解釈、(13)(14)景観行政の系譜、(15)(16)日本の風土性(照葉樹林文化とブナ帯文化、日本の西と東)、(17)棚田の風景、(18)武蔵野の風景、(19)散居村の風景、(20)合掌造のある風景、(21)歴史的町並み総論、(22)(23)町家のある風景、(24)寺内町の風景、(25)斜面都市の風景、(26)南国都市の風景</p>
履修上の留意点	出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課すことがある。また、高校などで利用した地図帳があると便利である。
成績評価の方法	夏休み明けに提出していただく景観観察現地レポートと、後期末に行なう試験を基本とし、授業内に行なう小レポートを若干加味する。なお、期限内に夏休みのレポートが提出されないと単位の認定はできない。
教科書 参考書等 その他	特に定めない。プリントを配布する。 授業の中で紹介していく。 講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。

歴
史

履修コード	053201
科目名	哲学史
担当者名	山口 祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>

講義のねらい	ヨーロッパにおける近代哲学の展開を通して哲学とは何かを学び、思索する態度を養う。
講義の内容・授業スケジュール	<p><前期> 近代哲学の潮流</p> <p>I 近代哲学の出発点と問題：デカルト</p> <p>1 確実な学問の追求 2 方法的懐疑と帰結 3 心身問題</p> <p>II 大陸合理論：二元論の調停</p> <p>1 心身平行論—スピノザ 2 单子論—ライブニッツ 3 偶因論—マルブランシュ</p> <p>III イギリス経験論</p> <p>1 人間知性の吟味—ロック 2 存在と知覚—パークリー 3 懐疑主義—ヒューム</p> <p>IV 啓蒙思想</p> <p>1 感覚論—コンディヤック 2 唯物論—ラマルク、ドルバック 3 決定論—ディドロ</p> <p>4 功利主義—エルベシウス</p> <p>V 総括：近代知の抬頭と挫折</p> <p><後期> 近代哲学の潮：カント</p> <p>I カントの見た学問的状况</p> <p>1 独断論 2 懐疑論 3 批判哲学の課題</p> <p>II 形而上学への関心</p> <p>1 諸学問の基礎 2 先天的総合判断 3 形而上学の危機と可能性</p> <p>III 認識論の革命</p> <p>1 コペルニクス革命と実験的方法 2 科学的認識の構造 3 観念論と实在論</p> <p>IV 実践的形而上学</p> <p>1 行為と自由 2 道徳と形而上学 3 実践と理論</p> <p>V 総括：近代的人間の全体像</p>
成績評価の方法	学期毎に小論文を課す。
教科書	久保・河合編「原典による哲学の歴史」公論社 山口祐弘「カントにおける人間観の探究」勁草書房

履修コード	O16402
科目名	中国歴史文学
担当者名	田熊 信之 <small>たぐまののぶ</small>

講義のねらい	数千年にわたる中国の歴史の中で、政治や文化の中心的な担い手となった漢民族は、時には他の民族とも混濁を累ねながら、特異な漢字文化を生み育てて来た。本講座では、こうした漢字文化の粹である各種の文学作品（新出遺文も含め）を選読し、中国の人々が築き上げた多様な文字表現の世界を省察したい。
講義の内容・授業スケジュール	前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとには、社会生活を営む人間それぞれの哀歓こもごもの姿が写し出されている。各々の時代の思想、信仰等に彩られる、さまざまな形の文学のうち、中国文学のあやどりの世界を具体的に理解していくために、歌謡、詩偈等を含めた韻文や、人伝、僧録などをも含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めていく。
履修上の留意点	中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎知識を得ていて欲しい。
成績評価の方法	評価は、受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を勘案し、総合的に行なう。
教科書等その他	プリントを配布しこれをテキストとして、使用する予定。 参考書、資料等については、授業時に説明し、紹介する。 授業は、講義及び演習の両方式を混ぜて行なう。

履修コード	006201
科目名	仏教美術
担当者名	むらまつ 哲文 村松 哲文

講義のねらい 日本の仏教美術について、歴史的な背景と照らし合わせながら概観する。一つのモチーフが時代によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。
また本講義では、美術作品から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。なおインド・中国・朝鮮半島の仏教美術については「総合1(3) 仏教と芸術」で講義する。

講義の内容・授業スケジュール 〔前期〕
仏教美術の世界(1)、飛鳥時代の仏像(2~7)、白鳳時代の仏像(8~10)、天平時代の仏像(11~15)
〔後期〕
平安時代の仏像(16~20)、鎌倉時代の仏像(21~25)、仏教美術の狂巖(26~30)
以上は予定で、適時仏教美術関係の展覧会について解説を予定している。

履修上の留意点 美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。

成績評価の方法 定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。

教科書 プリントを配布する。

参考書等 参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

履修コード	053101
科目名	西域美術史
担当者名	まつだいら 美和子 松平 美和子

講義のねらい 中央アジア以西、地中海域までを広義の西域にとらえ、本年はアフガニスタン、ペルシアを中心に東西美術工芸の交流を考えることを目的とします。アフガニスタンの遺宝は内戦のため長く行方不明となっていました。最近我々の目の前に再び姿を現し始めています。その最新情報も検討します。

講義の内容・授業スケジュール 前期 シルクロード美術(1)アフガニスタン(2~7)、ガンダーラ(8~9)、ペルシア(10~15)の美術工芸
後期 ソグドの美術(1~2)シルクロードのガラス工芸(3~9)、シルクロードの陶磁器工芸(10~15)

履修上の留意点 講義中に紹介するシルクロード関係の展覧会を少なくとも年1回は見学してほしい。

成績評価の方法 レポート、学年末テスト、講義時の提出物、出席状況から総合的に評価する。

教科書 松平美和子『シルクロード美術鑑賞への誘い』2007年刊(芙蓉書房出版)2800円
ISBN 978-4-8295-0401-7

参考書等 講義時に随時伝える。

その他 毎時間多くの画像を見て講義する。必要に応じてビデオも使用する。

履修コード	017801
科目名	美術史概説
担当者名	きたの よしえ 北野 良枝

講義のねらい 日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容・授業スケジュール 前期 平安時代から室町時代の絵画
(1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
(3) ~ (5) 仏教絵画 (6) ~ (8) 絵巻物
(9) ~ (10) 肖像画 (11) ~ (15) 室町時代の水墨画
後期 室町末から江戸時代の絵画
(16) ~ (20) 狩野派 (21) ~ (24) 琳派
(25) ~ (26) 浮世絵 (27) ~ (28) 南蘋派と洋風画
(29) ~ (30) 江戸から明治へ

履修上の留意点 授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	028101
科目名	ラテン語
担当者名	上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small>

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。
下記のテキストを用いて、基礎文法の要点を順次説明してゆきます。必要に応じてテキストになり文例も補充し、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。
前期は序論から第12課まで、後期は第13課から第24課までを学習します。
前期(1) 導入、ラテン語とは (2~5) 文字と発音、動詞の直説法現在・未完了・未来、名詞の第1・2変格など (6~10) 動詞の直説法完了・過去完了・未来完了、名詞の第3変格など (11~15) 動詞の直説法現在・未完了・未来・過去完了・未来完了、名詞の第4・5変格、形容詞の比較法、など

履修上の留意点

後期(16~20) 命令法、各種の代名詞、副詞、など (21~25) 不定法、数詞、形式受動動詞、分詞、など (26~30) 接続法、動名詞、動形容詞、様々な従属文、など
練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。
1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。

成績評価の方法
教科書
参考書等

年間2回(前期末・後期末)のテストの結果(80%)に平常点(20%)を加味して評価します。
松本悦治『ラテン語入門』(駿河台出版社)1,500円
辞書と共に初回の授業で紹介します。

履修コード	028201
科目名	ギリシャ語
担当者名	長谷川 岳男 <small>はせがわ たくお</small>

講義のねらい

西洋の多くの言語の語彙や文法にとってルーツに位置する古典ギリシア語の基礎を学ぶことを主要な目的としています。そして古典ギリシア語のみならず、その文法や語彙の学習、読解を通して、英・独・仏・伊などの言語の仕組みを理解することもめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、第一回目のオリエンテーションで古典ギリシア語を用いていた古代ギリシア世界が西洋文明において有する意義と、西洋諸言語における古典ギリシア語の影響と学ぶ現代的有用性を説明して学習の動機付けを行います。第二回目、三回目はローマン・アルファベットとは異なるギリシア・アルファベットを学び、第4回目から5回程度、文法の基礎事項を扱って、現代の西洋諸言語に通ずる決まりを理解します。その後、簡単な古典ギリシア語の講読を文法事項の学習とともに進めることで、古典ギリシア語の理解を深める予定です。このような進行の合間に、古典ギリシア語の理解には、その背景にある古代ギリシア世界の理解が不可欠なために、何度かビデオやスライドなどで、ギリシア世界に触れてもらおうと思っています。

履修上の留意点

ただ講義に参加するだけでは古典ギリシア語の習得は難しいので、受講生の皆さんの積極的な参加が必要です。具体的には、最初の文法事項の学習の際には、練習問題を解いて参加しなければ意味がありませんし、講読の際には事前に予習することが不可欠になります。

成績評価の方法

二度行うテスト、講義時に練習問題を解いたり、講読において和訳する際の積極的な参加などを総合して評価します。ですから出席は必要となります。このような形で評価しますので、追試験は行いません。

教科書

田中利光『新ギリシャ語入門』、大修館書店、3400円、ISBN 4-469-21191-5。それ以外に必要なものはこちらで印刷して配布します。

参考書等

講義中に随時、指示します。

歴
史

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

5. 社 会 学 科 社 会 学 專 攻

履修コード	057501
科目名	社会学概論
担当者名	坪井 健

講義のねらい この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会学的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
 2. 社会学とは何か - 3つの方法 -
 3. 私の社会学観 - 人生と社会学の経験 -
 4. 社会現象の不思議 1 - 予言の自己成就 -
 5. 社会現象の不思議 2 - 自殺的予言と潜在的機能 -
 6. 社会現象の不思議 3 - 社会的ジレンマ -
 7. 社会現象の不思議 4 - 歴史のパラドックス -
 8. 社会現象の不思議 5 - 組織のパラドックス -
 9. 社会現象の不思議 6 - 犯罪のパラドックス -
 10. 社会現象の不思議 7 - 情報社会のパラドックス -
 11. 社会学の基礎概念 1 - 社会的行為 -
 12. 社会学の基礎概念 2 - 相互作用 -
 13. 社会学の基礎概念 3 - 社会的地位 -
 14. 社会学の基礎概念 4 - 社会的役割 -
 15. 社会学の基礎概念 5 - 文化 -
 16. 社会学の基礎概念 6 - 価値と規範 -
 17. 社会学の基礎概念 7 - 集団と組織 -
 18. 社会学の基礎概念 8 - パーソナリティと社会化 -
 19. 社会学の基礎概念 9 - 社会的性格と消費社会論 -
 20. 現代社会論 1 - グローバル化する世界 -
 21. 現代社会論 2 - フリーターの現実 -
 22. 現代社会論 3 - 大衆社会とファシズム -
 23. 現代社会論 4 - 高齢社会の生き方 -
 24. まとめ - 社会学の仕方 -

- 履修上の留意点**
1. 授業時間中の私語は厳禁する。目に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
 2. 毎回、授業の感想や意見を記入するリアクションペーパーを配布するので、積極的に記入すること。
 3. 随時、参加型授業を試みるので、積極的に参加してもらいたい。
 4. 各テーマは1時間で完結の予定である。内容や順序は変更することもある。なお、年数回ビデオ教材を使って、社会認識を深める工夫をする予定である。
 5. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

- 成績評価の方法**
1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、参加度など (30%)
 2. 課題レポート・期末試験 (70%)

なお、この授業は、出席は遅刻も含めて厳密にカウントしています。また、成績評価の具体的方法は、3回(初回講義時・夏休み前講義時・最終回講義時)説明し、受講生に公表しています。ご注意ください。

教科書 特定の教科書は使用しない。毎回講義内容をプリントで説明する。
参考書等 その都度、指示する。

(社会学)

履修コード	057601
科目名	社会調査
担当者名	牛島 千尋

講義のねらい 社会調査とは、私たちの周囲に生起する社会的事象を解明することを目的として、データを収集し、記録・整理し、分析するという一連の過程を指す。本講義は社会学の重要な方法としての社会調査を学習していくが、しかし、単に技法の習得だけでは社会学の真の研究にはつながらない。本講義では、技法の講述に加えて、これまでに行われた実証的研究を紹介しながら、履修者の理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 実証主義の精神と社会調査
2. 社会調査の範囲と系譜 1—行政目的の統計調査、社会福祉（事業）目的の調査—
3. 日本における社会調査の始まりと発展—ビデオ—
4. 社会調査の範囲と系譜 2—市場調査、世論調査、研究目的のための調査—
5. 理論化の道程—帰納法と演繹法、命題・仮説・検証—
6. 社会調査の二つの方法 1—量的方法と質的方法—
7. 社会調査の二つの方法 2—量的方法と質的方法—
8. 量的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「自殺論」—
9. 質的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「社会分業論」—
10. 仮説の修正と新たな発見—メーヨーの「ホーソン実験」—
11. 社会調査のさまざまな技法 1—横断的調査と縦断的調査—
12. 社会調査のさまざまな技法 2—モレノのソシオメトリーとその応用—
13. 社会調査のさまざまな技法 3—ホワイトの「ストリート・コーナー・ソサエティ」と参与観察—
14. 既存データ、既存資料の収集と使い方 1—国勢調査データ、官公庁統計
15. 既存データ、既存資料の収集と使い方 2—各種民間調査データと公開個票データ—
16. 調査実施過程の説明—フィールド・ノートの作成、調査票を使用した面接調査の手順—
17. 資料の収集とリスト作成
18. 作業仮説の設定と質問項目の作成
19. 調査方法の選定と準備 1—非構成的技法と構成的技法—
20. 調査方法の選定と準備 2—全数調査と標本調査、母集団、標本数と誤差—
21. 調査票の作成 1—質問文作成の注意点—
22. 調査票の作成 2—選択肢作成の留意点—
23. 調査票の作成 3—回答形式の種類、コードブック作成の留意点—
24. 質問文を使用した調査の方法—個人面接調査・留置き調査・郵送調査法・電話調査・集合調査・インターネット調査—
25. 標本抽出の方法 1—単純無作為抽出法、系統抽出法—
26. 標本抽出の方法 2—層化抽出法、多段抽出法、有意抽出法—
27. データの整理と集計の準備 1—データの整理とデータ入力—
28. データの整理と集計の準備 2—データのクリーニング、論理チェック、アフター・コーディング—
29. まとめ—社会調査をする際の心構え—
30. 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

必修科目なので、オリエンテーションぬきで第一回から講義に入ります。
出席状況、授業中のレポート提出、後期試験（持ち込み不可）によって評価します。
森岡清志編『ガイドブック・社会調査』日本評論社

履修コード	057701
科目名	社会学基礎研究
担当者名	山田 信行・牛島 千尋・片岡 栄美・坪井 健・松信 ひろみ

講義のねらい 社会学的研究法について、社会学研究の実際例と研究法の基礎をマスターすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 前半は、全教員リレー方式で社会学研究例の講義をする。後期は、ゼミ形式で研究法（文献へのアクセス・レポートの書き方・プレゼンテーションの仕方など）を学ぶ

履修上の留意点 毎回出席が義務付けられている。また前期と後期に必ずレポート提出の義務がある。

成績評価の方法 出席点と2回のレポートにより評価される。

教科書 こちらで指定し配布する。

参考書等 安藤喜久雄編『わかりやすい論文レポートの書き方』（実業之日本社）1999年

履修コード	057801・057901・058001
科目名	情報処理実習
担当者名	軽部 幸浩

講義のねらい 現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して社会学のレポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば購入することを薦める。

講義の内容・授業スケジュール 授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

【前期】

- [2] ・パソコンの基本操作
- [2] ・情報処理の基礎
- [2] ・ Internet 利用の実際と注意（マナーやモラルについて）
- [3] ・タッチタイピングの完全習得（Type Quick を利用して）
- [4] ・電子的コミュニケーション（電子メールの利用法）
- [4] ・情報の検索（WWWの利用法）
- [5～15] ・大学生として必要なドキュメント処理能力の習得（MS-Word）

【後期】

- [1～9] ・スプレッドシートの習得（MS-Excel による集計、グラフ、データベース）
- [10～12] ・統計パッケージの習得（SPSS for Windows）
- [13～15] ・プレゼンテーションの実際（プレゼンテーションの基礎技術）

履修上の留意点 原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。学校行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回（1回平均約2時間程度）の実習が必要となる（昨年度実績では週平均約5時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである）。

また、Type Quick、MS-Word、MS-Excel、MS-PowerPoint、SPSS の習得は、単位取得のための必須条件である。

成績評価の方法 出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は1年次必修科目であるため単位の認定を受けられない者は、翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了することを希望する。

教科書 授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に持参してくること。

参考書その他 授業中に最新のものを指示する。
年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回（1回2時間程度）の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、4号館にある総合情報センタ1Fの自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンで MS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

【授業 Web】 <http://wwwint2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>

【e-Learning】 <https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

（社会学）

履修コード	058101
科目名	調査統計基礎演習
担当者名	上野 淳子 <small>うえの じゆんこ</small>

講義のねらい 本講義は、統計学の基礎知識と実際にデータ分析を行える力を身につけることを目的とする。講義と演習形式で授業を進める。前期は、度数分布やクロス集計など記述統計の読み方からはじめて、社会調査の結果を読んで理解するために必要な統計学の基礎を学ぶ。後期は、確率論の基礎と仮説検定の考え方、様々な検定の方法を学び、標本調査のデータ分析を行うための統計学的知識を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 社会調査と統計：統計学とは何か
- 2 度数分布と統計図表 1：離散測度の度数分布と図表の読み方・作り方
- 3 度数分布と統計図表 2：連続測度の度数分布と図表の読み方・作り方
- 4 標本分布の特性値 1：平均値、中央値、最頻値
- 5 標本分布の特性値 2：分散と標準偏差
- 6 統計図表と標本分布の特性値の演習
- 7 データ間の関連 1：クロス集計表
- 8 データ間の関連 2：散布図と相関係数
- 9 因果関係と相関関係 1
- 10 因果関係と相関関係 2：疑似相関と偏相関数
- 11 確率の概念
- 12 確率分布 1：二項分布とポアソン分布
- 13 確率分布 2：一様分布と正規分布
- 14 正規分布：標準正規分布、正規分布表、z 得点
- 15 標本の特性と確率論のまとめ
- 16 確率論の基礎
- 17 母集団と標本：抽出法の理論
- 18 母数の推定と中心極限定理
- 19 標本から母集団を推定する 1：母平均の推定
- 20 標本から母集団を推定する 2：母比率の推定
- 21 標本から母集団を推定する 3：母標準偏差の推定
- 22 仮説の検定：仮説とは、2種類の過誤、検定の発想
- 23 仮説検定 1：母平均・母比率の差の検定
- 24 仮説検定 2：母分散に関する検定、独立性の検定
- 25 相関分析 1：分析の概要
- 26 相関分析 2：相関係数と検定
- 27 回帰分析 1：分析と回帰係数の読み方
- 28 回帰分析 2：検定
- 29 回帰分析 3：その他の回帰分析
- 30 まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

実習・講義
筆記試験と平常点
鳥居泰彦『はじめての統計学』日本経済新聞社、1994年。ほかに適宜指示する。

履修コード	058201
科目名	調査統計基礎演習
担当者名	片岡 栄美

講義のねらい 社会調査によって得たデータの分析法として統計学を学ぶ。社会統計学の基礎的な知識の習得と、統計を正しく用いる方法、データの読み方などを中心に、講義とパソコンを使用した演習形式で授業を行なう。社会学専攻必修科目。

講義の内容・授業スケジュール 1 社会調査と統計：統計学とは何か、変数の種類

- 2 度数分布と統計図表 1
- 3 度数分布と統計図表 2
- 4 中心傾向の測度：代表値
- 5 得点の散布度 1
- 6 得点の散布度 2
- 7 代表値、散布度の統計演習、統計資料の整理
- 8 正規分布と相対的位置の測度 1
- 9 正規分布と相対的位置の測度 2
- 10 2変数間の関連をみる クロス集計表
- 11 クロス集計 (2)
- 12 カイ二乗検定
- 13 擬似相関と変数の統制
- 14~15 相関係数
- 16 確率論の基礎
- 17 母集団と標本
- 18~20 確率分布と仮説検定の考え方 1
- 21 仮説検定
- 22 平均の差の検定
- 23 比率の差の検定
- 24 多重クロス集計とエラボレーション
- 25 属性相関係数
- 26 連続変数間の関連：相関係数とその検定
- 27 単回帰分析(1)
- 28 単回帰分析(2)
- 29 重回帰分析
- 30 まとめ

履修上の留意点 通年の必修科目であるので、必ず履修すること
成績評価の方法 出席重視。試験(またはレポート)70%と平常点(出席や演習問題の提出など30%)によって、総合的に評価する。

教科書等 鳥居泰彦 『はじめての統計学』 日本経済新聞社
ポーンシュテッド&ノーキ 『社会統計学』(ハーベスト社)1990年
岩井紀子・保田時男著 『調査データ分析の基礎』(有斐閣)2007年
その他 演習問題などを解いてもらいながら進める。
社会調査士資格認定のC,D科目に該当する。

履修コード	058301
科目名	調査統計基礎演習
担当者名	池田 心豪

講義のねらい 社会調査によって得たデータの分析法として統計学を学ぶ。社会統計学の基礎的な知識の習得と、統計を正しく用いる方法、統計データの読み方などを中心に、講義と演習形式で授業を行う。

前期は、記述統計データの読み方や計算方法、グラフの読み方、2変数間の関連についての測度などを中心に、統計の基礎を学ぶ。後期は、確率論の基礎と仮説検定・推定の理論とその応用、多重クロス集計や相関係数、回帰分布などを学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 社会調査と統計：統計学とは何か、変数の種類
- 2 度数分布と統計図表1：離散測度の度数分布と図示法
- 3 度数分布と統計図表2：連続測度の度数分布と図示法
- 4 中心傾向の測度：代表値（平均値、中央値、最頻値とその比較）
- 5 得点の散布度1：探索的データ解析と散布度、四分位数、箱ヒゲ図など
- 6 得点の散布度2：分散と標準偏差
- 7 代表値、散布度の演習、統計資料の整理
- 8 正規分布と相対的位置の測度1：正規分布、標準正規分布、正規分布表
- 9 正規分布と相対的位置の測度2：Z得点、変動係数
- 10 クロス集計：2重クロス集計
- 11 クロス集計：確率と帰無仮説
- 12 カイ二乗検定
- 13 因果関係と相関関係の区別、擬似相関について
- 14 相関係数1
- 15 相関係数2
- 16 確率論の基礎
- 17 母集団と標本：抽出法の理論
- 18 確率分布と統計的仮説検定の考え方1：仮説検定の手順、推定とは
- 19 確率分布と統計的仮説検定の考え方2：正規分布、中心極限定理、標準誤差、有意確率など
- 20 確率分布と統計的仮説検定の考え方3：点推定と信頼区間
- 21 確率分布と統計的仮説検定の考え方4：仮説検定
- 22 平均の差の検定1：2つの平均の差の検定
- 23 平均の差の検定2：比率の差の検定
- 24 多重クロス集計とエラレーション
- 25 属性相関係数
- 26 2つの連続変数間の関係：相関係数とその検定
- 27 単回帰分析1：線形回帰、決定係数と検定
- 28 単回帰分析2：非線形回帰
- 29 重回帰分析
- 30 まとめ

成績評価の方法
教科書

出席・レポート・試験
鳥居泰彦『はじめての統計学』（日本経済新聞社）

履修コード	058401
科目名	社会学史
担当者名	山口 剛司

講義のねらい 社会学の学説を取り上げ、社会学の歴史と基本的な考え方について学修する。「通史」を前提としながらも、単なる「歴史」とどまらず、社会学の基本的な方法や発想法（社会学的想像力）について解説する。

講義の内容・授業スケジュール 前期は今世紀初頭までの古典期の学説を、後期は20世紀後半から現代に至る学説を取り上げる。受講者の理解度に応じて進度を調整するが、以下を予定。A.コントとH.スペンサーの総合社会学（1～2）、ウェーバー、デュルケム、ジンメルと社会学の確立（3～8）、マルクスの社会学理論（9～10）、T.パーソンズとR.K.マートンの機能主義的 sociology（11～13）、G.H.ミード＝H.ブルーマーとシンボリック相互作用論（14）、中間考察（15）、A.シュッツと現象学的社会学（16～17）、H.ガーフィンケルとエスノメソドロロジー（18）、P.ブルデューと格差社会（19）、M.フーコーと管理社会学（20）、N.ルーマンとシステム論の刷新（21～23）、J.ハーバーマスの批判的 sociology理論（24～26）、A.ギデンズと再帰性の近代（27）、U.ベックとリスク社会学論（28）、Z.パウマンと個人化論（29）、まとめ（30）

履修上の留意点 「社会学」という名称は、シンプルな名前であるにもかかわらず、その正体を知るのには容易ではありません。本講義は、「社会学」とその歴史についての一定のイメージをもつことをめざしています。他学部、他学科の友人にあなたの専攻している学問（社会学）について、説明できるようにしましょう。

成績評価の方法 原則として学期末試験（2回）、出席を考慮する。

教科書

新睦人編、『社会学のあゆみ』、有斐閣、1155円（税込）、ISBN978-4641088573

新睦人編、『社会学のあゆみⅡ』、有斐閣、1155円（税込）、ISBN978-4641090460

新睦人編、『新しい社会学のあゆみ』、有斐閣、2205円（税込）、ISBN978-4641123021

参考書等

富永健一『思想としての社会学』、新曜社、8715円（税込）、ISBN978-4788510814

履修コード	058221
科目名	社会学古典研究
担当者名	山田 信行

講義のねらい なかなか、1人では通読することが難しい社会学の古典をグループで輪読することによって、社会学の基礎的な理論や概念の理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール 社会学の古典を1冊とりあげて、できるだけ多く、その本文を購読し、社会学の考え方や基礎概念の的確な理解を目指す。具体的にとりあげる文献については、開講時に指示する。

履修上の留意点 ゼミ形式で授業を行うので、出席は極めて重要である。理由がない遅刻・欠席は厳禁である。平常点および学期末レポートによる。

成績評価の方法

開講時に指示する。

教科書

適宜、指示する。

参考書等

意欲的な学生の参加を期待する。

その他

履修コード	058241
科目名	質的調査法演習
担当者名	田中 研之輔

講義のねらい	本講義の目的は、質的調査法に関する理解を深めるとともに、実際に、現地調査を実施するのに必要な知識を習得していくことにある。本講義では、社会調査の方法のなかで、とくに、質的調査に関する認識論、方法論について検討していく。具体的には、質的調査法の歴史的経緯ならびに特徴を整理した上で、聞き取りの方法、フィールドワーク、エスノグラフィーについて解説していく。
講義の内容・授業スケジュール	第1週 講義のガイダンス：質的調査とは何か。 第2週 質的調査の歴史的経緯 第3週 聞き取りの〈技法〉：インタビュー 第4週 聞き取りデータの〈分析〉（1）：会話分析 第5週 聞き取りデータの〈分析〉（2）：生活史 第6週 フィールドワーク（1）：参与観察 第7週 フィールドワーク（2）：観察的参与 第8週 フィールドワーク（3）：参与的客観化 第9週 フィールドワークのまとめ 第10週 エスノグラフィーとは何か 第11週 エスノグラフィーの読み方 第12週 エスノグラフィーの書き方 第13週 リフレクシブ・エスノグラフィーの地平 第14週 リフレクシブ・フィールドワークに向けて 第15週 講義のまとめ
成績評価の方法 教科書	出席状況、授業内感想メモ、学期末レポートにより総合的に評価する。 指定なし。

履修コード	058281
科目名	外書講読演習
担当者名	山田 信行

講義のねらい	英語文献の輪読を通じて、社会学に関する理論的・経験的な学識を深めることを目的としている。とりあげる文献については、開講時に指示する。授業はゼミ形式で行う。
講義の内容・授業スケジュール	英語の購読授業とは一線を画するものにしたいが、あくまでテキストの理解を徹底することが目的達成のための第一歩なので、丁寧に英文を読み取ることが心がけていくようにしたい。
履修上の留意点	平常点、中間試験、および学期末試験を総合して評価する。
成績評価の方法	参加者と相談して決める。
教科書	適宜、指示する。
参考書等	英語の学力については、とくに問題にしないものの、まとまった文献を読みとおすだけの意欲は必要である。
その他	

履修コード	058331
科目名	社会心理学A
担当者名	坪井 健

講義のねらい この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学A（前期）では、対人関係、集団的影響などの具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて、身近な日常テーマの役立つ授業を展開したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに ー講義の方針と受講の仕方ー
2. 対人認知と印象形成 ー未知の人をどう認知するかー
3. 対人関係と自己開示 ーオタクと日本人の自己開示ー
4. 日本人の対人関係戦略 ー安心社会から信頼社会へー
5. 自信の社会心理学 ーあなたは自分に自信がありますかー
6. 対人関係と対人魅力 ー対人魅力の条件とは何かー
7. 恋愛の社会心理学 ー恋愛と友情に違うのかー
8. 援助行動抑制要因の研究 ー何故、人は見て見ぬふりをするのかー
9. 社会的手抜きと社会的促進の研究 ーみんなと一緒になら食事もはずむー
10. 同調行動と集団的意志決定 ー集団の意志決定とその危険性ー
11. カウラ事件とその社会心理学的考察 ー集団脱走はなぜ起こったかー
12. 同調行動と頻度依存行動 ーいじめの心理ー

履修上の留意点

ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。

成績評価の方法

平常点（出席＋リアクションペーパーの内容＋参加度）50%、課題レポート50%

教科書

授業中、プリントを配布する。

参考書等

その都度指示する。

履修コード	058351
科目名	都市社会学A
担当者名	牛島 千尋

講義のねらい 本講義では、都市社会学の主要な理論を講述し、地域社会としての都市へアプローチするための基本的概念と分析方法について理解を深めていく。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概略は以下の通りである。

1. オリエンテーション
2. シカゴ学派の遺産と人間生態学
3. シカゴの発展と都市研究
4. 産業社会の都市の拡大と空間構造
5. 都市と農村に関する研究
6. 都市と農村に関する研究
7. アーバニズム論(1)
8. アーバニズム論(2)
9. 前産業型都市と産業型都市(1)
10. 前産業型都市と産業型都市(2)
11. コミュニティ論(1)
12. コミュニティ論(2)
13. 都市問題と都市計画(1)
14. 都市問題と都市計画(2)
15. 試験

履修上の留意点

都市社会学Bを履修する人は、本講義を最初に履修し、理論部分を理解しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、小テスト、レポートによって評価します。

教科書

高橋勇悦監修、菊池美代志・江上涉編『改訂版 21世紀の都市社会学』学文社、2008年。

参考書等

その都度紹介します。

その他

ビデオやパワーポイントなどの電子教材を利用し、講義形式で行います。

履修コード	058371
科目名	産業と変動の社会学
担当者名	山田 信行

講義のねらい 社会学の観点から産業と社会変動に関する基本的な理解を深めるとともに、労使関係、企業戦略、生産システム、およびグローバル化などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容・授業スケジュール この講義では、労使関係の変化とそれに対する雇主の対応と企業戦略の変化に照準して、生産システムの変遷をたどり、その過程に多国籍企業の展開と日本的なシステムの意義を位置づける。さらに、現代社会の基本的な変動趨勢としてのグローバル化の原因とその影響についても考察する。授業の内容は、以下のとおり。

1. 近代化・産業化・資本主義—労使関係の成立
2. 労使関係と生産システム
 - (1) テーラー主義とその限界 (2) フォード主義とその意味
3. ポスト・フォード主義
 - (1) 労使関係の変容とフォード主義の限界 (2) 雇主の戦略と新国際分業 (3) 多国籍企業の戦略と周辺社会の工業化 (4) 日本的生産システム
4. グローバル化と日本的生産システム
 - (1) グローバル化の原因と日本企業 (2) 国際移転と普遍性
5. グローバル化とサービス経済化
 - (1) ポスト新国際分業と産業構成の変化 (2) 世界都市と移民労働者の流入
6. インフォーマル化の進展
 - (1) インフォーマル・セクターの拡大 (2) インフォーマル化の概念と意味

履修上の留意点 継続的に出席することが、講義内容を理解するうえで重要である。

成績評価の方法 中間試験と学期末試験による。

教科書 特になし。

参考書等 山田信行 1998『階級・国家・世界システム—産業と変動のマクロ社会学』ミネルヴァ書房
後期に開講する雇用と労働の社会学もあわせて履修することが望ましい。

履修コード	058381
科目名	雇用と労働の社会学
担当者名	山田 信行

講義のねらい 社会学の観点から雇用と労働に関する基本的な理解を深めるとともに、非典型雇用、ワーキング・プア、および外国人労働者などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容・授業スケジュール この講義では、雇用という関係について基礎的な事項を確認したうえで、主として日本を事例として、雇用をめぐる基本的な制度とその現代的な変容について、パート労働や有期雇用の拡大、および外国人労働者の利用に象徴される雇用の多様化とそれに伴う労使関係の変化に言及しながら概説する。講義の内容は、以下のとおり。

1. 雇用という関係—雇用の発生と労使関係の本質
2. 労使関係の歴史的展開—労使関係モデルの変遷とグローバル化
3. 現代日本の産業・労働
 - (1) 年功賃金と終身雇用 (2) フレキシビリティと非典型雇用 (3) フリーター問題 (4) 自主管理活動 (5) 企業別組合と春闘 (6) ユニオンと新しい労働運動 (7) ME革命と技術革新 (8) 日本型コーポラティズム
4. 外国人労働者と看護・ケア労働
 - (1) 日本における外国人労働者 (2) 再生産労働のグローバル化 (3) 外国人看護労働の現状と課題

履修上の留意点 講義の内容を的確に理解するためには、継続的に出席することが重要である。

成績評価の方法 中間試験と学期末試験による。

教科書 特になし。

参考書等 山田信行 1996『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房
前期に開講される産業と変動の社会学もあわせて履修することが望ましい。

履修コード	058411
科目名	マス・コミュニケーション論A
担当者名	川本 ^{かわもと} 勝 ^{まさる}

講義のねらい	われわれの生活は情報メディアなしでは成立しえなくなっている現状をまず把握する。その現状を基礎にして、マス・コミュニケーション活動が人々の社会生活や社会とどのように関係しているかを考察し、多種多様化した情報メディアの社会的機能を理解するのが、この講義の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	パーソナル・コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで、生活に欠かせないコミュニケーション活動の現状を整理し、その社会的機能と課題について講義する。 第1回目は、オリエンテーション（授業のガイダンス） 1. コミュニケーションとは—その意味、定義と特質— 2. 社会的コミュニケーションの種類と特質、その規程要因（2～3回） 3. マス・コミュニケーション活動の現状、特質と課題（数回を予定） ①情報の生産・伝達活動、②報道活動、③論評活動、④教育活動、⑤娯楽の提供活動 4. マス・コミュニケーション内容の実態と特質（2回） 5. マス・コミュニケーションの機能類型（2～3回） まとめ—マス・コミュニケーションの社会的機能の整理
履修上の留意点	この講義は、マスコミ社会学の学問領域での考察となりますので、他学部他学科の学生は、すでに社会学を履修していることが望ましい。
成績評価の方法	試験により授業内容の理解についての評価を行う。その他、授業時間内に実施する小テストや小レポート、出席を考慮して、総合的に評価する。
教科書 参考書等	特に使用しない。 適宜紹介、指示、配布する。

履修コード	058421
科目名	マス・コミュニケーション論B
担当者名	川本 ^{かわもと} 勝 ^{まさる}

講義のねらい	これまで多くの研究がなされてきたマス・コミュニケーションの効果、影響についての理論学び、現代社会における情報メディアの社会的影響過程を考察するのがこの講義の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	マス・コミュニケーションの受容過程を扱う。マス・コミュニケーションが社会や人びとに対してどのような効果や影響を及ぼしているか、これまでの効果論を紹介しながら考察する。 第1回目は、オリエンテーション（授業のガイダンス） 第2回：マス・コミュニケーションの受容過程とは 第3回～2, 3回を予定：マス・コミュニケーションの接触行動、意味解釈行動の多様性とその要因 第7回：マス・コミュニケーションの効果研究の視点と系譜 第8回：マス・コミュニケーションの効果研究の小史（推移） 第9回～：マス・コミュニケーションの効果に関する諸理論（効果モデル） まとめ—マス・コミュニケーションの社会的影響過程の整理
履修上の留意点	この講義は、マスコミ社会学の学問領域での考察となりますので、他学部他学科の学生は、すでに社会学を履修していることが望ましい。
成績評価の方法	試験により授業内容の理解についての評価を行う。その他、授業時間内に実施する小テストや小レポート、出席を考慮して、総合的に評価する。
教科書 参考書等	特に使用しない。 適宜紹介、指示、配布する。

（社会学）会

履修コード	058431
科目名	文化社会学A
担当者名	片岡 栄美

講義のねらい 文化の社会学として、さまざまな現代文化をとりあげながら、文化の意味を解説していく。文化現象の社会的意味、文化と社会、文化と人間を関係性を社会的に読み解いていく。

講義の内容・授業スケジュール
 第1回 文化社会学とは
 第2回 近代とポスト近代の社会と文化
 第3回 音楽とメディア
 第4回 ライブハウス文化論
 第5回 音楽とジェンダー
 第6回 ファッションの社会学1
 第7回 ファッションの社会学2
 第8回 ギャルの社会学
 第9回 スポーツ文化の社会学1
 第10回 スポーツ文化の社会学2
 第11回 マンガの社会学1：少女マンガとジェンダー
 第12回 マンガの社会学2：少年マンガ
 第13回 音楽趣味の社会学
 第14回 文化社会学まとめ
 第15回 試験

履修上の留意点 現代文化を扱うが、文化論ではなく、社会学として文化と人間や社会との関連性を読み解いていく。
 成績評価の方法 出席点、試験（もしくはレポート）で総合的に評価する。
 参考書等 適宜、指示する。

履修コード	058441
科目名	文化社会学B
担当者名	片岡 栄美

講義のねらい 現代日本人の文化消費やライフスタイルを、社会的に明らかにする。
 われわれの日常行動、趣味、センス、価値観、思考パターン、おけいごと、「お受験」競争など、具体的な行動をテーマとして取り上げるが、これらライフスタイルが、社会的地位およびジェンダーとどのような関連性をもっているか、格差社会学を前提としながら、文化による差異化、同質化と排除、文化的再生産や文化資本、文化的オムニボアの概念を用いて理解する。文化的平等神話と日本文化の構造を解明し、ハイカルチャーや大衆文化は、われわれにとってどういった社会的意味をもっているのか、階層論とジェンダー的視点から、現代日本の文化をよみとく。

講義の内容・授業スケジュール
 第1回 文化と社会
 第2回 差異への欲望、同調への欲望：人はなぜ差異を求めるのか
 第3回 文化的平等神話の日本社会
 第4回 正統趣味と大衆趣味の違い：ファッション、スポーツ、料理、音楽趣味などの差異
 第5回 学歴と文化：なぜ学歴によって趣味は異なるのか
 第6回 家庭環境・学校と文化資本の形成
 第7回 格差社会と文化の階層性
 第8回 富裕層のライフスタイル
 第9回 現代日本におけるライフスタイルの差異
 第10回 日本のエリート、フランス、アメリカのエリート
 第11回 文化的寛容性が排他性か：文化オムニボアの社会日本
 第12回 ライフスタイルと生活満足
 第13回 なぜ女の子はピアノで、男の子はスポーツをするのか：おけいごとのジェンダー差と社会的意味
 第14回 結婚・就職に及ぼす文化の影響とは：ジェンダーと文化
 第15回 まとめ

履修上の留意点 講義形式の授業
 成績評価の方法 出席点30%、レポート70%で、総合的に成績評価する

履修コード	058451
科目名	家族とジェンダーの社会学A
担当者名	まつのぶ 松信 ひろみ

講義のねらい 本講義のテーマは、現代の結婚と家族にかかわる諸現象や問題を、社会的な観点から考察することである。統計的なデータから、さまざまな現象や問題についての現状を読み取り、その現状を社会的な観点から把握できる能力を養うことが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール 授業の前半では、家族社会学の基本的な考え方を解説し、近代家族から現代家族への変遷の過程について説明する。授業の後半では、現代家族をめぐる具体的な現象や問題を取り上げ、各々について統計的なデータなども用いて現状の解説と社会的な観点からの検討を行う。具体的には、未婚化・晩婚化の進展、離婚の増加、少子・高齢化、共働き家族の仕事と家庭生活の調和の問題などを取り上げて検討してゆく。

- 第1回 家族変動と家族のゆくえ
- 第2回 家族機能の変化
- 第3回 ライフコースと家族
- 第4回 ネットワークと家族
- 第5回 新しい家族のかたち①事実婚や同性婚
- 第6回 新しい家族のかたち②ステップ・ファミリー
- 第7回 家族の個人化・リスク化
- 第8回 恋愛と結婚と家族
- 第9回 シングルライフ
- 第10回 性別役割分業と家族
- 第11回 少子化と子育て支援①少子化の現状
- 第12回 少子化と子育て支援②ワークライフバランスと子育て支援
- 第13回 高齢化と家族①高齢化の現状
- 第14回 高齢化と家族②家族の介護と看取り
- 第15回 まとめ

成績評価の方法 平常点（出席・コメントペーパー）30%、レポート70%
 教科書 増子勝義編著『新版新世紀の家族さがし・おもしろ家族論-』学文社、2007
 参考書等 適宜紹介する

履修コード	058461
科目名	家族とジェンダーの社会学B
担当者名	まつのぶ 松信 ひろみ

講義のねらい 本講義のテーマは、ジェンダーの観点から現代社会の諸現象や問題を考察することである。さまざまな現象や問題に関して、ジェンダーの観点を導入することにより見えてくる新たな問題性の把握と、その問題について社会的な観点から把握できる能力を養うことが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール 授業の前半では、ジェンダーについての基本的な考え方を解説する。授業の後半では、ジェンダーにかかわる具体的なトピックについて、統計的なデータなども用いて現状の解説と社会的な観点からの検討を行う。具体的には、多様な性の存在、性別役割分業、雇用と就労、性的暴力、性の商品化、リプロダクティブ・ヘルス&ライツ、ケアの担い手などである。

- 第1回 ジェンダーとは
- 第2回 多様な性の存在①ジェンダーとセクシュアリティ
- 第3回 多様な性の存在②セクシュアル・マイノリティの現状
- 第4回 性別社会化とジェンダー
- 第5回 ケアの担い手とジェンダー①育児
- 第6回 ケアの担い手とジェンダー①介護
- 第7回 雇用・就労とジェンダー①性別職域分離
- 第8回 雇用・就労とジェンダー②労働環境におけるジェンダー格差
- 第9回 リプロダクティブ・ヘルス&ライツ①生殖にかかわる南北問題
- 第10回 リプロダクティブ・ヘルス&ライツ①不妊と生殖医療
- 第11回 暴力とジェンダー①セクシュアル・ハラスメント
- 第12回 暴力とジェンダー②ドメスティック・バイオレンス
- 第13回 性の商品化とジェンダー①性の商品化とは
- 第14回 性の商品化とジェンダー②ポルノグラフィや売春はいけないことなのか？
- 第15回 まとめ

成績評価の方法 平常点（出席・コメントペーパー）30%、レポート70%
 教科書 開講時に指示する
 参考書等 適宜紹介する

履修コード	060201
科目名	社会統計学演習
担当者名	片岡 栄美

講義のねらい データ分析で用いる基礎的な多変量解析法について、講義と実習を行なう。データから社会的に意味のある結果をどのように導き出すか、データ処理スキルを向上させる。具体的には、重回帰分析を基本としながら、因子分析、主成分分析、分散分析、パス解析などをとりあげ解説するとともに、実際のデータを用いて統計処理ソフト（SPSS）による実践的手法を習得する。解析ソフトの使用法の習得だけではなく、各手法の考え方やその結果の意味を理解することに重点を置き、多変量解析を使用したレポートの書き方についても指導する。社会調査士資格の科目である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 多変量解析の基礎1：基本統計量の算出とその意味を確認するとともに、多変量解析に向けた基本的考え方を講義する。
- 2 多変量解析の基礎2：標準化、相関係数、相関行列、回帰についての基礎を復習し、データ分析をやってみよう。
- 3 重回帰分析1：重回帰式の意味の理解とその算出手続きの習得を目指す。
- 4 重回帰分析2：重回帰分析により得られる各種の係数（偏回帰係数、重相関係数、決定係数、標準偏回帰係数）について説明し、その意味を理解する。
- 5 重回帰分析3：重回帰分析を使用して、調査データを分析した研究事例について検討し、重回帰分析の使い方を学ぶ。
- 6 重回帰分析4：重回帰分析を使用して、調査データを分析し、報告書を書く練習をする。
- 7 パス解析：パス解析の意味と使用方法について学び、実際のデータを使用して分析方法を習得する。
- 8 主成分分析と因子分析について、統計的な考え方の違いについて習得する
- 9 主成分分析の基本的な分析法と、各種の値（固有値、寄与率、因子負荷量、主成分得点）について学ぶ
- 10 因子分析：因子分析の手法について、習得する
- 11 分散分析：対応のある場合・ない場合に分けて説明するとともに具体的なデータを処理することによって理解を促す
- 12 多変量分散分析：多変量分散分析の手法について習得し、検定や結果の記述について学ぶ
- 13 クラスタ分析1：手法の基礎的な考え方と手法について学ぶ
- 14 クラスタ分析2：デンドログラムについて解釈と意味を学ぶ
- 15 多変量解析についての理解に関する検証（定期試験）

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

社会調査士資格のE科目に該当する。出席重視。
平常点30%とレポート70%で総合的に評価する。
小塩真司 『研究事例で学ぶSPSSとAMOSによる心理・調査データ解析』、東京図書、2005年
適宜、指示する

履修コード	060301
科目名	社会調査実習
担当者名	まつのぶ 松信 ひろみ

講義のねらい

1,2年次で学んだ社会調査に関する知識を生かし、実際の社会調査にかかわることによって、現実の社会を分析する手法を会得することを目的とする。受講生は、自らの問題意識を仮説化し、調査の企画・設計から調査票の作成、サンプリング、データの収集と分析、報告書の作成など社会調査の一連のプロセスを経験する。具体的には、学生を対象とした量的調査を実施し、受講生各々の問題意識を生かした調査票を作成して、受講生が相互に協力しあいながら、データの収集から報告書の作成までを実践的に学習してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期はまず受講生の討議に基づき、①調査テーマの決定と調査の設計（1～2回目）、②仮説の検討（3～5回目）、③調査票の作成（6～10回目）、を行う。調査票の作成においては、調査企画と照らし合わせながら、項目の調整、配置、ワーディングの検討も行い、さらに依頼文、あいさつ文の作成についても学ぶ。また、④駒澤大学の社会学科の在学生名簿からランダムサンプリングを実施し、標本抽出についても体験する（11回目）。夏休み前には、⑤抽出された対象者について、調査票の配布、回収（12～13回目）、⑥回収した調査票のチェック、データ入力を行う（14～15回目）。後期には、まず⑦データのクリーニングを実施し（16～17回目）、その後は⑧各自の仮説に基づいたデータの分析をSPSSを用いて行う（18～22回目）。さらに、それらの分析結果に基づき、⑨報告書の執筆、作成を行う（23～25回目）。報告書の作成にあたっては、各自で執筆した原稿について受講生全員で検討する（26～30回目）。

履修上の留意点

問題意識を明確にもち、社会調査のすべての過程について、自ら積極的に取り組むことのできる姿勢をもって欲しい。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

平常点（出席、および調査への取り組み方）（50%）、報告書用のレポート（50%）
適宜指示する
適宜指示する
毎回の出席が基本である。自ら調査に取り組む姿勢を忘れてないで欲しい。

履修コード	O60311
科目名	社会調査実習
担当者名	かみなが 唯 伸長 唯

講義のねらい

この実習では主に質的調査の方法を用いて行う。1、2年生の時に学んだ社会調査の手法、特に社会調査演習において学んだ質的調査の手法を、実習を通してマスターしていくことを目的としている。調査テーマの設定、調査地や調査対象者の選定、調査対象地に入るための準備学習、聞き取り調査のアポイントメント取り、実際の聞き取り調査の実施等を行う。また、現地の様々な活動に参加し、参与観察を行うことなども含め、これら一連の質的調査のプロセスを経験した上で、調査テーマに関する質的データに基づいた調査報告書の作成を受講生全員で協力しながら行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期：まず質的調査の方法の特質や具体的な技法について受講生と確認した上で、実習のテーマについて討論し決定する。次に調査テーマに関する基礎データを受講生で分担して集め、調査地と調査対象者等の選定作業を行う。その上で受講生のグループ分けを行い、それぞれが調査地に入っていく、事前調査と予備学習を行う。後期：各グループで準備作業を終え、本調査に入る。聞き取り調査対象者リストを作成し、アポイントを取ることから調査実施、テープ起こし、データのコード化など一連の作業を行う。また同時に必要に応じて参与観察を行い、同様に観察ノーツの作成とコード化を進める。最後に受講生で分担して分析・調査報告書の執筆、作成までの一連の作業を行う。

1. 調査のテーマ/領域：具体的なテーマは受講生と討論した上で決定するが、身近な環境問題や駒澤大学のある世田谷区が有する社会問題等に関連する領域にする予定である。また、調査テーマによっては駒澤大学の地域貢献という点も重視したいと考える。

2. 調査の内容/概要：東京という大都市（圏）にはさまざまな環境問題をはじめとする社会問題が存在する。そのため、たとえば、ごみ問題をはじめとする身近な生活環境問題について、地域の環境運動やリサイクル活動等に携わっている市民や市民団体（組織構成、活動形態、活動団体内の人間関係の形成、活動の位置づけや影響など）の把握を中心とした調査設計を予定している。詳細は受講生の意見を踏まえながら決定する。

3. 調査の範囲/対象：地域の環境問題（社会問題）に携わる住民運動や市民運動団体とその他関係者（行政、大学等）などを対象者として想定している。

4. 主な調査項目：活動の歴史と組織構成、リーダーシップのあり方、活動内容、メンバーの人間関係、活動に対するメンバーの考え方や感情、メンバーにとっての活動の位置づけ、活動することがメンバーに与える影響などの項目。具体的に決まったテーマに応じてさらに絞ったり、補足したりしていく。 5. データ収集（現地調査）の方法：調査対象を選定した後に、グループ単位で聞き取り調査を中心とした調査を行う。

履修上の留意点

1. 受講する学生は、調査のテーマ設定の段階から調査報告書の作成に至るまで、一貫して主体的に取り組むことが求められる。

2. 質的調査の方法を学ぶ「社会調査演習」の科目を履修したことのある学生、またはこの実習と同時に履修を始める学生が望ましい。

3. この科目は社会調査士の資格を取得するための科目の一つであるが、量的調査の実習は別のクラスが用意されているため、そちらを履修すること。

出席状況、参加態度、作業に取り組む姿勢、調査報告書作成における貢献により総合的に評価。とくになし。

佐藤郁哉『フィールドワーク：書を持って街へ出よう』新響社、2310円、978-4788510302

※この他、講義中に指示（一部、講義中に必要な箇所を配付）。

成績評価の方法
教科書等
参考書等

（社会学）会

履修コード	060321
科目名	社会調査実習
担当者名	上野 淳子

講義のねらい 社会調査を行う実践的な能力の獲得を目指す。具体的には大学生を対象とした意識調査を実施し、受講学生は調査の企画・設計からデータの収集と分析、報告書の作成まで社会調査の全プロセスを経験する。この授業により、①社会調査を企画・遂行する実践的な力、②自らの問題意識をもとに先行研究をレビューし仮説を構築する力、③データ分析の技法と結果の報告の仕方を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 前期は社会調査の企画から調査票の配布・回収までを行う。
 1. 社会調査の基本的知識の確認と調査の設計
 2. 先行研究の検討と仮説の構築
 3. 調査票の作成（質問項目の配置やワーディングの検討など）
 4. 調査対象者への調査依頼文とあいさつ文の作成
 5. 標本抽出
 6. 対象学生への調査票の配布と回収
 後期は、回収した調査票のデータ入力から報告書作成までを行う。
 7. 調査票のチェックとコーディング
 8. データ入力とクリーニング
 9. 各自の仮説にもとづいたデータ分析
 10. 報告書の作成
 調査票の作成は受講学生の問題意識にもとづいて行い、データの分析から報告書の作成まで全員で内容を討議しながら進める。

成績評価の方法 平常点（出席、討論・作業への取り組み）＋報告書レポート

履修コード	060901
科目名	社会学演習I
担当者名	山田 信行

講義のねらい この演習では、主として雇用や就職の問題に焦点を当てながら、現代日本における若者が直面している様々な問題を社会的に考察する。参加者は、各自の問題意識を確立することを通じて、4年次の卒業論文執筆につながる研究を行うことが求められる。
 演習の集団は、大学生活における基本的な活動単位であるため、参加者相互の親睦・交流が深まるように配慮したい。

講義の内容・授業スケジュール 夏休み前（前期）は、演習のテーマに関連した文献の輪読を行う。後期は、各自の問題意識に基づく研究報告（各自のテーマに関連した重要文献の紹介・論評）やグループ研究を行ってもらおう。詳細については、参加者と相談して決める。

履修上の留意点 演習は講義形式の授業と異なり、あくまで参加する学生が主体的に学習・研究活動する場である。したがって、理由のない遅刻・欠席は厳禁である。

成績評価の方法 平常点による。

教科書 参加者と相談して決める。

参考書等 適宜指示する。

履修コード	061101
科目名	社会学演習I
担当者名	川本 勝

講義のねらい 社会学の理論と方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール マス・コミュニケーションの社会学を中心に扱う。
 前期は、マス・コミュニケーション論に関する論文を読みながら、理論の整理を行い、メディアと社会生活を分析する社会的視点を修得する。
 後期は、課題を設定し、その検証に必要な方法を検討し、実証のための方法論を修得する。理論と方法論を学んで、卒業論文のテーマを見つける。
 年2回のゼミ合宿を行います。

成績評価の方法 出席、レポートによる報告、議論への参加によって評価する。

（社会学）会

履修コード	061301
科目名	社会学演習I
担当者名	坪井 健

講義のねらい このゼミでは、社会学・社会心理学の学習を通して、我々が生活している世界の認識能力を高め、社会の中で自己を活かす能力の育成をめざして、学生集団の自己教育力を高め、相互学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には、地域文化、集団心理、社会的アイデンティティ、対人コミュニケーション、世代文化（若者・高齢者）、国際交流、異文化理解など研究領域から、具体的な共同研究テーマを設定して、①文献研究、②データ収集、③整理分析、④報告書作成まで、グループ学習と集団討議を通して実際の研究をする。
具体的な共同研究テーマは、毎年変わる。
<坪井ゼミの年間行事予定>
「新歓コンパ」（4月）／「ゼミOB会」（7月）／「ゼミ合宿」（9月）／オータム研究発表（11月）／「4年生卒論発表会」（12月）／「追い出しコンパ」（1月）／「卒論構想春合宿」（3月）

履修上の留意点 ゼミは、知識伝授型の学習ではなく、問題発見型の学習を基本とする。従って、ゼミ学習の主体は、学生自身であることを認識すること。ゼミ学習の場は、教室内に限らない。街頭や国内・国外を含む。積極的な行動力を養ってもらいたい。また、ゼミでは、自分の個別の学習目標を持つこと。相互啓発を喚起すること。ゼミの集団文化育成に協力することを期待する。

成績評価の方法 ①ゼミ活動への参加度、②レポートや報告などの課題達成度、により総合的に評価する。
教科書等 特に、事前に指示しない。必要に応じて指示する。
その他 授業時間中に指示する。
ゼミは、少人数授業ですので、全員参加が前提です。遅刻・欠席は教師に直接事前連絡すること。ゼミ行事も多彩ですが、ゼミ生が相互啓発しつつ自分の可能性に挑戦する活動の場にしてください。

履修コード	061501
科目名	社会学演習I
担当者名	牛島 千尋

講義のねらい 履修者は研究テーマを絞りこみ、論文という形に完成させるまで研究を進めていく。他者に理解できるように発表の仕方についても学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール 前期はテーマを絞り込み、洗練させ、文献検索と資料収集をする（基礎研究の復習）。後期は、研究論文の骨子を考え、引き続き、文献検索と資料収集を行い、発表を重ねていく。

履修上の留意点 履修者は、年に3回以上の発表を行う。

成績評価の方法 出席回数、発表内容、演習中の発言にて評価します。

教科書等 特になし。

その他 その都度紹介します。

履修コード	061511
科目名	社会学演習I
担当者名	松信 ひろみ

講義のねらい 本演習では、現代家族やジェンダーにかかわる諸現象・諸問題に焦点を置き、基礎文献の講読、グループでの研究報告や討論、レポートの作成などを行う。一連の作業を通じて、卒業論文に向けての研究手法を習得するとともに、卒業論文のテーマの絞込みと研究の基礎固めを行うことが目的となる。

講義の内容・授業スケジュール いくつかのグループを作った上で、前期は基礎文献の輪読を行うが、グループことにレジュメを作成し、報告してもらう。後期は、各々のグループごとに設定した研究テーマに沿った研究発表を中心にゼミを進め、学年末にはレポートの作成を行う。なお、夏季休暇中に4年生と合同で合宿を実施し、4年生の卒業論文についての中間報告を聞き、卒業論文のテーマについての検討を行う。

履修上の留意点 履修者は前期、後期各々最低1回ずつの報告が期待される。なお、本演習履修者は、家族社会学の講義を同時履修することが望ましい。

成績評価の方法 平常点（50%）、レポート（50%）
教科書等 輪読する文献は開講時に指示する。
必要に応じて紹介する。
その他 ゼミは、出席することはもちろん、参加しなければ意義がない。「恥はかき捨て」のつもりで積極的に自分の意見を発言するように心がけて欲しい。

履修コード	061801
科目名	社会学演習II
担当者名	川本 勝 <small>かわもと まさる</small>

講義のねらい 卒業論文の作成に向けた議論と指導が中心となります。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、卒業論文のテーマと内容について検討します。夏合宿で、卒業論文の構成を考え、章、節だてを行います。後期はドラフトを検討し、論文を書き上げていきます。

成績評価の方法 出席と議論への参加、レポート、論文の内容によって評価する。

参考書等 卒業論文のテーマによって適宜紹介する。

履修コード	062001
科目名	社会学演習II
担当者名	坪井 健 <small>つばい つよし</small>

講義のねらい このゼミでは、三年の「社会学演習I」に引き続き、大学における社会学学習の総括として自分自身のオリジナルな社会学研究「卒業論文」作成のための指導を行うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には、3年次3月の「卒論構想春合宿」で卒論構想を固め、4月以降、①文献研究、②調査の企画と実施などを行い、9月中旬の「卒論中間報告」で主要研究結果を口頭発表する。10月以降、補充研究と下書きおよび清書して12月初旬に卒論を提出する。提出後、3年ゼミ生を対象に「卒論報告会」(12月)。最後に「坪井ゼミ卒業論文集」を作成。1月末の「口頭試問」で坪井ゼミを終了する。

履修上の留意点 <坪井ゼミの年間行事予定>
「新歓コンパ」(4月) / 「ゼミOB会」(7月) / 「卒論中間報告ゼミ合宿」(9月) / 「卒論発表会」(12月) / 「新年会」(1月) / 「追い出しコンパ」(1月末) /
最終学年のこのゼミは、就職活動などと競合することもあるが、卒業論文を書かなければ卒業できないことをしっかり認識し、卒論研究ノートを常に携帯して、空き時間等を上手に利用して、図書館等で自主的・計画的に研究を進めることが肝要です。

成績評価の方法 ①卒論への取り組み方、②中間報告などの課題達成度等により総合的に評価します。

参考書等 その都度、適切な参考文献を指示する。

その他 疑問点や問題点などを日常的に教師に相談する積極性を厭わないことをお勧めします。

履修コード	062201
科目名	社会学演習II
担当者名	山田 信行 <small>やまだ のぶゆき</small>

講義のねらい 卒業論文の執筆指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール 開講時に指示する。

履修上の留意点 卒業論文は、単なる学生時代の勉学の集大成にとどまらず、個々の学生が生まれおちてから身につけた知識・能力を総動員して執筆するものである。力作を期待している。

成績評価の方法 平常点による。卒論の提出が単位取得の条件となる。

参考書等 適宜指示する。

履修コード	062301
科目名	社会学演習II
担当者名	片岡 栄美

講義のねらい 卒業論文の作成を主たる目的とした演習を行なう。各自の論文テーマにそった指導を行なう。現代社会のさまざまな文化現象とそれらに埋め込まれた人々の意識や価値観を対象として、その社会的意味を解説する。文化的行為や価値観、行動様式にみられる 違いや特徴に目を向けて、それがどのような社会的メカニズムであらわれてくるのか、またさまざまな文化現象の社会的な意味を考察する。

社会的な文脈の影響とは、たとえば、個人の社会的背景や所属する社会集団、社会組織や制度の影響などがあるが、それらがどのように、私たちの身の回りの生活世界に影響を与えているかを、論文作成の過程として探求する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 論文の書き方
- 第3回 内容分析の方法
- 第4回 卒論構想発表
- 第5回 卒論構想発表
- 第6回 インタビュー調査の方法
- 第7回 理論とデータ1
- 第8回 理論とデータ2
- 第9回 データ収集の方法
- 第10回 論文指導
- 第11回 論文指導
- 第12回 論文指導
- 第13回 論文指導
- 第14回 論文指導
- 第15回 夏休みの課題と計画
- 第16回 論文指導
- 第17回 データ分析の方法、結果のまとめ方
- 第18回 論文指導
- 第19回 論文指導
- 第20回 卒論論文中間報告
- 第21回 卒論論文中間報告
- 第22回 データ分析の方法2
- 第23回 論文指導
- 第24回 論文指導
- 第25回 論文指導
- 第26回 論文指導
- 第27回 論文指導
- 第28回 論文指導
- 第29回 論文指導
- 第30回 結果報告

履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等

出席重視。各自が主体的に取り組むことを前提とする。
平常点
適宜、指示する

履修コード	062311
科目名	社会学演習II
担当者名	まつのよ 松信 ひろみ

講義のねらい 本演習では、卒業論文の作成を目指し、個人研究の指導を行う。各々の学生のテーマに沿った研究に基づき、無事卒業論文を執筆できることが最終的な目的となる。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、家族社会学・ジェンダー社会学の基本的な分析枠組みを教授するとともに、個々人の研究の進捗状況について報告してもらう。後期は、執筆中の論文についての報告をしてもらい、その内容についての議論、指導を行う。なお、夏季休暇中に3年生と合同で合宿を実施し、卒業研究の中間報告をしてもらう予定である。

履修上の留意点 論文作成のためには、ゼミへの出席ばかりでなく、自ら行動を起こすことが要求される。文献・資料収集、調査など、自分の足を使い、積極的に行動して欲しい。

成績評価の方法 平常点による。

教科書 特に指定しない。

参考書等 特に指定しない。

その他 大学生活最後のゼミである。論文の作成はもちろんだが、コンパや合宿を通じてゼミ生同士の交流も図り、有意義な時間として欲しい。

履修コード	058501
科目名	行政法
担当者名	いらいくみ 鷗徳 啓登

講義のねらい 現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後60年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

講義の内容・授業スケジュール 本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。
1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法 成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書 原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等 塩野宏著 『行政法I・II』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

履修コード	058551
科目名	民法
担当者名	おのみや 大宮 たかし

講義のねらい 家族を研究対象とするとき、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点からみると、民法という法律の中に、講学上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家族生活に関する法律である。各種試験(たとえば家庭裁判所調査官)に対応できる講義をしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール (1) 婚姻 (1~9回) 成立要件・効果・解消(離婚制度、離婚に伴う法律問題)
(2) 親子 (10~16回) 種類(実子、養子)・効果、解消
(3) 親権・後見 等 (17~20回) 効力や発生要件
(4) 扶養 (21回)
(5) 相続 (21回一) 遺言(方式、執行)・遺留分・法定相続(相続人、遺産、遺産分割)

履修上の留意点 六法を常に持参すること。

成績評価の方法 年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

教科書 『新民法概説(3)親族・相続[改訂版]』(有斐閣双書) 1,800円

参考書等 適宜紹介する。

社
会
学

履修コード	058611
科目名	政治社会学
担当者名	岩瀬 庸理

講義のねらい	政治社会学の基礎的概念と理論の習得を目標とします。テーマは現代日本の政治参加の特徴を比較社会的に論じることです。
講義の内容・授業スケジュール	社会学の理論と方法を用いて「市民社会」と「政治社会」との相互関係を理解し、説明する能力を獲得します。現代日本の政治社会の特徴を比較社会的に明らかにします。具体的な社会問題を取り上げながら、社会的説明力の有効性を学び、また、参加行動の理解を深めます。
成績評価の方法	第1回 デモクラシーの社会的基盤 第2回 階層の非構造化と政治参加 第3回 官僚制と民主制 第4回 政党支持態度の形成 第5回 政治的社会化の機関 第6回 政党支持態度の変容 第7回 地位政治と階級政治 第8回 政治的無関心の社会的機能 第9回 投票行動の国際比較 第10回 あたらしい社会運動 第11回 大衆社会の権力構造 第12回 地域社会の権力構造 第13回 現代日本の権力構造 第14回 イデオロギーの機能 第15回 まとめ 学期末試験と授業内に提出を求める課題を中心に評価します(70%)。出席状況も評価します(30%)。必要に応じてリアクションペーパーを使います。
教科書 参考書等	特定の教科書は使用しません。 S.M.リブセット『政治のなかの人間』(創元新社) 講読文献は教室で適宜指示します。

履修コード	058641
科目名	宗教文化論A
担当者名	芳賀 学

講義のねらい	この講義では宗教という人間社会にかなり普遍的な現象を取り上げ、それが、個人の精神的な支えとなり、社会の安定(および変化)に大きな役割を果たすことを社会的に概説する。具体的には、まず、セルフ・アイデンティティの維持(または変更)とのかかわりで宗教を捉える視角を提示し、その上で、日本社会の近代化プロセスを事例として、ライフスタイルや人びとの意識の変化と新宗教の拡大との関係を分析することによって、社会と宗教との密接な結びつきを明らかにする。このことを通じて、受講学生個々の「宗教を理解する力」の養成と向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	(1) イントロダクション(2~5) アイデンティティとその揺らぎ、認知的不協和の理論と不幸の神義論、アイデンティティの社会性、アイデンティティと宗教(6~10) 新宗教とは何か: 教団ライフサイクル説、思想、組織、信者、活動(11~15) 新宗教と近代化: 幕末維新时期、代表的教団としての天理教、明治末から昭和初期、敗戦直後の状況、高度経済成長期、近代化の気密室としての新宗教
履修上の留意点	結論を急がない粘り強い思考と、物事の良い面と悪い面を同時に視野に収める複眼的視角を取るように努めてください。
成績評価の方法	学期末試験と授業期間内に提出を求めるミニレポートとの総合評定で行います。
教科書 参考書等	使用しません。 ・井上順孝『新宗教の解説』筑摩書房、1,155円、ISBN: 9784480082732 ・井上順孝ほか編『新宗教事典』弘文堂、25,200円、ISBN: 9784335160189

(社会学)

履修コード	058651
科目名	宗教文化論B
担当者名	芳賀 学

講義のねらい	この講義においては、宗教という社会現象を取り上げ、それが現代の日本社会においてどのような変化・展開を遂げているかを社会的な観点から概説する。具体的には、1980年代以降の日本社会に時間空間を限定して、伝統宗教と新宗教をめぐる状況の変化（カルト問題を含む）と、宗教を名乗らない広範な精神文化（＝グレーゾーン）の拡大、という両面の現象群を取り上げ、それらが私たちのライフスタイルや価値意識と密接に連動して存在することを明らかにする。このことを通じて、受講学生個々の「現代社会と宗教とのかかわりを読み解く力」の養成と向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	（1）イントロダクション（2）教団勢力の退潮とグレーゾーンの拡大（3～4）1980年代以降の新宗教：「親密さ」と自己表出の欲求、3タイプの対応戦略（5～11）グレーゾーンの諸現象：自己啓発セミナー、背景としての消費社会、セルフ・ヘルプ・グループ、ネットワーク・ビジネス、エステ・サロン、占い、ヒーリング（12～13）オウム真理教とカルト問題：オウム真理教事件の概略、マインドコントロール説再考（14～15）現代日本人のライフスタイル：その変化と特徴、パラドクスとその対応
履修上の留意点	結論を急がない粘り強い思考と、物事の良い面と悪い面を同時に視覚に収める複眼的視角を取るよう努めてください。
成績評価の方法	学期末試験と授業期間内に提出を求める課題との総合評定で行います。
教科書	使用しません。
参考書等	・井上順孝『新宗教の解説』筑摩書房、1,155円、ISBN：9784480082732 ・伊藤雅之・榎尾直樹・弓山達也編『スピリチュアリティの社会学』世界思想社、1,995円、ISBN：9784790710936

履修コード	058671
科目名	国際社会論
担当者名	山田 信行

講義のねらい	グローバル化のもとで、国際的な社会認識を高めることを目標にして、諸外国の社会事象や世界的な社会問題に言及する。
講義の内容・授業スケジュール	この講義では、グローバル化という社会変動が周辺社会（発展途上地域）に与える影響について、多民族社会マレーシアを事例に設定し、世界システム論を理論ツールの1つとして用いながら考察する。さらに、そうした社会変動が世界全体に与える影響についても考察する。講義内容は、以下のとおり。 1. 周辺社会マレーシア—歴史 2. 周辺社会マレーシア—現状と特質 3. 多国籍企業の戦略と周辺社会 4. 日本企業は何をしているのか 5. 情報化戦略の現状と意味 6. 国家の政策 （1）比較 NIEs 形成論（2）エスニシティと「三者同盟」 7. 自生的企業とインフォーマル化 8. エスニシティとリンケージ形成—華人ネットワークと企業間関係 9. 移民労働者の両義性 10. 労使関係の動向と労働者の技能形成 11. ニュー・リッチの形成と階級構成の変化 12. 半周辺化とポスト新国際分業—世界システムの変動
履修上の留意点	講義の理解を深めるためには、継続的に出席することが重要である。
成績評価の方法	中間試験と学期末試験による。
教科書	山田信行 2006『世界システムの新世紀—グローバル化とマレーシア』東信堂
参考書等	講義のなかで、適宜支持する。
その他	関連科目として、異文化コミュニケーション論がある。

履修コード	058681
科目名	異文化コミュニケーション論
担当者名	坪井 健

講義のねらい この講義は、＜異文化コミュニケーション＞というテーマで、異文化コミュニケーションと異文化交流に関する研究と実際を紹介する。
「世界は多文化で出来ている」。この当たり前の事実が、日本のような単一文化社会に住んでいるととかく忘れがちである。しかし、近年、バイト先、学校、地域、交通機関、繁華街、そしてメディアの中で外国人に接する機会が急速に拡大している。海外旅行や語学留学、海外駐在員の家族として海外経験した人も多い。
こうした異文化接触機会の増大は、対人コミュニケーションの拡大を意味し、多文化社会に生きる我々には、異文化コミュニケーションスキルの必要性を投げかけている。グローバル化する社会の変化に適応的に生きていくためには、異文化コミュニケーションの理論と実際を学ぶことが大切である。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに ―この講義の方針と進め方―
2. 文化とコミュニケーション
3. 異文化コミュニケーション研究の歩み
4. 異文化コミュニケーションの理論
5. 言語メッセージと非言語メッセージ
6. 対人関係と異文化コミュニケーション
7. カルチャーショックと異文化適応
8. 文化摩擦とコミュニケーション
9. 日本社会と異文化交流の歩み
10. グローバル化と多文化主義へ
11. 高度人材育成と留学生政策
12. おわりに ―異文化コミュニケーション能力を高める―

履修上の留意点

上記講義の構成は適宜、変更する場合がある。授業は、異文化コミュニケーション問題への気づきに焦点を当て、なるべく具体的な事例や実験例などを紹介しつつ進める予定であるが、実際に心理テストやエクササイズを行う場合もある。講義内容はレジュメや資料を用意するが、下記の文献は、この講義を理解する助けになるので事前に準備することを期待する。なお、授業中も関連文献はその都度紹介する。

成績評価の方法

1. 毎回、リアクションペーパーを配布するので、授業内容への意見・感想を記入すること。
2. 評価は、このテーマに関連した課題レポートの提出を求める。
3. 平常点（出席＋リアクションペーパー等、授業参加度）50%、課題レポート50% 毎回プリントを配布する。

**教科書
参考書等**

1. 古田暁監修／石井・岡部・久米著『異文化コミュニケーション』有斐閣選書、1996年
2. プリプル・チャールズ著『21世紀にむけて異文化コミュニケーション』ナカニシヤ出版、2000年

履修コード	058711
科目名	犯罪と逸脱の社会学A
担当者名	岡邊 健

講義のねらい 最初に、犯罪社会学や社会問題の社会学の基本的な考え方、対象、方法について概観し、つぎに、わが国の刑事司法のプロセスや官庁統計でみた犯罪動向を概説する。

その上で近年の研究動向をふまえて、ドメスティック・バイオレンス、貧困問題など、今日の犯罪・社会問題研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討したい。

ステレオタイプに陥ることなく、犯罪や社会問題を社会的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(1)犯罪社会学とは何か(2~3)犯罪社会学の方法(4~6)刑事司法のプロセス(7~8)官庁統計でみた犯罪の動向と現状(9~14)今日の犯罪・社会問題研究の論点(15)まとめ

履修上の留意点

駒澤大学の e ラーニングシステム (YeStudy) を利用する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

成績評価の方法

期末試験と講義内で提出を求める課題により評価する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

**教科書
参考書等**

- 矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』（2004年刊、学陽書房、1995円、ISBN:4313340084）
下記のほか、講義の中で随時紹介する。
小林寿一編『少年非行の行動科学―学際的アプローチと実践への応用』（2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047）

履修コード	058721
科目名	犯罪と逸脱の社会学B
担当者名	岡邊 健 <small>おかべ たけし</small>

講義のねらい 最初に、社会解体論、分化的接触論、アノミー理論など、犯罪・非行の主要な説明理論を概説し、ついで、ラベリング論をはじめとする「犯罪研究における視点の転換」の態様について紹介する。その後、今日のわが国の犯罪動向を、犯罪報道の諸問題とあわせて検討した上で、少年非行言説、高齢者による犯罪など、今日の犯罪・社会問題研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討したい。

講義の内容・授業スケジュール ステレオタイプに陥ることなく、犯罪や社会問題を社会学的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいである。

履修上の留意点 (1～5)犯罪・非行の説明理論(6～8)犯罪研究における視点の転換(9～10)今日の犯罪動向と犯罪報道(11～14)今日の犯罪・社会問題研究の論点(15)まとめ

成績評価の方法 駒澤大学の e ラーニングシステム (YeStudy) を利用する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

教科書 期末試験と講義内で提出を求める課題により評価する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

参考書等 矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』(2004年刊、学陽書房、1995円、ISBN:4313340084) 下記のほか、講義の中で随時紹介する。 小林寿一編『少年非行の行動科学——学際的アプローチと実践への応用』(2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047)

履修コード	058741
科目名	災害社会学
担当者名	小嶋 直子 <small>こじま なおこ</small>

講義のねらい 自然災害研究には、自然科学と社会科学の双方からのアプローチがあるが、本講義では社会学、社会心理学および都市科学を含めた社会科学的観点から講義する。地震・風水害といった自然災害に関する災害時の情報と人間行動、災害後の復興計画などの諸問題について概説する。

講義の内容・授業スケジュール ・オリエンテーション、・「災害社会学」概説、・災害史(天災～都市災害)1、2、・災害研究史、・災害文化と災害観1、2、・災害と大衆行動1、2、・災害と流言飛語1、2、・災害と報道1、2、3、・組織論、・ボランティア、・災害の社会文化に対する長期的影響1、2、・災害復興と社会システム1、2

成績評価の方法 平常点と定期試験により評価する

教科書 使用せず

参考書等 授業中に指示する

履修コード	058751
科目名	環境社会学
担当者名	榊長 唯 <small>かみなが ゆい</small>

講義のねらい この講義は、環境社会学についての基本的な知識や考え方を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 日本における公害ならびに環境問題の発生を歴史的背景に沿って概観する。ガイダンス(1回)、環境問題の歴史(2回)、高度経済成長と四大公害(4回)、現代社会が抱えるさまざまな地域環境問題(4回)、地球環境問題(1回)、海外の環境問題と日本(2回)、まとめ(1回)

履修上の留意点 ※現段階では以上の講義を想定しているが、受講生の要望も取り入れながら講義内容や取り上げる順序を一部変更することもある。なお、講義中に何回かビデオ鑑賞を予定している。

成績評価の方法 半期の講義ではどうしても環境社会学概論という形にならざるをえない。そのため、受講生には講義中に紹介する参考書等をはじめ関連書籍を積極的に手にとってもらいたい。

教科書 平常点(出席状況・小テスト)と試験(あるいはレポート)により総合的に評価する。ただし、授業中の私語、携帯電話の使用、飲食、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えない。

参考書等 ・飯島伸子『環境社会学のすすめ』丸善、1680円、978-4621073520
・飯島伸子『環境社会学』有斐閣、2205円、978-4641085305
・飯島伸子『環境問題の社会史』有斐閣、2310円、978-4641120976
・磯野弥生・除本理史編『地域と環境政策：環境再生と「持続可能な社会」をめざして』勁草書房、2835円、978-4326601981

その他 ※この他、参考文献を講義中に適宜、指示。
特になし。

(社会学)

履修コード	058821
科目名	社会学特殊講義A
担当者名	片岡 栄美

講義のねらい	新自由主義の趨勢によって生じている格差拡大など、近年の社会変容が、学校教育や教育をとりまく社会に、どのような変化を与えたかを理論的、実務的に検討する。教育改革を題材に、格差社会と教育の問題を取り上げる。 教育と不平等の関係、教育の市場化や公立学校の信頼低下の問題のほか、親や家族の教育意識にも目をむけながら、現代の教育状況を社会的に読み解く。
講義の内容・授業スケジュール	第1回 ネオリベラリズムと小泉政権 第2回 ネオリベラリズム（新自由主義経済）の正体 第3回 ゆとり教育改革とは何であったのか 第4回 学力問題とゆとり教育改革の功罪 第5回 格差社会と教育の不平等 第6回 多元的能力評価の社会の到来：ハイパーメリトクラシー社会 第7回 競争する親、競争から降りる親・若者 第8回 教育の市場化と「お受験」親たちの排他性 第9回 教育費の階層性と変容 第10回 学校・教師への信頼の低下 第11回 学校選択制の拡大とその影響 第12回 教育の公共性とは何か 第13回 公立学校の挑戦：和田中学の教育改革 第14回 社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）と教育・地域社会 第15回 まとめ
履修上の留意点	広く教育と現代社会の変化（市場経済、格差問題、労働、社会の分断化など）との関係に関心のある人を対象としている。
成績評価の方法	2008年度の社会学特殊講義Iと重複する内容もあるので、重複履修はさけてほしい。
教科書	出席・平常点30%、試験もしくはレポート70%で評価する。 授業時に適宜、紹介する。

履修コード	058851
科目名	社会学特殊講義C
担当者名	牛島 千尋

講義のねらい	本講義では、今日、多くの人々が住まう東京都市圏郊外について、世界の大都市との比較、個々の中心都市との比較を通して、郊外の形成過程、変容、諸問題、について理解を深めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1. オリエンテーション 2. 都市社会学の基礎知識(1) 3. 都市社会学の基礎知識(2) 4. 郊外前史—イギリス、アメリカ、日本 5. コミュニティ論とサバーバニズム論(1) 6. コミュニティ論とサバーバニズム論(2) 7. 郊外前史—日本 8. 東京の郊外化と地域社会変動 9. 郊外化と住宅問題 10. 郊外の地域社会と家族 11. 郊外の生活と職業 12. ドラマに見る郊外 13. 郊外の神話と現実 14. 東京大都市圏郊外の現在 15. 試験
履修上の留意点	特になし。
成績評価の方法	出席状況、小テスト、レポートによって評価します。
教科書	特に指定しない。
参考書等	高橋勇悦監修、菊池美代志・江上涉編『改訂版 21世紀の都市社会学』学文社、2008年。 若林幹夫著 『郊外の社会学』ちくま新書、2007年。
その他	ビデオやパワーポイントなどの電子教材を利用し、講義形式で行います。

（社会学）

履修コード	058881
科目名	現代社会学理論研究
担当者名	岩瀬 庸理

講義のねらい 社会学理論は社会学が社会を説明する基本的概念の体系です。それは、単独の個人の行動の説明でなく、社会現象を説明しようとするものです。また、それは社会学史とは異なります。連字符社会学の個別経験命題の集合でもありません。それは、社会的行為および社会構造の原理と変動を説明するための方法、枠組、仮説、命題、思想などを含む体系化された社会学的知識の総体です。その基本的テーマは「個人と社会」の関係の解明および「近代社会の特徴」の解明です。本講義では、「社会的に考え、理解し、説明するとはどういうことなのか」を強調します。理論を「学ぶ」のではなく、「応用し、発展させる」ための考え方の獲得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 理論と実証：①理念型 ②中範囲の理論(1～2)

(2) 社会的行為の理論：①主意主義的行為理論 ②象徴的相互作用論 ③現象学的社会学理論 ④合理的選択理論(3～7)

(3) 社会構造の理論：①構造機能主義理論 ②社会構成体論 ③社会システム論(8～11)

(4) 社会変動の理論：①近代化論 ②ワールドシステム論(12～13)

(5) 現代社会学理論の潮流(14～15)

履修上の留意点 社会学の基礎概念をきちんと身につけるために社会学事典・辞典を活用すること。

成績評価の方法 学期末試験と授業内に提出を求める課題を基本に評価します(70%)。出席状況も評価します(30%)。

教科書 特定の教科書は使用しません。

参考書等 参考書や講読文献は教室で適宜指示します。

その他 必要に応じてリアクション・ペーパーを求めます。

履修コード	060001
科目名	社会学原論
担当者名	橋爪 敏

講義のねらい 本講義の対象は社会学科の2・3・4年生、ならびに「社会・地理・公民科」にかかわる教職科目の受講者である。したがって、「社会学」とは何か、いかなる学問かにはじまり、さらに「社会・地理・公民科」の基礎をなす学問としての、<社会科学としての「社会学」>とは何かにかかわる問題を取り上げたい。

いずれにせよ、社会学的なモノの見方、考え方を理解し、それを踏まえて、社会現象を理解し、説明する<社会科学>についての認識を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期1)～8)社会科学とは何か、社会科学の対象と方法、社会科学としての社会学9)～15)歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書的 sociology、マルクス主義の影響。後期は16)～20)フランスにおける現代社会学への歩み21)～25)ドイツにおける現代社会学への歩み26)～30)現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にした。

成績評価の方法 学年末の定期試験で評価する。

教科書 安藤喜久雄ほか著『社会学概論』学文社

参考書等 適宜指示する。

(社会学)

履修コード	065001
科目名	社会保障論
担当者名	<small>ながお じょうじ</small> 長尾 譲治

講義のねらい 本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、ソーシャルワーカーを目指す皆さんにとって必要で十分な社会保障制度に関する実践的知識を習得すること、及びソーシャルワークの現場においてその知識を生かす応用能力を身につけることを第一の目的としている。

社会保障制度は、一見すると複雑・多岐にわたっており、わかりづらいつと感じる学生が多いのも事実である。しかし、社会保障は人間の基本的なニーズに対応したものであって、原理・原則は単純明快である。社会保障論の学習にあたっては、まずその原理・原則を理解した上で、制度上の例外を身につける方法が有効である。

講義では、マンガやドラマに出てくるおなじみの登場人物とその生活場面などの身近な事例に当てはめ、そこで出てくる社会保障制度を解説するなど、具体例を通じて実践的な社会保障の知識を身につけていく。また、社会保障の各制度の現状はどうなっているのか、これからどうしていきべきなのかについて、国民の福祉の維持・推進の役割を担う福祉専門職の立場から、考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 社会保障とは(社会保障の必要性、日本の社会保障制度の体系など)(1回目)

(2) 各制度の詳細な解説

①医療保険制度(2～5回目) ②年金保険制度(6～11回目) ③労働保険制度(雇用保険、労災保険)(12～16回目) ④介護保険制度(17～20回目) ⑤民間の保険(生命保険、損害保険、その他の保険)(21回目)

(3) こんなときどうする? - 私たちのライフサイクルと社会保障 -

①就職したら(22回目) ②妊娠・出産・育児とその支援(23～24回目) ③病気や障害状態になったら(25～26回目) ④寝たきりや認知症になったら(27回目) ⑤ターミナル・ケアを受けるには(28回目)

(4) 各国の社会保障制度(29回目)

(5) 社会保障制度の現状と課題(30回目)

成績評価の方法教科書

学年末試験の成績に、出席状況等を加味して評価する。特に指定しないが、必要に応じて参考書等を紹介する(授業は毎回の詳説プリントを通じて行う)。

参考書等

長尾譲治著『ライフサイクルと保健福祉』(春風社)
週刊社会保障編集部編『社会保障便利事典』(法研)
その他、随時紹介する。

履修コード	065521
科目名	老人福祉論
担当者名	東條 光雅

講義のねらい

少子高齢化社会の進展に伴い後期老年期人口が増加し、要介護高齢者の急増、家族介護の深刻化、高齢者虐待の多発など、高齢者やその家族に関わる様々な社会的問題が発生し、医療・年金・介護などの社会保険制度のあり方が大きな政治課題となっている。

本講義では、わが国における高齢化の現状と動向、高齢者や家族を取り巻く状況、これまでの高齢者対策や高齢者福祉制度の変遷、現行の高齢者保健福祉制度等について理解を深めてもらうとともに、今後の高齢者支援のあり方について論じてゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 高齢者の心理・精神的理解
- 第2回 高齢者の身体的理解
- 第3回 高齢者の社会的理解
- 第4回 高齢化・高齢社会の定義とわが国における高齢化の現状
- 第5回 諸外国における高齢化の状況と少子高齢化の要因
- 第6回 高齢者を取り巻く諸問題
- 第7回 高齢者保健福祉の発展過程
- 第8回 高齢者保健福祉の現行法体系
- 第9回 老人福祉法
- 第10回 高齢者医療確保法
- 第11回 高齢者虐待防止法
- 第12回 高齢者を支援する組織と役割（1）
- 第13回 高齢者を支援する組織と役割（2）
- 第14回 高齢者を支援する組織と役割（3）
- 第15回 これからの高齢者支援

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらう。近年、受講生の私語や居眠りが目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法
教科書

原則的には、出席点と定期試験によって評価する。
『高齢者に対する支援と介護保険制度』、新社会福祉士養成講座第13巻、中央法規出版、2009年3月出版予定

参考書等
その他

『社会福祉小六法』、『厚生労働白書』、『国民の福祉の動向』など
講義はパワーポイントを使って行う

履修コード	065621
科目名	児童福祉論
担当者名	村田 一昭 <small>むらた かずあき</small>

講義のねらい	1989年に国連で子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。そこでこの授業では、子どもと家庭を取り巻く現状を踏まえながら、子どもと家庭のウェルビーイング (well - being) をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組およびソーシャルワーク実践についての理解を深めることを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1, 子ども家庭福祉の理念 <ul style="list-style-type: none"> ①ウエルフェアからウェルビーイングへ (第1回) ②子どもの権利条約 (第2回) 2, 子どもと家庭をめぐる最近の動向 <ul style="list-style-type: none"> ①少子化の動向と対策 (第3回) ②子ども虐待の実態と対応 (第4回) ③少年非行・少年犯罪の動向と対応 (第5回) 3, 子ども家庭福祉への歩み (第6回) 4, 子ども家庭福祉の法体系 <ul style="list-style-type: none"> ①児童福祉法 (第7回) ②児童福祉六法 (第8回) ③関連法 (第9回) 5, 子ども家庭福祉の最近の法改正の動向 (第10回) 6, 子ども家庭福祉の実施体制 <ul style="list-style-type: none"> ①子ども家庭福祉行政の仕組み (第11回) ②子ども家庭福祉の実施機関 (第12回) 7, 子ども家庭福祉施策の現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> ①児童自立支援施策、児童健全育成施策他 (第13回) ②保育施策、障害児施策他 (第14回) 8, 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際 (第15回)
履修上の留意点	可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的なコメントを求めます。
成績評価の方法	平常点 (出席およびリアクションペーパー、課題) と期末試験にて評価をします。
教科書	高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク (第3版)」(社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論) 有斐閣 ¥2,000※授業内容により、プリントを配布します。
参考書等	随時、紹介します。
その他の	授業はパワーポイントを使用します。

履修コード	O65901
科目名	地域福祉論
担当者名	川上 富雄 <small>かわかみ とみお</small>

講義のねらい 地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

(1) 総論としての地域福祉の枠組み(地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか)

- ①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方
- ④現在の地域福祉施策の特徴

(2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法(地域福祉施策の内容と提供方法)

- ①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み
- ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法

(3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望

- ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度
- ③これからの方向性

講座には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたいが、内容や使用する用語が難解な場合もあるので、各自学習をして理解を深めてほしい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

(番号は授業回数ではない)

- 1: 地域福祉と生活問題: 地域福祉の考え方と現代の生活問題
- 2: 地域福祉とコミュニティ: 地域社会の変遷とコミュニティの形成 他
- 3: 地域福祉の概念とその範囲: 地域福祉の代表的な考え方とその類型
- 4: 地域福祉のサービス体系: 地域福祉サービス体系の考え方 他
- 5: 地域福祉の推進方法: 地域援助技術の必要性と社会福祉計画 他
- 6: 地域福祉の人材: 民生委員児童委員制度等
- 7: 地域福祉の財源: 地域福祉の財源と共同募金の理解 等
- 8: 地域福祉の推進組織: 社会福祉協議会、行政、各種団体・機関◆非営利団体の活動とNPO法 他

履修上の留意点 地域福祉論は、他の福祉系科目の横断科目として理解する必要がある。

できる限り2年次以降の履修が望ましい。

成績評価の方法 出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出(随時)の双方の状況により、判定する。

教科書 『社会福祉士養成講座7』 地域福祉論(中央法規出版)

参考書等 授業時間内に指示する。

その他 基本的には講義形式で行う。出席確認およびレポート等も実施する。

履修コード	O73401
科目名	環境心理学
担当者名	西出 和彦 <small>にしで かずのこ</small>

講義のねらい 人間がより豊かで多様な関わりを持てる環境を作るために、人間が環境をどのように知覚・認知しているか、あるいは環境における人間行動・生態など、人間が本来的に持つ性質を実証的に明らかにする観察・実験例(環境行動研究: Environment-Behavior Studies)をもとに、それを基盤とした人間の観点に基づく環境デザインの理論的背景を得ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 環境心理学の概観・問題意識
 - ・環境デザインの意義、近代建築の功罪、建築計画学と環境心理学
- 2) 人間の心理・行動とそのデザインへの応用
 - ・環境と行動・環境のアフォーダンス、プロクセミクス・パーソナルスペース、テリトリー・ディフェンシブルスペース、空間の知覚・認知、ウェイファインディング
- 3) 建築計画学における環境心理研究・実践
 - ・住まいと環境心理学・都市と環境心理学・学校と環境心理学・病院と環境心理学・仕事の場と環境心理学

履修上の留意点 日常生活に関連する事柄が多いので、日頃から自身の行動、周辺環境との関わりについて興味を持ってのこと。

成績評価の方法 レポートによる。

- 参考書等**
- ・日本建築学会編: 人間環境学、朝倉書店、1998
 - ・高橋鷹志、長澤泰、西出和彦編: シリーズ<人間と建築>1 環境と空間、朝倉書店、1997
 - ・ジョン・ラング著、高橋鷹志監訳「建築理論の創造 建築デザインにおける行動科学の役割」鹿島出版会(1992)

履修コード	073501
科目名	児童心理学
担当者名	澤田 匡人 <small>さわだ まさと</small>

講義のねらい ▽小学校入学前後から思春期までを中心とした子どもについて、その心理的特徴に関する基礎的な知識の習得を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール ▽「1回1テーマで完結」を原則として行われます（ただし、テーマによっては2～3週に渡る場合もあります）。「発達段階」や「知能」のような定番のテーマ（2～11）から、「感情」や「集団」といった対人関係の発達（12～21）、「いじめ」や「不登校」に代表される不適応の問題（22～30）に至るまで、子どもの心とその発達の変化を理解する上で欠かせないさまざまな内容を取り上げ、わかりやすく解説していきます。

履修上の留意点 ▽授業で説明する「受講契約」（受講する上での基本的なルール）を確認してから履修するようにしてください。また、できるだけ学生の皆さんの要望に沿った授業にしていくために、簡単な感想を毎回提出してもらうことになります（成績とは無関係です）。

成績評価の方法 ▽筆記試験（授業で紹介した重要なタームを空欄に書き入れる方式）の得点から評価します。

教科書 ▽使用しません。下記の参考書があると便利です。

参考書等 ▽金子智栄子 [編著] 『子どもの発達理解とカウンセリング』2006年刊（有斐閣）1,800円

その他 ▽講義は全回に渡って「プレゼン形式」で行われます。テキストやプリントは基本的に用いませので、投映された画面をノートに取る必要があります（もちろん任意です）。しかし、一度に呈示する内容をできるだけ抑えること（ノートテイクできる分量）を心がけて作成しておりますので、すぐに慣れると思います。毎回楽しみながら受講していただくことを願っています。

履修コード	073601
科目名	産業心理学
担当者名	申 紅仙 <small>しん べんせん</small>

講義のねらい 産業・組織心理学とは、産業場面での人間行動を心理学的側面から考察する学問である。この講義では、産業・組織心理学で扱ってきた研究を紹介し、職場環境に関わる諸問題を考えていく。授業では、一方的講義形式をとらず、随時、実験・事例研究等をまじえながら、受講生の積極的参加をおおきながら進める。また、第1回目の授業時に具体的な授業計画と成績評価方法を出す。

講義の内容・授業スケジュール 第1回～5回：産業・組織心理学とは何か、歴史的背景と先行研究、第6回～10回：職務分析、第11回～15回：人事ケーススタディ、第16回～20回：ヒューマンエラーの分類、産業事故対策、第21回～25回：消費者行動と市場調査、第26回～28回：事例研究、第29回～30回：まとめ、期末テストおよびフィードバック

成績評価の方法 *学生の要望に応じて授業内容・方法を変更する場合がある。

教科書 出席状況やテスト等により総合的に行う。

『よくわかる産業・組織心理学』山口裕幸・金井篤子（編）ミネルヴァ書房

履修コード	073701
科目名	老年心理学
担当者名	植田 恵

講義のねらい 本講義では、生涯発達という観点を軸に、前半では、心身の加齢変化の特徴について学び、後半では、高齢者が直面する問題とそれに対する心理的援助・対応について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期
 第1回－2回：少子高齢社会の到来と高齢者の現状
 第3回－4回：加齢と生涯発達
 第5回－6回：身体に加齢変化
 第7回－9回：感覚・知覚、認知機能に加齢変化
 第10回－11回：知恵と創造性
 第12回－14回：パーソナリティと適応
 第15回：まとめ
 後期
 第16回－17回：高齢者の暮らしと人間関係
 第18回－19回：老年期の精神病理（1）喪失体験、孤独、死
 第20回－21回：老年期の精神病理（2）自殺、うつ
 第22回－24回：老年期の精神病理（3）認知症
 第25回－26回：高齢者とのコミュニケーション
 第27回－29回：高齢者に対する心理的援助
 第30回：まとめ

成績評価の方法
 教科書
 参考書等

期末試験（後期末）および小レポート
 指定しない
 授業の中で随時紹介する

履修コード	075001
科目名	宗教人類学
担当者名	佐藤 憲昭

講義のねらい 宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊（ひょうれい）文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとあ、神霊・精霊が憑（つ）いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。この講座では、宗教人類学の学問的特色について概観した後、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして、憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。
 1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学（1～3）、2. 宗教人類学と宗教民俗学（4～5）、3. フィールドワーク（6～8）4. 民俗宗教の特質（9～11）、5. アニマ（霊）とマナ（力）（12～14）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究（15～18）、7. 憑霊現象と社会組織（19～21）、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象（22～24）、9. 憑霊文化と王権（25～27）、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性（28）。

履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書
 参考書等

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』講談社（学術文庫）
 授業中に適宜紹介する。

（社会学）

履修コード	085702
科目名	教育社会学
担当者名	伊藤 茂樹

講義のねらい 教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室内での人間関係や相互作用といったミクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちがともすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けたうえで、実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール (1-5) 教育社会学の対象と方法、(6-9) 学校の歴史と機能、(10-13) 教育制度の類型と発展、(14-17) 学校における相互作用、(18-22) 情報化社会と子ども、(23-30) 現代の教育問題と教育改革

履修上の留意点 授業への積極的な参加を求める。

成績評価の方法 課題とレポートにより評価する。

教科書 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	091001
科目名	社会政策
担当者名	光岡 博美

講義のねらい 社会政策という科目は、経済学のなかでも古い歴史をもっている。その詳細については最初の講義で解説する。この講義計画では、社会政策とは、資本主義社会の各々の時代において発生する社会問題の原因を学問的に究明し、その問題を解決するための政策を多面的に研究することを目的とする学問である、と定義しておきたい。そして、この場合、社会政策という学問のなかで特に重視されてきたのは、労働問題や社会保障・福祉 etc といった社会問題である。経済学という研究の分野は、財・サービスの生産・分配・消費に関する研究としてイメージされるが、これにたいして社会政策は労働力と生命の再生産が、どのような社会・経済のシステムとの関連で展開されているのかを研究する学問であるといっていよい。

講義の内容・授業スケジュール このような大きな領域を全般的に講義することは不可能であるから、この講義では現代の日本社会を念頭に置き、そこで重要と思われるテーマを設定し、各々のテーマについて講義、解説する。年間の具体的な講義スケジュールは、(1)現代日本の労働・雇用問題(5回)、(2)社会政策、労働関係、労働組合の理論(5回)、(3)戦後日本の労使関係史(6回)、(4)福祉国家の歴史と理論(3回)、(5)日本型福祉の現実(3回)、(6)現代日本の女性労働、フェミニズム論、(3回)を予定している。

履修上の留意点 受講者数が多いせいもあり、私語によって、授業が円滑に進行しないことがある。授業に支障が生ずる場合、厳しい措置を取る。

成績評価の方法 期末試験で評価する。具体的な内容は授業時に詳しく説明する。

参考書等 講義の内容と関連して参考書を適時指示する。また、毎講義ごとにレジュメを配布する。

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義のねらい	<p>今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。</p> <p>この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法制定などです。</p> <p>本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。</p> <p>詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 労働法の基礎的考え方 (2) 日本型雇用システムの変化と労働法 (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合 (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴 (5) 雇用における男女平等 (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約 (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間 (8) 人事異動－配転、出向、転籍 (9) 賃金、賞与、退職金 (10) 労働時間、時間外・休日労働 (11) 休憩、休日、休暇 (12) 雇用の出口－解雇、定年、退職 (13) 労働災害など
履修上の留意点	<p>出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No。そして無断で席を立つことも No。いわゆる授業のマナーは守ってください。配布プリントは取り上げる項目を列挙したレジюмеや資料です。教科書は必要です。予習や復習をする上でも欠かせないでしょう。</p> <p>憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。</p>
成績評価の方法	<p>成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価が付きません。レポートや中間試験そして出席も考慮して評価をします。</p> <p>追試験は実施します。</p>
教科書	<p>教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所2009）。「参考書等」も第1回で示しますが、最低1冊は、購入して自宅学習に使ってください。</p>
参考書等	<p>概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。</p> <p>六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、第1回授業で配布するプリントで。</p>
その他	<p>各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。</p>

履修コード	117501
科目名	経済原論
担当者名	村松 幹二

講義のねらい 経済学の基礎概念を学び、現代経済への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、ミクロ経済学について、消費者行動、企業行動、市場競争と政府の役割を解説する。

1. ミクロ経済学とは：需要と供給（1～2）
2. 消費者行動の理論（3～5）
3. 企業行動の理論（6～8）
4. 市場競争（9～10）
5. 市場の失敗と政府の役割（11～13）
6. 不完全情報の経済学（14～15）

後期は、マクロ経済学について、マクロ経済学の考え方と日本経済の現状、国際経済について解説する。

1. マクロ経済学とは：国民経済計算（1～2）
2. 有効需要と乗数メカニズム（3～4）
3. 貨幣の機能（5～6）
4. インフレと失業（7～8）
5. マクロ経済政策とIS=LM分析（9～11）
6. 経済成長（12～13）
7. 国際マクロ経済学（14～15）

成績評価の方法 成績評価は、授業内試験および定期試験による。

教科書 「入門経済学」第3版、伊藤元重、日本評論社、2009年

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

6. 社 会 学 科 社 会 福 祉 学 專 攻

履修コード	062801
科目名	社会福祉原論
担当者名	伊藤 秀一

講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、社会事業と呼ばれていたものが、今日では、社会を構成する「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日的貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉の理念、概念、歴史、制度等広く概観することを目的とする。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、社会福祉の基礎知識を整理するとともに、制度的改革の続く社会福祉の今日的な動向と課題についても把握する。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)

①現代社会における福祉領域の意義と考え方②現代社会における福祉制度と福祉政策③福祉の原理をめぐる理論と哲学④福祉制度の発達条件

(後期)

⑤福祉政策におけるニーズと資源⑥福祉政策の課題⑦福祉政策の構成要素⑧福祉政策と関連政策⑨相談援助活動と福祉政策の関係⑩これからの福祉と全体社会の問題と課題

履修上の留意点

講義の内容は極めて広範囲にわたるので、指定されたテキスト以外の参考文献等を活用しながら各自学習を深めてほしい。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

評価は、前期・年度末の定期試験と出席状況を勘案して行う。

塩野・福田編著『現代社会と福祉(社会福祉士シリーズ4)』弘文堂、2009年
随時紹介する。

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

履修コード	063001・063101・063201
科目名	情報処理論
担当者名	軽部 幸浩

講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したのも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して社会学のレポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば購入することを薦める。授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- [2] ・パソコンの基本操作
- [2] ・情報処理の基礎
- [2] ・Internet 利用の実際と注意（マナーやモラルについて）
- [3] ・タッチタイピングの完全習得（Type Quick を利用して）
- [4] ・電子的コミュニケーション（電子メールの利用法）
- [4] ・情報の検索（WWWの利用法）
- [5～15] ・大学生として必要なドキュメント処理能力の習得（MS-Word）

【後期】

- [1] ・大学生として必要なドキュメント処理能力の習得（MS-Word）
- [2～12] ・スプレッドシートの習得（MS-Excel による集計、グラフ、データベース）
- [13～15] ・プレゼンテーションの実際（プレゼンテーションの基礎技術）

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。学校行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回（1回平均約2時間程度）の実習が必要となる（昨年度実績では週平均約5時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである）。

また、Type Quick、MS-Word、MS-Excel、MS-PowerPoint、SPSS の習得は、単位取得のための必須条件である。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は1年次必修科目であるため単位の認定を受けられない者は、翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了することを希望する。

教科書

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に持参してくること。

参考書等その他

授業中に最新のものを指示する。年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回（1回2時間程度）の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、4号館にある総合情報センタ1Fの自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンで MS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

- 【授業 Web】 <http://wwwint2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>
- 【e-Learning】 <https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	063301
科目名	社会福祉援助技術総論
担当者名	荒井 浩道

講義のねらい ① 社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について理解する。
 ② 精神保健福祉士の役割と意義について理解する。
 ③ 相談援助の概念と範囲について理解する。
 ④ 相談援助の理念について理解する。
 ⑤ 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。
 ⑥ 相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。
 ⑦ 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 【前期】
- ・オリエンテーション [第01回]
 - ・社会福祉士の役割と意義 [第02回～第03回]
 - ・相談援助の定義と構成要素 [第04回～第05回]
 - ・相談援助の形成過程I [第06回～第07回]
 - ・相談援助の形成過程II [第08回～第09回]
 - ・相談援助の理念I [第10回～第12回]
 - ・相談援助の理念II [第13回～第15回]
- 【後期】
- ・専門職倫理と倫理的ジレンマ [第16回～第17回]
 - ・総合的かつ包括的な援助の全体像 [第18回～第19回]
 - ・総合的かつ包括的な援助を支える理論I [第20回～第22回]
 - ・総合的かつ包括的な援助を支える理論II [第23回～第25回]
 - ・相談援助にかかる専門職の概念と範囲 [第26回～第27回]
 - ・総合的かつ包括的な援助における専門的機能 [第28回～第29回]
 - ・まとめ [第30回]

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

授業への主体的参加を期待します。
 出席、レポート、試験等により総合的に評価します。
 福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の基盤と専門職（新・社会福祉士養成講座第5巻）』（中央法規出版）

参考書等

授業のなかで随時指示します。

履修コード	062901
科目名	法学（福祉）
担当者名	鶏徳 啓登

講義のねらい 日本の社会は高齢化現象が進行中である。高齢者層の増加および平均寿命の上昇というこの現象は、善きにつけ悪しきにつけ高齢者の日常生活にもさまざまな影響を与えている。このような高齢化社会において、憲法が規定している「生存権」の一内容である「社会福祉」にしばって、法制度面から検討し、「社会福祉行政」の各種の法令の意義内容を理解することを目標とする（小林弘人著「高齢化社会における社会福祉の法」はしがきより）。

講義の内容・
授業スケジュール

- 社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明する。
- 1回～3回：社会生活における法の作用や役割についての解説。
 - 4回～6回：憲法、民法および行政法の基礎的知識を深める。
 - 7回～15回：日本国憲法について、とくに基本的人権を中心にした解説である。
 - 16回～20回：民法における基礎的概念の説明が中心となる。
 - 21回～30回：行政法の原理および各領域における基本的概念の解説を行う。

成績評価の方法
教科書

出席状況と試験を勘案して、評価する。
 小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』創成社刊（2400円）を使用する。
 ISBN4-7944-4050-2

参考書等

授業時間中に適宜指示する。

（社
会
福
祉
学）

履修コード	068801
科目名	社会福祉基礎演習
担当者名	小畑 和
講義のねらい	社会福祉専攻の学生が専門分野を学ぶ上で必要な基礎的事項について広く学習する。
講義の内容・授業スケジュール	演習の内容は『厚生労働白書』に準拠して行う。 内容は、「多様な高齢者、高齢者と家族、高齢者の経済的実像、高齢者と健康、高齢者と社会・地域、介護制度、社会福祉構造改革、少子化と子育て支援施策等…」である。
履修上の留意点	講義の形態は演習であり、討論学習を主とする。演習が明るく、活発に行われるために初回講義で一定の約束をする。
成績評価の方法	出席状況・日常の課題に対する取り組みの状況及びテスト、提出されたレポートの内容などを勘案して評価する。
教科書 その他	『厚生労働白書』 日本社会福祉実践理論学会編『社会福祉基本用語辞典』（川島書店）2,400円をいつも携帯することが望ましい。

履修コード	068901
科目名	社会福祉基礎演習
担当者名	東條 光雅
講義のねらい	本演習は、専門演習へ入る前の導入的位置付けであり、資料収集の仕方、資料のまとめ方、分析の仕方、発表の仕方等を実際に体験しながら体得してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	履修学生の研究関心によりクラスを小グループ（3～4名）に分け、グループ研究課題を設定してもらう。前期終了時点と後期終了時点の2回、グループ毎の研究報告をしてもらう。演習であり、グループ活動でもあるので、出席は非常に重視する。 こうした作業の過程で、研究課題の設定の仕方、文献検索の仕方、研究のまとめ方、各種機器の使い方、発表の仕方等の指導を行う。
履修上の留意点	出席は勿論、演習であるから自主的・主体的・積極的な参加を重視する。 研究報告会では、エクセルやパワーポイントを使うことになるので、1年次の「情報処理論」の授業でしっかりと会得しておくこと。
成績評価の方法	評価は、クラスワークへの出席率、討議への参加度・貢献度、年2回の研究報告会の発表内容等により、総合的に行なう。
教科書 参考書等	特には指定しない。 適宜紹介する。

履修コード	069001
科目名	社会福祉基礎演習
担当者名	伊藤 秀一
講義のねらい	本演習は、社会福祉学専攻2年生が、3年次以降の専門演習で行う研究の前段階として位置づけられる科目であり、社会福祉領域の様々なテーマを研究していくための入門的、基礎的学習を中心とする。
講義の内容・授業スケジュール	学生のテーマ、関心に応じて、クラスをいくつかのグループに分け、それぞれ報告し、討論を行う。その過程において、プレゼンテーションやディスカッションの指導も含め、資料・文献の収集方法、先行研究論文等のレビューの仕方など、研究を進めていくうえで必要となる一連の予備的作業を体験的に学んでいく。
成績評価の方法	出席、授業態度、報告のあり方などを踏まえて総合的に評価する。
教科書 参考書等	『国民の福祉の動向』厚生統計協会、2008年版 できるだけ具体的なイメージを持って学習し議論できるようにするため、最新の新聞記事、情報誌、視聴覚教材、白書、統計類などを副教材として用いる。

履修コード	069101
科目名	社会福祉基礎演習
担当者名	桐原 宏行

講義のねらい この演習は、社会福祉学専攻の学生が研究を行っていく上で必要不可欠となる基礎的知識・技術の獲得及び問題意識の形成をはかることを目的とするものである。

講義の内容・授業スケジュール
 [前期]
 文献検索の方法はじめとした資料収集方法（1～2回目）、資料の読み方（3回目）、研究論文の構成（4回目）、プレゼンテーションに関する基礎的事項（5回目）、代表的研究方法（文献研究、調査研究、事例研究等）等への理解を深めていく。可能であれば、基礎レベルのデータ処理等の演習も行う（6～7回目）、前期プレゼンテーション（8～15回目）。

[後期]
 前期に学習した知識・技術を踏まえて、各自が研究課題を設定し、レジュメを作成する。個別にプレゼンテーションを行いつつ、議論していく（1～15回目）。

履修上の留意点 本演習での取り組みは、後の専門演習、卒業論文へのステップに多大な影響を持つものである。積極的に取り組むことはもちろんのことであるが、学習事項を確実に成果に結びつけることが重要である。

なお、演習ではパワーポイントを使用したプレゼンテーションを実施するため、各自がその作成と操作ができることが必要となる。

成績評価の方法 出席状況（40%）、前期・後期2回のプレゼンテーション（60%）により評価する。

教科書 特に指定しない。
 参考書等 演習の中で随時紹介する。

履修コード	069501
科目名	社会福祉専門演習I
担当者名	伊藤 秀一

講義のねらい 卒業論文で扱いたいテーマを選定する際の留意事項を学習するとともに、報告・討論をとおして各自の問題意識の深化を図ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 狭い意味の社会保障の分野だけでなく、社会福祉を広く解して、その中から、各自のテーマを自己の意志で選択し、それぞれの考究を進めることとしたい。当初は、討議のための共通基盤をつくっていくために適当なテキスト・文献を使用し、これを共同で解読する。その後、3年次において、具体的な卒論テーマを設定し、卒論作成への準備に入っていく。

履修上の留意点 ゼミを「出る杭を育てる」という方針で考えたいので、学生には主体的・積極的な学習への取り組みが要求される。

成績評価の方法 出席状況をはじめ、報告、討論への参加等、クラスワークのあり方をもとに総合的に評価する。
 参考書等 随時紹介する。

履修コード	069601
科目名	社会福祉専門演習I
担当者名	東條 光雅

講義のねらい 本演習では、福祉関連雑誌、新聞記事、インターネット等を活用しながら、高齢者保健福祉の制度・サービス・処遇に関する基礎的な知識の修得を目指す一方、研究報告会や集団討議等を通して、自己表現能力を磨いてもらう。

講義の内容・授業スケジュール 高齢者福祉ならびに処遇方法論を主テーマとするゼミではあるが、4月にゼミ履修学生の意向を確認した上で、1年間の進め方等を決定する。基本的には、演習であるので、学生の主体的な研究活動が中心となる。したがって、主体的・積極的な姿勢が求められる。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行い、各自の研究報告を行ってもらう。

なお、12月10日までに、各自の研究テーマで400字×30枚のゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点 出席ならびに積極的なコミットメントを重視する。なお、年2回（9月と3月頃）の合宿研修を実施している。

成績評価の方法 評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度、ゼミ論文の内容等により、総合的に行なう。

教科書 特に指定しない。
 参考書等 適宜紹介する。

履修コード	069701
科目名	社会福祉専門演習I
担当者名	佐藤 光正

講義のねらい	この演習では、学生それぞれの卒論“関心テーマ”が“研究テーマ”へと進化し、いくつかのプロセス（ゆれ）を経て、次年度に「卒業論文（成果）」としてまとまる一連の思考過程（考え方）と技術習得（問題解決法）のための基礎指導を中心に行う。最終的には絞り込んだ各自のテーマを論文形式でA4用紙10枚程度に仕上げるのが目標。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、各自の関心領域からテーマを絞り込むための各演習および論文作成の基礎（1）を演習する。後期は、各自のテーマを深めるために必要な演習および論文作成の基礎（2）を行う。中間報告、ゼミ合宿（9月と3月を予定）では各自の成果のプレゼンテーションを行う。 第1回 オリエンテーション 第2回～4回 各自の卒論関心テーマ報告 第5回～14回 関心から卒論テーマへの絞り込み方・論文作成の基礎（1） 第15回 中間報告会 第16回～30回 卒論テーマの深め方・論文作成の基礎（2）
履修上の留意点	個別の指導と平行してグループでのディスカッションを中心にゼミを展開するため、主体的な参加が必須である。また各自の卒論関心テーマへの熱い思いと地道な作業を軸に、教員や文献等を有効に活用してほしい。
成績評価の方法	授業での平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）もさることながら、年間をとおしたプロセスの中で“ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）”をしながら卒論作成の準備が行われたか、またゼミ運営への貢献度も合わせて評価する。
教科書 参考書等	特に指定しない。 必要に応じて随時紹介する。

履修コード	069801
科目名	社会福祉専門演習I
担当者名	桐原 宏行

講義のねらい	卒業論文を作成するために必要とされる基礎的事項（文献研究、調査研究、事例研究、実験研究等の研究方法）の習得を目指す。演習では各自が研究課題を決定し、年間研究スケジュールを設定して、それに沿って成果を数回に分けて発表し、議論を通して問題意識を深めていく。
講義の内容・授業スケジュール	演習では、障害者及び特別なニーズのある子どもの福祉（子どもの発達保障の問題も含む）に関する諸問題を中心に取扱っていく。具体的には「障害児・者の福祉サービス」「所得保障」「QOL」「家族支援」「地域支援」「バリアフリー」「福祉教育」などの問題の中から、各自が研究課題を選択、決定し、研究を進めていくこととなる。 具体的スケジュールは、前期が文献の探し方・読み方（1～2回目）、論文構成について（3～4回目）、課題の作成とプレゼンテーション（5～15回目）。後期が研究内容のプレゼンテーション（1～15回目）
成績評価の方法 参考書等	出席状況（40%）、レポートの作成と年間数回のプレゼンテーション（60%）により評価する。 『社会福祉研究の課題と方法』（田研出版）2,200円

履修コード	069901
科目名	社会福祉専門演習I
担当者名	長尾 譲治

講義のねらい この演習では、保健や福祉に関する身近で興味深いテーマを題材として、ゼミを展開してゆく。いのちと生活に関連した社会問題に関心を深めるとともに、これらの問題の検討を通して客観的な思考方法とコミュニケーション能力、わかりやすい文章の書き方を身につけていく。具体的には、ディベートやディスカッションを通していろいろなテーマを一緒に考えながら、ゼミ論・卒論に向けての準備を行っていくことになる。ゼミの運営は、学生の意見・希望を反映させながら、皆の合意の上で進めていく。このような「グループワーク」としての運営の性格上、授業への出席と作業への主体的参加が何より求められる。

講義の内容・授業スケジュール ①オリエンテーション(1回目)②ディベート(2～10回目)③週間福祉ニュース(11～15回目)④就職面接ロールプレイ(16～18回目)⑤先輩からの就職活動体験談(19～20回目)⑥履歴書・小論文添削指導(21～25回目)⑦ゼミ論個別面談(26～30回目)

履修上の留意点 本ゼミは、グループ作業が中心となる。上述のように、出席と各自の主体的参加がゼミの成否を左右する。楽しく充実したゼミにするために、協力的に行動してほしい。

成績評価の方法 毎回の授業への参加が前提となる(出席点が基本。※配属実習中は欠取扱い)。出席点に、作業への参加状況とゼミ論の内容を加味して評価する。

教科書 特に指定しない。必要な資料を随時配布する。
参考書等 必要な図書等を随時紹介する。

履修コード	070001
科目名	社会福祉専門演習I
担当者名	川上 富雄

講義のねらい この授業では社会福祉研究を実施していくうえで求められる、研究テーマの選定、研究計画の立案、文献研究、調査研究、実践研究、研究計画書作成等の一連の研究手法の習得を目指し、次年度の卒業論文に繋げていきます。

講義の内容・授業スケジュール この授業では、各自の研究テーマの選定から、研究計画書作成まで指導します。各自の研究計画に沿って、年間数回のプレゼンテーションやディスカッション、個別指導を通して問題関心を深めていきます[通年]。年度末に提出を求める研究計画書作成を目指し、次年度の卒業論文に繋げていきます。

また、年2回実施されるゼミ合宿において、研究の途中経過の報告を行います。

履修上の留意点 授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法 出席、プレゼンテーション、ディスカッション、研究計画書等により総合的に評価します。

教科書 特に指定しません。

参考書等 授業のなかで随時指示します。

その他 3、4年生合同のゼミ合宿を年2回(夏と春)実施します。

履修コード	070011
科目名	社会福祉専門演習I
担当者名	荒井 浩道

講義のねらい この授業では社会福祉研究を実施していくうえで求められる、研究テーマの選定、研究計画の立案、文献研究、調査研究、実践研究、研究計画書作成等の一連の研究手法の習得を目指し、次年度の卒業論文に繋げていきます。

講義の内容・授業スケジュール この授業では、各自の研究テーマの選定から、研究計画書作成まで指導します。各自の研究計画に沿って、年間数回のプレゼンテーションやディスカッション、個別指導を通して問題関心を深めていきます[通年]。年度末に提出を求める研究計画書作成を目指し、次年度の卒業論文に繋げていきます。また、年2回実施されるゼミ合宿において、研究の途中経過の報告を行います。

履修上の留意点 授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法 出席、プレゼンテーション、ディスカッション、研究計画書等により総合的に評価します。

教科書 特に指定しません。

参考書等 授業のなかで随時指示します。

その他 3、4年生合同のゼミ合宿を年2回(夏と春)実施します。

履修コード	061911
科目名	社会福祉専門演習II
担当者名	荒井 浩道

講義のねらい この授業では、研究計画書に基づいた卒業論文の作成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール この授業では、研究計画書に基づいた卒業論文の作成を指導します。各自の研究計画に沿って、年間数回のプレゼンテーションやディスカッション、個別指導を通して、卒業論文の作成を目指します〔通年〕。また、年2回実施されるゼミ合宿において、研究の途中経過の報告を行います。

履修上の留意点 授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法 出席、プレゼンテーション、ディスカッション、卒業論文等により総合的に評価します。

教科書 特に指定しません。

参考書等 授業のなかで随時指示します。

その他 3、4年生合同のゼミ合宿を年2回（夏と春）実施します。

履修コード	070101
科目名	社会福祉専門演習II
担当者名	東條 光雅

講義のねらい 本演習は、3年次の社会福祉専門演習Iの持ち上がりであり、「講義のねらい」に関しては、専門演習Iの内容の延長上にある。

講義の内容・授業スケジュール 必修科目である卒業論文の個別指導が主な内容となるが、学生の要望があれば卒業論文の指導とは別に、テーマを設けてクラスワークを行なうこともある。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行ない、各自の研究報告を行なってもらおう。

履修上の留意点 原則的に、出席状況と積極性を重視する。

成績評価の方法 評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度等により、総合的に行なう。

教科書 特には指定しない。

参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	070201
科目名	社会福祉専門演習II
担当者名	小畑 和

講義のねらい 専門演習Iの継続授業として、生命を基本概念として出生減退構造を持つ社会について学ぶ。「人口減少社会の社会保障政策」を基調にしながら、各自の選んだ研究テーマにそった報告と討論を通して問題意識を深め、卒業論文の作成に結びつけていく。

講義の内容・授業スケジュール 少子問題は、他面では男女共同参画社会の構築の問題でもあり、女性の生き方の問題でもある。演習では母子関係を基調にしながら、胎児や保育、児童の問題も取り上げていきたい。

『胎児から』を参考にしながら、母子問題に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と対論を通して問題意識を深めていく。

履修上の留意点 出席率8割以上を演習参加の必要条件とする。

成績評価の方法 出席状況や積極的学習態度を勘案して評価する。

教科書 井深 大著『胎児から』徳間文庫

履修コード	070301
科目名	社会福祉専門演習II
担当者名	佐藤 光正

講義のねらい 必修科目である卒業論文の個別指導が中心となる。「社会福祉専門演習I」で土台を固めた各自のテーマが、卒業論文としてより完成するよう、またその過程で良質ないろいろな気づきやスキル習得ができるよう必要な指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール 前期・後期ともに各自の卒論進行状況に合わせた個別指導を中心に行う。また全体での卒論中間報告会（随時）、提出後の発表、ゼミ合宿（予定）などを行う。

第1回 オリエンテーション
 第2回 各自の卒論進行状況報告
 第3回～10回 個別指導
 第11回 中間報告会
 第12回～20回 個別指導
 第21回 中間報告会
 第22回～29回 個別指導
 第30回 発表会

**履修上の留意点
成績評価の方法** 各自の卒論関心テーマへの熱い思いと地道な作業を軸に、教員や文献等を有効に活用してほしい。卒論自体の出来もさることながら、年間をとおしたプロセスの中で”ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）”をしながらか卒論作成が行われたか、またゼミ運営への貢献度も合わせて評価する。

**教科書
参考書等** 特に指定しない。
各自の研究テーマに合わせて随時紹介する。

履修コード	070401
科目名	社会福祉専門演習II
担当者名	伊藤 秀一

講義のねらい 3年次の専門演習Iの学習成果を踏まえ、各自のテーマにもとづき、報告と討論をとおして卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール 各自のテーマにそった報告をもとに、ゼミメンバー間での討議をとおして考察を深めていく。なお、全員参加を前提とする年2回のゼミ合宿においても卒業論文作成のための集団討議および個別指導を行う。

**履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等** 授業への積極的・主体的参加が要請される。
出席状況をはじめ、報告、討論への参加等、クラスワークのあり方をもとに総合的に評価する。
随時紹介する。

履修コード	070501
科目名	社会福祉専門演習II
担当者名	長尾 譲治

講義のねらい この演習は、専門演習IIに引き続いて4年次に開講される。3年次終了時に各自が設定した卒業論文のテーマに沿って、個別指導を行う。同時に、福祉士の国家試験合格を目指した徹底指導を並行して行っていく。4年次のゼミは、3年間の学習の総仕上げである。文章力・自己表現力（発言力）をしっかりと身につけて、社会に通用する自己を形成することをめざしている。自己の成長の場として、授業を大いに活用してほしい。

講義の内容・授業スケジュール ①オリエンテーション（1回目）②個別面談&国試対策講座（同時並行）（2～27回目）③卒業論文発表会（28～30回目）

履修上の留意点 本ゼミは、3年次のゼミと同じメンバーで構成される。仲間関係を有効に生かし、積極的かつ協力的に参加してほしい。

成績評価の方法 毎回の授業への参加が評価の前提となる（出席点が基本。※配属実習中は公欠扱い）。出席点に、作業への参加状況を加味して評価する。

**教科書
参考書等** 特に指定しない。必要な資料を随時配布する。
必要な図書等を随時紹介する。

履修コード	070601
科目名	社会福祉専門演習II
担当者名	桐原 宏行 <small>きりはら ひろゆき</small>

講義のねらい この演習では、前年度の「社会福祉専門演習I」での各自の成果を基礎として、卒業論文の作成・提出に向け必要となる事項に関して学習をすすめるものである。
具体的には、それぞれの設定している課題に沿って、文献・資料分析、調査や事例のデータ分析を行い、その結果に関して議論を重ねつつ展開していく。

講義の内容・授業スケジュール 卒業論文作成のための個別指導、及び研究内容のプレゼンテーション（前期・後期ともに1～15回目）。

成績評価の方法 研究への取り組み状況、研究進行過程での数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

参考書等 研究の進行に応じて、随時指示する。

履修コード	058501
科目名	行政法
担当者名	鶏徳 啓登 <small>けいとく ひろとく</small>

講義のねらい 現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後60年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

講義の内容・授業スケジュール 本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。
1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法 成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書 原田尚彦著 『行政法要論』（学陽書房） 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等 塩野宏著 『行政法I・II』（有斐閣）4,000円 その他、教場にて説明。

履修コード	058551
科目名	民法
担当者名	大宮 隆 <small>おのみや たかし</small>

講義のねらい 家族を研究対象とすると、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点からみると、民法という法律の中に、講学上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家族生活に関する法律である。各種試験（たとえば家庭裁判所調査官）に対応できる講義をしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール (1) 婚姻（1～9回）成立要件・効果・解消（離婚制度、離婚に伴う法律問題）
(2) 親子（10～16回）種類（実子、養子）・効果、解消
(3) 親権・後見 等（17～20回）効力や発生要件
(4) 扶養（21回）
(5) 相続（21回—）遺言（方式、執行）・遺留分・法定相続（相続人、遺産、遺産分割）

履修上の留意点 六法を常に持参すること。

成績評価の方法 年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

教科書 『新民法概説（3）親族・相続〔改訂版〕』（有斐閣双書）1,800円

参考書等 適宜紹介する。

履修コード	063401
科目名	社会福祉援助技術各論IA
担当者名	荒井 浩道

- 講義のねらい
1. 相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。
 2. 相談援助の対象と様々な実践モデルについて理解する。
- 講義の内容・授業スケジュール
1. オリエンテーション
 2. 人と環境の交互作用（システム理論）
 3. 相談援助の対象（相談援助の対象の概念と範囲）
 4. 様々な実践モデルとアプローチ①（治療モデル）
 5. 様々な実践モデルとアプローチ②（生活モデル）
 6. 様々な実践モデルとアプローチ③（ストレングスモデル）
 7. 様々な実践モデルとアプローチ④（問題解決アプローチ）
 8. 様々な実践モデルとアプローチ⑤（課題中心アプローチ）
 9. 様々な実践モデルとアプローチ⑥（危機介入アプローチ）
 10. 様々な実践モデルとアプローチ⑦（行動変容アプローチ）
 11. 様々な実践モデルとアプローチ⑧（ケースマネジメント/ケアマネジメント）
 12. 様々な実践モデルとアプローチ⑨（ジェネラリスト・アプローチ）
 13. 様々な実践モデルとアプローチ⑩（エンパワーメント・アプローチ）
 14. 様々な実践モデルとアプローチ⑪（社会構成主義、ナラティブ・アプローチ）
 15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

授業への主体的参加を期待します。
出席、レポート、試験等により総合的に評価します。
福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法I（新・社会福祉士養成講座第7巻）』（中央法規出版）
福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法II（新・社会福祉士養成講座第8巻）』（中央法規出版）

参考書等

授業のなかで随時指示します。

履修コード	063421
科目名	権利擁護と成年後見制度
担当者名	千木良 正

- 講義のねらい
- 本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、社会福祉士の相談援助活動に必要な法制度や権利擁護活動について具体的に学習していきます。
- (1) 相談援助活動と法制度との関わりについての理解
 - ・ 日本国憲法の基本原理、民法・行政法
 - ・ 成年後見制度の実際と後見人等の役割
 - (2) 福祉分野における権利擁護活動の実際についての理解
 - ・ 社会的排除や虐待などの人権侵害と権利擁護活動
 - ・ 認知症等の日常生活支援が必要な人への権利擁護活動
- 講義の内容・授業スケジュール
- (1～3) 相談援助活動と法 (4～6) 成年後見制度 (7～9) 日常生活自立支援事業、成年後見制度利用支援事業、権利擁護に関する組織・団体の役割と実際 (10～15) 権利擁護活動の実際 (授業スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合もあります)
- 成績評価の方法
教科書
- 出席、レポート、試験等により総合的に評価します。
未定（私自身も執筆者の一人となっていて、来年3月に出版予定の書籍を想定しています）。

履修コード	063441
科目名	司法福祉論
担当者名	千木良正 <small>ちきら ただし</small>

講義のねらい 本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、更生保護制度をはじめとした司法福祉分野の実践について学習していきます。

(1) 更生保護制度と医療観察制度の実践
 ・制度の概要、制度の担い手、関係機関・団体との連携
 ・近年の動向と課題

(2) 刑事司法・少年司法その他の司法福祉分野の実践
 ・司法福祉の組織・団体・専門職と他機関との連携
 ・司法福祉の取り組みの実例

講義の内容・授業スケジュール (1～5) 更生保護制度の概要、更生保護制度の担い手、関係機関・団体との連携、近年の動向と課題 (6～8) 医療観察制度の概要 (9～15) 刑事司法・少年司法その他の司法福祉分野の実践 (授業スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合もあります)

成績評価の方法 出席、レポート、試験等により総合的に評価します。

教科書 講師作成の資料を使用します。

履修コード	063461
科目名	社会調査の基礎
担当者名	東條 光雅 <small>とうじょう みつあき</small>

講義のねらい この授業では、社会調査を理解してもらうために、基本的事項、質的・量的調査法、基本統計や統計分析法に関して講義する。

講義の内容・授業スケジュール 社会調査の意義・目的、質的調査法、量的調査法、調査法の種類、調査の手順、調査票の作り方、サンプリング法、基本統計、統計分析法、社会調査における倫理・個人情報保護、ITの活用方法等について論じていく。

履修上の留意点 この授業は、内容的に積み上げてゆくので、出席を最重視する。また、時間がゆるせば実際に調査票を作成してもらい、実査も併行して行い、調査報告書の作成まで目指したい。

成績評価の方法 原則的には、出席点と定期試験によって評価する。

教科書等 『社会調査の基礎』、新社会福祉士養成講座第5巻、中央法規出版、2009年3月出版予定
 適宜紹介する。

その他の 講義はパワーポイントを使って行う予定

履修コード	063501
科目名	社会福祉援助技術各論IB
担当者名	荒井 浩道

講義のねらい 1. 相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する（介護保険法による介護予防サービス計画、居宅サービス計画や施設サービス計画及び障害者自立支援法によるサービス利用計画についての理解を含む）。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. オリエンテーション
 2. 相談援助の過程①（インテーク、アセスメント）
 3. 相談援助の過程②（プランニング、インターベンション）
 4. 相談援助の過程③（モニタリング、エバリュエーション）
 5. 相談援助の過程④（ターミネーション、アフターケア）
 7. 相談援助における援助関係（意義、目的、方法、留意点）①
 8. 相談援助における援助関係（意義、目的、方法、留意点）②
 9. 相談援助のための面接技術（意義、目的、方法、留意点）①
 10. 相談援助のための面接技術（意義、目的、方法、留意点）②
 11. アウトリーチ（意義、目的、方法、留意点）①
 12. アウトリーチ（意義、目的、方法、留意点）②
 13. 集団を活用した相談援助（意義、目的、方法、留意点）①
 14. 集団を活用した相談援助（意義、目的、方法、留意点）②
 15. まとめ

履修上の留意点 授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法 出席、レポート、試験等により総合的に評価します。

教科書 福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法I（新・社会福祉士養成講座第7巻）』（中央法規出版）

福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の理論と方法II（新・社会福祉士養成講座第8巻）』（中央法規出版）

参考書等 授業のなかで随時指示します。

履修コード	063601
科目名	社会福祉援助技術各論IIA
担当者名	川上 富雄

講義のねらい 相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する（介護保険法による介護予防サービス計画、居宅サービス計画や施設サービス計画及び障害者自立支援法によるサービス利用計画についての理解を含む）。

- 講義の内容・授業スケジュール
- （1）オリエンテーション、（2～4）ケースマネジメントとケアマネジメント、（5～9）相談援助における社会資源の活用・調整・開発、（10～14）ネットワーキング（相談援助における多職種・多機関との連携を含む）、（15）試験

成績評価の方法 出席、レポート、試験等により総合的に評価する。

教科書 授業中に指示する。

参考書等 授業中に指示する。

履修コード	063701
科目名	社会福祉援助技術各論IIB
担当者名	川上 富雄

講義のねらい 1. 相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する（介護保険法による介護予防サービス計画、居宅サービス計画や施設サービス計画及び障害者自立支援法によるサービス利用計画についての理解を含む）。

2. 相談援助における事例分析の意義や方法について理解する。
3. 相談援助の実際（権利擁護活動を含む）について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

（1）オリエンテーション、（2～3）スーパービジョン（意義、目的、方法、留意点）、（4～5）記録、（6～7）相談援助と個人情報保護（意義、目的、方法、留意点）、（8～9）相談援助における情報通信技術（IT）の活用（意義、目的、方法、留意点）、（10～11）事例分析（意義、目的、方法、留意点）、（12～14）相談援助の実際（権利擁護活動を含む）、（15）試験

成績評価の方法 出席、レポート、試験等により総合的に評価する。

教科書 授業中に指示する。

参考書等 授業中に指示する。

履修コード	063901
科目名	社会福祉発達史
担当者名	堀 千鶴子

講義のねらい 我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

講義の内容・授業スケジュール	1 社会福祉の歴史と人物史 1	13 人物史 4
	2 " " 2	14 " 4
	3 慈善・救済の時代	15 " 4
	4 人物史 1	16 社会事業・社会福祉の時代
	5 " 1	17 人物史 5
	6 " 1	18 " 5
	7 " 2	19 " 5
	8 " 2	20 " 6
	9 " 2	21 " 6
	10 " 3	22 " 6
	11 " 3	23 社会事業に生きた女性
	12 " 3	24 地域の歴史

履修上の留意点 出席を重視する。テキスト必ず持参。

成績評価の方法 出席(40%)、レポート(60%)

教科書 室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円ISBN4-623-04519-6

履修コード	064101
科目名	社会福祉学特講I〔児童〕
担当者名	山本 哲也

講義のねらい 近年、子どもを取り巻く諸問題は、複雑化、多様化し、深刻化してきている。本講では、子どもを取り巻く諸問題を整理、理解すること、支援を必要とする子どもを理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、子どもを取り巻く諸問題について、受講生のレポートをもとに、ディスカッションを織り交ぜながら、問題の理解を深めていく。

後期は、支援を必要とする子どもについて、演習課題等とおして、理解を深めていく。

履修上の留意点 具体的な講義内容は、受講生の興味にあわせて決定していく。なお、受講生によるレポートとともに、受講生とともに、「考えること」を重視した授業とするので、受講生は主体的・積極的に参加することを望む。

成績評価の方法 出席状況と課題レポートに加えて、ディスカッションへの参加状況など受講姿勢・意欲によって、総合的に評価する。

教科書等 初回授業で指定する。

その他 必要に応じ、その都度指示する。

・30分以上の遅刻は入室を認めないので、そのつもりで受講すること。

・4年次生で、就職活動により欠席する場合も、特別な配慮はしないので、そのつもりで受講すること。

履修コード	064201
科目名	社会福祉学特講II〔老人〕
担当者名	橘内 真里子

講義のねらい	(1) 高齢者福祉の現場で求められる知識・技術を習得する。 (2) ホスピタリティや人権尊重、利用者本位のサービス等について、新聞記事や事例などから考える。 (3) 社会福祉専門職(対人援助職)としての資質を自ら育て、確実なものとする。
講義の内容・授業スケジュール	1回目 教科の目的と前期の予定について。 2～4回目 高齢者の身体的・心理的特性。 3～7回目 高齢者のライフスタイルから見る特性。 8～10回目 高齢者福祉の視点・目的等。 11～14回目 高齢者福祉の現場を理解する。 15回目 前期のまとめ。 16回目 前期の確認と後期の予定について。 17～19回目 実習での体験や夏休みの体験(ボランティア等)について。 20～22回目 文字で表現された高齢者福祉(ケア含む)から考える。 23～25回目 高齢者福祉に携わる専門職について。 26～28回目 対人援助職としての技術・資質について考える。 29回目 まとめ 30回目定期試験(レポート)
履修上の留意点	本や新聞を読んで下さい。気にかかるものや興味を持ったもの、必要と思ったものは、メモしたりスクラップしておいて下さい。講演会や研修会にも積極的に参加して下さい。それらをもとにグループワークも予定しています。「見る」「聞く」「話す」「考える」「発言する」「提案する」などに慣れましょう。
成績評価の方法	出席状況、グループワークへの参加状況、レポートなどを総合的に評価します。
教科書	未定ですが、毎回の講義の始まりか終わりに、読んで欲しい本や聞いて欲しい講演会などを紹介します。随時資料を配付し、ビデオ等の視聴も予定しています。
参考書等	未定ですが、毎回の講義の始まりか終わりに、読んで欲しい本や聞いて欲しい講演会などを紹介します。随時資料を配付し、ビデオ等の視聴も予定しています。

履修コード	064301
科目名	社会福祉学特講III〔障害児・者〕
担当者名	向後 礼子

講義のねらい	身体障害、精神障害、発達障害のそれぞれについて学ぶと共に、健常者と障害者の双方の立場から「障害理解とは何か」について考える。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、障害についての基本的な理解を目指す(1-2)。その後、主として発達障害ならびに精神障害についてさらに詳しく学習する(3-5)。また、発達障害に関しては、コミュニケーションの方法などについても併せて学習する(6-8)。これらの知識を踏まえて、「障害理解」と「障害受容」とは何かについて事例を基に検討する(9-13)。
履修上の留意点	後期は、受講生毎に興味のある障害を定め、その障害についてより深く理解できるよう、個別もしくはグループ毎に課題を設定する。経過については、随時、講義の中で発表し、全体で討論する。履修者には、障害に関わる問題を自らの問題として考えてほしい。
成績評価の方法	講義中の小課題と試験により評価する。なお、講義では、ほぼ毎回、小課題を実施することから、出席状況を加味する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	講義中に随時指定する。
その他	履修者には発表などの活動を行ってもらおう。

履修コード	064401
科目名	社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕
担当者名	あおやま むねお 青山 宗雄

講義のねらい 戦後、日本の社会は急速な勢いで発展し、日常生活のあらゆる面において恩恵をもたらした。しかし、その一方で多くの課題をも産み出しつつある。とりわけ、児童虐待に象徴されるような「こころ」の問題は多方面にわたる難しい問題のひとつとなっている。
機械化社会、合理化社会に生きるわれわれにとって、今やこころの問題は日常的課題となっており、その対応や相談・援護活動も様々に模索されている。
本講においては、そうした状況を踏まえ、児童相談所及び関連施設等が担っている相談・援護の実態を理解すると共に、今後の子ども家庭福祉、人間福祉のあり方を共に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期
(1) オリエンテーション(2～6) 児童相談所における相談・援護(7～10) 児童福祉施設の援護の実態(11～13) 各種相談ごとの対応と留意点(14) 前期総括(15) 試験(レポート)
後期
(1～3) 援護活動と機関連携(4～7) ロールプレイ(8～12) 事例検討(13) 相談・援護と人間性(14) 後期総括(15) 試験(レポート)

履修上の留意点 よりよい人間関係を積み重ね、柔軟なバランス感覚を磨いておくこと。

成績評価の方法 出席状況、討論、レポートなどの総合評価

教科書 特に指定しない。

参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	064501
科目名	社会福祉学特講Ⅴ〔福祉事務所〕
担当者名	ふなみず ひろゆき 船水 浩行

講義のねらい 社会福祉法に規定される「福祉に関する事務所」(福祉事務所)を巡る諸課題を考察する。
昭和26年に発足した福祉事務所は、戦後、生活保護法等のいわゆる福祉六法をはじめとする諸法の現業機関として、国民の最低限度の生活確保等に一定の貢献をしてきた。
しかし、最近の社会保障、社会福祉の諸制度の改革、地方分権の推進等の中で、そのあり方は大きな転換期を迎えている。また、一方では生活保護受給層の拡大等に対応すべき機関として、そのあり方が改めて問われている。

講義の内容・授業スケジュール この授業では、以上のような視点から、今後の福祉事務所とその運営のあり方を考察していく。
福祉事務所とは、現代社会と福祉事務所の運営(第1～2回)
福祉事務所の成立と歴史的展開(第3～7回)
福祉事務所を巡る法制度(第8～9回)
福祉事務所の業務と組織(第10～11回)
福祉事務所と関連社会資源との連携(第12～13回)
福祉事務所の専門職員とその役割(第14～15回)
社会福祉主事の専門性と倫理(第16～17回)
社会福祉主事の業務と社会福祉援助技術の展開(第18～19回)
福祉事務所における自立支援の事例と現状(第20～26回)
福祉事務所の運営をめぐる課題と動向(第27回)

成績評価の方法 最終レポート(定期試験期間に提出)80%、その他(出席等)20%

教科書 宇山勝儀、船水浩行編著『福祉事務所運営論(第2版)』(ミネルヴァ書房)

参考書等 随時紹介する

履修コード	064601
科目名	社会福祉学特講VI〔家族〕
担当者名	おぼた かず 小畑 和

講義のねらい

出生減退現象と言うのは社会に現れたひとつの表徴である。その社会現象は別の面から見れば、胎児の生命をどのように考えるかという生命倫理に関する側面を持っている。つまり、出生前診断による産み分けや世界的な人工妊娠中絶（abortion）の容認の傾向は、言い換えれば、Prolife か Prochoice かの問題であり、また、この現象を家族の側面から論ずれば、親子関係が希薄化し、家庭の崩壊、家庭の教育力の低下や学校教育の崩壊に繋がる。また社会的側面から見れば消費の停滞、人口の減少、経済の停滞と不安定、犯罪の増加、社会の崩壊に連動していくことの要因になっている。

講義では出生減退現象を通して生命倫理の問題、家族の変貌、社会保障制度などを取り扱うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

成熟社会では成長が頂点に達し社会が袋小路（blind alley）に突入する。一方、限界生活費は増大するために、家族を益々制限し少子化や小さな核家族を促し、他方では三世代家族減少や老人問題を発生させている。また、人間関係は本質の関係よりは手段の関係になりシビアーでドライになる。個々人の間に緊張感を生じ孤立化するのは家族間でも同じである。

このような観点から以下のような項目で講義する。

- ① 経済社会のマクロ的な説明
- ② Prolife（胎児の生まれる権利）か Prochoice（産む、産まないは女性の権利）か
- ③ 資本蓄積と出生減退の関係、出生減退原因の諸説の紹介
- ④ 家族の変貌（血縁、結婚・離婚問題、住居、経済的基盤などの家族の構成要素の変化）
- ⑤ 家族に関する福祉制度（年金、生活保護、保育・育児の制度、エンゼルプラン、児童手当、児童扶養手当…）
- ⑥ 家庭裁判所制度（調停制度、特別養子縁組制度…）
- ⑦ 教育制度（学校教育、家庭教育、社会教育…）
- ⑧ 就業問題（雇用制度、ホームレス問題、雇用保険制度、労働災害保険制度…）

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

その他

初回の講義で説明する。

5段階2乗方式によるが、その内容は初回講義で説明する。

講義の中で必要に応じて紹介する。

授業形態は講義形式であるがビデオやOHPが使用可能ならば利用する。

履修コード	064701
科目名	家族療法
担当者名	おぼた てつや 治田 哲之

講義のねらい

福祉は、他者との関わりの中でこそ、その専門性を発揮することができる。高いレベルで他者との関わりを理解し、真に良好な対人関係を築くには、心理療法の知識が役に立つ。

心理臨床の現場では、学派や技法にかかわらず、家族に関する視点を持たずに仕事を進めることはできない。一方、家族療法に基盤を持つ心理臨床家も、家族という視点にとらわれない幅広い臨床的スタンスを持って仕事をすることが必要である。

本講座では、このような心理臨床の現場を出発点とし、家族療法という一つの体系を切り口としながら、心理臨床の基本から家族療法の実際までを実践的に扱う。そして、福祉の専門家としての学生諸君にとって、何らかの形で表り多い授業となることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

（1）イントロダクション／（2）心理学と心理療法について（福祉の専門家が心理療法を学ぶとどのようなよいことがあるのか）／（3～10）家族療法の考え方と特徴／（11～15）事例をもとに、家族療法の考え方と技法を紹介／（16～20）家族療法的心理臨床に役立つ諸技法の具体例／（21～25）発達という視点について（特に家族の発達という考え方について）／（26～30）家族をめぐる今日的課題とその援助

*以上の計画の中で、適宜、映像資料や新聞雑誌等の時事的資料に基づいた、人間や心についての考察・課題を行う

成績評価の方法

レポートまたは試験（履修学生の希望に合わせて決める）に、普段の課題や、出席（これは興味・関心の反映としてとらえる）等の状況を加味する。

教科書

参考書等

その他

使用しない。

授業の中で、その時学生に役に立つと思われるものを適宜紹介する。

土曜1限は、学生諸君にとってもつらいと思うので、できるだけ楽しい授業になるようふうします。リクエストにもできるだけ応えます。

履修コード	064821
科目名	福祉行財政と福祉計画
担当者名	亀田 都

講義のねらい 本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、次の2つの内容について具体的に学習していきます。
 (1) 福祉行財政についての理解
 ・福祉行財政の実施体制（国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割など）
 ・福祉行財政の実際
 (2) 福祉計画についての理解
 ・福祉計画の意義・目的、主体、方法、留意点など

講義の内容・授業スケジュール (1～8) 福祉行財政の実施体制、福祉行財政の動向 (9～15) 福祉計画の意義と目的、福祉計画の主体と方法、福祉計画の実際
 (授業スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合もあります)

成績評価の方法 出席、レポート、試験等により総合的に評価します。

履修コード	064841
科目名	福祉サービスの組織と経営
担当者名	亀田 都

講義のねらい 本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、福祉サービスを提供する組織の管理運営や経営のあり方の実際について学習していきます。
 (1) 福祉サービスに関わる組織・団体についての理解
 ・社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など
 (2) 福祉サービスの組織と経営についての理解
 ・組織と経営の基礎理論、経営と管理運営の実際

講義の内容・授業スケジュール (1～3) 福祉サービスに関する組織や団体 (4～5) 福祉サービスの組織と経営の基礎理論 (6～10) 福祉サービス提供組織の経営と実際 (11～15) 福祉サービスの管理運営の方法と実際
 (授業スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合もあります)

成績評価の方法 出席、レポート、試験等により総合的に評価します。

履修コード	064901
科目名	リハビリテーション論
担当者名	向後 礼子

講義のねらい リハビリテーションには、医学・教育・職業・社会の4領域があるが、本講義では、社会的リハビリテーションを中心に障害者と共に生活していく上で考えておくべきことは何か、知っておくべきことは何かなどについて学ぶ。また、バリアフリーや障害理解の問題に関して、それぞれが、自分なりの考えを深めることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、リハビリテーションの定義(1-2)、障害理解(3-5)及びバリアフリー(6-9)に関して学ぶ。また、障害者と共に学ぶという視点から、特別支援教育について考える(10-15)。後期は、まず、障害者や高齢者の問題についての資料の読み方(1-2)について考える。次に、職業リハビリテーションの仕組みと障害者雇用を妨げる要因について考える(3-5)。また、社会的リハビリテーションの枠組みの中で尊厳死の問題なども採り上げる(6-9)。以上の知識を踏まえて、履修者の興味に応じて、テーマを決め、討議を行う(10-15)。

履修上の留意点 履修者には、リハビリテーション論で採りあげられるさまざまな問題を単なる知識として覚えるのではなく、自らの問題として考えてほしい。

成績評価の方法 講義中の小課題と試験により評価する。なお、講義では、ほぼ毎回小課題を実施することから、出席状況を加味する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 講義中に随時指定する。

その他 基本的に講義形式で進める。履修人数によっては、履修者に発表などの活動を行ってもらう。また、ビデオ等の視聴を含む。

履修コード	065001
科目名	社会保障論
担当者名	長尾 謙治

講義のねらい 本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、ソーシャルワーカーを目指す皆さんにとって必要で十分な社会保障制度に関する実践的知識を習得すること、及びソーシャルワークの現場においてその知識を生かす応用能力を身につけることを第一の目的としている。

社会保障制度は、一見すると複雑・多岐にわたっており、わかりづらいと感じる学生が多いのも事実である。しかし、社会保障は人間の基本的なニーズに対応したものであって、原理・原則は単純明快である。社会保障論の学習にあたっては、まずその原理・原則を理解した上で、制度上の例外を身につける方法が有効である。

講義では、マンガやドラマに出てくるおなじみの登場人物とその生活場面などの身近な実例に当てはめ、そこで出てくる社会保障制度を解説するなど、具体例を通じて実践的な社会保障の知識を身につけていく。また、社会保障の各制度の現状はどうなっているのか、これからどうしていくべきなのかについて、国民の福祉の維持・推進の役割を担う福祉専門職の立場から、考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 社会保障とは（社会保障の必要性、日本の社会保障制度の体系など）（1回目）
- (2) 各制度の詳細な解説
 - ①医療保険制度（2～5回目） ②年金保険制度（6～11回目） ③労働保険制度（雇用保険、労災保険）（12～16回目） ④介護保険制度（17～20回目） ⑤民間の保険（生命保険、損害保険、その他の保険）（21回目）
 - (3) こんなときどうする？ — 私たちのライフサイクルと社会保障 —
 - ①就職したら（22回目） ②妊娠・出産・育児とその支援（23～24回目） ③病気や障害状態になったら（25～26回目） ④寝たきりや認知症になったら（27回目） ⑤ターミナル・ケアを受けるには（28回目）
 - (4) 各国の社会保障制度（29回目）
 - (5) 社会保障制度の現状と課題（30回目）

**成績評価の方法
教科書**

学年末試験の成績に、出席状況等を加味して評価する。
特に指定しないが、必要に応じて参考書等を紹介する（授業は毎回の詳説プリントを通じて行う）。

参考書等

長尾謙治著『ライフサイクルと保健福祉』（春風社）
週刊社会保障編集部編『社会保障便利事典』（法研）
その他、随時紹介する。

履修コード	065101
科目名	家庭福祉論
担当者名	武山 梅葉

講義のねらい 家族の諸問題を女性、子ども、高齢者という観点から概観した上で、〈家族福祉〉の限界を指摘し、〈家族〉という枠組みを超えて地域、行政、NPO、企業等を巻き込みながら展開される〈家庭福祉〉の可能性について模索することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 家庭福祉の視点：（1）家庭福祉の視点 （2）世帯構造と核家族化（3・4）家族制度とは（5）核家族の機能と構造 （6）家族周期とライフコース（7）イエ制度と〈近代家族〉
- II. 女性と家庭福祉：（8・9）フェミニズムからみた家族—母性、専業主婦、中絶（10）女性労働と育児（11）一人親家庭の諸問題（12・13）夫婦別姓と婚姻の意義
- III. 子どもと家庭福祉：（14）児童福祉の体系にみる〈こども〉観（15）消費としての子育てと〈地域〉における子育て（16）児童虐待
- IV. 高齢者と家庭福祉：（17）ライフサイクルの変化にみる高齢者の諸問題（18・19）家族と高齢者介護（20）高齢者にとっての居住福祉
- V. 国家・地域と家庭福祉：（21）日本における家族政策と福祉国家論（22）在宅福祉と〈地域〉（23）家庭—地域福祉という枠組み
- VI. 民間社会福祉と家庭福祉：（24）家庭福祉の市場性（25・26）非営利セクターと家庭福祉—配食サービスを事例として

成績評価の方法

出席状況、講義期間中に課す課題、夏休みのレポートの内容、学年末の定期試験の結果から総合的に評価します。

教科書

教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

参考書等

参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	065201
科目名	保健福祉論
担当者名	山本 哲也

講義のねらい	本講義では、地域保健、地域福祉の実践に欠かすことのできない、保健・福祉の連携システムの概要と、同システムにおける保健・福祉従事者の役割を学び、そこでの福祉従事者の活動内容について理解することをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では、保健・福祉の連携システムの実際について、事例をとおして学習していく。具体的には、まず、保健・福祉が連携して関わる必要のある事例を呈示する。次に、その事例の中に登場する用語等について概説する。また、事例に登場する対象者を理解する事、事例に関わる制度について知る事を目的に講義を行う。最後に、その事例対象者を支える保健・福祉の連携システムについて概説する。
履修上の留意点	講義のみでなく、各自が考え、学び、理解できるよう、各自の意見を問う内容を含む授業を行うので、そのつもりで受講すること。
成績評価の方法	出席状況、授業中のミニレポート、課題レポート及び試験の結果により総合的に評価する。
教科書	必要に応じ、授業時に指定する。
参考書等	必要に応じ、その都度指示する。
その他	・30分以上の遅刻は入室を認めないので、そのつもりで受講すること。 ・4年次生で、就職活動により欠席する場合も、特別な配慮はしないので、そのつもりで受講すること。

履修コード	065321
科目名	公的扶助論
担当者名	伊藤 秀一

講義のねらい	本講の中心的テーマは、わが国の社会保障制度体系における生活保護制度を度のように位置づけ、どのように方向づけるかである。このような問題意識のもとに、慈恵的救済から権利的保障へと歩んできた公的扶助の歴史をはじめ、現行法の目的、原理、原則、組織機構、行政運営等を体系的に講述する。また、近年、注目されている権利擁護、社会的排除等にも言及する。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) ①開講にあたって②現代の貧困と公的扶助③公的扶助の歴史(イギリスと日本)④生活保護制度の概要と問題点 (後期) ⑤生活保護制度の運営実施体制⑥生活保護の争訟制度と権利擁護⑦生活保護における相談援助活動⑧低所得者対策の概要と実際
履修上の留意点	指定されたテキスト以外の参考文献や新聞記事等を活用しながら学習を深め、「学生参加」型の授業を心がけたいと考えているので、貧困問題に対する関心をもってほしい。
成績評価の方法	評価は、定期試験と出席状況を勘案して行う。
教科書	伊藤秀一編著『低所得者に対する支援と生活保護制度(社会福祉士シリーズ16)』弘文堂、2008年
参考書等	随時紹介する。
その他	視聴覚教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

履修コード	065421
科目名	障害者福祉論
担当者名	桐原 宏行 <small>きりはら ひろゆき</small>

講義のねらい

- ・障害の本質及び障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢について理解する
- ・障害者福祉制度の発達過程について理解する
- ・相談援助活動において必要となる障害者自立支援法や障害者福祉に係る他の法制度について理解する

講義の内容・授業スケジュール

第1回：オリエンテーション
 第2回：障害とは何か①（身体障害の理解）
 第3回：障害とは何か②（知的障害の理解）
 第4回：障害とは何か③（発達障害の理解）
 第5回：障害とは何か④（精神障害の理解）
 第6回：障害者福祉の理念
 第7回：障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢
 第8回：障害者自立支援制度の発達過程
 第9回：障害者自立支援法の概要
 第10回：障害者自立支援法における組織及び団体の役割と実際
 第11回：障害者自立支援法における専門職の実際
 第12回：障害者自立支援法における多職種連携、ネットワーキングの実際
 第13回：障害者福祉関連法の概要①（身体障害者福祉法、知的障害者福祉法）
 第14回：障害者福祉関連法の概要②（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、発達障害者支援法）
 第15回：総括

履修上の留意点

本科目は、社会福祉士法の改正により変更された科目である。平成21年度以降入学者（平成20年度以降の入学者で単位未修得者も含む）で社会福祉士受験資格取得予定者は履修しなければならない。なお、平成20年度以前の履修者で、同一名称科目「障害者福祉論（4単位科目）」をすでに履修し単位を取得した者は再履修できないが、法改正で科目内容が改正されており、本年度の社会福祉士国家試験から「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の科目で試験が実施されるため、その対策には十分注意する必要がある。

成績評価の方法

授業内試験及びレポート90%、出席点10%

教科書 福祉臨床シリーズ編集委員会編 日比野清、大熊信成、建部久美子責任編集、『社会福祉士シリーズ14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度』、弘文堂、2,625円 ISBN978-4-335-61084-4 C3347

その他 ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法2009』、ミネルヴァ書房

履修コード	065441
科目名	就労支援サービス
担当者名	桐原 宏行

講義のねらい

- ・相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度について理解する
- ・就労支援に係る組織、団体、及び専門職の役割について理解する
- ・就労支援分野における連携方法について理解する

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回：オリエンテーション 授業のすすめ方、評価方法、評価基準の説明
- 第2回：労働の意義「動機づけの諸理論」
- 第3回：キャリア発達と就労支援「キャリア発達の理論と発達課題」
- 第4回：雇用・就労の動向「労働市場の動向」「就労支援対象者の雇用実態」
- 第5回：労働法規「基本的労働法規の概要」「就労支援に関連する法律の概要」
- 第6回：就労支援制度の概要①「低所得者の就労支援」
- 第7回：就労支援制度の概要②「障害者福祉施策における就労支援」
- 第8回：就労支援制度の概要③「障害者雇用施策における就労支援」
- 第9回：就労支援サービスの実施体制①「組織及び団体の役割と実際」
- 第10回：就労支援サービスの実施体制②「専門職の役割と実際」
- 第11回：就労支援分野の実務①「ハローワークを中心とした機関連携方法」
- 第12回：就労支援分野の実務②「障害者雇用施策における機関連携方法」
- 第13回：就労支援分野の実務③「障害者福祉施策における機関連携方法」
- 第14回：就労支援分野の実務④「教育施策における機関連携方法と実際」
- 第15回：総括

履修上の留意点

本科目は、社会福祉士法の改正により新設された科目である。平成21年度以降の入学で社会福祉士受験資格取得予定者は履修しなければならない。また、平成20年度以前入学者については、履修の必要はないものの、国家試験においては本年度から新設されるため、履修することが望ましい。

成績評価の方法

授業内試験及びレポート90%、出席点10%

教科書

福祉臨床シリーズ編集委員会編、桐原宏行責任編集『社会福祉士シリーズ18 就労支援サービス』、弘文堂2,625円 ISBN978-4-335-61088-2

その他

ミネルヴァ書房編集部編、『社会福祉小六法2009』、ミネルヴァ書房

履修コード	065521
科目名	老人福祉論
担当者名	東條 光雅 <small>とうじょう みつまさ</small>

講義のねらい

少子高齢化社会の進展に伴い後期老年期人口が増加し、要介護高齢者の急増、家族介護の深刻化、高齢者虐待の多発など、高齢者やその家族に関わる様々な社会的問題が発生し、医療・年金・介護などの社会保険制度のあり方が大きな政治課題となっている。

本講義では、わが国における高齢化の現状と動向、高齢者や家族を取り巻く状況、これまでの高齢者対策や高齢者福祉制度の変遷、現行の高齢者保健福祉制度等について理解を深めてもらうとともに、今後の高齢者支援のあり方について論じてゆく。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 第1回 高齢者の心理・精神的理解
- 第2回 高齢者の身体的理解
- 第3回 高齢者の社会的理解
- 第4回 高齢化・高齢社会の定義とわが国における高齢化の現状
- 第5回 諸外国における高齢化の状況と少子高齢化の要因
- 第6回 高齢者を取り巻く諸問題
- 第7回 高齢者保健福祉の発展過程
- 第8回 高齢者保健福祉の現行法体系
- 第9回 老人福祉法
- 第10回 高齢者医療確保法
- 第11回 高齢者虐待防止法
- 第12回 高齢者を支援する組織と役割（1）
- 第13回 高齢者を支援する組織と役割（2）
- 第14回 高齢者を支援する組織と役割（3）
- 第15回 これからの高齢者支援

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらう。近年、受講生の私語や居眠りが目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

**成績評価の方法
教科書**

原則的には、出席点と定期試験によって評価する。
『高齢者に対する支援と介護保険制度』、新社会福祉士養成講座第13巻、中央法規出版、2009年3月出版予定

**参考書等
その他**

『社会福祉小六法』、『厚生労働白書』、『国民の福祉の動向』など
講義はパワーポイントを使って行う

履修コード	065621
科目名	児童福祉論
担当者名	村田 一昭 <small>むらた かずあき</small>

講義のねらい 1989年に国連で子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。そこでこの授業では、子どもと家庭を取り巻く現状を踏まえながら、子どもと家庭のウェルビーイング (well-being) をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組およびソーシャルワーク実践についての理解を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- 子ども家庭福祉の理念
 - ①ウェルフェアからウェルビーイングへ (第1回) ②子どもの権利条約 (第2回)
- 子どもと家庭をめぐる最近の動向
 - ①少子化の動向と対策 (第3回) ②子ども虐待の実態と対応 (第4回) ③少年非行・少年犯罪の動向と対応 (第5回)
- 子ども家庭福祉への歩み (第6回)
- 子ども家庭福祉の法体系
 - ①児童福祉法 (第7回) ②児童福祉六法 (第8回) ③関連法 (第9回)
- 子ども家庭福祉の最近の法改正の動向 (第10回)
- 子ども家庭福祉の実施体制
 - ①子ども家庭福祉行政の仕組み (第11回) ②子ども家庭福祉の実施機関 (第12回)
- 子ども家庭福祉施策の現状と課題
 - ①児童自立支援施策、児童健全育成施策他 (第13回) ②保育施策、障害児施策他 (第14回)
- 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際 (第15回)

履修上の留意点

可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的なコメントを求めます。

**成績評価の方法
教科書**

平常点 (出席およびリアクションペーパー、課題) と期末試験にて評価をします。
高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク (第3版)」(社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論) 有斐閣 ¥2,000※授業内容により、プリントを配布します。

**参考書等
その他**

随時、紹介します。
授業はパワーポイントを使用します。

履修コード	065701
科目名	女性福祉論
担当者名	堀 千鶴子 <small>ほり ちづこ</small>

講義のねらい

この講義では、ジェンダーの視点から女性福祉論を展開する。ジェンダーとは社会的・文化的に規定された性別であり、ジェンダーのアンバランスが歴史的にも女性の生活問題・生活困難の背景となっており、ジェンダーの視点に立つことは問題の理解に大きく寄与するものである。

講義では、特に婦人保護事業を中心とする。婦人保護事業を歴史的に把握すると共に、対象者の変化を理解し、現代的課題を明らかにすることから、女性福祉を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- ジェンダーの視点とは

ジェンダー・女性学・フェミニズム等の用語の登場の背景を理解し、社会福祉に導入する意味について理解する
- 女性福祉の定義・対象理解
- 「女性に対する暴力」とは

・定義、内容 ・取り組みの動向 ・ドメスティック・バイオレンス についての理解
- 婦人保護事業の歴史
- 婦人保護事業の動向

成績評価の方法

試験方法：レポート (50%)
出席確認を毎回行う (出席50%)

**教科書
参考書等**

林千代編著『女性福祉とは何か』(ミネルヴァ書房) 2004年
講義内に紹介する。

履修コード	065821
科目名	医療福祉論
担当者名	みやもと ひろし 宮本 博司

講義のねらい

医療の現場での福祉の担い手は「医療ソーシャルワーカー（MSW）」である。医療福祉論では、医療ソーシャルワークの歴史、理論、技術について学び、医療ソーシャルワークのあり方について議論を深め、医療ソーシャルワーカーがどのような倫理観・価値観に基づいて、ソーシャルワーク実践を重ねているか、考察することを目的としている。また、現場を目指す学生にとって、医療ソーシャルワークの現場をリアルに議論できるような授業を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

医療ソーシャルワークの歴史と課題

- ① 医療ソーシャルワークとは
- ② 医療ソーシャルワークの歴史
- ③ ソーシャルワーク理論
- ④ 医療ソーシャルワークと医療経済について
- ⑤ 医療ソーシャルワークの課題について

医療ソーシャルワークの技術と実際

- ① 急性期における医療ソーシャルワーク事例
- ② 亜急性期における医療ソーシャルワーク事例
- ③ 慢性期における医療ソーシャルワーク事例
- ④ 終末期における医療ソーシャルワーク事例
- ⑤ 病院・施設の医療ソーシャルワーク事例
- ⑥ 在宅ケアにおける医療ソーシャルワーク事例
- ⑦ ケアマネジメントと医療ソーシャルワーク
- ⑧ 医療サービスと医療ソーシャルワークの課題

履修上の留意点

授業への主体的な参加を望む。

成績評価の方法

定期試験、課題レポート、授業参加貢献度により採点。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

履修コード	065901
科目名	地域福祉論
担当者名	川上 富雄 <small>かわかみ ともお</small>

講義のねらい 地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

(1) 総論としての地域福祉の枠組み(地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか)

- ①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方
④現在の地域福祉施策の特徴

(2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法(地域福祉施策の内容と提供方法)

- ①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み
③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法

(3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望

- ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度
③これからの方向性

講座には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたいが、内容や使用する用語が難解な場合もあるので、各自学習をして理解を深めてほしい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

(番号は授業回数ではない)

- 1: 地域福祉と生活問題: 地域福祉の考え方と現代の生活問題
- 2: 地域福祉とコミュニティ: 地域社会の変遷とコミュニティの形成 他
- 3: 地域福祉の概念とその範囲: 地域福祉の代表的な考え方とその類型
- 4: 地域福祉のサービス体系: 地域福祉サービス体系の考え方 他
- 5: 地域福祉の推進方法: 地域援助技術の必要性和社会福祉計画 他
- 6: 地域福祉の人材: 民生委員児童委員制度等
- 7: 地域福祉の財源: 地域福祉の財源と共同募金の理解 等
- 8: 地域福祉の推進組織: 社会福祉協議会、行政、各種団体・機関◆非営利団体の活動とNPO法 他

履修上の留意点

地域福祉論は、他の福祉系科目の横断科目として理解する必要がある。できる限り2年次以降の履修が望ましい。

成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出(随時)の双方の状況により、判定する。

**教科書
参考書等
その他**

『社会福祉士養成講座7』 地域福祉論(中央法規出版)

授業時間内に指示する。

基本的には講義形式で行う。出席確認およびレポート等も実施する。

履修コード	066001
科目名	外書講読
担当者名	東條 光雅 <small>とうじょう みつまさ</small>

講義のねらい

この授業では、英語の文献(社会福祉一般あるいは高齢者福祉に関する洋書・論文等)を講読する。受講生の人数にもよるが、基本的には受講生ごとに分担を決め、毎時間レジュメを作成して内容を報告してもらい、それについて討議をしながら検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

語学の授業ではないので、ある程度英語の読解力を有していることが基本となる。最初のうちは受講生の語学力を見るために逐語訳をしてもらうが、徐々に要約的な報告と内容の討議に重点を置いていきたい。

履修上の留意点

英語に興味を持っていることは勿論、語学の素養を備えていることが求められる。また、文献を分担して読んでいくので、出席を重視する。

成績評価の方法

原則的には、毎回の報告内容と討議への参加・貢献度、ならびに出席点による。

**教科書
参考書等
その他**

講読する文献・論文は、受講生の興味・関心を聞いた上で決めたいと考えている。

講読に際して、英和中辞典以上の辞書を有していること。

授業には英和中辞典あるいは電子辞書を持参すること

履修コード	066151
科目名	社会学（福祉）
担当者名	武山 <small>たけやま</small> 梅葉 <small>うめのり</small>

講義のねらい 社会福祉士（及び精神保健福祉士・社会福祉主事）を目指す学生を対象として、社会学の基礎的な知識（社会理論）を提示し、現代社会における今日的な諸問題や生活、及び人と社会との関係について理解することを通じて、より広い視点から〈社会福祉〉を展望する視点を養ってもらうことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール
 I 社会学の基礎概念（1～3回）（1）行為論 （2）役割論 （3）自我とアイデンティティ （4）組織と官僚制 （5）ネットワークとボランティア （6）社会階層と社会移動
 II 現代社会論（4～5回）（1）逸脱とラベリング （2）ジェンダーとフェミニズム （3）医療化と差別論
 III 現代家族論（6～7回）（1）家族制度と核家族化 （2）ライフサイクルとライフコース （3）未婚化と結婚の意義
 IV 地域社会論（8～9回）（1）アーバニズムとコミュニティ （2）国土計画と過疎過密・まちづくりとQOL
 V 国家とエスニシティ（10～12回）（1）国民国家としての〈日本〉 （2）エスニシティとしての〈沖縄〉
 VI 社会変動論（13～15回）（1）近代化と資本主義 （2）大衆社会論と社会的性格 （3）産業社会論 （4）消費社会と企業文化・福祉文化 （5）公害と環境問題

成績評価の方法 出席状況、講義期間中に課す課題やレポートの内容、学期末の定期試験から総合的に評価します。
 教科書 教科書は現在作成中のもの（タイトル未定）を使用します。教科書のタイトルや出版元等については開講時に指示します。

参考書等 参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	066221
科目名	医学一般
担当者名	小林 <small>こばやし</small> 臻 <small>いたる</small>

講義のねらい 将来、社会福祉領域で働く専門職が心得ておくべき、医学一般に関する知識の体得を目的とする

講義の内容・授業スケジュール
 ①医学の歩みについて学びながら、臨床医学の発展を概観する（1～3回）
 ②人体の構造と機能について学習し、生命現象に理解を深める（4～8回）
 ③現代社会における主な疾病について、その成因と実態について学ぶ（9～13回）
 ④老化現象と高齢者の病気について学び、理解を深める（14～16回）
 ⑤精神障害と精神保健について概観し、社会福祉と関係の深い疾病について学習する（17～19回）
 ⑥リハビリテーション医療の発展の背景と、保健・医療・福祉との相互関係や専門職の連携などについて学ぶ（20～22回）
 ⑦最近の公衆衛生の現状を概観する（23～24回）
 ⑧保健医療対策の現状を概観し、わが国の健康づくり対策の実際や感染症・結核・難病・痴呆性高齢者等の対策について学ぶ（25～28回）
 ⑨医事法制の概要について学ぶ（29～30回）

成績評価の方法 試験：出席：課題＝5：3：2の比重で評価、追試も実施する

教科書 1）福祉士養成講座編集委員会 2）「医学一般（第4版）」 3）中央法規出版 4）2500円（税別） 5）978-4-8058-2826-7

履修コード	066301・066311
科目名	介護概論
担当者名	金美辰

講義のねらい 介護の役割と福祉サービスの援助者に求められる倫理観を踏まえ、援助者としての基本的姿勢を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 介護とは何かについて考え、介護福祉の概念や福祉サービスの援助者に求められる倫理について法律や専門生の観点から学習し、利用者主体の介護とその具現化としての実践の技法について学ぶ。

1. オリエンテーション
2. 介護とは何か：介護のイメージ
3. 介護の歴史
4. 利用者理解
5. 利用者主体とは何か
6. 介護福祉士に求められる倫理
7. コミュニケーション技法等介護技術総論
8. 認知症高齢者への理解
9. 認知症高齢者への理解
10. 施設介護・在宅介護
11. 介護保険について
12. 施設における危機管理・福祉用具
13. チームアプローチ
14. 試験

成績評価の方法 出席状況：20% 課題達成度：20% 定期試験：60%
教科書 「臨床に必要な介護概論」 弘文堂 2,625円
参考書等 介護福祉学 介護福祉学研究会 中央法規

履修コード	066401・066411
科目名	介護技術
担当者名	金美辰

講義のねらい 高齢や障害によって阻害されている生活上のニーズや課題に対して利用者の個別性を配慮し、自立支援の視点にたった援助方法を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 介護技術の基礎知識や介助時の留意点についての講義やグループでの演習を通して、利用者の自立支援の視点にたった介護技術を学ぶ。

1. オリエンテーション
2. 援助に必要な技術：コミュニケーション・観察・アセスメント
3. 環境整備：居住環境の安全
4. 運動・移動の技法：ボディメカニクス・上方移動・水平移動
5. 運動・移動の技法：体位変換
6. 運動・移動の技法：移乗・移動介助
7. 食事介助（講義）
8. 食事介助（演習）
9. 排泄介助
10. 排泄介助
11. 衣生活の支援
12. 福祉機器と活用法
13. まとめ

履修上の留意点 グループでの演習授業であり、前後授業の関連性が高いので出席・授業態度を重視する。

成績評価の方法 出席状況：30% 授業態度：30% レポート：40%

教科書 『介護技術III 介護福祉士養成講座』（中央法規）

参考書等 講義の中で紹介する。

その他 実技演習授業であるので動きやすい服装が望ましい。

履修コード	066521
科目名	心理学(福祉)
担当者名	高橋 良博

講義のねらい	本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。 1. 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得、および日常生活と心の健康についての理解。 2. 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。 3. 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。
講義の内容・授業スケジュール	1. 講義についてのオリエンテーション 2. 心理学の定義・心理学の領域・心理学研究法 3. 欲求・動機づけ 4. 感情・情動 5. 感覚・知覚・認知 6. 学習・記憶・思考 7. 知能・創造性 8. 人格 9. 適応と不適応 10. 発達段階と障害発達 11. 発達課題と高齢期 12. 発達の障害と発達援助 13. 心理的援助技術の概要(1) 14. 心理的援助技術の概要(2) 15. 試験 (上記の講義スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合もある。)
履修上の留意点	履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛を保つこと。講義中、私語などの迷惑行為が目立つ場合、教場外への退出をもとめることもある。
成績評価の方法	筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを得点化して総合的に評価を行う。
教科書 参考書等	福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 心理学』(中央法規) 講義中、指示する。

履修コード	066601
科目名	心理検査法
担当者名	稲富 正治

講義のねらい	多くの心理検査(性格傾向を見る検査、ストレスを見る検査、人間関係を見る検査など)の体験を通して、その結果から自分を知り、また人を知り、そして臨床において人への関わりとはどのようなことかなどを学ぶことを目的としている。
講義の内容・授業スケジュール	心理検査には「質問紙法」「投影法」「作業検査法」などがありますが、最初は、広く使われており、施行も簡単な質問紙法の中で「Y-G性格検査」や「TEG(人間関係のパターンを知る)」などから始まり、性格傾向だけでなく、自分のストレス状況などを知る検査(CMI)などを通して、自己理解を深め、同時に人を知ることとはどういうことかなどを考える材料にしてもらいたいです。後半には知能検査(「ウェクスラー式知能検査」)を学生同士取り合います。ただ机に向かって質問に答えるだけの検査から、人と向き合いながら取り合う検査の難しさ、重要性などを学んで欲しいと思っています。検査用紙以外にも、絵画を用いた絵の分析や自己紹介の文章などから自分の傾向を知ったり、いろんな角度から自分を観察していきたいと思っています。 1年を通して、全部で7~8種類の心理検査を行いますが、コミュニケーショントレーニングの一環としてのエクササイズ(ゲーム的な要素を持つもの)の体験を通してコミュニケーションも大事にしていきたいと思っています。
履修上の留意点	基本的に出席を大事にします。実習などは別として、なるべく出席してもらい、一緒に臨床を考えていきたいと思っています。
成績評価の方法	また、心理検査代として、1年間で実費1500円ほどかかりますので、ご了承下さい。 後期テストの成績と出席日数を点数化し、合計して成績を出します。基本的には、授業での心理検査を体験し、結果を出しておけば、答えられる問題です。
教科書	特にありません。必要なものは適時配りたいと思います。

履修コード	066701
科目名	精神保健学
担当者名	坂村 雄 <small>さかむら ゆう</small>

講義のねらい 精神保健とは精神の健康に関する公衆衛生であり、狭義には精神疾患の予防と治療、リハビリテーション、広義には精神的健康の保持と増進を目的とする諸活動である。精神医学、心理学等、精神保健に関するバックグラウンドは広いので、精神障害、異常心理などの解説をしながら、理解を深められる様に講義するが、精神保健福祉士の実践にも役立つ様、臨床的内容とし、単なる学問的知識でなく、実際に現場で働いていくために必要な知識を与えたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール 前期は精神的健康とはどのようなことか、精神保健を学んでいく上で必要な精神症状、精神疾患の要点、精神保健的対応の現状について主に学び、後期は、家庭、学校、職場等各環境において問題となっているテーマにつき具体的に検討する。

成績評価の方法 出席、レポート、試験などを総合的に評価する。

教科書 『精神保健入門』改訂第2版（八千代出版）

履修コード	066801
科目名	精神保健福祉論I
担当者名	佐藤 光正 <small>さとう こうせい</small>

講義のねらい 近年、こころの問題は広く国民的問題となっている。ここでは障害者福祉の理念と施策の理解等を踏まえながら、精神障害者の障害特性（疾病と障害の共存）、処遇、特に偏見や差別の歴史を学び現状認識を深め、精神障害と福祉について考える。さらに行政・司法・教育・労働など広範に求められる精神保健福祉についても理解を深める。またそれらの理解をとおして精神障害者を生活の視点で支える精神保健福祉士の役割と実践について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回～4回 精神保健福祉の大きな変化
- 第5回～8回 障害者福祉の理念と意義
- 第9回～12回 精神障害者福祉の歴史と理念
- 第13回～14回 精神障害者の人権
- 第15回 まとめ
- 第16回～18回 精神保健福祉士の理念と意義
- 第19回～21回 精神障害者に対する相談援助活動
- 第22回～24回 精神保健福祉法・精神保健福祉士法
- 第25回～29回 その他関連施策
- 第30回 まとめ

履修上の留意点 障害ごとの縦割りの援助ではもはや現場では対応できない時代になった今、精神保健福祉士をめざす学生だけではなく、社会福祉士をめざす学生にも履修が望ましい。なお「精神保健福祉論II」とはセットであるため併せての履修が効果的である。

成績評価の方法 平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）および授業中のテストなどにより総合的に評価する。

教科書 『改訂第3版精神保健福祉士養成セミナー第4巻 増補新版 精神保健福祉論』、へるす出版、¥3800+税、ISBN978-4-89269-585-8

参考書等 必要に応じて随時紹介する。

履修コード	066901
科目名	精神保健福祉論II
担当者名	佐藤 光正

講義のねらい	「精神保健福祉論I」とのセット科目である。ここでは偏見や差別のなか地域において、精神保健福祉活動がどのように行われているか、また精神障害者の地域生活の実態を学び、地域における生活支援の重要性を認識する。
講義の内容・授業スケジュール	ビデオ教材等を中心に行う。また必要によっては障害当事者や実践家の人たちにも実際に教場に来てもらい、体験的な理解を深める。 第1回～7回 ビデオで見る精神障害者と地域生活支援活動 第5回～9回 精神障害者の生活実態～当事者の声～ 第8回～10回 精神障害をもつ家族の思い～家族の声～ 第10から14回 地域における精神保健福祉活動～実践家の話～ ○保健所、社会復帰施設、○ボランティア活動、○ホームヘルプなど
履修上の留意点	障害ごとの縦割りの援助ではもはや現場では対応できない時代になった今、精神保健福祉士をめざす学生だけではなく、社会福祉士をめざす学生にも履修が望ましい。なお「精神保健福祉論I」とはセット科目であるため併せての履修が効果的である。
成績評価の方法	平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）および授業中のテストなどにより総合的に評価する。
教科書 参考書等	特に指定しない。 必要に応じて随時紹介する。

履修コード	067001
科目名	精神保健福祉援助技術各論
担当者名	上野 容子

講義のねらい	精神保健福祉援助技術の具体的な方法やそのあり方、倫理感について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	(1)～(2)・精神障害者の生活状況 (3)～(5)・ケースワークの定義、原理と原則・ケースワークのプロセス・具体的な事例 (6)～(8)・グループワークの定義、原理と原則・グループワークの展開・具体的な事例 (9)～(10)・当事者活動とその支援 (11)～(12)・家族に対する支援 (13)～(17)・コミュニティワークの定義と原則・コミュニティワークの展開プロセス・コミュニティワークの課題・ボランティア活動 (18)～(21)・ケアマネジメントの歴史的背景・ケアマネジメントの定義と構成要素・精神障害者に対する福祉サービスとしてのケアマネジメントの特徴・ケアマネジメントのプロセス・具体的な事例 (22)～(23)・チームアプローチと連携・チームアプローチにおける精神保健福祉士の役割 (24)～(25)・スーパービジョンの意義と構造
履修上の留意点	・精神保健福祉論、精神医学を履修済みの前提で授業を進めます。 ・グループでの演習をとり入れるので、話し合い、発表、レポートがあります。
成績評価の方法	・演習毎のレポート、平常点（出席状況）
教科書	『精神保健福祉援助技術各論』（中央法規）2,500円 『精神保健福祉援助技術演習』（中央法規）

履修コード	073401
科目名	環境心理学
担当者名	西出 <small>にしで かずひこ</small> 和彦

講義のねらい	人間がより豊かで多様な関わりを持てる環境を作るために、人間が環境をどのように知覚・認知しているか、あるいは環境における人間行動・生態など、人間が本来的に持つ性質を実証的に明らかにする観察・実験例（環境行動研究：Environment-Behavior Studies）をもとに、それを基盤とした人間の観点に基づく環境デザインの理論的背景を得ることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1) 環境心理学の概観・問題意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境デザインの意義、近代建築の功罪、建築計画学と環境心理学 <p>2) 人間の心理・行動とそのデザインへの応用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境と行動・環境のアフォーダンス、プロクセミクス・パーソナルスペース、テリトリー・ディフェンシブルスペース、空間の知覚・認知、ウェイファインディング <p>3) 建築計画学における環境心理研究・実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいと環境心理学・都市と環境心理学・学校と環境心理学・病院と環境心理学・仕事の場と環境心理学
履修上の留意点	日常生活に関連する事柄が多いので、日頃から自身の行動、周辺環境との関わりについて興味を持っていること。
成績評価の方法	レポートによる。
参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・日本建築学会編：人間環境学、朝倉書店、1998 ・高橋鷹志、長澤泰、西出和彦編：シリーズ<人間と建築>1 環境と空間、朝倉書店、1997 ・ジョン・ラング著、高橋鷹志監訳「建築理論の創造 建築デザインにおける行動科学の役割」鹿島出版会（1992）

履修コード	074101
科目名	精神医学（夏季集中）
担当者名	<small>みやぐち はじめ</small> 山口 一

講義のねらい	精神医学は医師だけに必要な知識ではない。本講義では、将来、臨床心理・精神保健福祉・介護・社会福祉・作業療法などの分野に進む人にとって必要となる知識に重点を置き、精神医学を幅広く理解することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	<p>〔前期〕（1）イントロダクション・講義全体の概要（2～5）主に心因による精神障害（心身症・神経症など）（6～12）主に内因による精神障害（統合失調症・躁うつ病など）（13～15）主に器質因による精神障害</p> <p>〔後期〕（1）イントロダクション・講義全体の概要（2～6）児童・青年期精神医学（発達障害など）（7～10）性格のかたより（人格障害など）（10～15）病院精神医療・地域精神医療など</p>
履修上の留意点	できるだけ出席し、ノートなどをとるよう心がけてください。
成績評価の方法	出席状況とレポートで評価します。
教科書	特別指定しません。推薦書物は授業の中で紹介。
その他	授業日程：8/24（月）、26（水）、27（木）、31（月）、9/2（水）、3（木） ★ <u>日程に注意のこと。</u>

履修コード	091001
科目名	社会政策
担当者名	光岡 博美

講義のねらい

社会政策という科目は、経済学のなかでも古い歴史をもっている。その詳細については最初の講義で解説する。この講義計画では、社会政策とは、資本主義社会の各々の時代において発生する社会問題の原因を学問的に究明し、その問題を解決するための政策を多面的に研究することを目的とする学問である、と定義しておきたい。そして、この場合、社会政策という学問のなかで特に重視されてきたのは、労働問題や社会保障・福祉 etc といった社会問題である。経済学という研究の分野は、財・サービスの生産・分配・消費に関する研究としてイメージされるが、これにたいして社会政策は労働力と生命の再生産が、どのような社会・経済のシステムとの関連で展開されているのかを研究する学問であるといつてよい。

講義の内容・授業スケジュール

このような大きな領域を全般的に講義することは不可能であるから、この講義では現代の日本社会を念頭に置き、そこで重要と思われるテーマを設定し、各々のテーマについて講義、解説する。

年間の具体的な講義スケジュールは、(1)現代日本の労働・雇用問題(5回)、(2)社会政策、労働関係、労働組合の理論(5回)、(3)戦後日本の労使関係史(6回)、(4)福祉国家の歴史と理論(3回)、(5)日本型福祉の現実(3回)、(6)現代日本の女性労働、フェミニズム論、(3回)を予定している。

履修上の留意点

受講者数が多いせいもあり、私語によって、授業が円滑に進行しないことがある。授業に支障が生ずる場合、厳しい措置を取る。

成績評価の方法
参考書等

期末試験で評価する。具体的な内容は授業時に詳しく説明する。

講義の内容と関連して参考書を適時指示する。また、毎講義ごとにレジュメを配布する。

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	ふじもと 1 げん 藤本 茂

講義のねらい	<p>今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではいられません。</p> <p>この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法制定などです。</p> <p>本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。</p> <p>詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 労働法の基礎的考え方 (2) 日本型雇用システムの変化と労働法 (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合 (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴 (5) 雇用における男女平等 (6) 集团的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約 (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間 (8) 人事異動－配転、出向、転籍 (9) 賃金、賞与、退職金 (10) 労働時間、時間外・休日労働 (11) 休憩、休日、休暇 (12) 雇用の出口－解雇、定年、退職 (13) 労働災害など
履修上の留意点	<p>出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No。そして無断で席を立つことも No。いわゆる授業のマナーは守ってください。配布プリントは取り上げる項目を列挙したレジメや資料です。教科書は必要です。予習や復習をする上でも欠かせないでしょう。</p> <p>憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。</p>
成績評価の方法	<p>成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価がつきません。レポートや中間試験そして出席も考慮して評価をします。</p> <p>追試験は実施します。</p>
教科書	<p>教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所2009）。「参考書等」も第1回で示しますが、最低1冊は、購入して自宅学習に使ってください。</p>
参考書等	<p>概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。</p> <p>六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、第1回授業で配布するプリントで。</p>
その他	<p>各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。</p>

履修コード	117501
科目名	経済原論
担当者名	村松 幹二 <small>むらまつ かんじ</small>

講義のねらい	経済学の基礎概念を学び、現代経済への理解を深めることを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期は、ミクロ経済学について、消費者行動、企業行動、市場競争と政府の役割を解説する。 1. ミクロ経済学とは：需要と供給（1～2） 2. 消費者行動の理論（3～5） 3. 企業行動の理論（6～8） 4. 市場競争（9～10） 5. 市場の失敗と政府の役割（11～13） 6. 不完全情報の経済学（14～15） 後期は、マクロ経済学について、マクロ経済学の考え方と日本経済の現状、国際経済について解説する。 1. マクロ経済学とは：国民経済計算（1～2） 2. 有効需要と乗数メカニズム（3～4） 3. 貨幣の機能（5～6） 4. インフレと失業（7～8） 5. マクロ経済政策とIS=LM分析（9～11） 6. 経済成長（12～13） 7. 国際マクロ経済学（14～15）
成績評価の方法	成績評価は、授業内試験および定期試験による。
教科書	「入門経済学」第3版、伊藤元重、日本評論社、2009年

履修コード	067121
科目名	ソーシャルワーク演習
担当者名	川上 富雄 <small>かわかみ とみお</small>

講義のねらい	本学では、相談援助演習をソーシャルワーク演習及び社会福祉援助技術演習I・社会福祉援助技術演習IIの3科目に分けて指導することとしている。ソーシャルワーク演習では、具体的な課題別の多数の相談援助事例を取り上げ、社会福祉士に求められる総合的・包括的な援助について実践的に習得する。
講義の内容・ 授業スケジュール	（1）オリエンテーション（2～13）事例研究（知的障害者、社会的排除、児童虐待、高齢者虐待、DV、低所得者、ホームレス、がん告知患者、HIV感染者、危機状態にある利用者の権利擁護活動、施設福祉の相談援助事例、地域福祉の基盤整備と開発に関する相談援助事例（14）総まとめI（社会福祉士として必要な倫理とは何か）（15）総まとめ2（今後の学習において体得すべき知識・技術は何か） （授業スケジュールは進度に応じて若干の調整を行う場合がある）
履修上の留意点	受講の条件として、前期の「社会福祉援助技術現場実習I」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。
成績評価の方法	単位取得のためには、授業への出席が必須となる。また、指定された発表を行うこと、平常点、及び課題レポートを総合して評価する。
教科書 参考書等	開講時に指示する。 『社会福祉士実践事例集II』（社団法人日本社会福祉士会編・中央法規）

履修コード	067141
科目名	社会福祉援助技術現場実習I
担当者名	川上 <small>かわかみ</small> 富雄 <small>とみお</small>

講義のねらい

- ・社会福祉援助技術現場実習の意義の理解
- ・社会福祉専門職の業務の理解
- ・社会福祉施設・機関の特徴・役割の理解
- ・配属実習に向けた心構え／倫理観の形成
- ・各自の配属実習希望分野の明確化

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解するとともに、社会福祉専門職の業務、社会福祉施設・機関の特徴・役割について理解を深めます〔通年〕。また、この授業は配属実習を含む社会福祉援助技術現場実習IIの事前学習であるため、配属実習に向けた心構え／倫理観の形成を目指し、また各自の配属実習希望分野を明確にします〔通年〕。授業形態としては、ビデオ教材の視聴、グループディスカッション、プレゼンテーション〔前期〕、福祉現場の専門従事者からの話題提供、配属実習修了者との意見交換〔後期〕、を行います。またこの授業において、配属実習のスクリーニングが実施されます〔前期終盤〕。なお、この授業は変則的な開講形態を採用しています。詳しくは初回の授業で説明します。

履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。原則として、無断欠席は認められません。

成績評価の方法

出席、レポート、授業への参加状況等により総合的に評価します。

教科書

特に指定しません。必要な資料を随時配布します。

参考書等

授業のなかで随時指示します。

その他

この授業は社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

この授業の単位未修得者は、原則として社会福祉援助技術現場実習II、精神保健福祉援助実習の履修を認めません。

履修コード	058451
科目名	家族とジェンダーの社会学A
担当者名	松信 <small>まつのぶ</small> ひろみ

講義のねらい

本講義のテーマは、現代の結婚と家族にかかわる諸現象や問題を、社会学的な観点から考察することである。統計的なデータから、さまざまな現象や問題に関する現状を読み取り、その現状を社会学的な観点から把握できる能力を養うことが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の前半では、家族社会学の基本的な考え方を解説し、近代家族から現代家族への変遷の過程について説明する。授業の後半では、現代家族をめぐる具体的な現象や問題を取り上げ、各々について統計的なデータなども用いて現状の解説と社会学的な観点からの検討を行う。具体的には、未婚化・晩婚化の進展、離婚の増加、少子・高齢化、共働き家族の仕事と家庭生活の調和の問題などを取り上げて検討してゆく。

第1回 家族変動と家族のゆくえ
 第2回 家族機能の変化
 第3回 ライフコースと家族
 第4回 ネットワークと家族
 第5回 新しい家族のかたち①事実婚や同性婚
 第6回 新しい家族のかたち②ステップ・ファミリー
 第7回 家族の個人化・リスク化
 第8回 恋愛と結婚と家族
 第9回 シングルライフ
 第10回 性別役割分業と家族
 第11回 少子化と子育て支援①少子化の現状
 第12回 少子化と子育て支援②ワークライフバランスと子育て支援
 第13回 高齢化と家族①高齢化の現状
 第14回 高齢化と家族②家族の介護と看取り
 第15回 まとめ

成績評価の方法

平常点（出席・コメントペーパー）30%、レポート70%

教科書

増子勝義編著『新版新世紀の家族さがし・おもしろ家族論』学文社、2007

参考書等

適宜紹介する

履修コード	058461
科目名	家族とジェンダーの社会学 B
担当者名	まつのぶ 松信 ひろみ

講義のねらい 本講義のテーマは、ジェンダーの観点から現代社会の諸現象や問題を考察することである。さまざまな現象や問題に関して、ジェンダーの観点を導入することにより見えてくる新たな問題性の把握と、その問題について社会的な観点から把握できる能力を養うことが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール 授業の前半では、ジェンダーについての基本的な考え方を解説する。授業の後半では、ジェンダーにかかわる具体的なトピックについて、統計的なデータなども用いて現状の解説と社会的な観点からの検討を行う。具体的には、多様な性の存在、性別役割分業、雇用と就労、性的暴力、性の商品化、リプロダクティブ・ヘルス&ライツ、ケアの担い手などである。

第1回 ジェンダーとは
 第2回 多様な性の存在①ジェンダーとセクシュアリティ
 第3回 多様な性の存在②セクシュアル・マイノリティの現状
 第4回 性別社会化とジェンダー
 第5回 ケアの担い手とジェンダー①育児
 第6回 ケアの担い手とジェンダー①介護
 第7回 雇用・就労とジェンダー①性別職域分離
 第8回 雇用・就労とジェンダー②労働環境におけるジェンダー格差
 第9回 リプロダクティブ・ヘルス&ライツ①生殖にかかわる南北問題
 第10回 リプロダクティブ・ヘルス&ライツ①不妊と生殖医療
 第11回 暴力とジェンダー①セクシュアル・ハラスメント
 第12回 暴力とジェンダー②ドメスティック・バイオレンス
 第13回 性の商品化とジェンダー①性の商品化とは
 第14回 性の商品化とジェンダー②ポルノグラフィーや売春はいけないことなのか？
 第15回 まとめ

成績評価の方法 平常点（出席・コメントペーパー）30%、レポート70%

教科書 開講時に指示する

参考書等 適宜紹介する

履修コード	058711
科目名	犯罪と逸脱の社会学 A
担当者名	おかべ たけし 岡邊 健

講義のねらい 最初に、犯罪社会学や社会問題の社会学の基本的な考え方、対象、方法について概観し、つぎに、わが国の刑事司法のプロセスや官庁統計でみた犯罪動向を概説する。

その上で近年の研究動向をふまえて、ドメスティック・バイオレンス、貧困問題など、今日の犯罪・社会問題研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討したい。

ステレオタイプに陥ることなく、犯罪や社会問題を社会的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール (1)犯罪社会学とは何か(2~3)犯罪社会学の方法(4~6)刑事司法のプロセス(7~8)官庁統計でみた犯罪の動向と現状(9~14)今日の犯罪・社会問題研究の論点(15)まとめ

履修上の留意点 駒澤大学の e ラーニングシステム (YeStudy) を利用する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

成績評価の方法 期末試験と講義内で提出を求める課題により評価する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

教科書 矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』(2004年刊、学陽書房、1995円、ISBN:4313340084)
 下記のほか、講義の中で随時紹介する。

参考書等 小林寿一編『少年非行の行動科学——学際的アプローチと実践への応用』(2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047)

履修コード	058721
科目名	犯罪と逸脱の社会学B
担当者名	おかべ たけし 岡邊 健

講義のねらい 最初に、社会解体論、分化的接触論、アノミー理論など、犯罪・非行の主要な説明理論を概説し、ついで、ラベリング論をはじめとする「犯罪研究における視点の転換」の態様について紹介する。その後、今日のが国の犯罪動向を、犯罪報道の諸問題とあわせて検討した上で、少年非行言説、高齢者による犯罪など、今日の犯罪・社会問題研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討したい。ステレオタイプに陥ることなく、犯罪や社会問題を社会学的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール (1~5)犯罪・非行の説明理論(6~8)犯罪研究における視点の転換(9~10)今日の犯罪動向と犯罪報道(11~14)今日の犯罪・社会問題研究の論点(15)まとめ

履修上の留意点 駒澤大学の e ラーニングシステム (YeStudy) を利用する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

成績評価の方法 期末試験と講義内で提出を求める課題により評価する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

教科書 矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』(2004年刊、学陽書房、1995円、ISBN:4313340084)

参考書等 下記のほか、講義の中で随時紹介する。
小林寿一編『少年非行の行動科学—学際的アプローチと実践への応用』(2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047)

履修コード	067241・067251・067261・067271・067281
科目名	社会福祉援助技術現場実習II
担当者名	あらい ひろみち いとう しゅういち きりはら ひろゆき とうじょう みつまさ ながお じょうじ 荒井 浩道・伊藤 秀一・桐原 宏行・東條 光雅・長尾 誠治

講義のねらい 社会福祉援助技術現場実習IIでは、社会福祉援助技術現場実習Iでの学習内容を受け、相談援助実習を行うに際しての事前指導、実習中の巡回指導、実習終了後の継続指導(体験発表、実習リポート原稿作成等)を行う。これらの指導を通じ、次の諸点を体得することが教育目標及び達成課題となる。

①個別指導及び集団指導を通じ、相談援助実習の体系及び意義を理解する。
②実習事前指導(実習先で必要な介護・保育等の体験学習、相談援助技術及びその知識の再確認、現場体験プレ学習)を通じ、実習先で必要とされる相談援助の知識・技術・福祉倫理(個人情報保護法を含むプライバシー保護と守秘義務)について理解する。
③各自が実習計画において実習課題として取り上げた内容について、現場体験を踏まえながら個別具体的に理解・解決し、自らの専門知識・技術の実践的再確認を行う。

講義の内容・授業スケジュール (1)実習事前オリエンテーション (2)実習におけるプライバシー保護・守秘義務に関する説明と実例研究、実習記録ノートの書き方に関する説明と質疑応答、実例の提示 (3~6)実習計画の作成 (7~9)相談援助技術の再確認及び介護・保育等の体験実習(車いす・介護用ベッドを用いての実技指導) (10~11)見学実習及び現場体験学習(実習先訪問) (12~21)各自の実習体験発表 (22~25)テーマ別体験発表 (26~29)実習体験個別フィードバック(実習評価の提示、課題の整理など) (30)授業及び実習の評価全体総括会
(実習科目の性格上、授業スケジュールは進度に応じて若干の調整を行う場合がある)
※実習巡回指導は、各自の配属実習中に、実習先への個別訪問として行う。
※実習総括リポート原稿作成は、実習終了者から順に、個別指導として行う。

履修上の留意点 受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習I」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。
クラス分けは事前に提示するので、指定されたクラスで受講すること。

成績評価の方法 授業への出席状況・個別発表状況とリポート原稿提出、及び実習先での勤務状況・評価表等を総合的に評価する。

教科書 開講時に指示する。

参考書等 『社会福祉士実践事例集II』(社団法人日本社会福祉士会編・中央法規)

履修コード	067621
科目名	社会福祉援助技術現場実習Ⅲ
担当者名	長尾 謙治・荒井 浩道・伊藤 秀一・川上 雷雄・桐原 宏行・東條 光雅

講義のねらい

社会福祉援助技術現場実習Ⅲでは、福祉現場において、実習指導者および実習担当教員のもとで、次の諸点を体験的かつ実践的に習得することが教育目標及び達成課題となる。

- ①社会福祉援助技術の実際や具体的内容、福祉現場の抱える課題・各専門職の職務・福祉倫理等について、福祉現場における直接経験学習に基づいて総合的に把握する。
- ②社会福祉士としての資質と職業倫理、他の専門職との連携のあり方、自己に求められる今後の学習課題等を実践的に把握する。福祉現場において、実習指導者のもとで、相談援助の知識及び技術について具体的に指導を受けるとともに、社会福祉士としての資質と職業倫理、他の専門職との連携のあり方、自己に求められる今後の学習課題等を実践的に把握する。

講義の内容・授業スケジュール

本科目は福祉現場における体験学習であり、各実習先での180時間以上にわたる実習の中で実習指導者による指導を受け、主として次のような内容・方法で、社会福祉士に求められる知識・技術を習得していくことになる。

- (1) 利用者とその関係者・施設・職員・地域住民やボランティアとのコミュニケーション技術の習得
- (2) 利用者のニーズの理解と需要の把握、個別支援計画の作成実習
- (3) 相談援助面接への同席等による個別援助技術の実践的理解
- (4) 実習先における集団援助技術の取り組みに関する実践的理解
- (5) 実習先における地域社会への働きかけに関する実践的理解
- (6) 他職種業務内容や管理運営面・職員就業規則等に関する実務の把握・他職種連携(チームアプローチ)の実際の把握、チームの一員としての役割・責務の自覚的理解
- (7) 実習巡回指導による学生の課題達成状況の確認及び実習先との指導上の連絡調整
- (8) 帰校日指導による学生の実習状況の確認、個別指導

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

クラス分けは事前に提示するので、指定されたクラスで受講すること。

成績評価の方法

実習への出席状況、実習巡回指導時の実習指導者からの所見、帰校日指導への出席状況、実習評価表の評価内容を総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

『新・社会福祉施設現場実習指導マニュアル』(全国社会福祉協議会)

履修コード	067641・067651・067661・067671・067681
科目名	社会福祉援助技術演習Ⅰ
担当者名	荒井 浩道・長尾 謙治・村田 一昭・讃岐 真佐子・川上 雷雄

講義のねらい

本学では、相談援助演習をソーシャルワーク演習及び社会福祉援助技術演習Ⅰ・社会福祉援助技術演習Ⅱの3科目に分けて指導することとしている。社会福祉援助技術演習Ⅰでは、社会福祉援助技術演習Ⅱと合わせ、ソーシャルワーク演習の様々な事例研究で学んだ相談援助技術について、主としてロールプレイによる実技指導の形式で体得することを授業の主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈相談援助の基本〉
- (1～3) 自己覚知 (4～5) 基本的コミュニケーション技術 (6～8) 基本的面接技術
- 〈課題別相談援助演習の実技指導〉
- (9～20) 様々なケースに関する相談援助演習(児童虐待、障害者の自立、DV、ホームレス、危機状態にある利用者の権利擁護など、各種相談援助のロールプレイ)
- 〈集団援助技術の実技指導〉
- (21～25) 集団援助技術の立案・実践・振り返り(ロールプレイ)
- 〈地域福祉の基盤整備と開発に関する実技指導〉
- (26～29) 地域援助技術の実技指導(ロールプレイ)
- 〈総まとめ〉
- (30) 相談援助実習(社会福祉援助技術現場実習Ⅲ)後における各自の援助技術・知識に関する体験の交流

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習ⅠとⅡは2時限連続の授業として開講している。したがって、日程・各回のテーマはⅠとⅡでは同一となり、それぞれのテーマについて、より深く実技指導を行う。

なお受講の条件として、前期の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」及び「ソーシャルワーク演習」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

クラス分けは事前に提示するので、指定されたクラスで受講すること。

成績評価の方法

単位取得のためには、授業への出席が必須となる。また、ロールプレイ(実技指導)への参加状況、平常点、及び課題レポートを総合して評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

『社会福祉士実践事例集Ⅱ』(社団法人日本社会福祉士会編・中央法規)

履修コード	068041・068051・068061・068071・068081
科目名	社会福祉援助技術演習II
担当者名	荒井 浩道・長尾 謙治・村田 一昭・讃岐 真佐子・川上 富雄

講義のねらい 本学では、相談援助演習をソーシャルワーク演習及び社会福祉援助技術演習Ⅰ・社会福祉援助技術演習Ⅱの3科目に分けて指導することとしている。社会福祉援助技術演習Ⅱでは、社会福祉援助技術演習Ⅰと合わせ、ソーシャルワーク演習の様々な事例研究で学んだ相談援助技術について、主としてロールプレイによる実技指導の形式で体得することを授業の主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

〈相談援助の基本〉
 (1～3) 自己覚知 (4～5) 基本的コミュニケーション技術 (6～8) 基本的面接技術
 〈課題別相談援助演習の実技指導〉(9～20) 様々なケースに関する相談援助演習(児童虐待、障害者の自立、DV、ホームレス、危機状態にある利用者の権利擁護など、各種相談援助のロールプレイ)
 〈集団援助技術の実技指導〉
 (21～25) 集団援助技術の立案・実践・振り返り(ロールプレイ)
 〈地域福祉の基盤整備と開発に関する実技指導〉
 (26～29) 地域援助技術の実技指導(ロールプレイ)
 〈総まとめ〉
 (30) 相談援助実習(社会福祉援助技術現場実習Ⅲ)後における各自の援助技術・知識に関する体験の交流

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習ⅠとⅡは2時限連続の授業として開講している。したがって、日程・各回のテーマはⅠとⅡでは同一となり、それぞれのテーマについて、より深く実技指導を行う。

なお受講の条件として、前期の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」及び「ソーシャルワーク演習」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

クラス分けは事前に提示するので、指定されたクラスで受講すること。
 単位取得のためには、授業への出席が必須となる。また、ロールプレイ(実技指導)への参加状況、平常点、及び課題レポートを総合して評価する。

教科書参考書等

開講時に指示する。
 『社会福祉士実践事例集Ⅱ』(社団法人日本社会福祉士会編・中央法規)

履修コード	068501
科目名	精神科リハビリテーション学
担当者名	城田 晴夫

講義のねらい この授業では、通年を通して精神科リハビリテーションに必要な視点、どう関わっていったら良いのか、精神科リハビリテーションでは、精神疾患をどのように捉えているのか、そして精神科リハビリテーションとは何かを講義していきます。

講義の内容・授業スケジュール

精神科で働いていけるように、臨床現場の経験を活かして、知識を覚える授業というよりも、実際に「わかる」授業を展開していきたい。その為、当事者の方の体験記も読んでもらうことになります。

前期(2～10)は、精神医学の歴史からスタートして、精神科リハビリテーションでは精神疾患をどのように捉えているかを扱い、その為どのような基本的なアプローチをとるのかを説明する。(11～15)は、臨床心理学的な視点を扱って、いかに信頼関係を築いていくかを扱う。

後期は、(16～22)で、関係の築き方を扱い、(23～30)で、障害について、精神科リハビリテーションとは何かを扱っていく。特に通年で「心理社会的リハビリテーション」を理解します。

履修上の留意点

実習等で授業を止むを得ず欠席した場合は必ず出席した学生より尋ねて講義内容を空白にしないようにしてもらいたい。毎回どれも重要な内容ばかりで、講義は連続ものなので出来る限り休まないように心懸けてほしい。

成績評価の方法

出席重視とレポート提出そして、学期末試験の3本立てで評価します。

教科書

国家試験を受験する学生は「精神科リハビリテーション学(へるす出版)」を必ず買うこと。教科書については、講義の初日で説明します。但し、中心は授業で配布するプリントが中心になると思います。

履修コード	068601
科目名	精神保健福祉援助演習
担当者名	佐藤 光正

講義のねらい	精神保健福祉士は、精神障害者の保健福祉に関する専門的な知識及び技術をもって、精神障害者の社会復帰、社会参加や自立を促進する相談業務等を担う。そのための具体的な援助技術の習得等を中心に演習を行う。
講義の内容・授業スケジュール	第1回～3回 利用者の理解 第4回～7回 コミュニケーション技術 第8回～11回 ケースワーク援助 第12回～14回 グループワーク援助 第15回 まとめ 第16回～19回 コミュニティワーク援助 第20回～26回 ケアマネジメント援助 第27回～29回 自己点検と自己理解 第30回 まとめ
履修上の留意点	授業への主体的な参加が必須である。なお履修にあたっては、予め許可された者（前年度に「精神保健福祉援助実習」履修のスクリーニングを受けて許可された者）のみとなる。
成績評価の方法	平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況等）を中心に総合的に評価する。
教科書等	特に指定しない。 必要に応じて随時紹介する。

履修コード	068701
科目名	精神保健福祉援助実習
担当者名	佐藤 光正

講義のねらい	実習は、精神保健福祉士をめざす者にとって大事な体験学習となる。そこでは、まず第一に現場の状況を知りそこで展開される現場での援助とこれまで学習してきた知識としての援助を結びつけて体験的に習得する必要がある。そして自己理解を深めることで、今後自分がめざす精神保健福祉士（精神保健福祉領域のソーシャルワーカー）の基礎を体験的に学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	実習に必要なこと、また実習の振り返りをとおして学びを深める。 第1回～4回 実習計画書作成 第5回～29回 振り返り ○精神障害者と精神医療の理解、○PSW業務の理解、○援助関係のあり方についての洞察 第30回 まとめ
履修上の留意点	すでに社会福祉全般の科目及び精神保健福祉に関する基礎的な科目を修めていることを前提とする。なお履修にあたっては、前年度のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。また授業および実習への主体的な参加が必須であることはいうまでもない。
成績評価の方法	授業での平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）もさることながら、年間をとおしたプロセスの中で”ほう（報告）、れん（連絡）そう（相談）”をしながら実習が行われたか、また実習先の評価等も総合的に評価する。
教科書等	特に指定しない。 必要に応じて随時紹介する。

II 專 門 教 育 科 目

7. 心 理 學 科

履修コード	070901
科目名	心理学概論
担当者名	間島 ^{まじま ひでとし} 英俊

講義のねらい 心理学が人間の心の理解を科学的に究明する学問のひとつである。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じである。講義では、諸君らがその目的を考えるために、心理学の各領域の基本的事実を、わたしたちの日常生活の中から説明していきます。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- ガイダンス
- 1 ひととなりを考える：パーソナリティ心理学
 - 2 自己から自己へのタイムトラベリング：発達心理学
 - 3 “こころ”のゆきづまり：臨床心理学
 - 4 人と人との絆：社会心理学、家族心理学
 - 5 みること・きくこと：知覚心理学
 - 6 学ぶこと・考えること：学習心理学、認知心理学
 - 7 ことばとコミュニケーション：言語心理学

履修上の留意点 これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行います。この講義は卒論、修論のデータ収集に率先して協力します。調査・実験協力者となることにより、次の諸君らの卒論における実施者として備えるためです。

成績評価の方法 基本的には12月最終講義時間にて実施される授業時間内試験(定期試験と同価値)にて評価される。出席や卒論調査、実験への参加状況からの救済処置もあります。

教科書参考書等 中村昭之編『心理学概説』八千代出版
講義にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席した者への後日配布はしないので、友人に願うかコピーにて補充のこと。

履修コード	071001
科目名	心理統計学
担当者名	宇佐美 ^{うさみ さとし} 慧

講義のねらい この講義の目的は、様々な学問分野において必要不可欠である統計学の中でも、特に心理学を含めた人文科学系のデータを扱う為の技術・理論である心理統計学の基礎を学ぶことである。

講義の内容・授業スケジュール 指定の教科書を中心に、講義形式でその内容を解説しながら、心理統計学的概念の理解を、データの読み取りや簡単な計算演習を織り交ぜて進めていく。講義は以下の順序に基づいて進める。

- 第1回 心理学と統計学(ガイダンス)
- 第2-4回 1つの変数のデータの記述：尺度水準と尺度変換・代表値・散布度
- 第5-7回 2つの変数のデータの記述：共分散・相関係数・連関計数、および復習
- 第8回 中間試験
- 第9回 標本と母集団の関係
- 第10-13回 正規分布と標準正規分布・標準誤差の解釈・推定と推定量
- 第14回 これまでの復習
- 第15回 期末試験

履修上の留意点 簡単な計算演習を幾らか行う都合で、電卓が必要になることがある為、各自用意しておく。

成績評価の方法 中間試験と期末試験の結果(4:6)に基づいて成績評価を行う。

教科書 山田剛史・村井潤一郎 よくわかる心理統計 ミネルヴァ書房 2800円
4-623-039999-4

参考書等 南風原朝和 心理統計学の基礎 有斐閣アルマ 2310円 978-4641121607

その他 なし

履修コード	071101
科目名	コンピュータ実習
担当者名	大塚 秀治 <small>れつつか ひではる</small>

講義のねらい 現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、心理学を専攻する大学生にとってのコンピュータの活用技術は今後の実験や実習湯を行う上で最低限習得しなければならない重要なスキルである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験していると思うが、本講義では心理学を学ぶ大学生に求められるコンピュータの利用法を徹底的に習得することを目標とする。従って、コンピュータ操作に関して高校卒業レベルの者が、独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う内容となる。さらに、実習を通じて自分の得た結果や事実、考えをまとめて発表するための方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 授業は全て実習形式で行う。概要はおおむね以下の通りである。具体的な内容は詳細スケジュールを参照されたい。

- ・パソコンの基本操作
- ・タッチタイピングの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・大学生として必要なドキュメント処理能力の習得 (MS-Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excel による集計、グラフ、データベース)
- ・プレゼンテーションの実際 (プレゼンテーションの基礎技術)
- ・電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・情報処理の基礎知識

初回の授業で実施日ごとの実習内容を示した詳細スケジュールを配布する (初回の授業は重要なので必ず出席すること)。

履修上の留意点 年間約30回コマの授業時間では絶対的学習時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となる。この科目では、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センターを利用するとよい。自分で所有しているパソコンでも自習は可能である。詳細は開講時に説明する。

総合情報センターの利用資格が必須である。入学時のオリエンテーションで利用資格の交付を受けること。

成績評価の方法 出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席点とはならない。なおこの科目は必修科目であるため単位の1年次に単位を取得しておかなければ上級学年で履修できる科目が制限される場合がある。1年次に取得できるように努力されたい。

教科書 教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意してくること。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。

参考書等その他 授業中に最新のものを指示する。
パソコンを独自に購入するのであれば Windows 系のパソコン (Windows-XP や Windows-Vista など) で MicroSoft Office2007 が導入されているものを購入するとよい。詳細や注意事項については開講時に解説する。なお、実習に必要な記憶メディアは心理学科が用意し、開講時に配布するので各自が事前に用意するものは無い。

履修コード	071201
科目名	コンピュータ実習
担当者名	かろべ せきひろ 軽部 幸浩

講義のねらい 言うまでもなく、現代社会においてコンピュータやコンピュータネットワークは必須のものである。コンピュータリテラシーは、大学生にとって最低限習得しておかねばならない基本技能の一つである。本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するツールとしてのコンピュータ利用法を徹底的に習得する。学生が独力でコンピュータを活用し、心理学実験レポートなどを作成したり、自分の考えを表現したりするために必要な力を養う。

講義の内容・授業スケジュール すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、必ずしも必要な知識や技能を習得できていないことも多い。初心に返って学習してもらいたい。授業は全て実習形式で行う。1つのテーマごとに1～5時限をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・タッチタイピングの完全習得 (TypeQuick を利用して)
- ・大学生として必要なドキュメント作成処理能力の習得 (MS-Word)
- ・表計算ソフトの習得 (MS-Excel 基礎、関数、グラフ、データベース、統計処理基礎)
- ・プレゼンテーションの実際 (プレゼンテーションの基礎技術と発表演習)
- ・電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・インターネット利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・情報科学の基礎 (データ内部表現、2進数と16進数、文字コード、基数変換等)

履修上の留意点 授業中の演習だけでは絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、総合情報センターの自習室を利用するとよい。自分で所有しているパソコンでも自習は可能である。詳細は開講時に説明する。

成績評価の方法 出席、タッチタイプ技能、小テスト、課題等の提出物を中心に理解度を総合的に評価する。特に総合演習課題の提出は必須とし、これの提出がない場合には単位取得できない。

経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についてこれなくなる。遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で単位取得資格がなくなる。なお、この科目は必修科目であるため単位の認定を受けられない者は翌年度の履修となるが、2年目は機器の関係で実習機器を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

教科書 授業中に配布するプリント教材。
配布された資料は過去のものを含めて持参せねばならない。
そのためにA4サイズのバインダーを用意する必要がある。

参考書等 GAKKEN COMPUTER MOOK (学習研究社)
『500円でわかるワード2007』 ISBN978-4-05-605029-5
『500円でわかるエクセル2007』 ISBN978-4-05-605028-8
『500円でわかるエクセル関数2007』 ISBN978-4-05-605133-9
これらは心理学実験実習費にて配布予定。各525円。

その他 大学の環境は Office2007 となっている。自宅等で Office2003 などを使用している場合には市販の参考書を利用のこと。課題は互換性に配慮し両バージョンにて作成可能なものにする予定である。また、Office 初期導入モデルでは PowerPoint が入っていないことがあるので、この場合には別途購入する必要がある。詳細は開講時に解説する。なお、実習に必要な記憶メディア (USBメモリー) は学科が用意する。

履修コード	071301
科目名	コンピュータ実習
担当者名	かろべ けいご 軽部 幸浩

講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。1つのテーマごとに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

【前期】

- [2] ・パソコンの基本操作
- [2] ・情報処理の基礎
- [2] ・ Internet 利用の実際と注意（マナーやモラルについて）
- [3] ・タッチタイピングの完全習得（Type Quick を利用して）
- [4] ・電子的コミュニケーション（電子メールの利用法）
- [4] ・情報の検索（WWWの利用法）
- [5～15] ・大学生として必要なドキュメント処理能力の習得（MS-Word）

【後期】

- [1] ・大学生として必要なドキュメント処理能力の習得（MS-Word）
- [2～12] ・スプレッドシートの習得（MS-Excel による集計、グラフ、データベース）
- [13～15] ・プレゼンテーションの実際（プレゼンテーションの基礎技術）

履修上の留意点

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回（1回2時間程度）の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センターを利用するとよい。自分で所有しているパソコンでも自習は可能である。詳細は開講時に説明する。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

教科書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意してくること。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。その他にフロッピーディスク数枚が必要となる。

参考書等その他

授業中に最新のものを指示する。
パソコンを独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンで MS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。なお、実習に必要な記憶メディアは学科が用意する。

【授業 Web】 <http://wwwint2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>

【e-Learning】 <https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	071901
科目名	人格心理学
担当者名	鈴木 常元

講義のねらい

人格心理学の理論とその背景について総合的に学ぶ。前期は、人格心理学の歴史的背景について解説した後、人格心理学のさまざまな理論を紹介していく。すなわち、精神分析的アプローチ、行動主義的アプローチ、現象学的アプローチである。後期には、人格形成に重点をおいた発達心理学的な立場を紹介し、最後に、人格の問題を異常心理学の観点から考える。それぞれの理論は、孤立したものではなく、お互いに関連し合っていることを、授業を進める中で理解してほしい。また、人格という複雑なトピックをさまざまな立場から総合的に理解することを目指し、心理学以外の分野の理論等も随時参照するので、幅広い知識を持った学生の受講を歓迎する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 ガイダンス
- 第2～3回 人格の定義・人格の研究史
- 第4～5回 精神分析的アプローチ
- 第6回 行動主義的アプローチ
- 第7～8回 現象学的アプローチ
- 第9回 その他のアプローチ
- 第10～11回 類型論と特性論
- 第12回 実験人格心理学
- 第13回 人格心理学と臨床現場
- 第14回 テスト
- 第15回 前期のまとめ
- 第16～17回 発達と人格－乳幼児期
- 第18回 発達と人格－青年期
- 第19回 発達と人格－成人期・老人期
- 第20回 発達と人格－家族
- 第21回 人格の正常・異常－統合失調症
- 第22回 人格の正常・異常－躁うつ病
- 第23回 人格の正常・異常－神経症
- 第24回 人格の正常・異常－人格障害
- 第25～26回 人格の正常・異常－多重人格
- 第27回 人格とストレス
- 第28回 人格のアセスメント
- 第29回 テスト
- 第30回 全体のまとめ

成績評価の方法
参考書等

学期末のテストの成績に、授業への出席を加味し、総合的に評価する。
 人格心理学－パーソナリティと心の構造 鈴木乙史・佐々木正宏 河出書房新社
 入門人格心理学 加藤義明・中里至正（編） 八千代出版
 性格心理学への招待 詫摩武俊ら サイエンス社

履修コード	072001
科目名	学習心理学
担当者名	小野 浩一 <small>おの こういち</small>

講義のねらい

心理学でいう「学習」は単にものを覚えたり技術を習得することではなく、もっと幅広い「行動の変化」全体を含んでいる。毎日同じような生活を繰り返しているように見えても、数ヶ月あるいは数年前の自分の行動と今の自分の行動は異なっている。たとえば、「前は嫌いだった中島みゆきの曲を聴くようになった」、「朝早く起きるようになった」、「最近友達に会うのがつらい」などいろいろな変化に気づくだろう。

学習心理学の目的は人間の行動の成り立ちや行動変化の原因を科学的に明らかにすることである。さらに望ましい行動を増加させたり問題行動を減少させたり、あるいは快適な社会関係を築く方法を探究する。従って、人間や人間の行動そのものに興味がある人はもちろんだが、将来ヒューマンサービスの仕事を目指す人にとっても学習心理学の知識は必須である。本講義は行動変化の2つの代表的な手続きであるレスポナント条件づけとオペラント条件づけを中心に、基礎的な知識から興味深い最新の研究までAV機器やビデオを併用して分かりやすく説明するつもりである。しかし、もともとテクニカルターム（専門用語）が多く内容も多岐にわたる領域なので、少しばかりの覚悟は必要である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 人間と行動：行動とは何か
 - ①人間は機械ではない—「元気が出たり」「へこたれる」生体である
 - ②行動は身体の変化である、そして、身体変化の原因は環境にある
2. 学習についての基礎知識
 - ①3種類の環境変化がある
 - ②2種類の行動に注目しよう：レスポナント行動とオペラント行動
3. レスポナント行動（刺激に誘発される行動）の学習
 - ①レスポナント条件づけの仕組み
 - ②レスポナント条件づけの基本現象：般化、弁別、消去
 - ③レスポナント条件づけはパブロフの条件反射だけではない：評価条件づけ、免疫機構の条件づけ、意識、感情の条件づけ
 - ④レスポナント条件づけについての新しい発見と考え方：味覚嫌悪学習、関係性の学習、複合刺激の学習
4. オペラント行動（結果によって変化する行動）の学習
 - ①結果の重要性—通行禁止！「忠告」「貼り紙」はなぜ効かない？
 - ②オペラント条件づけの基本：行動随伴性（強化と弱体化）
 - ③新しい行動の獲得：動物実験に学ぶ
 - ④行動を変化（増加、減少、維持、消失）させる手続き
 - ⑤行動は時と場所そして相手や状況によって変化する：刺激性制御
 - ⑥嫌悪刺激による行動の変化
5. ことばと行動—言語はオペラント行動である
 - ①ことばの基本：聞き手としての行動、名前づけ、刺激等価性
 - ②ことばの働き—どんなときに何を言うのだろうか
 - ③ことばによる行動の制御：ルール支配行動と言行一致訓練
6. オペラント条件づけ研究の展開
 - ①不確実場面における行動：確率学習、迷信行動
 - ②選択行動—今の10万円と3年後の15万円では？
 - ③なぜ行動はマンネリ化するのか：獲得と遂行、行動変動性
 - ④性格は個人に特有の行動パターン：遺伝と過去経験
7. 社会的行動

競争や協力関係は環境によって作られる
8. 応用行動分析

オペラント条件づけの知見を自分自身や社会に活かす
出席と定期試験による総合評価。評価に占める試験の成績の割合は80%とする。
小野浩一著『行動の基礎=豊かな人間理解のために』（培風館）

心
理
成績評価の方法
教科書

履修コード	072101
科目名	社会心理学
担当者名	有光 興記

講義のねらい 社会心理学と臨床—カウンセリング心理学の接点に焦点をあて、感情的、行動的問題の発現・診断・治療の過程を理解するために必要な社会心理学の基本的概念および理論について論ずる。

講義の内容・授業スケジュール 他者の「まなざし」をきっかけに、我々は恥、あがり、罪悪感を経験し、行動を制御するが、過度な内気から人づきあいが困難になることがある。また、他者への意識は、化粧、ダイエットなどの外見への配慮や様々な自己アピールにつながる。前期(1-15回)では、こうした他者の存在と我々の心理状態の関係について講義を行う。また、集団と組織の中での心理状態についても触れる。後期(16-30回)では、主として「あがり」をテーマに、社会的状況、感情状態、その結果の関係を明確にして、対策としてストレスマネジメント、メンタルトレーニング、認知行動療法などの手法を紹介する。

成績評価の方法 筆記試験を前期、後期に行う。また、授業中の課題の提出を評価する。試験と課題提出を総合して成績評価をする。

教科書 前期：永房典之編『なぜ人は他者が気になるのか』（金子書房）
後期：有光興記『“あがり”とその対処法』（川島書店）

参考書等その他 鈴木直人編『感情心理学』（朝倉書店）
授業の方法は講義とする。

履修コード	072201
科目名	臨床心理学
担当者名	八巻 秀

講義のねらい 臨床心理学は、様々な臨床現場における心理臨床・心理援助活動を通して生まれ、現在も発展し続けている学問です。つまり「心理臨床の実践による実践のための学問」と言っても過言ではないでしょう。本講義では、このような臨床心理学とは、どのようなものなのか、どのようにして誕生し、どのように発展してきたのか、現在どのような現場で活かされているのか、などという点について概観していきます。

講義の内容・授業スケジュール (1)オリエンテーション、(2～5)臨床心理学の全体像：臨床心理学とは何か・臨床心理士について・物語としての事例、(6～8)臨床心理学の学問的背景：臨床心理学の誕生と発展・心理臨床学と臨床心理学・日本の臨床心理学の現状、(9～16)臨床心理学の様々な理論：精神分析学・分析心理学・個人心理学・人間性心理学・家族療法、(17～27)心理臨床活動の実際：学校における心理臨床・医療における心理臨床・福祉領域における心理臨床・司法領域における心理臨床、(28～30)臨床心理学の展開：心のケア活動・社会における心理臨床・これからの心理臨床

履修上の留意点 本来、授業とは、教員から学生への一方的通行では、成立しえないもので、学生と教員との相互作用が起こることが大切です。そのためにも、ぜひ受け身的ではなく、積極的・主体的に授業に参加しようとする心構えを持って臨んでください。

成績評価の方法 授業中にほぼ毎回実施するミニレポートと定期試験などにより、総合的に評価します。

教科書 必要に応じて授業中に紹介していきます。

参考書等 下山晴彦 編『よくわかる臨床心理学』2003年刊（ミネルヴァ書房）2,940円、ISBN: 978-4-623-03709-4 (4-623-03709-6)

履修コード	072301
科目名	生理心理学
担当者名	谷口 泰富

講義のねらい 生理心理学は行動の心理的機能と生理的機能の対応関係を研究する科学である。本講義は、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール (1)精神身体観とその歴史、(2)神経系の構造と機能、(3～5)中枢神経系と末梢神経系、(6～9)大脳皮質の構造と機能、(10～11)大脳辺縁系の機能、(12)下位脳幹の主たる機能(13～15)自律神経系と体性神経系、(16～18)感情・情動と生体反応、(19～30)生理心理学的測定(脳波、呼吸運動、心臓・血管運動、皮膚電気活動)とその心理学的活用

履修上の留意点 中学校程度の理科的教養が欲しい。視聴覚教材を使用した授業や、実習形式の授業があるので、遅刻や欠席をしないでください。

成績評価の方法 出席、レポート及び定期試験により総合的に評価します。なお、レポート未提出の場合及び実習に出席していない場合は成績評価をしません。

教科書 教科書は使用しませんが、参考資料(プリント)を配布します。

参考書等 講義の内容に応じて随時参考書等を紹介いたします。

履修コード	072401
科目名	認知心理学
担当者名	永田 陽子

講義のねらい 心理学においては心理学的事象をどのような立場で捉えるかという研究上の視点の問題がある。この立場にはいろいろあるが、本講義では、認知という側面に焦点をあてて考察しようとする立場をとる。認知とは生体の能動的な情報収集・処理の活動であり、このような観点から心理学的事象を捉えようとする心理学は認知心理学とよばれる。本講義では、基礎心理学において重要な視点のひとつである認知心理学に対する基本的知識を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、認知心理学の歴史を概観した上で、環境からの情報取得（感覚・知覚）と保持（記憶、知識の表象）について、これらの発達過程や障害についての認知科学の研究動向を解説するとともに、実験のデモンストレーションを紹介する。

成績評価の方法 筆記試験や出席状況などを考慮し、総合的に評価する。

参考書等 特定の教科書を使用することはないが、適宜、必要な参考図書および文献を紹介する。

1. 認知とは何か、
2. 認知心理学の歴史的背景、
3. 視覚システム、
4. パターン認知、
5. 物体認知、
6. 顔の認知、
7. 注意、
8. 意識、
9. 心的表象、
10. 記憶

履修コード	072501
科目名	発達心理学
担当者名	間島 英俊

講義のねらい 本講義は、エリクソン、E.H.の発達理論を中心に展開する。エリクソンのアイデンティ理論は、諸君等の年齢が青年期後期に相当するこの時期に、自己確立を発達課題となす。彼は、人間の一生を誕生から死に至るまでのライフサイクル理論、ならびにそれに対応する心理・社会的危機論にて説明をしている。ライフサイクルを概観することにより、諸君は「自己」についての過去—現在—未来へのタイムトラベリングが可能になるのである。講義では、各ライフサイクル上にて起こるライフイベント、ならびにトピックスを紹介しながら展開していく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 発達理論（認知発達、社会的学習理論、精神分析理論、現象学派理論）
2. 胎児期
3. 乳児期（信頼VS不信）
4. 歩行期（自律VS恥・疑惑）
5. 学童前期（積極性VS罪悪感）
6. 学童中期（勤勉性VS劣等感）
7. 青年前期（集団同一性VS疎外）
8. 青年後期（個人的同一性VS役割拡散）
9. 成人前期（親密生VS孤立）
10. 成人中期（生殖性VS停滞）
11. 成人後期（統合VS絶望）
12. エピローグ（今日の問題に対する発達心理学の応用として）

以上のスケジュールにそって講義を進めていきます。

成績評価の方法 成績は最終講義にて行う授業時間内試験（定期試験と同価値）にて評価します。また、成績が合格点に達しない者には出席も補助の評価としてなされるが合格を保証するものではない。

教科書 教科書は指定しません。

参考書等 参考書は資料としてプリントされたものの中で紹介します。なお配布されたプリントは後日再配布しませんので、休む場合は、友人に頼むなり各自で補うこと。

履修コード	071401・071501・071601
科目名	心理学基礎実験
担当者名	佐藤 理晴・加藤 博己・中村 道子・堀内 正彦

講義のねらい 現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から5つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理方法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・授業スケジュール

各課題において学ぶ測定法・領域・キーワードは、以下の通りである。なお、各課題に共通して、分析には統計解析ソフトを用いる。

好悪判断 測定法：一対比較法、領域・分野：嗜好傾向の調査、キーワード：心理尺度構成

心的回転 測定法：反応時間測定、領域・分野：認知、キーワード：イメージ

暗記学習 測定法：系列予言法、領域・分野：記憶（系列学習）、キーワード：系列位置効果

ミュラー・リエル錯視 測定法：調整法、領域・分野：知覚（錯視）、キーワード：主観的等価値

鏡映描写 測定法：作業制限法、領域・分野：学習（感覚運動学習）、キーワード：反復効果、両側性転移

**履修上の留意点
成績評価の方法**

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

出席状況（遅刻は2回で1回分の欠席扱い）、5課題分の実験レポート、実験参加回数を、合わせて総合的に評価する。なお、成績評価についてはオリエンテーションの時間に詳しく説明する。

**教科書
参考書等**

心理学研究室編の『心理学基礎実験テキスト』を配布する。

日本心理学会編『執筆・投稿の手びき2005』を配布する。

履修コード	071701
科目名	心理学研究法
担当者名	小野 浩一 <small>おの こういち</small>

講義のねらい

現代の科学的心理学の知識は、思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進される1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題（リサーチクエスション）の設定—特定の研究デザインによるデータの収集—データの分析—結果の公表という一連のステップによって成り立っている。

この科目は、すでに1年間心理学を学んできた学生に心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを提示し、3年次以降に履修する心理学実験演習I～IX、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させていくように設置されたものである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語（日本語と英語）を学習するプログラムを取り入れている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 心理学研究法総論

- ① イントロダクション：心理学における研究とは ② 心理学の対象と方法：歴史の変遷
③ データの種類とさまざまな研究方法

2. 文献検索法

- ① 文献にはどのようなものがあるか：研究の公表方法—学会発表と論文 ② 文献をどのように手に入れるか：データベース、電子ジャーナルの利用・図書館の利用方法 ③ 学術（ジャーナル）論文と引用文献のはたらき：引用法 ④ 文献検索の実際（実習）

3. 観察法

- ① 観察法の種類 ② 直接観察の手順：問題の設定と標的行動の選択・標的行動の定義・反応次元の選択（頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ） ③ 直接観察による行動測定：事象記録・持続時間の記録・潜時記録・間隔記録・瞬時タイムサンプリング ④ 信頼性と妥当性
⑤ 観察法の実際（実習）

4. 実験法

- ① 実験の目的：科学的心理学の目的・実験と観察の相違 ② 実験の種類：要因決定実験と関数決定実験 ③ 行動をコントロールしている要因：実験変数と剰余変数・実験変数の統制・剰余変数の統制・個体変数の統制・独立変数と従属変数
④ 実験デザイン

- 1) 多標本実験デザイン：事前事後デザイン・対応のない1要因デザイン・対応のある1要因デザイン・2要因デザイン

- 2) 要因計画法と分散分析の実際（実習）

- 3) 単一被験体法：ABAデザイン・多層ベースラインデザイン・条件交替デザイン・基準変更デザイン

5. テスト理論

- ① 項目反応理論と内的整合性 ② 心理テスト作成の方法

6. 質問紙調査

出席と定期試験とレポート（授業期間中に複数回提出）による総合評価。評価に占める試験の成績の割合は70%とする。

成績評価の方法

教科書

使用しない。適宜、プリントを配布する。

履修コード	071801
科目名	禅心理学
担当者名	茅原 正

講義のねらい 複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかんに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。本学における「禅の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学科の3年次必修専門科目としての「禅心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禅の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、坐禅を主とする禅の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禅の心理理論、唯識の心理学などについても考察する。

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

1. 東洋の心理学の特質
2. 禅と心理学
3. 東洋的行法の研究－日本・外国－
4. 禅瞑想の心理・生理学的研究
5. 調身・調息・調心
6. 「普勧坐禅儀」考
7. 禅とコトバ、心理理論
8. 「空」の立場
9. 「有時」－存在と時間－
10. 華嚴の世界観

履修上の留意点 本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

成績評価の方法 年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。特に指定しない。

教科書 秋重義治『禅の心理学』（法政大学出版局）

参考書等 春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』（川島書店）

児玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』（日経サイエンス社）

その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

その他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禅の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

履修コード	072701
科目名	心理学実験演習II
担当者名	深堀 友覚

講義のねらい 心理学的研究を進めるための方法を学生自身が計画・実施できるよう、実験（調査）計画の作成、予備実験（調査）及び本実験（調査）の実践、実験（調査）データの分析、レポート執筆までを総合的に講義する。

講義の内容・授業スケジュール 前期に実験2回、後期に調査2回の計4課題の実習を実施し、各課題の終了時にレポートを課す。

- ① 時間評価（time estimation）に関する実験とその結果の分析（t検定、分散分析等）（実験）
- ② 呼吸活動の時系列分析（実験）
- ③ 調査データの項目分析（上位下位分析、信頼性分析、相関係数等）（調査）
- ④ 調査データの変量解析（因子分析、重回帰分析、判別分析等）（調査）

履修上の留意点 授業内では統計パッケージとしてSPSSを用い、また各単元のレポートの分析結果はSPSSにおいて出力されたものに限定する。SPSSの操作方法を一から講義するのでSPSSの予備知識は一切必要としないが、履修する上でMS-Excelにおいてデータ入力ができる事は最低限必要となる。

成績評価の方法 3分の2以上の出席（概ね計15回）、授業態度及び傾聴姿勢、各実験・調査終了後のレポート（計4回）により総合的に評価する。なお被験者カードに記載される実験協力回数も加算項目として考慮する。

教科書 その都度プリントを配布する。

参考書等 授業時間内に随時紹介する。

履修コード	072801
科目名	心理学実験演習III
担当者名	なかざは せつこ こむら のさよし 中澤 世都子・小室 央允

講義のねらい	心理学研究における基礎的知識と技術を習得する目的で、実験及び調査の結果をもとに研究レポート作成までのプロセスを学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期に実験2回、後期に調査2回、計4種の課題に対しレポートを課す。 前期 1 オリエンテーション(1~3回目) 2 実験(4~9) EEGバイオフィードバック: t 検定等 3 実験(10~15) 呼吸活動の分析: 分散分析等 後期 1 オリエンテーション(16~18回目) 2 調査(19~24) 性格に関する調査: 相関分析、信頼性分析等 3 調査(25~30) 対人関係に関する調査: 相関分析、分散分析等 2/3以上の出席、レポート4本(授業時間内提出)、授業及び実験への参加状況などから総合的に評価する。
成績評価の方法	2/3以上の出席、レポート4本(授業時間内提出)、授業及び実験への参加状況などから総合的に評価する。
教科書 参考書等	随時紹介する。 随時紹介する。

履修コード	072901
科目名	心理学実験演習IV
担当者名	さとう まさひろ 佐藤 理晴

講義のねらい	知覚的、内的イメージを用いた実験、調査に必要な技術(刺激の作成、統計パッケージソフトの使用方法など)の習得を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	実験2回、調査2回を実施し、各実験(調査)の終了時にレポートを課す。 実験1: 高速系列提示時の注意の働き(分散分析) 調査1: 心像鮮明性と認知課題成績の関連(t 検定) 実験2: 運動刺激に対するフラッシュラグ効果(t 検定, 分散分析) 調査2: 自伝的記憶における自己視点と他者視点(多次元尺度構成)
履修上の留意点	コンピュータを利用する作業が多いので、バックアップ用メディア(USBフラッシュメモリなど)を毎回持参すること。実験の刺激作成には SuperLab, Visual C++, 統計処理にはSPSSを使用する予定だが、予備知識は不要である。
成績評価の方法	レポート(4回)、出席日数(2/3以上を必須条件とする)および授業態度、心理学実験演習以外の実験への参加回数を評価の対象とする。
教科書 参考書等	なし(資料は授業時間内に配布する) 授業時間内に紹介する。

履修コード	073001
科目名	心理学実験演習V
担当者名	くわはら まさのぶ 桑原 正修

講義のねらい	心理学における研究、ならびにその方法論について、実習を通して経験的に理解し、研究を行う上で必要なスキルを習得する。
講義の内容・授業スケジュール	前期に実験2回、後期に調査2回の計4課題の実習を行い、各課題終了時にレポートを課す。各課題は、a) 問題の設定(文献検索、先行研究の概観を含む)、b) 実験・調査手続きの決定と準備(実験ではプログラミングを含む)、c) データの整理と分析(相関分析、因子分析等の統計的処理を含む)、d) レポートの作成・発表、により構成される。 (1) オリエンテーション、(2~8) 実験1: 「概念学習」、(9~15) 実験2: 「評価条件づけ」、(16~22) 調査1: 「価値割引検査」、(23~30) 調査2: 「行動における個体差とパーソナリティ」
成績評価の方法	出席状況(2/3以上)、各課題終了時のレポート(計4回)、心理学実験への参加状況により総合的に評価する。
教科書 参考書等	適宜、資料を配布する。 適宜、紹介する。

履修コード	073101
科目名	心理学実験演習VI
担当者名	かるべ 幸浩

講義のねらい 本講義は、生理心理学的測定の技法、機器の操作方法および資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 機器等はかなり整備されているが、受講生の数によっては、内容を一部変更することがあり得る。したがって、受講者が決定した後に、年間実習計画予定表を決定する。生理測定（2回）、調査実習（2回）を予定している。

【前期】

- 1) 開閉眼条件における脳波を測定（2～12）・測定機器：脳波計・指標：脳波・内容：開閉眼条件での脳波測定・分析：二元配置分散分析
- 2) 脳波と性格特性（13～15）・内容：MPI得点と脳波出現率の関係・分析：相関分析、MPIの多変量解析

【後期】

- 3) 慣れと脱慣れ（1～11）・測定機器：ポリグラフ・指標：EDA、呼吸、心電図・内容：異なる音刺激による慣れと脱慣れを測定・分析：t検定
- 4) 慣れと不安（12～15）・内容：STAIと自律神経系活動の関係・分析：相関分析、重回帰分析

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、また危険防止のためにも細心の注意をして実験をおこなうこと。受講生をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験をおこなう。したがって、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。

なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、2年次までに生理心理学を受講した学生の履修が望ましい（編入学生、3年次への転部・転科生は除く）。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

提出されたレポート、出席回数、授業および実験への参加状態などから総合的に評価する。

随時、最新のものを紹介する。

随時、最新のものを紹介する。

実験データの分析・統計処理は、「MS-Excel」と「Excel 統計」または、「SAS」、「SPSS」等の統計パッケージを使用しておこなう。そのため、数回程度は、実験室を離れコンピュータ教場で授業をおこなうことがある。

また、卒業論文等で生理心理学的指標を用いての実験を考えている学生は、測定機器の操作方法を習得するための授業なので必ず履修すること。

【授業 Web】 <http://wwwint2.int.komazawa-u.ac.jp/~karube/jugyo/>

【e-Learning】 <https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>

履修コード	073201
科目名	心理学実験演習VII
担当者名	間島 英俊

講義のねらい 本実験演習は発達心理学領域における研究アプローチを総合的に学ぶことを目的とする。そのために、講義内容は以下の発達に関する基礎的実験並びに調査からなる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 オリエンテーション(1・2回目)
演習の目的 授業スケジュール 成績評価 etc の説明
- 2 実験I(共通) 思考の発達(問題解決; 組合せ問題)
実験 結果(信頼性分析) 実験の発表会および講評
- 3 調査I(共通) ライフイベントに対するイメージの測定
テーマについては生と死 etc を予定
調査 結果(尺度分析法) 調査の発表会および講評
- 4 実験・調査の発表会および講評
実験I、調査Iは前期にて終了予定
- 5 調査II(個人または共同) 結婚(結婚観、性役割態度、男女平等意 etc) に対する態度測定
テーマ設定 調査 結果(尺度分析法) 調査の発表会および講評
- 6 調査III(個人または共同) ストレス(ストレスコーピング 対人ストレ スイベント etc)
テーマ設定 調査 結果(相関分析 因子分析 信頼性分析)
調査の発表会及び講評
- 7 調査II、IIIの発表論文の提出
- 8 総評

履修上の留意点
成績評価の方法

初回の演習オリエンテーションには必ず出席して、説明を聞いて履修を決めてください。出席は10点; 1/3以上(欠席はもとより遅刻は論外)、年4回の研究発表40点、並びに発表論文提出50点をめどに評価がなされます。

教科書
参考書等

特に指定はしません。

教材、資料についてはその都度コピーにて配布しますし、参考図書については各実験・調査内に紹介します。

履修コード	075901
科目名	演習
担当者名	茨木 博子

講義のねらい 本演習では、各受講生の卒業論文のテーマに即した個別および演習形式による指導を行い、論文を完成させることを目的とする。その他、グループワークとして集団精神療法の一つであるサイロドラマを実施し、日頃の対人関係やより良い人間関係について考え、討議する。

講義の内容・授業スケジュール (1~14) 卒業論文の構想発表(研究のテーマ設定、研究計画など)および研究計画の実行に関する指導、助言。グループワークによる対人関係の学習 (15) 卒業論文の中間発表 (16~30) 論文の完成へ向け、結果(データの整理と分析)、考察、論文の書き方の留意点などを指導、助言。グループワークによる対人関係の学習

履修上の留意点 自分の研究に協力してくださる機関や人々に対して、感謝の気持ちを忘れないことが論文作成に大切である。

成績評価の方法 卒業論文作成に取り組む態度(出席も含む)によって評価する。

参考書等 随時紹介する。

履修コード	076001
科目名	演習
担当者名	茅原 正

講義のねらい 卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。
後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討議を経て論文の完成を目指す。(スケジュール) 1~2 ガイダンス 3~5 卒論構想発表 6~8 論題決定 9~11 データの収集分析 12~13 中間報告 14~18 論文指導・中間報告 19~23 論文指導 24~28 まとめ。

履修上の留意点 前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。
後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらう。

成績評価の方法 出席および発表・討議に対する積極性を重視し、評価する。

履修コード	076201
科目名	演習
担当者名	永田 陽子

講義のねらい 本演習は、卒業論文を完成させることを最終目標としている。従って、各受講者が卒業論文作成のための文献研究、実験・調査の計画とその実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、さらに口頭発表の仕方を習得することが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール 各受講者の論文テーマに即した実質的・具体的な指導を個別かつ演習形式で遂行していく。受講者は各自のテーマについて、個別に指導を受けると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見や討論などを通じて、論文の完成を高めていくことになる。

履修上の留意点 各受講者の卒業論文の研究に基づく面接を随時行う。

成績評価の方法 演習時における年間を通じた研究姿勢によって評価する。

参考書等 必要な参考図書および文献を演習時に随時提示する。

履修コード	076301
科目名	演習
担当者名	おの こういち 小野 浩一

講義のねらい 受講者各自の卒論テーマに則した指導を行うと共に、行動分析学について学ぶ。行動分析学はスキナーによって始められたオペラント条件づけの研究に端を発するが、現在では基礎研究のみならず、応用行動分析として人間社会のさまざまな問題に取り組んでいる。本演習では、基本的文献を題材に関連する諸問題について議論する。
演習形式による行動分析学の学習と卒業論文の指導を平行して行う。
正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

**講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
参考書等** 出席と平常点によって評価する。
以下の学術雑誌を参照のこと
行動分析学研究
Journal of the Experimental Analysis of Behavior
Journal of Applied Behavior Analysis

履修コード	076401
科目名	演習
担当者名	たにぐち やすとみ 谷口 泰富

講義のねらい 本講は、主として卒業論文に関する実践的研究、データの解析方法やその解釈、及び研究の位置づけなどについて学びます。そして最終的には科学的論文の初歩としての卒業論文を実際に完成させることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール 『卒業論文作成カルテ』に従い、学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的な指導を行います。そのためには当該時間内だけの指導のみでは不十分ですので、学生と相談の上、別の時間割を編成しそこで個別指導を行います。
(1) オリエンテーション、(2～4) 資料の分析と解釈及び個人面談、(5～6) 結果の表記法及び個人面談、(7～9) 第1回卒業論文点検、(10～11) 文献研究のまとめ方及び個人面談、(12～14) 第2回卒業論文点検、(15～16) 研究結果と考察及び個人面談、(17～19) 第3回卒業論文点検、(20) 引用文献の書き方、(21～23) 第4回卒業論文点検、(24～30) 卒業論文最終点検(個人指導)

履修上の留意点 研究テーマにより個別指導が中心となります。従って、週2回以上の指導を受けることが義務となります。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得ますので留意してください。遅刻や欠席については厳しく指導します。

**成績評価の方法
教科書
参考書等** 課題報告やレポート及び卒業論文の質的側面から評価します。
『卒業論文作成カルテ』を配布します。
随時紹介します。

履修コード	076501
科目名	演習
担当者名	ましま ひでとし 間島 英俊

講義のねらい 本演習は卒業論文の作成を最終目的としています。したがって、論題(卒論テーマの決定)、問題(文献研究)、目的・方法(研究計画とその実施)、結果・考察(研究結果の分析、議論)のスケジュールにそって、指導がなされます。

講義の内容・授業スケジュール 基本的には受講者各自の研究テーマに基づいて、上述のスケジュールにそった具体的指導が個別になされます。演習という性格から、受講者は、1. 卒論テーマの設定 2. 文献研究法 3. 研究計画および実施 4. 研究結果の考察、議論についてゼミでの発表、意見、討論をとおしてお互いの研究向上を目指すこととなります。

履修上の留意点 演習時間内では、上述の1～4の発表、意見、討論ならびに個別指導がなされますが、個人の研究の進捗状況によっては演習時間外も指導します。

成績評価の方法 出席はもとより演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

履修コード	076601
科目名	演習
担当者名	八巻 秀 <small>やまき しゅう</small>

講義のねらい 個別指導や全体での経過報告などを通して、卒論の作成に向けての本格的作業を進めていきます。同時並行的に家族療法についても学ぶ機会を提供します。家族療法に関する文献を読みまとめるという作業を通して、卒論作成のためのスキルも獲得することを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、(2～4) 卒論研究の計画策定、(5～7) 中間報告、(8～13) 個別研究指導面接①、(14～18) 予備実験あるいは調査に関する報告と討議、(19～23) 個別研究指導面接②、(24～28) 本実験・調査の計画と実施に関する報告と討議、(29～30) 卒業論文最終報告会

成績評価の方法 出席・授業への取り組み姿勢などを総合的に評価します。

教科書 必要に応じて授業中に指示します。

参考書等 必要に応じて授業中に指示します。

履修コード	076611
科目名	演習
担当者名	有光 興記 <small>ありみつ こうき</small>

講義のねらい 臨床心理学（認知行動療法、応用行動分析）、社会心理学領域の研究を実施し、卒業論文の完成を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 1. テーマ設定、2. 文献の収集、3. 研究計画の立案、4. 研究の実施、5. 研究結果の分析、6. 研究結果の報告および考察、7. 卒業論文の作成、8. 口頭発表を順に行う。そのために、演習中の指導および個別指導を行っていく。すべての段階で、発表を行い、質疑応答を通じて問題点、改善点を明確にして、より良い研究を目指す。

前期では、テーマ設定(1-2回)、卒業論文関連論文とテーマの発表(3-10回)、結果の分析(11-15回)を行う。後期では、結果の発表(16-23回)、卒業論文本文作成の指導(24-28回)、口頭試問の指導(29-30回)を行う。

履修上の留意点 演習時間外に、卒業論文に関して面接時間をとることがある。

成績評価の方法 課題への取り組み、発表内容、研究への姿勢によって総合的に評価する。

参考書等 適宜、紹介する。

履修コード	076621
科目名	演習
担当者名	鈴木 常元 <small>すずき つねもと</small>

講義のねらい 受講生が各自の関心のあるテーマについて、卒業論文を作成する。そのために、受講生は、研究の進行状況について定期的に発表を行い、指導を受けることになる。

講義の内容・授業スケジュール 研究テーマを決定し、それに関する文献を収集・整理し、研究計画を立てる。それに基づいて、実験あるいは調査をおこない、収集したデータを分析する。これらの成果をまとめ、卒業論文を作成する。また、プレゼンテーションの方法についても身につける。

履修上の留意点 授業時間以外にも、研究指導がおこなわれることがある。

成績評価の方法 授業への出席と授業へ取り組む姿勢によって評価する。

履修コード	073401
科目名	環境心理学
担当者名	西出 和彦

講義のねらい 人間がより豊かで多様な関わりを持てる環境を作るために、人間が環境をどのように知覚・認知しているか、あるいは環境における人間行動・生態など、人間が本来的に持つ性質を実証的に明らかにする観察・実験例（環境行動研究：Environment-Behavior Studies）をもとに、それを基盤とした人間の観点に基づく環境デザインの理論的背景を得ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 環境心理学の概観・問題意識
 - ・環境デザインの意義、近代建築の功罪、建築計画学と環境心理学
- 2) 人間の心理・行動とそのデザインへの応用
 - ・環境と行動・環境のアフォーダンス、プロクセミクス・パーソナルスペース、テリトリー・ディフェンシブルスペース、空間の知覚・認知、ウェイファインディング
- 3) 建築計画学における環境心理研究・実践
 - ・住まいと環境心理学・都市と環境心理学・学校と環境心理学・病院と環境心理学・仕事の場と環境心理学

履修上の留意点 日常生活に関連する事柄が多いので、日頃から自身の行動、周辺環境との関わりについて興味を持っていること。

成績評価の方法 参考書等

レポートによる。

- ・日本建築学会編：人間環境学、朝倉書店、1998
- ・高橋鷹志、長澤泰、西出和彦編：シリーズ<人間と建築>1 環境と空間、朝倉書店、1997
- ・ジョン・ラング著、高橋鷹志監訳「建築理論の創造 建築デザインにおける行動科学の役割」鹿島出版会（1992）

履修コード	073501
科目名	児童心理学
担当者名	澤田 匡人

講義のねらい ▽小学校入学前後から思春期までを中心とした子どもについて、その心理的特徴に関する基礎的な知識の習得を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール ▽「1回1テーマで完結」を原則として行われます（ただし、テーマによっては2～3週に渡る場合もあります）。「発達段階」や「知能」のような定番のテーマ（2～11）から、「感情」や「集団」といった対人関係の発達（12～21）、「いじめ」や「不登校」に代表される不適応の問題（22～30）に至るまで、子どもの心とその発達の変化を理解する上で欠かせないさまざまな内容を取り上げ、わかりやすく解説していきます。

履修上の留意点 ▽授業で説明する「受講契約」（受講する上での基本的なルール）を確認してから履修するようにしてください。また、できるだけ学生の皆さんの要望に沿った授業にしていけるために、簡単な感想を毎回提出してもらうことになります（成績とは無関係です）。

成績評価の方法 ▽筆記試験（授業で紹介した重要なタームを空欄に書き入れる方式）の得点から評価します。

教科書 参考書等 その他 ▽使用しませんが、下記の参考書があると便利です。

▽金子智栄子〔編著〕『子どもの発達理解とカウンセリング』2006年刊（有斐閣）1,800円

▽講義は全回に渡って「プレゼン形式」で行われます。テキストやプリントは基本的に用いませので、投映された画面をノートに取る必要があります（もちろん任意です）。しかし、一度に呈示する内容をできるだけ抑えること（ノートテイクできる分量）を心がけて作成しておりますので、すぐに慣れると思います。毎回楽しみながら受講していただくことを願っています。

履修コード	073601
科目名	産業心理学
担当者名	申 紅仙

講義のねらい 産業・組織心理学とは、産業場面での人間行動を心理学的側面から考察する学問である。この講義では、産業・組織心理学で扱ってきた研究を紹介し、職場環境に関わる諸問題を考えていく。授業では、一方的講義形式をとらず、随時、実験・事例研究等をまじえながら、受講生の積極的参加をおおきながら進める。また、第1回目の授業時に具体的な授業計画と成績評価方法を出す。

講義の内容・授業スケジュール 第1回～5回：産業・組織心理学とは何か、歴史的背景と先行研究、第6回～10回：職務分析、第11回～15回：人事ケーススタディ、第16回～20回：ヒューマンエラーの分類、産業事故対策、第21回～25回：消費者行動と市場調査、第26回～28回：事例研究、第29回～30回：まとめ、期末テストおよびフィードバック

*学生の要望に応じて授業内容・方法を変更する場合がある。

成績評価の方法 出席状況やテスト等により総合的に行う。

教科書 『よくわかる産業・組織心理学』山口裕幸・金井篤子（編）ミネルヴァ書房

履修コード	073701
科目名	老年心理学
担当者名	植田 恵

講義のねらい	本講義では、生涯発達という観点を軸に、前半では、心身の加齢変化の特徴について学び、後半では、高齢者が直面する問題とそれに対する心理的援助・対応について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期 第1回-2回：少子高齢社会の到来と高齢者の現状 第3回-4回：加齢と生涯発達 第5回-6回：身体に加齢変化 第7回-9回：感覚・知覚、認知機能の加齢変化 第10回-11回：知恵と創造性 第12回-14回：パーソナリティと適応 第15回：まとめ 後期 第16回-17回：高齢者の暮らしと人間関係 第18回-19回：老年期の精神病理（1）喪失体験、孤独、死 第20回-21回：老年期の精神病理（2）自殺、うつ 第22回-24回：老年期の精神病理（3）認知症 第25回-26回：高齢者とのコミュニケーション 第27回-29回：高齢者に対する心理的援助 第30回：まとめ
成績評価の方法	期末試験（後期末）および小レポート
教科書	指定しない
参考書等	授業の中で随時紹介する

履修コード	073801
科目名	宗教心理学
担当者名	葛西 賢太

講義のねらい	宗教への無関心・嫌悪感を持った人が、何かのきっかけで信仰者に生まれ変わることを回心 (conversion、入信) という。宗教的回心と、アルコール依存症からの回復という、二つの領域を通して、回心について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	諸宗教における回心の事例を豊富に取り上げて検討するこの講義は、心理学的な人間理解を深める上で有意義なものとなろう。また、回心について学ぶことは、友情や恋愛や忠誠心など、宗教以外についての現代人の心理の変化を理解するにも役立つ。 アルコール依存症は、現代人が陥りやすい病理であるが、正確に理解されていない。この病気からの回復は、生き方の大きな変化であり、宗教的回心と似ている。講義は、アルコール依存症の心身両面の病理、対人関係の病理、社会的問題等を多面的に扱う。皆さんがこれから出会うアルコール依存の友人のための予防措置的な情報提供にもなる。 すべての講義に出席するよう努力して欲しい。 ●前期-アルコール依存症を介して回心を知る 1. ガイダンス、2. アルコール依存症とは何か、3. 断酒自助会の宗教的背景、4. 仲間との助け合い、5. 「底突き」と「回復」の体験 ●後期-心理学的に回心を理解する 6. 心理学的説明のためのモデル…多重人格・潜在意識論、洗脳論、7. 社会学的説明のためのモデル…入信の社会学、認知的不協和理論、8. 死をめぐる回心…キューブラー=ロス、臨死体験、チベットの死者の書、9. 回心をもたらすための修行…千日回峰行、10. まとめ 平常点+試験。出席を考慮し、発言の質を特に評価。 出席3割、平常点4割、試験3割。平常点には講義への e-mail でのコメントも加味。 葛西賢太『断酒が作り出す共同性』世界思想社、2000円+税、ISBN978-4-7907-1260-2 ウィリアム・ジェイムズ『宗教的経験の諸相』（上下）、岩波文庫。 レオン・フェスティンガー『予言がはずれるとき』勁草書房。 たくさん資料を読みます。参考文献や参考映画なども講義でたくさん紹介しますので、楽しみにしててください。
成績評価の方法	
教科書	
参考書等	
その他	

履修コード	073901
科目名	健康心理学
担当者名	稲松 <small>いなまつ のぶお</small> 信雄

講義のねらい 従来の生理学的ストレス理論を出発として生理心理学の基礎、神経系の概略を学び、W.B.Cannon & H.Selye の学説を理解し、内分泌、免疫系に多少言及する。Psychological Stress を中心に Stressor Agents の認知、評価の問題を扱い、それと最近のトピックである精神神経免疫学 (Psychoneuroimmunology) を関係づけて、最後に psycho の部分の感情に焦点をあて、無力性の情動 (Asthenic Emotion) の統御の必要性を学習し、感情と密接な動機や人格、発達についても健康の面から言及する。後期は動機の階層と十牛図や、気と健康の関係、さらに V.E.Frankl や Norman Kousins の Positive Thinking の考え方、最後に長寿高齢者の良き適応例を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 講義内容は以下のような項目となる
 ①序：健康心理学について精神活動と心の重要性 ②精神活動と身体反応との関係
 ③心理学的ストレスと生理学的ストレス ④ストレスと情緒反応 ⑤情緒の生理学的機構
 ⑥情緒の分類と感情の統御 ⑦情緒と精神神経免疫学 ⑧情緒と欲求との関係
 ⑨感情&ストレスと健康の総括 ⑩積極思考の涵養 ⑪健康問題を扱っている著名な精神科医、ジャーナリストの思考を学ぶ ⑫長寿高齢者の良き適応を学習

履修上の留意点 外国語を英語で受験した人が望ましい、英文の補助プリントを使用する時がある。
成績評価の方法 成績は年二回のレポートと出席を加味する。

(但：履修者が40名を超えた場合には授業時間の前期・後期の最終日に試験を実施する。)
教科書 教科書として「健康心理学：資料集」(東邦大学医学部心理学研究室編)を使用する(授業開始時に配布：実費徴収)、その他随時補助プリントを用いる

参考書等 参考書は Rober J. Gatchel et al. 「An Introduction to HEALTH PSYCHOLOGY - Second Edition」(McGraw-,Inc.)

その他 講義を中心とするが、ビデオ、カセット、Power Point を使用する。

履修コード	074001
科目名	比較行動学
担当者名	松林 <small>まつばやし ひさし</small> 尚志・森阪 <small>もりさか たなみち</small> 匡通

講義のねらい (前期)ヒトを含む動物の行動を、その起こるしくみ、機能、発達、進化の観点から理解を深め、動物の行動の不思議さ、多様性に触れていただければと思います。

(後期)動物の行動を生物学的に研究する分野が動物行動学です。地球上に生息する動物の様々な行動について、その起こるしくみ、機能、何故そのような行動が進化してきたのかなどの観点から理解を深め、その上で私達人間の行動を改めて科学的に学ぶことを目指します。また私達人間も霊長類に属する動物のひとつの種であり、進化のトップにあるというぬぼれを捨て他の多くの動物とのより良い共存を目指し、人間はこれからどうあるべきかをも学んで欲しいと思います。

講義の内容・授業スケジュール まだ科学の中では新しい分野である動物行動学の基本的概念から入り、動物の様々な行動はどのようにしておこるのか、どのように発達するのか、どのような機能を持つのかなどについてこれまでの研究成果をもとに理解を深めます。また行動はどのように次の世代に伝わり、現存する動物の行動はどのようにして進化してきたのかなど、最近の行動生態学や進化生態学の理論もまじえ考察を進めます。その上で私達人間の行動についても動物行動学的な視点から見直しを試みます。

必要に応じてプリントを配布し、動物を身近に感じて理解を深められるようにスライドなどの視聴覚教材を活用する予定です。

1回 ガイダンス 動物行動学(比較行動学)とはどのような学問か 2~3回 動物行動学の確立、動物行動学の基本概念、行動学研究の4つの柱 4~5回 行動のおこるしくみ、リリーサー 6~7回 環境世界と外界認識—動物から見た世界 8~9回 信号とコミュニケーション、だましの信号 10~12回 行動の発達と学習(1)行動の個体発生、学習 行動の発達と学習(2)刷り込み、さえずりの発達、動物の文化的行動 13~15回 人間の行動、人間の行動観察実習(マン・ウォッチング) 16~18回 行動の進化(1)、自然淘汰とは?、適応度、行動の機能 19~22回 行動の進化(2) 最適戦略、代替戦略 23~25回 利他行動と包括適応度(血縁淘汰) 26~27回 互恵的行動の進化を考える、ゲーム理論 28~30回 配偶システム、性淘汰、雄と雌の対立、浮気生物学的意味

履修上の留意点 (前期)1~2回ほど講義が代講になる可能性があります。ご了承ください。授業を積極的に活用し、ヒトを含む動物の行動を積極的に理解したい方向けです。
 前期は森阪匡通(海生ほ乳類の行動研究専攻)、後期は松林尚志(陸生ほ乳類の行動・生態研究専攻)が担当します。

成績評価の方法 (前期)出席(重視)、小レポート、および試験の点数を総合的に判断。

(後期)小レポートと期末試験の成績により評価します。

教科書 特になし

参考書等 授業中に随時紹介します。

心
理

履修コード	074101
科目名	精神医学（夏季集中）
担当者名	山口 一

講義のねらい 精神医学は医師だけに必要な知識ではない。本講義では、将来、臨床心理・精神保健福祉・介護・社会福祉・作業療法などの分野に進む人にとって必要となる知識に重点を置き、精神医学を幅広く理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕(1) イントロダクション・講義全体の概要(2～5) 主に心因による精神障害(心身症・神経症など)(6～12) 主に内因による精神障害(統合失調症・躁うつ病など)(13～15) 主に器質因による精神障害

〔後期〕(1) イントロダクション・講義全体の概要(2～6) 児童・青年期精神医学(発達障害など)(7～10) 性格のかたより(人格障害など)(10～15) 病院精神医療・地域精神医療など

履修上の留意点 できるだけ出席し、ノートなどをとるよう心がけてください。

成績評価の方法 出席状況とレポートで評価します。

教科書 特別指定しません。推薦書物は授業の中で紹介。

その他の他 授業日程：8/24(月)、26(水)、27(木)、31(月)、9/2(水)、3(木)
★日程に注意のこと。

履修コード	074201
科目名	心理学特講I
担当者名	澤田 匡人

講義のねらい ▽この授業では、心理学の中でも、特に「感情心理学」「社会心理学」「発達臨床心理学」で取り上げられている概念や理論を中心に学んでいきます。ただし、卒論などの作成に必要な知識や情報を可能な限り提供することも念頭に置き、幅広いテーマ（対人関係、多変量解析）についてオムニバス形式で解説していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール ▽「記憶」や「対人認知」などの心理学の基礎知識（2～11）や、「失恋」や「職業適性」といった生き方に関わる問題（12～18）、「因子分析」や「重回帰分析」に代表される多変量解析とそれを用いた研究（感情に関する研究が中心となります）（19～30）など、幅広いテーマについて紹介していきます。

履修上の留意点 ▽授業で説明する「受講契約」（受講する上での基本的なルール）を確認してから履修するようにしてください。

成績評価の方法教科書 ▽授業で紹介したテーマに関するレポートによって評価します。
▽特にありませんが、下記の参考書があると、講義の内容を理解するのに役立つ場合があります（研究紹介の回を中心として）。

参考書等その他 ▽澤田匡人〔著〕『子どもの妬み感情とその対処』（新曜社）3,938円
▽講義は全回に渡って「プレゼン形式」で行われます。プリントは基本的に用いませので、投映された画面をノートに取る必要があります（もちろん任意です）。しかし、一度に呈示する内容をできるだけ抑えながら、「見ていて飽きないプレゼン」を心がけて毎回作成しておりますので、すぐに慣れると思います。毎回楽しみながら受講していただければと願っています。
▽卒論のテーマを決めるのに悩んでいる学生さんにとって少しでも役立つような内容にしていきたいと考えています。

履修コード	074301
科目名	心理学特講II（夏季集中）
担当者名	西田 順造・矢代 龍雄・栃倉 稔

講義のねらい 犯罪現象あるいは犯罪者を通して人間とは何かを探索

講義の内容・授業スケジュール 犯罪事例やトピックスを中心に「犯罪心理学の基礎理論」を踏まえ、科学捜査および司法に関する全般的知識の習得。

- 1 各種犯罪事案と日常性とのかかわり
- 2 「犯罪者観」と個人における親和性
- 3 時代や地域における犯罪形態の特質
- 4 犯罪成立の条件とパーソナリティ
- 5 科学捜査と司法に関する正しい理解

成績評価の方法教科書 出席点および課題提出評価点。
指定教科書はありません。

参考書等その他 講義において適宜紹介します。
授業日程：7月31日（金）・8月3日（月）～8月7日（金）
（土・日曜日除く）の1～5時限。

履修コード	074401
科目名	心理学特講III
担当者名	萩原 滋

講義のねらい 「社会的認知とコミュニケーション」をテーマに社会心理学とメディア研究の領域で蓄積された研究成果を幅広く紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、認知的一貫性理論や帰属理論などの枠組みと「社会的認知」に関する研究成果を概観する。後期は対人コミュニケーションからマスコミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション過程」を取り上げ、社会心理学的研究の成果を新旧取り混ぜて紹介する。

成績評価の方法教科書 前期と後期の終了時に筆記試験を行う予定。
使用しない。

参考書等 萩原滋編著（2007）『テレビニュースの世界像—外国関連報道が構築するリアリティ』（勁草書房）3,500円
萩原滋・国広陽子編著（2004）『テレビと外国イメージ—メディアーステレオタイピング研究』（勁草書房）3,500円
萩原滋編著（2001）『変容するメディアとニュース報道—テレビニュースの社会心理学』（丸善）2,400円

その他 履修者数に応じて講義内容や形式を調整する。

心
理

履修コード	074501
科目名	心理検査法I
担当者名	西脇 淳・佐藤 尚代

講義のねらい 本講義では、心理検査法のうち、前期には「投影法心理検査」を、後期には「知能検査とその関連領域」を学ぶ。

前期の「投影法心理検査」の基本的な心構えと基礎知識を身につけることが第1の目標である。投影法検査につきものの煩雑な施行手続きや、難解ともいわれる解釈プロセスには、それぞれに意味がある。それらの基礎を身に付けながら、被検者に利益をもたらす検査施行の心構えを学ぶ。

後期は、「知能検査とその関連領域」では、これらの検査を理解するために検査の基礎となる知能や発達観について理解を深め、検査の基礎的な流れに触れることを目的とする。その上で、検査の有用性と限界、利用の注意点など各検査の特徴と共に被検査者の立場についても学ぶ機会とする。

前後期共に、授業は、講師による講義に加えて、体験学習（施行実習）やグループ討論・与えられた課題に自分なりのコメントをまとめる、などの形式で進むので主体的な参画が求められる。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期)
1. 心理アセスメントとは（投影法の位置付け）
 2. 各種投影法心理検査の実際（成り立ち、背景理論、適用、施行実習）
 3. 心理アセスメントにおいて大切なこと

(後期)

1. 心理アセスメントについて、発達・知能検査の概要
2. 発達・知能検査の自己学習（グループ討議と発表）
3. 知能検査の施行について ～ 施行に際しての注意事項や手続きの実際、演習
4. 発達・知能検査の実際 ～ 検査の目的と検査バッテリー、検査の見方・まとめ方

履修上の留意点

履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。用具の準備は勿論のこと、受講生同士が検査者＝被検査者の役割を交換して行う事も多く、時間を遵守し休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合は、教員に相談の上個人の責任において実習や提出物に関するフォローを各自が行なうこと。また、検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法II」の授業も併せて履修することが望ましい。（両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可。）

成績評価の方法

出席を重視する。前期・後期とも、提出物（感想文、授業ノート、レポートなど）を課する。学

教科書
参考書等

必要に応じて指示する。
必要に応じて指示する。

履修コード	074601
科目名	心理検査法II
担当者名	稲富 正治・中澤 世都子

講義のねらい 臨床心理学の中で重要な位置を占める「心理検査」の対象は、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性など様々で、各々の検査の理論的背景や実施方法は異なる。

本講義では、心理検査法のうち、前期には神経心理学的検査、作業検査、質問紙法検査の一部を、後期には、職業興味検査、質問紙法検査を体験し、各検査の理論的背景の理解と、実施、採点、解釈の仕方を学ぶ。

また、臨床現場での心理検査実施上の心構え、心理検査とは何か、心理検査の妥当性、信頼性、標準化、実用性などについても可能な範囲で取り扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)ペンダーゲシュタルト、ペントン、内田クレベリン、Y-G、TEG、CMI、GHQ

(後期)MPI、MMPI、MAS、STAI、EPPS、NEO、VPI

などを学ぶ。講師の都合により、検査の内容や時期は変更になる場合があります。

履修上の留意点

(学生が受講する前に踏まえておくべき点)

前期、後期の授業初日に、授業の進め方や注意事項、成績評価についての説明を行う。履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。

授業では、受講生同士が検査者、被検査者の役割を交換して行うので、休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合には、個人の責任において、実習や提出物に関するフォローを行うこと。

また、本講義では、各領域にわたる心理検査全般を扱っていない。検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法I」の授業も履修することが望ましい（両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可）。

成績評価の方法

出席、授業態度、発表、定期試験により評価を行う。

教科書
参考書等
その他

講義において指示する。
必要に応じて紹介する。

(授業方法—講義形式、ゼミ形式、プリント配布、レジュメ配布等)：心理検査の理論的背景、実施、採点、解釈を発表形式で学び、場合により、グループ討議を行う予定である。

履修コード	074701
科目名	カウンセリング
担当者名	茨木 博子

講義のねらい カウンセリングとは、ともすれば悩みや苦しみから目をそむけようとする人が、その悩みや苦しみに立ち向かい、自ら立ち直っていけるよう援助する心理面接である。しかし一般的には、カウンセリングとは何か、その本来の定義が理解されているとは言えない。

講義の内容・授業スケジュール そこで本講義では、カウンセリング心理学、マイクロカウンセリングに基づき、カウンセリングおよびカウンセラーとは何かを学び、カウンセリングの基本的技法を修得することを目的とする。
 (1～4) カウンセリングについて、討議 (5～8) カウンセリング心理学の発達史、討議 (9～11) カウンセリング心理学の独自性、討議 (12～15) 多様化するカウンセラーの機能と働き方、討議 (16～22) カウンセラーに必要な基本的態度と能力、マイクロカウンセリング、討議 (23～30) ビデオ学習とロールプレイングによる体験学習、討議

履修上の留意点 原則として、内容ごとに小グループに分かれ、討議するので、欠席を慎むこと。

成績評価の方法 出席、授業態度、定期試験、レポートで総合的に評価する。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

参考書等 波辺三枝子『カウンセリング心理学』(ナカニシヤ出版) 2,100円
 河合肇雄『カウンセリングの実際問題』(誠信書房) 2,000円

履修コード	074801
科目名	情報処理I
担当者名	中丸 茂

講義のねらい 現在、心理学を研究するにあたって、論文作成や心理学の実験制御のためにコンピュータの操作は「必要な技能」となっている。本コンピュータ実習では、VB (Visual Basic) を使って実験制御に必要な技術を習得することを目的とする。後期には、BASIC、FORTRAN、COBOL、LOGOなどのコンピュータ言語の実習も行なう。

講義の内容・授業スケジュール 前期：VBA・VBの基本的なプログラミングの技術習得を目的とする。
 1. MS-WORD:MS-EXCEL VBA
 2. VBの基本プログラミング
 3. 心理統計のプログラミングを作ってみよう
 後期：VBを使って心理学の実験プログラミングの技術習得を目的とする。
 1. グラフィックデータの取り扱い
 2. 時間制御
 3. アプリケーションソフトの利用方法
 4. 心理学実験のプログラムを作ってみよう

履修上の留意点 自主性、積極性を重んじる。

成績評価の方法 下記2つの課題により評価する
 前期：オリジナルの心理統計プログラムの作成
 後期：オリジナル心理学実験のプログラムの作成
 (マニュアルの作成を含む)

教科書 『2005 世界でいちばん簡単な Visual Basic のe本』(秀和システム)
 『Visual Basic6.0 パーフェクトマスター』(秀和システム)

参考書等 池谷ら『2001 Visual Basic 逆引き大全 500の極意』(秀和システム)

履修コード	074901
科目名	情報処理II
担当者名	軽部 幸浩

講義のねらい	本講義では、コンピュータ実習などを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。コンピュータを使ったデータ解析を中心に、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。単に統計パッケージの使い方をマスターするのではなく、統計的手法の基本を含めて学習する。
講義の内容・授業スケジュール	授業は講義形式に加え、主に実習形式で行う。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。 今年度の具体的な内容については以下に記す。 ・主にPC-SASを利用した統計処理および分析方法の理解 データ解析と統計的手法の基礎 (基本統計量、相関と回帰、仮説検定、多変量解析の基礎) PC-SASの操作方法の理解 SASプログラムの書き方 他のアプリケーションとの連携(データハンドリング) データ取得から分析までの総合演習 ・成果の発表や公開に関すること(時間的に可能な場合に実施する) コンピュータを使ったプレゼンテーション
履修上の留意点	コンピュータ実習の単位を習得していること、又は、同等の知識を持っていること。 本講義は実習形式で行うことが多いので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。 授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足するので、各自、自習室等を利用した自習が必要となる。
成績評価の方法	出席および課題の提出を前提とし、学期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては定期試験期間での期末試験を免除する可能性がある。
教科書	・授業中に配布するプリント教材。 ・竹内 啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬著 『SASによるデータ解析入門 [第2版]』 東京大学出版会、¥3,570、ISBN: 4-13-064048-8
参考書等	・参考書については、授業中に適宜紹介する ・コンピュータ実習で使用した教材 ・心理統計学で使用した教科書や教材
その他	授業内容から、本授業は3年次に受講することをお勧めする。

履修コード	075001
科目名	宗教学人類学
担当者名	佐藤 憲昭

講義のねらい

宗教学人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊（ひょうれい）文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとあ、神霊・精霊が憑（つ）いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。この講座では、宗教学人類学の学問的特色について概観した後、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含みさまざまな角度から考察する。そして、憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

1. 文化人類学・宗教学人類学・宗教民族学（1～3）、2. 宗教学人類学と宗教民俗学（4～5）、3. フィールドワーク（6～8）4. 民俗宗教の特質（9～11）、5. アニマ（霊）とマナ（力）（12～14）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究（15～18）、7. 憑霊現象と社会組織（19～21）、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象（22～24）、9. 憑霊文化と王権（25～27）、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性（28）。

履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のリポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書
参考書等

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』講談社（学術文庫）
授業中に適宜紹介する。

履修コード	075101
科目名	心理学特殊演習
担当者名	茨木 博子

講義のねらい

本演習では、卒業論文作成の準備段階として、受講生の興味、関心のあるテーマについて文献を読み、発表、討議する中で実現可能な研究テーマを明確にし、研究計画を立てることを目的としている。またグループワーク（集団精神療法）を適宜導入し、臨床心理学の重要課題の一つである「より良い人間関係」について実践的に考える。

講義の内容・授業スケジュール

（1）自己紹介とオリエンテーション（2～14）事前に文献を読み、調べた興味、関心のある研究テーマについて発表し、討議する。その過程で、研究可能なテーマかどうか検討し、指導、助言する。グループワーク（15）4年次生の卒業論文中間発表会出席（16～30）研究可能なテーマを明確化し、そのテーマに即した研究計画および方法を具体化するために、演習形式を主とした指導を行う。またその過程において、論文の書き方、研究の進め方について指導、助言する。グループワーク

履修上の留意点

卒業論文は、受講生にとって初めての研究であり、「私は、このテーマで研究したい」と思うことが大切である。しかし、研究したいテーマが実際に研究できるとは限らないので、最初から無理と思われるテーマは避けること。

成績評価の方法
参考書等

出席、授業態度、発表内容などによって総合的に評価する。
随時紹介する。

履修コード	075201
科目名	心理学特殊演習
担当者名	茅原 正

講義のねらい 3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に準ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

講義の内容・授業スケジュール 意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文献を輪読する。文献講読(前期)1~3 心理学における時間 4~6 線的時間体験の次元 7~9 持続の構成 10~11 薬物体験と時間 12~13 非線的時間体験後期は、各自の個人テーマに並行して、以下のような問題をとり上げる。1、ガイダンス 2~4 卒論の構想 5~7 文献・資料 8~10 データの収集について 11~12 データの分析について13まとめ 各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究成果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

成績評価の方法 出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。
教科書 R.E.Ornstein The Psychology of Consciousness の予定である。
プリント配布。

参考書等 参考書・文献等については、随時紹介する。

履修コード	075401
科目名	心理学特殊演習
担当者名	永田 陽子

講義のねらい 本演習は4年次に提出する卒業論文を、2年間かけて作成することを希望する、3年次の学生を対象としてもうけられた演習であると位置づけている。従って、各受講者が卒業論文の主題を明確にするとともに、その基礎的技法や方法を獲得することが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、卒業論文に必須となる心理統計およびSPSSによるデータ解析の実質的指導を行う。後期は、受講者各自の論文テーマを明確にするために、受講者の興味のある文献検討を行う。受講者は各自のテーマについて個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、4年次の卒業論文に備える。

履修上の留意点 各受講者の卒業論文の研究に基づく面接を随時行う。

成績評価の方法 口頭発表とレポートによって総合的に評価する。

参考書等 必要な参考図書および文献を演習時に随時提示する。

履修コード	075501
科目名	心理学特殊演習
担当者名	小野 浩一

講義のねらい 本演習は、卒論2年間コースを希望する学生のための3年次の演習である。3年次においては各自テーマを決定し、そのテーマについて文献研究ならびに学習を行い、予備的なデータ収集(予備実験や予備調査)を行う。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、各自の研究指導に加えて、心理学研究についての具体的手順を学ぶために最新の研究トピックスに関する文献の研究を行う。さらにテーマが近いもの同士でグループを作り、各グループが共通の問題について論文を調べ、議論した成果をさらに全体の場で討議するという形で進める予定である。また、後期には Skinner, B.F. (1990). Can psychology be a science of mind? American Psychologist, 45, 1206-1210. を読み、行動分析学についての理解を深める。

履修上の留意点 正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法 出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

参考書等 以下の学術雑誌を参照のこと

行動分析学研究

Journal of the Experimental Analysis of Behavior

Journal of Applied Behavior Analysis

その他、必要に応じて授業中に紹介する

履修コード	075601
科目名	心理学特殊演習
担当者名	谷口 泰富

講義のねらい	4年次の卒業論文が必修となっていますが、実証的研究の時間としては1年間では不十分です。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する問題（テーマの決定、文献検索、研究の心理学的位置づけ、研究方法、資料分析方法、研究のまとめ方）について学習することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	『卒業論文作成カルテ』に従い、計画的な指導を行います。（1）オリエンテーション、（2～4）テーマの決め方と卒業論文の書き方について、（5～7）個人別テーマ及び研究法の相談、（8～9）文献検索指導、（10～15）研究計画と文献研究の発表、（16～17）研究計画再点検、（18～21）予備研究、（22～23）予備研究資料の分析と研究計画の調整、（24～30）本研究指導
履修上の留意点	これまでに学んできた心理学の授業のみならず、その他の参考書などに基づき、自分の興味のある分野について大まかにでも考えておくことが望ましいです。授業は講義形式のみならず演習形式になりますので、遅刻や欠席は厳禁です。課題やレポートの提出が多くなります。そのためには、十分な準備の時間が必要となります。
成績評価の方法	研究報告書やレポートにより評価しますが、出席状況も考慮します。
教科書	『卒業論文作成カルテ』を配布します。
参考書等	随時紹介します。

履修コード	075701
科目名	心理学特殊演習
担当者名	間島 英俊

講義のねらい	本演習は、4年次の卒業論文作成を2年間かけてじっくり構想を練り、より質的に高い研究を目指す演習ゼミです。そのために、4年次の演習の「講義のねらい」に準拠します。
講義の内容・授業スケジュール	4年次の「演習」の講義のねらい、講義内容・授業スケジュールをそのまま当てはめることができます。ただし、時間的には余裕がありますので、この演習では、研究テーマの設定、研究計画および実施まで辿り着きたいと思えます。
履修上の留意点	基本的には上述のように4年次の演習に結びつくことがねらいですが、ゼミ選考届けの前に、一応どんなことに興味をもって卒論として取りくみたいかを話し合いたいと思います。その上で、本演習を希望するのであれば履修していただきたいと思えます。
成績評価の方法	出席、レポート、発表、討論等演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。
教科書	特に指定はしません。
参考書等	参考書、文献等については随時紹介します。

履修コード	075811
科目名	心理学特殊演習
担当者名	有光 興記

講義のねらい	卒業論文の作成に向けて、文献検索、テーマ設定、研究計画など準備を進める。
講義の内容・授業スケジュール	臨床心理学（認知行動療法、応用行動分析）、社会心理学に関する論文を読み、その中で自分自身のテーマを見つけていく。まず、関連領域の動向について説明を受けた上で(1-4回)、テーマを絞り、文献リストの中から発表したい論文を選び、発表する(5-15回)。その過程で、論文の書式、統計手法、最新の知見、発表の仕方について学ぶ。後期には、卒業論文の関連論文の発表とテーマ設定を行い、研究計画を立てることを目標とする(16-30回)。テーマが共通している人で、グループを組むこともあり得る。
履修上の留意点	演習時間外に、論文の読み方、テーマ設定などについて面接時間をとることがある。
成績評価の方法	課題の達成度、レポートの内容、発表内容から総合的に評価する。
参考書等	適宜、紹介する。

履修コード	075821
科目名	心理学特殊演習
担当者名	鈴木 常元

講義のねらい	<p>本特殊演習の課題は以下の2つである。</p> <p>1. 催眠や自律訓練法をベースにしたイメージの表現（描画や粘土細工）を通して、それをどのように捉え（心理アセスメント）、心理面接にどのように生かしていくか（心理療法）を学びながら、臨床心理学の基本的な考え方を身につける。</p> <p>2. 卒業研究の準備を行いながら、研究の進め方やプレゼンテーションの方法について学ぶ。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2～3回 臨床心理学研究法</p> <p>第4～11回 催眠・自律訓練法・イメージに関する文献購読と基礎的な実習</p> <p>第12～14回 卒業論文構想発表</p> <p>第15回 前期のまとめ</p> <p>第16～17回 臨床心理学研究法</p> <p>第18～24回 描画・粘土等を用いたイメージ療法の体験学習</p> <p>第25回 イメージ療法体験のまとめ</p> <p>第26～29回 卒業論文構想発表</p> <p>第30回 全体のまとめ</p>
成績評価の方法	<p>授業への出席、発表内容、他の受講生の発表に対する発言などを総合的に評価する。</p>
参考書等	<p>催眠面接の臨床 栗山一八 九州大学出版会</p> <p>自律訓練法の実践 佐々木雄二 創元社</p>

履修コード	075831
科目名	心理学特殊演習
担当者名	八巻 秀

講義のねらい	<p>本演習は、卒論作成の2年間のコースを希望する学生のための3年次の演習（ゼミ）です。この演習において、前半は各自が興味のあるテーマについて報告・討議しながら、卒論テーマの方向性を決定します。後半は、そのテーマについて文献研究ならびに学習を行っていきます。さらに可能であれば、具体的なデータ収集（予備実験や予備調査）を行っていくことも目標とします。</p> <p>授業形態としては、基本的にメンバー全員参加による討議形式やグループでの作業で行っていきます。必要に応じて、個別の直接的な研究指導も行っていきます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>（1）オリエンテーション、（2～6）ゼミの基本方針・計画の決定、（7～15）興味あるテーマについての発表・討議、（16～17）個別研究指導、（18～27）卒論テーマに関する文献研究発表、（28～30）中間報告会</p>
成績評価の方法	<p>出席・課題への取り組みなどにより総合的に評価します。</p>
教科書	<p>必要に応じて授業中に紹介します。</p>
参考書等	<p>必要に応じて授業中に紹介します。</p>

履修コード	058411
科目名	マス・コミュニケーション論A
担当者名	川本 ^{かわもと} 勝 ^{まさる}

講義のねらい	われわれの生活は情報メディアなしでは成立しえなくなっている現状をまず把握する。その現状を基礎にして、マス・コミュニケーション活動が人々の社会生活や社会とどのように関係しているかを考察し、多種多様化した情報メディアの社会的機能を理解するのが、この講義の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	パーソナル・コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで、生活に欠かせないコミュニケーション活動の現状を整理し、その社会的機能と課題について講義する。 第1回目は、オリエンテーション（授業のガイダンス） 1. コミュニケーションとは—その意味、定義と特質— 2. 社会的コミュニケーションの種類と特質、その規程要因（2～3回） 3. マス・コミュニケーション活動の現状、特質と課題（数回を予定） ①情報の生産・伝達活動、②報道活動、③論評活動、④教育活動、⑤娯楽の提供活動 4. マス・コミュニケーション内容の実態と特質（2回） 5. マス・コミュニケーションの機能類型（2～3回） まとめ—マス・コミュニケーションの社会的機能の整理
履修上の留意点	この講義は、マスコミ社会学の学問領域での考察となりますので、他学部他学科の学生は、すでに社会学を履修していることが望ましい。
成績評価の方法	試験により授業内容の理解についての評価を行う。その他、授業時間内に実施する小テストや小レポート、出席を考慮して、総合的に評価する。
教科書 参考書等	特に使用しない。 適宜紹介、指示、配布する。

履修コード	058421
科目名	マス・コミュニケーション論B
担当者名	川本 ^{かわもと} 勝 ^{まさる}

講義のねらい	これまで多くの研究がなされてきたマス・コミュニケーションの効果、影響についての理論学び、現代社会における情報メディアの社会的影響過程を考察するのがこの講義の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	マス・コミュニケーションの受容過程を扱う。マス・コミュニケーションが社会や人びとに対してどのような効果や影響を及ぼしているか、これまでの効果論を紹介しながら考察する。 第1回目は、オリエンテーション（授業のガイダンス） 第2回：マス・コミュニケーションの受容過程とは 第3回～2, 3回を予定：マス・コミュニケーションの接触行動、意味解釈行動の多様性とその要因 第7回：マス・コミュニケーションの効果研究の視点と系譜 第8回：マス・コミュニケーションの効果研究の小史（推移） 第9回～：マス・コミュニケーションの効果に関する諸理論（効果モデル） まとめ—マス・コミュニケーションの社会的影響過程の整理
履修上の留意点	この講義は、マスコミ社会学の学問領域での考察となりますので、他学部他学科の学生は、すでに社会学を履修していることが望ましい。
成績評価の方法	試験により授業内容の理解についての評価を行う。その他、授業時間内に実施する小テストや小レポート、出席を考慮して、総合的に評価する。
教科書 参考書等	特に使用しない。 適宜紹介、指示、配布する。

履修コード	058451
科目名	家族とジェンダーの社会学A
担当者名	まつのぶ 松信 ひろみ

講義のねらい 本講義のテーマは、現代の結婚と家族にかかわる諸現象や問題を、社会的な観点から考察することである。統計的なデータから、さまざまな現象や問題についての現状を読み取り、その現状を社会的な観点から把握できる能力を養うことが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール 授業の前半では、家族社会学の基本的な考え方を解説し、近代家族から現代家族への変遷の過程について説明する。授業の後半では、現代家族をめぐる具体的な現象や問題を取り上げ、各々について統計的なデータなども用いて現状の解説と社会的な観点からの検討を行う。具体的には、未婚化・晩婚化の進展、離婚の増加、少子・高齢化、共働き家族の仕事と家庭生活の調和の問題などを取り上げて検討してゆく。

- 第1回 家族変動と家族のゆくえ
- 第2回 家族機能の変化
- 第3回 ライフコースと家族
- 第4回 ネットワークと家族
- 第5回 新しい家族のかたち①事実婚や同性婚
- 第6回 新しい家族のかたち②ステップ・ファミリー
- 第7回 家族の個人化・リスク化
- 第8回 恋愛と結婚と家族
- 第9回 シングルライフ
- 第10回 性別役割分業と家族
- 第11回 少子化と子育て支援①少子化の現状
- 第12回 少子化と子育て支援②ワークライフバランスと子育て支援
- 第13回 高齢化と家族①高齢化の現状
- 第14回 高齢化と家族②家族の介護と看取り
- 第15回 まとめ

成績評価の方法 平常点（出席・コメントペーパー）30%、レポート70%

教科書 増子勝義編著『新版新世紀の家族さがし・おもしろ家族論 -』学文社、2007

参考書等 適宜紹介する

履修コード	058461
科目名	家族とジェンダーの社会学B
担当者名	まつのぶ 松信 ひろみ

講義のねらい 本講義のテーマは、ジェンダーの観点から現代社会の諸現象や問題を考察することである。さまざまな現象や問題に関して、ジェンダーの観点を導入することにより見えてくる新たな問題性の把握と、その問題について社会的な観点から把握できる能力を養うことが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール 授業の前半では、ジェンダーについての基本的な考え方を解説する。授業の後半では、ジェンダーにかかわる具体的なトピックについて、統計的なデータなども用いて現状の解説と社会的な観点からの検討を行う。具体的には、多様な性の存在、性別役割分業、雇用と就労、性的暴力、性の商品化、リプロダクティブ・ヘルス&ライツ、ケアの担い手などである。

- 第1回 ジェンダーとは
- 第2回 多様な性の存在①ジェンダーとセクシュアリティ
- 第3回 多様な性の存在②セクシュアル・マイノリティの現状
- 第4回 性別社会化とジェンダー
- 第5回 ケアの担い手とジェンダー①育児
- 第6回 ケアの担い手とジェンダー①介護
- 第7回 雇用・就労とジェンダー①性別職域分離
- 第8回 雇用・就労とジェンダー②労働環境におけるジェンダー格差
- 第9回 リプロダクティブ・ヘルス&ライツ①生殖にかかわる南北問題
- 第10回 リプロダクティブ・ヘルス&ライツ①不妊と生殖医療
- 第11回 暴力とジェンダー①セクシュアル・ハラスメント
- 第12回 暴力とジェンダー②ドメスティック・バイオレンス
- 第13回 性の商品化とジェンダー①性の商品化とは
- 第14回 性の商品化とジェンダー②ポルノグラフィーや売春はいけないうことなのか？
- 第15回 まとめ

成績評価の方法 平常点（出席・コメントペーパー）30%、レポート70%

教科書 開講時に指示する

参考書等 適宜紹介する

履修コード	058381
科目名	雇用と労働の社会学
担当者名	山田 信行

講義のねらい 社会学の観点から雇用と労働に関する基本的な理解を深めるとともに、非典型雇用、ワーキング・プア、および外国人労働者などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容・授業スケジュール この講義では、雇用という関係について基礎的な事項を確認したうえで、主として日本を事例として、雇用をめぐる基本的な制度とその現代的な変容について、パート労働や有期雇用の拡大、および外国人労働者の利用に象徴される雇用の多様化とそれに伴う労使関係の変化に言及しながら概説する。講義の内容は、以下のとおり。

1. 雇用という関係—雇用の発生と労使関係の本質
2. 労使関係の歴史的展開—労使関係モデルの変遷とグローバル化
3. 現代日本の産業・労働
 - (1) 年功賃金と終身雇用 (2) フレキシビリティと非典型雇用 (3) フリーター問題 (4) 自主管理活動 (5) 企業別組合と春闘 (6) ユニオンと新しい労働運動 (7) ME革命と技術革新 (8) 日本型コーポラティズム
4. 外国人労働者と看護・ケア労働
 - (1) 日本における外国人労働者 (2) 再生産労働のグローバル化 (3) 外国人看護労働の現状と課題

履修上の留意点 講義の内容を的確に理解するためには、継続的に出席することが重要である。

成績評価の方法 中間試験と学期末試験による。

教科書 とくになし。

参考書等 山田信行 1996『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房

その他 前期に開講される産業と変動の社会学もあわせて履修することが望ましい。

履修コード	058371
科目名	産業と変動の社会学
担当者名	山田 信行

講義のねらい 社会学の観点から産業と社会変動に関する基本的な理解を深めるとともに、労使関係、企業戦略、生産システム、およびグローバル化などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容・授業スケジュール この講義では、労使関係の変化とそれに対する雇主の対応と企業戦略の変化に照準して、生産システムの変遷をたどり、その過程に多国籍企業の展開と日本的なシステムの意義を位置づける。さらに、現代社会の基本的な変動趨勢としてのグローバル化の原因とその影響についても考察する。授業の内容は、以下のとおり。

1. 近代化・産業化・資本主義—労使関係の成立
2. 労使関係と生産システム
 - (1) テーラー主義とその限界 (2) フォード主義とその意味
3. ポスト・フォード主義
 - (1) 労使関係の変容とフォード主義の限界 (2) 雇主の戦略と新国際分業 (3) 多国籍企業の戦略と周辺社会の工業化 (4) 日本的生産システム
4. グローバル化と日本的生産システム
 - (1) グローバル化の原因と日本企業 (2) 国際移転と普遍性
5. グローバル化とサービス経済化
 - (1) ポスト新国際分業と産業構成の変化 (2) 世界都市と移民労働者の流入
6. インフォーマル化の進展
 - (1) インフォーマル・セクターの拡大 (2) インフォーマル化の概念と意味

履修上の留意点 継続的に出席することが、講義内容を理解するうえで重要である。

成績評価の方法 中間試験と学期末試験による。

教科書 特になし。

参考書等 山田信行 1998『階級・国家・世界システム—産業と変動のマクロ社会学』ミネルヴァ書房

その他 後期に開講する雇用と労働の社会学もあわせて履修することが望ましい。

履修コード	058641
科目名	宗教文化論A
担当者名	芳賀 ^{ほか} 学 ^{またが}

講義のねらい この講義では宗教という人間社会にかなり普遍的な現象を取り上げ、それが、個人の精神的な支えとなり、社会の安定（および変化）に大きな役割を果たすことを社会学的に概説する。具体的には、まず、セルフ・アイデンティティの維持（または変更）とのかかわりで宗教を捉える視角を提示し、その上で、日本社会の近代化プロセスを事例として、ライフスタイルや人びとの意識の変化と新宗教の拡大との関係を分析することによって、社会と宗教との密接な結びつきを明らかにする。このことを通じて、受講学生個々の「宗教を理解する力」の養成と向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1) イントロダクション (2～5) アイデンティティとその揺らぎ、認知的不協和の理論と不幸の神義論、アイデンティティの社会性、アイデンティティと宗教 (6～10) 新宗教とは何か：教団ライフサイクル説、思想、組織、信者、活動 (11～15) 新宗教と近代化：幕末維新期、代表的教団としての天理教、明治末から昭和初期、敗戦直後の状況、高度経済成長期、近代化の気密室としての新宗教

履修上の留意点 結論を急がない粘り強い思考と、物事の良い面と悪い面を同時に視野に取める複眼的視角を取るよう努めてください。

成績評価の方法 学期末試験と授業期間内に提出を求めるミニレポートとの総合評価で行います。

教科書

使用しません。

参考書等

- ・井上順孝『新宗教の解説』筑摩書房、1,155円、ISBN：9784480082732
- ・井上順孝ほか編『新宗教事典』弘文堂、25,200円、ISBN：9784335160189

履修コード	058651
科目名	宗教文化論B
担当者名	芳賀 ^{ほか} 学 ^{またが}

講義のねらい この講義においては、宗教という社会現象を取り上げ、それが現代の日本社会においてどのような変化・展開を遂げているかを社会学的な観点から概説する。具体的には、1980年代以降の日本社会に時間空間を限定して、伝統宗教と新宗教をめぐる状況の変化（カルト問題を含む）と、宗教を名乗らない広範な精神文化（＝グレーゾーン）の拡大、という両面の現象群を取り上げ、それらが私たちのライフスタイルや価値意識と密接に連動して存在することを明らかにする。このことを通じて、受講学生個々の「現代社会と宗教とのかかわりを読み解く力」の養成と向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1) イントロダクション (2) 教団勢力の退潮とグレーゾーンの拡大 (3～4) 1980年代以降の新宗教：「親密さ」と自己表出の欲求、3タイプの対応戦略 (5～11) グレーゾーンの諸現象：自己啓発セミナー、背景としての消費社会、セルフ・ヘルプ・グループ、ネットワーク・ビジネス、エステ・サロン、占い、ヒーリング (12～13) オウム真理教とカルト問題：オウム真理教事件の概略、マインドコントロール説再考 (14～15) 現代日本人のライフスタイル：その変化と特徴、パラドクスとその対応

履修上の留意点 結論を急がない粘り強い思考と、物事の良い面と悪い面を同時に視覚に取める複眼的視角を取るよう努めてください。

成績評価の方法 学期末試験と授業期間内に提出を求める課題との総合評価で行います。

教科書

使用しません。

参考書等

- ・井上順孝『新宗教の解説』筑摩書房、1,155円、ISBN：9784480082732
- ・伊藤雅之・榎尾直樹・弓山達也編『スピリチュアリティの社会学』世界思想社、1,995円、ISBN：9784790710936

履修コード	058711
科目名	犯罪と逸脱の社会学A
担当者名	岡邊 健

講義のねらい 最初に、犯罪社会学や社会問題の社会学の基本的な考え方、対象、方法について概観し、つぎに、わが国の刑事司法のプロセスや官庁統計でみた犯罪動向を概説する。
 その上で近年の研究動向をふまえて、ドメスティック・バイオレンス、貧困問題など、今日の犯罪・社会問題研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討したい。
 ステレオタイプに陥ることなく、犯罪や社会問題を社会学的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール (1)犯罪社会学とは何か(2~3)犯罪社会学の方法(4~6)刑事司法のプロセス(7~8)官庁統計でみた犯罪の動向と現状(9~14)今日の犯罪・社会問題研究の論点(15)まとめ

履修上の留意点 駒澤大学の e ラーニングシステム (YeStudy) を利用する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

成績評価の方法 期末試験と講義内で提出を求める課題により評価する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

教科書等 矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』(2004年刊、学陽書房、1995円、ISBN:4313340084)
 下記のほか、講義の中で随時紹介する。
 小林寿一編『少年非行の行動科学——学際的アプローチと実践への応用』(2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047)

履修コード	058721
科目名	犯罪と逸脱の社会学B
担当者名	岡邊 健

講義のねらい 最初に、社会解体論、分化的接触論、アノミー理論など、犯罪・非行の主要な説明理論を概説し、ついで、ラベリング論をはじめとする「犯罪研究における視点の転換」の態様について紹介する。
 その後、今日のわが国の犯罪動向を、犯罪報道の諸問題とあわせて検討した上で、少年非行言説、高齢者による犯罪など、今日の犯罪・社会問題研究の諸論点をとりあげて、詳しく検討したい。
 ステレオタイプに陥ることなく、犯罪や社会問題を社会学的に捉える構えを身につけることが、本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール (1~5)犯罪・非行の説明理論(6~8)犯罪研究における視点の転換(9~10)今日の犯罪動向と犯罪報道(11~14)今日の犯罪・社会問題研究の論点(15)まとめ

履修上の留意点 駒澤大学の e ラーニングシステム (YeStudy) を利用する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

成績評価の方法 期末試験と講義内で提出を求める課題により評価する。詳細は、初回と第2回の講義において説明する。

教科書等 矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』(2004年刊、学陽書房、1995円、ISBN:4313340084)
 下記のほか、講義の中で随時紹介する。
 小林寿一編『少年非行の行動科学——学際的アプローチと実践への応用』(2008年刊、北大路書房、2625円、ISBN:9784762826047)

履修コード	058501
科目名	行政法
担当者名	鷗徳 啓登

講義のねらい 現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後60年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。
 本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール 1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法 成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書 原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円
 『小六法』 出版社・定価各種

参考書等 塩野宏著『行政法I・II』(有斐閣)4,000円 その他、教場にて説明。

履修コード	065421
科目名	障害者福祉論
担当者名	桐原 宏行 <small>きりはら ひろゆき</small>

講義のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の本質及び障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢について理解する ・障害者福祉制度の発達過程について理解する ・相談援助活動において必要となる障害者自立支援法や障害者福祉に係る他の法制度について理解する
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1回：オリエンテーション</p> <p>第2回：障害とは何か①（身体障害の理解）</p> <p>第3回：障害とは何か②（知的障害の理解）</p> <p>第4回：障害とは何か③（発達障害の理解）</p> <p>第5回：障害とは何か④（精神障害の理解）</p> <p>第6回：障害者福祉の理念</p> <p>第7回：障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢</p> <p>第8回：障害者自立支援制度の発達過程</p> <p>第9回：障害者自立支援法の概要</p> <p>第10回：障害者自立支援法における組織及び団体の役割と実際</p> <p>第11回：障害者自立支援法における専門職の実際</p> <p>第12回：障害者自立支援法における多職種連携、ネットワークの実際</p> <p>第13回：障害者福祉関連法の概要①（身体障害者福祉法、知的障害者福祉法）</p> <p>第14回：障害者福祉関連法の概要②（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、発達障害者支援法）</p> <p>第15回：総括</p>
履修上の留意点	<p>本科目は、社会福祉士法の改正により変更された科目である。平成21年度以降入学者（平成20年度以降の入学者で単位未修得者も含む）で社会福祉士受験資格取得予定者は履修しなければならない。なお、平成20年度以前の履修者で、同一名称科目「障害者福祉論（4単位科目）」をすでに履修し単位を取得した者は再履修できないが、法改正で科目内容が改正されており、本年度の社会福祉士国家試験から「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の科目で試験が実施されるため、その対策には十分注意する必要がある。</p>
成績評価の方法	<p>授業内試験及びレポート90%、出席点10%</p>
教科書	<p>福祉臨床シリーズ編集委員会編 日比野清、大熊信成、建部久美子責任編集、『社会福祉士シリーズ14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度』、弘文堂、2,625円 ISBN978-4-335-61084-4 C3347</p>
その他	<p>ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法2009』、ミネルヴァ書房</p>

履修コード	065521
科目名	老人福祉論
担当者名	東條 光雅

講義のねらい	<p>少子高齢化社会の進展に伴い後期老年期人口が増加し、要介護高齢者の急増、家族介護の深刻化、高齢者虐待の多発など、高齢者やその家族に関わる様々な社会的問題が発生し、医療・年金・介護などの社会保険制度のあり方が大きな政治課題となっている。</p> <p>本講義では、わが国における高齢化の現状と動向、高齢者や家族を取り巻く状況、これまでの高齢者対策や高齢者福祉制度の変遷、現行の高齢者保健福祉制度等について理解を深めてもらうとともに、今後の高齢者支援のあり方について論じてゆく。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1回 高齢者の心理・精神的理解</p> <p>第2回 高齢者の身体的理解</p> <p>第3回 高齢者の社会的理解</p> <p>第4回 高齢化・高齢社会の定義とわが国における高齢化の現状</p> <p>第5回 諸外国における高齢化の状況と少子高齢化の要因</p> <p>第6回 高齢者を取り巻く諸問題</p> <p>第7回 高齢者保健福祉の発展過程</p> <p>第8回 高齢者保健福祉の現行法体系</p> <p>第9回 老人福祉法</p> <p>第10回 高齢者医療確保法</p> <p>第11回 高齢者虐待防止法</p> <p>第12回 高齢者を支援する組織と役割（1）</p> <p>第13回 高齢者を支援する組織と役割（2）</p> <p>第14回 高齢者を支援する組織と役割（3）</p> <p>第15回 これからの高齢者支援</p>
履修上の留意点	<p>この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらう。近年、受講生の私語や居眠りが目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。</p>
成績評価の方法	<p>原則的には、出席点と定期試験によって評価する。</p>
教科書	<p>『高齢者に対する支援と介護保険制度』、新社会福祉士養成講座第13巻、中央法規出版、2009年3月出版予定</p>
参考書等その他	<p>『社会福祉小六法』、『厚生労働白書』、『国民の福祉の動向』など</p> <p>講義はパワーポイントを使って行う</p>

履修コード	065621
科目名	児童福祉論
担当者名	むらた かずあき 村田 一昭

講義のねらい	1989年に国連で子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。そこでこの授業では、子どもと家庭を取り巻く現状を踏まえながら、子どもと家庭のウェルビーイング (well - being) をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組およびソーシャルワーク実践についての理解を深めることを目的としています。
講義の内容・ 授業スケジュール	1、子ども家庭福祉の理念 ①ウェルフェアからウェルビーイングへ（第1回）②子どもの権利条約（第2回） 2、子どもと家庭をめぐる最近の動向 ①少子化の動向と対策（第3回）②子ども虐待の実態と対応（第4回）③少年非行・少年犯罪の動向と対応（第5回） 3、子ども家庭福祉への歩み（第6回） 4、子ども家庭福祉の法体系 ①児童福祉法（第7回）②児童福祉六法（第8回）③関連法（第9回） 5、子ども家庭福祉の最近の法改正の動向（第10回） 6、子ども家庭福祉の実施体制 ①子ども家庭福祉行政の仕組み（第11回）②子ども家庭福祉の実施機関（第12回） 7、子ども家庭福祉施策の現状と課題 ①児童自立支援施策、児童健全育成施策他（第13回）②保育施策、障害児施策他（第14回） 8、子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際（第15回）
履修上の留意点	可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的なコメントを求めます。
成績評価の方法	平常点（出席およびリアクションペーパー、課題）と期末試験にて評価をします。
教科書	高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク（第3版）」（社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論）有斐閣 ￥2,000※授業内容により、プリントを配布します。
参考書等 その他の	随時、紹介します。 授業はパワーポイントを使用します。

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	ふじもと しげる 藤本 茂

講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではいられません。この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法制定などです。本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 賃金、賞与、退職金
- (10) 労働時間、時間外・休日労働
- (11) 休憩、休日、休暇
- (12) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No。そして無断で席を立つことも No。いわゆる授業のマナーは守ってください。配布プリントは取り上げる項目を列挙したレジュメや資料です。教科書は必要です。予習や復習をする上でも欠かせないでしょう。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価がつきません。レポートや中間試験そして出席も考慮して評価をします。追試験は実施します。

教科書

教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所 2009）。「参考書等」も第1回で示しますが、最低1冊は、購入して自宅学習に使ってください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、第1回授業で配布するプリントで。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

履修コード	058551
科目名	民法
担当者名	おおみや たかし 大宮 隆

講義のねらい

家族を研究対象とすると、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点から見ると、民法という法律の中に、講学上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家族生活に関する法律である。各種試験（たとえば家庭裁判所調査官）に対応できる講義をしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 婚姻 (1～9回) 成立要件・効果・解消(離婚制度、離婚に伴う法律問題)
- (2) 親子 (10～16回) 種類(実子、養子)・効果・解消
- (3) 親権・後見 等(17～20回) 効力や発生要件
- (4) 扶養 (21回)
- (5) 相続 (21回一) 遺言(方式、執行)・遺留分・法定相続(相続人、遺産、遺産分割)

履修上の留意点

六法を常に持参すること。

成績評価の方法

年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

教科書

『新民法概説(3) 親族・相続〔改訂版〕』(有斐閣双書) 1,800円

参考書等

適宜紹介する。

履修コード	117501
科目名	経済原論
担当者名	村松 幹二

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

経済学の基礎概念を学び、現代経済への理解を深めることを目的とする。
前期は、ミクロ経済学について、消費者行動、企業行動、市場競争と政府の役割を解説する。
1. ミクロ経済学とは：需要と供給（1～2）
2. 消費者行動の理論（3～5）
3. 企業行動の理論（6～8）
4. 市場競争（9～10）
5. 市場の失敗と政府の役割（11～13）
6. 不完全情報の経済学（14～15）
後期は、マクロ経済学について、マクロ経済学の考え方と日本経済の現状、国際経済について解説する。
1. マクロ経済学とは：国民経済計算（1～2）
2. 有効需要と乗数メカニズム（3～4）
3. 貨幣の機能（5～6）
4. インフレと失業（7～8）
5. マクロ経済政策とIS=LM分析（9～11）
6. 経済成長（12～13）
7. 国際マクロ経済学（14～15）

成績評価の方法
教科書

成績評価は、授業内試験および定期試験による。
「入門経済学」第3版、伊藤元重、日本評論社、2009年

Ⅲ 他学部履修科目

履修コード	003801
科目名	インド仏教文化史
担当者名	金沢 篤 <small>かなざわ あつし</small>

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。
神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰
頹にまつわる文化的トピックを論究する。

- ◎インド仏教文化史とは？（1～3） 日本人、日本文化と仏教
- ◎文化的側面より見たインド仏教とその展開（4～8） 他宗教と仏教の比較の視点から
- ◎仏教の起源と仏教出現の背景（8～15） 仏教哲学の成立 ヒンドゥー教と仏教 仏教の独自性
- ◎仏教の変容と展開（16～22） 哲学から宗教へ 仏教哲学の革新と宗教理論の確立
- ◎インド仏教文化史・むすび（23～）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。
年度末試験などで総合的に判断する。
渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円
教場で適宜紹介する。

履修コード	003901
科目名	中国仏教文化史
担当者名	永井 政之 <small>ながい まさゆき</small>

講義のねらい

中国における仏教の展開を論ずることは決してやさしいことではありません。今に残る膨大な資
料によって語られる綿密な思想構築の世界がある一方、資料に残らない、つまり資料を残し得ない
ような人々によって受容され支持された仏教の世界もあったからです。その双方がともに「中国仏
教」であることは言うをまちません。むしろその双方を複眼的に見てはじめて中国仏教の実像が理
解できると、私は考えています。中国仏教に関わるさまざまな材料、時には取るに足らないように
見えるものでも対象にし、それらを積み上げてみましょう。私達が考える以上に「立体的」な中国
仏教の世界が見えてくるように思います。

講義の内容・
授業スケジュール

そんな問題意識の下で研究を続けていますが、今年是中国の人たちの「信仰の世界」のいくつか
を講義してみたいと思います。ハタから見れば首をかき上げざるを得ないような「信仰」でも、それ
が大きな力となって、時には国を動かすことすらあったというのが、中国仏教の一面の歴史です。
たとえ荒唐無稽であっても、人々はそれらの信仰を通して、宗教—ここでは仏教や禅の立場のある
部分—に触れていきました。結局、現場における素朴な信仰と緻密に構成された教理教学が相互に
影響し補完しつつ中国仏教が成り立っているように思います。受講した諸君は、本授業を通してオ
ーソドックスな教理教学だけではない、「仏教」の奥行きを深さを理解してくれるのではないかと考
えています。

（1～3）本授業の目指すところを基本的なガイダンスとして講じます。（4～30）いくつかの「信
仰」を取り上げつつ、その実態を考えます。最初に取り上げるのは『金剛経』をめぐる信仰です。
ついで仏菩薩や歴史に生きた個人を取り上げます。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

資料を沢山配布しますので、専用ノート、あるいはファイルを用意して下さい。
レポート、出席、期末試験を総合して評価します。
特に教科書として使用するものではありません。必要な資料は授業中にコピーを配布します。
永井政之『中国禅宗教団と民衆』内山書店、2000年

履修コード	004001
科目名	日本仏教文化史
担当者名	袴谷 憲昭

講義のねらい 仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てて示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 仏教伝来以前の文化、(2) 文化構造の解釈、(3) 日本古来の文化、(4) 中国朝鮮の影響下の仏教文化、(5) 呉音漢音と文化、(6) 美術中の仏教観、(7) 自利利他の問題、(8) 太子信仰の背景、(9) 南部の学問仏教と民衆の文化、(10) 大仏建立の理念、(11) 学問仏教の実際、(12) 勧進聖と修験道、(13) 仏教と神祇信仰、(14) 日本独自の文化形成と仏教観、(15) 大乘戒壇の設立、(16) 一乗三乗の論争、(17) 密教と祈禱仏教、(18) 本覚思想の定着、(19) 中世の仏教信仰の確立と変容、(20) 浄土信仰の諸相、(21) 法華信仰の諸相、(22) 禅宗と五山文学、(23) 神仏習合の諸相、(24) 近世と近代の社会文化と仏教、(25) 鉄砲と吉利支丹、(26) 幕府の宗教政策、(27) 江戸文化と仏教、(28) 維新と廃仏毀釈、(29) 近代より現代へ、(30) 戦後と民主主義 以上を講義のかたわら、『妙貞問答』を講読する。

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験によって評価する。

教科書

袴谷憲昭著『日本仏教文化史』(大蔵出版) 2005年

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』(大蔵出版) 2004年

その他

必要講読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

履修コード	004101
科目名	外国語禅書講読
担当者名	石井 清純

講義のねらい 英文による禅の論文・書籍を講読することにより、仏教語・禅語の英語表現を習得し、また欧米における禅の捉え方を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

(1～3) 欧米に禅が紹介された歴史について学ぶ。(4～30) 禅の歴史や思想に関連した書籍を、適宜選択して読み進める。

履修上の留意点

事前に講読する内容を配布するので、必ず予習をしてくる。

成績評価の方法

夏休みの課題レポートと年度末の筆記試験によって判断する。

教科書

講義時にプリントを配布する。

参考書等

初回の講義時に指定。

履修コード	004401
科目名	インド哲学史
担当者名	金沢 篤

講義のねらい 仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。

◎インド哲学史・序論(1～3) インド哲学史とは? インド哲学研究の方法論

◎ヒンドゥー教と仏教(4～15) ヒンドゥー教(ヴェーダ体制)の成立 ヒンドゥー教(ダルマと業理論)の概要 仏教の成立: 仏教出現の意義

◎ヒンドゥー教(ヴェーダ体制)の変容と展開(16～20) 仏教哲学とバラモン哲学

◎インド哲学各論(21～) 正統バラモン哲学諸派

◎インド哲学・結び

履修上の留意点

日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常にながしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

数回のレポートと年度末の筆記試験など。

教科書

早島鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)

参考書等

講義の中で適宜紹介する。

履修コード	005301
科目名	原始仏教
担当者名	片山 一良

講義のねらい 原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教も、あるいは上座部仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何かをパーリ仏典（原始仏典）の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 前半は仏伝を紹介しつつ、教えの基本となる縁起・四聖諦について、後半はパーリ仏典『転法輪経』を読みつつ、仏法について講じる。前半は波羅蜜行、誕生、苦行、成道、説法、入滅を、後半は信、戒、定、慧、慈悲、如是を主な内容とする。

履修上の留意点 従来の「仏教」に対する先入見を離れ、パーリ仏典（原始仏典）を直接読むことを勧めたい。

成績評価の方法 レポート（夏期）および年度末テストによる。

参考書等 片山一良『ブッダのこゝろ・パーリ仏典入門』（大法輪閣）平成二十年

履修コード	007001
科目名	外国語仏書講読
担当者名	木村 誠司

講義の内容・授業スケジュール シチエルバックキーの Buddhist Logir を読む。受講者に訳してもらい、読み進める。本書は20世紀初頭に書かれた記念碑的作品である。現在でも、その価値は高い。

成績評価の方法 平常点で行う。通常の授業で、各人に訳してもらうので、それがそのまま評価となる。

教科書 コピーで配布する。

履修コード	007401
科目名	中国哲学史
担当者名	前川 亨

講義のねらい 東アジア世界において重要な精神的な位置を占める中国の哲学・思想・宗教について概観する。

講義の内容・授業スケジュール 本年度は先秦時代から唐代までの哲学史を講義する。講義内容は受講者の関心等により柔軟に対応し、受講者から質問を受けた問題などには更に掘り下げた検討を加えるつもりであるが、おおむね以下のような内容を講ずることになる。

- ・ 儒教の発生—孔子とその思想
- ・ 儒教の展開—孟子・荀子の思想
- ・ 道家の思想—老子・荘子の思想
- ・ 神仙思想と養生法
- ・ 靈魂と死後世界の問題
- ・ 儒教の変貌—漢代の儒教
- ・ 五経とは何か
- ・ 易の思想
- ・ 孝
- ・ 仏教の中国伝来
- ・ 道教教団の成立
- ・ 玄学と名教
- ・ 唐代文化と新しい時代への胎動

履修上の留意点 受講生には継続的な出席と積極的な参加を求める。継続して出席する意志のない者、出席しても授業を集中して聴く意志のない者の受講は認めない。

成績評価の方法 本年度は試験を実施する予定であるが、受講者数が少ない（目安として10人以下）の場合には平常点とレポートに切りかえるかも知れない。いずれにしても出席はとり、出席回数に足りない学生には試験受験もしくはレポート提出の資格を与えない。

教科書等その他 特に必要としない。
授業中に適宜紹介する。
できるだけ多くの知識を提供するため、講義の形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めていくので、質問には積極的に応答してもらいたい。中国（東アジア）の社会・文化・宗教など様々な方面に関心をもつ諸君の受講を期待する。

履修コード	007411
科目名	日本哲学史
担当者名	久保 陽一 <small>くほ しょういち</small>

講義のねらい

「哲学」は明治初めに西洋から導入されたが、その際日本の伝統的思想との関連が問題にされた。儒教が近代化の障害として批判されたり、仏教が近代化の限界の克服の拠所と考えられもした。最近「グローバル化」と「文明の多元化」が語られる状況の中で、日本の哲学があらためて問い直されている。そこで近代日本の代表的な哲学の思想を紹介し、その流れを捉えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

福澤諭吉、西周、内村鑑三、新渡戸稲造、井上哲次郎、西田幾太郎、鈴木大拙、和辻哲郎、九鬼周造、三木清、戸坂潤、丸山真男を取り上げ、彼らが日本の近代化にどのように関わり、西洋哲学との関連でどのように独自の思索を展開したか、またそれは今日どのような意味を持つかを考えることにする。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

講義を手掛かりに、自分でさらにテキストなどを読むことが望ましい。
試験（前期と後期）と出席によって評価する。
個々の哲学者の文章を資料として配布する。
開講時に指示する。

履修コード	008901
科目名	仏教文献学
担当者名	野沢 佳美 <small>のざわ よしみ</small>

講義のねらい

本講義では、中国で編纂された仏教経典の一大叢書である大蔵経（一切経）の歴史とそれを取り巻く諸問題を取り上げます。

仏教が中国に伝えられて以降、様々な仏典が翻訳・書写され、その集成されたものが大蔵経です。当初大蔵経は書写されましたが、やがて印刷されるようになると、その巻数も膨大なものになり、また大蔵経の種類も次第に増えていきます。本講義では、そうした大蔵経の成立とその編纂経緯などを眺めながら、必用に応じてビデオやスライドを併用しながら、今日までアジア各国に伝えられた各種大蔵経の意義などを考えてみます。また、大蔵経入蔵仏典の相互比較を通じて、初歩的文献学研究の重要性と必要性を指摘したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期（1～5）写経時代から印経時代へ、（6～9）宋元大蔵経、（10～12）元代大蔵経、（13～15）高麗版大蔵経および周辺諸国の大蔵経。

後期（1～4）明代大蔵経、（5）大蔵経の現在と未来、（6～9）江戸時代の大蔵経、（10～14）大蔵経所収仏典の文献学的研究、（15）まとめ。

履修上の留意点

本講義では大蔵経編纂の流れを基軸とし、これに個々の大蔵経を取り巻く諸問題を取り上げますので、継続した出席が必要となります。中途半端な気持ちで履修しないことを望みます。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席回数と前期末・後期末の2度のレポートにて評価します。

とくには定めません。随時プリントを配付します。

『大蔵経－成立と変遷－』（百華苑）1989年再刊
笠沙雅章『宋元仏教文化史研究』（汲古書院）2000年
笠沙雅章『大蔵経編纂』（『大谷大学通信』50号）2000年
椎名宏雄『宋元版経の研究』（大東出版社）1993年
野沢佳美『明代大蔵経史の研究』（汲古書院）1998年

その他

授業は講義が中心となりますが、その都度意見を求めることがあります。また、必要に応じてビデオの鑑賞、博物館・図書館見学も考えています。

履修コード	014101
科目名	上代文学研究I
担当者名	なかじま 真也 中嶋 真也

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

現存、日本最古の歌集『万葉集』を精読し、古代日本の一端を理解することをねらいとします。
2010年は、キャラクター先行の感もありますが、巷を騒がせている平城京遷都1300年であります。そのような100年に1度の記念すべき年に、人生で遭遇できることは幸運ともいえます。そこで平城京は文学作品ではどのように描かれているのかを、2010年を迎える前に『万葉集』を中心に見ていきたいと思ひます。古代を理想的に幻視するのではなく、残された歌を通じて、古代の人々の喜びや悲しみを少しでも身近に感じられれば幸いであります。

『万葉集』を読むのが初めてという方も少なくないでしょうから、『万葉集』に関する概説を最初は極力丁寧に行ないます。読解に入ってから、前期は平城京に関わる歌の紹介を中心に、状況理解に努め、後期はそれらの歌々に相互に関わる問題、派生する問題を取り上げていこうと思ひます。ただし、授業は生き物ですから、移ろいゆく場合もあることはご承知おきください。前期と後期の最後に試験を行ないます。以下、回数ごとの予定を記しておきます。

(1・2) ガイダンス、『万葉集』概説、(3～5) 大宰府からの平城京、(6・7) 旅の途上の平城京、(8～10) 越中からの平城京、(11・12) 失われた平城京、(13・14) 平安時代の平城京、(15) 前期試験、(16～18) 平城京の近郊1 (高門)、(19・20) 平城京の近郊2 (生駒)、(21～24) 平城京の近郊3 (佐保)、(25～28) 平城京の近郊4 (三笠)、(29) まとめ、(30) 後期試験

履修上の留意点

講義というスタイルですが、主体的な受講を切に希望します。

テキストは毎回必ず忘れないように。

成績評価の方法

学期末の試験を中心に評価しますが、授業の出席状況ならびに授業態度も重視します。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)

参考書等

必要に応じて、授業中に指示します。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布します。

履修コード	014301
科目名	中古文学研究I
担当者名	まつい 健児 松井 健児

講義のねらい

『源氏物語』の自然叙述を、その歴史的・表現史的な背景を踏まえつつ読み解いてゆく。ことに自然叙述の種々相における、認識方法や類型化の問題を、表現それ自体に内在する歴史性の問題として扱うことによって王朝文化論としての展開を試みる。

講義の内容・
授業スケジュール

『源氏物語』より、訪問・宴・儀礼など、固有の意味を持ついくつかの場面を取り上げつつ講読する。具体的には、物語叙述と詩歌表現とを相互に関連付ける、歴史的心性および言語表現史への言及ということになる。折に触れ、王朝絵画や文様など、他の関連分野との比較検討を行う。(1～4) 『源氏物語』概説、(5～7) 物語文学と自然叙述、(8～14) 『源氏物語』第一部の巻々、(15～21) 『源氏物語』第二部の巻々、(22～28) 『源氏物語』第三部の巻々、(29～30) 物語表現と主題形成。

履修上の留意点

毎回、長文の本文を講読する。『源氏物語』の文章は難解で知られる。また、和歌・漢詩を数多く読むこととなる。古語辞典等を活用しつつ、自宅での予習・復習の時間にじっくりと本文と向き合い味読してほしい。また、この講義では、受講生による本文の音読を重視する。

成績評価の方法

①本文解釈を中心としたレポート ②出席状況 ③その他を総合して行う。

教科書

授業時にプリントを随時配布する。

履修コード	014501
科目名	中世文学研究I
担当者名	櫻井 陽子

講義のねらい	源義経が文学・芸能の中でどのように登場し、活躍し、増幅されていくのかを考えることから、中世文学の側面を考える。
講義の内容・授業スケジュール	軍記物語全体の特色について、文学史上における意味・意義・問題点を講義する。次に、義経の登場する『平治物語』『平家物語』『義経記』について、作品の内容を紹介する。 その上で、諸作品における義経の登場箇所を丁寧に読み解き、問題意識を深める。必要に応じて、歴史史料などを参照する。 余裕があれば、御伽草子・幸若・能・歌舞伎などに登場する義経について言及する。 1～5 軍記物語とはどのようなジャンルか。 6～10 『平治物語』『平家物語』『義経記』の特徴。 11～15 『平治物語』における義経 16～20 『平家物語』における義経 20～28 『義経記』における義経 29・30 芸能などの諸作品における義経
履修上の留意点	講義ノートを作成しておくこと。
成績評価の方法	出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。
教科書	授業時に指示する。
参考書等	授業時に指示する。

履修コード	014701
科目名	近世文学研究I
担当者名	川元 ひとみ

講義のねらい	従来の小説方法を一新して浮世草子というジャンルを切り開いた西鶴の方法を探ることを目的とし、近世前期の上方文化についても理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	井原西鶴の『好色一代男』を読む。 1. 江戸時代の特色（前期を中心に）の概論。（1） 2. 井原西鶴とその後の浮世草子作者（2～3） 3. 西鶴の浮世草子とその後の浮世草子（4～5） 4. 『好色一代男』研究における諸問題（6） 5. 各章を読む（7～29） 6. 試験（レポート）
履修上の留意点	授業では時間の都合上、全文を通読できない。したがって、個々で全文読破する意欲を持っていること。
成績評価の方法	最後に課すレポート（原稿用紙10枚程度）に拠る。出席も考慮する。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	『西鶴集』（日本古典文学全集）板坂元・岩波書店、『好色一代男全注釈』前田金五郎・角川書店、『対訳西鶴全集』富士昭雄・明治書院、『現代語訳西鶴全集』暁峻康隆・小学館

履修コード	014901
科目名	近代文学研究I
担当者名	<small>榎本 正樹</small>

講義のねらい

二十世紀前後にデビューした作家の作品を網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマや表現、モチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探ります。

講義の内容・授業スケジュール

現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの技法、周辺メディアとの連関などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学（純文学）を中心に、その他のジャンルも対象とします。

今年度の授業では、昨年（2008年）映画公開された現代日本文学を原作とする映画を鑑賞し、原作と比較しながら作品を解説する小特集的なテーマを設定します。森絵都『ダイブ!!』（熊澤尚人監督）、梨木香歩『西の魔女が死んだ』（長崎俊一監督）、長嶋有『ジャージの二人』（中村義洋監督）、森博嗣『スカイ・クロラ』（押井守監督）、東野圭吾『容疑者Xの献身』（西谷弘監督）の候補作品の中から、3～4作取りあげる予定です。

履修上の留意点

榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報、文学界、出版界のトピックスなども盛りこんでいきます。

現代日本文学、映画、周辺ジャンルなど、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。学生からの質問や問題提起にも積極的に応じます。

成績評価の方法

学期末提出のレポートの評価をメインに、出席点を加味し評価します。

教科書

使用しません。取りあげる作品を事前に読んでいなくても理解できる形で、授業は進めます。

参考書等

参考文献等は教室で指示します。

その他

講義形式をとります。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト (<http://enmt.jp>) も参考にしてください。

履修コード	016601
科目名	演劇概論
担当者名	<small>森井 直子</small>

講義のねらい

今日私たちが触れることのできる演劇は、多くの人々による絶え間ない試みが積み重なって生まれてきたものです。演劇が、なぜ、どのような変遷を辿ってきたのかを考え、同時に演劇のもつ可能性への感度を養うことを目的とします。授業は、講師による講義形式で行います。

講義の内容・授業スケジュール

（1～3）日本近代演劇の模索（4～5）近代演劇の黎明、文芸協会、自由劇場（6～8）芸術座、新国劇（9～11）築地小劇場、プロレタリア演劇（12～15）戦中・戦後の新劇、俳優座、文学座（16～18）60年代演劇、状況劇場、早稲田小劇場、現代人劇場（19～21）70年代演劇、つかこうへい事務所、秘法零番館（22～24）80年代演劇、TPO師★団、夢の遊眠社、第三舞台（25～27）90年代演劇、青年団（28～30）今日の演劇

成績評価の方法

観劇レポートの提出を2回求めます。そのレポートおよび出席状況によって評価します。

教科書

授業中に資料を配布します。

履修コード	016701
科目名	西洋思想史
担当者名	<small>滝沢 正之</small>

講義のねらい

感情の哲学。感情について哲学的に考えたい。我々は常日頃から自らの感情に振り回されて生きている。このやっかいな感情というものが、どのような本性のものであり、どんな機能を果たしているのかを考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

哲学的情念論の古典的なテキストの一部を配布し、それを丁寧に読み、解説する。それに基づいて、議論をすすめることになる。スミス、ヒューム、カントなどを扱う予定。

- [1回～5回] 感情の問題の概観（情念論の哲学史など。）
 - [6回～10回] 感情と社交（人間関係と感情はどうかかわるのか？）
 - [11回～15回] 感情と趣味（芸術性の評価と感情はどうかかわるのか？）
 - [16回～20回] 感情と倫理（道徳的な善悪と感情はどうかかわるのか？）
 - [21回～25回] その他の諸問題
- （＊残りは予備日。また、あくまで目安である。）

履修上の留意点

講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

講義中にプリントを配布する。その他のものにかんしては、適宜指定する。

参考書等

久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。その他のものについては講義中に適宜指定する。

他学部
履修科目

履修コード	O17001
科目名	比較文学
担当者名	内藤 まりこ

講義のねらい 比較文学研究の成立背景、目的、方法を学び、比較文学の方法を実際の文学作品を取り上げて検討する。

講義の内容・授業スケジュール まず、比較する行為の問題性を考え、比較文学の研究が成立した歴史的な文脈をおさえ、比較文学の目的と方法を確認する。
次に、実際の文学作品を取り上げて、比較文学の方法を検討するが、授業では、映画化された文学作品を中心として、文学と映像との比較分析を含めて、比較文学の方法を学ぶ。

成績評価の方法 出席と授業内でのレポートあるいは学期末テストによる。

教科書 コピーを配布する。

参考書等 授業中に指示する。

履修コード	O17101
科目名	日本民俗学
担当者名	谷口 貢

講義のねらい 日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) 民俗学とは (3～5) 民俗学の流れと現在 (6～7) 家族生活と住まい (8～10) 食をめぐる民俗 (11～12) 村と町の成立 (13～15) 若者と一人前 (16～18) 婚姻と出産・子育ての民俗 (19～21) 女性・子ども・老人の民俗 (22～24) 葬送儀礼と先祖祭祀 (25～27) 里と海・山のなりわい (28～29) 祭りと年中行事 (30) 民俗宗教の諸相

履修上の留意点 夏期レポート及び小レポートを実施する予定。

成績評価の方法 学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書 谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ』2006年刊(八千代出版) 2,100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

履修コード	O25601
科目名	イギリス文学特講I
担当者名	石原 孝哉

講義のねらい イギリスのルネッサンス期の文学について講義します。主な作家とその作品を通じて、イギリス文学の大きな流れを読み取るのがこの講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 前期には、「ヨーロッパにおけるルネッサンス運動の流れとその実態」、「イギリスのルネッサンス」について、Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, William Shakespeareなどを例に講じます。後期は、Shakespeareの作品を中心に Ben Jonson, John Bunyan, John Miltonなどを取り上げます。

履修上の留意点 講義形式で授業を進めますが、文学理論の部分は多少難解なので、意欲ある学生の受講を求めます。

成績評価の方法 期末試験、レポートにより評価します。

教科書 ノースロップ・フライ著、『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』、三修社

履修コード	O25801
科目名	イギリス文学特講III
担当者名	濱口 真木

講義のねらい それぞれの詩人の代表的な詩を読み進める。

講義の内容・授業スケジュール イギリスの代表的な詩を選んで読み進め、重要な言葉の意味を考察しながら言葉に込められた詩人の生き方の問題や文化、社会、宗教等の問題、個々の詩人たちの人間観などを読み取る。取りあげる詩人はシェイクスピア、ジョン・ダン、ミルトン、グレイ、ブレイク、ワーズワス、コウルリッジ、バイロン、キーツ、テニソン、ブラウニングなど。

成績評価の方法 出席やレポートなどの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価。

教科書 教場にて指示する。

履修コード	025901
科目名	イギリス文学特講IV
担当者名	川崎 明子

講義のねらい

ヴィクトリア朝の小説を中心に、19世紀のイギリスの文化と社会を紹介します。小説の黄金時代といわれるヴィクトリア朝の著名作家、具体的には、ディケンズ、プロンテ姉妹、エリオット、ギヤスケル、サッカレー、ハーディ等の代表作品を解説します。並行して、カーライル、アーノルド、ニューマン等、当時の思想についても解説します。

前期・後期末に試験とレポート。レポートは合格点に達しない場合再提出を命じる場合がある。優秀レポートの口頭発表あり。レポートと口頭発表は日本語・英語いずれでも可。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1 オリエンテーション 2 ヴィクトリア朝のイギリス概観 3 チャールズ・ディケンズ 4 『オリヴァ・ツイスト』と救貧法 5 『ハード・タイムズ』と功利主義 6 『ディヴィッド・コパフィールド』と自伝小説 7 ジョン・スチュアート・ミルと自伝 8 スマイルズの『自助論』と立身出世 9 ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』、レポート作成法 10 『大いなる遺産』と教養小説 11 サッカレーの『虚栄の市』 12 ニューマンとオックスフォード運動 13 試験、レポート提出 14 試験・レポート全体コメント、試験・レポート個別返却、プレゼンテーション 15 まとめ

後期 1 エミリー・プロンテの『嵐が丘』と語りの構造 2 シャーロット・プロンテの『ジェイン・エア』と女性版教養小説 3 アン・プロンテの『アグネス・グレイ』とキャリアウーマン 4 カーライルとアーノルドのイギリス批判 5 ギヤスケルの『メアリ・バートン』と『北と南』と社会小説 6 エリオットの『アダム・ビード』、『フロス河の水車場』 7 エリオットの『ミドルマーチ』と『ダニエル・デロンダ』 8 ハーディの『テス』とダーウィンの進化論 9 ハーディの『日陰者ジュード』と女性 10 ハーディの『日陰者ジュード』と教育制度と労働者階級 11 ワイルドと世紀末 12 ラスキンとモリス 13 試験、レポート提出 14 試験・レポート全体コメント、試験・レポート個別返却、プレゼンテーション 15 まとめ

履修上の留意点

- 1 第一回目の授業より必ず辞書を持参してください。
- 2 レポート作成においては書式を指定します。マニュアルを配りますが、最低限のパソコンの知識があることが望ましい。

成績評価の方法

出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、レポート、試験の結果により総合的に評価します。

教科書
参考書等

- 特になし。
- ・イギリスの歴史を概観したい→指昭博『図説イギリスの歴史』河出書房新社
 - ・19世紀のイギリスの歴史を概観したい→谷川稔他『世界の歴史22 近代ヨーロッパの情熱と苦悩』中央公論新社
 - ・イギリスも含めた19世紀の欧州の歴史を知りたい→J.M.ロバーツ『図説 世界の歴史(7) 革命の時代』創元社
 - ・19世紀のイギリスの文化を知りたい→佐久間康夫他『概説 イギリス文化史』ミネルヴァ書房
 - ・19世紀のイギリス文化を詳しく知りたい→松村昌家他『英国文化の世紀1～5』研究社
 - ・ヴィクトリア朝の思想について知りたい→荻野昌利『歴史をく読む>ヴィクトリア朝の思想と文化』英宝社
 - ・イギリス小説とその読み方について知りたい→川口喬一『イギリス小説入門』研究社
 - ・小説の研究方法について知りたい→川口喬一『「嵐が丘」を読む ポストコロナル批評から「鬼丸物語」まで』

履修コード	026001
科目名	イギリス文学特講V
担当者名	モート, セーラ

- 講義のねらい** The world of Jane Austen and early nineteenth century English painting, will be the focus of this course.
The set text will be the second novel by Jane Austen(1775-1817), 'Pride and Prejudice'. English landscape artists of the period such as J.M.W. Turner (1775-1851), John Constable (1776-1837) and George Stubbs (1724-1806), will also be referred to.
- 講義の内容・授業スケジュール** A detailed schedule will be given to the students at the first lecture, however topics such as:
- changing ideas on nature and environment.
- the relationship of literature and painting.
- social rank and customs such as dancing, will be discussed in depth.
- 成績評価の方法** Report and assignments based on year level.
- 教科書** 'Pride and Prejudice'. Jane Austen. (Oxford World's Classics. Oxford University. 2008). ¥1,250.
- 参考書等** Reference texts on Austen and also on English nineteenth century painting to be announced at first lecture.
Dvd. 'Pride and Prejudice'. Directed by Joe Wright. 2005.

履修コード	026101
科目名	イギリス文学特講VI
担当者名	丸小 ^{まるこ} 哲雄 ^{てつお}

- 講義のねらい** 美学から見た文学・芸術・批評にかかわる美的体験と教養体験を高める一方で、文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、諸作品の紹介を含めて文学的価値（テキストの快楽と効用）を見出すことを目指します。
文学・芸術とは人類の愚業の堆積で、文学・芸術の毒性と異界を創造する文学者・芸術家（革命家）の「ココロ」と「スタイル」のありようを開示することにあます。「美しい」は制度であり、文学者・芸術家は作り出されるものです。人は「美しい」と感じる方向へ進み、自分に関わらないものは自分を高めないことを知ようになります。「美しい」は「憧れ」で、「憧れ」とは自分に無いものや欠落部分をあぶり出し、人を外へ向かわせませす。人として生きる〈生活世界〉から「審美学」に切り込むことが前提です。ここに「文学空間」と文学・芸術の「歴史」と「社会学」の存在理由と意義（内部読解から外部読解に向けて）があることが見出されます。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1) 自然言語と外国言語と芸術言語の違い（精神の階層性の存在について）（1～3）
 - 2) 文学と批評の基本的用語の習得（文学の基本的要素及び文学の機能と力）（4～7）
 - 3) 文学の美的体験（読み・解釈・批評）と教養経験（文学史・様式史・一般史）（8～15）
 - 4) さまざまな批評方法についての概説と演習（後期）
 - 1) 伝統批評と伝記批評（16～18）
 - 2) ロシア・フォルマリズムとニュー・クリティシズム（19～21）
 - 3) テーマ批評と精神分析批評と受容理論（22～25）
 - 4) 構造主義と記号論とポスト構造主義（26～27）
 - 5) ニュー・ヒストリシズムとポストコロニアル批評とカルチュラル・スタディーズ（28～30）
- 履修上の留意点**
- 1) 読書リストのプリント配布
 - 2) 講義用のプリントを毎回配布（多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること）
- 成績評価の方法** 出席率・翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパーなどの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。
- 教科書** 参考書は講義内容に対応して指示します。

履修コード	026201
科目名	演劇特講（イギリス・アメリカ）
担当者名	<small>おちかい かずあき</small> 落合 和昭

講義のねらい 主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。後期には、数回を費やして、イギリス中世演劇やギリシャ演劇にも目を向け、現代演劇との共通点や相違点を探る。また、講義の中で、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、劇作品を通して、具体的に、考察する。

講義で取りあげる劇作家は、多くは、アメリカの劇作家であるが、それ以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 第一回 オリエンテーション（授業の進め方・内容等についての説明）

第二回 ピューリタン（1）

第三回 ピューリタン（2）

第四回 Arthur Miller(1915-2005)（1）

第五回 Arthur Miller(1915-2005)（2）

第六回 Susan Glaspell(1882-1948)

第七回 リアリズムと表現主義（1）

第八回 リアリズムと表現主義（2）

第九回 Eugene O'Neill(1888-1953)（1）

第十回 Eugene O'Neill(1888-1953)（2）

第十一回 劇のプロットの要素

第十二回 Shirley Jackson(1919-65)

第十三回 Alice Gerstenberg(1885-1972)

第十四回 Tennessee Williams(1911-83)（1）

第十五回 Tennessee Williams(1911-83)（2）

第十六回 Thornton Wilder(1897-1975)

第十七回 John Boynton Priestley(1894-1984)

第十八回 「登場人物」

第十九回 Samuel Beckett(1906-89)（1）

第二十回 Samuel Beckett(1906-89)（2）

第二十一回 Harold Pinter(1930-)

第二十二回 Sam Shepard(1943-)

第二十三回 Bernard Pomerance(1940-)

第二十四回 Peter Shaffer(1926-)

第二十五回 Arthur Kopit(1937-)

第二十六回 アリストテレスの『詩学』、ホラティウスの「詩論」（1）

第二十七回 アリストテレスの『詩学』、ホラティウスの「詩論」（2）

第二十八回 中世演劇（1）

第二十九回 中世演劇（2）

第三十回 期末試験

**履修上の留意点
成績評価の方法** 講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。
期末試験が全評価の50%、前期の課題が25%、後期の課題が25%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2,000字から4,000字）とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。

参 考 書 等 1) 『楽しく読める英米演劇』ミネルヴァ書房
2) プリント

履修コード	026401
科目名	アメリカ文学特講I
担当者名	あずま ゆういちろう 東 雄一郎

講義のねらい アメリカ詩を通時的、共時的に考察し、アメリカとは何かを考えるのが、この講義の主眼である。グローバル・ヴィレッジ化や越境化が進行する21世紀において、ダイナミックなアメリカ文学の動向は、アングロ・アメリカン(白人)文学を視座にした従来の閉塞的な把握方法では、捉えきれない。アメリカ文学、広義にはアメリカの芸術一般の根源的な特徴は、その多様性であり、また、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調・主張である。How do I find America? What is America? Who is an American? How can I become an American? これらの自意識や自問のうちに、様々なアメリカ詩人たちが、独自の詩を創作している。巨大なサラダボール化したエスニックのアメリカが、今後どのような方向に進もうとしているのか。その未来のヴィジョンを受講者各自に考えて欲しい。アメリカ詩の精読を通して、英語力を高める。なお、リスニング力を高めるために、ジャズやミュージカルの英語の歌も鑑賞する。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、数名の詩人・芸術家を取り上げ、その作品を精読します。歴史、文化、社会、時代精神、その時代の思潮も考察します。また各時代の代表的な音楽や映画も随時取り上げます。①アメリカ文学の発生と実用文学、並びに白人移民による先住民への迫害・ジェームスタウンとプリマスが意味するもの(1~4) ②アメリカの荒野と自然・牧歌の夢並びに独立革命(5~7) ③「明白な運命」の嘘・分離戦争としての南北戦争・西部開拓時代・ホイットマンを読む(8~10) ④アマーストの隠遁者の魔女・エミリー・ディキンソンを読む・彼女は如何にして厳格な神を飼い馴らしたのか ⑤アメリカの世紀末からモダニズム・農本主義の完全崩壊と産業資本主義の形成・第1次世界大戦と迷える若者たち・国を捨てた若者たち・パウンドとエリオットを中心に読む ⑥アフリカン・アメリカン文学の台頭・ハーレム、そしてジャズとは何か・ラングストン・ヒューズたちのルネッサンス・地霊を守るモダニスト(11~15) ⑦大恐慌から第2次世界大戦・ピンクのリボンに飾られた小箱(または精巧に作られた壺)のような詩・形式主義者たちの詩を読む(16~18) ⑧沈黙した社会への反逆と対抗文化・ビート詩人とギンズバーグを読む・大胆な告白をする病んだ詩人たち ⑨ロバート・ブライ、ジェームズ・ライトの牧歌的瞑想とアウトサイダー指向 ⑩ポストモダニズム考察・ソローに帰るエコロジー・ディキンソンの妹リッチのフェミニズム詩を読む(19~20) ⑪祖国を奪われた人々・チカーノ/チカーナの詩人・ネティヴ・アメリカンの詩人を読む(21~24) ⑫アメリカの子どもの詩・マザーグースはボストンに永眠する(26~)

履修上の留意点

無断欠席や、遅刻は厳禁。4回以上、無断欠席をした者は、評価対象外となりますので、留意してください。

成績評価の方法

①年間5回ほどの授業内小レポート(25%) ②2400字以上の前期レポート(25%) ③2400字以上の後期レポート(25%) ④出席点(25%)

**教科書
参考書等**

新倉俊一著『アメリカ詩入門』研究社 2000円程度
開講時、並びに講義内にて随時指示する。

履修コード	027901
科目名	時事英語
担当者名	からさわ かづとも 唐澤 一友

講義のねらい 時事英語というと、新聞や雑誌等、ジャーナリズムと関連した英語というイメージがありますが、この授業では、必ずしもそういう枠に囚われず、もう少し幅広く、「最近の英語」一般を扱いたいと思っています。リーディングが中心となりますが、随時ビデオなどを用いてリスニング(ディクテーション)の練習も行う予定です。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 1. オリエンテーション、2. ~15. 教科書に沿った演習、(後期) 1. ~15. 教科書に沿った演習

履修上の留意点

必ず予習をしてください。予習の際によく分からなかった点については、授業で積極的に質問して下さい。

成績評価の方法

出席、小テスト、期末テスト、および授業への取り組みにより総合的に評価します。

教科書

使用せず。毎回ハンドアウト等を配布します。

履修コード	033101
科目名	文化地理学
担当者名	<small>おだ まさやす</small> 小田 匡保

講義のねらい 文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. オリエンテーション
 2. 文化地理学の概要
 - 3～4. 宗教地理学の概要
 - 5～11. 宗教分布
 - 12～14. 信仰圏
 - 15～16. 宗教集落・宗教都市
 - 17～20. 巡礼・社寺参詣
 - 21～23. 墓地・火葬場
 24. 村落の宗教組織

成績評価の方法 成績評価は、試験（前期・後期の2回、持込不可）の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書 使用しない。
参考書等 授業中に指示する。

履修コード	035101
科目名	人口地理学
担当者名	<small>ひらい まこと</small> 平井 誠

講義のねらい 現在「少子高齢化」という現象が関心を集めているが、日本ではこれまでも「過疎・過密」「東京一極集中」「ドーナツ化」など、人口に関する事柄が社会的な課題として議論されてきた。これらの問題はいずれも、人口規模や人口構造の地域的差異に関する問題であり、空間的な視点、地理学的な視点から捉えることによってその理解が容易になる。

本講義は、人口の規模や構造、およびその変化に関する地域性について考える。前期は、人口現象の地域性を把握する上で必要となる基本的な指標やその利用を紹介する。後期は、これらの指標を用いながら、少子高齢社会の現状を考案する。

（各テーマについて2～3回講義する。）

- 講義の内容・授業スケジュール
1. 人口変化と人口学的方程式
 2. 人口変化の要因（出生、死亡）
 3. 人口構造（年齢構造、産業構造）
 4. 人口分布
 5. 人口移動
 6. 中間試験
 7. コーホートの考え方
 8. 少子化と高齢化（展開と要因）
 9. 高齢社会の地域性
 10. 高齢人口移動
 11. 高齢者福祉の地域性
 12. まとめ

履修上の留意点 教科書は指定しない。配布資料を用いて講義を行う。簡単な実習を行う場合がある。
成績評価の方法 前期終了時の中間試験および後期のレポート、平常点（出席や提出物）の総合評価とする。

教科書 指定しない。
参考書等 阿藤 誠『現代人口学』日本評論社。
荒井良雄他『日本の人口移動 ライフコースと地域性』古今書院。
大友 篤『日本の人口移動』大蔵省印刷局。
小笠原節夫『人口地理学入門』原書房。
濱 英彦・山口喜一編『地域人口分析の基礎』古今書院。
石川義孝『人口減少と地域』京都大学学術出版会。
その他講義中に紹介する。

履修コード	O41001
科目名	現代地理学特論
担当者名	平井 幸弘 <small>ひらい ゆきひろ</small>

講義のねらい

人為的な開発行為によって傷ついた自然の再生を目指す「自然再生推進法」が2003年1月に施行され、2007年11月には「第三次生物多様性国家戦略」が策定されるなど、近年身近な自然・生態系に関する行政や一般市民の関心が高まっている。また、IPCCによる「第4次統合報告書」も2007年11月にまとまり、地球温暖化に対する様々な対応が強く求められるようになった。このような国内外における現代の環境問題を踏まえ、本講義では、とくに水辺の環境問題の事例として、それぞれの地域における人間と環境の関係について、主として自然地理学の視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主として日本国内の水辺（河川、海岸、湖沼）を対象として、(1)日本のラムサール条約登録湿地をめぐる課題と意義（2回～6回）、(2)日本の湖沼（霞ヶ浦、宍道湖・中海など）における自然再生への取り組み（7回～10回）、(3)日本の海岸（オホーツク海沿岸、東京湾、有明海など）における近年の環境問題（11回～15回）。後期は主としてアジアの水辺を対象として、(1)タイのチャオプラヤ川、ソンクラーク湖、アンダマン海での環境問題（16回～20回）、(2)ベトナムの江河デルタ、メコンデルタ、フエのラグーン地域での海面上昇問題（21回～25回）、(3)韓国の始華湖、セマングム干拓地、ほか（26回～30回）。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。
出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。
とくに指定しない。
高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

履修コード	O46601
科目名	日本仏教史
担当者名	松本 信道 <small>まつもと のぶみち</small>

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) ガイダンス、(2)～(5) インド・中国・朝鮮仏教の成立、(6)～(10) 日本への仏教伝来と受容、(11)～(15) 飛鳥仏教の成立、(16)～(25) 奈良仏教の成立、(26)～(30) 平安仏教の成立

成績評価の方法
教科書
参考書等

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。
随時、プリントにて配布します。
速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

履修コード	O46911
科目名	西洋文化史
担当者名	西浦 麻美子 <small>にしうら まみこ</small>

講義のねらい

古代から20世紀までの西洋服飾の歴史を、図像資料を中心に概説する。各時代の流行の服飾を、その時代特有の美意識や社会背景との関わりの中で理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

(1～3) 古代ギリシャ、ローマ、ビザンチン帝国の服飾（4～6）中世の服飾：色の象徴性（7～8）16世紀の服飾：誇張と変形（9～10）17世紀の服飾：ギャラントリー（11～12）18世紀の服飾：モードの簡素化（13）革命期から19世紀初頭の服飾：エンパイア・スタイル（14）ロマン主義の服飾（15～17）ダンディズムの服飾（18～19）19世紀後半の服飾：クリノリン、パッスル、S字型スタイル（20～21） コルセットをめぐる歴史（22）ジャポニズムの服飾（23）20世紀初頭の服飾（24～29）18世紀後半のフランスにおけるアングロマニーの服飾（30）まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

授業内で紹介する参考文献をできるだけ読み、展覧会などに積極的に足を運んでください。
学年末試験（60％）と出席状況（40％）により評価する。
深井晃子監修『世界服飾史』1998年刊（美術出版社）2,625円 ISBN4568400422
授業内で随時紹介していく。

履修コード	048401
科目名	日本史特講VII〔近代〕
担当者名	熊本 史雄

講義のねらい

本講義では、日清・日露戦争期から第一次大戦、第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約締結に至るまでの日本外交につき、史料を交えて講述する。

前期では、朝鮮・満洲地域進出の足がかりとなった日清・日露戦争期の日本外交政策を起点に、第一次大戦後の「転換期」に「新外交」を模索したはずの日本が、満州事変を経て日中戦争、アジア・太平洋戦争へと突入していく過程を検証しつつ、その根底に潜む「外交思想」の解明を試みる。

後期には、終戦工作を経て、敗戦後の日本が独立に向けて再生していく過程を、占領期GHQとの折衝交渉をつうじて検証する。

こうした検証と解明をもとに、近代日本の歴史像の一面の提示を併せ行いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 前期の授業計画、参考文献などの説明
- 第2回 アジア進出の端緒①
- 第3回 アジア進出の端緒②
- 第4回 第一次大戦と東アジア社会
- 第5回 「転換期」としての戦間期
- 第6回 「新外交」としての「対支文化事業」
- 第7回 「幣原外交」と「田中外交」
- 第8回 若槻礼次郎と海軍軍縮会議
- 第9回 満州事変とその拡大過程 ①
- 第10回 満州事変とその拡大過程 ②
- 第11回 松岡洋右と国際連盟脱退をめぐる動向
- 第12回 「広田外交」と「佐藤外交」
- 第13回 日中戦争への道
- 第14回 日中戦争とその拡大
- 第15回 中間試験
《以上前期》
- 第16回 前期の総括（中間試験返却）／後期の授業計画
- 第17回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ①
- 第18回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ②
- 第19回 南進政策と日米関係
- 第20回 日米交渉から日米開戦へ
- 第21回 総力戦体制と戦後の世界
- 第22回 終戦工作と戦後構想
- 第23回 敗戦と占領の開始 ①
- 第24回 敗戦と占領の開始 ②
- 第25回 「自衛外交」の模索
- 第26回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ①
- 第27回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ②
- 第28回 吉田茂の安全保障構想
- 第29回 サンフランシスコ講和条約の締結
- 第30回 日米安全保障条約と行政協定の締結

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を迫体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

前・後期2回の試験の成績（70%）、および出席状況と授業態度（30%）で評価する。

成績評価の方法
教科書等
参考書等
その他

とくに指定しない。

適宜紹介する。

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

履修コード	049711
科目名	東洋史特講III〔近世史〕
担当者名	杉山 清彦

講義のねらい 16～18世紀のユーラシアは、モンゴル時代に起源する巨大帝国が各地域世界に並び立つ時代であった。一般に「最後の中華王朝」と理解されている清朝も、マンジュ（満洲）人が皇帝となって広大・多様な領域を統合した帝国であるという点において、オスマン帝国やムガル帝国と並び立つ「大清帝国」として捉えることができる。

本講義では、時系列的な中国史上の一王朝としてではなく、同時代のユーラシアに並立した巨大帝国の一つとして大清帝国を捉え、支配層たるマンジュ人・八旗に焦点を当てて、帝国の形成過程とその支配構造について考察する。あわせて、ユーラシアに並存したオスマン・サファヴィー・ムガルといった諸帝国の支配体制との比較検討を行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕大清帝国の形成と構造

1. 近世のユーラシア東方 2. 大清帝国の形成と発展 3. 八旗制と帝国の支配構造

〔後期〕大清帝国と近世のユーラシア

4. 中央ユーラシア国家の完成型・モンゴル帝国 5. オスマン帝国とカプ＝クル軍団・イエニチェリ 6. サファヴィー朝とキジルバシ・ゴラーム 7. ムガル帝国とマンサブダール 8. ユーラシアのなかの大清帝国

履修上の留意点

講義形式で行ない、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史B程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

成績評価の方法
参考書等

前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

講義中適宜紹介する。全般にわたるものとして、岡田英弘・神田信夫・松村潤『紫禁城の栄光』（講談社学術文庫、2006）を薦める。

履修コード	053201
科目名	哲学史
担当者名	山口 祐弘

講義のねらい ヨーロッパにおける近代哲学の展開を通して哲学とは何かを学び、思索する態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

<前期> 近代哲学の潮流

I 近代哲学の出発点と問題：デカルト

1 確実な学問の追求、2 方法的懐疑と帰結、3 心身問題

II 大陸合理論：二元論の調停

1 心身平行論－スピノザ 2 单子論－ライブニッツ 3 偶因論－マルブランシュ

III イギリス経験論

1 人間知性の吟味－ロック 2 存在と知覚－バークリー 3 懐疑主義－ヒューム

IV 啓蒙思想

1 感覚論－コンディヤック 2 唯物論－ラマルク、ドルバック 3 決定論－デイドロ

4 功利主義－エルベシウス

V 総括：近代知の抬頭と挫折

<後期> 近代哲学の潮：カント

I カントの見た学問的状况

1 独断論 2 懐疑論 3 批判哲学の課題

II 形而上学への関心

1 諸学問の基礎 2 先天的総合判断 3 形而上学の危機と可能性

III 認識論の革命

1 コペルニクス革命と実験的方法 2 科学的認識の構造 3 観念論と実在論

IV 実践的形而上学

1 行為と自由 2 道徳と形而上学 3 実践と理論

V 総括：近代的人間の全体像

成績評価の方法
教科書

学期毎に小論文を課す。

久保・河合編「原典による哲学の歴史」公論社

山口祐弘「カントにおける人間観の探究」勁草書房

履修コード	058331
科目名	社会心理学A
担当者名	坪井 健

講義のねらい この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学A（前期）では、対人関係、集団的影響などの具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて、身近な日常テーマの役立つ授業を展開したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに ー講義の方針と受講の仕方ー
2. 対人認知と印象形成 ー未知の人をどう認知するかー
3. 対人関係と自己開示 ーオタクと日本人の自己開示ー
4. 日本人の対人関係戦略 ー安心社会から信頼社会へー
5. 自信の社会心理学 ーあなたは自分に自信がありますかー
6. 対人関係と対人魅力 ー対人魅力の条件とは何かー
7. 恋愛の社会心理学 ー恋愛と友情に違うのかー
8. 援助行動抑制要因の研究 ー何故、人は見て見ぬふりをするのかー
9. 社会的な手抜きと社会的促進の研究 ーみんなと一緒に食事はずむー
10. 同調行動と集団的意志決定 ー集団の意志決定とその危険性ー
11. カウラ事件とその社会心理学的考察 ー集団脱走はなぜ起こったかー
12. 同調行動と頻度依存行動 ーいじめの心理ー

履修上の留意点

ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

平常点（出席＋リアクションペーパーの内容＋参加度）50%、課題レポート50%
授業中、プリントを配布する。
その都度指示する。

履修コード	058371
科目名	産業と変動の社会学
担当者名	山田 信行

講義のねらい 社会学の観点から産業と社会変動に関する基本的な理解を深めるとともに、労使関係、企業戦略、生産システム、およびグローバル化などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、労使関係の変化とそれに対する雇主の対応と企業戦略の変化に照準して、生産システムの変遷をたどり、その過程に多国籍企業の展開と日本的なシステムの意義を位置づける。さらに、現代社会の基本的な変動趨勢としてのグローバル化の原因とその影響についても考察する。授業の内容は、以下のとおり。

1. 近代化・産業化・資本主義ー労使関係の成立
2. 労使関係と生産システム
 - (1) テーラー主義とその限界 (2) フォード主義とその意味
3. ポスト・フォード主義
 - (1) 労使関係の変容とフォード主義の限界 (2) 雇主の戦略と新国際分業 (3) 多国籍企業の戦略と周辺社会の工業化 (4) 日本的生産システム
4. グローバル化と日本的生産システム
 - (1) グローバル化の原因と日本企業 (2) 国際移転と普遍性
5. グローバル化とサービス経済化
 - (1) ポスト新国際分業と産業構成の変化 (2) 世界都市と移民労働者の流入
6. インフォーマル化の進展
 - (1) インフォーマル・セクターの拡大 (2) インフォーマル化の概念と意味

履修上の留意点

継続的に出席することが、講義内容を理解するうえで重要である。

**成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

中間試験と学期末試験による。

特になし。

山田信行 1998『階級・国家・世界システムー産業と変動のマクロ社会学』ミネルヴァ書房
後期に開講する雇用と労働の社会学もあわせて履修することが望ましい。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	058381
科目名	雇用と労働の社会学
担当者名	山田 信行 <small>やまだ のぶゆき</small>

講義のねらい 社会学の観点から雇用と労働に関する基本的な理解を深めるとともに、非典型雇用、ワーキング・プア、および外国人労働者などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容・授業スケジュール この講義では、雇用という関係について基礎的な事項を確認したうえで、主として日本を事例として、雇用をめぐる基本的な制度とその現代的な変容について、パート労働や有期雇用の拡大、および外国人労働者の利用に象徴される雇用の多様化とそれに伴う労使関係の変化に言及しながら概説する。講義の内容は、以下のとおり。

1. 雇用という関係—雇用の発生と労使関係の本質
2. 労使関係の歴史的展開—労使関係モデルの変遷とグローバル化
3. 現代日本の産業・労働
 - (1) 年功賃金と終身雇用 (2) フレキシビリティと非典型雇用 (3) フリーター問題 (4) 自主管理活動 (5) 企業別組合と春闘 (6) ユニオンと新しい労働運動 (7) ME革命と技術革新 (8) 日本型コーポラティズム
4. 外国人労働者と看護・ケア労働
 - (1) 日本における外国人労働者 (2) 再生産労働のグローバル化 (3) 外国人看護労働の現状と課題

履修上の留意点 講義の内容を的確に理解するためには、継続的に出席することが重要である。

成績評価の方法 中間試験と学期末試験による。

教科書 とくになし。

参考書等 山田信行 1996『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房

その他 前期に開講される産業と変動の社会学もあわせて履修することが望ましい。

履修コード	058411
科目名	マス・コミュニケーション論A
担当者名	川本 勝 <small>かわもと かつ</small>

講義のねらい われわれの生活は情報メディアなしでは成立しえなくなっている現状をまず把握する。その現状を基礎にして、マス・コミュニケーション活動が人々の社会生活や社会とどのように関係しているかを考察し、多種多様化した情報メディアの社会的機能を理解するのが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール パーソナル・コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで、生活に欠かせないコミュニケーション活動の現状を整理し、その社会的機能と課題について講義する。

第1回目は、オリエンテーション（授業のガイダンス）

1. コミュニケーションとは—その意味、定義と特質—
2. 社会的コミュニケーションの類型と特質、その規程要因（2～3回）
3. マス・コミュニケーション活動の現状、特質と課題（数回を予定）
 - ①情報の生産・伝達活動、②報道活動、③論評活動、④教育活動、⑤娯楽の提供活動
4. マス・コミュニケーション内容の実態と特質（2回）
5. マス・コミュニケーションの機能類型（2～3回）

まとめ—マス・コミュニケーションの社会的機能の整理

履修上の留意点 この講義は、マスコミ社会学の学問領域での考察となりますので、他学部他学科の学生は、すでに社会学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法 試験により授業内容の理解についての評価を行う。その他、授業時間内に実施する小テストや小レポート、出席を考慮して、総合的に評価する。

教科書 特に使用しない。

参考書等 適宜紹介、指示、配布する。

履修コード	058421
科目名	マス・コミュニケーション論B
担当者名	かわもと まさる 川本 勝

講義のねらい	これまで多くの研究がなされてきたマス・コミュニケーションの効果、影響についての理論学び、現代社会における情報メディアの社会的影響過程を考察するのがこの講義の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	マス・コミュニケーションの受容過程を扱う。マス・コミュニケーションが社会や人びとに対してどのような効果や影響を及ぼしているか、これまでの効果論を紹介しながら考察する。 第1回目は、オリエンテーション（授業のガイダンス） 第2回：マス・コミュニケーションの受容過程とは 第3回～2, 3回を予定：マス・コミュニケーションの接触行動、意味解釈行動の多様性とその要因 第7回：マス・コミュニケーションの効果研究の視点と系譜 第8回：マス・コミュニケーションの効果研究の小史（推移） 第9回～：マス・コミュニケーションの効果に関する諸理論（効果モデル） まとめーマス・コミュニケーションの社会的影響過程の整理
履修上の留意点	この講義は、マスコミ社会学の学問領域での考察となりますので、他学部他学科の学生は、すでに社会学を履修していることが望ましい。
成績評価の方法	試験により授業内容の理解についての評価を行う。その他、授業時間内に実施する小テストや小レポート、出席を考慮して、総合的に評価する。
教科書 参考書等	特に使用しない。 適宜紹介、指示、配布する。

履修コード	063901
科目名	社会福祉発達史
担当者名	ほり ちづ子 堀 千鶴子

講義のねらい	我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。																																																
講義の内容・授業スケジュール	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>社会福祉の歴史と人物史 1</td> <td>13</td> <td>人物史 4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>" 2</td> <td>14</td> <td>" 4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>慈善・救済の時代</td> <td>15</td> <td>" 4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>人物史 1</td> <td>16</td> <td>社会事業・社会福祉の時代</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>" 1</td> <td>17</td> <td>人物史 5</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>" 1</td> <td>18</td> <td>" 5</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>" 2</td> <td>19</td> <td>" 5</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>" 2</td> <td>20</td> <td>" 6</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>" 2</td> <td>21</td> <td>" 6</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>" 3</td> <td>22</td> <td>" 6</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>" 3</td> <td>23</td> <td>社会事業に生きた女性</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>" 3</td> <td>24</td> <td>地域の歴史</td> </tr> </table>	1	社会福祉の歴史と人物史 1	13	人物史 4	2	" 2	14	" 4	3	慈善・救済の時代	15	" 4	4	人物史 1	16	社会事業・社会福祉の時代	5	" 1	17	人物史 5	6	" 1	18	" 5	7	" 2	19	" 5	8	" 2	20	" 6	9	" 2	21	" 6	10	" 3	22	" 6	11	" 3	23	社会事業に生きた女性	12	" 3	24	地域の歴史
1	社会福祉の歴史と人物史 1	13	人物史 4																																														
2	" 2	14	" 4																																														
3	慈善・救済の時代	15	" 4																																														
4	人物史 1	16	社会事業・社会福祉の時代																																														
5	" 1	17	人物史 5																																														
6	" 1	18	" 5																																														
7	" 2	19	" 5																																														
8	" 2	20	" 6																																														
9	" 2	21	" 6																																														
10	" 3	22	" 6																																														
11	" 3	23	社会事業に生きた女性																																														
12	" 3	24	地域の歴史																																														
履修上の留意点	出席を重視する。テキスト必ず持参。																																																
成績評価の方法	出席（40%）、レポート（60%）																																																
教科書	室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円ISBN4-623-04519-6																																																

履修コード	091101
科目名	日本経済論
担当者名	沼田 郷

講義のねらい	日本経済を様々な角度から多面的に学習する。第二次世界大戦後の解説を中心とするが、日本経済のより深い理解には、それ以前（明治、大正）についての理解も重要であるため、必要に応じてふれてみたいと考えている。本講義の特徴は、戦後日本経済を支えてきた日本型システムに注目し、その変化を詳細に検討することにある。さらに、日本と諸外国（とりわけ米国と東アジア）との関係についても詳細に検討する。
講義の内容・授業スケジュール	おおまかなスケジュールは以下の通り。 可能な限り学生諸君の要望を取り入れた講義を行いたいと考えています。 1 イントロダクション 2～3 第二次大戦以前の日本経済 4～8 戦後復興期 9～12 高度経済成長期 13～14 二つのショック 15～16 低成長期 17～18 バブル経済の発生とその要因 19～21 1990年代不況 22～25 日本経済の現代的課題 26～29 日本と東アジア諸国における工業化の諸特徴 30 総括
履修上の留意点	本講義では日本経済のみではなく、広く社会全般に興味と関心をもつみなさんの履修を期待します。そのためには、現在起こっていることに目を向け、日々のニュースに接してください。講義では必要に応じて初歩的な理論を扱いますが、高等数学などを必要とするものではありませんのでご安心ください。
成績評価の方法	本講義では学生のみなさんの強い要望がない限り定期試験は行わず、レポートの提出を求めます。テーマ、書式等は講義中にお知らせします。また、講義終了時に小論文を書いてもらいます。これと学期末のレポートを合算して成績評価を行います。
教科書 参考書等 その他	特に指定しない。 参考書に関しては適時紹介する。 本講義では質問を歓迎します。講義に関することはもちろんのこと、それ以外のことがらであっても、遠慮せず質問しにきてください。なお、他人に迷惑をかける行為に関しては厳しく対応します。念のため。

履修コード	092401
科目名	財務会計論
担当者名	寺坪 修

講義のねらい	財務会計は、企業活動の実態を投資者などの利害関係者へ報告するための「みせる会計」です。そのための開示手段の中心となるのが財務諸表ですが、その作成方法に関しては統一的な制度として、会社法や金融商品取引法などの法令および会計基準が制定されています。会計基準は、現在、グローバル化の進展に伴ないグローバル・スタンダード（世界標準）との調和が進められています。本講義では、日本における財務諸表制度の変遷と動向を踏まえて、会計上の主要なテーマについて具体的にみていきます。
講義の内容・授業スケジュール	おおむね次の構成で進めていきます。 (1) オリエンテーション、(2～5) 財務会計の意義・会計の構造、(6～9) 財務諸表の仕組み・企業会計制度、(10～13) 企業会計原則、(14～26) 新会計基準：会計ビックバン・リース会計・退職給付会計・税効果会計・キャッシュフロー会計・連結財務諸表、(27～29) 財務諸表の活用、(30) 会計の国際化。
履修上の留意点	会計は積み重ねの学習によって理解が深まりますので、休まずに受講してください。私語は厳禁とします。
成績評価の方法	学年末試験（60%）、出席率（25%）、宿題・レポート提出（15%）の総合評価。ただし、S・Aの評価はGPA評価ガイドラインによる調整を行うことがあります。
教科書 参考書等	寺坪修『会社会計論〈改訂版〉』2004年刊（創成社）3,990円 寺坪修『英文会計論〔基本編〕第2版』2007年刊（五紘舎）1,575円

履修コード	093301
科目名	日本経済史
担当者名	渡邊 恵一

講義のねらい

経済学は現状分析あるいは将来予測に関心を置く学問であり、歴史的アプローチとはいささか縁遠いものと思われがちである。しかし、われわれの目の前にあるすべての経済的現象は、あるどこかの時点で発生し、その後発展あるいは変容を遂げてきたものであって、その歴史的経緯を理解することは、一見遠回りのように見えるが、きわめて重要な作業であるといえよう。本講義では、研究史上の論争や最新の研究成果などをわかりやすく紹介しつつ、現代日本経済の形成過程をたどっていくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 課題と方法、(2)～(6) 幕藩制下の経済発展、(7)～(9) 幕末開港の歴史的意義、(10)～(12) 明治前期の経済政策、(13)～(18) 日本産業革命の展開、(19)～(23) 第一次大戦期の日本経済、(24)～(27) 恐慌の時代、(28)～(29) 戦時経済の展開と崩壊、(30) 総括と展望

履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席もしくは遅刻は、その分だけ話の前後関係がなくなってしまうことを意味するので、くれぐれも注意されたい。

成績評価の方法

定期試験(年度末)の成績をベースとして、授業中に随時配布する「リアクション・ペーパー」の提出状況、記載内容などを平常点として加味し、総合的に判断して評価する。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史一太閤検地から戦後復興まで』(税務経理協会、2940円、ISBN4-419-04025-4)。あらかじめ指示したページ範囲に目を通していただくことを前提に授業を行う。

参考書等その他

その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。
上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。
日本史の知識不問(挫折者歓迎!)。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、ぜひ受講してみてください。

履修コード	093501
科目名	農業政策
担当者名	溝手 芳計

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

講義の内容・授業スケジュール

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

履修上の留意点

授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本と世界の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。

1. 「農業政策」とは(1回)
2. 食料問題と食料政策(6回程度)
3. 農業の特質と現代農業(4回程度)
4. 戦後日本の農業問題と農業政策(6回程度)
5. 農産物価格問題と価格・所得政策(5回程度)
6. グローバリゼーション下における世界の農業(5～8回)

成績評価の方法

成績評価は定期試験(年度末)を基本としますが、授業中に行う小テストの結果を20点の範囲で加点して採点します。追試験有り。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6
中野一新・岡田知弘編『グローバリゼーションと世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8

参考書等

※ どちらも、授業中には使いませんが、予復習してください。
大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0
加瀬良明編著『グローバル資本主義と農業』、筑波書房、2940円、ISBN978-4-8119-0332-3 C3033
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

他学部
履修科目

履修コード	094701
科目名	中国経済論
担当者名	小杉 修二

講義のねらい

講義の内容・授業スケジュール

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大國志向としての「ソ連モデル」、独自の超大國を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

第1—3週：キーワードの解説を中心に基礎知識にふれる。

第4週—10週：ソ連モデル期に中国は発展途上國の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上國が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの國でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

第11週—15週：毛沢東モデル時期には國家目標は独自の超大國に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期に6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期（1978年—）の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大國を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上國の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち＝「4人組」が敗退したということは、新しい國際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

第16週—25週：新しい発展戦略は外國の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産國になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。こうした中国の発展を可能にした要因を考えていく。

第26週—30週：産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中關係、地域格差、階層格差等について考えていく。

私語、飲食、携帯電話禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

前期レポート、後期試験（30%、70%）。

前期 小杉修二『増補 現代中国の國家目的と経済開発』（龍溪書舎 1997年）4000円

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ、2002年、周牧之『中国経済論』日本経済評論社、2007年

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	094801
科目名	アメリカ経済論
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい 現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりいれた授業です。

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。◇大統領選挙の動向、◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点 この講義は、アメリカ経済の個々の現象を羅列的に述べるようなことはしません。むしろ、日々報道されているアメリカ経済の事象を、みなさんが自力で読み解く力をつけるための話に徹します。アメリカものの本には書かれていない事柄をたくさんお話することによって、みなさんが講義に出席してよかったと実感してもらえたらありがたい、と考えています。

アメリカ経済を理解することは、この国が好きであれ嫌いであれ、現代世界経済全体を理解するためのカナメです。現代の国際事情を幅広く解明したい諸君は、この科目を早めに履修して、いっそう広範かつ深い国際理解へとすすむことをお勧めします。

成績評価の方法 随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、

瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』（時潮社、2005年）

グリーンバーグ著・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』（青木書店、1994年）

瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店、2003年）

をおすすめします。

履修コード	095001
科目名	EU統合論
担当者名	藤田 志

講義のねらい	本講義は、域内において通貨統合を実現したEUの国際金融史的特色を、固定相場制が有する「為替変動リスク回避機能」という金融政策的観点から、実証的・理論的に論じる。 本講義の具体的目的は、「国際的通貨当局者間協力」、「中央銀行政策に対する信託」、「裁定取引を含めた国際資本移動」を鍵概念とした、第一次大戦前国際金本位制における「金」と21世紀初頭世界経済において存在感を増す「ユーロ」の相対化である。
講義の内容・授業スケジュール	I. EUにおける通貨統合から何を学ぶのか? (①-②) II. 国際金本位制 (③-⑥) III. 再建金本位制 (⑦) IV. プレトンウッズシステム (⑧) V. 欧州決済同盟から欧州通貨同盟へ (⑨-⑫) VI. 為替変動リスク回避機能から観る「金」と「ユーロ」 (⑬-⑭)
履修上の留意点	国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU統合関連のショート・ライティングを課すほか、ユーロ圏経済の現状を示す指標に関する小テスト、および発表予定の経済指標を予想するとともにその根拠を明示するレポートを課すことを検討している。「マネー」のダイナミズムに日ごろから接するよう努めること。
成績評価の方法	出席点 (1~2割)、講義への参加姿勢およびショート・ライティング (2~3割)、前期講義最終回に実施する中間テスト (5~7割)
教科書 参考書等	特に指定しない。 金井雄一 (1989) 『イングランド銀行金融政策の形成』名古屋大学出版会 ジョン・ウィリアムソン (須田美矢子・奥村隆平・柳田辰雄訳) (1990) 『世界経済とマクロ理論』多賀出版 金井雄一 (1994) 『ポンドの苦闘—金本位制とは何だったのか』名古屋大学出版会 藤瀬浩司 (2004) 『改定新版 欧米経済史』放送大学教育振興会 木畑洋一編 (2005) 『ヨーロッパ統合と国際関係』日本経済評論社 小野塚知二・沼尻晃伸編著 (2007) 『大塚久雄『共同体の基礎理論』を読み直す』日本経済評論社 遠藤乾編 (2008) 『ヨーロッパ統合史』名古屋大学出版会

履修コード	095101
科目名	現代西欧経済論
担当者名	工藤 芽衣

講義のねらい	本講義では、欧州通貨統合の基礎となった欧州通貨制度 (European Monetary System) のメカニズムの基礎を学びつつ、EMSへの参加やユーロ導入が、各国の国内経済社会政策とどのような点で問題となり、そして今後どのような問題が起こり得るのかを勉強していきます。個別の焦点としては、独仏英米の政策に焦点をあてることになります。
講義の内容・授業スケジュール	第1回~第3回 プレトンウッズ固定相場制とその崩壊 ① プレトンウッズ体制の設立 ② ドル過剰とプレトンウッズ体制の崩壊 第4回~第5回 スネークの発足と挫折 ① スネーク発足の背景とメカニズム ② スネークの挫折 第6回~第9回 欧州通貨制度 (EMS) の展開 ①EMSの設立 ②フランスとEMS—強いフラン政策への転換 ③ドイツ統一とEMS危機 第10~14回ユーロをめぐる諸問題 ① 財政安定協定と各国経済 ② イギリスの参加問題 ③ グローバル経済の中のユーロ 第15回 予備日
成績評価の方法	授業中に行われる小テスト、中間テストによる。
教科書	山下英次 『ヨーロッパ通貨統合』勁草書房、2002年。

履修コード	095201
科目名	ロシア・東欧経済論
担当者名	山縣 弘志 <small>やまがた ひろし</small>

講義のねらい

外国経済研究の課題は、その経済事情に通じることではない。むしろ、我々にとっては、日本経済の進むべき方向を考える上でのヒントをそこから引き出すことである。ロシア・東欧経済を研究する場合、異なる文化に基づく人々の行動様式の違い、経済体制の違いの基礎となる思想、体制転換によって露になった経済と人々の生活との関わり、これらのことが特に大きな関心と呼ぶテーマになるだろう。ロシアとソ連の歴史は常に価値判断を伴って語られてきた。多くの場合、証明されるべき結論が前提とされて議論された。そのため、議論はすれ違わざるを得なかった。こうした不毛を終わらせるためには、事実を前提として考えなければならない。事実はいましばしば諸君の常識を覆すはずである。

講義の内容・授業スケジュール

講義では主としてロシアを取り上げる。前期は、ロシア経済の現状分析と将来展望、問題点を明らかにする内容とし、全体として問題提起を狙いとする講義になる。後期は、歴史的なアプローチによって、問題に答えるためのいくつかの視点を示す。最終的に問題に答えるのは諸君である。

前期

- 1 ペレストロイカと体制転換
 - (1) 経済改革と停滞の時代
 - (2) ペレストロイカとその挫折
 - (3) 体制転換
- 2 ロシア・東欧経済の現状
 - (1) 市場経済化のショック療法
 - (2) 金融危機
 - (3) プーチンの時代
- 3 BRICs の発展と限界

後期

- 4 社会主義論とロシア革命
 - (1) マルクスの社会主義論
 - (2) ロシア革命とレーニン時代
- 5 ソ連型社会主義の確立と行きづまり
 - (1) 1930年代とスターリン
 - (2) ソ連型社会主義の特質
 - (3) 計画経済のフィクション
- 6 ロシア経済の独自性
 - (1) 帝政ロシアの資本主義発展
 - (2) ロシアと日本 ——比較経済の視点——

履修上の留意点

常に現状に留意しそこから問題意識を喚起していきたいので、必ずしも授業計画通りに進まない。配布資料は必要最小限にとどめ、授業中にノートを取ることを推奨する。ウェブ時代にはむしろそれが学習能力を高めるために必要と考えるためである。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持ち込み可、60点配点）によって行う。ダウンロードしただけのレポートは認めない。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書
その他の

教科書は存在しない。参考書は適宜指示する。

板書には注意を払うが、時間の関係で読みづらくなることもあり得るので、許していただきたい。聞きながら書く習慣を身につけて対応できるものと期待する。

履修コード	097001
科目名	会計監査論
担当者名	森田 佳宏

講義のねらい 会計監査とは、企業における会計記録および会計行為につき、それに関与しない独立第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。本講義においては、職業監査人による財務諸表監査を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等について解説する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 会計監査の意義と概要 (2~5) 企業会計法と監査、会計の国際化と監査、監査の主体① (6~10) 監査の主体②、外部監査制度の生成①、監査の種類、監査役監査、委員会設置会社 (11~15) ディスクローチャー制度 (金融商品取引法・会社法)、外部監査制度の生成②、監査基準の生成①、監査基準の生成② (16~20) 監査基準の体系、公正不偏性と外観的独立性、監査のプロセス、内部統制、監査調書 (21~25) 重要な虚偽表示、監査の品質管理、守秘義務、リスク・アプローチ、監査要点 (26~30) 監査証拠、継続企業の前提、監査意見、監査報告書

履修上の留意点 本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学基礎または会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法 原則としてレポート(後期の最初の授業で回収)および定期試験(年度末)により評価する。

教科書

参考書等

指定しない。必要に応じて資料を配付する。

山浦久司『監査論テキスト(第5版)』(中央経済社)

盛田良久、蟹江章、友杉芳正、長吉真一、山浦久司編著『スタンダードテキスト監査論』(中央経済社)

日本公認会計士協会編『監査小六法(平成20年版)』(中央経済社)

日本公認会計士協会編『監査実務指針ハンドブック(平成20年版)』(中央経済社)

履修コード	097111
科目名	管理会計論 a
担当者名	石川 祐二

講義のねらい 本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

(1) ガイダンス、(2~4) 管理会計論をとらえる視点、(5~8) 管理会計上の基礎概念、(9~12) 設備投資の意思決定、(13~15) 製品関連の意思決定

会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。

また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

定期試験(前期末)により評価する。

毎回配布するプリントが教科書代わりである。

必要に応じて紹介する。

履修コード	097121
科目名	管理会計論 b
担当者名	石川 祐二

講義のねらい 本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることにする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

(1) ガイダンス、(2~3) リスク・マネジメントと法律規定：リスク・マネジメントと会計制度との関連性、(4~5) ドイツ会計基準第5号「リスク報告」、(6~7) 企業内部のリスク・マネジメント・システム：会計報告との関連性、(8) リスク・マネジメントと状況報告書、(9) リスク・マネジメントと引当金、(10~11) リスク・マネジメントとバランス・スコアカード、(12~13) リスク・マネジメントと監査制度の新展開、(14~15) リスク・マネジメントとチャンスの記載：リスク・マネジメント会計制度の社会的意味

会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。

中間レポート(30%)および定期試験(後期末：70%)により評価する。

石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』(森山書店)

必要に応じて紹介する。

履修科目

履修コード	097601
科目名	貿易論
担当者名	古沢 紘造

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易（4～5回）
2. 水産物と貿易（1～2回）
3. 林産物と貿易（1～2回）
4. 鉱物資源と貿易（1～2回）
5. エネルギーと貿易（1～2回）
6. 工業製品と貿易（4～5回）

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 自由貿易とその問題点（3～4回）
2. 開発援助と貿易（1～2回）
3. 軍事と貿易（1～2回）
4. 環境と貿易（1～2回）
5. WTOと貿易（2～3回）
6. グローバリゼーションと貿易（3～4回）
7. 持続可能な発展と貿易（1～2回）

成績評価の方法

本試験を基本とするが、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期のまとめ）などを総合して評価を行う。答案やまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本などを教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

履修コード	119701
科目名	経済法
担当者名	若林 理理砂

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持になるものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

履修コード	126601
科目名	国際政治学
担当者名	小堀 訓男 <small>こほり のりお</small>

講義のねらい 国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解し、同時に、国家が国際社会のステージで行動するとき、その国家の内部の意思決定のシステムが、どのように作用し合うかを理解することが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール 前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに基礎的知識の整理をおこなう。

後期では、国際政治と国内政治との関係を理解し、国際政治の本質を、利益、権力政治、国際組織、政治は矛盾であり対立である、というテーマでアプローチして考案する。最後に、国家が国際社会の中で行動するとき、原理、原則があるのだろうか、というテーマで、国家の行動基準、冷戦中、冷戦後の国際政治を検証する。

授業スケジュールは、(1～5) 政治学の基礎的知識の整理、(6～8) 国家、権力、民族、階級、(9～11) 近代国家の特質、(12～15) 国際社会の特質、(16～17) 国際政治と国内政治、(18～22) 国際政治の本質、(23～26) 国家の行動基準、(27～30) 冷戦中、冷戦後の国際政治の予定である。

履修上の留意点 授業中に読むべき本を紹介しますので本を読むことと、TV・新聞・雑誌の報道に日頃から留意すること。

成績評価の方法 1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書 使用しません

参考書等 必要に応じて講義のなかで紹介いたします。

履修コード	126701
科目名	ヨーロッパ政治史
担当者名	浦田 早苗 <small>うらた さなほ</small>

講義のねらい 現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点が置かれている。

講義の内容・授業スケジュール ・近代の始点ルネサンス期と18世紀 ・英国革命とIRA ・ジャコバイトと英国王室
・議院内閣制の成立変遷過程 ・英国における政治腐敗防止過程
・フランス革命と国家の概念 ・フランス政治におけるジャコバン主義
・「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合—— ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法 年5～6回となる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書 特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

履修コード	127501
科目名	地方自治法
担当者名	富井 幸雄 <small>とみい ゆきお</small>

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は主旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

**教科書
参考書
その他**

富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定（内外出版）

『地方自治判例百選（第3版）』（別冊ジュリスト）。

講義では頻りに法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

履修コード	128201
科目名	比較政治学
担当者名	<small>みたけ なおや</small> 三竹 直哉

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2008年12月の時点で書いています。この授業には世界や日本で今現在起きている出来事を反映させる必要があります。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。参加する学生さんの関心や熱意、人数によって、授業内容も変えていきます。したがって、2008年12月の時点で詳細な授業スケジュールを確定させることはできません。基本的には2009年度も2008年度同様、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後比較研究の方法論の勉強をします。以下はあくまで参考です。

前期

第1回 ガイダンス

第2回～第6回 民主化を考える（ビルマ、ブータン、南アフリカ、日本）

第7回～第13回 ネイションを考える（チベット、クルディスタン、沖縄とアイヌ民族、ベルギー、スリランカ、オーストラリアの先住民族、日本の移民政策）

第14回 ワークショップ（多文化主義）

後期

第15回～第21回 比較の方法を学ぶ（比較方法の基礎、質的比較、ブール代数を使った比較のグループ作業）

第22回～第25回 国際社会に目を向ける（社会的起業による支援、ODA等）

第26回～第27回 日本の難民政策

第28回～第29回 個人発表（希望があれば）・ワークショップ

履修上の留意点

他の多くの授業とやり方が違いますので、一回目のガイダンス授業には必ず出席してください。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。ほぼ毎週文献を読む課題が出ます。基本的に勉強の大半は自分で文献を読むことによるものです。教室には必ず課題を読んでくることが条件です。毎週こつこつやる興味深く感じるが増えていきます。YeStudy を必ず利用します。授業のやり方は、参加人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのようにやることもあります。

また、中学校の社会科レベルの内容が身につけていること、新聞（特に国際面）をふだんから読んでいること、高校の社会科レベルの内容で授業に関連することは自分で学習することが条件です。

欠席したときの授業内容は各自の責任で補ってください。就職活動であろうが部活動であろうが、欠席した人を特別扱いはありません。（病気による長期欠席の場合は早めに相談してください。）

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。参加人数が少なくなった場合、出席を取る可能性があります。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。

教科書
参考書等
その他

指定する可能性はありますが、現時点で未定です。

その都度紹介します。

この文章は2008年12月時点に書いています。変更もあり得ます。最新の情報は YeStudy で確認してください。YeStudy に、前年度に履修した学生さんの感想やアドバイス、授業評価結果を載せますので、参考にしてください。

履修コード	133801
科目名	現代国家論
担当者名	おおつか かつし 大塚 桂

講義のねらい 本講義は近代における日本国家の解明を主たる目的に定めます。具体的には下記の諸課題を検討していきます。第一に近代日本国家の形成過程＝明治国家の構造（前期）であり、第二に日本人の政治的行動様式・観念形態を規定するもの＝政治文化の問題（後期）をとりあげます。

講義の内容・授業スケジュール
 I 前期 (1) 幕末維新の政治過程 (2) 内閣官制 (3) 大日本帝国憲法 (4) 統帥権 (5) 帝国議会 (6) 自由民権運動 (7) 地方官官制 (8) 財政 (9) 国家神道 (10) 教育勅語 (11) 社会主義 (12) 大正デモクラシー (13) 天皇制ファシズム (14) 統制経済 (15) 中間試験
 II 後期 (16) 日本の宗教①～⑤ (17) 日本人の死生観 (18) タテ社会の原理 (19) 和の精神 (20) ムラ・イエの原理 (21) ホンネとタテマエ (22) 集団指導体制 (23) 意志決定 (24) 被害者意識 (25) 期末試験

成績評価の方法 授業内における中間試験（50％）と期末試験（50％）により評価します。

教科書 大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3200円
大塚桂『日本の政治文化』（勁草書房）2800円

参考書等その他 上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。
私の研究室は、第二研究館八階（2835）です。電話は、3418-9377（直）です。

履修コード	139501
科目名	経営学史
担当者名	なかがわ じゆんぺい 中川 淳平

講義のねらい この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説を、その問題意識に着目し、現代企業経営の諸問題を解決するための技法として解説を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール
 1. コーポレートガバナンスのための問題解決技法（制度学派など、1-7）
 2. リストラクチャリングへの問題解決技法（経営戦略論など、8-15）
 3. イノベーションへの問題解決技法（生産管理論など、16-20）
 4. コミュニケーションへの問題解決技法（人間関係論など、21-23）
 5. セクショナリズムへの問題解決技法（経営組織論など、24-30）

履修上の留意点 講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法 定期試験100％。但し講義中などで必要に応じレポートの提出を求めることがあり、内容いかんによってこれを評定に加えることがある。

教科書 中川淳平『問題解決のための経営学』泉文堂、2007年。

参考書等 授業毎に配布するプリントに適宜指示する。

履修コード	139601
科目名	経営史
担当者名	^{まえだ かずとし} 前田 和利

講義のねらい 経営史を学ぶことによって企業経営における進化のプロセスを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて進化モデルを提示し、日本の企業経営の特徴を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史の学び方（1回）
- II. 経営史研究の課題と方法（4回）
伝統的経営史、企業者史、組織総合理論、新動向
- III. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成（4回）
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立（3回）
産業革命、工場制度
 3. 確立期企業経営の諸様相（5回）
企業経営者と行動原理、企業形態と企業金融、労務管理、流通・販売組織
 4. 企業経営の発展（7回）
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 5. 企業経営の変容（3回）
大企業体制の動揺と新動向（経営戦略と経営組織の変遷）
 6. 日本における企業経営の進化（3回）
進化の特徴、歴史的ケース

履修上の留意点

教科書は使用しないので、配布するレジュメおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に4～5回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

成績評価の方法

学年末試験による評価を90%、出席時に提出した回答を10%とする。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』新版（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』（有斐閣）、橘川武郎ほか編『進化の経営史』（有斐閣）。その他随時紹介する。

履修コード	141201
科目名	アメリカ経営学
担当者名	宮城 ^{みやぎ} 徹

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の9つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

（2009年度『アメリカ経営学』授業計画）

- I 1年間の授業の概要（1）
- II 経営学の対象と方法（2）
- III 意思決定と権力（パワー：マハト）（2）
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）（2）
- V 取引コスト理論（6）
- VI プロパティ・ライツ理論（4）
- VII プリンシパル・エージェント理論（5）
- VIII 契約の理論（3）
- IX 企業のモジュラー化（4）

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参 考 書 等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1983：1999年
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985年
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987年
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1989：1999年
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1983：1993年
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997年
- 7 宮城徹「企業統治の研究の統合の一試論」『駒大経営研究』第31巻 第1・2号、2000年
- 8 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000：2009年（A.Picot u.a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 9 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999：2007年（A.Picot u.a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）
- 10 宮城徹「企業文化と組織の経済理論」遠山正朗編著『ケースに学ぶ企業の文化』（敬愛大学学術叢書）（白桃書房）2003年
- 11 宮城徹（訳稿）「民主的な経済政策と社会政策の理論的基礎—O. ウィリアムソンの貢献*—」
*Ingo Pies : Theoretische Grundlagen demokratischer Wirtschafts- und Gesellschaftspolitik—Der Beitrag Oliver Williamsons, in : Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001) : Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen : Mohr Siebeck, S. 1-27. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号（2008年）
- 12 宮城徹（訳稿）「取引対相互作用、特異性対拡散効果および結束した行為者のレーゾンデートル—組織の経済学の構想の新しい志向を求めて*—」
*Ingo Pies : Transaktion versus Interaktion, Spezifität versus Brisanz und die raison d'être korporativer Akteure—Zur konzeptionellen Neuausrichtung der Organisationsökonomik, in : Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001) : Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen : Mohr Siebeck, S.95-119. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号（2008年）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

履修コード	141301
科目名	経営分析論
担当者名	片桐 伸夫

講義のねらい 経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

- 皆さんが将来を託そうとする会社は、
- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 経営分析について、(2-6) 経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、(7-12) 収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、(13-15) 貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、(16-20) 生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、(21-26) キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、(27-30) 税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、さきやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。
評価基準 前期レポート40%、前期小テスト10%、
後期レポート40%、後期小テスト10%、

教科書
参考書等

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。
開講時、指示します。
随時、紹介します。

履修コード	141701
科目名	国際経済論
担当者名	永田 智則

講義のねらい 本講義の目的は、現実が生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

分析道具が習得できれば、それを利用することによって現実の国際経済現象を自ら解明できるようになるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 国際経済学の意義、(2-7) 国際分業論、(8-12) 貿易政策、(13-15) 経済成長と貿易、(16-22) 国際マクロ経済学、(23-25) 外国為替と国際収支、(26-30) 資本の国際移動

履修上の留意点

現実の世界経済の動きを題材にしますので、新聞等で報道される関連ニュースに接しておいてください。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。定期試験だけを受けて、要領よく単位をとりたいと考えている人は、受講を遠慮して下さい。

教科書

下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。

参考書等

仙頭佳樹著「最もやさしい国際経済学」多賀出版、2800円+税、ISBN4-8115-6491-X
随時必要に応じて紹介します。

履修コード	141901
科目名	税務会計論
担当者名	高木 克己

講義のねらい 今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

(1～2) 税務会計の制度的基礎、(3～5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6～8) 事業年度、同族会社、(9～12) 課税所得計算の基礎、(13～16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17～21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22～24) 税額の計算、申告、納付等、(25～28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29～30) 国際課税、不服申立・訴訟等

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

原則として学年末の試験によって評価する。前期末に小テストを行う。

開講時に指示する。

開講時に指示する。

履修コード	142351
科目名	リスクマネジメント論
担当者名	石名坂 邦昭

講義のねらい 近年、企業を取り巻く環境は多種多様なリスクに囲まれている。企業はそれらのリスクを征服しなければ、安定経営は望めない。企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるかを知り、それらにどのように対処したらよいかを講義の中心とする。

講義の内容・授業スケジュール

リスクマネジメントの生成について学び、リスクマネジメント・プロセスについて講義を行う。その後、PLリスクや環境リスクについて学ぶ。

①リスクマネジメントの生成と発達、1～3、②リスクマネジメントの理論、4～10、③企業経営とリスクマネジメント、11～20、④PLとリスクマネジメント、21～25、⑤環境リスクとリスクマネジメント、26～30

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

ノートをしっかりとること

定期試験の成績と平常点

特になし

リスクマネジメントの理論 石名坂邦昭著 白桃書房

授業にまじめに出席すること

他学部
履修科目

履修コード	143231
科目名	消費者行動論
担当者名	菅野 佐織

講義のねらい

この授業では、人の消費場面における心理的作用と、それらと企業のマーケティング活動の相互作用について考え、理解することを目的としています。今日の企業のマーケティング活動においては、消費者のインサイトを掴むことが欠かせません。この授業では、身近な事例や企業ケースを用いて、消費者の心理を学ぶだけでなく、企業のマーケティング活動と消費者行動分析のリンクについて考えていきたいと思います。また、企業の方をお招きしての講義も予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 授業計画の説明とイントロダクション
- 2～5. マーケティング戦略と消費者行動
- 6～10. 消費者行動研究の歴史
- 11～18. 消費者の購買意思決定過程
19. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
- 20～24. 消費者行動の影響要因
- 25～28. 企業のマーケティング戦略と消費者行動のリンク
29. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
30. 講義のまとめ

履修上の留意点

授業中に学生の皆さんに意見を求めるので積極的に参加してください。なお、この授業を履修するにあたっては、マーケティングの基礎的な知識が必要となります。そのため、マーケティング論を履修していない者の場合には、独学でマーケティングを勉強する必要がありますのでご注意ください。

成績評価の方法
教科書

出席点(数回)、レポート課題、定期試験によって評価します。
授業時に資料を配布します。理解を深めるために下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。

参考書等

杉本徹雄編『消費者理解のための心理学』1997年(福村出版)2730円
清水聡『新しい消費者行動』1999年(千倉書房)3360円

履修コード	143241
科目名	マーケティング・コミュニケーション論
担当者名	中野 香織

講義のねらい

近年は、マーケティングそのものがマーケティング・コミュニケーション(MC)だと認識され始めてきた。その背景には、マス広告が効かなくなってきたことに加え、様々な手段によって消費者との関係性を構築する必要がうまれてきたことなどがある。このような背景のもと、日常生活で接するもの全てをコミュニケーションのためのメディアと捉える統合型マーケティング・コミュニケーション(IMC)が、今後重要になってくるだろう。そこで本講義ではIMCを包括的に理解してもらうことを目的とし、理論的な説明に加えて事例紹介やゲスト(実務担当者)による講義等、実践的な説明も行う。

講義の内容・授業スケジュール

講義は3段階に分けて行う。初めにマーケティング・コミュニケーション(MC)の全体構造を説明する。次にMCを構成する具体的な戦略を説明し、最後に各MC戦略がどのように統合されるのかを説明する。

(1～5) マーケティング・コミュニケーション(MC)の全体構造、(6～9) 広告戦略、(10～12) 販売促進戦略、(13) ゲストスピーカー、(14) 商品コミュニケーション戦略、(15～17) 店頭MC戦略、(18～19) PR戦略、(20～21) パーソナル・コミュニケーション戦略、(22～23) ダイレクトマーケティング戦略、(24～25) インタラクティブマーケティング戦略、(26～27) IMC戦略、(28～30) ケース研究とまとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

平常点20%、中間試験30%、学期末試験50%で評価する。
教科書は使わず、レジュメを配布する。
亀井昭宏・正田聰編『新広告論』2005年刊(日本経済新聞社)1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊(電通)2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊(有斐閣)2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊(電通)2,200円

履修コード	143251
科目名	マーケティング・チャンネル論
担当者名	青木 ^{あおき} 茂樹 ^{しげき}

講義のねらい 我々が手にしている商品、とくにブランドとして認知されている商品は、ある一企業の戦略目的に基づき、他の流通パートナーをコントロールしながら成果を挙げていくために形成されたマーケティング・チャンネルを経由してきている。

従来はメーカーがチャンネル・リーダーとなって、これらが形成され、卸売業、小売業がこれによりコントロールされてきた。近年は従来、被支配的な立場とされてきた卸売業や小売業が、主体的にチャンネル・リーダーとなって、自社のブランドを強めていく例も増えてきた。また新しいツールとしてのインターネットにおいて、チャンネル構築を試みる中小企業や農林水産業者も出てきている。

本稿では、これまでの中心であったメーカーの国内マーケティング・チャンネル戦略から、情報化・国際化の中で形成されていく新たなマーケティング・チャンネルまでを考察していく。将来、マーケティングや営業を志向する学生にとっては必須の科目となろう。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) メーカーによる垂直的マーケティング・チャンネル
- 2) マーケティング・チャンネル構築・管理の諸理論
- 3) プライベート・ブランドに見られるマーケティング・チャンネル戦略
- 4) 国際マーケティングにおけるマーケティング・チャンネル戦略
- 5) 農林水産物におけるマーケティング戦略とチャンネル管理
- 6) インターネットにおけるマーケティング・チャンネル管理
- 7) 生産財マーケティングにおけるマーケティング・チャンネル管理

履修上の留意点

流通システム論を既習していることが望ましい。講義形式ではあるが、学生・教員相互に名札を付けるなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促す。

成績評価の方法

毎回の小テストと、個人レポート（またはテスト）の評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言1回に対して1点以上のボーナス点が与えられる。

**教科書等
参考書等**

小林哲・南知恵子(2004)『流通・営業戦略』有斐閣アルマ。

日経MJ編(2008)『日経MJトレンド情報 マーケティング・ハンドブック、〈2009年版〉』日本経済新聞社。

Erin Anderson, Louis W. Stern, Adel I. El-Ansary, Anne T. Coughlan(2001) *Marketing Channels*, The Prentice Hall, 978-0130127723。

履修コード	164601
科目名	医療宗教学
担当者名	よしづ よしひで 吉津 宜英

講義のねらい この科目は将来皆さんが医療の現場に出てお仕事をされる時、患者さんと接する場合に役立つことを目的としています。科目名が「医療宗教学」となっていますが、宗教学を講義するつもりはありません。それは「仏教と人間」という宗教教育科目で学んでもらいたいと思います。私はむしろ「医療人間学」というぐらいの科目名で考えてもらいたいと思います。医療人としての皆さんは様々な患者さんに出会うことでしょう。医療技術には自信があっても、人間的には好悪の感情は否定できないし、大いにストレスを感じることでしょ。どんなに嫌いな人であっても、誠意をもって治療に当たらなくてはなりません。そのためには皆さんの人間性においてどんな人にも柔軟に対処できる姿勢が形成されていなくてははいけないと思います。この科目は様々な宗教的、また哲学的な人間観を示して、その参考に供したいと思います。ある一定の自分の人間観を持つと共に、いろいろな人々の人間観を認めることのできる医療者になっほしいのです。

講義の内容・授業スケジュール

昨年も取り上げたのですが、今年もヴィクトール・フランクル(1905-1997)の一連の著作を取り上げたいと思います。彼は『夜と霧』(みすず書房)に書いているように、ナチスドイツの時代に強制収容所に入り、生死の境をさまよいました。その中である悟りを得て、解放されてから本来彼の仕事である精神療法家として活躍しました。彼はフロイトやアドラーから学んでいます、彼らを批判的に位置づけ、フランクル独自の実存分析を体系化しました。彼の『それでも人生にイエスと言う』(春秋社)でも、自分が人生に問いかけて、人生に何の意味があるかを考えるよりも、人生の方から自己に次々と投げかけてくる課題に誠実に応答することが大事であると言っています。ある意味では楽天的人間観と言えましよう。フランクルの宗教的背景はユダヤ教ですが、彼はあまりそのことにもこだわらないのです。ただこの科目ではフランクルの人間観を相対化するために、他の人々の人間観、仏教の人間観にも関連させながら講義を進めたいと思います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に1月に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

**教科書
参考書等
その他**

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。
講義の中で随時紹介します。
私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請します。授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

履修コード	164701
科目名	医療経済学
担当者名	まつもと かずとし 松元 和敏

講義のねらい この科目を理解するには、医療で使われる言葉、システム、法律等について知ること、さらに医療制度を学ぶ必要がある。これらをやさしく解説しながら医療経済学を学習する。今や医療制度および医療経営を論ずるとき、医療経済を無視出来ない状況にある。これから医療で働く人特にリーダーには欠かせない学問である。是非多くの学生に学んで頂きたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 医療経済学を理解するために
2. 医療経済学の経済学的基礎
3. 医療経済学とはなにか
4. 医療と最新の経済学
5. 医療の仕組みを経済学で分析する
6. 医療のプレイヤーとその行動
7. 米国の医療制度を考える
8. 日本の医療制度を考える

履修上の留意点

実践に即した内容にするために参加型の授業を目指し、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

出席、レポート、試験

教科書

真野俊樹著「入門 医療経済学」(中公新書)、820円

参考書等

- ① 医療の質 用語事典 「日本規格協会」 3000円
- ② 図説 国民衛生の動向2008 「厚生統計協会」 1600円

履修コード	427501
科目名	メディア・コミュニケーション概論
担当者名	西岡 洋子 <small>にしおか しょうこ</small>

講義のねらい 本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. イントロダクション
コミュニケーション・モデル
 2. パーソナル・コミュニケーション
人と人とのコミュニケーション
電話コミュニケーション
 3. グループ・コミュニケーション
集団・組織のコミュニケーション（企業の例を中心にして）
地域コミュニティのコミュニケーション
集団行動のコミュニケーション（噂とクチコミ）
 4. マス・コミュニケーション
マス・メディアの変貌
マス・コミュニケーション研究
マーケティング・コミュニケーション（広告、PR）
 5. グローバル・コミュニケーション
 6. まとめ

履修上の留意点 社会における様々なコミュニケーション行為とメディア、その使い分けについて意識を持つように心がけて欲しい。

成績評価の方法 テスト、レポート、平常点などで総合的に評価する。
船津衛 『コミュニケーション・入門』有斐閣アルマ、1996年、1,785円、ISBN 9784641120198

参考書等 講義中に指示する。

履修コード	432001
科目名	情報メディア産業論
担当者名	福家 秀紀 <small>ふけ ひでのり</small>

講義のねらい インターネットをはじめとした様々なネットワークの特性を理解するとともに、ブロードバンド・インターネットの急速な普及により大きく変化している、日本の情報メディア産業の現状と課題を理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 情報メディア産業とは、(2)～(3) 情報メディア産業を理解するためのキーワード、(4) 電気通信、(5) 放送、(6) 携帯電話、(7)～(8) インターネット、(9) 新聞、(10) 出版、(11) 広告、(12) 映像コンテンツ、(13) 音楽、(14)～(15) まとめ

履修上の留意点 情報メディア産業の変化のスピードは極めて速いので、日頃から新聞、雑誌などの情報メディア関連の記事を読む習慣を身につけておいて下さい。また、レジュメは事前に授業支援システムに掲載しますので、予習をしてから受講して下さい。

成績評価の方法 各授業時間終了時に作成する講義概要、レポート、定期試験、および出席状況を総合的に評価します。

教科書 特に指定しません。

- 参考書等**
- ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4
 - ・湯淺正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7
 - ・その他講義の中で適宜紹介します。

その他 レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用します。

履修コード	432201
科目名	ネットワークコミュニケーション論
担当者名	すがや <small>みのる</small> 菅谷 実

講義のねらい

社会のコミュニケーション活動を支える情報ネットワークの基礎的知識の修得とネットワークの進化が社会のコミュニケーション活動にどのような影響を及ぼしてきたかを明らかにすることを目的としている。具体的には、人的組織、物理的ネットワーク、情報ネットワークの歴史、仕組み、機能、運営等を明らかにする。

前半は、「ネットワークとコミュニケーション」というテーマで、社会的コミュニケーション活動とネットワークの関係を明らかにする。具体的には、組織とネットワーク、組織コミュニケーション、ネットワーク産業の特質などを論じる。

後半は、「情報ネットワーク発展の歴史」を、各ネットワーク産業ごとに明らかにする。具体的には、郵便、交通、通信、放送、インターネットなどのネットワークの発展過程を論じる。まとめの部分においては、今後、ますます進化が期待されている「ネットワークの融合と社会的コミュニケーション」を取り上げる。具体的には、融合化が進むネットワーク環境のなかで社会的コミュニケーション活動がどのような影響を受け、変容していくかを展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1部 ネットワークとコミュニケーション

1. ネットワークと経営

企業経営とは

企業活動にとっての情報基盤の重要性

クローズネットワークとオープンネットワーク

2. 企業組織とネットワーク

企業組織

組織コミュニケーション

3. ネットワーク産業の特質

ネットワーク産業の構造

ネットワーク産業の変容

第2部 情報ネットワーク発展の歴史

4. 郵便制度

物流と情報流を支える流通ネットワーク

郵便サービス

郵便局

民営化

情報ネットワークとしての郵便ネットワーク

5. 交通ネットワーク

貨物輸送

国内旅客輸送

国際輸送

6. 放送ネットワーク

放送ネットワーク種別

放送規制

テレビ放送ネットワークの発展

7. 通信ネットワーク

通信事業者の種別

通信ネットワークの構造

制度の変容

8. インターネット

発展の歴史

ブロードバンドネットワーク

ネットワーク機能

第3部 ネットワークの融合

9. ネットワークの融合

10. ネットワークの高度化と経営環境の変化

講義には毎回出席してください

平常点と期末テスト

特に指定しない。

初回講義時に紹介する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等

履修コード	432401
科目名	比較メディア制度論
担当者名	にしおか ようこ 西岡 洋子

講義のねらい 放送の世界的な競争の歴史を理解するとともに、日本、米国、EU主要国、韓国などの放送制度とその変化の方向性について、特徴および制度形成の背景を理解する。また、適宜、日本との比較を行うことで、各国の制度が互いに影響し合っていることを理解する。

講義の内容・授業スケジュール
 (1) 本講義のアプローチ
 (2) 世界の放送の歴史
 (3) 日本の放送制度
 放送制度の概要と意義
 通信と放送の融合に対応した制度改革
 (4) 米国の放送制度
 (5) EU主要国の放送制度
 (6) 韓国の放送制度
 (7) まとめ

履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書
 参考書等
 メディア政策論または同様の講義を受講していることが望ましい。
 テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。
 講義中に指示する。
 講義中に指示する。

履修コード	432601
科目名	グローバルアート政策論
担当者名	かわさき けんいち 川崎 賢一

講義のねらい 現代文化システムの特色・機能・可能性、について、文化政策 (cultural policies) 特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・授業スケジュール
 文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

- 〈スケジュール〉
1. イントロダクション
 2. 文化政策とは何か？その期限と展開の概略
 3. ファインアートカルチャーとポピュラーカルチャー
 4. 文化階層と文化政策
 5. 文化政策の3タイプ：アメリカ型
 6. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その1))
 7. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その2))
 8. 文化政策の3タイプ：中間型 (イギリス)
 9. 文化政策の3タイプ:(中間型(フランスとイタリア))
 10. 文化政策の3タイプ:中間型(他のヨーロッパ諸国)
 11. 文化政策の3タイプ：中間型(日本)
 12. 文化政策と国際文化交流
 13. 文化政策と文化産業のシナジー
 14. 文化政策の限界と可能性
 15. まとめ

履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書
 参考書等
 授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。
 学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。
 授業の中で指示する。
 川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
 佐々木・川崎・河島（共編）、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2009年

履修コード	432701
科目名	グローバル創造都市論
担当者名	川崎 賢一 <small>かわさき けんいち</small>

講義のねらい 文化的グローバリゼーションを推進する中核的なトレンドは、創造都市（Creative Cities）ないし創造産業（Creative Industries）である。本講義では、創造都市とは何か、どのように成立し、どのように発展しつつあるかを、具体的な例（ロンドン・ニューヨーク・東京・香港・シンガポール、など）を例にとって、紹介・説明する。

講義の内容・授業スケジュール 授業は講義形式で、3つの内容からなる。創造都市と創造産業の成立とその機能。文化的グローバリゼーションと関連付けて、どのように発展したかについて具体的な例を挙げて説明する。最後に、将来的な可能性と問題点について考察する。

〈授業スケジュール〉

1. イントロダクション：予備的考察とキー概念
2. 何のためのグローバル創造都市か？なぜ、グローバル創造都市が生まれたのか？：グローバリゼーションとグローバルシティ、創造都市
3. 誰がグローバル創造都市を造るのか？：文化階層と文化資本
4. ロンドン
5. ニューヨーク
6. 東京
7. シンガポールと東南アジアの主要都市
8. 中国都市圏
9. 東京と京都
10. 日本のグローバル創造都市：金沢・横浜・大阪
11. ローカルとネイティブ
12. トランスナショナルの重要性：EUとASEAN
13. 新しいコスモポリタニズムと中間層
14. グローバル創造都市の限界と可能性
15. グローバル創造都市論：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

授業以外に、創造都市について調べてもらう予定である。

学期末テスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平均点・出席点等を加算する。

授業の中で指示する。

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年

佐々木雅幸、「創造都市への挑戦」、岩波書店、2001年

J. Florida, The Rise of Creative Class, Basic Books, 2002

履修コード	434301
科目名	情報保護と社会
担当者名	なえむら けんじ 苗村 憲司

講義のねらい 社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- ②知的財産権の保護に関する政策と技術（1. 知的財産戦略）
- ③知的財産権の保護に関する政策と技術（2. 著作権制度）
- ④知的財産権の保護に関する政策と技術（3. 著作権保護技術）
- ⑤知的財産権の保護に関する政策と技術（4. 産業財産権の保護と課題）
- ⑥知的財産権の保護に関する政策と技術（5. 営業秘密の保護と課題）
- ⑦情報セキュリティに関する政策と技術（1. 個人情報保護政策）
- ⑧情報セキュリティに関する政策と技術（2. 情報セキュリティ政策）
- ⑨情報セキュリティに関する政策と技術（3. 情報セキュリティ・マネジメント）
- ⑩情報セキュリティに関する政策と技術（4. 暗号技術）
- ⑪情報セキュリティに関する政策と技術（5. 情報セキュリティ技術の高度化と応用）
- ⑫グローバル環境における情報保護の課題（1. 国際機関の果たす役割）
- ⑬グローバル環境における情報保護の課題（2. 有害情報からの児童の保護）
- ⑭グローバル環境における情報保護の課題（3. 情報保護の新たな展望）
- ⑮まとめ

成績評価の方法

- 次の2項目を総合して評価する。
1. 授業時間に行うミニテストの成績（合計30点）
 2. 期末試験の成績（70点）
- ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する。

**教科書
参考書等**

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naemura/ps/> 上に電子教材を提供する。
電子教材の中で参考書を紹介する。

履修コード	435001
科目名	映像コンテンツ論
担当者名	テヅカ ヨシハル

講義のねらい 講義のねらい：映像コンテンツ産業の象徴的中核である映画産業のグローバル化の歴史をたどり、アメリカ大衆文化の世界的拡大とそれに伴う文化の同一化ならびに多様化の問題を検証します。19世紀末における映画伝来以来、日本の映画産業と文化はいかに近代化・アメリカ化・グローバル化の波に対応してきたのか解き明かし、現代日本の文化状況を批判的に検証する教養を養います。

講義の内容・授業スケジュール

アドルノ／ホーケイマーの文化産業論、ウォルター・ペンヤミンの複製芸術論等、メディア&カルチュラル・スタディーズにおける基本文献を紹介し、戦後から前世紀末までの日本映画産業史を情報化／グローバル化の文脈から分析します。

**履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等**

現代思想に興味があり、社会科学の基礎を履修していることが望ましい。
授業中の発言、レポート、口頭試問によって総合的に評価する。
アドルノ／ホルクハイマー著、啓蒙の弁証法—哲学的断想（2007）、岩波文庫 青 692-1
グレアム・ターナー著、金智子他訳、カルチュラル・スタディーズ入門—理論と英国での発展（1999）、作品社
ポール ドゥ・ゲイ他著、暮沢剛己翻訳、実践カルチュラル・スタディーズ—ソニー・ウォークマンの戦略（2000）、大修館書店

履修コード	437101
科目名	メディアと知識論
担当者名	齋藤 信男 <small>さいとう のぶお</small>

講義のねらい

メディアは人間の知識の表現と言えるが、その作成、操作、管理などをより効率的、効果的に行う事を支援する知的な処理の基本的な考え方をまず理解する。知識処理の具体例としてセマンティックWEBを取り上げ、メタデータを利用したインテリジェントなWEBの操作を体験する。更に、メタデータの作成、その操作、基本的な辞書構築、自然言語処理機能の利用など知識表現やその処理に関連する課題について理解し考えていく。メタデータが、高度なコミュニケーション環境や社会システムの実現に寄与し、今後のWEB利用における種々のイノベーションに発展していく可能性を探る。

講義の内容・授業スケジュール

以下の具体的な項目を学んでいく。

- (1) この講義の目的
- (2-4) 知識表現、知識獲得、知識管理など従来の手法の概括とその課題を考える。
- (5-7) 論理と推論 命題論理、述語論理の基礎、推論の意味
- (8-11) セマンティックWEBについて、その基本的機能、構造を学ぶ。メタデータ記述言語 RDF(Resource Description Framework)、オントロジーとその記述言語 OWL、RDFに対する検索言語 SPARCLについて、その概要を学び、具体的な演習を行う。また、セマンティックWEBの応用例をいくつか取り上げ、その効果、メタデータによる種々のWEBの統合化、RSSへの適用などを学ぶ。
- (12-14) コンテンツマネージメントシステムについて、その意味付け、知識処理との関係、具体例などを学ぶ。
- (15) まとめ、将来に実現すると思われる知識社会への展望などを学び、講義全体のまとめとする。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

実際のシステムをなるべく体験できるような演習を行う。
いくつかの課題レポート、総合課題、および出席の総合評価により判定する。
特に指定しない。
講義の内容に応じて、その都度紹介する。
WEBシステムについて、その基礎的理解をしておくことが望ましい。

履修コード	307501
科目名	商学総論
担当者名	<small>おおき かつお</small> 大吹 勝男

講義のねらい

大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。

講義の内容・授業スケジュール

(1～3) 商品、貨幣および資本 (4～7) 商品の生産過程と価値増殖の仕組み (8～16) 資本の流通過程、流通時間、販売および購買費用、商品在庫と保管費用、市場と商品の輸送、倉庫業および輸送業 (17～20) 商業資本の本質と機能、商業資本自立化の利益と根拠 (21～28) 商品買取資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本の回収・補填 (29～30) 商業的賃労働者・ホワイトカラー労働者と商業利潤

成績評価の方法
教科書

成績は期末試験により評価します。

大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』梓出版社1500円

大吹勝男著『商業資本の基礎理論』梓出版社1500円

履修コード	308901
科目名	国際経済論
担当者名	<small>とくなが としあき</small> 徳永 俊明

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているのです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義社会経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは、〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

〈講義のテーマ (予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱の一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済

貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序

- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義を進めます。

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(2回予定)および学年末レポートで評価します。配分はミニ・レポート40点。学年末レポート60点。(レポート評価のため追試験は行いません。)

成績評価の方法

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

履修コード	311101
科目名	マーケティング
担当者名	曾我 信孝 <small>そが のぶたか</small>

講義のねらい	マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。
講義の内容・授業スケジュール	1～2回 マーケティングの概要と問題点を指摘する。 3～9回 製品政策について学習させる。 その内容は、製品の差別化、細分化等の政策やライフサイクルとその短縮に関する政策の問題点など。なお、この間に2度ほどの小テストをする。 10～15回 価格政策について学習させる。 その内容は、差別価格や価格維持の問題などとりあげる。この間に小テストをする。 16～22回 チャネル政策について学習させる。 流通機構とメーカーの販売チャネルとの関係、大規模メーカーによる流通支配などを取り上げる。この間に小テストをする。 23～28回 促進政策について学習させる。 広告、販売員管理、サービスなどを批判検討する。この間に小テストをする。 29～30回 マーケティング・ミックスについて学習する。
履修上の留意点	マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。
成績評価の方法	夏休みの課題レポート(20%) 年度末の課題レポート(20%)と平常点(講義中の小テスト評価:60%)によって評価する。
教科書 参考書等 その他	基本的に教科書は使用しない。 参考書は適宜紹介する。 授業方法-講義形式

履修コード	311311
科目名	中小企業論
担当者名	吉田 敬一 <small>よしだ けいち</small>

講義のねらい	商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	講義ガイダンス(1) I 中小企業の基礎理論 I-1 中小企業の法的規定(2) I-2 中小企業の経営類型(3) I-3 中小企業の企業形態(4) I-4 日本型下請構造の特質(5~6) II 日本型下請システムの形成過程、 II-1 日本経済復活期の生産分業構造(7~8) II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化(9~10) II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立(11~12) II-4 グローバル化と日本型下請け構造の改変(13~14) 講義のまとめ(15)
履修上の留意点	中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているので、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。
成績評価の方法	成績評価は定期試験(前期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。追試験は実施します。
教科書 参考書等 その他	教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。 『中小企業白書』 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	311401
科目名	中小企業政策論
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール 講義ガイダンス (1)
 1 復興期の中小企業政策 (2~4)
 2 高度成長と中小企業近代化政策 (5~8)
 3 中小企業政策の大転換 (9~11)
 4 経済のグローバル化と中小企業政策 (12~13)
 5 中小企業と不公正取引問題 (14)
 講義のまとめ (15)

履修上の留意点 中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法 成績評価は定期試験(後期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。追試験は実施します。

教科書 教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。

参考書等 『中小企業白書』
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

履修コード	311701
科目名	人口論
担当者名	森岡 仁

講義のねらい 本講義は経済人口学の立場から、経済と人口の相互依存関係を理論的、実証的に論ずる。マルサスの人口波動理論に始まり、出生力の経済学に至る理論篇から、現在わが国に進行する少子高齢化人口減少の実状とその経済に及ぼす影響を追及する実証篇まで、人口がいかにわれわれにとって身近な問題を提起しているかを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール (1~8) 経済人口学とは何か、A.スミスの人口論、T.R.マルサスの人口波動理論、K.マルクスの相対的過剰人口論、J.S.ミルの人口論、E.キャナンの適度人口論、J.M.ケインズの過少人口論、発展途上国の過剰人口問題、(9~13) 人口転換論、出生力の経済学の先駆者H.ライベンシュタイン、G.S.ベッカーの出生力の経済学、R.イースターリンの出生力理論、出生力理論の統合、(14~16) 第2次大戦直後の日本の過剰人口問題、経済の高度成長と人口要因、人口移動、(17~25) 人口高齢化とは何か、人口高齢化の諸指標、日本の人口高齢化、人口高齢化と従属負担、人口高齢化と貯蓄行動、人口高齢化と労働力、人口高齢化と社会保障、人口高齢化と所得再分配、所得再分配の世代間摩擦、(26~29) 少子化とは何か、家族政策、人口減少と技術進歩、人口減少と資源・環境、(30) 人口政策。

履修上の留意点 近年大きな関心事になっている人口高齢化や少子化、それに人口減少に関する知識をどのような手段を通じてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法 学年末の定期試験。追試験も実施する。

教科書 大淵寛・森岡仁『経済人口学』(新評論)1981年2800円。1033-330172-3177。大淵寛・森岡仁編『人口減少時代の日本経済』(原書房)2006年2800円。4-562-09112-6

参考書等 大淵寛『少子化時代の日本経済』(日本放送協会)1997年
 京極・高橋編『日本の人口減少社会を読み解く』(中央法規)2008年、2200円。

その他 授業方法:講義

履修コード	311801
科目名	社会政策
担当者名	光岡 博美

講義のねらい 社会政策という科目は、経済学のなかでも古い歴史をもっている。その詳細については最初の講義で解説する。この講義計画では、社会政策とは、資本主義社会の各々の時代において発生する社会問題の原因を学問的に究明し、その問題を解決するための政策を多面的に研究することを目的とする学問である、と定義しておきたい。そして、この場合、社会政策という学問のなかで特に重視されてきたのは、労働問題や社会保障・福祉 etc といった社会問題である。経済学という研究の分野は、財・サービスの生産・分配・消費に関する研究としてイメージされるが、これにたいして社会政策は労働力と生命の再生産が、どのような社会・経済のシステムとの関連で展開されているのかを研究する学問であるといつてよい。

このような大きな領域を全般的に講義することは不可能であるから、この講義では現代の日本社会を念頭に置き、そこで重要と思われるテーマを設定し、各々のテーマについて講義、解説する。

講義の内容・授業スケジュール 年間の具体的な講義スケジュールは、(1)現代日本の労働・雇用問題(5回)、(2)社会政策、労働関係、労働組合の理論(5回)、(3)戦後日本の労使関係史(6回)、(4)福祉国家の歴史と理論(3回)、(5)日本型福祉の現実(3回)、(6)現代日本の女性労働、フェミニズム論、(3回)を予定している。

履修上の留意点 受講者数が多いせいもあり、私語によって、授業が円滑に進行しないことがある。授業に支障が生ずる場合、厳しい措置を取る。

成績評価の方法 期末試験で評価する。具体的な内容は授業時に詳しく説明する。

参考書等 講義の内容と関連して参考書を適時指示する。また、毎講義ごとにレジュメを配布する。

履修コード	312211
科目名	人的資源管理論 a
担当者名	堀 龍二

講義のねらい 人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

a (前期)では、主に、わが国企業が求める人材像の変化および人的資源管理の基本理念の変化を、企業を取り巻く環境の変化と関わらせて考察します。概略としては、グローバリゼーションとIT革命、さらには新自由主義に基づく規制緩和といった環境の変化が、労働の質や労働市場の構造を変化させ、それに対応して企業の人的資源管理の基本理念が変化していることを具体的に検討し、それが労働者の働き方にどのような影響を与えているかという時代状況を把握することをねらいとしています。

教科書の順序にそって進める予定ですが、変更することもあります。

講義の内容・授業スケジュール (1)講義概要の紹介とガイダンス、(2)人事労務管理論から人的資源管理論へ、(3～5)求められる人材像の変化、(6～8)年功主義と能力主義、(9～10)成果主義、(11～15)経済グローバル化に対応する人的資源管理の動向

履修上の留意点 原則として、a(前期)とb(後期)を合わせて同一年度に履修してください。

成績評価の方法 出席(10%)、小レポート(20%)、前期定期試験(70%)を総合して評価します。追試験は実施しません。

教科書 伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等 木元進一郎監修『人間らしく働く』(泉文堂、2008年)。その他、講義中に適宜紹介する。

履修コード	312221
科目名	人的資源管理論 b
担当者名	堀 龍二

講義のねらい 人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

b(後期)では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するか、やる気をどう引き出し、どう育てるのかといった問題を取り上げます。具体的には、人事評価や賃金システムのあり方、職務割当や仕事の与え方、キャリア形成のあり方などが、成果主義時代にどのように変化してきているかという問題を考察します。いま、わが国企業は激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の有効活用の新たな方法を模索しています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って以下の構成で進める予定ですが、変更することもあります。
 (1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2～4) 業績評価と目標管理とコンピテンシー評価(5～7) 賃金システムの変化、(8～9) 賞与制度と退職金制度、(10) 人事制度改革、(11～12) 社内公募制と社内FA制度、(13) エンプロイヤビリティ、(14) キャリア形成制度、(15) 新しい働き方と労働組合

履修上の留意点
成績評価の方法

原則として、a(前期)とb(後期)を合わせて同一年度に履修してください。
 出席(10%)、小レポート(20%)、後期定期試験(70%)を総合して評価します。追試験は実施しません。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

木元進一郎監修『人間らしく働く』(泉文堂、2008年)。その他、講義中に適宜紹介する。

履修コード	312611
科目名	社会思想史 a
担当者名	阿部 弘

講義のねらい 「経済学」は私たちが日常生活している「市民社会」と密接な関連をもって形成されてきた。そこでこの過程を概観することをこの講義の目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程
 「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方であった。

近代的な「経済学」の成立は、ヨーロッパ的な「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が、「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていく。

講義は15回であるので、次のスケジュールになる。

- 第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開(01-05回)
- 第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程(05-12回)
- 第3章：現代の経済的諸問題(13-15回)

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

- 1 出席の確認(授業中に適宜実施される)
- 2 3回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う。「追試験」等は行わないので注意して欲しい。

教科書

阿部弘：『労働と所有』、八千代出版、1983

参考書等

阿部弘：『「経世済民論」と「経済学」』、創成社、2009

適宜授業中に指定する。

履他
修学
科目部

履修コード	312621
科目名	社会思想史 b
担当者名	阿部 ^{あべ} 弘 ^{ひろし}

講義のねらい

私たちが何気なしに用いている「市民」という概念が私たち自身の「社会」との関わりのなかでの概念であり、そして、この「市民」・「市民社会」の成り立ちと共に「経済学」もまた形成されるのであるが、それは「国家」的なシステムの構築と共にあることを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。この論の本質・その発展を追っていくことによって現代の「経済学」にもつながるこの論は、資本家的な生産システムが人間それ自体をコスト原則で規定していった、「格差社会」なるもの作り上げて、それをさも「高度な社会」であるかのように吹聴する資本家的な国家体制のなかで、まさにこの非人間的な体制を根本から見直すべきものをもっている。

そこでこの講義体系では「経世済民」論の成立過程そしてその本質と現代へつながっていく要素を明らかにして、現代にあってこの論の持つ意義を観ていく。

講義は15回であるから、つぎのようなかたちになる：

- 第1章：「経世済民」思想（01-05回）
- 第2章：「経世済民論」と「経済学」（06-12回）
- 第3章：「経世済民論」と現代（13-15回）

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているので、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 3回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試試験」等は行わないので注意して欲しい。

教科書
参考書等

阿部弘：『「経世済民論」と「経済学」』、創成社、2009
適宜授業中に指定する。

履修コード	324101
科目名	西洋法制史
担当者名	北野 ^{ミチノ} かほる

講義のねらい イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造と法構造
 - 第2章 中世(1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第3章 近世(1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等
その他の

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

論文式筆記試験(後期試験期間・年1回)

特に指定しない。

年度当初に指示する。

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

履修コード	324201
科目名	法思想史
担当者名	高橋 ^{たかはし} 洋城 ^{ひろき}

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景の世界像

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

[11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前読んで上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として

・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。

・深田三徳、濱真一郎（編）『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房 2,730円）；田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ 1,800円）：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

履修コード	325201
科目名	経済法
担当者名	荒井 ^{あらい} 登志夫 ^{としお}

講義のねらい 規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール 1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不公正な取引方法 15～17 景品表示法・下請法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点 講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。
成績評価の方法 成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教科書 「経済法」（第5版・岸井大太郎・向田直範）ほか・有斐閣アルマ
参考書等 「独占禁止法（第2版）」（金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂）
根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）
根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）
「経済法」（鈴木満・深雪・尚学社）

その他 レジュメを配布する。六法を必ず持参のこと。

履修コード	325401
科目名	国際関係論
担当者名	三船 ^{みつね} 恵美 ^{えみ}

講義のねらい 国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを講義の目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1. 国際関係を学ぶ
2. アクター
3. 国益とパワー
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 安全保障（1）：安全保障の概念と類型
7. 安全保障（2）人道的介入
8. 安全保障（3）大量破壊兵器の拡散
9. 安全保障（4）テロリズム
10. グローバリズムとリージョナリズム
11. EU
12. 東アジア共同体の構想とその課題
13. 地球環境レジームの形成
14. 前期まとめ
15. 試験

後期

1. 「人間の安全保障」と人権
2. 国際開発と国際援助
3. 難民保護とUNHCR、
4. 国際関係を分析する4つの見方
5. 勢力均衡とバンドワゴン
6. 同盟の力学
7. 覇権による安定
8. リベラリズム
9. ネオ・リベラリズム
10. ゲーム理論と国際関係
11. 南北問題と構造的暴力
12. コンストラクティヴィズム
13. 国際政治と国際経済の連動
14. 後期まとめ
15. 試験

履修上の留意点

就活や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

試験（前期40%＋後期60%）。
山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。
授業中に紹介します。

履修コード	326001
科目名	地方自治法
担当者名	富井 幸雄 <small>とみい ゆきお</small>

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書
参考書等
その他

富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定（内外出版）

『地方自治判例百選（第3版）』（別冊ジュリスト）。

講義では頻りに法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

履修コード	326801
科目名	倒産処理法
担当者名	鈴木 貴博 <small>すずき たかひろ</small>

講義のねらい

破産法を中心に倒産処理法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者・債権者・担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜し、債権者の平等な取扱いや、破産者の再起更生、社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、実体法の規定に配慮しつつ、手続の基準として多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような様々な実体的法律関係の修正・処理のための法制度の特徴と概要を学んでいく。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産手続開始申立てとその効果
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 破産管財人の法的地位
7. 財団債権・取戻権
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪
10. 消費者倒産

履修上の留意点

民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みか履修中であることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと学期末試験により評価される。

教科書

徳田和幸『ブレップ破産法』（弘文堂、第4版、2008年）¥1,260 ISBN978-4-335-31309-7

参考書等

- ①伊藤眞『破産法・民事再生法』（有斐閣、2007年）¥6,615 978-4-641-13498-0
- ②山本和彦・中西正・笠井正俊・沖野真巳・水元宏典『倒産法概説』（弘文堂、2006年）¥4,725 978-4-335-35373-4 C3032
- ③山本和彦『倒産処理法入門』（有斐閣、第3版、2008年）¥2,205 978-4-641-13534-5
- ④青山善充・伊藤眞・松下淳一『倒産判例百選』（有斐閣、第4版、2006）¥2,520 978-4-641-11484-6

履修コード	330111
科目名	経営管理論 a
担当者名	<small>いわなみ ふみなか</small> 岩波 文孝

講義のねらい 経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。本講義では、日本企業を中心とするCSR経営とそれを主導すべき社会的規制の脆弱な実態を踏まえ、現代日本のCSRの意義と限界を導きだし、持続可能な社会をめざすCSR型ビジネスモデルと経営、環境、社会分野における今後の課題を検討する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 授業の概要：ガイダンス（1）
 2. CSRと企業管理（2～3）
 3. ステークホルダーと企業管理（4）
 4. ステークホルダーの現状（5）
 5. コーポレート・ガバナンスとマネジメント（5～6）
 6. グローバル・ガバナンスとマネジメント（7～8）
 7. CSRと環境マネジメント（9）
 8. 労働CSRの現状と課題（10～11）
 9. 地域産業の文化と企業管理の課題（12～13）
 10. CSR経営の課題と展望（14～15）

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

- 履修上の留意点** 現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。
- 成績評価の方法** 定期試験（前期末）により評価します。
- 教科書** 足立辰雄・井上千一編著（2009）『CSR経営の理論と実際』中央経済社。
- 参考書等** 日本比較経営学会編（2006）『会社と社会』文理閣。
細井浩一（2006）『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。
仲田正機編著（2005）『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。

履修コード	330121
科目名	経営管理論 b
担当者名	<small>いわなみ ふみなか</small> 岩波 文孝

講義のねらい 経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。巨大企業のトップ・マネジメントをめぐって、所有と経営の分離にともなう会社支配の問題、グローバル化の進展・企業間競争の激化・資本調達にともない企業の透明性と効率性が求められる。本講義では、コーポレート・ガバナンスに関連付けながら現代の巨大企業におけるトップ・マネジメント機能の特質を考察していきたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 授業の概要：ガイダンス（1）
 2. 企業と社会（2～3）
 3. 会社支配論とトップ・マネジメント（3～4）
 4. 機関投資家の台頭とコーポレート・ガバナンス（5）
 5. 取締役会改革とコーポレート・ガバナンス（6）
 6. CSRとトップ・マネジメント機能（7～8）
 7. アメリカのトップ・マネジメント改革（9）
 8. イギリスのトップ・マネジメント改革（10）
 9. ドイツのトップ・マネジメント改革（11）
 10. ロシアのトップ・マネジメント改革（12）
 11. グローバル企業のコーポレート・ガバナンス（13）
 12. 企業管理改革の課題と展望（14～15）

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

- 履修上の留意点** 現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。
- 成績評価の方法** 定期試験（後期末）により評価します。
- 教科書** 風間信隆・海道ノブチカ編著（2009）『コーポレート・ガバナンスと経営学』ミネルヴァ書房。
- 参考書等** 日本比較経営学会編（2006）『会社と社会』文理閣。
細井浩一（2006）『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。
仲田正機編著（2005）『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。

履修コード	332901
科目名	日本経済論
担当者名	<small>はとり しげる</small> 羽鳥 茂

講義のねらい

多様な経済システム（日本の経済システムはそれらのうちの1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法
教科書
参考書等

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。

青木昌彦・奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）、1996年、3200円

鶴光太郎『日本の経済システム改革』2006年、2600円

その他、講義の進み具合に応じて適時紹介します。

IV 「日本語」・「日本事情」科目

履修コード	230511
科目名	日本語入門Ⅰa
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間未満までの学生を対象とし、基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。短い文章を読みながら、文法、語彙、文字の学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

- ◆非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、ほとんどない学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ⅱa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰa」と「日本語入門Ⅱa」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 授業時に指定する。

その他 辞書を持ってくること。

履修コード	230521
科目名	日本語入門Ⅰb
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間程度の学生を対象とし、基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。「日本語入門Ⅰa」の続きとして講義を行う。短めの文章を読みながら文法、語彙、文字の学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

- ◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ⅰa」「日本語入門Ⅱa」を受講した学生を前提とするが、日本語のレベルが適当であれば受講を認める。
- ◆「日本語入門Ⅱb」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰb」と「日本語入門Ⅱb」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 授業時に指定する。

その他 辞書を持ってくること。

履修コード	230531
科目名	日本語入門Ⅱa
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間未満までの学生を対象とし、「日本語入門Ⅰa」で学んだことをもとに、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

身近なトピックによる作文とスピーチの練習を繰り返す。また、他の人の作文を読んだり、スピーチを聞いたりした後、質疑応答・意見交換を行う。

- ◆非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、ほとんどない学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ⅰa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰa」と「日本語入門Ⅱa」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

その他 辞書を持ってくること。

履修コード	230541
科目名	日本語入門II b
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間程度の学生を対象とし、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 簡単なアンケート調査を実施し、結果をクラスで発表することが最終課題であり、アンケート用紙の作成の仕方、アンケートの仕方、結果のまとめ方、発表の仕方等の練習をする。

履修上の留意点 ◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。
◆「日本語入門I a」「日本語入門II a」を受講した学生を前提とする。
◆「日本語入門I b」と連続して講義を行うため、「日本語入門I b」と「日本語入門II b」は同時に受講することが望ましい。
◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。
その他 辞書を持ってくること。

履修コード	230611
科目名	日本語I a
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230621
科目名	日本語I b
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230631
科目名	日本語I a
担当者名	多田 羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 衣③・食①・住②・学生生活④⑤など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、生の文章を読む、書くなどを通して実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
その他 辞書を持ってくること。

履修コード	230641
科目名	日本語I b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 Ia に続き政治⑥・法律⑦・経済⑧・文化⑩・社会問題⑨などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め、ニュースを見る、読む、自分の考えを述べるなどを通してより深く理解できるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	230711
科目名	日本語II a
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230721
科目名	日本語II a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 人前で話すことに慣れ、言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。
紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。必要に応じて発音・アクセント・読み方等の練習をする。

履修上の留意点 授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230811
科目名	日本語II b
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230821
科目名	日本語II b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 自分の考えを、正しく適切な表現を用いて効果的に説得力を持って相手に伝えることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
意見表明や提言のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、最後に自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点 授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230911
科目名	日本語III a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい	聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。 まず内容を聞き取って把握すると共に、相手や立場、場面にふさわしい話し言葉の使い方を知る。 次に話し言葉と書き言葉の違いを知り、レポートを書く練習の第一歩とする。
講義の内容・授業スケジュール	ビデオでドラマ・講演などを聞き取り、敬語、くだけた表現、改まった表現など場面・立場・相手によって使い分ける自然な話しかたに慣れ、スピードにも慣れる。語彙表を使って聞き取った内容を文章にまとめることで豊かな表現を身につけ、書き言葉で書く練習もする。
成績評価の方法	平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。
教科書	ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	230921
科目名	日本語III a
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べてくる宿題が出る。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	小レポート、小テスト、授業活動50% 期末試験50%
教科書	最初の授業時に指定する。

履修コード	231011
科目名	日本語III b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい	聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。 前期をふまえ、さらに聞きとりの強化とレポートを書くための文章力の強化をする。
講義の内容・授業スケジュール	ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。 聞き取った内容等をまとめながら、レポートの書き方の練習をする。
成績評価の方法	平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。
教科書	ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231021
科目名	日本語III b
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	日本語III a の続きとして、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	教材を辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べて来て発表することがある。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	小レポート、小テスト、授業活動50% 期末試験50%
教科書	最初の授業時に指定する。

履修コード	231111
科目名	日本語Ⅳa
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、「話す、書く」を中心に日本語力の向上を目指す。他の人と情報・意見交換をすることにより自分の考えを深め、論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化や今、日本社会で問題となっていることの中から幾つかのトピックを設定し、そのトピックに関する資料を読んで理解を深めた後、自分の意見を文章でまとめ、発表する。フォーマルな話し言葉と書き言葉を学ぶ。講義はグループワークを中心に進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書その他	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231121
科目名	日本語Ⅳa
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。 （1～5）文章の基本一文・段落・構成（6～10）レポートの方法―主題・材料・アウトライン等―（11～15）レポートの形式―表紙・序論・本論・結論・参考文献―
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1・第2週の授業を続けて欠席した者は、履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など）50% 期末テスト50%
教科書	教科書は授業時に指定する。

履修コード	231211
科目名	日本語Ⅳb
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、「話す、書く」を中心に日本語力の向上を目指す。他の人と情報・意見交換をすることにより自分の考えを深め、論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化や今、日本社会で問題となっていることの中から幾つかのトピックを設定し、そのトピックに関する資料を読んで理解を深めた後、自分の意見を文章でまとめ、発表する。フォーマルな話し言葉と書き言葉を学ぶ。講義はグループワークを中心に進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書その他	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231221
科目名	日本語IV b
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい 文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール レポート、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。(1～7) レポートを書く(8～15) 意見文の書き方、実践

履修上の留意点 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

成績評価の方法 作文(3～4回) 50%
提出物・小テスト・授業活動(授業での発言、授業態度など) 50%

教科書 教科書は授業時に指定する。

履修コード	231311
科目名	日本語V a
担当者名	石川 守

講義のねらい しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点からやっています。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などから始めます。もう一度しっかりとした日本語の基本を復習したい人におすすめします。

講義の内容・授業スケジュール 日本語の話し言葉や書き言葉の文体から、会話や基礎文法が復習ができるように構成されています。まず会話特有の表現から始まり、呼称、指示詞、存在や場所関係の表現、数詞、形容詞など日本語コミュニケーションの基本的なものを学んでいきます。

履修上の留意点 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めないことがあります。

成績評価の方法 試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等 辞書を持ってきてください。

その他 受講態度を重視しています。

履修コード	231321
科目名	日本語V a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。

講義の内容・授業スケジュール レポートを書くための基礎を学ぶ。
各種の新聞記事など時事問題を中心に読む。見出しから内容を推測したりわかる言葉から概要をつかむ練習をし、さらに自分で調べながら細部まで読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法 平常点(小テスト・提出物・授業の参加度)を重視する。期末テストも行う。

教科書 プリント配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231411
科目名	日本語V b
担当者名	石川 守

講義のねらい 日本語 Va に続けて、日本語コミュニケーションの会話に必要な基本的な文法について学んでいきます。特に日本語の基礎を固めたい人におすすめです。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点 日本語 Va に準じますので、そちらを参照してください。

成績評価の方法 試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等 辞書を持ってきて下さい。

その他 受講態度を重視しています。

履修コード	231421
科目名	日本語Vb
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子

講義のねらい 読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事的問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 各自関心のある新聞記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法 平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231511
科目名	日本語VIa
担当者名	いしかわ まもる 石川 守

講義のねらい 日本語の中上級文法を話し言葉、書き言葉、コミュニケーションの観点からテキストを使いながらやっています。

講義の内容・授業スケジュール 授業は中上級の文型に関するもの、特に型の似ているものの用法や意味の違い、類義的な表現の用法の違いなどを中心に、用例に出てくる語句の意味の分析、発音やアクセントなどもやっています。スケジュールはテキストの初めから順次やっています。

履修上の留意点 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は履修を認めません。ご注意ください。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書等 使用するテキストは、授業中にプリントで配ります。

その他 辞書を持ってきてください。
授業態度を重視しています。

履修コード	231521
科目名	日本語VIa
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231611
科目名	日本語VIb
担当者名	いしかわ まもる 石川 守

講義のねらい 日本語 VIa の続きをやっていきますので、基本的に変更はありません。日本語 VIa を参照してください。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 VIa の続きをやっていくため、日本語 VIa を参照してください。

履修上の留意点 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で必ず教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めません。ご注意ください。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書等 授業中にテキストのプリントを配ります。

その他 辞書を持ってきてください。
受講態度を重視しています。

履修コード	231621
科目名	日本語VIb
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。
成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書 プリントを配布する。
 辞書を持っていくこと。

履修コード	231701
科目名	日本事情I〔地理〕
担当者名	高橋 健太郎 <small>たかはし けんたろう</small>

講義のねらい 人々の生活や地域社会の特徴と変化を、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール この授業では、最初に、日本の地理的特徴や、日本人の文化や生活の地域性について説明する。その後、受講生2～3人で1つの班を作り、班ごとに、日本の各都道府県の地理的特徴について調べ、授業で発表してもらう。また、駒澤大学の周辺地域、つまり東京近郊地域の特徴や変容を理解するために、大学の外に出て、見学も行なう。
履修上の留意点 第1回目に授業の案内を行なうので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。
成績評価の方法 頻繁に教場で作成してもらう小レポート、班ごとの発表の内容、学外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。
教科書 使用しない。授業中にプリントを配布する。

履修コード	231801
科目名	日本事情II〔自然〕
担当者名	清水 善和 <small>しみず よしかず</small>

講義のねらい 日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海が多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物、自然保護の5つの章に分けて解説する。また、日本の自然と日本人の文化・生活との関連についても取り上げる。
講義の内容・授業スケジュール 1章：位置（国土の範囲、行政区分、位置の特徴；1,2回）、2章：気候（気候帯、海流、気候の特徴、気団と季節、気象観測、気候と文化；3-7回）、3章：地質・地形（弧状列島、変動の歴史、多様な地形、火山、地震、自然災害；8-11回）、4章：生物（植生帯、生物多様性、生物地理区、里山、帰化生物；12-14回）、5章：自然保護（レッドデータ、国内の法律、国際条約；15回）
成績評価の方法 2回のレポートと出席回数に基づいて評価する。
教科書 講義内容を文章化した「web版テキスト（日本語版と英語版）」を紹介する。受講者は指定のHPから自由にダウンロードして利用できるようにする。
参考書等その他 講義とweb版テキストの中で適宜紹介する。
 講義に必要な図表をまとめたプリントを毎回配布する。講義は日本語で行うが、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著した「web版テキスト（English version）」を用意する。

履修コード	231901
科目名	日本事情III〔歴史〕
担当者名	井上 桂子

講義のねらい 本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 19世紀－鎖国政策の中での日本の他国関係
2. 中国商人の「唐風説書」の役割
3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
4. 日米和親条約と中国
5. 明治維新と中国の反応
6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
7. 清末の改革維新と日本との関係
8. 孫中山と日本
9. 民間交流と日中関係
10. 戦争中中国大陸で反戦活動
11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席回数と課題レポートで評価します。

必要に応じてプリントを配布します。

授業のなかで適宜紹介します。

希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

履修コード	232001
科目名	日本事情IV〔思想〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義のねらい

明治維新によって江戸幕府は倒れ、日本は新しく近代国家としての道を歩み始めました。この大きな転換期に日本では何が起ったのでしょうか。そして、その変化を当時の思想家達はどのように受けとめたのでしょうか。本授業では、幕末から明治末期にかけての歴史と思想について学びます。この時代の日本に何が起ったのか。当時の思想家達は、何を問題だと考えていたのか。その問題をどのように解決しようとしていたのか。こういった問いを明らかにしていくことが本授業の目的です。この作業を行うことにより、学生の皆さんは近代日本（ひいては現代日本）がどのように成立したかを知る手がかりを得ることができるでしょう。なお、授業を理解する上では、常識レベルでの日本史の知識が必須です。よって、日本の中学校で学ぶ程度の日本史の知識について学ぶことも授業の目的の一つとなることは留意しておいてください。

講義の内容・授業スケジュール

オリエンテーション(1)、儒教思想(2～3)、福沢諭吉(4～5)、明六社(6～7)、自由民権(8～9)、中江兆民(10～11)、徳富蘇峰(12～13)、社会主義(14～15)。

履修上の留意点

毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。授業を履修する場合は、4月中に必ず一度授業に出席して上記の点について確認をしてください。また可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

成績評価の方法

出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

教科書
参考書等
その他

特に指定しません。

授業時に適宜、紹介します。

講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232101
科目名	日本事情V〔社会〕
担当者名	坪井 健

講義のねらい	この講義は、外国人学生のために現代の日本社会への理解を深めるための講義です。基本的には、日本人が何を考えているか、「日本人の意識」を外国人と比較しながら考えていきます。外国人はあなたの意識でもありますので、授業中は、集団としての日本人の平均的考え方とあなた自身の意見と比較してみてください。 具体的には、「生活価値観」「仕事」「家庭」「教育」「ナショナリズム」「生活満足度」などです。こうした問題について討論しながら進めたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	1. はじめに 講義の方針と受講の仕方 2. 戦後日本の生活変動 一概要一 3. 日本人の生活価値観 一講義一 4. 教育と学校 一講義とビデオ一 5. 政治とナショナリズム 一講義一 6. 仕事と余暇 一講義とビデオ一 7. 家族とジェンダー 一講義一 8. 高齢化社会と老後 一講義一 9. 若者の意識 一講義とビデオ一 10. 戦後日本人の意識の動向 11. まとめ 一現代日本の社会問題一
履修上の留意点	この授業では、対話型授業を行うので、皆さんの意見を積極的に述べること。また、毎回リアクション・ペーパーを配布するので、意見や感想などを必ず記入すること。ビデオによる映像教材や1回程度は、社会見学をすることがあるので遅刻・欠席しないこと。授業内容はすべてプリントにして配布する。特別、英語による補足説明はしないが、プリントと映像教材で、外国人にも理解しやすい工夫をする。
成績評価の方法	この授業は、平常点（出席＋リアクションペーパー＋受講態度等）40％と課題レポート（2～3回提出）60％で評価する。
教科書	1. NHK放送文化研究所編『現代日本人の意識構造』（第六版）NHKブックス ¥1020＋税

履修コード	232201
科目名	日本事情VI〔政治・法律〕
担当者名	三竹 直哉

講義のねらい	日本の政治について知り、みんなで意見交換します。
講義の内容・授業スケジュール	下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。 ◎議会制民主主義 ◎三権分立と二院制 ◎天皇 ◎選挙制度 ◎政党と派閥 ◎ナショナリズム ◎安全保障 ◎日本のマイノリティ ◎日本の移民政策
履修上の留意点	日本の政治について考える授業ですから、日本の政治に関心がなかったり、政治について学ぶ気がない学生は履修すべきではありません。 授業参加を重視します。参加人数によって授業のやり方は変わります。人数が少なければ討論中心になりますので、発言することが重要になります。
成績評価の方法	平常点と期末テストによります。
教科書	指定する予定はありません。
その他	I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese. 最新の情報は YeStudy で確認してください。

履修コード	232301
科目名	日本事情VII〔文学〕
担当者名	<small>さかぐち ひろき</small> 坂口 博規

講義のねらい

本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本の古典文学の作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識（1）
- 6、古代後期の文学とその美意識（2）
- 7、中世の文学とその美意識（1）
- 8、中世の文学とその美意識（2）
- 9、中世の文学とその美意識（3）
- 10、近世の文学とその美意識（1）
- 11、近世の文学とその美意識（2）
- 12、近世の文学とその美意識（3）
- 13、日本文学の特質（1）
- 14、日本文学の特質（2）
- 15、日本文学の特質（3）

履修上の留意点

第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を総括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

成績評価の方法

レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価（90%）を中心に、受講姿勢（出席状況・関心の度合等々、10%）を加えて評価する。

教科書
参考書等

必要に応じて適宜プリントを配布する。
授業内で紹介する。

履修コード	232401
科目名	日本事情VIII〔文化・芸術〕
担当者名	<small>さとう みなこ</small> 佐藤 美奈子

講義のねらい

「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって本授業では、「日本文化」が時代ごとにどのような特徴を持つのか、それがどのように人々の日常に影響を及ぼすのかについて、身近なもの（食文化など）を例にあげながら、学んでいきたいと思います。特定の「日本文化」に注目し明らかにするというよりも、通史的に日本文化史を学ぶ形になります。そのため、日本の中学生レベルの日本史について学ぶことも、授業の目的の一つとなります。

講義の内容・授業スケジュール

オリエンテーション(1)、古代日本の文化(2～4)、中世日本の文化(5～8)、近代日本の文化(9～14)、まとめ(15)。

履修上の留意点

毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。それから可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

成績評価の方法

出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

教科書
参考書等
その他

特に指定しません。
授業時に適宜、紹介します。
講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232501
科目名	日本事情IX〔経済〕
担当者名	<small>よくほら よしのぶ</small> 福原 好喜

講義のねらい	特別のことがない限り、これ以降日本経済、世界経済は大不況（デフレーション）へと突入して行くが、やさしい日本語で「福原経済学」を講義する。
講義の内容・授業スケジュール	拙著『総理、お間違えではありませんか？—銀八教授内閣への直言—』、『熱血教授心の教育—駒大経済銀八ゼミナール—』等を使い、デフレーションからどのように脱出するのか？福原のユニークな考えを述べる。ノーベル賞を受賞した Mr. Paul Krugman 等他のエコノミストの主張にも言及する。（Krugman の経済学はこれから起こる大不況に対しては useless）
履修上の留意点	テキストを前もって読んでおくこと。分からない単語は辞書を引いておく。
成績評価の方法	出席とペーパーテストで成績評価。
教科書	前述の拙著の他、その時々の新聞及び雑誌等の経済記事を教材として利用する。 受講者が少ない場合、ロールプレイング等学生参加型の授業にしたい。 複数回レポートを課す。

履修コード	232601
科目名	日本事情X〔経営〕
担当者名	<small>なかの かおり</small> 中野 香織

講義のねらい	本講義は留学生の方々を対象としている。主な目的は、日本の企業について学ぶことである。特に広告会社を事例にして、企業をとりまく環境、部署の構造、業務内容などについて説明する。さらに、本講義では受講生が授業で議論できる能力をつけることも目指したい。教員と受講生間のコミュニケーション、および受講生同士のコミュニケーションを密にすることによって、授業で積極的に発言しやすい場を作り、日本で議論することに慣れてもらいたいと考える。
講義の内容・授業スケジュール	講義の前半では、広告会社を事例とした企業活動の説明をする。講義の中段では、受講生の関心が高いテーマを選び、その解説をする。同時に、それらのテーマについて各自で調べてもらい、発表をしてもらおう。講義の後半では、テーマについてグループで議論し、資料にまとめ、発表をしてもらおう。 （1）イントロダクション：本講義の概要説明、（2）教員・受講者の自己紹介を兼ねた発表、（3～6）広告会社を事例とした企業活動の説明：市場をとりまく環境、市場構造、各部署の役割、個人の業務内容など、（7～12）受講者の関心が高いテーマについての解説、および受講生による発表、（13～14）グループ作業および発表、（15）試験
履修上の留意点	留学生の皆さんに、日本の企業に興味を持ってもらいたいと思っているので、質問は積極的にしてほしい。
成績評価の方法	出席点・授業への取組み方70%、試験30%で評価する。
教科書	特になし。

V 随 意 科 目

履修コード	—
科目名	英語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロニア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよび現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法 現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他の 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよび現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法 現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他の 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよび現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法 現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他の 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	O16802
科目名	東洋思想史
担当者名	末木 恭彦

講義のねらい 中国の伝統思想、特に儒教のあり様について理解を深めることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 直線的に歴史把握を行うのではなく、儒学の根本文獻（経）についての理解を深め、各経の歴史的展開を並行的に把握することとする。手掛りとしては、江戸時代の儒者荻生徂徠の『経史子要覽』を用いる。『経史子要覽』の言説を読み、それに現代の視点からの補説を行う。この作業を通じて、儒学の経とは何か理解を深めていく。

履修上の留意点 (1) ガイダンス (2) 荻生徂徠について (3～5) 経総論 (6～9) 詩・書 (10～12) 礼記・易 (13) 春秋 (14) 予備 (15～18) 論語・孝経 (19) 経まとめ (20～21) 子総論 (22～23) 孟子 (24) 荀子 (25～27) 老荘列 (28) 子まとめ (29・30) 質疑応答

予習をして来て欲しい。テキストの疑問点を整理して授業に臨んで欲しい。その疑問点の解明を中心として、授業を展開する予定である。

成績評価の方法 平常の受講態度と学年末レポートによる。追試はしない。

教科書 『経史子要覽』（コピーを配布する）

参考書等 関口順『儒学のかたち』（東大出版会）

履修コード	017102
科目名	日本民俗学
担当者名	谷口 貢

講義のねらい 日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1~2) 民俗学とは (3~5) 民俗学の流れと現在 (6~7) 家族生活と住まい (8~10) 食をめぐる民俗 (11~12) 村と町の成立 (13~15) 若者と一人前 (16~18) 婚姻と出産・子育ての民俗 (19~21) 女性・子ども・老人の民俗 (22~24) 葬送儀礼と先祖祭祀 (25~27) 里と海・山のなりわい (28~29) 祭りと年中行事 (30) 民俗宗教の諸相

履修上の留意点 夏期レポート及び小レポートを実施する予定。
成績評価の方法 学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。

教科書 谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊(八千代出版) 2,100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

履修コード	017802
科目名	美術史概説
担当者名	北野 良枝

講義のねらい 日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容・授業スケジュール 前期 平安時代から室町時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ~ (5) 仏教絵画 (6) ~ (8) 絵巻物
 (9) ~ (10) 肖像画 (11) ~ (15) 室町時代の水墨画
 後期 室町末から江戸時代の絵画
 (16) ~ (20) 狩野派 (21) ~ (24) 琳派
 (25) ~ (26) 浮世絵 (27) ~ (28) 南蘋派と洋風画
 (29) ~ (30) 江戸から明治へ

履修上の留意点 授業中の私語は厳禁。
成績評価の方法 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	017902
科目名	民間信仰論
担当者名	谷口 貢

講義のねらい 日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成す様々な世界には、どのような意味があるのかを追究していくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義について考察を加える。

講義の内容・授業スケジュール (1~3) 民間信仰研究とフィールドワーク、(4~5) 民間信仰の性格、(6~10) 伊豆諸島青ヶ島の神祭りと巫俗、(11~15) 巫俗信仰の諸相、(16~18) 山岳信仰の性格、(19~23) 福島県会津地方の神社参拝の講集団、(24~25) 民間信仰と成立宗教の関係、(26~28) 憑霊信仰の諸相、(29~30) 死霊結婚の習俗

履修上の留意点 学年末に課題に基づくレポートの提出を求める。レポートの課題は授業の中で発表する。
成績評価の方法 学年末の課題レポートに基づいて成績評価を行う。出席を重視する。
教科書 使用しない。

履修コード	046602
科目名	日本仏教史
担当者名	松本 信道 <small>まつもと のぶみち</small>

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのねらいである。仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) ガイダンス、(2)～(5) インド・中国・朝鮮仏教の成立、(6)～(10) 日本への仏教伝来と受容、(11)～(15) 飛鳥仏教の成立、(16)～(25) 奈良仏教の成立、(26)～(30) 平安仏教の成立

成績評価の方法
教科書
参考書等

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。
随時、プリントにて配布します。
速水侑『日本仏教史 古代編』(吉川弘文館)

履修コード	075002
科目名	宗教人類学
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>

講義のねらい

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊(ひょうれい)文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとあ、神霊・精霊が憑(つ)いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。この講座では、宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして、憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学(1～3)、2. 宗教人類学と宗教民俗学(4～5)、3. フィールドワーク(6～8) 4. 民俗宗教の特質(9～11)、5. アニマ(霊)とマナ(力)(12～14)、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究(15～18)、7. 憑霊現象と社会組織(19～21)、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象(22～24)、9. 憑霊文化と王権(25～27)、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性(28)。

履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合(または欠席をした場合)には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポート(2400字～2800字)で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書
参考書等

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』講談社(学術文庫)
授業中に適宜紹介する。

履修コード	232701
科目名	日本宗教文化史
担当者名	<small>おがわ としゆき</small> 小川 順敬

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。

われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生き、いかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法
教科書

レポートその他で評価する。

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はその都度紹介することにしたい。

履修コード	232801
科目名	民衆宗教成立史
担当者名	<small>すずき いづみ</small> 鈴木 一馨

講義のねらい

民衆宗教は、世俗の中に生きるひとびとが既成宗教の体系にとらわれずに、そのさまざまな願望に応じたものごとを取り入れながら形成したものである。それがゆえに、無秩序で「いいかげんなもの」とイメージされやすいが、実はそうではなく、取り入れた要素を独自の論理で編成しオリジナリティ溢れる体系を作り上げている。

この講義では、日本の民衆宗教の一例として陰陽道を探り上げ、前期に陰陽道の初期的形成とそれを支える中国的宇宙論について基礎的な知識を講説し、後期はその基礎に立って陰陽道の実像とその役割について講説する。そして、両者を併せて民衆宗教の形成のされ方について理解を深めてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：I. 陰陽道と「陰陽」の宇宙論

1. 「陰陽寮」と「陰陽道」（1～5）、2. 「陰陽」の理論と世界観（6～10）、3. 曆と世界の変化（11～15）

後期：II. 陰陽道と民衆宗教

1. 平安貴族の日常と陰陽道（16～20）、2. 呪術者としての陰陽師（21～25）、3. 民衆宗教としての陰陽道（26～30）

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないといけない。

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法
教科書

出席状況、期末試験、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

鈴木一馨『陰陽道—呪術と鬼神の世界—』（講談社選書メチエ244、2002年）1,575円、ISBN：4062582449

参考書等

林淳・小池淳一編『陰陽道の講義』（嵯峨野書院、2002年）3,150円、ISBN：4782303610

高埜利彦編『民間に生きる宗教者』（吉川弘文館、2000年）2,940円、ISBN：4642065512

履修コード	232901
科目名	宗教学概説
担当者名	池上 良正
講義のねらい	テーマは「生活の中の宗教」とする。多くの現代人は、「宗教」を自分とは関係ない特殊な分野のように考えている。しかし、近代になって「宗教」と呼ぶようになった現象は、人類の歴史を通して、生活のあらゆる部分に深く根ざしている。この授業では、身近な生活のトピックを取り上げ、比較宗教学的な視点から考察する。
講義の内容・授業スケジュール	(1～3) 全体のオリエンテーション。(4～10) 儀礼と祭り。(11～15) 癒しの文化(16～23) 慰霊と供養。(24～30) 異文化の理解。
履修上の留意点	学生参加型の授業とする。受講者は最低1回は発表してもらおう。教職科目であることを配慮し、プレゼンテーションの方法についても工夫を求める。
成績評価の方法	課題の発表、出席状況、授業中の態度によって評価する。
参考書等	講義のなかで適宜指示する。

履修コード	233001
科目名	宗教学概説
担当者名	矢野 秀武
講義のねらい	世界には様々な宗教伝統があり、多様な思想・体験・歴史・活動が見られる。また特定の集団には関わらないが宗教的と言える現象などもある。本講義では、これらの宗教伝統や宗教的現象について、無批判に肯定するのではなく、闇雲に批判し遠ざけるのでもない、そういった視点から理解することの重要性を学んでもらいたい。また、世界の諸宗教の多様性や、それぞれの宗教伝統内部に多様性のあることも理解してもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期は宗教についての基礎知識と具体的なイメージを持っていただくため、世界の諸宗教についての歴史と思想について学ぶ。具体的には、宗教学の基礎(1～3)、ユダヤ教・キリスト教・イスラーム(4～10)、仏教・現代日本の宗教(11～15)について歴史的背景を紹介する。後期では、宗教学のものの見方を学ぶ。具体的には、聖と俗(16～20)、儀礼と神秘体験(21～25)、宗教の心理的側面と哲学的側面(26～30)をテーマとしてとりあげ概説する。
履修上の留意点	レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。
成績評価の方法	出席、前期レポート(夏休み前に課題を提示・後期初回に提出)、後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。
教科書	なし
参考書等	授業時に随時紹介する。

履修コード	233101
科目名	宗教学概説
担当者名	川上 新二
講義のねらい	先般の改正教育基本法では教育上尊重されなければならないものとして、従来からの「宗教に関する寛容の態度」、「宗教の社会生活における地位」に加えて、「宗教に関する一般的な教養」が明記されました。宗教の理解は、学校教育をはじめとして社会のさまざまな場でますますその重要性を増していると思われます。この授業では、さまざまな宗教を理解するために宗教学が提出してきた見方、考え方を学びながら、今後も地球規模でさまざまな宗教をもつ人々と出会いながら生活していくことになるであろう私たちにとって有効と考えられる視座を養うことを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(前期)(1～2) 宗教学とは、(3～4) 宗教の原初形態、(5～6) 宗教と呪術、(7～8) 宗教の諸類型、(9～14) 世界の主な宗教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、ヒンズー教、仏教、道教)、など。 (後期)(1～2) 宗教の実在観、(3～4) 宗教の人間観、(5～6) 宗教の世界観、(7～8) 宗教儀礼、(9～10) 宗教教団、(11～12) 宗教体験、(13～14) 宗教の機能、など。
成績評価の方法	出席状況と、年2回(夏休み、学期末)のレポートで評価します。
教科書	脇本平也『宗教学入門』講談社(講談社学術文庫)
参考書等	『宗教学ハンドブック』世界書院。

履修コード	233201
科目名	哲学概説
担当者名	末木 恭彦

講義のねらい 哲学とはいかなる学問か理解をはかる。哲学は西洋の独占物でない。西洋に啓発されてであるが、東洋にも独自の哲学の試みはなされている。本講義は、そのような東洋哲学を考察する。

講義の内容・授業スケジュール 近代中国の哲学の試みの中から、馮友蘭の新理学を取りあげ、その著『新原人』を紹介する。
 (1～2) 中国の近現代哲学の概観 (3～6) 馮友蘭の生涯 (7～10) 『新理学』概観 (11) 覚解 (12) 心性 (13) 境界 (14) 予備 (15) 自然 (16) 功利 (17) 道徳 (18) 天地 (19) 学養 (20) 才命 (21) 死生 (22～26) 新理学の展開 (27～29) 質疑応答 (30) 予備

履修上の留意点 ノートを確認にとる。

成績評価の方法 学年末の試験、もしくはレポートによる。

教科書 『新原人』(講師の作成した抄訳をコピーして配布する)

参考書 『馮友蘭自伝』(吾妻重二訳) 全2冊、平凡社

履修コード	233301
科目名	哲学概説
担当者名	久保 陽一

講義のねらい 哲学は世界や人間についてその原理を問う学問であると同時に、世界の中で人間がいかに生きるべきか、人生の目標や意義、何が善いか、何が正しいか、何が美しいか等を究明しようとするものでもある。我々は日常たえず意識しているとは限らないが、人生のふしぶして何がしかそのような人生論的あるいは倫理的な問題につきあたらざるをえない。今年度の講義はそのような問題を取り上げることにはしたい。

講義の内容・授業スケジュール 古今東西の有名な人生論や倫理思想を取り上げる。
 前期では、主に、①アジアの思想(仏教、儒教、老荘思想)②古代ギリシア哲学③キリスト教という思想源流にさかのぼる。
 後期では、近現代を含めた人生論の種々のテーマー他者、死、幸福などーを取り上げることとする。

履修上の留意点 色々な本を読み、自分でものごとを考え、文章でまとめるようにすること。

成績評価の方法 出席数、試験(前期と年度末)などによって評価する。

教科書 久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円

参考書 渡辺二郎『現代の哲学』(日本放送出版協会) 1,800円
 渡辺二郎『人生の哲学』(放送大学教育振興会) 2,800円

その他 授業中、種々の資料を配布する。
 講義

履修コード	233401
科目名	倫理学概説
担当者名	小島 優子

講義のねらい

人間はなぜ嘘をついてはならないのか、なぜ人を殺してはなどの基本的な倫理学の問題について検討する。「倫理」は、人間が行動するときに伴って現れてくる問題である。動物のように欲望にしたがって生きるのではなく、倫理的な規範をもって生きることが人間の人間たるゆえんである。それでは、倫理とは何であろうか。善く生きるとは、いったいどのようなことであるのか。善いことをしようと意図しても、善意が必ずしも他者の求めているものではないかもしれない、善意が報われない場合もあるのではないかな。

後半は、現代に生きるわれわれが考えなければならない倫理的諸問題を取り扱う。現代世界のなかで、あらゆる人々が従わなければならない規範や義務、倫理は果たしてあるのだろうか。あるいは、価値や義務は人や文化、社会によって異なっているという価値相対主義がまかり通ってしまうのだろうか。あらゆる人に共通の道徳性がないのであれば、善というものを、われわれはどのように考えればいいのか。現代倫理学の方法を、生命倫理学、環境倫理学、ビジネス倫理学にふれながら考察する。

学生諸君に、人間が善く生きるこの意味を自身で考えてもらいたい。

前期は、倫理学の目的と内容について論じ、西洋倫理思想の展開を具体的にさぐる。後期は、現代における倫理学の課題について検討する。授業のさいには、毎回プリントを配布する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 倫理学とは何か——「善く生きる」この意味を問う
- 2 倫理学の方法——「哲学」の一分類としての「倫理学」
- 3 倫理学の課題——他者と自己との間で生きること
- 4 倫理学の内容——法と倫理
- 5 西洋倫理思想 ①ソクラテス「善く生きる」こと
- 6 西洋倫理思想 ②プラトン『国家』論
- 7 西洋倫理思想 ③アリストテレスの「中庸」の倫理
- 8 西洋倫理思想 ④ストア派、エピクロス学派、懐疑学派
- 9 西洋倫理思想 ⑤中世キリスト教思想の倫理
- 10 西洋倫理思想 ⑥カントの定言命法
- 11 西洋倫理思想 ⑦「美しい魂」をめぐる——ルソー、シラー、ゲーテ
- 12 西洋倫理思想 ⑧ヘーゲルの人倫思想
- 13 西洋倫理思想 ⑨ヘーゲルにおける「罪責」と「犯罪」について
- 14 現代倫理学の課題——現代において「善く生きる」この意味を問う
- 15 現代倫理の諸問題——価値相対主義と普遍主義
- 16 功利主義——ベンサム、ミル
- 17 実存主義の倫理観 ①キルケゴール
- 18 実存主義の倫理観 ②ハイデガー、ニーチェ
- 19 生命倫理 ①生命倫理とは何か
- 20 生命倫理 ②パターンリズムとインフォームド・コンセント
- 21 生命倫理 ③生命の質と生命の神聖さ
- 22 生命倫理 ④安楽死と尊厳死
- 23 生命倫理 ⑤脳死と臓器移植
- 24 生命倫理 ⑥日本人の死生観と西洋キリスト教思想の死生観
- 25 環境倫理学——現在の人間は未来の子孫に対して責任を負うか？
- 26 ビジネス倫理——ビジネス倫理——企業の利益が公共の福祉に反している場合に企業人はどのような態度をとるべきであるか？
- 27 情報倫理——個人の権利と情報の関係について

成績評価の方法

1回の定期試験（中間試験）と、1回の学期末試験と平常点（出席状況）で評価する。定期試験とレポート、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。

教科書

小島優子『最新哲学がよ〜くわかる本』秀和システム、2006年

履修コード	233551
科目名	歴史哲学
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>

講義のねらい

過去から現在、さらに未来へと直線的に展開する「歴史」の意識は、キリスト教の終末論から始まり、近代の進歩史観に受け継がれ、今日、自明視されている。それとは異なる歴史の見方（東洋やギリシアの回帰的歴史観）を踏まえながら、現代の歴史認識の可能性を問うことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期；インド・中国の歴史意識、古代ギリシアの歴史観、ユダヤキリスト教の終末論、近代の進歩史観、ヘルダーの歴史観、ヘーゲルの歴史哲学、唯物史観、新カント派の歴史科学方法論、解釈学、フクヤマの終末論 後期；カー「歴史とは何か」、真木悠介「時間の比較社会学」などを読む。

履修上の留意点

予備知識は必要が無いが、歴史に対する関心を持つようにしてほしい。

成績評価の方法

出席状況とレポート

参考書等

渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』（放送大学教育振興会）
E. H. カール『歴史とは何か』（岩波書店）